

金井東裏遺跡

《古墳時代編》
観察表編

(国)353号金井バイパス(上信自動車道)道路改築事業(国道・連携)に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書

2019

群馬県渋川土木事務所
公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

金井東裏遺跡

《古墳時代編》
観察表編

(国)353号金井バイパス(上信自動車道)道路改築
事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

二〇一九

群馬県渋川土木事務所
公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団



金井東裏遺跡

《古墳時代編》
観察表編

(国)353号金井バイパス(上信自動車道)道路改築事業(国道・連携)に伴う
埋 蔵 文 化 財 発 掘 調 査 報 告 書

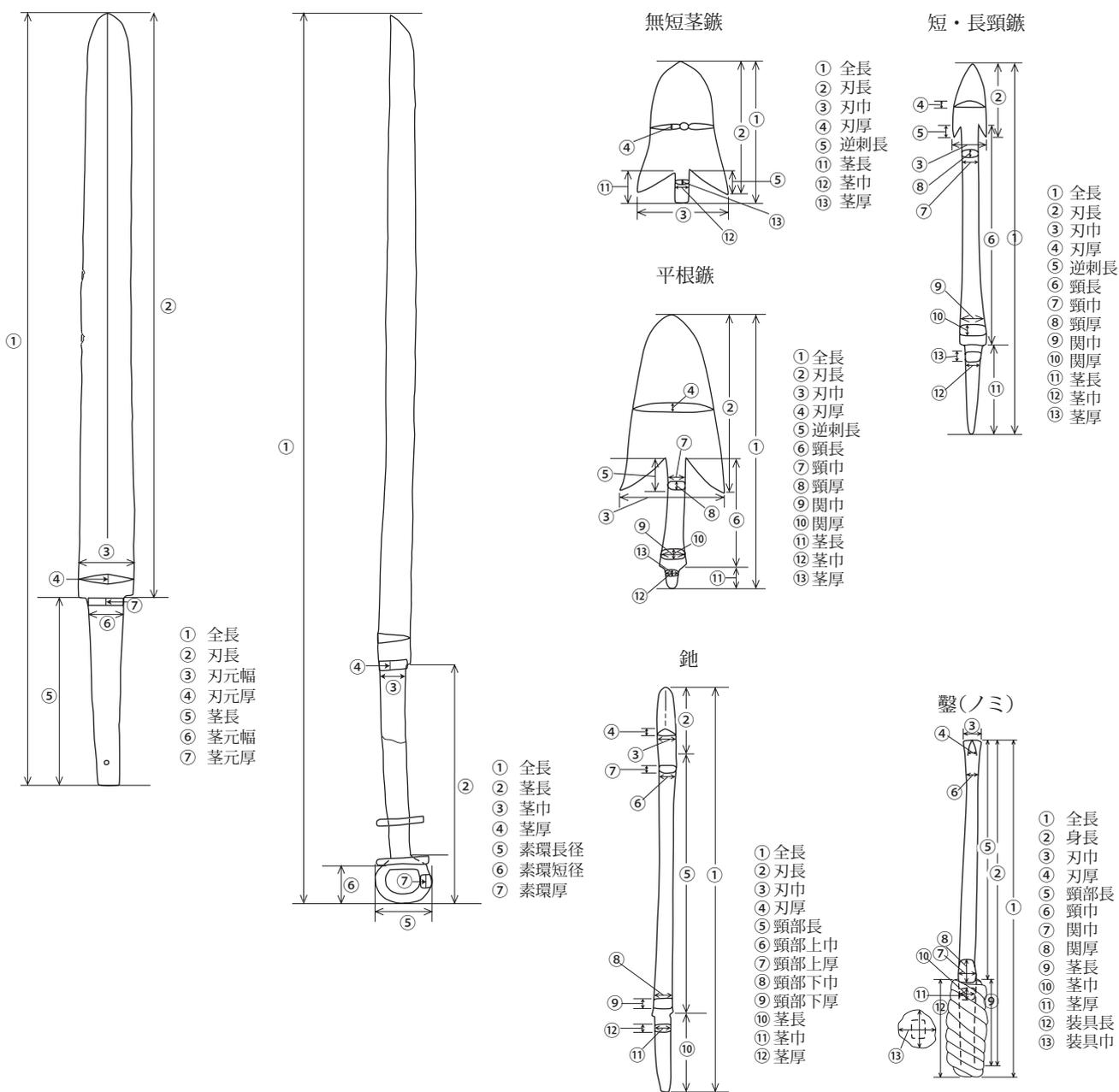
2019

群 馬 県 渋 川 土 木 事 務 所
公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

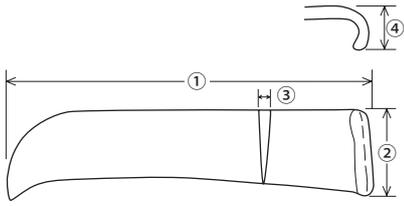
表 目 次

第1表	金井東裏遺跡建物計測表	1	第12表	金井東裏遺跡古墳時代ビット計測表	5
第2表	金井東裏遺跡古墳時代古墳計測表	2	第13表	金井東裏遺跡古墳時代焼土集中計測表	5
第3表	金井東裏遺跡古墳時代竪穴状遺構計測表	2	第14表	金井東裏遺跡古墳時代線状衝撃痕計測表	6
第4表	金井東裏遺跡古墳時代方形周溝遺構計測表	2	第15表	4・1区足跡観察表	14
第5表	金井東裏遺跡古墳時代祭祀遺構計測表	2	第16表	3-2面1区馬蹄跡観察表	14
第6表	金井東裏遺跡古墳時代集石計測表	2	第17表	10・9・7区ヒト足跡計測表	29
第7表	金井東裏遺跡古墳時代道計測表	3	第18表	2面馬蹄跡計測表	31
第8表	金井東裏遺跡古墳時代畠計測表	3	第19表	遺物観察表	39
第9表	金井東裏遺跡古墳時代畦遺構計測表	3	第20表	3号祭祀遺構白玉(写真のみ)計測表	170
第10表	金井東裏遺跡古墳時代溝計測表	4	第21表	3号祭祀遺構・1号盛土遺構粒状礫(写真無)計測表	220
第11表	金井東裏遺跡古墳時代土坑計測表	4	第22表	3号祭祀遺構鉄器附着石製模造品・白玉(写真のみ)計測表	221

鉄器測定部位

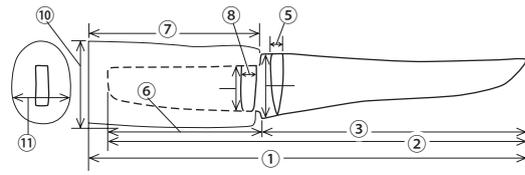


鎌



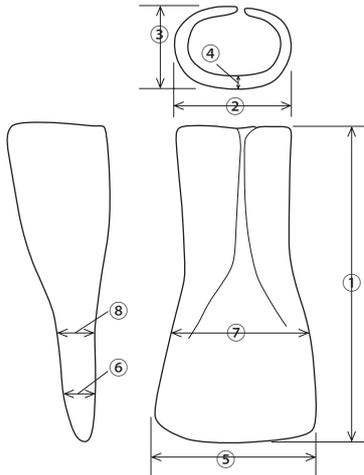
- ① 全長
- ② 巾
- ③ 厚
- ④ 曲柄高

刀子



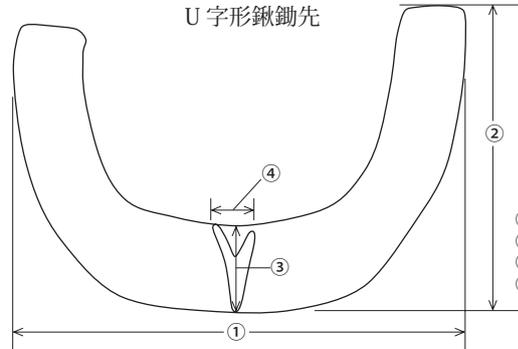
- ① 全長
- ② 身長
- ③ 刃長
- ④ 刃巾
- ⑤ 刃厚
- ⑥ 茎巾
- ⑦ 茎厚
- ⑧ 茎厚
- ⑨ 鹿角装具長
- ⑩ 鹿角装具巾
- ⑪ 鹿角装具厚

袋斧



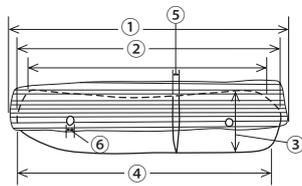
- ① 全長
- ② 袋部巾
- ③ 袋部高
- ④ 袋部厚
- ⑤ 刃部巾
- ⑥ 刃部厚
- ⑦ 肩部巾
- ⑧ 肩部厚

U字形鋤鋤先



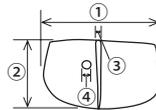
- ① 刃巾
- ② 刃長
- ③ 刃高
- ④ 刃厚

摘鎌

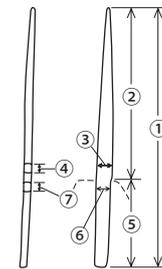


- ① 全長
- ② 身長
- ③ 身巾
- ④ 刃長
- ⑤ 棟厚
- ⑥ 穿孔徑

錐

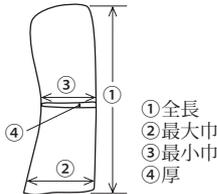


- ① 長
- ② 巾
- ③ 厚
- ④ 穿孔徑



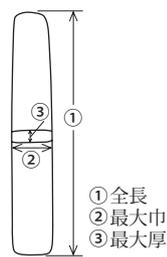
- ① 全長
- ② 身長
- ③ 身巾
- ④ 身厚
- ⑤ 茎長
- ⑥ 茎巾
- ⑦ 茎厚

素材板状



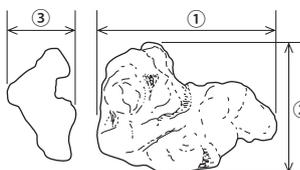
- ① 全長
- ② 最大巾
- ③ 最小巾
- ④ 厚

素材棒状

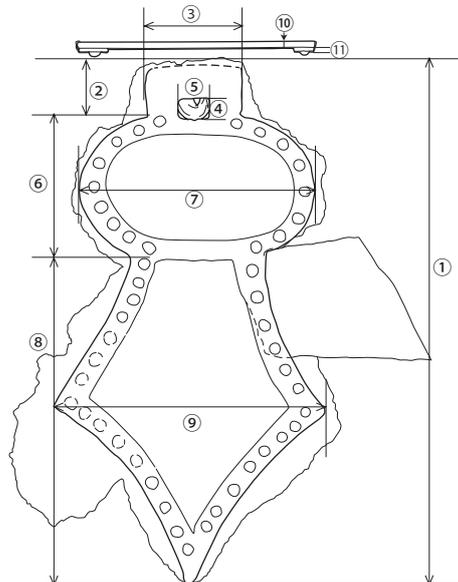


- ① 全長
- ② 最大巾
- ③ 最大厚

滓



- ① 長
- ② 巾
- ③ 厚



- ① 全長
- ② 立間高
- ③ 立間幅
- ④ 立間孔高
- ⑤ 立間孔幅
- ⑥ 楕円部高
- ⑦ 楕円部幅
- ⑧ 菱形部高
- ⑨ 菱形部幅
- ⑩ 地板厚
- ⑪ 緑金板厚

第1表 金井東裏遺跡建物計測表

No	区	面	建物番号	建物種類	位置 X	位置 Y	主軸方位	形状	長辺 (m)	短辺 (m)	最大高 (cm)	周堤幅 (m)	柱穴数	溝有無	竈構造	竈位置	床上溝の数	貯蔵穴	面積 (㎡)	備考
1	9	5	43	竪穴建物	58029 ～58036	-75523 ～-75531	N-51°-E	方形	5.42	5.38	66	-	4	有	石	東	7	南東	27.73	
2	9	5	46	竪穴建物	58037 ～58041	-75533 ～-75536	N-69°-E	不明	3.28+	3.00+	60	-	1	有	石・土器	東	-	南東	7.46+	
3	9	5	48	竪穴建物	58005 ～58009	-75503 ～-75510	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	保存のため未調査
4	9	5	47	竪穴建物	58012 ・58013	-75500 ～-75504	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	保存のため未調査
5	9	5	50	竪穴建物	58009 ～58012	-75496 ・-75500	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	保存のため未調査
6	9	5	45	竪穴建物	58012 ～58014	-75490 ～-75493	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	保存のため未調査
7	4	5	3	竪穴建物	57995 ～57999	-75484 ～-75490	N-83°-E	不明	6.02	4.11+	67	3.4	2	無	石	東	1	南東	18.95+	
8	4	5	21	竪穴建物	57993 ～57996	-75492 ～-75496	N-88°-E	不明	4.60	2.86+	59	1.6	2	無	石	東	-	南東	9.07+	
9	4	5	25	竪穴建物	57983 ～57990	-75488 ～-75495	S-73°-W	長方形	6.10	5.70	65	3.0	4	有	石	西	2	南西	34.34	
10	4	5	28	竪穴建物	57982 ～57988	-75496 ～-75501	N-82°-E	方形	5.23	5.21	77	2.5	新4旧4	有	石	東	8	南東	23.26	
11	4	5	26	竪穴建物	57989 ～57993	-75501 ～-75505	S-33°-W	方形	(3.75)	(3.70)	57	2.4	4	無	石	南	-	-	13.10	
12	4	5	20	竪穴建物	57979 ～57985	-75509 ～-75515	N-64°-E	方形	5.26	5.13	92	1.3	4	有	石	東	6	東	25.85	
13	4	5	10	竪穴建物	57988 ～57994	-75477 ～-75483	N-76°-W	長方形	5.97+	5.25	47	-	4	無	-	-	-	-	22.80+	
14	4	5	9	竪穴建物	57976 ～57982	-75477 ～-75482	N-4°-E	方形	5.83	5.77	38	-	4	有	-	-	11	南西	31.64	炉1 76×55×7 2 35×26×2
15	4	5	11	竪穴建物	57957 ～57960	-75472 ～-75474	-	不明	3.29+	1.89+	53	-	-	-	-	-	-	-	3.26+	
16	2	5	1	竪穴建物	57916 ～57927	-75485 ～-75497	N-69°-E	方形	(9.82)	9.40	78	3.3	4	無	-	-	3	南東	(89.29)	炉1 180×120×10 炉2 140×105×18 炉3 135×110×5
17	2	5	7	竪穴建物	57929 ～57937	-75497 ～-75506	N-35°-W	方形	6.89	6.58	71	2.8	4	有	石	北西	2	-	42.40	
18	2	5	5	竪穴建物	57936 ～57939	-75508 ～-75510	-	不明	3.93+	1.21+	67	2.88	-	-	粘土	東	-	南東	2.45+	
19	2	5	6	竪穴建物	57939 ～57941	-75493 ～-75494	-	不明	1.48+	0.77+	40	-	-	有	-	-	-	-	0.77+	
20	8	5	68	竪穴建物	57832 ～57835	-75504 ～-75507	N-88°-E	方形	2.95	2.40	73	-	-	有	石・粘土	東	-	-	7.97	
21	8	5	70	竪穴建物	57799 ～57806	-75503 ～-75507	-	不明	6.10	5.03+	41	-	1	有	-	-	4	-	21.58+	炉 81×60×15
22	7	5	39	竪穴建物	57737 ～57749	-75528 ～-75540	N-50°-E	方形	9.00	8.98	55	5.4	9	有	-	-	3	南東	78.48	炉1 73×46× 8 炉2 90×47× 7 炉3 135×67×13
23	7	5	72	竪穴建物	57801 ～57809	-75521 ～-75528	N-78°-E	長方形	7.04	5.72+	78	-	新6旧4	有	土器	東	12	南東	38.47+	
24	7	5	53	竪穴建物	57777 ～57785	-75525 ～-75530	N-35°-E	長方形	6.30+	3.10+	48	-	1	無	石	南	-	南	15.37+	
25	7	5	40	竪穴建物	57763 ～57772	-75527 ～-75535	N-65°-E	方形	7.24	7.06	87	3.0	4	有	粘土	南西	15	南西	47.99	
26	7	5	32	竪穴建物	57771 ～57778	-75520 ～-75528	N-76°-E	方形	6.28	6.12	77	5.0	新4旧4	有	石・粘土	東	11	南東	36.61	
27	7	5	38	竪穴建物	57720 ～57723	-75525 ～-75529	N-85°-E	方形	4.12	3.30+	77	2.1	4	有	粘土	東	-	-	12.98+	
28	7	5	41	竪穴建物	57724 ～57733	-75519 ～-75528	N-61°-E	不明	9.04+	3.82	73	-	3	有	石	西	2	南西	22.27+	
29	7	5	37	竪穴建物	57718 ～57721	-75548 ～-75552	N-85°-E	長方形	3.78	3.14	56	2.2	-	無	石	東	-	-	11.41	
30	7	5	36	竪穴建物	57710 ～57712	-75548 ～-75556	N-90°	不明	5.60+	2.64+	60	2.6	1	有	-	-	-	-	7.31+	
31	5	5	13	竪穴建物	57688 ～57693	-75539 ～-75544	N-80°-E	方形	4.51	(4.51)	83	2.6	4	有	石	西	-	南西	17.42+	
32	5	5	15	竪穴建物	57699 ～57701	-75539 ～-75543	-	不明	3.64+	2.76+	66	0.96	-	有	-	-	-	-	4.88+	
33	9	4	42	竪穴建物	58010 ～58017	-75513 ～-75520	N-54°-E	方形	5.43	5.13	122	3.1	4	有	不明	東	-	南東	27.86	
34	7	5	11	平地建物	57721 ～57723	-75554 ～-75556	-	不明	1.85+	1.50+	4	-	-	-	-	-	-	-	1.91+	炉 84×68×8
35	9	4	8	平地建物	58025 ～58030	-75512 ～-75517	N-33°-W	方形	3.00	2.8	-	-	不明	有	不明	不明	-	北西	10.66	
36	9	4	9	平地建物	58031 ～58035	-75517 ～-75521	N-43°-W	長方形	2.30	1.70	-	-	-	有	-	-	-	-	8.96	
37	9	4	10	平地建物	58003 ～58006	-75514 ～-75517	-	不明	3.80+	2.40+	-	-	-	-	-	-	-	-	6.38+	
38	1	4	1	平地建物	57877 ～57883	-75497 ～-75504	N-48°-E	長方形	5.80	5.20	-	-	-	-	-	-	-	-	27.08	

No	区	面	建物番号	建物種類	位置 X	位置 Y	主軸方位	形状	長辺 (m)	短辺 (m)	最大高 (cm)	周堤幅 (m)	柱穴数	周溝有無	竈構造	竈位置	床上溝の数	貯蔵穴	面積 (㎡)	備考
39	1	4	2	平地建物	57882 ~ 57892	-75493 ~ -75501	N-43°-E	長方形	8.20+	7.4	-	-	-	-	-	-	-	-	50.64	炉 110×90×5
40	1	4	3	平地建物	57884 ~ 57889	-75505 ~ -75507	-	不明	4.60	1.80+	-	-	-	-	-	-	-	-	7.11+	
41	1	4	4	平地建物	57892 ~ 57898	-75501 ~ -75506	N-60°-E	長方形	5.50	5.00+	-	-	-	-	-	-	-	-	20.29+	炉 65×54×10
42	1	4	5	平地建物	57884 ~ 57891	-75500 ~ -75507	N-44°-W	方形	5.60	5.20	-	-	-	-	-	-	-	-	26.48+	炉 65×56
43	7	4	7	平地建物	57786 ~ 57793	-75521 ~ -75528	N-34°-E	不整形	6.00	4.60	-	-	-	-	-	-	-	-	31.37+	炉1 190×160×12 炉2 120×110×10
44	9	4	1	掘立柱建物	58025 ~ 58029	-75519 ~ -75523	N-46°-W	方形	3.2	3.2	-	-	(8)	-	-	-	-	-	10.89	φ30cm深60~70cm 柱間1.6m×2間

第2表 金井東裏遺跡古墳時代古墳計測表

No	区	面	古墳番号	座標X	座標Y	主体部① 大きさ	主体部② 大きさ	方位	面積	堀幅 上面	堀幅 下面	堀 外径	堀内 径	1 段高	1 段幅	2 段径	2 段高	墳頂部径 (m)	墳丘高	備考
1	9	5	1	58045 ~ 58070	-75504 ~ -75525	325×170×60	240×115×75		346.7+									15.0		
2	9	5	2	58025 ~ 58036	-75491 ~ -75500	××	××		73.1+											

第3表 金井東裏遺跡古墳時代竪穴状遺構計測表

No	区	面	竪穴状遺構番号	座標X	座標Y	方位	面積 (㎡)	長辺 (m)	短辺 (m)	深さ (cm)	備考
1	2	5	1	57933 ~ 57937	-75492 ~ -75497	N-2°-W	17.39	4.8	4.3	30	
2	2	5	2	57930 ~ 57938	-75501 ~ 75506	N-14°-E	15.88+	推5.25	推2.95	-	7住

第4表 金井東裏遺跡古墳時代方形周溝遺構計測表

No	区	面	方形周溝遺構番号	座標X	座標Y	方位	面積 (㎡)	長辺 (m)	短辺 (m)	高さ (cm)	溝幅 (cm)	溝深さ (cm)	備考
1	7	5	1	57727 ~ 57735	-75535 ~ -75543	N-10°-W	49.06	7.2	7.1	65	150 ~ 168	40 ~ 50	
2	7	5	2	57791 ~ 57799	-75523 ~ -75529	N-2°-W	43.82+	6.8	6.6+	53	140 ~ 155	60 ~ 70	

第5表 金井東裏遺跡古墳時代祭祀遺構計測表

No	区	面	祭祀遺構番号	座標X	座標Y	方位	面積	長辺 (m)	短辺 (m)	深さ (cm)	備考
1	4	4	3	57986 ~ 57990	-75515 ~ -75519	N-53°-w	12.42+ (24.58)	φ 5.6	-	-	
2	2	4	1	57929 ~ 57935	-75498 ~ -75504	N-52°-E	21.17	φ 5.0	-	15	
3	2	4	2	57934 ~ 57938	-75493 ~ -75496	N-3°-W	7.49	4.1	2.7	40	
5	7	4	4	57779 ~ 57782	-75522 ~ -75524	N-60°-E	4.79	2.8	2.3	3	
4	7	4	5	57720 ~ 57727	-75532 ~ -75538	N-23°-W	31.72	6.4	6.1	-	

第6表 金井東裏遺跡古墳時代集石計測表

No	区	面	集石番号	座標X	座標Y	長径 (cm)	短径 (cm)	深さ (cm)	備考
1	7	5	4	57749・57750	-75534・-75535	140	120	10	39竪穴建物
2	7	5	9	57751 ~ 57753	-75535 ~ -75537	200	168	18	39竪穴建物
3	7	5	11	57752 ~ 57754	-75530 ~ -75532	198	158	8	39竪穴建物
4	7	5	20	57761	-75528 ~ -75530	120	48	-	40竪穴建物
5	7	5	12	57769 ~ 57772	-75518・-75519	238	122	18	32竪穴建物
6	7	5	16	57778・57779	-75527 ~ -75529	198	112	6	32竪穴建物
7	7	5	10	57725・57726	-75527・-75528	102	86	-	38竪穴建物
8	7	5	5	57719・57720	-75552 ~ -75554	231	182	4	37竪穴建物
9	7	5	18	57719・57720	-75553・-75534	112	72	6	37竪穴建物
10	7	5	27	57728・57729	-75535・-75536	34	30	9	1方形周溝
11	7	5	36	57795	-75525・-75526	50	40	-	2方形周溝
12	7	5	1	57783 ~ 57785	-75515 ~ -75517	318	198	20	
13	7	5	2	57789	-75521	64	60	-	
14	7	5	3	57762 ~ 57765	-75520 ~ -75522	468	354	14	
15	7	5	7	57578 ~ 57580	-75535・-75536	202	138	18	
16	7	5	8	57559・57560	-75529・-75530	178	162	28	
17	7	5	14	57718 ~ 57720	-75543・-75544	212	138	6	
18	7	5	22	57780	-75515・-75516	150	90	-	
19	9	4	6	58011・58012	-75507・-75508	130	110	-	42竪穴建物
20	1	4	37	57896 ~ 57900	-75498 ~ -75500	350	220	-	
21	8	4	28	57823 ~ 57826	-75502・-75503	190	130	-	
22	7	4	32	57799 ~ 57802	-75525 ~ -75528	210	110	-	
23	7	4	33	57810	-75515・-75516	90	40	-	

第7表 金井東裏遺跡古墳時代道計測表

No.	区	面	道番号	座標X	座標Y	方向	長さ (m)	幅 (cm)	深さ (cm)	備考
1	13	4	19	58172・58173	-75685 ~ -75687	N-90°	1.6+	52	4	
2	13	4	20	58130 ~ 58150	-75609 ~ -75623	N-29°~ 52°-W	9.9+	130	10	21道重複
3	13	4	21	58130 ~ 58150	-75608 ~ -75622	N-27°~ 53°-W	9.8+	80	6	20道重複
4	10	4	15	58103 ~ 58116	-75574 ~ -75593	N-56°-E	21.5+	120	1	
5	10	4	16	58104 ~ 58112	-75572 ~ -75577	N-33°-W	6.5+	25	3	15道より南に分岐
6	10	4	17	58110 ~ 58118	-75582 ~ -75583	N-2°-W	8.0	58	2	15道より北に分岐
7	10	4	18	58110 ~ 58118	-75584	N-0°	8.6	52	3	15道より北に分岐
8	10	4	8	58059 ~ 58098	-75551 ~ -75554	N-38°-E→ N-7°-W	推38.5+	150	2	7道重複
9	10	4	9	58092 ~ 58099	-75552 ~ -75557	N-53°-W	7.9+	100	2	8道より北西に分岐
10	10	4	7	58069 ~ 58094	-75548 ~ -75558	N-27°-14° E	推23.2+	120	6	8道重複
11	4	4	4	57949 ~ 57974	-75472 ~ -75513	N-28°-W→ N-70°-W→ N-47°-W→ N-87°-W	48+	240	10	5道重複
12	4	4	5	57970 ~ 57984	-75479 ~ -75501	N-58°-E	29.0	95	4	4道重複
13	3	4	22	57932・57933	-75475・-75476	N-73°-E	0.5+	25	10	
14	1	4	3	57857 ~ 57861	-75501 ~ -75511	N-82°-E	5.1+	142	10	
15	8	4	23	57806 ~ 57814	-75502 ~ -75511	N-50°-W	11.4+	112	12	
16	7	4	6	57752 ~ 57766	-75519 ~ -75539	N-58°-W	21.7+	150	5	
17	7	4	14	57723 ~ 57735	-75520 ~ -75545	N-63°-W	28.0+	180	5	
18	2	2	1	57923 ~ 57934	-75487 ~ -75508	N-62°-W→ N-75°-W	24.2+	50	5	
19	1	2	2	57867 ~ 57870	-75499 ~ -75510	N-70°-E	13.0+	50	6	

第8表 金井東裏遺跡古墳時代畝計測表

No.	区	面	畝番号	座標X	座標Y	方向	面積 (㎡)	畝長 (cm)	畝幅 (cm)	深さ (cm)	畝条数	備考
1	9	5	15	58036 ~ 58040	-75528 ~ -75531	N-31°-W	1.42+	490+	20 ~ 36	-	1	
2	7	5	14	57759 ~ 57764	-75523 ~ -75529	N-12°-W	24.73+	82 ~ 178	6 ~ 12	4 ~ 6	8	
3	9	4	7	58028 ~ 58052	-75511 ~ -75537	N-48°-E	171.30	460 ~ 920	114 ~ 195	1 ~ 12	17	
4	9	4	13	58043 ~ 58046	-75532 ~ -75537	N-59°-W	7.17	600	162	1 ~ 10	1	
5	9	4	11	58026 ~ 58043	-75522 ~ -75541	N-50°-E	127.37+	110 ~ 240	40 ~ 90	2 ~ 13	184	
6	9	4	12	58019 ~ 58026	-75520 ~ -75526	N-42°-W	23.23+	760 ~ 778	90 ~ 132	0 ~ 11	3	
7	9	4	6	58046 ~ 58057	-75542 ~ -75553	N-90°	59.35+	1050	130 ~ 184	3 ~ 12	6	
8	9	4	8	58040 ~ 58054	-75535 ~ -75545	N-76°-W	71.83+	653 ~ 712	110 ~ 180	3 ~ 12	8	
9	9	4	9	58056 ~ 58060	-75550 ~ -75555	N-42°-W	11.20+	256 ~ 273	87 ~ 118	0 ~ 3	3	
10	9	4	10	58056 ~ 58064	-75540 ~ -75550	N-75°-W	48.23	584 ~ 632	123 ~ 223	5 ~ 7	4	
11	4	4	2	57979 ~ 57990	-75475 ~ -75481	N-68°-E	23.83+	-	16 ~ 40	1 ~ 3	(18)	
12	4	4	3	57991 ~ 57996	-75490 ~ -75492	N-80°-E	8.11+	-	12 ~ 22	1 ~ 3	(17)	
13	4	4	4	57997 ~ 57999	-75481 ~ -75484	N-69°-E	4.61+	-	12 ~ 22	1 ~ 3	(4)	
14	2	4	1	57927 ~ 57929	-75493 ~ -75494	N-78°-E	11.2+	-	12 ~ 25	1 ~ 7	(6)	

第9表 金井東裏遺跡古墳時代畦遺構計測表

No.	区	面	畦番号	座標X	座標Y	方位	長さ (m)	幅 (m)	高さ (cm)	備考
1	3	4	4	57930 ~ 57932	-75455 ~ -75456	N-10°-W	2.15+	0.53	10	
2	4	2	5	57958 ~ 57963	-75504 ~ -75511	N-54°-W	7.5+	上0.5 下1.6	15	
3	4	2	6	57950・57951	-75470 ~ -75478	N-79°-E	6.5+	上0.5 下1.2	10	
4	2	2	1	57923 ~ 57934	-75487 ~ -75508	N-52°-E	16.0+	上1.7 下2.4	15	
5	2	2	2	57920 ~ 57925	-75494 ~ -75504	N-82°-E	6.3+	上1.1 下1.45	10	
6	2	2	3	57926 ~ 57932	-75488 ~ -75499	N-65°-W→ N-25°-W→ N-75°-W	8.0+	上0.4 下0.8	5	

第10表 金井東裏遺跡古墳時代溝計測表

No.	区	面	溝・路番号	座標X	座標Y	方向	長さ(m)	幅(m)	深さ(cm)	備考
1	3	5	26	57931・57932	-75474・-75475	N-23°-E	0.92+	0.32	11	ピット1重複
2	3	5	27	57931 ~ 57933	-75475・-75476	N-28°-W	2.25+	0.25+	8	
3	3	5	62	57930・57931	-75474	N-26°-E	1.2+	0.25	6	ピット3重複
4	7	5	57	57771 ~ 57776	-75529 ~ -75535	N-50°-E	8.04+	0.29	8	40竪穴建物周提下
5	7	5	58	57760 ~ 57763	-75526 ~ -75532	N-64°-E	6.96	0.29	6	40竪穴建物周提下
6	7	5	59	57761 ~ 57765	-75530 ~ -75537	N-79°→ N-42°-W	8.72	0.25	6	40竪穴建物周提下
7	7	5	60	57767 ~ 57771	-75523 ~ -75525	N-22°-W	4.62+	0.34	5	40竪穴建物周提下
8	7	5	61	57772 ~ 57775	-75528 ~ -75530	N-21°-W	3.54	0.22	5	40竪穴建物周提下
9	4	4	31	57965 ~ 57972	-75472 ~ -75515	N-90°→ N-50°-W →N-90°	42.0+	2.5	80	4道重複

第11表 金井東裏遺跡古墳時代土坑計測表

No.	区	面	土坑名称	位置X	位置Y	主軸方位	形状	長径	短径	深さ	備考
1	10	5	1005号土坑	58105・58106	-75518・-75519	N-17°-E	円形	155	126	32	
2	10	5	1006号土坑	58112・58113	-75112 ~ -75114	N-59°-E	不整形	160	128	30	
3	10	5	1007号土坑	58112・58113	-75588・-75589	N-23°-W	不整形	132	110	19	
4	10	5	1008号土坑	58114	-75590・-75591	N-85°-E	不整形	72	48	23	
5	10	5	1009号土坑	58110・58111	-75571・-75572	N-40°-E	不整形	137	71	25	
6	9	5	993号土坑	58036・58037	-75518・-75519	N-90°	不整形	86	80	18	
7	9	5	994号土坑	58042・58043	-75518 ~ -75520	-	不詳	157	(80)	44	東壁
8	4	5	20号土坑	57982・57983	-75477・-75478	N-73°-W	楕円形	124	104	14	
9	4	5	22号土坑	57982・57983	-75479・-75480	N-80°-W	隅丸長方形	111	65	47	
10	4	5	24号土坑	57975・57976	-75475・-75476	-	不詳	(113)	109	67	
11	4	5	261号土坑	57991・57992	-75496 ~ -75498	N-88°-W	隅丸長方形	142	93	70	
12	4	5	262号土坑	57986・57987	-75499・-75500	N-47°-E	不整形	103	65	20	
13	4	5	263号土坑	57900・57901	-75497・-75498	N-70°-W	不整形	63	53	11	
14	4	5	264号土坑	57989・57990	-75492 ~ -75494	N-56°-E	隅丸長方形	(140)	62	49	
15	4	5	265号土坑	57990	-75490・-75491	N-90°	不詳	83	(46)	43	
16	4	5	266号土坑	57989・57990	-75490・-75491	N-87°-E	不詳	(103)	(32)	38	
17	2	5	14号土坑	57927 ~ 57929	-75504・-75505	N-1°-E	隅丸長方形	216	142	65	
18	2	5	15号土坑	57925 ~ 57927	-75921 ~ -75923	N-49°-W	隅丸長方形	213	113	56	7竪穴建物
19	2	5	19号土坑	57927 ~ 57929	-75502 ~ -75504	N-6°-W	隅丸長方形	192	142	71	7竪穴建物
20	2	5	21号土坑	57935 ~ 57937	-75501 ~ -75503	N-52°-E	隅丸長方形	163	98	43	7竪穴建物
21	2	5	23号土坑	57931 ~ 57933	-75500・-75501	N-20°-E	隅丸長方形	125	70	40	
22	2	5	25号土坑	57922・57923	-75499・-75500	N-40°-E	隅丸長方形	167	72	23	
23	2	5	26号土坑	57919 ~ 57921	-75497	N-18°-W	不整形	122	75	25	
24	2	5	27号土坑	57919・57920	-75498・-75499	N-14°-W	長楕円形	175	96	38	1竪穴建物
25	2	5	28号土坑	57926 ~ 57928	-75493 ~ -75495	N-45°-W	隅丸長方形	(210)	104	50	7竪穴建物・19 土坑
26	2	5	29号土坑	57929	-75504	-	隅丸長方形	54	50	34	7竪穴建物
27	2	5	30号土坑	57933・57934	-75502・-75503	N-89°-E	不整形	133	84	23	
28	1	5	176号土坑	57895・57896	-75502・-75503	N-12°-E	楕円形	76	65	27	
29	1	5	177号土坑	57896・57897	-75499・-75500	-	楕円形	90	82	30	
30	1	5	192号土坑	57888	-75501・-75502	N-63°-E	不整形	69	59	31	
31	1	5	197号土坑	57864・57865	-75502・-75503	N-6°-E	隅丸長方形	148	98	31	
32	1	5	205号土坑	57861	-75510・-75511	N-35°-W	楕円形	65	63	25	
33	1	5	206号土坑	57860・57861	-75509・-75510	N-8°-E	不整形	121	95	22	
34	1	5	210号土坑	57854・57855	-75503・-75504	N-85°-E	楕円形	76	67	26	
35	7	5	599号土坑	57735・57736	-75523 ~ 75525	N-60°-E	隅丸長方形	188	111	39	
36	7	5	946号土坑	57797 ~ 57799	-75520 ~ -75522	N-48°-E	不整形	215	120	20	
37	7	5	948号土坑	57801・57802	-75520	N-19°-E	楕円形	49	31	15	
38	7	5	949号土坑	57801・57802	-75520・-75521	N-22°-E	楕円形	47	30	19	
39	7	5	950号土坑	57803	-75520	-	不詳	40	(25)	16	東壁
40	7	5	951号土坑	57795	-75521	N-47°-W	楕円形	42	30	20	
41	5	5	97号土坑	57695 ~ 57697	-75538 ~ -75540	N-88°-W	楕円形	240	144	38	

第12表 金井東裏遺跡古墳時代ピット計測表

No.	区	面	ピット番号	座標X	座標Y	長径	短径	深さ	備考
1	9	5	603	58035・58036	-75519・-75520	37	25	29	
2	9	5	604	58037	75517	(37)	(30)	29	
3	9	5	605	58037	-75519	30	25	22	
4	9	5	606	58040	-75525	24	20	58	
5	9	5	607	58041	75525	24	21	40	
6	9	5	608	58036	-75519・-75520	24	22	19	
8	4	5	129	57985	-75495	60	30	35	
9	2	5	7	57926	-75503	(58)	51	40	
10	2	5	8	57935	-75502	25	21	59	
11	2	5	9	57934	-75504	12	11	30	
12	2	5	11	57932	-75503	26	23	34	
13	2	5	12	57932	-75498	19	12	27	
14	2	5	13	57929	-75498	(82)	(45)	66	
15	2	5	14	57930	-75504	31	29	40	
16	2	5	15	57936	-75502	19	17	49	
17	2	5	16	57936	-75501	11	10	24	
18	2	5	17	57937	-75501	11	10	30	
19	2	5	18	57937	-75503	26	(16)	55	
20	2	5	19	57936	-75500	10	(5)	27	
21	2	5	20	57936	-75504	18	17	94	
22	2	5	21	57936	-75504	45	42	38	
23	2	5	52	57933	-75499	75	57	36	
24	2	5	84	57942	-75505	(31)	29	53	
25	3	5	1	57931	-75475	56	(47)	12	
26	3	5	2	57931	-75474	(23)	(12)	8	
27	3	5	3	57930	-75474	62	(51)	21	
28	1	5	919	57886	-75498・-75499	43	40	26	
29	1	5	920	57882	-75490・-75496	48	45	28	
30	1	5	921	57888	-75504	42	40	28	
31	1	5	922	57875	-75507・-75508	49	43	27	
32	1	5	923	57871・57872	-75506・-75507	65	43	24	
33	1	5	924	57891	-75496	35+	38	17	
34	1	5	925	57890・57891	-75496	40	33	28	
35	1	5	926	57864	-75508・-75509	59	47	23	
36	7	5	455	57788	-75528	14	14	35	
37	4	4	49	57966	-75475	22	20	32	

第13表 金井東裏遺跡古墳時代焼土集中計測表

No.	区	面	焼土番号	座標X	座標Y	長径 (cm)	短径 (cm)	深さ (cm)	備考
1	4	5	4	57983 ~ 57985	-75480・-75481	210	140	8	
2	4	5	5	57987・57988	-75487	72	53	6	
3	4	5	14	57992・57993	-75492 ~ -75494	158	112	8	
4	4	5	15	57991・57992	-75489・-75490	114	88	8	
5	4	5	16	57991・57992	-75496・-75497	88	50	2	
6	2	5	1	57934・57935	-75503・-75504	112+	128	8	盛り上がり
7	2	5	2	57933・57934	-75506 ~ -75508	150	120	6	盛り上がり
8	2	5	3	57939 ~ 57941	-75504 ~ -75507	320	210	4	盛り上がり
9	7	5	22	57799・57800	-75527	98	70	4	
10	1	4	9	57875・57876	-75503・-75504	110	97	2	
11	1	4	10	57877・57878	-75502・-75503	65	50	5	

調査区	No.	位置X	位置Y	長径	短径	深さ	主軸方位	備考
7区	1041	57730・57731	-75541~-75543	224	106	33	N-61°-E	
7区	1042	57728	-75542	55	24	15	N-70°-E	
7区	1043	57727・57728	-75541~-75542	125	24	9	N-82°-E	IS1078重
7区	1044	57726	-75543	76	23	5	N-75°-E	
7区	1045	57725・57726	-75530~-75531	160	42	16	N-62°-E	
7区	1046	57724・57725	-75531~-75532	102	35	19	N-72°-E	
7区	1047	57724	-75530~-75531	97	47	7	N-72°-E	
7区	1048	57727・57728	-75526~-75528	146	21	14	N-74°-E	IS1082重
7区	1049	57727	-75525~-75527	153	53	7	N-81°-E	
7区	1050	57728	-75524~-75525	75	37	14	S-78°-E	
7区	1051	57726	-75527	66	18	13	N-55°-E	IS1052重
7区	1052	57725・57726	-75527~-75528	69	45	18	S-13°-E	10集石・IS1051重
7区	1053	57728	-75527	23	18	3	S-87°-E	IS1048重
7区	1054	57725	-75523	98	35	20	N-74°-E	
7区	1055	57725	-75523~-75524	(174)	88	33	N-50°-E	
7区	1056	57723・57724	-75524	61	43	19	S-67°-E	
7区	1057	57723	-75523~-75524	68	106	45	S-31°-E	
7区	1058	57724	-75525~-75527	(173)	(98)	19	N-50°-E	38建物・IS1082重
7区	1059	57722・57723	-75533~-75535	238	74	11	N-53°-E	IS1083重
7区	1060	57723	-75532~-75533	45	29	15	N-54°-E	
7区	1061	57722・57723	-75532~-75533	(121)	50	18	N-47°-E	IS1062
7区	1062	57721・57722	-75532~-75534	162	68	13	S-59°-E	IS1061
7区	1063	57720	-75529	(50)	(47)	18	-	38建物・南壁重
7区	1064	57720	-75531	35	27	12	N-46°-E	
7区	1065	57720・57721	-75531~-75534	341	64	15	N-90°	
7区	1066	57718・57719	-75532~-75534	159	(82)	15	N-66°-E	南壁重
7区	1077	57747	-75529	42	35	22	N-58°-E	IS1008重
7区	1078	57727・57728	-75541	22	20	14	N-23°-E	IS1043重
7区	1079	57730	-75534~-75535	46	23	28	S-62°-E	IS1039重
7区	1080	57731・57732	-75534~-75535	89	(70)	13	N-73°-E	IS1038・1039重
7区	1081	57730・57731	-75533~-75534	(118)	37	7	N-72°-E	IS1039・1040重
7区	1082	57723・57724	-75526~-75527	(100)	(47)	6	S-70°-E	IS1058・38建物重
7区	1083	57775・57776	-75520~-75521	(127)	83	71	N-69°-E	32建物重
7区	1084	57808・57809	-75525~-75526	140	44	15	N-50°-E	72建物重
7区	1085	57804	-75523~-75524	55	23	17	N-84°-E	72建物重
7区	1086	57799	-75528~-75529	36	(28)	-	S-19°-E	南壁重
7区	1087	57797	-75527~-75528	30	25	16	S-58°-E	
7区	1088	57797・57798	-75527~-75528	88	34	19	N-87°-E	
7区	1089	57797	-75524~-75525	35	25	12	S-68°-E	
7区	1090	57725・57726	-75520	(69)	(55)	-	S-86°-E	41建物貯穴重
7区	1146	57725・57726	-75521~-75522	117	36	6	N-85°-E	41建物重
7区	1147	57725	-75520~-75521	(91)	42	7	N-64°-E	41建物重
7区	1148	57725	-75522~-75523	65	35	9	N-35°-E	41建物重
7区	1149	57724	-75525~-75526	(106)	80	9	S-81°-E	38建物重
7区	1150	57725	-75526~-75529	(227)	153	31	N-76°-E	41建物重
5区	1091	57691・57693	-75537~-75540	(238)	128	26	N-87°-E	13建物重

第15表 4・1区足跡観察表

区	遺構	No.	長さ(cm)	幅(cm)	左・右	歩く方向	備考
4	4号道	116	18.0	8.0	右	南東	観察所見 4.5号道から出土した以下の足跡はすべてH-Fa (S1)を踏み、H-Fa (S3下部)の細粒砂によって埋没している。踵部分は僅かな窪み認められる。爪先は指の窪みが浅く不明瞭である。土踏まずの形状から右足とみられる。
4	4号道	117	(20.0)	9.5	不明	南東	爪先部分の残存状況はやや不良、踵は強く踏み込まれておらず、重複か傾斜のため滑った可能性がある。
4	4号道	118	(18.5)	7.5	不明	南東	119と重複する。爪先部分は遺失しているが、踵部分は明瞭に残存し、強く踏み込まれた様相が窺える。
4	4号道	119	27.5	11.5	左	南東	踵部分の残存状況はやや不良である。爪先部分は指の窪みが残存する。子供の足跡の可能性はある。
4	4号道	120	20.5	10.0	右	南東	爪先は指の窪みが僅かに残存する。踵部分は強く踏み込まれ深く沈み込む、裸足の右足である。
4	4号道	121	21.0	7.0	左?	東	踵部分は強く踏み込まれ輪郭が明瞭である。爪先部分の残存状況は不良である。
4	4号道	122	21.0	9.5	右	南東	爪先部分の残存状況は不良である。踵部分も窪みも僅かに残存する。
4	4号道	123	20.5	11.5	左?	東	踵部分及び爪先部分が僅かに残存する。指の僅かな窪みも認められるが不明瞭である。平面形状から右足と考えられる。
4	4号道	124	11.5	7.0	右	南東	踵部分に強く踏み込まれず形状も不明瞭である。爪先部分は平坦面である。爪先部分は、指の窪みが不明瞭である。
4	4号道	125	18.0	7.0	右	南東	全体的に残存状況は不良である。踵部分は平坦面である。爪先部分は、指の窪みが不明瞭である。
4	4号道	126	23.5	10.0	右	南東	踵部分と爪先部分が強く踏み込まれた様相が窺える。指の窪みは僅かに残存する。
4	4号道	127	25.5	9.5	右?	南	爪先部分が僅かに残存する。親指の窪みが明瞭である。踵部分は不明瞭である。底面はほぼ平坦面である。
4	4号道	128	21.5	9.5	右	南東	爪先部分が良好に残存し、特に親指の窪みが明瞭である。踵部分はやや踏み込まれた様相が窺える。底面はほぼ平坦面である。
4	4号道	129	21.5	9.0	右	東	踵部分の窪みはやや浅く、爪先部分は中指、薬指の窪みが僅かに残存する。裸足の右足とみられる。
4	4号道	130	20.5	9.0	右	南	残存状況は良好である。爪先部分は指の窪みが明瞭に残存し、踵部分も強く踏み込まれた様相が窺える。裸足の右足である。
4	4号道	131	21.0	10.0	右	南	底面は僅かな凹凸が見られるがほぼ平坦面である。踵部分の窪みは浅く、強く踏み込まれた様相ではない。指の僅かな窪みが認められる。形状はやや細長く、履物の可能性がある。
4	4号道	132	22.0	8.5	右	南東	履物か
4	4号道	133	17.5	8.0	不明	東	履物か
4	4号道	134	17.5	7.5	左	南東	底面はほぼ平坦面である。爪先部分は指先の窪みが不明瞭である。踵部分の窪みは方形である。
4	4号道	135	24.5	(10.0)	右	南東	平面形状は長方形であり、底面は平坦面である。指先の窪みはほとんど残存せず不明瞭である。
4	4号道	136	(15.5)	9.5	不明	東	底面は平坦面である。踵部分は残存するが爪先部分は先端が細く不明瞭である。
4	4号道	137	12.5	6.0	東	東	踵部分は深く沈み込み、強く踏み込まれた様相が窺える。指先部分は残存せず。底面はほぼ平坦面である。別の足跡に踏まれたか。
4	4号道	138	(8.0)	8.5	右	南東	踵部分の窪みは方形である。爪先部分は凹形で、指の窪みは認められない。履物などを履いていた可能性もある。
4	4号道	139	18.5	9.0	左	南東	形状から部分は深く沈み込み、強く踏み込まれた様相が窺える。爪先部分は親指と中指の窪みが認められる。土踏まずなどの形状から左足と考えられる。
4	4号道	140	21.5	9.5	右	南東	平面形状は楕丸長方形である。指の付け根が直線状に隆起する。指の窪みは不明瞭である。僅かな凹点は認められるがほぼ平坦面である。草鞋のような履物の可能性がある。
4	4号道	141	23.5	8.5	不明	南東	踵部分は小さく、踏み込みも浅い。爪先部分は指の窪みが不明瞭である。全体に残存状況は不良である。
4	4号道	142	19.5	8.0	右	東	残存状況は良好である。踵部分の窪みが認められる。爪先部分は指の窪みが認められない。履物などを履いていた可能性がある。
4	4号道	143	18.0	7.0	右	南東	踵部分の窪みは不明瞭である。爪先部分は残存状況は不良である。底はほぼ平坦面であり、履物をはいていた可能性がある。
4	4号道	144	13.0	7.0	不明	南東	残存状況は不良である。爪先部分が僅かに残存する。踵部分は殆ど認められない。傾斜のため爪先部分が沈み込み残存しなかったか。
4	4号道	145	17.0	6.0	右	南東	中央部の隆起を境に左右に窪みが認められる。指先の窪みは僅かに認められる。
4	4号道	146	25.0	(6.5)	不明	東	踵部分が明瞭に残存する。爪先部分は全体的に残存できなかつた。
4	4号道	147	16.0	9.0	左	南	残存状況は不良である。踵部分の窪みが僅かに残存する。爪先部分はほぼ平坦面であり、指の細かな窪みは認められない。土踏まずの形状などから左足と考えられる。
4	4号道	148	23.0	9.0	左	南東	底面はほぼ平坦面であり、残存状況はやや不良である。爪先部分は指の窪みが僅かに認められる。
4	4号道	149	15.5	6.5	左	南東	残存状況は不良である。踵部分は深く沈み込む。爪先部分は指の窪みが残らずややSIが乱れた状況である。
4	4号道	150	14.5	8.0	右	東	爪先部分は親指の窪みが残存する。底面はほぼ平坦面であり、踵部分は強く踏み込まれていない。
4	4号道	151	23.5	9.5	右	南東	爪先部分は指の窪みが良好に残存する。踵部分も深く沈み込み、強く踏み込まれた様相が窺える。裸足の右足と考えられる。
4	4号道	152	24.5	10.5	左?	南東	底面は凹凸が認められやや乱れている。指や踵部分の窪みは残存状況が不良である。踵部分がやや小さいことから子供の足跡の可能性はある。
4	4号道	153	19.0	7.5	左	東	残存状況は良好である。踵部分は強く踏み込まれた様相が窺える。爪先部分は親指から小指までそれぞれ指の窪みが確認できる。
4	4号道	154	(15.0)	9.5	不明	東	161と重複する。161も残存状況は不良であるが平面形状から154が後から踏まれたとみられる。踵部分は明瞭に確認できる。爪先部分は残存せず。
4	4号道	155	18.0	9.0	左	南東	踵部分はやや小さく、強く踏み込まれた様相が窺える。指の窪みや強く踏み込まれ輪郭が明瞭である。
4	4号道	156	18.5	8.0	左?	南東	踵部分は深く踏み込まれた様相が窺える。指の僅かな窪みが認められる。親指がやや強く踏み込まれた様相が明瞭である。
4	4号道	157	22.0	8.5	左	南東	爪先部分は指先の窪みは認められない。踵部分は強く踏み込まれている。土踏まずの形状も残存する。指先の窪みが認められないことから履物の可能性がある。
4	4号道	158	14.5	9.5	不明	南東	160と同様に形状は長方形である。爪先部分は指の付け根部分が隆起する。160よりやや小さい足跡である。履物の可能性がある。
4	4号道	159	14.5	9.5	不明	南東	160と僅かに重複する。踵部分及び爪先部分の残存状況は不良である。指の窪みは認められない。
4	4号道	160	19.0	9.5	不明	北	158と重複する。160が新しい。形状は長方形である。爪先部分は僅かな指の窪みが認められる。底面はほぼ平坦面であり履物の可能性がある。
4	4号道	161	16.5	9.5	左	東	残存状況は不良である。爪先部分は僅かに残存し、踵部分も底面が乱れ不明瞭である。
4	4号道	162	16.5	8.0	左	南	踵部分が僅かに残存する。爪先部分は指の窪みが不明瞭である。全体的に残存状況は不良である。
4	4号道	163	19.5	7.5	左	東	全体的に幅が狭いが残存状況は良好である。爪先部分は親指の窪みが明瞭に残存する。踵部分はやや小さいが強く踏み込まれた様相が窺える。
4	4号道	164	19.5	8.0	右	南	踵部分は明瞭に残存する。爪先部分は指の窪みが認められず、やや乱れている。底面はほぼ平坦面である。履物などを履いていた可能性がある。
4	4号道	165	21.0	7.5	左	東	裸足の左足と考えられる。指の窪みは良好に残存する。踵部分も深く沈み込む。

区	遺構	No.	長さ(cm)	幅(cm)	左・右	歩く方向	備考
							観察所見
4	4号道	166	14.5	6.5	右	東	167と重複する。残存状況は不良である。踵部分と爪先部分が僅かに認められる。踵縁から子供の足跡の可能性がある。
4	4号道	167	11.5	6.0	左	南東	167とほぼ規格は同じである。形状も類似する。残存状況は不良であり、子供の足跡の可能性がある。
4	4号道	168	23.5	12.0	右	南東	全体に深く沈み込み、輪郭が明瞭である。底面には僅かな凹凸が見られるが、指先の窪みは確認できず。踵部分もやや小さい。履物などを履いていた可能性がある。
4	4号道	169	14.0	6.5	左	南	残存状況は不良である。踵部分と親指の窪みが僅かに残る。底面はほぼ平坦である。
4	4号道	170	22.5	8.5	右	南東	爪先部分は親指の窪みが明瞭である。特に踵部分がほぼ平坦面であり、線状に連続する細い窪みにH-F A (S3)の細粒砂が入り込む様相から草履など履物の可能性がある。
4	4号道	171	20.0	7.0	右	南東	踵部分の残存状況は良好である。指の僅かな窪みが認められる。踵以外は底面がほぼ平坦面である。
4	4号道	172	23.0	8.0	左	東	指の窪みが僅かに認められる。底面はほぼ平坦面である。踵部分の窪みは浅く不明瞭である。
4	4号道	173	22.5	8.0	左?	東	残存状況は不良である。踵部の窪みが僅かに認められ、指先も不明瞭である。土踏まずの形状から左足の可能性がある。
4	4号道	174	15.5	6.5	不明	南東	残存状況は不良である。踵部分及び爪先部分の指の窪みが僅かに残存する。左右は確認できなかつた。
4	4号道	175	15.0	5.0	右?	南東	残存状況はやや不良であり、踵部分と爪先部分が僅かに残存する。全体の形状から右足の可能性がある。
4	4号道	176	12.5	8.0	右	南	残存状況は不良である。規格から子供の可能性がある。指の窪みは僅かに残存するが不明瞭である。
4	4号道	177	16.5	9.5	右?	東	踵部分が僅かに確認できる。爪先部分は不明瞭である。複数の足跡によって踏まれていることから残存しなかつたと考えられる。
4	4号道	178	24.0	8.5	右?	南東	179と重複しているため踵部分を遺失している。爪先部分は指先の窪みが不明瞭。僅かに残り右足と考えられる。
4	4号道	179	13.5	8.0	右	南東	178と重複し踵部分を踏み込んでいる。指先小さな窪みが僅かに残る。踵部分には小さな窪みとなっている。子供か
4	4号道	180	10.0	5.0	右	北東	残存状況は不良である。踵部分の踏込は弱く、爪先部分は親指の窪みか僅かに残存するのみである。
4	4号道	181	23.5	9.0	左	東	残存状況は不良である。指先部分が僅かに残存する。全体的に凹凸が認められ、踵部分も不明瞭である。
4	4号道	182	16.0	9.0	右	南東	踵部分の窪みが浅く、爪先部分はやや乱れ、指の窪みは不明瞭である。土踏まずの形状などから右足と考えられる。
4	4号道	183	17.0	7.0	左	南東	184と重複する。踵部分は深く沈み込み強く踏み込まれた様相が窺える。爪先部分は他の足跡との重複のためやや不明瞭である。
4	4号道	184	17.0	6.5	不明	南東	残存状況は不良である。183と重複する。底面は僅かな凹凸が認められるがほぼ平坦面である。踵部分の窪みも浅い。
4	4号道	185	21.0	8.0	右	南東	踵部分が強く踏み込まれている。指先も親指から中指まで形状が残存する。裸足とみられる。
4	4号道	186	24.0	8.0	右	東	幅がやや短い。踵部分と爪先部分が残存する。爪先部分は指の窪みが認められなかつた。土踏まずの部分もやや乱れた状況であり、火山灰が足に張りついていたか。
4	4号道	187	25.5	(11.5)	左	南東	平面形状は隅丸長方形である。底面はほぼ平坦面であり、踵部分は不明瞭である。爪先部分は指の窪みが残存せず草履など履物の可能性がある。
4	4号道	188	25.0	8.0	左	北西	底面はほぼ平坦面である。踵部分及び爪先部分の残存状況は不良である。土踏まずの部分も不明瞭である。
4	4号道	189	22.0	9.0	左	南東	爪先部分は親指の窪みが認められ、他の指との間が開いた状態である。踵部に強く踏み込まれた様相が窺えない。
4	4号道	190	20.0	8.0	右	北	爪先部分は親指が窪み、他の指との間が開いた状態である。踵部に強く踏み込まれた様相が窺えない。
4	4号道	191	17.5	9.5	右	西	踵部分が僅かに窪む。爪先部分の残存状況は不良である。底面はほぼ平坦面である。
4	4号道	192	19.5	7.5	左	南東	踵部分から爪先部分にかけて良好に残存する。全体的に強く踏み込まれた様相が窺える。指の小さな窪みは不明瞭である。履物などを履いていた可能性がある。
4	4号道	193	17.5	5.5	右?	南東	踵部分は強く踏み込まれた様相が窺える。爪先部分は指の窪みが認められなかつた。踵部分の窪みも不明瞭である。
4	4号道	194	16.5	7.0	左	東	踵部分は僅かに残存する。爪先部分は指の窪みが窺える。指の窪みは確認できなかつた。形状から履物の可能性がある。
4	4号道	195	20.5	8.5	不明	南東	踵部分はほぼ平坦面である。中央部から爪先部分にかけて残存状況はやや不良であるが、爪先部分は帯状に窪み先端は直線状となる。履物の可能性がある。
4	4号道	196	18.5	7.5	左	東	195と類似する。中央部から爪先部分にかけて残存状況はやや不良であるが、爪先部分は帯状に窪み先端は直線状となる。履物の可能性がある。
4	4号道	197	20.0	(8.0)	右	東	198と重複する。踵部分には直線状に窪みがある。底面はほぼ平坦面である。
4	4号道	198	24.0	(11.0)	不明	西	187と207と重複する。踵部分には不明瞭に窪みがある。底面はほぼ平坦面である。
4	4号道	199	(21.5)	(7.5)	不明	西	底面はほぼ平坦面である。指先の窪みは確認できなかつた。踵部分の窪みも不明瞭である。
4	4号道	200	(14.5)	7.5	右	南	残存状況は不良である。爪先部分は直線状となり指一つひとつの窪みは認められない。底面はほぼ平坦面であるが、踵部分と爪先部分が中央で別れそれぞれ一段低くなっている。履物の可能性がある。
4	4号道	201	22.0	(11.0)	不明	南東	踵部分と爪先部分の窪みが残存するかやや不良である。踵部分は強く踏み込まれた様相が窺える。指の窪みも僅かに残存する。
4	4号道	202	22.5	8.5	左	南東	踵部分の形状は方形である。爪先部分は不明瞭である。全体的に残存状況は不良である。
4	4号道	203	15.0	8.5	左	南東	踵部分の形状は方形である。爪先部分は不明瞭である。全体的に残存状況は不良である。
4	4号道	204	20.0	10.0	右	東	踵部分には明瞭に残存する。爪先部分は不明瞭である。
4	4号道	205	(9.5)	8.5	左	南	爪先部分を含めた半分が残存する。指の窪みは認められなかつた。3号人骨の周辺で確認した足跡である。
4	4号道	206	11.0	6.0	右	南東	平面形状は長方形である。爪先部分は直線状に窪む。底面はほぼ平坦面である。履物の可能性がある。
4	4号道	207	27.0	(12.0)	不明	東	199と重複する。残存状況はやや不良である。確認状況は199と同じである。
4	4号道	208	26.0	9.5	右	西	踵部分は深く沈み込み強く踏み込まれた様相が窺える。親指の窪みは確認できなかつた。他は不明瞭である。
4	4号道	209	19.0	9.5	右	南西	踵部分は強く踏み込まれた様相が窺えずやや浅い窪みである。爪先部分から爪先部分が別の足跡と重複する可能性がある。
4	4号道	210	23.0	11.0	右	南	踵部分が残存し、爪先部分は不明瞭である。平面形状から爪先部分が別の足跡と重複する可能性がある。
4	4号道	211	18.0	10.5	左	南	土踏まずから踵部分にかけて凹凸が認められる。爪先部分は指の窪みか僅かに残存する。
4	4号道	212	(20.0)	10.5	右	南	爪先部分が全体に深く沈み込み、指の窪みが明瞭ではない。踵部分の沈み込みはやや浅い。
4	4号道	213	(17.0)	8.0	不明	南	足跡の一部のみが残存し、確認状況から左右は明確ではない。
4	4号道	214	19.5	9.0	右	南	踵部分が深く沈み込んでいない。爪先部分は指の窪みが認められない。足跡の側面はオーバーハングした状況である。履物の可能性がある。
4	4号道	215	20.0	8.0	左	南東	爪先部分は方形で、底面は中央部分が隆起する。踵部分は僅かに残存するが、踏込みははやや浅い。

区	遺構	No.	長さ(cm)	幅(cm)	左・右	歩く方向	備考	観察所見
4	4号道	216	18.5	9.0	不明	南	踵部分が明瞭に窪む。爪先部分は指の備かな窪みが認められる。左右は不明瞭で明確ではない。	
4	4号道	217	23.0	10.5	不明	南東	爪先部分は指の小さな窪みが認められる。底面は全体に凹凸が認められ、踵部分が不明瞭である。	
4	4号道	218	17.5	6.0	右	東	平面形状は輪郭が不明瞭である。別の足跡と重複している可能性がある。踵部分は輪郭が明瞭であるが、爪先部分は指の窪みが確認できなかった。	
4	4号道	219	17.5	7.0	左	西	平面形状はやや細長い楕円長方形である。親指の窪みが備かた認められ裸足の左足と考えると、爪先以外はほぼ平坦面である。	
4	4号道	220	20.0	10.0	不明	西	平面形状は楕円長方形である。底面に下駄の窪みが認められる。窪みの一つは直線状に深く、二本歯の下駄の可能性がある。	
4	4号道	221	21.5	10.5	右?	東	踵部分がやや不明瞭である。爪先部分が明瞭に残存することから前方に重心がかかったとみられる。指の備かな窪みが認められる。底面はやや乱れ凹凸が認められる。	
4	4号道	222	22.0	9.5	右	南東	爪先部分から踵部分まで残存状況は良好である。踵部分は深く沈み込む。爪先部分は指の窪みが不明瞭である。履物などを用いていた可能性もある。	
4	4号道	223	20.0	8.5	左	南東	踵部分から爪先部分まで残存状況は良好である。底面には備かに凹凸が認められるがほぼ平坦面である。指の窪みは不明瞭である。履物などの可能性がある。	
4	4号道	224	26.5	13.0	右	南東	底面はほぼ平坦面であり、草履のような痕跡が認められる。爪先部分や指の付け根の窪みなど凹凸が備かに認められる。平面形状から履物の可能性がある。	
4	4号道	225	19.5	9.0	右	北西	225と重複し、踵部分が明瞭に残存する。爪先部分は指の窪みが認められなかった。底面はほぼ平坦面である。	
4	4号道	226	(15.5)	6.0	左	北西	226と重複する。爪先部分は225によって踏み込まれたとみられる。踵部分は強く踏み込まれ輪郭が明瞭である。	
4	4号道	227	26.5	11.0	左	南東	底面の凹凸が小さいが指のわずかな窪みが認められる。踵部分の沈み込みはやや浅い。土踏ますの部分はほぼ平坦であり、履物の可能性がある。	
4	4号道	228	22.0	9.5	左	南東	爪先部分は指の窪みが認められ残存状況は良好である。踵部分は深く沈み込む。残存状況から裸足の左足と考えると、履物の可能性がある。	
4	4号道	229	20.0	9.0	右	南	底面はやや乱れ凹凸が認められる。踵部分は踏み込みがやや浅い。爪先部分は別の足跡と重複したことによって遺失した可能性がある。	
4	4号道	230	12.0	7.0	左	南	残存状況は良好ではない。爪先部分の痕跡が備かに認められる。223との重複によって遺失したと考えられる。	
4	4号道	231	15.5	(5.0)	不明	南	223と重複する。踵部分から爪先部分まで残存状況は良好である。底面はほぼ平坦面であり、指の窪みは不明瞭である。	
4	4号道	232	21.5	12.0	不明	南	底面は全体に凹凸が認められる。爪先部分は不明瞭で、指の窪みは確認できなかった。	
4	4号道	233	21.0	(4.0)	右	南	234と重複し234によって左半部が踏まれたと考えられる。爪先部分は指の備かな窪みが認められる。	
4	4号道	234	23.5	9.0	右	北	233と重複し底面はほぼ平坦面である。爪先部分は指の窪みが備かに認められる。平面形状から履物の可能性がある。	
4	4号道	235	20.0	8.0	右	南東	長軸に対して短軸がやや狭い。踵部分の窪みが認められる。爪先部分は指の窪みが不明瞭である。	
4	4号道	236	17.5	6.0	右	北西	ほぼ垂直に踏み込まれた線相が窺える。爪先部分は指の窪みを確認できなかった。踵部分はやや細い。	
4	4号道	237	26.5	8.0	右	北西	踵部分が沈み込み輪郭が明瞭である。爪先部分は残存状況がやや不良である。別の足跡と重複している可能性もある。	
4	4号道	238	20.0	7.0	右	南	踵部分は踏み込みがやや浅い。爪先部分が深く沈み込み、指の備かな窪みが認められる。裸足の右足と考えると、履物の可能性がある。	
4	4号道	239	(19.0)	9.5	不明	南東	240と重複し240によって踏まれたと考えられる。平面形状は長方形である。底面はほぼ平坦面であることから履物の可能性がある。	
4	4号道	240	(17.5)	12.0	右	南東	239と重複し239よりもやや幅が広い。平面形状から履物の可能性もある。	
4	4号道	241	17.0	5.5	左	南東	踵部分が備かに窪み、平面形状は長方形である。爪先部分は指の窪み認められず不明瞭である。	
4	4号道	242	26.0	9.5	右	南東	底面には山吹(S)が備かに残存することから足の裏に張り付いた可能性がある。踵部分の沈み込みは浅い。爪先部分は指の窪みか不明瞭である。平面形状などから履物の可能性もある。	
4	4号道	243	21.5	8.5	右	南東	形状は楕円長方形である。底面に線状の窪みが認められる。爪先部分の中央に丸い窪みがある。突起物によって窪んだものか。左右側面にも孔が認められる。草鞋など履物の可能性がある。	
4	4号道	244	21.0	(8.0)	左	南東	245と重複し残存状況は不良である。踵部分が備かに残存する。底面はほぼ平坦面である。	
4	4号道	245	18.5	5.5	不明	北西	224と重複し踵部分から爪先部分まで備かに残存する。指の窪みが備かに認められる。	
4	4号道	246	16.5	6.5	左	西	残存状況は不良である。踵部分の窪みが備かに残存する。爪先部分は指の窪みが不明瞭で確認できなかった。	
4	4号道	247	(8.5)	6.5	左	東	248と重複する。後から踏み込まれたため、踵部分は残存しない。爪先部分は親指の窪みが明瞭に残存する。裸足の左足と考えると、履物の可能性がある。	
4	4号道	248	14.0	5.0	左	東	247と249と重複する。踵部分が明瞭に残存するが、指先の窪みは確認できない。大ききから子供の足跡か。	
4	4号道	249	(11.0)	5.5	不明	東	248と重複し、踵部分のみが残存する。248に踏み込まれたと考えると、履物の可能性がある。	
4	4号道	250	14.5	7.0	左	東	爪先部分は指の窪みが認められなかった。踵部分も沈み込みがやや浅く小規模である。全体に残存状況は不良である。	
4	4号道	251	14.0	5.5	右	北	踵部分は深く沈み込む。爪先部分は指の窪みが認められず不明瞭である。土踏ますの形状などから右足と考えると、履物の可能性がある。	
4	4号道	252	25.0	8.5	右	南東	中央部分が隆起し前後に分かれる。爪先部分は指の窪みが認められず不明瞭である。履物の可能性がある。1区3号道には類似する足跡がある。	
4	4号道	253	15.0	6.0	左	南東	踵部分の残存状況は不良である。爪先部分も指の窪みは確認できず不明瞭である。	
4	4号道	254	19.0	7.5	右	南	底面はほぼ平坦面である。踵部分は方形で爪先部分が凹凸が確認できなかった。	
4	4号道	255	22.5	8.5	右	東	爪先部分は指の窪みが残存する。踵部分も窪みが備かに認められる。底面は凹凸が認められぬいている。	
4	4号道	256	22.0	9.0	左	東	底面はほぼ平坦面である。爪先部分は指の窪みを確認できなかった。平面形状から左足と考えると、履物の可能性がある。	
4	4号道	257	22.0	9.5	右	南東	踵部分が258と重複する。爪先部分は指の備かな窪みが認められる。踵部分はほぼ平坦面である。	
4	4号道	258	(14.0)	9.0	右	北西	257と重複し257よりも底面に凹凸が認められる。親指のような窪みが認められることから右あしと考えると、履物の可能性がある。	
4	4号道	259	20.0	10.0	左	東	踵部分が小さく丸く窪む。親指とみられる指の窪みが認められる。	
4	4号道	260	11.0	8.0	右	南	親指から子供の足跡の可能性もある。踵部分が明瞭に残存するが、強く踏み込まれた線相が窺えない。爪先部分は指の小さな窪みが残存する。	
4	4号道	261	24.0	10.0	右	南東	爪先部分と踵部分の先端がそれぞれやや平ら。底面はほぼ平坦面である。残存状況は全体にやや不良である。	
4	4号道	262	15.0	5.5	左	東	踵部分が小さく窪む。爪先部分は指の窪みが確認できなかった。底面はほぼ平坦面である。	
4	4号道	263	16.5	8.5	不明	南東	262と類似する。底面はほぼ平坦面である。指の窪みは備かに残存するが不明瞭である。	
4	4号道	264	20.0	8.0	右	南東	全体に沈み込みが浅い。平面形状は長方形で、底面はほぼ平坦面である。履物などを履いていた可能性がある。	
4	4号道	265	23.0	8.5	右	南	爪先部分が深く沈み込んだ状態である。爪先以外はほぼ平坦面である。確認状況から履物の可能性がある。	

区	遺構	No.	長さ(cm)	幅(cm)	左・右	歩く方向	備考
4	4号道	266	15.5	9.0	右	南	観察所見 267と重複し287に踏まれたため爪先部分は残存しない。踵部分は輪郭が明瞭である。
4	4号道	267	15.5	6.0	不明	東	短板がやや小さい。266との重複し残存状況から267があとから踏み込んだと考えられる。爪先部分は指の窪みが確認できなかつた。
4	4号道	268	15.5	7.5	右	南東	爪先部分は残存するが、踵部はやや不明瞭である。指の窪みは認められなかつた。
4	4号道	269	17.5	9.5	左	南東	踵部分は確認できるが爪先部分は指の窪みが僅かに認められる。他の足跡との重複によって残存状況は不良である。
4	4号道	270	17.0	9.0	右	南	底面はほぼ平坦面であり、細く線状の窪みに細粒砂が入り込む。草履などの履物の可能性がある。踵部分はやや小さく形状は不明瞭である。爪先部分は指の窪みが確認できなかつた。
4	4号道	271	19.5	8.0	左	西	残存状況は不良である。爪先部分が僅かに残存する。踵部分は沈み込みが浅い。滑った様相が窺える。
4	4号道	272	21.0	7.0	不明	北西	親指の窪みが確認できる。踵部分の沈み込みが浅い。側面はオーバーハンダした状況が認められる。
4	4号道	273	15.5	12.0	左	西	爪先部分がやや広がりが指の窪みは確認できなかつた。踵部分も輪郭が不明瞭で履板がやや小さい。
4	4号道	274	23.5	9.5	不明	南東	275と爪先部分で重複する。底面はほぼ平坦面である。左右を明確に判断できなかつた。
4	4号道	275	17.5	7.0	右	南東	74と重複し274と同様に底面はほぼ平坦面である。踵部分は指の窪みか確認できる。
4	4号道	276	17.5	7.5	左	南西	残存状況は不良である。踵部分は深く沈み込む。爪先部分は指の窪みが確認できる。
4	4号道	277	19.5	8.0	右	南	踵から爪先まで底面は、ほぼ平坦面で、土踏まずがみられない。指先がやや小さな窪みが認められる。
4	4号道	278	22.5	12.0	左	南東	土踏まずの形状から左足とと考えられる。底面の凹凸が著しく、指先の窪みは不明瞭である。足裏に火山灰が張り付いたためなのか、踵部分は深く沈み込むように踏み込まれた様相が認められる。
4	4号道	279	22.5	8.5	左	南東	爪先から踵部分まで深く沈み込むように踏み込んでいる。全体の形状は明瞭である。親指の窪みは僅かに確認できるが、他の指は不明瞭である。裸足と考えられる。
4	4号道	280	16.0	8.5	不明	北西	281と重複のため残存状況は不良。指先は全体的に窪むため左右は不明。踵部分が僅かに確認できる。
4	4号道	281	20.0	(8.0)	不明	北西	280と重複のため残存状況は不良。爪先から右足で、280が新か。
4	4号道	282	16.0	8.0	左	南西	爪先は親指部の窪みがやや認められるが他の指先の窪みは不明瞭である。土踏まず部分の形状から左足とと考えられる。踵は方形で深く沈み込むように踏み込まれた様相は認められない。
4	4号道	283	22.5	9.5	右	南東	爪先の指の窪みが明瞭に残存するが、人差し指から小指までは3カ所の窪みのみ残存する。平面形状はやや楕円形に近く、底面はほぼ平坦で、線状の窪みが僅かに認められる。草履のような履物の可能性もある。
4	4号道	284	16.0	7.0	右	北西	285と重複するため爪先部分は不明瞭である。踵は力強く踏み込んだ様相である。右足の外側から内側に滑り込んでいる。
4	4号道	285	25.5	12.0	左	南東	284と重複し、確認状況から285が上から踏んでいると考えられる。爪先は親指の窪みが明瞭に認められ、指の付け根部分の高まりが残存する。土踏まずは不明瞭であるが、踵は僅かに確認できる。火山灰の粘性が高く足裏に張り付いたため凹凸が残ったか。
4	4号道	286	14.5	7.0	右	南東	平面形状から右足とと考えられる。火山灰の粘性によって足跡の凹凸が著しい。指の窪みは不明瞭である。
4	4号道	287	17.5	9.5	左	南東	平面形状は長方形である。裸足と形状が異なることから履物の可能性がある。下駄のような歯の痕はなく、草履のような繊維状の窪みが僅かに確認できるが明確ではない。
4	4号道	288	18.5	10.0	左	北西	289と重複する。爪先の方向はそれぞれ逆である。踵部分は狭く指先部分が広い略三角形の形状である。指先の窪みは認められない。
4	4号道	289	20.0	8.5	右	南東	288と重複する。平面形状は踵部分がやや窄み、爪先部分がやや広い。指先の窪みはない。下駄の歯のような突起物によって踏み込まれたような痕が2カ所認められる。直線状の窪みは凹凸がやや狭い。
4	4号道	290	15.0	7.0	不明	北西	平面形状は楕円長方形で、短軸中央部分が直線上に隆起する。爪先側と踵側の底面がほぼ平坦面である。指先の窪みは認められない。何らかの履物か。
4	4号道	291	21.0	7.0	左	南東	爪先の親指の形状が残存することから左足と考えられる。底面は凹凸が著しい。足裏に火山灰が張り付いたか。踵部分はやや小さな窪みであるが、輪郭が明瞭で、深く沈み込んでいる様相が窺える。裸足と考えられる。
4	4号道	292	14.0	6.5	左	北西	293との重複のため爪先の窪みはやや不明瞭である。踵部分は輪郭が明瞭で深く沈み込むように踏み込まれている。底面は凹凸が著しい。
4	4号道	293	22.5	8.0	右	南東	292・294と重複する。平面形状はやや不明瞭である。踵部分と指先部分の形状がほぼ平坦面である。指先の窪みは認められない。裸足と考えられる。
4	4号道	294	21.0	12.5	右	南東	293と重複する。平面形状から右足とと考えられ、外側がほぼ垂直に立ち上がり、滑った様子は認められない。爪先部分に僅かな窪みが認められるが不明瞭で、指の付け根の辺りがやや膨らみを帯びている。裸足か。
4	4号道	295	15.5	8.0	右	北西	296と重複し、296に踏まれている。土踏まず部分の形状から右足とと考えられる。爪先部分の指の窪みは殆ど認められない。別の足跡によって潰れてしまったか。踵部分も296によって不明瞭である。
4	4号道	296	23.5	10.0	不明	東	295と重複し296が後から踏んだと考えられる。前後に2カ所の楕円長方形が並ぶような形状である。爪先には指先の窪みが残存し、他の指の窪みは認められない。火山灰が軟らかい草履状の痕跡は認められないか履物の可能性がある。
4	4号道	297	17.5	8.0	左	南東	298と重複する。平面形状は略三角形で、踵部分は288によって踏まれたため不明瞭である。親指の窪みが残存し、他の指の窪みは認められない。火山灰が軟らかいため足が深く沈み込む様相が窺える。
4	4号道	298	26.0	10.0	右	東	土踏まず部分の形状から右足とと考えられる。底面はほぼ平坦で、指先の窪みは不明瞭である。火山灰が足裏に張り付いたような痕が認められる。踵部分は明瞭に残存する。
4	4号道	299	17.0	6.5	右	南東	297と重複する。踵部分と爪先部分の2カ所の窪みから足跡とした。指先の窪みは不明瞭である。踵から深く沈み込むように踏み込んで歩いたと考えられる。
4	4号道	300	12.5	6.0	右	北西	土踏まずの形状や踵部分より爪先部分が広いことから右足と考えられる。指先の窪みは認められない。底面形状はほぼ平坦であり、やや短い直線状の窪みが全体に残存する。履物の可能性がある。
4	4号道	301	14.0	7.0	左?	南東	指先の窪みが僅かに認められるが全体的に不明瞭である。外側部分がやや垂直に踏み込まれた様相である。
4	4号道	302	20.0	9.5	左	北	303と重複し302が後から踏む。爪先部分は指の窪みが僅かな窪みは認められるが不明瞭である。指の付け根部分が直線上に膨らむ。踵部分の踏み込みも僅かに残存する。底面は凹凸が著しい。
4	4号道	303	16.0	6.5	不明	西	302と重複し302に踏まれる。爪先や指の窪みが僅かに確認できる。残存状況は不良である。
4	4号道	304	18.0	10.0	右	南東	302・303と重複し304が後から踏んだと考えられる。平面形状は楕円長方形で、底面はほぼ平坦面である。草履のような連続する直線状の痕が認められる。緒のような窪みが先端部分に認められる。履物の痕跡か。
4	4号道	305	18.0	9.0	左?	北東?	302・303と重複する。踵部分は重複のため不明瞭である。土踏まず部分も四角い形状で、指の窪みは明確ではない。親指がやや窪むとすると左足か。

区	遺構	No.	長さ(cm)	幅(cm)	左・右	歩く方向	備考
4	4号道	306	17.0	7.0	左?	北西	指先部分の窪みは僅かに残存するか不明瞭である。踵の足跡と重複する可能性もある。
4	4号道	307	26.0	11.5	右?	北西	平面形状は楕円形である。指先の窪みは残存しない。草鞋のような直線状の連続した窪みが僅かに認められる。履物か。
4	4号道	308	24.0	8.0	左	南	親指、中指、小指とみられる指の窪みが確認できる。踵部分の踏み込みも残存する。底面は全体に凹凸が著しい。裸足と考えられる。
4	4号道	309	21.5	9.0	左	東	爪先は親指以外の窪みが不明瞭である。踵部分とそれ以外の二つに分かれているような状態である。踵部分にはほぼ平坦面である。
4	4号道	310	17.5	7.0	左	北西	爪先部分の指先の窪みが不明瞭で、親指部分とそれ以外の二つに分かれているような状態である。踵部分にはほぼ平坦面である。
4	4号道	311	15.0	(6.5)	左?	北西?	爪先部分は半円形である。踵部分が深く沈み込むように踏み込まれている。指の窪みは不明瞭である。底面に凹凸が認められる。
4	4号道	312	22.5	8.5	右	南	313と重複する。指の窪みの残存状況は良好であり、右足の裸足と考えられる。踵部分も僅かな窪みが確認できる。
4	4号道	313	18.0	7.0	右	南東	312と重複する。親指の窪みが僅かに残存し、他の指の窪みはやや不明瞭である。踵部分はやや変形しているが、深く沈み込むように踏み込まれた状況が窺える。
4	4号道	314	(15.5)	8.0	左	南東	踵部分の踏み込みは明瞭に残存するがほぼ平坦面である。親指部の僅かな窪みから左足と考えられる。
4	4号道	315	24.0	8.0	不明	東	平面形状は楕円形を呈する。踵部分はやや半円状である。底面はほぼ平坦面であり、連続する筋状の窪みが顕著である。草鞋のような繊維質の束の痕跡がある。
4	4号道	316	16.5	10.0	不明	東	平面形状は略三角形を呈する。踵部分はやや小さな窪みで、指の窪みも不明瞭である。指の付け根部分が隆起が直線状に認められる。やや凹凸が著しい。
4	4号道	317	19.0	9.0	左	北東	320・321と重複する。土踏まずの形状から左足の裸足と考えられる。指先の僅かな窪みが認められる。踵部分には直線状の連続した窪みがある。履物か。
4	4号道	318	14.5	6.5	右	北	317と重複する。指先の窪みが僅かに残存するか不明瞭である。317によって踏まれたため踵部分も認められない。裸足と考えられる。
4	4号道	319	16.0	10.0	不明	南東	318と重複する。318が319を踏み、残存状況はやや不良である。318に類似し、底面には直線状の連続した窪みが認められる。履物か。
4	4号道	320	(10.5)	12.0	右	南東	317と重複する。指先の窪みが僅かに残存するか不明瞭である。317によって踏まれたため踵部分も認められない。裸足と考えられる。
4	4号道	321	(11.0)	10.0	不明	南	317と重複する。指先の窪みが強く踵部分が細くなったと考えられる。重複のため指先の窪みは確認できない。
4	4号道	322	20.5	8.5	右	北東	爪先部分の輪郭が不明瞭である。土踏まずの形状から右足の可能性がある。底面は全体の凹凸が認められる。
4	4号道	323	20.5	9.0	右	南東	全体に輪郭が不明瞭である。親指の窪みが僅かに認められることから右足の裸足と考えられる。
4	4号道	324	13.5	6.5	左?	北東	323と重複し323に踵部分以外を踏まれる。残存状況は不良である。土踏まずの僅かな形状から左足か。
4	4号道	325	17.0	7.5	左?	北西	土踏まずの形状から左足か。爪先から踵部分にかけて全体的に火山灰の中にめり込む。指の窪みは不明瞭である。裸足と考えられる。
4	4号道	326	16.5	7.5	右	南東	爪先から踵まで輪郭が明瞭で、特に指先の窪みが残存する。踵部分には328によって踏み込まれている。裸足の右足と考えられる。
4	4号道	327	23.5	9.0	右	南東	328と重複する。親指から薬指まで指先の窪みが明瞭に残存する。踵部分は328によって踏み込まれている。裸足の右足と考えられる。
4	4号道	328	22.5	10.0	左	北西	327と重複する。平面形状は、爪先部分は楕円形、踵部分は長方形である。指先の窪みは長方形である。指先の窪みは認められない。底面はほぼ平坦面であり、何らかの履物の可能性がある。
4	4号道	329	17.5	10.0	右	東	踵部分は深く沈み込み輪郭が明瞭である。親指と人差し指の間が開いた状態が認められる。右足の裸足と考えられる。
4	4号道	330	25.5	9.5	左	東	331と重複し、331の爪先部分を踏んでいる。親指から中指にかけて指の窪みが明瞭に残存する。踵部分も踏み込まれた線が認められる。裸足の左足である。
4	4号道	331	(11.5)	7.0	右?	南	土踏まずから踵までの輪郭が明瞭である。爪先は凹凸が著しく、指も窪みは不明瞭である。裸足の左足と考えられる。
4	4号道	332	18.0	9.5	左	南東	踵部分に比べ爪先部分が深く沈み込む。中指とみられる窪みが僅かに認められるが指の窪みは乱れて不明瞭である。
4	4号道	333	18.0	8.0	右	南東	332と重複する。爪先部分の指の窪みは親指以外は不明瞭である。踵部分には直線状の窪みがある。裸足と考えられるか明確ではない。
4	4号道	334	18.0	(10.0)	右	南	337と重複する。爪先部分の指の窪みは親指以外は不明瞭である。踵部分には直線状の窪みがある。裸足と考えられるか明確ではない。
4	4号道	335	(15.5)	8.5	右	南東	337と重複する。平面形状は踵部分のみで楕円長方形と想定される。底面はほぼ平坦面であり、338との重複のため爪先部分は確認できなかつた。履物の可能性もある。
4	4号道	336	(17.5)	7.0	不明	南東	335・337と重複する。爪先部分が全体に窪む。他の足跡との重複のため残存状況は不良である。
4	4号道	337	(20.5)	7.0	不明	南東	334・336と重複する。指先部分の僅かな窪みが認められるが不明瞭である。踵部分も僅かな窪みが残存するのみである。
4	4号道	338	17.0	(9.0)	右	南東	指先の僅かな窪みが認められる。土踏まずの形状から右足の裸足と考えられる。踵部分はやや細長い。火山灰に粘りがあり踵を上げた時に火山灰が奪まつたと考えられる。
4	4号道	339	15.0	8.0	右?	南東	踵部分の踏み込みは明瞭に残存する。土踏まずの形状から右足か。親指や人差し指の一部が僅かに窪む。
4	4号道	340	25.5	12.0	右	南東	爪先部分の指全ての窪みが明瞭であり、裸足の足跡である。踵部分が深く沈み込むように踏み込まれている。滑った線相は認められない。
4	4号道	341	13.0	6.0	右	南西	平面形状から右足と考えられる。踵部分の踏み込みは明瞭に残存し、ほぼ平坦面である。爪先部分の指の窪みは確認できなかつた。
4	4号道	342	16.5	7.5	右	南東	343と重複し踵部分が僅かに踏み込まれている。平面形状は楕円長方形で、爪先部分は親指の窪みが僅かに認められ、付け根部分の円形状の突起物が残存する。右の裸足と考えられる。
4	4号道	343	18.5	8.0	左	南東	342と重複し踵部分を踏み込んでいる。土踏まずの形状から左足と考えられる。指の窪みは不明瞭である。底面は筋状の窪みが著しい。履物の可能性が明確ではない。
4	4号道	344	19.0	7.0	左	南東	踏み込みはやや浅く輪郭が明瞭ではない。底面はほぼ平坦面である。
4	4号道	345	19.5	10.0	左?	南東	親指の窪みが僅かに残存する。平面形状から裸足の左足と考えられる。底面は凹凸が著しい。
4	4号道	346	17.0	8.0	右	南東	爪先部分の指の窪みは不明瞭である。全体的に平坦面であり、筋状の窪みが僅かに認められる。土踏まずの部分に円形上の突起物が残存する。
4	4号道	347	20.0	9.0	左?	南東	348と重複し347が浅から窪む。爪先は指の僅かな窪みが認められる。外側に滑ったか。踵部分の踏み込みは直線状に窪む。
4	4号道	348	21.5	7.0	右?	南東	347と重複し347に爪先部分が踏まれる。平面形状は楕円形であり、踵部分が明瞭に残存する。全体的にほぼ平坦面である。
4	4号道	349	19.0	7.0	右	南東	350と重複し爪先部分を踏まれているため指の窪みは不明瞭である。爪先以外の輪郭は明瞭で、踵部分が深く沈み込む。底面に凹凸が認められる。土踏まずの形状から右足の裸足と考えられる。
4	4号道	350	22.5	9.5	不明	西	349と重複し350が349の爪先部分を踏む。指の窪みは全体に不明瞭である。輪郭は明瞭である。底面は全体に凹凸が認められる。形状から履物の可能性が明確ではない。
4	4号道	434	25.0	9.5	右	西	全体の輪郭が明瞭である。指の窪みも残存し、付け根部分が隆起する。踵部分にはほぼ平坦面である。裸足と考えられる。
4	4号道	435	28.0	8.5	左	南東	爪先部分は親指と人差し指の間が開く。踵部分の窪みが認められることから、別の足跡と重複した可能性がある。裸足の左足と考えられる。
4	4号道	436	20.0	7.0	右	西	全体に深く沈み込み輪郭が明瞭である。爪先部分の形状から右足と考えられ、指の窪みが認められることから裸足である。

区	遺構	No.	長さ(cm)	幅(cm)	左・右	歩く方向	備考
4	4号道	437	22.5	10.0	右	東	全体に深く沈み込む。指の窪みが明瞭に認められることから裸足の右足であることが明瞭である。底面は凹凸が著しい。
4	4号道	438	20.0	7.5	左?	東	爪先部分に比べ踵部分が深く沈み込み輪郭が明瞭である。指の窪みが僅かに認められるが不明瞭である。両側面が直線状であることから履物の可能性があるが明確ではない。
4	4号道	439	19.0	8.0	左	西	全体に深く沈み込み、輪郭が明瞭である。踵と土踏まずの間が直線状に隆起する。指の窪みは不明瞭である。
4	4号道	440	26.0	10.0	左	北東	親指の窪みが認められることから裸足の左足と考えられる。他の指は不明瞭である。踵部分も深く沈み込む。
4	4号道	441	25.0	13.0	左	東	底面は凹凸が著しく、Sが剥がれたような状態である。爪先の形状から左足と考えられる。全体に沈み込みがやや浅い。
4	4号道	442	23.5	8.0	左	東	全体に深く沈み込み輪郭が明瞭である。踵部分にはほぼ平坦面である。土踏まずの形状から左足と考えられる。
4	4号道	443	26.0	13.0	左	東	全体に深く沈み込み輪郭が明瞭である。底面は凹凸が著しい。親指の窪みが残存することから左足の裸足と考えられる。
4	4号道	444	22.5	8.0	右	北東	爪先は、親指の窪みが認められる。土踏まずも僅かに確認できる。踵部分が最も沈み込む。足裏の外側中央部に筋状の窪みが見られる。
4	4号道	445	21.5	11.5	右	南西	446と重複する。爪先の親指部分の窪みから右足と考えられる。他の指の窪みの残存状況は不真。底面はほぼ平坦で、踵部分の窪みも僅かに残存するのみである。
4	4号道	446	22.5	9.5	右	南西	445と重複する。残存状況は446と類似する。指先の窪みが僅かに残り、踵部分の窪みも不明瞭である。
4	4号道	447	21.0	12.0	右?	東	爪先部分は、親指、中指、小指の窪みが認められ、裸足と考えられる。土踏まずや踵部分の形状が明瞭である。深く沈み込み滑った様相は認められない。
4	4号道	448	25.5	9.5	左?	西	爪先部分の指の窪みは不明瞭である。僅かに残存する土踏まずの形状から左足か。底面は凹凸が著しく、筋状の窪みが僅かに認められる。
4	4号道	449	23.5	9.0	右?	東	親指の窪みや土踏まずの形状から右足か。指の付け根部分が楕円形状に隆起する。残存状況はやや不良である。
4	4号道	450	24.0	8.0	右	西	踵部分の窪みや土踏まずの形状が僅かに確認できる。爪先部分の指の窪みは認められ、ほぼ平坦面である。草鞋など履物の可能性が不明瞭ではない。
4	4号道	451	22.0	7.5	右	南東	踵部分の窪みや土踏まずの形状が僅かに残存する。爪先は指の窪みが僅かに確認できる。全体に足裏の凹凸が著しい。
4	4号道	452	27.5	9.0	左	南	453と重複し、453を踏む。土踏まずから踵部分にかけての輪郭は明瞭である。爪先部分には親指の窪みが僅かに残りし、左足の裸足と考えられる。
4	4号道	453	16.5	8.5	右	北西	452に踏まれたため、土踏まずから踵部分のみ残存する。輪郭は明瞭で右足と考えられる。
4	4号道	454	24.0	12.5	右?	東	踵部分や爪先部分の輪郭が僅かに残りし、右足か。指の窪みは確認できなかつた。足裏の細かな凹凸が著しい。
4	4号道	455	19.5	9.5	右?	東	踵部分から爪先部分にかけての輪郭が明瞭である。土踏まずの部分は外側に大きく広がった。爪先は全体に直線状に窪む。底面は細かな凹凸が僅かに認められる。
4	4号道	456	20.0	(7.5)	左	北東	457と重複し457に踏まれる。踵部分が深く沈み込み輪郭が明瞭である。親指や小指の窪みも確認できる。裸足と考えられる。
4	4号道	457	22.0	7.0	右	北東	456と重複し456を踏む。親指の窪みが僅かに認められることから右足の裸足か。他の指の窪みは不明瞭である。踵部分が深く沈み込み輪郭が明瞭である。
4	4号道	458	17.5	11.5	右	北	全体に深く沈むことから輪郭が明瞭である。爪先部分の形状から右足の裸足と考えられる。指の窪みは不明瞭である。
4	4号道	459	23.0	9.0	右	南東	踵部分と爪先部分の窪みが深く沈み込み輪郭が明瞭である。親指が窪みが確認できることから右足の裸足と考えられる。
4	4号道	460	20.0	7.0	左	南東	馬路のような円形の窪みを踏む。平面形状から左足と考えられる。底面は踵部分がほぼ平坦面であり、指の窪みは全体に不明瞭である。
4	4号道	461	22.5	10.0	左	東	463と重複し463を踏む。爪先部分に比べ踵部分が深く沈み込み、全体の輪郭が明瞭である。親指の窪みは全体に不明瞭である。
4	4号道	462	(19.0)	10.0	左	南東	親指の窪みが明瞭で他の指の窪みは僅かに確認できる。踵部分も深く沈み込む。裸足の右足と考えられる。
4	4号道	463	14.0	7.0	右	東	461と重複し461に踏まれる。親指とみられる窪みが僅かに認められ右足と考えられる。底面は踵以外にやや凹凸があり乱れた状態である。
4	4号道	464	23.5	8.0	左	東	指全体が直線状に窪む。踵部分も沈み込み輪郭が明瞭である。土踏まずの形状から左足と考えられる。
4	4号道	465	24.5	9.5	右	東	指の窪みが明瞭に残存する。踵部分も深く沈み込む。裸足の右足と考えられる。
4	4号道	466	23.0	10.5	左	東	爪先部分の楕円形状に全体が窪み、指一つひとつの窪みは認められない。踵部分の輪郭も明瞭である。土踏まずの形状から左足と考えられる。
4	4号道	467	26.5	10.0	右	東	踏み込みがやや浅く輪郭が不明瞭である。指の窪みは親指が僅かに確認できる。底面は全体に凹凸が認められる。
4	4号道	468	27.0	11.0	右	南東	全体に深く沈み込み輪郭が明瞭である。平面形状から裸足の右足と考えられる。指の窪みは僅かに認められるが不明瞭である。
4	4号道	469	18.5	7.5	右	東	踏み込みがやや浅く輪郭が不明瞭である。親指の窪みが僅かに認められる。裸足の右足と考えられる。
4	4号道	470	27.5	9.0	右	東	親指から中指の窪みがわずかに残存する。爪先部分に比べ踵部分が深く沈み込む。裸足の左足である。
4	4号道	471	23.0	8.5	左	東	指の窪みが残りし、特に親指から中指までが明瞭である。踵まで深く沈み込む。裸足の左足で、残存状況が良好な足跡である。
4	4号道	472	23.5	9.5	左	東	爪先部分が長方形、踵部分が楕円形を呈する。親指とみられる窪みも残存する。爪先部分から左足か。踵部分は底面がほぼ平坦面である。履物の可能性があるが明確ではない。
4	4号道	473	23.0	8.0	右	西	爪先部分の指の窪みが僅かに残存するが不明瞭ではない。平面形状から右足と考えられる。
4	4号道	474	22.5	8.0	右	西	指の窪みが残存する。右足の裸足である。踵部分の輪郭はやや乱れているが残存状況は良好である。
4	4号道	475	21.5	10.0	右	東	爪先の形状から右足と考えられる。指の窪みはやや不明瞭である。踵部分が特に沈み込み輪郭が明瞭である。土踏まずから側面にかけて帯状の窪みが僅かに認められる。
4	4号道	476	21.0	8.5	?	南東	爪先部分が半円形、土踏まずから踵部分までが長方形で、右半部がやや窪む。指の窪みは認められない。裸足か履物かは明確ではない。
4	4号道	477	21.0	10.5	右	東	爪先部分と踵部分の輪郭が残りし、親指と小指の窪みが認められる。踵部分に比べ上半部が僅かに沈み込むが、全体的にはほぼ平坦面である。履物の可能性があるが明確ではない。
4	4号道	478	(20.0)	7.5	?	東	踵部分を479に踏まれ遺失する。残存部分の平面形状は長方形である。踵部分に連続する筋状の窪みが僅かに認められる。
4	4号道	479	25.5	7.0	右	東	踵部分の輪郭は明瞭である。内側から外側にかけて滑るように踏み込まれた様相である。指の窪みは確認できなかつた。底面はほぼ平坦面である。
4	4号道	480	22.5	10.0	右	東	爪先部分が半円状で、踵部分が楕円長方形である。底面は踵部分が僅かに沈み込み、連続する筋状の窪みのみとめられる。爪先部分に指の窪みは認められない。草鞋など履物の可能性がある。
4	4号道	481	18.5	6.5	?	西	爪先部分を482に踏まれたため一部を遺失する。踵までの下半部の輪郭は明瞭である。底面に残存する筋状の窪みが顕著である。履物の可能性がある。
4	4号道	482	19.5	9.5	左	東	指の窪みは不明瞭であるが、足跡の輪郭は全体に明瞭で、特に踵部分と爪先部分が深く沈み込む。土踏まずの形状から左足と考えられる。
4	4号道	483	13.5	6.0	右	東	爪先から踵まで輪郭は明瞭である。指の窪みは親指が僅かに確認できる。裸足の右足と考えられる。
4	4号道	484	22.0	7.5	右?	西	底面はほぼ平坦面であり、足全体の輪郭は明瞭である。指の窪みは認められない。爪先の形状から右足か。
4	4号道	485	18.0	8.0	右	東	爪先に比べ踵部分が深く沈み込む。爪先はほぼ平坦で、指の窪みは認められない。土踏まずの形状から右足と考えられる。

区	遺構	No.	長さ(cm)	幅(cm)	左・右	歩く方向	備考	観察所見
4	4号道	486	21.5	8.5	右	東		指の窪みが明瞭に残存し、裸足の右足である。踵も深く沈み込む。
4	4号道	487	21.5	9.0	右	東		全体に深く沈み込み輪郭が明瞭である。由いこの窪みは小指が僅かに窪む。土踏ますなどの形状から裸足の右足と考えられる。
4	4号道	488	22.0	10.5	右	西		爪先部分に比べ踵部分が深く沈み込み輪郭が明瞭である。指の窪みは確認できなかつた。底面はやや凹凸が認められる。
4	4号道	489	21.0	8.0	右	東		爪先部分の指の窪みが不明瞭である。踵部分の沈み込みがやや浅い。
4	4号道	490	17.0	7.5	右	西		平面形状の輪郭から右足と考えられる。爪先部分より踵部分が沈み込む。指一つひとつの窪みは不明瞭である。
4	4号道	491	23.0	8.5	右	西		平面形状は隅丸長方形である。先端に親指の窪みが認められたことから右足と考えられる。足裏の内側に2カ所、小指付近に小円形の窪みが認められる。踵部分にはほぼ平坦面である。種類は明確ではないが、形状から履物の可能性がある。
4	4号道	492	(29.0)	14.0	右	東		足跡の輪郭が明瞭で、足裏の外側にほぼ垂直に踏み込まれている。踵部分も深く踏み込まれ、外側に踵のような窪みが残存することから、別の足跡を踏み込んだ可能性もある。爪先部分は親指から中指まで帯状に窪む。爪先部分から右足と考えられる。爪先部分や踵部分が僅かに窪む。指一つひとつの窪みは不明瞭である。
4	4号道	493	16.0	7.0	右	西		平面形状から右足と考えられる。爪先部分は親指や人差し指の窪みが僅かに確認できるが全体に不明瞭である。裸足か。踵部分が凹凸が認められる。
4	4号道	494	16.5	10.0	右	東		平面形状の輪郭から右足と考えられる。490に類似する。爪先部分は親指や人差し指の窪みが僅かに確認できるが全体に不明瞭である。裸足か。
4	4号道	495	21.0	10.0	左	東		爪先部分に比べて踵部分が深く沈み込み輪郭が明瞭である。爪先は凹凸が認められるが指一つひとつの窪みは不明瞭である。裸足か。
4	4号道	496	22.5	8.5	右	西		平面形状は略三角形で、全体の輪郭は明瞭である。底面はほぼ平坦面であるが、爪先の先端部分が帯状に僅かに窪む。土踏ますの形状から裸足の右足か。
4	4号道	497	22.5	10.0	右	東		498と重複し、498の踵部分を踏む。爪先が直線状に窪む。土踏ますの形状などから右足の裸足と考えられる。
4	4号道	498	(22.0)	8.0	右	東		497と重複し、497に踏まれる。爪先部分の形状から右足と考えられる。直線状の窪みが認められるが指一つひとつの窪みは不明瞭である。
4	4号道	499	18.0	6.0	左	西		爪先部分の形状から左足と考えられる。かかと部分がやや細長い。指の窪みは不明瞭である。底面はほぼ平坦面である。
4	4号道	500	21.5	8.5	右	南東		踵部分に比べ爪先部分が深く沈み込み輪郭が明瞭である。親指や小指の備かな窪みが認められるが全体に底面に平坦面である。
4	4号道	501	20.0	8.0	右	西		踵部分が深く沈み込む。指の窪みが僅かに確認できる。裸足の右足と考えられる。
4	4号道	502	17.0	6.0	右	西		爪先部分に比べ踵部分が深く沈み込み輪郭が明瞭である。両側面はほぼ直線状である。指の窪みは全体に不明瞭である。爪先の形状から右足と考えられる。
4	4号道	503	19.5	9.0	左	西		爪先部分の形状から左足と考えられる。全体の輪郭は明瞭である。中指から小指の窪みが認められる。底面は、指の窪み以外はほぼ平坦面である。
4	4号道	504	21.5	9.5	右	北東		505と重複し505に踏まれる。踵部分に比べ爪先部分が深く沈み込む。指の窪みは不明瞭である。底面はほぼ平坦面である。
4	4号道	505	18.0	6.0	右	北東		504と重複し504を踏む。深く沈み込むが平面形状はやや細長い。指の窪みは不明瞭で、小指の窪みが僅かに認められる。
4	4号道	506	20.0	6.5	右	東		507と重複し507を踏む。指全体が直線上に窪み、指の付け根が隆起する。踵部分は深く沈み込み輪郭が明瞭である。裸足の右足と考えられる。
4	4号道	507	(21.0)	8.5	右	西		506と重複し506に踏まれる。爪先部分が深く沈み込み、親指の備かな窪みから右足の裸足と考えられる。
4	4号道	508	21.0	8.5	右?	東		509と重複し509に踏まれる。爪先部分に備かな指の痕跡がみられる。指の窪みは不明瞭である。底面はほぼ平坦面である。土踏ますの形状から右足か。
4	4号道	509	19.0	7.0	左	西		508と重複し508を踏む。親指の窪みが僅かに認められることから裸足の右足と考えられる。爪先部分に比べ踵部分が沈み込み輪郭が明瞭である。
4	4号道	510	22.0	9.0	右	東		全体に深く沈み込み輪郭が明瞭である。底面はほぼ平坦面で指の窪みが確認できなかつた。直線状の窪みが連続することから別の足跡の踵部分の科の可能性はない。
4	4号道	511	(23.0)	9.0	右	東		親指の窪みがみとめられる。全体に深く沈み込み輪郭が明瞭である。土踏ますの部分が三角形状に突起することから別の足跡の踵部分の科の可能性がる。
4	4号道	512	22.0	10.0	左	東		全体に深く沈み込み輪郭が明瞭である。親指の窪みが認められるが、他の指の窪みは不明瞭である。底面に凹凸が著しい。左足の裸足と考えられる。
4	4号道	513	20.0	8.5	左	北西		爪先部分と踵部分の輪郭は明瞭である。指一つひとつの窪みは不明瞭である。底面の凹凸が著しい。土踏ますの形状から左足と考えられる。裸足か履物かは明確ではない。
4	4号道	514	21.5	10.0	左	東		踵部分に凹凸形状、爪先部分は隅丸方形形状に窪む。指の窪みが僅かに認められるが鮮明ではない。土踏ますの形状などから左足と考えられる。
4	4号道	515	21.5	10.0	右	東		全体に深く沈み込み、輪郭が明瞭である。爪先部分は親指の窪みが残存し、右足の裸足と考えられる。
4	4号道	516	18.0	8.5	左	シリコン		平面形状が類似する517と重複し、517に踏まれている。親指の窪みが僅かに残存している。底面はほぼ平坦面である。履物の可能性があるが明確ではない。
4	4号道	517	17.0	8.5	右	シリコン		全体の輪郭は明瞭である。底面はほぼ平坦面で指の窪みは明瞭ではない。踵部分に小円形の窪みが1カ所認められる。草鞋など履物の可能性があるが種類は明確ではない。
4	4号道	518	17.5	6.5	左	東		指の窪みが残存し、左足の裸足と考えられる。ほぼ垂直に深く踏み込まれた痕相である。
4	4号道	519	23.0	8.0	右?	東		踵周辺部分の輪郭は明瞭で、深く沈み込んでいる。底面はほぼ平坦面である。親指とみられる窪みから右足と考えられるが明確ではない。爪先側に別の足跡があつた可能性がある。
4	4号道	520	20.0	8.5	右	北東		踵部分に比べ、爪先部分が沈み込む。指の窪みが明瞭であり、右足の裸足と考えられる。
4	4号道	521	21.0	9.0	左	南		底面がほぼ平坦面である。底面に連続する直線状の備かに窪みが認められる。両側面中央部にそれぞれ円形の孔がある。緒の痕跡か。草鞋の可能性がある。
4	4号道	522	22.0	8.5	右	西		爪先部分に比べは踵部分が沈み込む。底面は凹凸が認められるが、指の窪みは不明瞭である。平面形状から右足と考えられる。
4	4号道	523	26.0	9.5	右	東		指の窪みが明瞭に残存する。深く沈み込み全体の輪郭も明瞭である。平面形状から裸足の右足である。
4	4号道	524	22.0	7.0	右	西		親指の窪みが残存する。踵部分が深く沈み込み、全体の輪郭は明瞭である。底面はほぼ平坦面である。
4	4号道	525	21.0	7.5	左	東		爪先部分が直線状に窪み、指一つひとつの窪みは明瞭ではない。平面形状から左足と考えられる。
4	4号道	526	19.0	8.0	右	西		爪先部分に比べ踵部分が沈み込む。指の窪みがわずかに認められる。形状から裸足の右足と考えられる。
4	4号道	527	18.0	7.5	左	南東		親指の窪みが認められる。他の指の窪みは不明瞭である。踵部分の幅が爪先部分に比べやや広い。底面はほぼ平坦面である。
4	4号道	528	13.0	6.5	左	東		平面形状は隅丸長方形である。底面はほぼ平坦面で、指の窪みは不明瞭である。残存状況から履物の可能性がある。
4	4号道	529	21.0	7.0	左	東		平面形状は隅丸長方形である。親指の窪みが僅かに残存することから左足と考えられる。爪先以外はほぼ平坦面である。
4	4号道	530	19.0	8.5	右?	西		平面形状は短冊状に細長い。指の窪みは不明瞭である。土踏ます近辺が直線状に隆起し爪先部分と踵部分に分ける。全体に凹凸が認められる。右足か。
4	4号道	531	19.0	9.5	左	西		ほぼ垂直に踏み込まれ、底面は平坦面である。連続した直線状の備かな窪みが認められる。草鞋など履物の可能性がある。
4	4号道	532	21.0	8.5	右	南東		全体の輪郭が明瞭である。爪先や土踏ますの形状から右足の裸足である。親指と人差し指の窪みは確認できる。

区	遺構	No.	長さ(cm)	幅(cm)	左・右	歩く方向	備考	観察所見
4	4号道	577	23.0	8.0	右	東		踵や土踏まずの形状が明瞭である。爪先部分は親指の窪みが確認できているが爪先の幅が狭い。
4	4号道	578	26.5	8.0	右	東		平面形状から裸足の右足と考えられる。指の窪みは僅かに残存するか不明瞭である。爪先部分に比べ踵部分はやや浅い。
4	4号道	579	18.0	9.0	右	南東		爪先部分の形状から右足と考えられる。指の窪みは親指が僅かに確認できるが全体に不明瞭である。踵部分にはほぼ平坦面である。踵部分の幅が広いことから他の足跡と重複する可能性もある。
4	4号道	580	(10.0)	9.0	左?	東		579と重複し579に爪先部分を踏まれている。土踏まずの形状から左足の可能性がある。踵部分は深く沈み込み輪郭が明瞭である。
4	4号道	581	24.0	8.0	右	南		爪先や土踏まずの形状から裸足の右足と考えられる。全体が深く沈み込むことから輪郭が明瞭で残存状況が良好である。
4	4号道	582	18.0	8.0	右	南西		爪先から踵まで深く沈み込み、輪郭が明瞭である。裸足の右足と考えられ、内側から外側にやや滑り、外側の火山灰がややオーバーハンダグする。指の窪みは不明瞭である。
4	4号道	583	17.5	10.0	左?	北	シリコン	平面形状は楕丸長方形で、全体に深く沈み込み輪郭が明瞭である。指の窪みと土踏まずのような形状が僅かに確認できているが爪先部分より踵部分が沈み込み段差となり、底面にはほぼ平坦面である。履物の可能性が明瞭ではなない。
4	4号道	584	14.0	7.5	右	東		親指の窪みが僅かに認められることから右足の裸足と考えられる。土踏まずから踵にかけて凹凸が著しい。
4	4号道	585	17.0	10.0	左	北西		親指の窪みは親指が僅かに認められ裸足の右足と考えられる。踵部分から深く沈み込み輪郭が明瞭である。踵や爪先以外は底面が平坦面である。
4	4号道	586	19.5	7.0	右	北		587と重複し587に踏まれる。親指の窪みが僅かに認められ裸足の右足と沈み込み、外側の側面にかけて輪郭が明瞭である。
4	4号道	587	17.0	8.5	左	西		586と重複し586の爪先を踏む。土踏まずの形状から左足と考えられる。全体の輪郭は明瞭であるが、指の窪みは不明瞭である。踵部分にはほぼ平坦面である。
4	4号道	588	17.0	7.5	右	東		踵部分や爪先部分の形状から右足と考えられる。底面は凹凸が著しい。指の窪みは不明瞭である。
4	4号道	589	16.0	8.0	左?	南東		踵部分の形状から左足の可能性がある。土踏まずの形状から左足の可能性は高く、ほぼ平坦面である。
4	4号道	590	15.0	8.5	右	西		平面形状は略三角形である。全体に深く沈み込み輪郭が明瞭である。底面にはほぼ平坦面で指の窪みは確認できなかつた。
4	4号道	591	13.0	7.5	左?	南西	履物か	平面形状は楕丸長方形である。ほぼ垂直に深く沈み込む。指の窪みは確認できず、底面がほぼ平坦面であることから履物の可能性がある。
4	4号道	592	19.0	9.0	右	南		590を重複し590を踏む。踵部分が深く沈み込み輪郭が明瞭である。指の窪みは僅かに残存するが不明瞭である。
4	4号道	593	27.0	13.0	左	西		592と重複し592に踏まれる。爪先の指の窪みが僅かに残存し、踵部分が明瞭な裸足の足跡である。滑った様相は窺えない。
4	4号道	594	29.0	10.0	左	南東		全体に深く沈み込み、特に踵部分の輪郭が明瞭である。爪先部分は幅がやや狭い。指の窪みは不明瞭である。底面は踵部分がほぼ平坦面である。
4	4号道	595	21.0	9.0	右	西		平面形状は楕円形である。踵部分より爪先部分により窪む。表面に筋状の痕が認められる。草鞋など履物の痕跡か。
4	4号道	596	22.5	7.5	右	南		平面形状は長方形で、踵部分の踏み込んだ痕跡は明瞭であるが、爪先部分の残存状況は不良である。踵から土踏まずにかけてほぼ平坦で、筋状の痕跡が認められる。裸足か履物かは判断できなない。
4	4号道	597	23.0	9.0	左	北西		平面形状は長方形で、踵部分が方形の窪みとなっている。爪先部分も角ばっている。木靴のような履物の痕跡か、或いは四角の柱のようなものを杖代わりに使用した痕か。
4	4号道	598	25.0	11.0	右	南東		指の窪みが明瞭に残存する。全体の輪郭も明瞭であり裸足の右足である。踵部分はやや細長い。
4	4号道	599	19.0	7.5	左	南		平面形状は短冊状にやや近く、細長い形状である。600と同様に踵部分は火山灰に沈み込むように踏みしめている。底面には筋状の連続した窪みが僅かに認められることから裸足よりも履物の可能性がある。
4	4号道	600	16.0	6.5	右	南		爪先部分の指の窪みは浅くやや不鮮明である。土踏まずから踵部分にかけて深く沈み込むように火山灰を踏みしめている。裸足か。
4	4号道	601	21.0	7.0	右	南東		爪先部分がやや四角く、踵部分が半円の形状である。爪先の指の窪みは認められない。底面にはほぼ平坦面で、筋状の連続した窪みが縦横に認められる。草鞋のような履物の痕跡か。
4	4号道	602	17.5	6.0	左	南東		平面形状は短冊状である。外側に滑り込むように踏み入れている。火山灰に水分が多かったことから深く沈み込むように踏みしめ、足を抜き取った後に火山灰が収縮しいる形状になったと考えられる。指の窪みは残存しない。
4	4号道	603	22.5	12.5	左	南		二つの円形が重なったような形状である。土踏まずのような形状が認められ、左足と考えられる。踵部分がより沈み込んでいる。底面にはほぼ平坦面で、指の窪みは認められない。
4	4号道	604	20.0	8.5	右	南東		平面形状はくの字に湾曲する。親指や小指の僅かな窪みから右足と考えられる。底面にはほぼ平坦面である。裸足と考えられる。
4	4号道	605	27.5	9.5	右?	西		踵部分が深く沈み込む輪郭が明瞭である。爪先部分は指の窪みは認められない。土踏まずの形状から右足か。
4	4号道	606	17.5	9.5	左	北		親指の窪みが認められ、側面内側の輪郭が特に明瞭である。他の指の窪みは不明瞭である。踵は滑った様相が窺える。
4	4号道	607	21.0	7.5	右	南東		全体に深く沈み込み輪郭が明瞭であるが、やや細長い形状である。
4	4号道	608	19.0	10.0	右	北		土踏まずの形状から右足と考えられる。底面は踵部分や爪先部分が低くなっている。
4	4号道	609	26.0	9.0	右	北西		親指の窪みや土踏まずの形状が僅かに残存する。踵はやや細長い。裸足と考えられる。爪先側の別の足跡を踏んでいる可能性がある。
4	4号道	610	18.0	9.0	左?	北西		平面形状は略三角形である。親指の窪みが明瞭であるが、他の指の痕は確認できなかつた。底面は指以外はほぼ平坦面である。足を抜き取った後に火山灰が収縮し踵部分が細長くなったか。
4	4号道	611	18.0	8.5	左	南		612にやや類似する形状で細長い。指の窪みも不明瞭である。底面にはほぼ平坦面である。
4	4号道	612	11.0	8.0	左	南東		全体に細長い形状で細く、火山灰が軟らかく足を抜き取った後に収縮した可能性がある。底面には凹凸が認められる。指の窪みは親指がやや深く沈み込んでいる。
4	4号道	613	11.5	9.0	左	南東		平面形状から左足と考えられる。踵部分は深く沈み込むように踏みしめ、輪郭が明瞭に残存する。指の窪みはやや不明瞭である。外側から内側に滑った様子が見える。
4	4号道	614	21.0	7.5	右	南		平面形状から右足であることは明白である。火山灰をほぼ垂直に沈み込んでいる。滑った痕跡も認められない。指の窪みは確認できなかつた。裸足と考えられる。
4	4号道	615	20.5	8.0	右?	北西		踵部分が深く沈み込み輪郭が明瞭である。爪先部分は指の窪みが深く全体に不鮮明である。裸足と考えられる。
4	4号道	616	23.0	9.5	左	南		平面形状は楕円形である。指先の窪みは不明瞭である。底面には連続する直線状の窪みが認められる。履物か、北側に隣接する細長い窪みも足跡の痕跡の可能性もある。
4	4号道	617	21.5	6.5	左	南		火山灰をほぼ垂直に踏み込んでいる。沈み込みが著しい。踵部分に円形上の窪みが認められる。指の窪みは確認できなかつた。履物の痕跡か。
4	4号道	618	20.0	6.5	左	南東		爪先の僅かな親指部から左足と考えられる。底面は全体的に平坦面となり踵や指先の窪みはあまり認められない。
4	4号道	619	17.0	7.5	左	東		平面形状から左足と考えられる。親指の窪みが僅かに残存する。底面は凹凸が著しい。
4	4号道	620	19.0	7.0	右	南		底面は全体的に平坦面となる。爪先が全体的に窪む。

区	遺構	No.	長さ(cm)	幅(cm)	左・右	歩く方向	備考
							観察見
4	4号道	621	21.5	9.0	左	北	平面形状から左足と考えると考えられる。全体に輪郭が明瞭であるが、踵部分に比べ爪先部分が沈み込む。指の窪みが僅かに残存する。底面の凹凸が認められる。
4	4号道	622	15.0	8.5	左	北東	全体に深く沈み込み輪郭が明瞭である。土踏まずの形状から左足と考えると、指の窪みは確認できなかつた。
4	4号道	623	26.0	9.0	右	南東	爪先から踵までの輪郭が明瞭である。親指の窪みはやや不明瞭である。平面形状から裸足と考えると、他の指の窪みはやや不明瞭である。
4	4号道	624	21.0	8.5	左	南	爪先の形状から左足と考えると、指の窪みも僅かに残存する。指の付け根が直線状に隆起し、踵にかけて底面はほぼ平坦面である。左足の裸足と考えられる。
4	4号道	625	22.0	8.0	右	北西	全体に幅が狭く、細長い形状である。踵部分が爪先部分に比べ沈み込む。指の窪みは僅かに残存する。裸足の右足と考えると考えられる。
4	4号道	626	17.5	7.5	右?	東	平面形状は隅丸長方形である。爪先部分の指の窪みは僅かに残存する。底面は全体に凹凸が認められる。
4	4号道	627	21.5	8.5	右	南東	全体の輪郭がやや不明瞭である。爪先は親指の部分が僅かに隆起する。土踏まずから踵にかけて底面の凹凸が認められる。
4	4号道	628	18.5	9.5	右?	西	爪先部分より踵部分の輪郭が明瞭である。親指が大きく沈み込む。他はほぼ平坦面となる。
4	4号道	629	16.0	8.0	右	南	爪先部分より踵部分が深く沈み込み輪郭が明瞭である。指の窪みは不明瞭である。中央部分に直線状の隆起が認められる。
4	4号道	630	13.5	11.0	左	西	全体に深く沈み込み輪郭が明瞭である。指の窪みは僅かに残存する。土踏まずの形状などから裸足の左足と考えると考えられる。
4	4号道	631	23.0	9.5	右	北東	踵部分は踏み込まれているようすか認められる。爪先部分はほとんど窪みがなく不明瞭。
4	4号道	632	(20.0)	7.5	右?	南東	3号人骨の切り取りのトレッチのため半部を遺失している。親指、人差し指、中指の窪みが確認できる。
4	4号道	633	22.5	8.0	左	南東	形状は隅丸長方形、平坦面であるか小さな凹凸が全体的に認められる。踵の窪みもなく履物であった可能性がある。
4	4号道	634	22.0	7.5	右	北西	爪先部分の窪みに窪み、粘った火山灰が足裏についているように盛り上っている部分がある。踵部分は強く踏み込まれていない。
4	4号道	635	15.0	7.5	左	東	全体的に凹凸が認められ底面が乱れている。爪先は指先の窪みがある。親指が強く踏み込まれている。親指や小指の窪みが僅かに確認できる。付け根部分に一カ所孔がある。履物の可能性があるが明確ではない。
4	5号道	351	26.5	13.5	左?	南西	履物か
4	5号道	352	20.0	9.5	左	南西	左足の輪郭が明瞭である。親指、人差し指、中指の窪みが確認できるところから裸足と考えると、指の付け根から踵まではほぼ平坦面である。
4	5号道	353	25.5	9.0	左	北東	指の窪みが明瞭で裸足の左足である。親指と人差し指の間が開く。踵部分は細長い。
4	5号道	354	20.5	10.5	右	東	踵部分に比べ爪先部分が全体に沈み込む。指の窪みは不明瞭である。平面形状から右足と考えると、指の窪みが僅かに残存する。土踏まずから側面外側にかけて直線状に隆起する部分が認められる。
4	5号道	355	21.5	9.5	右	西	全体に深く沈み込み輪郭が明瞭である。爪先の形状から右足と考えると、指の窪みが僅かに残存する。土踏まずから側面外側にかけて直線状に隆起する部分が認められる。
4	5号道	356	18.5	10.5	左	北	親指や人差し指の窪みが僅かに残存する。踵部分は踏み込みが浅く底面はほぼ平坦面である。裸足の左足である。
4	5号道	357	21.0	10.5	右	南	全体の窪みや土踏まずの形状から右足と考えると、底面は爪先以外はほぼ平坦面である。踵部分の隅丸長方形の窪みは馬蹄の可能性はある。
4	5号道	358	23.0	9.5	右	南	親指の窪みは右足と考えると、指の窪みは不明瞭である。連続する細かな直線状の窪みが認められることから草鞋など履物の可能性はある。踵部分の火山灰は動かされたため僅かに残存し、地表面が露出する。
4	5号道	359	(18.5)	9.5	左?	東?	361・371と重複し二つの足跡を踏む。底面はほぼ平坦面で指の窪みは不明瞭である。外側比べて内側が深く沈み込み輪郭が明瞭である。爪先の形状から東方向へ向かったか。
4	5号道	360	19.0	8.0	右	東	指の窪みが僅かに残存する。平面形状から裸足の右足と考えると、指の窪みは踏み込みが浅く輪郭は不明瞭である。
4	5号道	361	18.5	9.0	不明	東?	359と重複し残存状況は不良である。踵部分が残存し、爪先部分が不明瞭である。底面はほぼ平坦面である。
4	5号道	362	23.5	10.0	左	南西	直線状の隆起によって踵部分と爪先部分を分ける。親指の窪みが僅かに認められ左足と考えると、指の窪みが僅かに残存する。土踏まずから踵部分がいやや細長い。
4	5号道	363	17.0	9.0	右	北東	踵部分に比べ爪先部分が深く沈み込む。底面はほぼ平坦面で、指の窪みは不明瞭である。
4	5号道	364	23.5	8.0	左	北東	指の窪みが僅かに残存する。平面形状から裸足の左足と考えると、指の窪みは踏み込みが浅く細長い。
4	5号道	365	18.0	10.0	左	北東	踵に比べ爪先部分が深く沈み込み輪郭が明瞭である。指の窪みが僅かに認められる。裸足の左足と考えると、指の窪みは踏み込みが浅く細長い。
4	5号道	366	22.5	10.5	右	北東	平面形状は隅丸長方形を呈する。底面はほぼ平坦面であるが、爪先部分に連続する細い直線状の窪みがある。側面外側に緒の可能性はある。窪みが1カ所確認できる。草鞋か。踵から左側下半部は別の足跡と重複する可能性がある。
4	5号道	367	20.0	11.5	右?	西	平面形状は略三角形を呈する。爪先部分の輪郭は明瞭であるが、指の窪みは確認できなかつた。内側から外側に滑った様相が窺える。踵部分ははやや細長い。
4	5号道	368	(20.0)	8.0	右	東	やや浅く踏み込まれ輪郭は不明瞭である。親指の窪みは僅かに確認できるところから裸足の右足と考えると、指の窪みは踏み込みが浅く細長い。
4	5号道	369	18.5	8.0	右	西	370と重複し370を踏む。指の窪みが僅かに確認できるところから裸足の右足と考えると、指の窪みは踏み込みが浅く細長い。踵部分はほぼ平坦面である。
4	5号道	370	19.5	9.0	右	西	369と重複し369に踏まれる。深く沈み込み輪郭が明瞭である。側面外側がいやや乱れている一つひとつの指の窪みは確認できなかつた。
4	5号道	371	20.5	11.0	不明	東?	359と重複し359に踏まれる。指の窪みは認められないが爪先の形状から東方向に歩いていると推定される。
4	5号道	372	19.0	7.0	左	西	踵部分が深く沈み込む。底面はほぼ平坦面である。指の窪みは不明瞭である。土踏まずの形状から左足と考えると、指の窪みは踏み込みが浅く細長い。
4	5号道	373	20.0	8.0	右	南西	踵部分と爪先部分の窪みに分かれる。指の窪みは不明瞭である。平面形状から右足と考えると、指の窪みは踏み込みが浅く細長い。
4	5号道	374	19.0	10.0	左?	西	踵部分はほぼ平坦面である。指の窪みは不明瞭である。平面形状から左足か。
4	5号道	375	16.0	10.0	右	西	平面形状は略三角形を呈する。指の窪みは確認できなかつた。土踏まずの形状から右足と考えると、指の窪みは踏み込みが浅く細長い。
4	5号道	376	22.0	8.5	右	南西	爪先部分に比べ踵部分が深く沈み込む。底面はほぼ平坦面で指の窪みは不明瞭である。踵部分は火山灰がやや剥がれた状態である。何らかの履物の可能性がある。
4	5号道	377	(14.5)	8.5	右?	北西	378と重複し378を踏む。踵部分が深く沈み込み輪郭が明瞭であるが、爪先部分は踏み込みが弱く指の窪みが確認できなかつた。
4	5号道	378	17.5	5.5	不明	西	377と重複し377に踏まれる。深く沈み込むがやや細長く、底面は縁状に凹凸が著しい。左右は不明である。
4	5号道	379	22.0	10.5	左	西	平面形状は台形を呈する。指の窪みは僅かに認められるが不明瞭である。土踏まずから踵部にかけてはほぼ平坦面である。土踏まずの部分がややや乱れている。
4	5号道	380	18.0	10.0	左	南	底面はほぼ平坦面で、踵に比べ爪先が深く沈み込む。指の窪みは不明瞭である。
4	5号道	381	15.5	7.5	左	北東	指の窪みが僅かに認められ、爪先の形状から裸足の左足と考えると、指の窪みは踏み込みが浅く細長い。踵部分は踏み込みが浅く細長い。
4	5号道	382	19.5	10.0	右	西	爪先部分は親指の窪みが明瞭である。裸足の右足と考えると、指の窪みは踏み込みが浅く細長い。
4	5号道	383	12.5	6.5	右	東	特に踵部分が深く沈み、輪郭が明瞭である。親指の窪みが僅かに認められ右足と考えると、指の窪みは踏み込みが浅く細長い。

区	遺構	No.	長さ(cm)	幅(cm)	左・右	歩く方向	備考	観察所見
4	5号道	384	15.5	9.0	左	西		爪先の形状から右足と考えると考えられる。底面はほぼ平坦面で、指の窪みは不明瞭である。踵部分はややオーバーハングする。
4	5号道	385	21.0	9.0	左	北西		爪先や親指の窪みから裸足の左足と考えると考えられる。指の爪根が直線状に隆起する。踵部分は底面がほぼ平坦面である。
4	5号道	386	24.5	10.0	左	北東		指の窪みが明瞭に残存する。踵部分はやや細長く踏み込みが浅い。裸足の左足と考えると考えられる。
4	5号道	387	22.5	10.5	左	西		平面形状は長方形である。底面は全体に凹凸が著しい。親指や人差し指の窪みが僅かに残存する。裸足の左足と考えると考えられる。
4	5号道	388	19.5	8.5	右	西		爪先の形状から左足と考えると考えられる。全体にやや細長い。指の窪みは不明瞭である。
4	5号道	389	22.0	11.0	右	西		爪先部分や踵部分、側面外側の輪郭が明瞭である。土踏まずの形状から右足と考えると考えられる。指の窪みは不明瞭である。
4	5号道	390	16.0	8.5	右	南西		平面形状は楕円形を呈する。爪先部分に僅かな窪みが認められるが指の痕としては不明瞭である。底面は全体に凹凸が著しい。
4	5号道	391	22.0	9.0	左	東		平面形状から左足と考えると考えられる。踵から土踏まずの輪郭が明瞭である。底面はほぼ平坦面である。指の窪みは確認できなかつた。
4	5号道	392	(9.0)	8.5	左	北東		394と重複し394に踏まれる。爪先部分のみ窪みが認められる。親指や人差し指の窪みが確認される。裸足の左足と考えると考えられる。
4	5号道	393	21.5	7.0	左	西		平面形状は楕円長方形を呈する。全体にやや細長い。爪先部分に僅かな指の窪みが残存する。踵部分には直線状の窪みが認められる。
4	5号道	394	20.0	10.5	右	北東		392と重複し392を踏む。踵部分から土踏まずにかけて輪郭が明瞭である。親指の窪みから裸足の右足と考えると考えられる。
4	5号道	395	23.5	9.0	左?	西		踵部分から土踏まずにかけて輪郭が明瞭である。指の窪みは不明瞭で全体に平坦面である。踵部分に一方所僅かな孔が認められる。
4	5号道	396	29.0	12.0	右	東		爪先部分に比べ踵部分が僅かに窪む。踏み込みがやや浅く輪郭が明瞭ではない。親指の窪みのみ認められ右足の可能性がある。
4	5号道	397	22.0	10.0	左?	北東		398と重複し398に踵部分を踏まれる。全体に凹凸が著しく、親指や小指の窪みを窪みが認められる。裸足の左足と考えると考えられる。
4	5号道	398	16.5	9.0	左	北東		指の付け根から踵にかけてほぼ平坦面である。爪先部分は凹凸が著しく指の窪みは明瞭ではない。
4	5号道	399	17.0	9.5	左?	南西		平面形状は楕円形を呈する。踵部分から外側にかけて深く沈み込み輪郭が明瞭である。指の付け根部分が直線状に隆起する。指の窪みは不明瞭である。
4	5号道	400	16.0	8.5	右	北東		全体に深く沈み込み、特に踵部分の輪郭が明瞭である。底面はほぼ平坦面である。指の窪みは不明瞭でなかつた。
4	5号道	401	20.5	7.0	左	南西		踵部分に比べ爪先部分の輪郭が明瞭である。底面は全体に平坦面である。指の窪みは不明瞭である。
4	5号道	402	25.5	10.5	左	南西		踵部分が深く沈み込み、底面には凹凸が認められるが、指の窪みは不明瞭である。
4	5号道	403	23.0	8.0	右	西		土踏まずの形状が残存することから、右足と考えると考えられる。
4	5号道	404	29.0	10.0	右?	東		指の窪みが僅かに認められるが全体に不明瞭である。踵部分にかけて凹凸が著しい。平面形状から右足か。
4	5号道	405	24.0	11.5	右	西	草鞋か	底面に直線状の連続した細かな窪みが認められる。爪先部分には親指とみられる僅かな窪みが残存する。草鞋などの履物の可能性があるが明瞭ではない。
4	5号道	406	16.0	8.0	左	南		踵部分が僅かに窪むが、底面はほぼ平坦面である。指の窪みは不明瞭である。土踏まずの形状から左足と考えると考えられる。
4	5号道	407	23.0	10.0	左	北東		全体に輪郭が明瞭であるが、踵部分の踏み込みが浅い。爪先の中央部分に僅かに認められる。指の窪みは確認できなかつた。何らかの履物の可能性がある。
4	5号道	408	22.5	8.5	右	西		親指の窪みが明瞭である。人差し指や中指の窪みが僅かに残存する。爪先部分から踵部分にかけて深く沈み込む。裸足の左足である。
4	5号道	409	20.5	8.0	左?	北東		親指の窪みが明瞭である。人差し指や中指の窪みが僅かに認められるが指の窪みは全体に不明瞭である。踵部分はほぼ平坦面である。
4	5号道	410	17.0	9.5	左?	南西		爪先部分と踵部分を直線状の隆起によって分ける。中指の窪みは不明瞭である。土踏まずの形状から左足と考えると考えられる。
4	5号道	411	17.0	13.0	左?	西		平面形状は楕円長方形を呈する。指の窪みは不明瞭である。踵部分は隆起が認められやや乱れている。
4	5号道	412	13.0	7.5	左	南西		土踏まずから踵部分にかけてやや細長い形状の窪みがあり、指の窪みが僅かに認められる。
4	5号道	413	15.0	10.0	左?	西		平面形状は楕円形を呈する。爪先部分に比べ踵部分がやや深く沈み込む。指の付け根が直線状に隆起するが、指の窪みは明瞭ではない。
4	5号道	414	13.0	10.0	左?	西		平面形状は長方形である。全体に深く沈み込み、側面がやや乱れている。親指の窪みが僅かに残存するが全体に不明瞭である。底面は踵指の付け根から踵部分にかけてほぼ平坦面である。
4	5号道	415	26.0	10.0	左?	西		爪先部分に比べ踵部分が僅かに沈み込む。指の窪みは全体に不明瞭でなかつた。土踏まずの形状から左足か。
4	5号道	416	22.5	10.5	左	北東		深く沈み込んで残存しているが輪郭はやや乱れている。指の窪みは明瞭である。土踏まずの形状から左足か。
4	5号道	417	20.0	10.5	右	南西		平面形状は長方形を呈する。底面はほぼ平坦面であるが指の付け根部分は、くの字状に隆起する。指の窪みは風明瞭である。
4	5号道	418	21.5	8.0	右	南西		踏み込みがやや浅い。指の窪みは不明瞭である。土踏まずなど全体の形状から右足と考えると考えられる。
4	5号道	419	23.0	9.5	右	北東		踵部分には深く沈み込み輪郭が明瞭である。指の窪みは確認できず、ほぼ平坦面である。全体の形状から右足と考えると考えられる。
4	5号道	420	26.5	10.5	左	南西		爪先部分に比べ踵部分が深く沈み込み輪郭が明瞭である。指の付け根付近に凹凸が認められる。指の窪みは不明瞭である。
4	5号道	421	19.5	10.5	右	南西		爪先部分に比べ踵部分が輪郭が明瞭である。底面に凹凸が認められる。指の窪みは確認できなかつた。
4	5号道	422	20.5	7.5	右	北東		土踏まずから踵部分にかけてやや細長い形状である。爪先部分は凹凸が著しいが指の窪みは不明瞭である。全体の輪郭から左足と考えると考えられる。
4	5号道	423	15.0	9.0	左	西		爪先の形状から左足である。全体に輪郭が明瞭で外側がオーバーハングしていることから内側から外側からやや窪みがある。指の窪みは僅かに認められるが明瞭ではない。
4	5号道	424	16	9.5	右	東	履物か	平面形状は楕円長方形を呈する。全体に深く沈み、爪先部分がめり込む。底面に凹凸が認められるが全体に平坦面である。何らかの履物の可能性がある。
4	5号道	425	18.0	8.0	左	東		左半部分が深く沈み込み輪郭が明瞭である。親指の窪みが僅かに認められる。裸足の左足と考えると考えられる。
4	5号道	426	17.0	11.0	右?	東		直線状の隆起によって踵部分と爪先部分に分ける。爪先部分が深くめり込む。踵部分は平坦面である。指の窪みは不明瞭である。土踏まずの形状から右足か。
4	5号道	427	20.0	12.0	右?	南		踵部分から土踏まずにかけて深く沈み込む。爪先部分に指の窪みが認められる。底面は全体に平坦面である。
4	5号道	428	18.5	8.0	右	北東		爪先部分や踵部分が深く沈み込む。指の窪みは不明瞭である。土踏まずの形状から右足と考えると考えられる。
4	5号道	429	17.5	9.0	左	南		平面形状は略三角形を呈する。底面はほぼ平坦面である。指の窪みは僅かに認められるが不明瞭である。
4	5号道	430	17.0	7.5	左	東		踵部分に比べ爪先部分が深く沈み込む。全体に輪郭が明瞭である。土踏まずの形状から左足と考えると考えられる。
4	5号道	431	22.0	11.5	左	北東		平面形状は長方形である。底面は僅かな凹凸が認められるが全体に平坦面である。親指や小指の窪みが認められ左足と考えると考えられる。
4	5号道	432	19.5	12.5	左?	東	草鞋か	平面形状は長方形である。底面は僅かな凹凸が認められるが全体に平坦面である。爪先付近はややオーバーハングするように踏み込まれている。草鞋など履物の可能性があるが明瞭ではない。

区	遺構	No.	長さ(cm)	幅(cm)	左・右 右?	歩く方向	備考
4	5号道	433	16.0	7.5	右?	西	平面形状は楕円形で、深く沈み込み輪郭が明瞭である。底面はほぼ平坦面である。爪先部分に僅かな指の痕跡が認められ右足の可能性がある。
4	985-495Cr	115	24.0	9.5	左	南東	4区3面28号住西側より検出、踵部分が深く沈み込む。爪先も指の窪み5カ所認められる。周辺では馬蹄痕が見られるが、周辺から人の足跡は認められなかった。
1区足跡観察表							
1	3号道	1	21	8.5	右	東	全体に沈み込み輪郭が明瞭である。指の窪みも残存し、特に親指が深く窪む。指は全体に閉じた状態である。爪先以外の底面はほぼ平坦面である。裸足の右足である。足跡の状況から走った様相は窺えない。
1	3号道	2	15	4.5	右	東か	全体に踏み込みが浅く、輪郭が不明瞭である。爪先部分には指の窪みが僅かに残存する。平面形状から右足の可能性がある。土踏まずの部分もやや乱れている。
1	3号道	3	20	8.5	左?	西?	全体に底面の凹凸が著しい。指の窪みは不明瞭である。東側に比べ西側の先端部分が広いことから裸足の左足の可能性がある。
1	3号道	4	20	9.5	右	東	平面形状は略三角形を呈する。爪先部分はオーバーハンダするようになっている。指一つひとつの窪みは不明瞭である。爪先部分の形状から右足と推定される。踵部分がやや細長い輪郭が明瞭である。親指から子供の足か。
1	3号道	5	20	9.5	左?	東	指先部分がオーバーハンダするように踏み込まれ残存する。親指や人差し指の窪みが僅かに認められる。指の間は開いていない。踵部分が深く沈み込み輪郭が明瞭である。裸足の左足と考えられる。
1	3号道	6	19.5	7	右	東	爪先部分の幅が短い。親指の窪みは明瞭であるが、他の指は不明瞭である。踵部分は深く沈み込む。土踏まずの部分も幅が狭い。底面は凹凸が僅かに認められる。
1	3号道	7	18	6	左	東	爪先部分に不明瞭だが僅かに親指の窪みが認められる。裸足の左足と考えられる。全体に深く沈み込み爪先部分から踵部分まで輪郭が明瞭であるが、幅が短い。側面がオーバーハンダした状態である。底面は踵部分に比べ爪先部分に深く窪む。
1	3号道	8	20	6	右か	東	土踏まずの部分に直線状に隆起し、爪先部分と踵部分を分ける。爪先部分は指の窪みが不明瞭で確認できなかった。底面は凹凸が僅かに認められる。何らかのか履物の可能性もある。
1	3号道	9	23	9	右	東	全体に深く沈み込み輪郭が明瞭な足跡である。指の窪みも全て認められる。裸足の右足と考えられる。それぞれの指の間が開いた状態である。土踏まずの形状も残存する。
1	3号道	10	23	7	右	東	全体に沈み込みが浅く、輪郭はやや不明瞭である。指の窪みが僅かに残存し、爪先部分の形状から裸足の右足と考えられる。指でしっつかりと踏み縮めた線相が窺える。土踏まずの部分も隆起して残存する。
1	3号道	11	15	6	右	東	爪先部分が良好に残存し、指の窪みが深く沈み込む。踵部分の深く沈み込む。指全体でしっつかり踏みしめた線相が窺える。
1	3号道	12	内21外24	9.5	右?	東	踵部分に直線状の隆起が認められ底面はやや乱れる。指の窪みが僅かに残存する。指の付け根部分に僅かな隆起が確認できる。爪先部分の形状から右足か。土踏まずの部分も僅かに残存する。
1	3号道	13	23	7	右	東	全体に沈み込みが浅く、輪郭が不明瞭である。親指や人差し指の窪みが僅かに残存する。残存状況から歩いてきた線相が窺える。
1	3号道	14	23	5	不明	南東か	形状は長方形で細長い。爪先部分と踵部分が僅かに窪む。踏み込みが全体に浅い。指の窪みは不明で確認できなかった。
1	3号道	15	23	9	左	東	本遺跡で最初に確認した足痕である。親指から小指までの窪みが全て明瞭で残存状況は良好である。裸足の左足である。指の間は開かず閉じた状態である。踵部分の窪みも沈み込みは浅いが輪郭は明瞭である。爪先部分も踵部分もほぼ均等に沈み込んでいるような状況が窺える。
1	3号道	16	(23)	7	左?	東か	爪先部分の形状から左足の可能性もある。外側の輪郭は明瞭であるが土踏まずから踵部分にかけて輪郭は不明瞭である。踵部分や親指の付け根部分は底面の凹凸が著しい。
1	3号道	17	20	5.5	右	東	全体に沈み込みが浅く、輪郭が不明瞭である。親指や小指の窪みが僅かに認められる。裸足の右足と考えられる。
1	3号道	18	18	9	左?	東	踵部分に比べ爪先部分が沈み込む。爪先部分に凹凸が著しく、指の窪みは不明瞭である。平面形状から左足の可能性もある。
1	3号道	19	22	9	左?	西か	親指の窪みが僅かに残存する。土踏まずの形状から左足と推定される。爪先部分に比べかかと部分が僅かに沈み込む。爪先部分は別の足跡と重複する可能性がある。親指は小さく長く約15cm、幅約5.5cmであり、東方向に向く左足の可能性がある。
1	3号道	20	22	8.5	左?	東	爪先部分に比べ踵部分の沈み込みが浅い。親指の窪みが僅かに残存するが他の指の窪みは不明瞭である。底面は凹凸が著しい。裸足の左足のと推定される。底面はやや乱れ多くみられる。かかととはあまり踏み込まれていない。指先に力が入っている。
1	3号道	21	19	9	右?	西	全体に細長い。踵部分が深く沈み込む。爪先部分及び指の窪みは不明瞭である。踵部分以外の底面はほぼ平坦面である。
1	3号道	22	24	9	右?	西	爪先部分に比べ踵部分が深く沈み込むため、土踏まず付近がやや降起した状態である。指先部分は直線状である。指先部分は平坦面である。土踏まずの形状から右足の可能性がある。
1	3号道	24	23.5	8	右	西	全体に深く沈み込み輪郭は明瞭である。火山灰が収縮し細長くなったか。親指の窪みが僅かに認められる。裸足の右足の可能性がある。
1	3号道	25	24x12	9	右?	西	残存状態は不良であり、輪郭も不明瞭である。土踏まずから爪先部分に底面の凹凸が著しい。指の窪みも僅かに認められ右足の可能性がある。踵部分は平坦面である。
1	3号道	26	16以上	9以上	不明	東か	76と重複し、76を踏む。踵部分のみの確認であり親指や左右は不明である。深く沈み込み輪郭は明瞭である。
1	3号道	27	12以上	6.5	不明	南東	114と重複し、爪先部分が遺失する。踵部分が深く沈み込み輪郭が明瞭である。親指や左右は不明である。
1	3号道	28	16	6.5	右?	東か	爪先部分に比べ踵部分が深く沈み込む。指の窪みは親指が認められるが全体に不明瞭である。土踏まずの形状から右足の可能性がある。
1	3号道	29	23.5	11	左	東	112・113と重複し後ろから踏み込んだ足跡である。全体に深く沈み込み輪郭が明瞭である。底面はほぼ平坦面であるが、指の窪みが僅かに認められる。平面形状から左足と考えられる。
1	3号道	30	13.5	6	左?	西	沈み込みが浅く残存状態は不良である。爪先部分が残存し、親指、人差し指、小指の窪みが僅かに認められる。爪先部分に比べ踵部分が沈み込む。裸足の左足の可能性がある。親指から子供の足跡か。
1	3号道	31	11以上	6.5	左	東	爪先部分のみ残存する。爪先部分は指の窪みが僅かに認められる。裸足の左足と推定される。指の窪みはほぼ平坦面である。
1	3号道	32	15.5	7	左?	東	爪先部分が沈み込むが親指の窪み以外は全体に不明瞭である。爪先部分に重心が加わったと考えられる。裸足の左足の可能性がある。
1	3号道	33	西8.5 東14.5	東9	不明	東	東側と西側に2カ所の窪みが認められ、中央部の隆起によって分ける。底面に指の窪みのような痕跡は認められない。何らかの履物か。
1	3号道	34	(19)	13	左	南	東方向に歩く他の足跡と重複している可能性がある。親指から小指まで指の窪みが認められる。裸足の左足と推定される。指の間がそれぞれ広がり、力を入れて踏みしめる線相が窺える。

区	遺構	No.	長さ(cm)	幅(cm)	左・右	歩く方向	備考
1	3号道	35	14.5	8.5	左	東	親指から中指の窪みが明瞭に残存する。踵部分は底面がほぼ平坦面である。幅がやや広いことから別の足跡と重複する可能性もある。
1	3号道	36	19	9.5	左?	東	平面形状は楕円形を呈する。指の付け根部分が直線状に隆起する。指の窪みは認められず爪先も不明瞭である。踵部分は凹凸が著しい。
1	3号道	37	22.5以上	6.5	右?	西	爪先部分に指の窪みや窪みが認められることから裸足の右足の可能性もある。底面は僅かな凹凸が認められるがほぼ平坦面である。
1	3号道	38	20	11	左	西	指の窪みが残り、裸足の左足と考えると、踵部分の輪郭は不明瞭で底面も凹凸が認められる。
1	3号道	39	12.5以上	5	右?	東	沈み込みが浅く輪郭が不明瞭である。爪先部分の形状や親指の窪みや窪みから右足の可能性もある。底面は凹凸が認められる。
1	3号道	40	20	6.5	右?	西	爪先部分には指の窪みが僅かに残存する。裸足の右足と考えると、踵部分には爪先部分にくらべ沈み込みが浅い。底面は全体に凹凸が著しい。
1	3号道	41	20	9.5	右	東	人差指から小指までが深く窪む。指の付け根の隆起が認められる。踵部分はほぼ平坦面である。底面は踵部分以外の凹凸が著しい。裸足の右足と考えられる。
1	3号道	42	24.5	9	左?	東	親指の窪みが僅かに残存する。踵部分には凹凸が著しい。小指の外側がオーバーハンングした状態である。踵部分に比べ爪先部分がやや沈み込む。
1	3号道	43	13.5以上	7.5	右	東	かかと部はペルト以外のためなし。指先部が細長く残存する。中かややせまき子供か。かかとに力が入ったと思われる。
1	3号道	44	20.5	8	右	東	全体に深く沈み込み輪郭が明瞭である。指がそれぞれ窪み間の隆起が認められる。裸足の右足である。
1	3号道	45	19	6.5	右	東	全体に底面の凹凸が認められる。火山灰が足裏に張り付いたか。爪先部分の形状から裸足の右足と考えると、親指の窪みが僅かに残存する。
1	3号道	46	14	6	右?	東	全体に深く沈み込み輪郭が明瞭である。親指の窪みが残存するが他の指の窪みは不明瞭である。踵部分は凹凸が著しい。平面形状などから裸足の右足と考えられる。
1	3号道	47	24	10	右	東	爪先部分に比べ踵部分が深く沈み込む。爪先部分には指の窪みが明瞭に残存するが全体に不明瞭である。
1	3号道	48	22	7.5	右	南東	踵部分にはほぼ平坦面である。爪先部分が踵部分に比べ沈み込む。親指や小指の窪みが僅かに残存するが全体に不明瞭である。
1	3号道	49	16	6.5	左?	東	踵部分に比べ爪先部分が深く沈み込む。指の窪みが僅かに残存する。全体の輪郭は明瞭である。底面は爪先部分以外はほぼ平坦面である。
1	3号道	50	18	6.5	右?	西か	爪先部分は僅かな指の窪みが認められるが不明瞭である。指の付け根部分の隆起が残存する。踵部分は凹凸が認められる。外側の側面がオーバーハンングした状態である。
1	3号道	51	20.5	7.5	右	北東か	親指の窪みが僅かに残存し、土踏まずの形状から右足と考えると、踵部分に比べ爪先部分が深く沈み込む。底面は全体に平坦面である。
1	3号道	52	23	8	左?	東	爪先部分と踵部分の窪みに分かれ、深く沈み込む。踵部分は幅が狭く先端が細長い。爪先部分には指の窪みが僅かに残存するが明瞭ではない。左足の可能性がある。
1	3号道	53	23	9	右	東	全体に深く沈み込み輪郭が明瞭である。親指の窪みが認められ、裸足の右足である。底面はほぼ平坦面である。爪先部分が火山灰の奥に入り人差し指から小指にかけてオーバーハンングした状態である。
1	3号道	54	13	6.5	左?	北西か	底面は長軸方向に直線状の窪みが認められる。全体の輪郭は不明瞭である。親指の窪みが僅かに残存し、裸足の左足の可能性がある。
1	3号道	55	19.5	7	左	東	全体に沈み込みが浅く、輪郭が不明瞭である。親指や人差し指の窪みが認められる。踵部分がやや深く沈み込む。残存状況から裸足の左足と考えられる。
1	3号道	56	20	9.5	左	東	指の窪みが直線状に残存し、親指から小指までの窪みは不明瞭である。爪先部分に比べ踵部分がやや沈み込む。土踏まずの形状から左足と考えられる。二つの足跡が重複する可能性もある。
1	3号道	57	22	10.5	右?	東	89と重複し89を踏む。全体に細長い形状であるが、深く沈み込み輪郭が明瞭である。指の窪みも良好に残存する。裸足の左足である。底面は全体に平坦面で均等に力に加わった様相である。
1	3号道	58	23	7	左?	東	全体に深く沈み込み輪郭が明瞭である。底面は凹凸が著しい。指の窪みは不明瞭である。平面形状から左足か。他の足と重複する可能性がある。
1	3号道	59	21	8	右?	東	爪先部分に比べ踵部分が深く沈み込む。内脚がほぼ垂直に踏み込まれている。指の窪みは不明瞭である。平面形状から右足と考えられる。
1	3号道	60	19	7	右?	東	底面はほぼ平坦面であるが、踵部分に比べ爪先部分がやや深く沈み込む。指の窪みは僅かに認められるが不明瞭である。重心が前にかかったと考えられる。親指部分が斜めに沈み込んだ状態である。
1	3号道	61	17	4.5	左?	西か	平面形状は細長い長方形である。踵部分はほぼ平坦面であり、爪先部分から土踏まずの部分まで深く沈み込む。親指の窪みが僅かに残存する。左足の可能性がある。
1	3号道	62	24.5	9	左	東	全体に深く沈み込み輪郭が明瞭である。親指や人差し指の窪みが認められる。指の付け根部分が僅かに隆起する。底面は僅かな凹凸が認められるがほぼ平坦面である。裸足の左足と考えられる。
1	3号道	63	13.5	4	不明	東か	平面形状は楕丸長方形を呈し、やや細長い形状である。爪先部分に比べ踵部分が深く沈み込む。親指の窪みが認められ、人差し指との間が開き火山灰が隆起する。左右は不明である。
1	3号道	64	24	7	右?	東	95と重複し64が新しいと考えられる。全体に底面の凹凸が著しい。指の窪みが僅かに認められるが不明瞭である。裸足の右足か。
1	3号道	65	23.5	8	左か	東	平面形状は楕丸長方形を呈する。全体に輪郭は明瞭であるが、爪先部分に比べ踵部分が深く沈み込む。爪先部分の底面はほぼ平坦面で指の窪みは不明瞭である。踵
1	3号道	66	16	6.5	左か	西か	土踏まずの部分に直線状に隆起し爪先部分と踵部分を分ける。それぞれ深く垂直に沈み込み輪郭が明瞭である。指の窪みは確認できなかつた。
1	3号道	67	24.5	11	右	東	爪先が斜めに深く入り込みオーバーハンングする。滑るように踏み込まれた痕跡か。指の窪みが僅かに認められる。踵部分はほぼ平坦面である。裸足の右足と考えられる。
1	3号道	68	14以上	10	左	東	親指と人差し指が残存する。指の間がやや開く。裸足の左足と考えると、
1	3号道	69	21	7.5	左?	西	爪先部分と踵部分が深く沈み込み輪郭が明瞭であるが形状が細長い。指の窪みは不明瞭である。平面形状から左足の可能性がある。
1	3号道	70	12.5	5.5	左か	東	指の窪みは親指や人差し指が僅かに残存する。平面形状から裸足の左足と考えると、
1	3号道	71	20	9	左?	西?	深く沈み込み輪郭が明瞭である。踵部分が深く窪む。指の窪みは不明瞭で確認できなかつた。平面形状や底面の形状などから何らかの履物の可能性もある。
1	3号道	72	17	7	右?	北東?	土踏まずの部分に直線状の隆起が認められ爪先部分と踵部分を分ける。平面形状や底面は71に類似する。指の窪みは確認できなかつた。踵部分は凹凸が認められる。履物の可能性もある。
1	3号道	73	13	4	右?	北東か	踵部分の輪郭は明瞭である。爪先部分には指の窪みが不明瞭である。裸足の右足か。
1	3号道	74	19	9.5	左	西	指の窪みが僅かに残存する。外側の輪郭は残存するが内側は不明瞭である。裸足の左足と考えると、
1	3号道	75	11	7	左?	東?	足26と重複し26に踏まれている。指の窪みは不明瞭である。底面は凹凸が著しい。平面形状から左足か。
1	3号道	76	24	9	右	南東	26と重複する。爪先部分には親指の窪みが僅かに認められる。踵部分の輪郭も明瞭である。
1	3号道	77	20	9.5	右	東	78と重複し、78の踵部分を踏む。爪先部分は全体に窪み、指の付け根が直線状に隆起する。平面形状から何らかの履物の可能性もある。

区	遺構	No.	長さ(cm)	幅(cm)	左・右	歩く方向	備考	観察所見
1	3号道	78	20	11	左・右 左か	西	シリコン	77・79と重複する。爪先部分は残存し、指の窪みが僅かに認められる。踵部分は77に踏まれているため不明瞭である。裸足の左足と考えられる。79の親指部分と僅かに重複する。
1	3号道	79	23	10	右	東	シリコン	指の窪み全てが明瞭に残存する。指の間がやや開いている。踵部分や土踏まずも残存する。裸足の右足であり、歩いてきた状況が分かる。
1	3号道	80	24	9	右	東	石膏	深く沈み込み輪郭が明瞭である。爪先が斜めに入り込みオーバーハングする。指の窪みも明瞭であり、指の付け根部分が隆起する。踵部分はほぼ平坦面である。裸足の右足で歩いてきたと考えられる。
1	3号道	81	18	7	左	東	石膏	爪先部分は親指や人差し指が僅かに残存する。踵部分はほぼ平坦面である。裸足の左足と考えられる。
1	3号道	82	21	5.5	左?	南東		平面形状は細長い長方形である。指の窪みが僅かに認められるが明瞭ではない。踵部分には深く沈み込み輪郭が明瞭である。裸足の左足の可能性が高い。
1	3号道	83	17	7	右?	東か	石膏	平面形状は細長い長方形である。爪先部分に比べ踵部分が沈み込む。指の窪みは不明瞭である。平面形状から右足か。
1	3号道	84	15	8	左か	南東か		平面形状は略三角形を呈する。爪先部分は直線状で、親指の窪みが僅かに認められるが判然としなない。踵部分は細長く凹凸が認められる。裸足の左足か。
1	3号道	85	18以上	7.5	左?	東		86と重複し、86を踏む。指の窪みは不明瞭である。裸足の左足の可能性がある。
1	3号道	86	(23)	7	右	東		85と重複し85に踏まれる。全体に凹凸が認められ、指の窪みは不明瞭である。土踏まずが僅かに残存する。
1	3号道	87	16	7.5	左か	西		平面形状は楕円形を呈する。直線状の隆起がカ所認められる。爪先部分と踵部分ともに沈み込み、指の窪みは確認できなかつた。
1	3号道	88	15	8.5	右	東		全体に深く沈み込み輪郭が明瞭である。指の付け根部分が隆起する。爪先は斜めに入り込みオーバーハングする。指の窪みは確認できなかつた。右足と考えられる。
1	3号道	89	13以上	9.5	不明	北東か	石膏	57と重複し87に土踏まずから踵部分にかけて踏まれる。爪先部分が残存し、指の窪みが僅かに認められる。内側がオーバーハングする。裸足の右足と認められる。
1	3号道	90	16	7.5	右	東	石膏	全体の輪郭は明瞭で深く沈み込む。爪先部分は親指の窪みが認められるが、他の指は不明瞭である。内側がオーバーハングする。裸足の右足と認められる。
1	3号道	91	22	8	右?	西?		指の窪みが僅かに残存する。全体に底面は凹凸が認められる。爪先部分の形状や土踏まずなどから西方向に歩いてきた右足か。
1	3号道	92	14	5.5	右?	東		踵部分が細長い。指の窪みは不明瞭で確認できなかつた。二つの足跡が重複する可能性もある。
1	3号道	93	19	9	右か	東		内側はほぼ垂直に深く沈み込み輪郭が明瞭である。親指の窪みが認められる。底面は凹凸が著しい。
1	3号道	94	20	9	右か	南東		平面形状は略三角形を呈する。指の窪みが僅かに残存する。全体に底面は凹凸が認められる。踵部分は幅が狭い。
1	3号道	95	15.5	8	左か	東		爪先部分と踵部分が窪む。指の窪みは不明瞭で確認できなかつた。平面形状から左足か。
1	3号道	96	11.5	5.5	右	東		踵部分の窪みが小さい。爪先部分は親指や人差し指の窪みが僅かに残存する。規模から子供の可能性もある。
1	3号道	97	20	11.5	右か	東		98と重複し98に踏まれる。底面の凹凸が著しく、指の窪みは不明瞭である。踵部分から右足か。
1	3号道	98	(27)	6.5	左か	東		97と重複し、97を踏む。爪先部分は指の窪みが不明瞭である。爪先はオーバーハングする。踵部分から左足か。
1	3号道	99	25	10	左	北東		全体に深く沈み込み輪郭が明瞭である。爪先はオーバーハングするように踏み込まれている。指の窪みは不明瞭である。
1	3号道	100	22	11	右か	南東		全体に深く沈み込み輪郭が明瞭である。踵部分には細長い。指の窪みは僅かに認められる。裸足の右足と考えられる。
1	3号道	101	24	7	右	東		爪先部分はオーバーハングする。指の窪みは不明瞭である。底面は凹凸が著しい。踵部分は幅が狭い。
1	3号道	102	24	8.5	右か	東		全体の輪郭は明瞭である。踵部分には他の足跡か。爪先部分に指の窪みか認められるが不明瞭である。底面はほぼ平坦面である。
1	3号道	103	16.5	6.5	右	北東		踵部分は深く沈み込み輪郭が明瞭である。爪先部分に斜めに入り込み深く沈む。指の窪みは不明瞭である。底面は凹凸が著しい。踵部分には細長い。
1	3号道	104	16	6.5	左か	北東		底面はほぼ平坦面である。指の窪みは確認できなかつた。底面の火口凹が測られた跡相が窺えることから足の裏に張り付いた可能性がある。平面形状から左足か。
1	3号道	105	(24.5)	12	右	東	石膏	指の窪みが全て明瞭に残存する。親指の窪みは幅がやや狭い。裸足の右足である。
1	3号道	106	21	8	左	東		爪先部分と踵部分が沈み込む。親指の窪みは幅が狭い。裸足の左足と考えられる。
1	3号道	107	23	8.5	右か	東		爪先部分と踵部分が不明瞭である。踵部分に比べ爪先部分の沈み込みが浅い。底面は凹凸が認められる。
1	3号道	108	23	7	左?	東?		爪先部分が深く沈み込む。踵部分はほぼ平坦面である。爪先部分には親指の窪みが僅かに残存する。左足か。
1	3号道	109	14	7.5	左	東		ほぼ垂直に沈み込み全体の輪郭が明瞭である。親指の窪みは残存するか他の指の窪みは不明瞭である。裸足の左足と考えられる。
1	3号道	110	12.5	6	右	北東か		全体の輪郭が明瞭である。底面はほぼ平坦面であるが、親指や人差し指の窪みが僅かに残存する。裸足の右足であり、親指から子供の足跡か。
1	3号道	111	(13.0)	6.5	不明	北東		爪先部分は調査区外となるため全体の規模は不明である。踵部分はほぼ平坦面である。土踏まずなどの内側がオーバーハングするように踏み込まれている。
1	3号道	112	-	10	右か	東		爪先部分が僅かに残存する。平面形状から右足か。
1	3号道	113	18.5以上	8	不明	東・西		29と重複し、29に爪先部分を踏まれたため遺失する。残存状況は不良であり、左右は不明である。
1	3号道	114	20	8	不明	北東か		踵部分が僅かに残存し、やや細長い形状である。爪先部分は不明瞭である。左右は明確ではない。

第16表 3-2面1区馬蹄跡観察表

面	区	No.	長さ(cm)	幅(cm)	前・後	方向	保存度	型取り	観察所見
3-2	1	325	10.5	10.5	前	東	C		東側よりくぼみを有する。西側はくぼみがほとんど認められず、下場の確定ができない。
3-2	1	326	10	9.8	前	北東	C		北東側によりはつきりとした窪みが認められる。北西～南西側底部面は北東側底部面に比べ凹凸が目立つ。
3-2	1	327	13	11	前か	東	C		
3-2	1	328	7	9.2	前	東	C		東側は傾斜が大きい(急)だがその他はなだらかに傾斜し凹凸もあり、下場の確定ができない。
3-2	1	329	9	10.5	前	東	C	石膏	東側は窪みを有するが、西側はほとんど認められない。
3-2	1	330	12.4	10.1	前	北東	C		全体的に浅く窪む、東～南東がやや深く(なだらかに下がる)北側底部の周縁が部分的に窪む。
3-2	1	331	10.5	7.2	前	北東	C		全体的に窪みは浅い。北西側の上場・下場の差はほとんどなく(1.0mm前後)、北東側はやや深く窪む(1.0cm前後)。
3-2	1	332	11.2	10	前	北東	C		北東側の特に端部が窪む。(北東側に向かつてなだらかに傾斜する)
3-2	1	333	7.6	5.8	前	東	C		全体的に浅く窪むが、北東端は他と比べ窪み深い。北側底部は凹凸あり。比較して北・西より南・東の立ち上がりの傾斜は緩やか。
3-2	1	334	9.4	9.6	前	東	C	石膏	北～東側にかけて窪み深い。西～南側浅い。南側凹凸あり。北東～東側で下場が上場より外側の部分があるが蹄痕がきれいに食い込んでいるという訳ではない。逆に底面の土が盛り上がりしている部分もある。
3-2	1	335	10.1	8	前	東	C		東側で1段つき、窪みが深くなる。道の傾斜に合わせて?北より南の窪みや急角度で立ち上がる部分が認められず、前方の可能性もある。底面は平坦。
3-2	1	336	8.4	6.9	前	東	C		窪みの深さは全体的に同じ位他と比べて著しく深くなる部分や急角度で立ち上がる部分が認められず、前方の可能性もある。底面は平坦。
3-2	1	337	9.4	10.7	前	東	C		北東部分は底面が少し窪み、立ち上がりのラインも変わるようにも見受けられるため、別の蹄跡の可能性もある。底面中ほどはやや盛り上がる。前方を東側としたか明瞭ではない。
3-2	1	338	10.3	6.8	前	南東	C		全体的に浅く窪む。北・南側はやや直立気味に立ち上がるが、
3-2	1	339	10.5	4.4	前	東	C		西より東、北より南に傾斜する。(下がる)平面形は馬蹄とすると不定形。広がる方を前方としたが不明瞭。No.338・339の前後関係は不明。
3-2	1	340	10.4	5.4	前	北東	C		なだらかに傾斜し底面中ほどが窪む。南北に細長く、底面形状から馬蹄痕とするとかなり不定形となる。積極的に馬蹄が重なっているとも見られない。やや平坦な部分が残る北側を前方としたが、他の馬蹄痕が東(もしくは西)が主体的なもので異質である。
3-2	1	341	6.4	9.5	前	東	C		全体的に浅く窪む。東側の立ち上がりは垂直に近い、西側は緩やかに上がる。底面は平坦。平面形状は西側が二股に分かれるようになっている。
3-2	1	342	7.4	9	前	不明	C		北・東側に比べ南・西側の立ち上がりが緩やかである。(立ち上がりの傾斜が大きい)計測は東を前として行ったが、底面からの深さが、西側はやや浅いが北・東・南とも2.0cm程ではほぼ同じであり、形状の上からも積極的に東側が前方とは言えない。
3-2	1	343	10.5	9.4	前	東	C		全体的に浅く窪む。南・北の立ち上がりは垂直気味で東はやや傾斜をもち、西側は緩やかに上がる。北側は部分的に上場より下場が外側にくる馬。蹄とする
3-2	1	344	5.3	4.2	前	東	C		と平面形状が西側が不定形だが、歩行に伴い蹄を後方に蹴り上げるとこのような蹄跡になるか?
3-2	1	345	12	8	後	東	C	石膏	窪みはやや深く2.5cm程。立ち上がりはすべて緩やか。馬蹄とすれば仔馬か?周辺に同規模の馬蹄としたものはない。
3-2	1	346	4.6	5.5	前	南東	C		やや深く窪む。(調査面より2.8cm程)底面の規模から馬蹄とすれば仔馬か?歩行に伴い、北西方向に蹴り上げた蹄跡か。底面中や、形状から長さは6cm近くになるかもしれない。南西側の立ち上がりかやや急だが他は緩やか。
3-2	1	347	8.6	10.5	前	東	C		西側はなだらかに傾斜しており、下場の認定はできない。馬蹄とすると長さに比べて巾がありすぎか。
3-2	1	369	6.7	7.5	前	東	C		北・東側は垂直気味に、南・西側は緩やかに立ち上がる。南側にやや深く窪む。馬蹄とすると平面形は不定形。東側が二又となるが、西側も立ち上がりが緩やかなので蹄先部が入ったように見えない。北・南とも、積極的に前方ととらえられない。
3-2	1	370	10.1	6.5	前	東	C		北側は垂直もしくは上場より下場が外に出る立ち上がり。東側も垂直に近い。底面は平坦だが西側中ほどやや盛り上がる。馬蹄とすると不定形であり、複数の足跡の痕跡かもしれないが、底面の段差等では観察できない。
3-2	1	371	10.4	7	前	東	C		北・東側の立ち上がりは一部上場より下場が外に出る。底面は北が深く楕円形状を呈し、南もそれより浅く楕円形状。西は緩やかに立ち上がる。北の楕円形状を足跡跡として、西～南方に斜めに引き抜いたら(歩みを進めたら)このような蹄跡にならうか。そうだとすると、かなり小型の足跡となる。
3-2	1	476	9	7.9	前	東	C	石膏	窪みの東側の傾斜が他のよりも大きい。(他が緩やか)
3-2	1	478	8.5	5.5	後	西か	C		西側の壁際が垂直に立ち上がり東側はやや三角形形状に盛り上がりつつある。底ははやや傾斜している。

第17表 10・9・7区ヒト足跡計測表

区	遺構	No.	長さ(cm)	幅(cm)	左・右	歩く方向	備考
10	15号道	713	18.5	9.0	-	北西	
10	15号道	714	23.0	7.5	左	北西	
10	15号道	716	22.0	10.0	-	北西	
10	15号道	717	20.5	9.0	左	南	
10	15号道	723	23.5	10.0	左	北東	
10	15号道	724	21.5	8.5	-	東	
10	15号道	725	24.0	8.5	右	西	
10	7号道	726	15.0	7.0	右	南	
10	7号道	727	17.5	6.0	-	北	
10	7号道	728	21.0	6.0	左	南	
10	7号道	729	21.0	11.0	左	北東	
10	7号道	730	19.5	10.5	右	南	
10	7号道	731	19.5	9.0	右	北	
10	7号道	732	16.5	8.0	左	北	
10	7号道	733	24.0	8.0	右	北東	
10	7号道	734	21.5	8.5	右	北	
10	7号道	735	17.0	6.5	-	南	
10	7号道	736	23.5	9.5	左	北東	
10	7号道	737	21.0	9.0	左	南東	
10	7号道	738	12.0	6.0	右	南	
10	7号道	739	21.0	7.5	右	北東	
10	7号道	740	20.0	7.5	左	南西	
10	7号道	741	19.0	8.0	右	南	
10	7号道	742	24.0	10.0	左	北	
10	7号道	743	13.5	5.0	右	北	
10	7号道	744	14.0	5.0	左	北	
10	7号道	745	24.0	10.0	右	北東	
10	7号道	746	26.0	11.5	左	北東	
10	7号道	747	25.0	10.0	左	北	
10	7号道	748	22.5	10.0	右	北東	
10	7号道	749	19.5	8.0	-	北東	
10	7号道	750	25.5	12.0	右	南西	
10	7号道	751	25.0	11.0	左	北	
10	7号道	752	21.5	6.5	右	南西	
10	7号道	753	18.0	11.0	左	北東	
10	7号道	754	16.0	7.5	右	北東	
10	7号道	755	20.0	9.5	左	北東	
10	Gr.	710	20.0	7.0	左	南東	
10	Gr.	711	20.0	8.0	左	西	
10	Gr.	712	21.0	7.5	右	北	
10	Gr.	715	20.0	10.0	-	東	
10	Gr.	718	20.0	7.5	-	北	
10	Gr.	719	20.5	7.0	右	南	
10	Gr.	720	19.0	8.5	-	南西	
10	Gr.	721	24.5	10.5	左	南東	
10	Gr.	722	21.0	8.5	-	-	
10	7号道	659	(15.5)	10.0	-	-	
10	7号道	660	25.0	11.0	左	北	
10	7号道	661	29.0	11.5	右	南	
10	7号道	662	22.5	8.5	左	北	
10	7号道	663	24.5	10.5	左	北	
10	7号道	664	26.0	10.5	左	北	
10	7号道	665	25.0	10.5	右	北東	
10	7号道	666	26.5	11.5	右	北	
10	7号道	667	23.5	9.5	右	北東	
10	7号道	668	25.5	8.5	右	北東	
10	7号道	669	21.5	10.0	左	北東	
10	7号道	670	(23.0)	9.5	左	北	
10	7号道	671	(17.0)	9.0	左	北東	
10	7号道	672	28.0	7.5	右	南	
10	7号道	673	22.5	8.0	-	南	
10	7号道	674	25.0	8.5	-	-	
9	屋敷地内	675	19.5	8.0	右	北東	
9	屋敷地内	676	25.0	9.5	左	南東	
9	屋敷地内	677	23.0	10.5	左	南東	
9	屋敷地内	678	22.5	10.0	右	南東	
9	屋敷地内	679	24.5	11.5	右	南東	
9	屋敷地内	680	23.0	10.0	右	南東	
9	屋敷地内	681	22.0	11.0	左	北西	
9	屋敷地内	682	22.0	10.0	左	南東	
9	屋敷地内	688	19.0	9.5	右	南西	
9	屋敷地内	689	22.5	9.5	右	北東	
9	屋敷地内	706	27.0	13.0	右	北東	
9	屋敷地内	841	24.5	10.0	右	北東	人足842と重複
9	屋敷地内	842	25.0	(9.0)	右	北東	人足841と重複

区	遺構	No.	長さ(cm)	幅(cm)	左・右	歩く方向	備考
9	屋敷地内	850	21.0	8.5	右	北東	
9	屋敷地内	851	23.0	10.0	左	東	
9	屋敷地内	853	19.5	7.5	-	東	
9	屋敷地内	854	21.0	8.5	左	南西	
9	屋敷地内	855	19.5	7.5	左	北東	
9	屋敷地内	857	26.5	10.5	左	北東	
9	屋敷地内	858	19.5	8.0	右	南西	
9	屋敷地内	859	21.0	12.5	右	北	
9	屋敷地内	862	19.5	9.0	右	北東	
9	屋敷地内	863	23.0	9.0	右	東	
9	屋敷地内	864	24.0	10.0	左	北東	
9	屋敷地内	865	21.5	10.0	左	南	
9	屋敷地内	866	24.5	8.0	左	南	
9	屋敷地内	867	24.5	9.5	右	南	
9	屋敷地内	871	20.0	11.5	左	南東	
9	屋敷地内	873	22.5	10.0	右	北東	
9	屋敷地内	874	23.0	10.0	右	南	
9	屋敷地内	879	24.5	11.0	右	北西	
9	屋敷地内	882	24.0	10.0	左	南	
9	屋敷地内	883	24.5	8.5	左	南	
9	屋敷地内	884	22.0	5.0	-	南	
9	屋敷地内	889	28.0	9.5	左	南東	
9	屋敷地内	890	21.5	8.0	右	南	
9	屋敷地内	892	26.5	10.5	左	南東	
9	屋敷地内	897	21.5	10.5	右	南	
9	屋敷地内	685	23.0	12.0	右	北西	
9	屋敷地内	701	24.0	9.5	左	南東	
9	屋敷地内	702	23.5	10.5	右	南東	
9	屋敷地内	703	22.0	8.5	右	南東	
9	屋敷地内	704	25.5	9.0	左	南東	
9	屋敷地内	705	25.0	9.0	右	南東	
9	屋敷地内	756	19.5	8.5	右	南東	
9	屋敷地内	757	22.5	9.0	左	北西	
9	屋敷地内	758	23.0	10.0	右	北西	
9	屋敷地内	759	21.0	10.5	左	南	
9	屋敷地内	760	22.5	8.5	右	北西	
9	屋敷地内	761	19.5	8.0	左	西	
9	屋敷地内	762	19.0	7.5	左	西	
9	屋敷地内	771	19.0	9.5	左	西	
9	屋敷地内	772	22.0	8.0	右	南東	
9	屋敷地内	773	21.0	10.5	右	西	
9	屋敷地内	774	18.5	9.5	左	北西	
9	屋敷地内	775	25.5	8.0	-	西	
9	屋敷地内	776	22.0	9.0	右	北西	
9	屋敷地内	777	20.5	9.0	左	西	
9	屋敷地内	778	23.0	11.0	左	東	
9	屋敷地内	779	24.0	8.5	右	東	
9	屋敷地内	780	24.0	8.5	左	西	
9	屋敷地内	781	28.5	12.0	左	南西	
9	屋敷地内	794	21.0	11.0	-	東	
9	屋敷地内	795	22.5	9.5	右	北西	
9	屋敷地内	796	23.0	10.5	左	北西	
9	屋敷地内	799	24.0	11.5	右	北西	
9	屋敷地内	801	24.0	12.5	左	北西	
9	屋敷地内	802	23.5	9.5	右	北西	
9	屋敷地内	877	22.5	9.5	-	北西	
9	屋敷地内	886	25.0	9.5	左	北西	
9	屋敷地内	887	23.5	10.5	右	北西	
9	屋敷地内	891	25.0	9.0	右	南	
9	屋敷地内	898	20.0	7.5	右	北西	
9	屋敷地内	899	19.0	9.0	-	-	
9	屋敷地内	900	22.0	10.5	右	南東	
9	屋敷地内	901	27.5	8.5	左	南東	
9	屋敷地内	902	20.5	8.0	左	北西	
9	屋敷地内	903	23.0	9.0	右	北	
9	屋敷地内	906	18.0	6.5	-	-	
9	屋敷地内	907	24.0	9.5	左	北西	
9	屋敷地内	908	(20.0)	8.5	右	北西	人足909と重複
9	屋敷地内	909	23.5	11.0	-	南東	人足908と重複
9	屋敷地内	910	20.5	9.5	左	南	
9	屋敷地内	911	22.5	8.5	左	北西	
9	屋敷地内	912	19.5	6.0	左	南東	
9	屋敷地内	913	23.0	12.0	左	南東	
9	屋敷地内	916	21.5	9.0	右	南東	
9	屋敷地内	917	19.0	7.0	左	北西	

区	遺構	No.	長さ(cm)	幅(cm)	左・右	歩く方向	備考
9	屋敷地内	918	28.5	11.0	左	北西	
9	屋敷地内	919	21.0	9.0	左	南	
9	屋敷地内	920	20.0	9.5	右	南東	
9	屋敷地内	923	21.0	7.0	右	南東	
9	Gr.	683	23.0	12.5	左	北	
9	Gr.	684	24.5	11.5	右	北東	
9	Gr.	686	23.5	10.5	右	北東	
9	Gr.	687	24.5	11.5	右	東	
9	Gr.	690	23.5	11.0	右	北	
9	Gr.	691	23.0	10.5	左	北	
9	Gr.	692	27.0	11.5	右	西	
9	Gr.	693	24.5	10.0	左	北西	
9	Gr.	694	25.5	9.5	左	南東	
9	Gr.	695	24.5	8.5	右	南	
9	Gr.	696	23.5	11.5	右	西	
9	Gr.	697	25.5	11.5	左	西	
9	Gr.	698	24.0	10.5	右	北西	
9	Gr.	699	25.0	10.0	左	西	
9	Gr.	700	25.5	10.5	右	南西	
9	Gr.	707	25.0	9.0	右	南東	
9	Gr.	708	26.0	10.0	右	南	
9	Gr.	709	27.0	10.0	右	南	
9	Gr.	763	24.0	9.5	右	南	
9	Gr.	764	18.0	6.5	右	北	
9	Gr.	765	19.0	7.0	右	北西	
9	Gr.	766	21.5	9.5	左	南東	
9	Gr.	767	19.0	9.0	右	北西	
9	Gr.	768	21.5	11.0	左	北西	
9	Gr.	769	16.5	8.0	右	南東	
9	Gr.	770	21.0	10.0	左	北西	
9	Gr.	782	21.5	8.0	右	北西	
9	Gr.	783	23.5	7.5	左	北西	
9	Gr.	784	27.0	8.5	-	-	
9	Gr.	785	18.0	7.5	左	北西	
9	Gr.	786	119.5	10.0	左	南東	
9	Gr.	787	16.5	7.0	左	東	
9	Gr.	788	20.0	7.5	左	西	
9	Gr.	789	22.0	9.5	左	南西	
9	Gr.	790	21.0	10.0	左	西	
9	Gr.	791	22.0	8.5	左	西	
9	Gr.	792	25.0	10.5	左	西	
9	Gr.	793	20.0	10.0	左	北西	
9	Gr.	797	24.0	10.0	左	北西	
9	Gr.	798	21.5	9.0	右	南東	
9	Gr.	800	24.0	10.5	右	東	
9	Gr.	803	20.0	11.0	右	西	
9	Gr.	804	23.5	9.0	左	東	
9	Gr.	805	20.0	7.5	左	南西	
9	Gr.	806	(25.0)	11.0	-	-	人足807と重複
9	Gr.	807	25.0	9.5	右	北東	人足806と重複
9	Gr.	808	23.0	10.0	左	西	
9	Gr.	809	17.0	8.5	右	西	人足811と重複
9	Gr.	810	17.0	8.5	-	-	人足811と重複
9	Gr.	811	25.0	11.0	-	南	人足809・人足810と重複
9	Gr.	812	25.0	11.0	左	北東	
9	Gr.	813	20.5	6.5	右	南	
9	Gr.	814	20.0	6.5	右	西	
9	Gr.	815	23.0	8.0	右	東	
9	Gr.	816	24.0	7.0	右	南東	
9	Gr.	817	20.0	8.5	左	北西	
9	Gr.	818	19.0	8.0	右	北東	
9	Gr.	819	18.0	9.0	右	南西	
9	Gr.	820	18.0	7.0	左	北	
9	Gr.	821	19.5	8.5	右	北東	
9	Gr.	822	17.5	7.5	左	南西	
9	Gr.	823	17.0	7.5	右	北	
9	Gr.	824	21.0	8.0	右	南東	
9	Gr.	825	21.0	9.0	右	南	
9	Gr.	826	19.0	9.0	右	北	
9	Gr.	827	21.0	10.5	左	南	
9	Gr.	828	24.0	10.5	右	北	
9	Gr.	829	21.0	10.0	左	北西	
9	Gr.	830	18.0	10.0	左	南西	
9	Gr.	831	17.0	8.5	左	東	

区	遺構	No.	長さ(cm)	幅(cm)	左・右	歩く方向	備考
9	Gr.	832	21.5	9.5	-	南	
9	Gr.	833	15.0	7.5	右	南東	
9	Gr.	834	21.5	9.0	右	南	
9	Gr.	835	17.5	7.5	右	南	
9	Gr.	836	20.0	8.5	左	南東	
9	Gr.	837	20.5	11.0	左	北	人足838と重複
9	Gr.	838	22.0	11.0	左	北	人足837と重複
9	Gr.	839	21.0	10.5	左	南	
9	Gr.	840	17.5	8.0	左	南西	
9	Gr.	843	25.0	9.0	右	南西	
9	Gr.	844	24.5	13.5	左	東	
9	Gr.	845	20.5	9.5	-	北東	
9	Gr.	846	21.5	9.5	右	南西	
9	Gr.	847	24.5	12.5	左	北東	
9	Gr.	848	21.0	11.0	左	北東	
9	Gr.	849	23.0	10.5	右	東	
9	Gr.	852	30.0	15.0	-	東	
9	Gr.	856	19.5	9.0	左	北東	
9	Gr.	860	26.5	11.5	左	東	
9	Gr.	861	19.5	8.0	右	南	
9	Gr.	868	24.5	10.0	右	南	
9	Gr.	869	22.0	8.5	右	北	
9	Gr.	870	24.0	10.5	左	北	
9	Gr.	872	21.5	10.5	左	北東	
9	Gr.	875	22.0	9.5	右	南	
9	Gr.	876	23.0	10.5	左	北西	
9	Gr.	878	22.5	8.5	右	北西	
9	Gr.	880	23.0	8.5	右	北	
9	Gr.	881	22.0	9.5	左	北東	
9	Gr.	885	21.5	9.5	左	南	
9	Gr.	888	19.5	9.5	左	南	
9	Gr.	893	25.0	10.5	右	北	
9	Gr.	894	22.5	10.0	-	北東	
9	Gr.	895	23.5	10.5	左	北	
9	Gr.	896	23.0	14.0	左	北東	
9	Gr.	904	25.5	9.5	-	-	
9	Gr.	905	20.5	9.5	-	北西	
9	Gr.	914	21.0	6.0	左	西	
9	Gr.	915	20.5	10.0	-	北東	
9	Gr.	921	20.5	8.5	右	北東	
9	Gr.	922	27.5	9.5	左	南	
9	Gr.	924	22.0	9.5	左	南東	
9	Gr.	925	21.5	8.5	-	-	
9	Gr.	926	18.0	7.0	左	南東	
9	Gr.	927	23.0	7.5	左	南東	
9	Gr.	928	18.5	8.5	右	南東	
9	Gr.	929	25.0	12.0	左	北東	
9	Gr.	930	29.0	11.5	左	西	
9	Gr.	931	24.0	9.0	-	南西	
9	Gr.	932	25.5	9.5	左	南西	
9	Gr.	933	20.5	8.0	右	北西	
9	Gr.	934	21.0	10.0	左	南東	
9	Gr.	935	26.5	12.0	右	南東	
9	Gr.	936	28.0	12.0	右	南東	
9	Gr.	937	25.0	12.0	左	南	
9	Gr.	938	22.0	9.5	左	南	
7	6号道	636	23.5	10.0	右	南	
7	6号道	637	27.5	12.0	右	北西	
7	6号道	638	24.5	12.5	右	南東	
7	6号道	639	27.0	10.0	左	南	人足982と重複
7	6号道	640	21.0	10.5	右	北西	
7	6号道	641	25.5	12.0	右	南東	
7	6号道	642	25.0	13.5	左	南東	
7	6号道	643	27.0	11.5	右	南東	
7	6号道	644	26.0	12.0	左	南東	
7	6号道	645	24.0	12.5	左	南東	
7	6号道	646	30.0	13.0	右	北西	
7	6号道	647	27.0	11.5	左	南東	
7	6号道	648	28.0	12.5	右	北西	
7	6号道	649	25.0	10.0	左	南東	
7	6号道	650	23.5	8.5	左	南東	
7	6号道	651	24.5	11.5	左	南東	
7	6号道	652	20.5	9.0	左	東	
7	6号道	653	26.0	6.5	左	南東	
7	6号道	654	24.5	10.0	左	南東	

第18表 2面馬蹄跡計測表

区	遺構	No.	長さ(cm)	幅(cm)	左・右	歩く方向	備考
7	6号道	655	24.5	9.5	左	南東	
7	6号道	656	21.0	10.5	左	南東	
7	6号道	657	27.0	10.5	右	南東	
7	6号道	658	(20.0)	7.0	-	南東	東壁
7	6号道	939	23.5	10.5	左	北西	
7	6号道	940	21.0	10.0	左	南東	
7	6号道	941	22.0	7.0	右	南	
7	6号道	942	20.0	9.0	左	北西	
7	6号道	943	21.0	8.5	左	南東	
7	6号道	944	21.0	8.0	-	-	
7	6号道	945	19.0	8.5	-	-	
7	6号道	946	24.0	9.0	右	南東	
7	6号道	947	21.0	6.5	-	-	
7	6号道	948	17.5	7.0	-	-	
7	6号道	949	22.0	6.5	右	西	
7	6号道	950	20.0	6.5	右	南東	
7	6号道	951	20.0	9.0	-	東	
7	6号道	952	17.5	6.0	左	南東	
7	6号道	953	23.0	10.0	左	北西	
7	6号道	954	24.0	9.0	左	南東	
7	6号道	955	16.0	7.0	-	南東	
7	6号道	956	24.0	8.5	左	南	
7	6号道	957	23.0	8.0	-	南東	
7	6号道	958	16.0	5.5	-	-	
7	6号道	959	20.0	7.5	左	東	
7	6号道	960	18.5	9.5	-	北	
7	6号道	961	21.0	7.5	右	南東	
7	6号道	962	18.0	10.0	-	北西	
7	6号道	963	22.5	10.0	左	南東	
7	6号道	964	20.0	9.5	右	南西	
7	6号道	965	26.0	10.0	左	東	
7	6号道	966	19.5	11.0	左	西	
7	6号道	967	23.0	11.5	右	北西	
7	6号道	968	17.5	9.5	左	南東	
7	6号道	969	25.0	11.0	右	北西	
7	6号道	970	19.0	10.0	左	東	
7	6号道	971	26.0	9.5	左	南東	
7	6号道	972	21.5	7.5	左	西	
7	6号道	973	22.0	11.0	右	北西	
7	6号道	974	16.0	6.0	右	西	
7	6号道	975	25.0	10.0	右	南東	
7	6号道	976	20.5	9.5	左	南東	
7	6号道	977	20.5	9.5	左	南東	
7	6号道	978	24.5	11.0	左	北西	
7	6号道	979	19.5	7.0	右	南東	
7	6号道	980	22.0	9.0	左	南東	
7	6号道	981	26.0	13.5	左	南東	
7	6号道	982	(20.0)	10.0	左	南東	人足639と重複

面	区	No.	幅(cm)	長さ(cm)	方向	前・後	保存度	備考
2	13	611	14.0	13.0	-	-	-	
2	13	612	15.0	10.0	-	-	-	
2	13	685	12.0	11.0	-	-	A	
2	13	686	12.0	10.0	南西	-	A	
2	13	687	12.0	11.0	-	-	-	
2	13	688	13.0	11.0	-	-	-	
2	13	689	12.0	10.0	南西	-	C	
2	13	690	12.0	11.0	-	-	-	
2	13	691	11.0	11.0	西	-	C	
2	13	692	9.0	10.0	南西	-	C	
2	13	693	10.0	12.0	北東	-	C	
2	13	694	12.0	11.0	西	-	-	
2	13	695	13.0	11.0	南西	-	C	
2	13	696	12.0	12.0	-	-	C	
2	13	697	15.0	12.0	-	-	C	
2	13	698	14.0	10.0	-	-	C	
2	13	699	14.0	14.0	-	-	-	
2	13	700	13.0	12.0	東	-	-	
2	13	701	11	10.0	南西	-	-	
2	13	702	11	9.0	南西	-	-	
2	13	703	10	8.0	-	前	A	
2	13	704	14	12.0	南西	-	-	
2	13	705	12	11.0	-	-	-	
2	13	706	12	11.0	-	-	-	
2	13	707	10	9.0	-	A	-	
2	13	708	13	12.0	-	A	-	
2	13	709	12	10.0	-	A	-	
2	13	867	10.5	10.0	西	前	-	
2	13	868	10.5	10.5	南東	前	-	
2	13	869	11.5	10.5	南西	前	-	
2	13	870	10.5	10.5	西	前	A	
2	13	871	(9.5)	(9.0)	西	後	A	
2	13	872	11.0	10.5	東	前	A	
2	13	873	9.5	10.0	東	前	A	
2	13	874	9.0	9.0	東	前	A	
2	13	875	8.5	9.0	東	前	-	
2	13	876	9.0	8.5	南	前	-	
2	13	877	11.0	10.5	南	前	-	
2	10	797	10.0	9.5	南東	-	-	
2	10	798	9.0	8.5	西	-	-	
2	10	799	9.0	8.5	北	-	-	
2	10	800	8.5	10	東	-	-	
2	10	801	9.0	9.5	北西	-	-	
2	10	802	9.5	10.5	北西	-	-	
2	10	803	9.5	9.5	南西	-	-	
2	10	804	9.5	9.0	南東	-	-	
2	10	805	9.5	9.0	北西	-	-	
2	10	806	10.5	11.0	北西	-	-	
2	10	807	9.5	10.0	南西	-	-	
2	10	808	11	11.5	南西	-	-	
2	10	809	8.5	9.0	西	-	-	
2	10	810	9.0	11.0	南西	-	-	
2	10	811	8.5	8.5	南西	-	-	
2	10	812	8.5	9.5	北西	-	-	
2	10	878	11.5	13.0	-	-	-	
2	10	879	11.0	10.5	-	-	-	
2	10	880	15.0	15.0	-	-	-	
2	10	881	15.0	12.0	-	-	-	
2	10	883	14.0	14.5	-	-	-	
2	10	884	12.0	13.0	-	-	-	
2	10	885	12.0	13.0	-	-	-	
2	10	886	14.5	14.0	-	-	-	
2	10	887	14.5	12.0	-	-	-	
2	10	888	15.0	11.0	-	-	-	
2	9	348	6.3	6.4	南	-	-	
2	9	349	6.0	9.2	西	-	-	
2	9	350	6.5	10.8	東	-	-	
2	9	351	8.5	11.2	北	-	-	
2	9	352	10.5	12.0	北	-	-	

面	区	No.	幅(cm)	長さ(cm)	方向	前・後	保存度	備考
2	9	353	7.1	9.6	東	-	-	
2	9	354	7.2	11.5	東	-	-	
2	9	355	8.4	10.4	東	-	-	
2	9	356	10.3	12.4	東	-	-	
2	9	357	12	11	東	-	-	
2	9	358	-	12	東	-	-	
2	9	359	10	12.9	北東	-	-	
2	9	360	9.5	10.5	東	-	-	
2	9	361	11.5	9	南	-	-	
2	9	362	8.5	9.5	南西	-	-	
2	9	363	11.5	11	北	-	-	
2	9	364	10.5	9	南	-	-	
2	9	365	8.5	9	北	-	-	
2	9	366	7	9.5	南	-	-	
2	9	367	7.5	8	西	-	-	
2	9	368	8	9	南西	-	-	
2	9	372	10	10.8	南東	-	-	
2	9	373	9	8.4	南東	-	-	
2	9	374	10	(9)	南東	-	-	
2	9	375	8.2	10.5	南東	-	-	
2	9	376	7.5	10.5	東	-	C	
2	9	377	11	11.6	南	-	-	
2	9	378	10.5	12.5	東	-	C	
2	9	379	11.3	(5)	南	-	-	
2	9	380	9.5	9.8	南	-	-	
2	9	381	10.5	(8.5)	南西	-	-	
2	9	382	11.5	8.6	南西	-	-	
2	9	383	11	12	東	-	-	
2	9	384	10	12	東	-	-	
2	9	385	10.5	11	東	-	-	
2	9	386	10	9.2	東	-	-	
2	9	387	9.5	10.2	西	-	-	
2	9	388	9	9.5	西	-	-	
2	9	389	9.5	10	北西	-	-	
2	9	390	10	10.5	東	-	-	
2	9	391	10	10.8	北東	-	-	
2	9	392	9.5	10	北東	-	-	
2	9	393	7.7	8	西	-	-	
2	9	394	8.6	11.5	南西	-	-	
2	9	395	10.6	11.2	東	-	-	
2	9	396	8	9	南西	-	-	
2	9	397	9.5	10	東	-	-	
2	9	398	9	11.2	東	-	-	
2	9	399	9	10	東	-	-	
2	9	400	8.5	10.5	東	-	-	
2	9	401	9.5	10	北東	-	-	
2	9	402	10.5	(10)	北西	-	-	
2	9	403	12	13.5	北西	-	-	
2	9	404	13	10.5	東	-	-	
2	9	405	11	12	南西	-	-	
2	9	406	8.5	9	南西	-	-	
2	9	407	8.5	9.5	南	-	-	
2	9	408	10	11	南	-	-	
2	9	409	8.5	9.5	東	-	-	
2	9	410	11	12	西	-	-	
2	9	411	11	11.5	東	-	-	
2	9	412	11.5	10	南東	-	-	
2	9	413	8.5	(7)	東	-	-	
2	9	414	8.5	9	東	-	-	
2	9	415	8.5	9	東	-	-	
2	9	416	8	(8)	東	-	-	
2	9	417	9.5	9	南東	-	-	
2	9	418	10	11	東	-	-	
2	9	419	8.5	10	東	-	-	
2	9	420	9.5	10	北東	-	-	
2	9	421	7.5	8.5	東	-	-	
2	9	422	9.5	10	東	-	-	
2	9	423	9.5	12.5	東	-	-	
2	9	424	9	10	北東	-	-	

面	区	No.	幅(cm)	長さ(cm)	方向	前・後	保存度	備考
2	9	425	9	10	南西	-	-	
2	9	426	8	11.2	南東	-	-	
2	9	427	9	10	東	-	-	
2	9	428	8.5	9.5	南	-	-	
2	9	429	10	11.5	南東	-	-	
2	9	430	10	11	北東	-	-	
2	9	431	9.5	12	西	-	-	
2	9	432	8.5	11	南東	-	-	
2	9	433	9.5	8	東	-	-	
2	9	434	9.5	12	南東	-	-	
2	9	435	12	13	南	-	-	
2	9	436	11.5	13	南	-	-	
2	9	437	11	12	北西	-	-	
2	9	438	11	12.5	北西	-	-	
2	9	439	11	(8)	東	-	-	
2	9	440	12.5	13	東	-	-	
2	9	441	10.5	11.5	南東	-	-	
2	9	442	10.5	11	北	-	-	
2	9	443	10	12.5	南西	-	-	
2	9	444	10.5	12.5	南	-	-	
2	9	445	10.5	11.5	南西	-	-	
2	9	446	11	12.5	南東	-	-	
2	9	447	10.5	12.5	南東	-	-	
2	9	448	12	13.5	南東	-	-	
2	9	449	11	13	南	-	-	
2	9	450	11	13	北西	-	-	
2	9	451	10.5	11.5	南	-	-	
2	9	452	9	(6)	南	-	-	
2	9	453	12	11	南東	-	-	
2	9	454	9.5	12	東	-	-	
2	9	455	9	10	北	-	-	
2	9	456	12	14.5	北	-	-	
2	9	457	11	11.5	南西	-	-	
2	9	458	8.5	9	北東	-	-	
2	9	459	8	8.5	西	-	-	
2	9	460	7.5	9.5	北西	-	-	
2	9	461	11	10	西	-	-	
2	9	462	10	10.5	南	-	-	
2	9	463	8.5	9	南東	-	-	
2	9	464	10.5	11	南東	-	-	
2	9	465	9	9.5	西	-	-	
2	9	466	10.5	11	西	-	-	
2	9	467	8.5	9	西	-	-	
2	9	468	10	10.6	西	-	-	
2	9	469	8	10	西	-	-	
2	9	470	9.5	12	西	-	-	
2	9	471	7.5	9.5	南東	-	-	
2	9	472	12	(11.5)	北東	-	-	
2	9	473	11	10	北東	-	-	
2	9	474	9	(5)	北東	-	-	
2	9	475	11	12	南東	-	-	
2	9	822	9.5	10.5	南東	-	-	
2	9	823	9.5	10.5	南	-	-	
2	9	824	9	10.5	南	-	-	
2	9	825	7.5	8	南西	-	-	
2	9	826	9.5	11	西	-	-	
2	9	827	7.5	8	西	-	-	
2	9	828	9	10.5	西	-	-	
2	9	829	8	9	西	-	-	
2	9	830	8	9	西	-	-	
2	9	831	8	9	西	-	-	
2	9	832	9	9	西	-	-	
2	9	833	7.5	8.5	南西	-	-	
2	9	834	9.5	11	北西	-	-	
2	9	835	10	10.5	北西	-	-	
2	9	836	8.5	9	北	-	-	
2	9	837	9	10	西	-	-	
2	9	838	8	9.5	南西	-	-	
2	9	839	8.5	8.5	南西	-	-	

面	区	No.	幅(cm)	長さ(cm)	方向	前・後	保存度	備考
2	9	840	9.5	11	北西	-	-	
2	9	841	9.5	10.5	南	-	-	
2	9	842	9	9.5	南西	-	-	
2	9	843	9.5	10.5	南西	-	-	
2	9	844	9.5	11.5	南西	-	-	
2	4	71	11.5	13.0	北西	-	B	
2	4	72	10	11.0	北西	-	B	
2	4	73	10.5	12.0	北西	-	B	
2	4	74	10	13.0	南東	-	B	
2	4	75	9.5	10.0	北西	-	B	
2	4	76	11	10.0	南東	前	B	
2	4	77	12	12.0	南	前	B	
2	4	78	14	13.0	南	前	B	
2	4	79	13	12.5	北西	前	B	
2	4	80	10	12.0	北	後	A	
2	4	81	12	13.0	南西	後	B	
2	4	82	15	10.0	北東	-	C	
2	4	83	7.5	6.5	南西	-	B	
2	4	84	14.5	13.5	南東	-	B	
2	4	85	13	11.0	南	前	C	
2	4	86	15	14.0	南東	-	B	
2	4	87	12	6.0	南東	-	B	
2	4	88	11.5	8.5	北	-	B	
2	4	89	12	10.0	北	-	B	
2	4	90	15	12.0	北	-	B	
2	4	91	12	10.0	南西	-	B	
2	4	92	13.5	12.5	南東	-	B	
2	4	93	13.5	14.0	北	-	B	
2	4	94	14	14.5		-	B	
2	4	95	18	17.5	北東	-	B	
2	4	96	10	11.5	南東	-	B	
2	4	97	11	10.5	南西	-	B	
2	4	98	12.5	11.5	南	前	A	
2	4	99	14	17.0	南	後	A	
2	4	100	12.5	12.0	南西	-	B	
2	4	101	14.5	17.5	西	後	B	
2	4	102	9	13.5	南西	後	B	
2	4	103	15.5	18.0	南西	前	C	
2	4	104	16.5	15.5	南西	後	B	
2	4	105	14	13.0	南	前	C	
2	4	106	11.5	11.0	南東	前	C	
2	4	107	13	12.5	北東	前	C	
2	4	108	11	14.5	東	後	B	
2	4	109	11	9.0	東	前	B	
2	4	110	11.5	7.0	南東	-	C	
2	4	111	11	10.0	東	前	B	
2	4	112	12	10.5	東	後	B	
2	4	113	15.5	11.0	北東	前	C	
2	4	114	11	10.0	南西	-	B	
2	4	115	13	13.5	南東	前	B	
2	4	116	13.5	13.0	南	後	B	
2	4	117	10.5	8.0	南	前	C	
2	4	118	12	13.0	南西	前	A	
2	4	119	9.5	5.0	東	-	C	
2	4	120	11	6.0	南東	-	C	
2	4	121	11.5	4.0	南	-	C	
2	4	122	13.5	14.5	南	前	B	
2	4	123	16	14.5	南西	-	B	
2	4	124	11	14.5	南	前	C	
2	4	125	15.5	17.0	北	前	B	
2	4	126	14	11.0	西	-	B	
2	4	127	12	13.5	南	-	B	
2	4	128	11.5	14.0	南西	-	-	
2	4	129	8	9.5	南	前	-	
2	4	130	16.5	15.5	南	前	C	
2	4	131	14	13.0	南西	前	B	
2	4	132	13	14.0	南東	後	B	
2	4	133	13.5	14.0	南西	前	B	
2	4	134	13.5	15.5	北西	後	B	

面	区	No.	幅(cm)	長さ(cm)	方向	前・後	保存度	備考
2	4	135	13.0	11.0	南	前	B	
2	4	136	12.5	12.5	南西	前	A	
2	4	137	11.0	11.0	南	前	A	
2	4	138	13.5	10.0	南	-	C	
2	4	139	11.5	12.0	南西	前	B	
2	4	140	9.5	12.0	南西	前	A	
2	4	141	11.5	11.0	東	前	B	
2	4	142	11.5	11.0	南西	前	-	
2	4	143	13.0	14.0		後	B	
2	4	144	11.5	11.0	北西	前	B	
2	4	145	14.5	(11.0)	北東	前	B	
2	4	146	10.5	(11.0)	西	後	B	
2	4	147	12.5	13.5	西	前	B	
2	4	148	12.0	12.0	西	後	B	
2	4	149	8.0	10.0	北西	後	A	
2	4	150	8.0	13.5	南東	後	A	
2	4	151	14.0	12.5	北	前	A	
2	4	152	11.5	11.5	北	後	A	
2	4	153	9.5	11.0	西	前	B	
2	4	154	7.5	(8.0)	南	前	B	
2	4	155	10.5	(8.5)	南西	前	B	
2	4	156	11.0	12.5	西	前	B	
2	4	157	7.5	10.5	西	後	B	仔馬?
2	4	158	11.0	(12.5)	南西	前	B	
2	4	159	8.5	10.0	南	後	A	仔馬?
2	4	160	8.0	12.0	南西	後	B	
2	4	161	9.0	11.0	南西	後	A	
2	4	162	8.5	(8.5)	南西	後	B	
2	4	163	10.5	(11.0)	南西	前	B	
2	4	164	13.0	(11.5)	南西	前	B	
2	4	165	11.5	(12.0)	南	後	B	
2	4	166	11.0	(8.0)	西	前	B	
2	4	167	9.0	(8.5)	南東	後	B	
2	4	168	9.0	10.0	北西	後	B	
2	4	169	10.5	(13.0)	東	前	B	
2	4	170	9.0	12.0	西	後	B	
2	4	171	9.5	(9.0)	北西	前	B	
2	4	172	8.5	(8.0)	北西	後	B	
2	4	173	10.0	(10.0)	西	前	B	
2	4	174	8.5	(10.0)	西	後	B	
2	4	175	10.0	14.5	南西	後	B	
2	4	176	11.0	(8.5)	南東	前	B	
2	4	177	9.5	(11.0)	西	後	B	
2	4	178	11.0	(11.5)	南	前	B	
2	4	179	9.0	15.0	南西	後	B	
2	4	180	9.0	(11.5)	西	後	B	
2	4	181	11.0	(12.5)	南	前	B	
2	4	182	10.0	(11.0)	南	後	B	
2	4	183	12.5	(11.0)	北東	前	B	
2	4	184	12.0	(14.0)	南	後	A	
2	4	185	13.0	(12.5)	南	前	B	
2	4	186	12.5	(8.0)	西	前	B	
2	4	187	12.0	(8.0)	南	前	C	
2	4	188	9.0	(8.0)	北東	後	C	
2	4	189	12.0	(8.0)	東	前	B	
2	4	190	12.0	(8.0)	北東	前	A	
2	4	191	10.5	(8.0)	北東	後	A	
2	4	192	13.0	(8.0)	南	前	B	
2	4	193	11.0	(8.0)	南	後	B	
2	4	194	11.0	(8.0)	南	前	A	
2	4	195	12.5	10.5	南	前	B	
2	4	196	9.5	(9.0)	西	後	B	
2	4	197	15.5	13.5	南西	前	B	
2	4	198	12.0	(10.0)	南西	後	B	
2	4	199	10.5	11.0	南西	後	B	
2	4	200	8.5	13.0	南	後	C	
2	4	201	12.0	12.5	南	前	B	
2	4	202	14.5	(12.5)	南東	前	B	
2	4	203	8.0	(8.5)	南西	後	B	

面	区	No.	幅(cm)	長さ(cm)	方向	前・後	保存度	備考
2	4	204	10.0	(13.5)	西	後	B	
2	4	205	9.0	(8.5)	南東	後	C	
2	4	206	11.0	11.0	西	前	A	
2	4	207	10.5	10.0	西	後	B	
2	4	208	11.5	11.5	西	前	A	
2	4	209	9.5	11.0	北西	後	B	
2	4	210	12.0	14.0	西	後	B	
2	4	211	11.0	(12.0)	南	前	B	
2	4	212	10.0	11.5	南	前	A	
2	4	213	13.5	(13.0)	南西	前	B	
2	4	214	9.5	12.0	南西	後	B	仔馬
2	4	215	11.5	12.0	北東	前	B	
2	4	216	10.0	12.5	南西	後	B	
2	4	322	11.0	13.0	西	前	C	
2	4	323	11.0	12.0	西	前	C	
2	4	324	11.0	12.0	西	前	C	
2	4	504	9.0	10.0	西	後	C	
2	4	505	8.0	10.5	西	後	C	
2	4	506	9.5	11.5	西	前	C	
2	4	507	8.5	11.0	西	後	C	
2	4	508	9.0	10.0	西	前	B	
2	4	509	9.0	9.5	北東	前	B	
2	4	511	9.0	(9.0)	北東	前	B	
2	4	512	8.0	9.5	-	後	C	
2	4	515	9.0	9.0	東	後	B	
2	4	516	9.0	11.0	西	後	B	
2	4	517	6.5	8.5	西	後	C	
2	4	518	9.0	9.0	北西	前	C	
2	4	519	8.5	10.5	南	後	B	
2	4	556	9.0	11.0	北東	後	C	
2	4	557	10.0	11.5	北東	前	B	
2	4	558	9.0	10.5	南東	後	C	
2	4	559	8.5	8.5	南東	前	B	
2	4	560	10.5	10.5	西	前	B	
2	4	561	8.5	9.5	北	後	C	
2	4	562	9.5	10.5	北西	後	C	
2	4	563	7.5	10.0	南	後	C	
2	4	564	9.0	9.0	北	前	B	
2	4	565	9.5	8.0	南東	後	C	
2	4	566	10.0	9.0	南東	後	C	
2	4	567	11.0	10.0	南東	前	B	
2	4	584	15.0	11.0	-	-	-	
2	4	594	9.0	8.5	北	前	C	
2	4	595	9.0	8.0	北	前	C	
2	4	596	8.5	7.0	北	後	C	
2	4	597	9.5	10.0	東	前	C	
2	4	598	8.5	7.5	東	後	C	
2	4	599	9.5	11.0	東	前	C	
2	4	600	11.5	10.0	北西	後	C	
2	4	902	12.0	9.0	南西	-	-	
2	2	1	14.0	(13.0)	北北西	前	B	
2	2	2	12.5	(11.0)	北	前	B	
2	2	3	12.5	(11.0)	西	前	A	
2	2	4	12.5	(12.0)	北西	後	B	
2	2	5	16.0	16.0	南	前	B	
2	2	6	12.5	(9.5)	南	前	B	
2	2	7	11.0	(10.5)	南西	前	B	
2	2	8	12.0	(12.5)	西	後	B	
2	2	9	13.5	(10.0)	南西	前	B	
2	2	10	15.0	14.5	南	前	B	
2	2	11	12.5	(13.0)	東北東	後	B	
2	2	12	13.5	14.5	北西	前	B	
2	2	13	11.5	14.5	北	後	A	
2	2	14	12.5	(12.0)	北北東	前	B	
2	2	15	12.0	15.0	西	後	B	
2	2	16	(10.0)	14.5	北西	後	B	
2	2	17	12.0	(12.0)	南西	前	B	
2	2	18	9.5	(11.5)	北東	後	B	
2	2	19	11.0	14.0	南東	後	B	

面	区	No.	幅(cm)	長さ(cm)	方向	前・後	保存度	備考
2	2	20	(12.5)	(11.5)	南西	後	B	
2	2	21	12.5	(13.0)	北東	後	B	
2	2	22	13.0	14.5	東北東	後	B	
2	2	23	11.5	12.0	南	前	B	
2	2	24	12.5	(12.0)	北	前	B	
2	2	25	12.0	(10.0)	北	前	B	
2	2	26	15.0	14.5	北	前	A	
2	2	27	14.0	(15.0)	東	後	B	28と重複
2	2	28	12.0	(9.5)	東	前	B	27と重複
2	2	29	13.5	(13.0)	南西	前	B	
2	2	30	15.0	(12.5)	北	前	B	
2	2	31	12.0	(10.0)	南西	前	B	
2	2	32	12.5	(9.0)	西	前	B	
2	2	33	11.0	(10.5)	南西	後	B	
2	2	34	13.0	(12.5)	西	後	B	
2	2	35	11.0	(7.5)	北北西	前	B	
2	2	36	11.5	(8.5)	北北西	後	B	37と重複
2	2	37	11.0	(8.0)	北北西	前	B	36と重複
2	2	38	14.0	(11.0)	南西	前	B	
2	2	39	13.5	(11.5)	南	前	A	
2	2	40	13.0	(11.5)	西	前	A	
2	2	41	14.0	(12.5)	南南東	前	B	
2	2	42	15.5	(13.5)	南南西	前	B	道脇
2	2	43	13.0	(9.5)	南西	前	B	道脇
2	2	44	(8.0)	(4.5)	南西	前	C	道脇
2	2	45	16.0	(15.0)	南西	前	B	道脇
2	2	46	12.5	12.5	東	前	B	
2	2	47	13.5	14.5	北西	前	B	
2	2	48	12.5	(11.5)	南西	前	B	道脇
2	2	49	13.0	(12.0)	北西	前	B	
2	2	50	12.0	(12.0)	北西	前	A	51と重複
2	2	51	12.5	(11.5)	北西	後	A	50と重複
2	2	52	12.0	13.0	南西	前	B	道脇
2	2	53	14.0	(11.5)	西	前	B	
2	2	54	17.0	(14.5)	北西	前	B	
2	2	55	12.5	17.0	南東	後	A	
2	2	56	17.5	(14.0)	南南東	前	B	
2	2	57	(12.5)	(10.5)	西	前	C	道脇
2	2	58	13.0	(11.0)	西	前	B	道脇
2	2	59	12.0	(9.5)	北東	前	B	道脇
2	2	60	13.54	(11.0)	北西	前	B	
2	2	61	12.5	(13.0)	北東	後	B	道脇
2	2	62	14.0	(12.5)	南西	前	B	
2	2	63	13.5	14.0	南東	前	A	畦内
2	2	64	12.0	13.5	南南東	前	A	畦内
2	2	70	8.0	7.0	西	前	B	
2	3	65	10.0	(10.0)	南東	前	A	66と重複
2	3	66	9.5	10.0	南東	後	A	65と重複
2	3	67	9.5	10.0	南東	後	B	
2	3	68	9.0	10.0	南	後	B	
2	3	69	9.0	11.0	北東	後	C	
2	1	226	(13.0)	12	南	後	C	
2	1	227	(10)	9.5	南	前	C	
2	1	228	13.5	13	南	前	C	
2	1	229	9.5	9.5	南	後	C	
2	1	230	12.5	10	南	-	C	
2	1	231	13.0	11	-	前		
2	1	232	11.5	9.5	西	後	C	
2	1	233	9.5	7.5	南西	前	C	
2	1	234	10.5	8.5	南西	後	C	
2	1	235	10	9.5	南西	前	C	
2	1	236	12	9	南	後	C	
2	1	237	12	10	南	前	C	
2	1	238	11.5	9.5	南	前	C	
2	1	239	9.5	9	南	後	C	
2	1	240	12.5	12.5	南	前	C	
2	1	241	11.5	10.5	南	前	C	
2	1	242	10	9.5	南東	前	C	
2	1	243	10.5	10.0	西	前	C	

面	区	No.	幅(cm)	長さ(cm)	方向	前・後	保存度	備考
2	1	244	9.5	8.5	南東	前	C	
2	1	245	10.0	9.5	西	前	C	
2	1	246	13.0	8.5	南	後	C	
2	1	247	12.0	9.0	南	後	C	
2	1	248	11.0	10.0	南東	前	C	
2	1	249	10.0	9.0	南東	後	C	
2	1	250	10.0	9.0	西	前	C	
2	1	251	9.0	8.0	南	前	C	
2	1	252	(11.0)	10.5	南西	前	C	253と重複
2	1	253	(11.0)	10.5	南西	後	C	252と重複
2	1	254	11.0	10.0	南東	前	C	
2	1	255	9.0	9.0	南西	前	B	
2	1	256	13.0	9.5	東	後	B	
2	1	257	11.5	8.0	南	後	C	
2	1	258	(10.0)	9.5	南	前	C	259と重複
2	1	259	(9.5)	9.5	南	前	C	258と重複
2	1	260	(9.5)	8.0	南	後	C	
2	1	261	10.5	10.0	南	前	C	
2	1	262	8.0	7.0	南	前	C	
2	1	263	12.0	9.5	南西	後	C	
2	1	264	11.0	10.0	南	前	C	
2	1	265	9.0	8.5	北西	前	C	
2	1	266	10.0	12.0	北西	前	C	
2	1	267	10.0	11.5	南	前	C	
2	1	268	7.0	9.0	南	後	C	
2	1	269	9.0	11.0	南	前	C	
2	1	270	8.0	11.5	南	後	C	
2	1	271	7.5	8.5	南	前	C	
2	1	272	8.5	10.5	南東	後	C	
2	1	273	9.5	9.5	南東	前	C	
2	1	274	7.0	9.0	北東	後	C	
2	1	275	12.0	12.5	西	前	B	
2	1	276	9.5	14.0	南東	後	C	
2	1	277	10.5	11.0	南西	前	C	
2	1	278	9.5	10.0	南	前	C	
2	1	279	(9.0)	(10.0)	北	前	C	
2	1	280	11.5	11.5	北東	前	C	
2	1	281	10.5	12.0	西	前	B	
2	1	282	9.5	(8.0)	西	前	C	
2	1	283	12.0	14.0	西	前	C	
2	1	284	8.0	9.0	南	前	C	
2	1	285	8.5	9.0	南西	前	C	
2	1	286	10.0	10.0	南	前	C	
2	1	287	9.5	9.0	南	前	C	
2	1	288	7.0	10.0	南東	後	B	
2	1	289	9.5	9.0	北東	前	C	
2	1	290	8.0	11.0	東	後	C	
2	1	291	8.0	9.5	北東	前	C	
2	1	292	10.0	10.5	南西	前	C	
2	1	293	9.0	10.0	南	前	C	
2	1	294	9.5	11.0	南東	前	C	
2	1	295	10.5	9.5	南西	前	C	
2	1	296	10.0	10.5	北西	前	C	
2	1	297	8.0	11.0	北西	後	C	
2	1	298	8.0	10.0	南西	前	C	
2	1	299	8.0	10.0	北西	後	C	
2	1	300	9.0	10.5	西	前	C	
2	1	301	8.5	8.0	南西	前	C	
2	1	302	8.0	9.5	東	前	C	
2	1	303	9.0	10.0	南	前	C	
2	1	304	10.5	11.0	南東	前	A	
2	1	305	10.0	9.5	西	前	A	
2	1	306	6.0	8.0	南東	後	C	
2	1	307	8.0	(8.0)	西	前	C	
2	1	308	9.0	11.0	北西	後	C	
2	1	309	8.5	9.5	南	前	C	
2	1	310	9.5	9.5	南	前	C	
2	1	311	8.5	12.5	南	前	C	
2	1	312	8.5	9.5	南	前	C	

面	区	No.	幅(cm)	長さ(cm)	方向	前・後	保存度	備考
2	1	313	11.0	10.5	南	前	B	
2	1	314	9.0	11.0	南	後	C	
2	1	315	10.5	11.5	南西	前	C	
2	1	316	9.5	9.0	北西	前	C	
2	1	317	9.5	8.5	南西	前	C	
2	1	318	8.0	6.5	南西	前	C	
2	1	319	10.5	11.0	東	前	C	
2	1	320	9.5	10.0	北東	前	C	
2	1	321	10.0	10.5	西	前	C	
2	7	710	8.0	9.0	南西	-	-	
2	7	711	8.5	10.5	南西	-	-	
2	7	712	8.0	8.5	南西	-	-	
2	7	713	9.5	9.5	西	-	-	
2	7	714	8.5	8.5	西	-	-	
2	7	715	8.5	9.5	西	-	-	
2	7	716	8.5	9.0	西	-	-	
2	7	717	8.5	9.5	西	-	-	
2	7	718	8.8	8.0	西	-	-	
2	7	719	9.0	11.0	南西	-	-	
2	7	720	8.0	9.0	西	-	-	
2	7	721	8.0	8.5	西	-	-	
2	7	722	8.0	9.0	西	-	-	
2	7	723	8.0	8.0	西	-	-	
2	7	724	8.0	8.5	西	-	-	
2	7	725	8.5	9.0	西	-	-	
2	7	726	7.5	8.0	西	-	-	
2	7	727	7.5	8.0	西	-	-	
2	7	728	7.0	7.5	西	-	-	
2	7	729	7.5	7.5	西	-	-	
2	7	730	8.5	9.5	南西	-	-	
2	7	731	8.0	9.5	西	-	-	
2	7	732	8.5	8.5	西	-	-	
2	7	733	8.5	8.5	西	-	-	
2	7	734	7.0	7.5	北東	-	-	
2	7	735	7.5	7.5	西	-	-	
2	7	736	7.0	7.5	西	-	-	
2	7	737	7.5	7.5	西	-	-	
2	7	738	9.0	9.5	南	-	-	
2	7	739	9.5	9.5	南東	-	-	
2	7	740	9.0	9.5	南	-	-	
2	7	741	8.5	10.0	南	-	-	
2	7	742	8.0	9.0	南	-	-	
2	7	743	9.0	9.5	西	-	-	
2	7	744	9.5	10.5	西	-	-	
2	7	745	9.0	10.5	西	-	-	
2	7	746	9.0	11.0	西	-	-	
2	7	747	9.5	10.5	西	-	-	
2	7	748	10.5	11.0	西	-	-	
2	7	749	10.5	11.5	西	-	-	
2	7	750	9.5	11.0	西	-	-	
2	7	751	12.5	11.5	南	-	-	
2	7	752	12.0	10.0	南	-	-	
2	7	753	12.5	11.5	北	-	-	
2	7	754	9.0	8.0	北西	-	-	
2	7	755	11.3	9.5	北西	-	-	
2	7	756	10.0	11.0	西	-	-	
2	7	757	11.0	9.0	南西	-	-	
2	7	758	9.0	9.0	南西	-	-	
2	7	759	10.5	9.7	西	-	-	
2	7	760	(9.0)	9.5	西	-	-	
2	7	761	9.0	8.5	西	-	-	
2	7	762	9.0	8.3	南西	-	-	
2	7	763	10.0	8.5	南西	-	-	
2	7	764	10.2	9.0	北西	-	-	
2	7	765	12.2	10.0	北西	-	-	
2	7	766	10.2	8.0	北西	-	-	
2	7	767	10.0	9.5	南	-	-	
2	7	768	11.5	10.0	南西	-	-	
2	7	769	11.0	9.0	北西	-	-	

面	区	No.	幅(cm)	長さ(cm)	方向	前・後	保存度	備考
2	7	770	10.0	8.0	北西	-	-	
2	7	771	12.0	9.7	南西	-	-	
2	7	772	12	10.0	南	-	-	
2	7	773	11.5	11.5	南西	-	-	
2	7	774	10.0	8.5	南西	-	-	
2	7	775	9.5	8.7	北西	-	-	
2	7	776	9.7	7.5	北西	-	-	
2	7	777	10.0	10.0	南西	-	-	
2	7	778	12.0	9.0	南東	-	-	
2	7	779	11.5	10.5	南西	-	-	
2	7	780	9.0	8.0	南	-	-	
2	7	781	11.5	10.0	南西	-	-	
2	7	782	10.5	9.3	南西	-	-	
2	7	783	10.0	8.5	東	-	-	
2	7	784	10.0	8.5	南西	-	-	
2	7	785	12.0	10.5	北東	-	-	
2	7	786	12.0	8.5	南東	-	-	
2	7	787	12.5	10.0	東	-	-	
2	7	788	12.0	9.5	西	-	-	
2	7	789	10.0	9.5	南東	-	-	
2	7	790	10.5	8.0	南西	-	-	
2	7	791	10.5	8.5	西	-	-	
2	7	792	8.5	7.0	南西	-	-	
2	7	793	10.0	8.0	南	-	-	
2	7	794	9.5	8.5	南西	-	-	
2	7	795	9.5	9.5	北西	-	-	
2	7	796	9.0	9.0	西	-	-	
2	7	813	8.5	9.5	南西	-	-	
2	7	814	9.5	9.5	南西	-	-	
2	7	815	9.0	10.5	南西	-	-	
2	7	816	9.5	10.5	南西	-	-	
2	7	817	9.5	10.5	南西	-	-	
2	7	818	9.5	10.5	南西	-	-	
2	7	819	9.5	9.5	北西	-	-	
2	7	820	9.5	9.5	北西	-	-	
2	7	821	9.5	9.5	南西	-	-	
3	10	848	14.0	11.0	-	前	A	
3	10	849	13.0	13.0	-	後	C	
3	10	850	11.0	9.0	-	前	A	
3	10	851	11.5	10.0	-	-	-	
3	10	852	10.0	9.0	-	前	A	
3	10	891	10.5	10.5	-	-	-	
3	10	892	11.0	11.0	-	-	-	
3	10	893	10.0	9.0	-	-	-	
3	10	894	11.0	9.0	-	-	-	
3	10	895	13.0	11.0	-	-	-	
3	10	896	11.0	9.0	-	-	-	
3	10	897	10.0	10.0	-	-	-	
3	10	898	13.5	9.0	-	-	-	
3	10	899	13.0	11.5	-	-	-	
3	10	900	13.0	11.0	-	-	-	
3	10	901	10.0	9.0	-	-	-	
3	9	510	9.5	10.0	西	前	-	
3	9	513	9.0	9.0	北	後	-	
3	9	514	8.5	9.0	南	前	-	
3	9	853	11.0	9.0	-	前	A	
3	9	854	14.0	9.0	-	前	-	
3	9	855	14.0	12.0	-	前	A	
3	9	856	15.0	12.0	-	-	C	
3	9	857	10.0	10.0	-	-	-	
3	9	858	13.0	9.0	-	-	-	
3	9	859	12.0	9.0	-	前	A	
3	9	860	15.0	10.0	-	前	A	
3	9	861	10.0	9.0	-	前	A	
3	9	862	14.0	9.0	-	前	A	
3	9	863	11.0	10.0	-	後	A	
3	9	864	11.0	8.0	-	-	-	
3	9	865	14.0	12.0	-	-	-	
3	9	866	12.0	8.0	-	-	-	

面	区	No.	幅(cm)	長さ(cm)	方向	前・後	保存度	備考
3	9	903	14.5	10.0	-	-	-	
3	9	904	12.0	10.5	-	-	-	
3	9	905	9.5	10.0	-	-	-	
3	9	906	12.0	10.0	-	-	-	
3	9	907	10.0	13.0	-	-	-	
3	9	908	13.5	12.0	-	-	-	
3	9	909	14.0	13.5	-	-	-	
3	9	910	13.0	11.5	-	-	-	
3	9	911	13.5	14.0	-	-	-	
3	9	912	12.5	9.5	-	-	-	
3	9	913	12.0	12.0	-	-	-	
3	9	914	13.5	10.5	-	-	-	
3	9	915	13.0	13.5	-	-	-	
3	9	916	8.5	13.0	-	-	-	
3	9	917	10.5	11.0	-	-	-	
3	9	918	12.0	11.0	-	-	-	
3	9	919	10.0	10.0	-	-	-	
3	9	920	10.5	13.5	-	-	-	
3	9	921	10.5	11.0	-	-	-	
3	9	922	12.0	10.5	-	-	-	
3	9	923	15.0	12.0	-	-	-	
3	9	924	10.0	10.5	-	-	-	
3	9	925	11.0	14.5	-	-	-	
3	9	926	12.0	10.0	-	-	-	
3	9	927	11.0	10.0	-	-	-	
3	9	928	9.0	14.0	-	-	-	
3	9	929	10.0	14.0	-	-	-	
3	9	930	14.5	10.0	-	-	-	
3	9	931	12.5	12.0	-	-	-	
3	9	932	16.5	9.5	-	-	-	
3	9	933	9.0	12.0	-	-	-	
3	9	934	12.5	8.5	-	-	-	
3	9	935	9.0	12.5	-	-	-	
3	9	936	11.0	13.5	-	-	-	
3	9	937	10.0	13.5	-	-	-	
3	9	938	13.0	13.5	-	-	-	
3	9	939	8.5	13.0	-	-	-	
3	9	940	11.5	10.0	-	-	-	
3	9	941	9.0	13.5	-	-	-	
3	9	942	9.5	13.0	-	-	-	
3	9	943	10.5	13.0	-	-	-	
3	9	944	10.5	14.0	-	-	-	
3	9	945	9.0	11.0	-	-	-	
3	9	946	9.5	13.5	-	-	-	
3	9	947	9.5	11.5	-	-	-	
3	9	948	8.5	10.0	-	-	-	
3	9	949	10.0	13.5	-	-	-	
3	9	950	9.5	9.5	-	-	-	
3	9	951	10.0	12.0	-	-	-	馬952重
3	9	952	10.5	14.0	-	-	-	馬951重
3	9	953	11.0	8.5	-	-	-	
3	9	954	9.5	9.0	-	-	-	
3	9	955	12.0	15.0	-	-	-	
3	9	956	11.5	15.0	-	-	-	
3	4	217	13.5	14.0	南東	前	A	
3	4	218	13.0	14.5	南東	後	A	
3	4	219	12.5	12.0	南	前	B	
3	4	222	10.5	12.5	南東	後	A	9建物重
3	4	223	14.5	12.5	北	後	B	9建物重
3	4	224	13.0	15.0	西	後	B	9建物重
3	4	225	15	14.0	-	-	-	4建物重
3	4	477	9.5	12.0	北	後	A	
3	4	479	(5.0) 半分	11.0	西	前	B	
3	4	480	8.0	8.5	北	前	C	
3	4	481	8.0	12.5	北東	後	C	
3	4	482	9.0	12.0	北東	後	C	
3	4	483	12.0	12.0	北東	前	C	
3	4	484	9.0	12.0	北	後	C	
3	4	485	9.5	9.5	東	前	C	

面	区	No.	幅(cm)	長さ(cm)	方向	前・後	保存度	備考
3	4	486	9.0	11.0	西	後	B	
3	4	487	10.0	10.5	南東	前	B	
3	4	488	10.0	(10.0)	北西	前	B	
3	4	489	10.0	11.0	北西	後	B	
3	4	490	7.5	12.5	南西	後	B	
3	4	491	8.5	10.5	西	後	B	
3	4	492	10.0	12.0	西	後	C	
3	4	493	7.5	9.0	南東	後	B	
3	4	494	10.0	(9)	西	前	B	
3	4	495	8.0	10.0	西	後	B	
3	4	496	9.5	11.5	北	後	A	
3	4	497	7.0	10.0	南東	後	C	
3	4	498	7.5	10.5	西	後	B	
3	4	499	9.5	11.0	西	前	B	
3	4	500	9.5	12.0	西	前	B	
3	4	501	10.0	13.0	東	後	B	
3	4	502	9.5	12.5	東	後	B	
3	4	503	9.0	13.0	西	後	B	
3	4	520	8.5	11.0	東	後	B	
3	4	521	8.0	10.0	東	前	B	
3	4	522	10.0	11.0	東	前	B	
3	4	523	10.5	15.0	東	後	B	
3	4	524	8.5	12.0	西	後	B	
3	4	525	7.5	10.0	西	後	C	
3	4	526	9.0	11.5	南西	後	C	
3	4	527	10.0	10.5	南西	前	C	
3	4	528	9.0	11.0	北西	前	B	
3	4	529	8.5	10.5	南東	後	B	
3	4	530	8.5	11.0	西	後	B	
3	4	531	8.5	11.5	南西	後	C	
3	4	532	9.5	9.5	南	前	B	
3	4	533	9.0	11.5	南西	後	C	
3	4	534	9.5	12.0	南	後	C	
3	4	535	10.0	11.5	南西	後	B	
3	4	536	10.0	11.5	東	前	B	
3	4	537	7.5	9.5	西	後	C	
3	4	538	8.5	8.5	南西	前	C	
3	4	539	9.5	12	南	後	C	
3	4	540	9.5	8.5	北	前	C	
3	4	541	9.0	12.0	南西	前	B	
3	4	542	7.5	12.0	西	後	C	
3	4	543	8.5	11.0	南	前	B	
3	4	544	9.0	9.0	南	前	C	
3	4	545	8.5	11.0	南東	前	C	
3	4	546	7.0	8.5	南西	後	C	
3	4	547	9.0	10.0	東	前	C	
3	4	548	7.0	9.0	南東	後	C	
3	4	549	9.0	9.5	南	前	C	
3	4	550	8.0	14.0	北西	後	C	
3	4	551	10.0	12.5	北	前	B	
3	4	552	9.5	13.5	南西	後	C	
3	4	553	(9.0)	(10.0)	北西	後	C	
3	4	554	11.0	12.0	南	前	B	
3	4	555	9.5	10.5	南	前	C	
3	4	568	8.5	7.5	東	前	B	
3	4	569	9.0	8.0	東	後	B	
3	4	570	10.5	9.5	南東	前	B	
3	4	571	9.5	9.0	南西	前	B	
3	4	572	8.5	7.5	南東	前	B	
3	4	573	9.0	8.0	南東	後	B	
3	4	574	12.0	9.5	東	後	C	
3	4	575	13.0	9.0	南東	後	C	
3	4	576	11.5	9.0	東	前	C	
3	4	577	11.5	9.0	西	前	C	
3	4	578	(9.0)	9.0	西	後	C	
3	4	579	10.0	8.5	西	前	C	
3	4	580	11.5	9.5	北西	後	C	
3	4	581	13.0	10.5	北西	前	C	
3	4	582	(13.5)	9.0	北西	後	C	

面	区	No.	幅(cm)	長さ(cm)	方向	前・後	保存度	備考
3	4	583	12.0	9.0	南東	前	C	
3	4	585	11.0	9.0	南	前	C	
3	4	586	11.5	8.0	南	後	C	
3	4	587	(6.5)	7.5	南	前	C	
3	4	588	11.5	9.0	南西	前	C	
3	4	589	12.5	9.0	南	前	C	
3	4	590	10.5	8.5	南	後	C	
3	4	591	14.0	11.0	-	-	-	5道重
3	4	592	11.0	9.0	-	-	-	5道重
3	4	593	13.0	11.0	-	-	-	5道重
3	4	601	12.0	10.0	-	-	-	5道重
3	4	602	11.0	10.0	-	-	-	
3	4	603	11.0	8.0	-	-	-	5道重
3	4	604	12.5	11.0	南	前	C	
3	4	605	11.0	10.5	北	後	C	
3	4	606	12.0	9.5	南	後	C	
3	4	607	14.0	11.0	-	-	-	5道重
3	4	608	12.0	9.0	-	-	-	5道重
3	4	609	13.0	9.0	-	-	-	5道重
3	4	610	11.0	11.0	-	-	-	5道重
3	4	613	13.0	11.0	-	-	-	5道重
3	4	614	11.5	9.5	西	前	C	
3	4	615	12.0	8.5	西	後	C	
3	4	616	13.0	10.0	西	後	C	
3	4	617	13.5	8.5	西	後	C	
3	4	618	11.0	8.5	西	前	C	
3	4	619	(8.5)	8.0	西	後	C	
3	4	620	9.5	8.0	西	前	C	
3	4	621	(7.5)	8.0	南西	前	C	
3	4	622	8.5	8.0	南西	後	C	
3	4	623	13.5	9.5	北東	後	C	
3	4	624	12.5	8.0	南	後	C	
3	4	625	12.5	9.0	南東	後	C	
3	4	626	13.5	10.0	北東	後	C	
3	4	627	10.0	9.0	南	前	C	
3	4	628	12.5	8.0	南西	後	C	
3	4	629	10.0	8.5	西	後	C	
3	4	630	10.0	7.0	南西	後	C	
3	4	631	10.5	8.5	北東	後	C	
3	4	632	10.5	9.0	北東	前	C	
3	4	633	11.5	10.5	北	前	B	
3	4	634	10.0	10.5	北	前	C	
3	4	635	11.0	9.0	西	後	B	
3	4	636	12.0	9.0	西	後	C	
3	4	637	10.5	8.0	南西	前	C	
3	4	638	11.0	10.0	東	前	C	
3	4	639	(11.0)	9.5	南西	前	C	
3	4	640	9.0	7.5	南西	後	C	
3	4	641	10.0	8.5	東	後	C	
3	4	642	11.0	9.0	西	前	C	
3	4	643	12.0	9.5	北西	前	C	
3	4	644	11.0	9.0	北	後	C	
3	4	645	12.0	10.5	北	前	C	
3	4	646	10.0	7.5	西	後	C	
3	4	647	11.0	8.5	南西	前	C	
3	4	648	11.0	7.5	西	後	C	
3	4	649	10.5	10.0	西	前	C	
3	4	650	11.0	8.0	東	後	C	
3	4	651	12.0	9.5	西	前	C	
3	4	652	9.5	7.0	西	後	C	
3	4	653	10.0	7.0	北西	後	C	
3	4	654	11.0	9.0	北西	後	C	
3	4	655	10.0	7.5	西	後	C	
3	4	656	9.0	8.5	西	前	C	
3	4	657	11.5	11.0	南	前	C	
3	4	658	12.5	10.0	南西	後	C	
3	4	659	11.0	10.0	南東	前	C	
3	4	660	9.5	9.0	南	前	C	
3	4	661	(10.0)	9.5	南東	前	C	

面	区	No.	幅(cm)	長さ(cm)	方向	前・後	保存度	備考
3	4	662	10.5	10.0	南東	後	C	
3	4	663	11.5	9.5	南西	後	C	
3	4	664	9.00	7.5	南東	前	C	
3	4	665	9.5	9.0	西	前	C	
3	4	666	10.0	10.5	西	前	C	
3	4	667	9.5	8.0	西	前	C	
3	4	668	10.0	8.5	北東	後	C	
3	4	669	10.5	10.0	北東	前	C	
3	4	670	11.0	9.5	北東	後	C	
3	4	671	8.0	8.5	南	前	C	
3	4	672	10.0	8.0	南	後	C	
3	4	673	8.5	8.0	東	前	C	
3	4	674	10.0	8.5	南	後	C	
3	4	675	10.0	9.0	東	前	C	
3	4	676	9.0	8.0	北東	後	C	
3	4	677	11.0	10.5	北東	前	C	
3	4	678	11.0	9.0	南東	後	C	
3	4	679	10.5	10.0	北東	前	C	
3	4	680	10.5	8.0	南東	後	C	
3	4	681	10.5	9.0	南東	前	C	
3	4	682	(7.0)	8.0	南西	前	C	
3	4	683	8.0	7.5	南西	後	C	
3	4	684	10.0	9.5	西	前	C	
3	4	957	11.0	11.5	-	-	-	
3	1	325	10.5	10.5	東	前	B	FA(S ₁)
3	1	326	10.0	9.8	北東	前	B	FA(S ₁)
3	1	327	13.0	11.0	東	前	B	石膏型有 FA(S ₁)
不明	4	220	12.0	(11.0)	南	前	B	
不明	4	221	11.5	12	南西	後	A	

区	2面	3面	面不明	区計
13	38	-	-	38
10	26	16	-	42
9	148	71	-	219
4	183	177	2	362
2	65	-	-	65
3	5	-	-	5
1	96	28	-	124
7	96	3	-	99
計	657	295		957

A 遺存度良好、前・後蹄識別、計測値に信頼がおける。

B 中間的遺依度

C 馬蹄であることは間違いないが前後蹄、計測値にほとんど信頼がおけない。

保存度は群埋文第207集参照

第19表 遺物観察表
9区5面1号墳

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値				胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴						備考				
				口高	底高	厚	重		①	②	③	④	⑤	⑥		⑦	⑧	⑨	⑩
第32図 PL.259	1	土師器 杯(A)	3/4	口高 13.7 5.3				細砂粒/良好/橙	口縁部から体部上半は横ナデ、下半から底部はへら削り。内面は体部に右傾の斜放射状へら磨き。						A II ③b				
第32図 PL.259	2	土師器 杯(A)	2/3	口高 14.9 5.8				細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部はへら削り。内面は体部に右傾の斜放射状へら磨き。						A II ②b				
第32図 PL.259	3	土師器 杯(A)	底部欠損	口高 13.6				細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、中位・下位から底部はへら削り。内面は体部に右傾の斜放射状へら磨き。						A II				
第32図 PL.259	4	土師器 杯(B)	口唇部小片					細砂粒/良好/明黄褐	口唇部は横ナデ。										
第32図 PL.259	5	土師器 杯(C)	口縁部小片					細砂粒/良好/明赤褐	口唇部は横ナデ。										
第32図 PL.259	6	土師器 小型甕	口縁部と胴部 一部欠損	口高 15.0 16.1	底高 11.3 17.3			細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は横ナデ、胴部はハケ目(1cmあたり5～7本)、底部はハケ目後へら削り。内面は底部から胴部がハケ目、底部と胴部上半は詳細不鮮明。						B II ②				
第32図 PL.259	7	土師器 甕	底部～胴部下位	底 8.7				細砂粒/良好/にぶ い黄橙	底部は器面磨滅のため整形不明、胴部はへら削り。内面は底部がナデ。										
第32図 PL.259	8	土師器 甕	底部～胴部下位 片	底 10.0				細砂粒/良好/明赤褐	底部と胴部はへら削り、内面はへらナデ。										
第32図 PL.259	9	須恵器 高杯	口縁部微細片					細砂粒/還元焰/黄 灰	ロクロ整形。										
第32図 PL.259	10	須恵器 高杯	杯身底部小片					細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形。底部に脚部の接合痕が残る。										
第32図 PL.259	11	須恵器 甕	胴部下位小片					細砂粒/還元焰/黄 灰	ロクロ整形、破片下位は回転へら削り。										
第32図 PL.259	12	須恵器 甕	頸部～胴部上片					細砂粒/還元焰/黄 灰	破片下位に穿孔部の一部がみられる。ロクロ整形、外面は全面的に降灰が付着。										
第32図 PL.259	13	須恵器 甕	胴部小片					細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰	外面は平行叩き痕、内面は同心円状アテ具痕が残る。										
第32図 PL.259	14	須恵器 甕	胴部小片					細砂粒/還元焰/灰	外面は平行叩き後間隔をあけた横方向のナデ、内面は同心円状アテ具痕がかすかに残る。										
第32図 PL.259	15	石製品 砥石	1/2	長幅 (7.3) (2.2)	厚 1.3 28.1			変玄武岩	棒状の円礫を利用していると考えられる。表裏面と右側面は全体的に非常に滑らかであり砥石と判断した。表面と右側面との境界は研ぎ減りにより稜が形成されている。										
第32図 PL.259	16	石製品 砥石	完形	長幅 12.4 3.5	厚 2.4 128.3			流紋岩	砥面は正面、裏面、両側面の4面認められる。孔径約5mm。										
挿図 PL.No.	No.	細別器種	法量																
第32図 PL.259	17	鉄板片	10.24	4.0	3.0	0.2													1～2mmの厚みの平たい鉄板。両端部は新しいワレで本来の形態不明。鉄銼の可能性あり。
第33図 PL.260	18	素環頭大刀	77.8	21.3	2.3	0.7	4.9	4.0	0.9										
第34図 PL.259	19	剣	51.6	39.0	3.6	0.6	12.6	2.55	0.5										
第35図 PL.261	20	無茎重扶長 三角形鎌	6.2	6.2	3.9	0.2	1.5												大形の茎の無い、逆刺が2重の長三角形鎌。一部欠損。根バサミは確認できない。
第35図 PL.261	21	無茎重扶長 三角形鎌	7.5	7.5	3.9	0.2	2.1												もう1例よりも大形の茎の無い、逆刺が2重の長三角形鎌。根バサミの木質が明瞭に残る。
第36図 PL.261	22	長頸腸扶長 三角形鎌	14.7+	2.2	1.1	0.2	0.2	8.4	0.6	0.3	0.8	0.4	3.8+	0.5	1.4				頸長が、8.5cm前後ある長頸の、逆刺が浅い長三角形鎌である。片丸造りで頸はあまり太くない。筥竹の木質が遺存している。
第36図 PL.261	23	長頸腸扶長 三角形鎌	14.9+	2.2	1.0	0.2	0.2	8.3	0.5	0.3	0.7	0.4	4.2+	0.4	0.4				頸長が、8.5cm前後ある長頸の、逆刺が浅い長三角形鎌である。片丸造りで頸はあまり太くない。筥竹の木質及びその上に被せる椀皮と思われる樹皮巻が遺存している。
第36図 PL.261	24	長頸腸扶長 三角形鎌	15.9+	2.8	1.0	0.2	0.2	8.7	0.4	0.3	0.7	0.4	4.6+	0.4	0.4				頸長が、他の同一型式の2本と比べやや長めの8.9cm前後ある長頸の、逆刺が浅い長三角形鎌である。片丸造りで頸はあまり太くない。筥竹の木質が遺存している。
第36図 PL.261	25	小鉄片	0.65+	0.5+	0.15														巾5mmほどの小鉄片。2辺のワレは新しい。
第36図 PL.261	26	小鉄片	1.0+	0.5+	0.1														剥離したような小鉄片。
挿図 PL.No.	No.	製作技法	大別	細分	色	残存度	長さmm	最大径mm	上面径mm	孔径mm	重さg	備考							
第36図 PL.261	27	ガラス勾玉	ソーダ	SIII B	紺	完形	11.4	6.0	-	2.7	0.28	厚み0.3・コバルト							
第36図 PL.261	28	鋳型	-	-	紺	完形	1.7	2.8	1.9	0.9	0.03								
第36図 PL.261	29	鋳型	-	-	紺	完形	2.0	2.6	1.7	1.0	0.02								
第36図 PL.261	30	鋳型	-	-	紺	完形	1.7	2.5	1.6	1.0	0.02								
第36図 PL.261	31	鋳型	-	-	紺	完形	1.5	2.5	1.6	1.0	0.02								
第36図 PL.261	32	鋳型	-	-	紺	完形	1.7	2.5	1.6	0.9	0.02								
第36図 PL.261	33	鋳型	-	-	紺	完形	1.6	2.4	1.5	0.8	0.02								
第36図 PL.261	34	鋳型	-	-	紺	完形	1.5	2.5	1.4	0.8	0.02								
第36図 PL.261	35	鋳型	-	-	紺	完形	1.4	2.5	1.7	0.8	0.02								

挿 図 PL.No.		製作技法	大別	細分	色	残存度	長さ	最大径	上面径	孔径	重さ	備考
第36図 PL.261	36	鋳型	-	-	紺	完形	1.3	2.5	1.6	0.9	0.02	
第36図 PL.261	37	鋳型	-	-	紺	完形	1.6	2.4	1.5	0.9	0.02	
第36図 PL.261	38	鋳型	-	-	紺	完形	1.6	2.5	1.9	1.0	0.02	
第36図 PL.261	39	鋳型	-	-	紺	完形	1.5	2.6	1.5	1.0	0.02	
第36図 PL.261	40	鋳型	-	-	紺	完形	1.6	2.5	1.6	0.9	0.02	
第36図 PL.261	41	鋳型	-	-	紺	完形	1.6	2.6	1.3	1.0	0.02	
第36図 PL.261	42	鋳型	-	-	紺	完形	1.8	2.5	1.1	1.0	0.02	
第36図 PL.261	43	鋳型	-	-	紺	完形	1.8	2.2	1.6	0.9	0.02	
第36図 PL.261	44	鋳型	-	-	紺	完形	1.6	2.6	1.6	1.0	0.02	
第36図 PL.261	45	鋳型	-	-	紺	完形	1.5	2.5	1.5	1.0	0.02	
第36図 PL.261	46	鋳型	-	-	紺	完形	1.5	2.6	1.7	1.0	0.02	青色9点と破片一括
第36図 PL.261	47	鋳型	-	-	紺	完形	1.3	2.7	1.6	0.9	0.02	青色9点と破片一括
第36図 PL.261	48	鋳型	-	-	紺	完形	1.7	2.6	1.7	1.1	0.02	青色9点と破片一括
第36図 PL.261	49	鋳型	-	-	紺	完形	1.6	2.9	1.7	0.9	0.02	青色9点と破片一括
第36図 PL.261	50	鋳型	-	-	紺	完形	1.7	2.8	1.8	0.9	0.02	青色9点と破片一括
第36図 PL.261	51	鋳型	-	-	紺	完形	1.3	2.6	1.8	1.0	0.02	青色9点と破片一括
第36図 PL.261	52	鋳型	-	-	紺	完形	1.5	2.6	1.8	0.9	0.02	青色9点と破片一括
第36図 PL.261	53	鋳型	-	-	紺	完形	1.7	2.4	1.7	0.9	0.02	青色9点と破片一括
第36図 PL.261	54	鋳型	-	-	紺	完形	1.6	2.6	1.6	1.0	0.02	青色9点と破片一括
第36図 PL.261	55	鋳型	-	-	紺	完形	1.5	2.7	1.8	1.0	0.02	青色4点一括
第36図 PL.261	56	鋳型	-	-	紺	完形	1.4	2.6	1.5	0.8	0.02	青色4点一括
第36図 PL.261	57	鋳型	-	-	紺	完形	1.6	2.5	1.8	0.9	0.02	青色4点一括
第36図 PL.261	58	鋳型	-	-	紺	完形	1.4	2.5	1.7	0.8	0.02	青色4点一括
第36図 PL.261	59	鋳型	-	-	紺	完形	1.3	2.6	1.9	0.9	0.02	
第36図 PL.261	60	鋳型	-	-	紺	完形	1.6	2.6	1.7	1.0	0.02	青色4点一括
第36図 PL.261	61	鋳型	-	-	紺	完形	1.4	2.6	1.6	0.9	0.02	青色4点一括
第36図 PL.261	62	鋳型	-	-	紺	完形	1.6	2.5	1.7	1.1	0.02	青色4点一括
第36図 PL.261	63	鋳型	-	-	紺	完形	1.7	2.6	1.6	1.0	0.02	青色4点一括
第36図 PL.261	64	鋳型	-	-	紺	完形	1.6	2.6	1.8	0.9	0.02	青色7点一括
第36図 PL.261	65	鋳型	-	-	紺	完形	1.7	2.6	1.7	1.0	0.02	青色7点一括
第36図 PL.261	66	鋳型	-	-	紺	完形	1.3	2.6	1.6	0.9	0.02	青色7点一括
第36図 PL.261	67	鋳型	-	-	紺	完形	1.4	2.5	1.6	0.9	0.02	青色7点一括
第36図 PL.261	68	鋳型	-	-	紺	完形	1.4	2.5	1.5	0.9	0.02	青色7点一括
第36図 PL.261	69	鋳型	-	-	紺	完形	1.7	2.4	1.3	1.0	0.02	青色7点一括
第36図 PL.261	70	鋳型	-	-	紺	完形	1.4	2.6	1.7	0.9	0.02	青色7点一括
第36図 PL.261	71	鋳型	-	-	紺	完形	1.6	2.5	1.7	1.1	0.02	青色5点一括
第36図 PL.261	72	鋳型	-	-	紺	完形	1.7	2.6	1.6	0.9	0.02	青色5点一括
第36図 PL.261	73	鋳型	-	-	紺	完形	1.6	2.5	1.6	0.9	0.01	青色5点一括
第36図 PL.261	74	鋳型	-	-	紺	完形	1.7	2.4	1.5	0.9	0.02	青色5点一括
第36図 PL.261	75	鋳型	-	-	紺	完形	1.5	2.6	1.7	0.9	0.02	青色5点一括

挿 図 PL.No.		製作技法	大別	細分	色	残存度	長さ	最大径	上面径	孔径	重さ	備考
第36図 PL.261	76	鋳型	-	-	紺	完形	1.3	2.7	1.7	1.0	0.02	青色7点一括
第36図 PL.261	77	鋳型	-	-	紺	完形	1.6	2.6	1.7	0.9	0.02	青色7点一括
第36図 PL.261	78	鋳型	-	-	紺	完形	1.7	2.5	1.7	1.0	0.02	青色7点一括
第36図 PL.261	79	鋳型	-	-	紺	完形	1.3	2.5	1.6	1.0	0.02	青色7点一括
第36図 PL.261	80	鋳型	-	-	紺	完形	1.5	2.5	1.5	0.9	0.02	青色7点一括
第36図 PL.261	81	鋳型	-	-	紺	完形	1.5	2.6	1.6	1.0	0.02	青色7点一括
第36図 PL.261	82	鋳型	-	-	紺	完形	1.5	2.5	1.7	1.0	0.02	青色7点一括
第36図 PL.261	83	鋳型	-	-	黄緑	完形	1.7	2.1	1.5	1.0	0.02	
第36図 PL.261	84	鋳型	-	-	黄緑	完形	1.3	2.2	1.7	0.8	0.01	
第36図 PL.261	85	鋳型	-	-	黄緑	完形	0.6	1.8	1.5	0.9	0.01	
第36図 PL.261	86	鋳型	-	-	黄緑	完形	0.9	2.2	1.6	0.9	0.01	
第36図 PL.261	87	引き伸ばし	ソーダ	SII B	黄	完形	2.2	3.1	1.8	1.2	0.03	

9区5面2号墳

第43図 PL.262	1	土師器 杯(A)	1/3	口	13.8								細砂粒/良好/にぶ い赤褐色	口縁部は横ナデ、体部から底部はヘラ削り後ヘラ磨き。内 面は底部周縁から体部に左傾の斜放射状ヘラ磨き、一部斜 格子状にも行われている。	A II
第43図	2	土師器 杯(A)	口縁部小片										細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は横ナデ、体部はヘラ削り。内面は体部に右傾の斜 放射状ヘラ磨き。	
第43図	3	土師器 杯(C)	口縁部小片										細砂粒/良好/明赤 褐色	口縁部は横ナデ。口唇端部は平坦面をつくる。	
第43図	4	土師器 壺?	口縁部小片										細砂粒/良好/にぶ い黄橙	外面はヘラ削り、内面はハケ目。	
第43図 PL.262	5	土師器 小型壺	2/3	口 頸	10.7 9.0	胴 高	12.8 13.5						細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は横ナデ、頸部下はナデ、胴部から底部はヘラ削り。 内面は底部から胴部と口縁部下半がヘラナデ。	B III ②
第43図 PL.262	6	土師器 甕	頸部~胴部上位 小片										細砂粒/良好/にぶ い黄橙	内面に口縁部と胴部の接合痕が残る。口縁部は横ナデ、胴 部はヘラナデ後頸部から胴部に縦方向のヘラ磨き。内面は 胴部がヘラナデ。	
第43図 PL.262	7	土師器 甕	底部~胴部下位	底	7.3								細砂粒/良好/明赤 褐色	底部はヘラ削りか、胴部はハケ目(1cmあたり5~8本)。内 面はヘラナデ。	
第43図 PL.262	8	須恵器 甕	胴部片										細砂粒/還元焰/灰 白	外面は平行叩き後間隔をあけて幅1.0cmほどのヘラナデ。 内面はアテ具痕をナデ消しているが、かすかに同心円状ア テ具痕が残る。	
第43図 PL.262	10	石製品 砥石	完形	長 幅	10.5 3.4	厚 重	1.1 65.0						ホルンフェルス	砥面は正面、裏面の2面認められる。上部の孔に酸化腐食 した紐状金属が認められる。赤褐色物質の付着部分が広範 囲に認められ酸化腐食した金属粉の可能性ある。孔径不明。	

挿 図 PL.No.	No.	細別器種	質量													備考	
			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬		
第44図 PL.262	15	刀子	9.1+	8.8	6.5	1.0	0.2	2.3	0.8	0.2							小型で細身の刀子。両刃である。木柄の遺存がある。
第44図 PL.262	14	刀子	11.5+	11.1+	7.6+	1.4	0.35	3.5	1.1	0.25							やや大形の刀子。刀身端はもともと欠損しているものと思 われる。片刃の可能性が高い。研ぎべりか少し刃部基 部が内湾している。木柄の遺存が明瞭に残る。
第43図 PL.262	11	小型刀子 片?	2.9+		1.3+	0.9	0.15	(1.1+)	(0.6)	0.15							極小の刀子かと思われる破片。茎や刃部先端が新しい欠 損で本来の形態不明。茎と思われる箇所には有機質が一 部確認できた。
第43図 PL.262	9	袋柄斧	10.7	3.6	2.9	0.3	5.6	0.7	3.6	1.8							有肩の袋柄斧・柄と有機質(布)が棒部に認められる。刃 部にも布の痕跡あり。提低から伸びた吊金具につなが る。紐の痕跡あり。
第44図 PL.262	20	小鉄片	0.8+	0.4+	0.1												巾5mmほどの小鉄板片。5つに割れた鉄板片のうちの一 番大きい破片。ワレのため本来の形態不明。
第43図 PL.262	13	小鉄片	0.9+	1.0+	0.2												巾1cmほどの小鉄板片。新しいワレがあり、本来の形態 不明。
第44図 PL.262	21	小鉄片	0.6+	0.3+	0.15												巾4mmほどの小鉄板片。2分割。
第44図 PL.262	19	小鉄片	0.5+	0.6+	0.2												巾5mmほどの小鉄板片。2分割された大きい方のみ測 図。
第44図	17	小鉄片	0.9+	0.4+	0.15												巾9mmほどの小鉄板片。新しいワレあり。
第44図 PL.262	18	小鉄片	0.8+	0.6+	0.25+												巾8mmほどの小鉄板片。裏側は剥離している。
第44図 PL.262	16	小鉄片	1.0+	0.6+	0.3+												巾4mmほどの小鉄板片。新しいワレ有り。
第44図	22	小鉄片	0.6+	0.6+	0.2												巾5mmほどの小鉄板片。植物の繊維痕跡が一部付着 か?
第44図 PL.262	24	平根腸扶 長三角形 鏃	10.9+	5.7	1.9	0.25	1.9	7.1+	0.7	0.3	0.8+	0.4					平根で逆刺の深い長三角形鏃である。頸部も長く7cmほ どある。関は欠損のため確認できないが、台形関と考え られる。おそらく片丸造りであろうと思われる。銚竹の 痕跡は無い。

挿図 PL.No.	No.	細別器種	法量																
			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬				
第44図 PL.262	25	鎌茎部	4.6+						0.2+					0.9	0.45	3.6+	(0.6)	(0.3)	長頸鎌の茎部と推定。木質の上から樹皮巻あり。
第44図 PL.262	23	短茎重扶 長三角形 鎌	4.1+	4.0	3.8	0.2	0.6	0.9	0.6	0.1	0.1								1号古墳に同形の鎌に比べて、小型で短い茎がつく。根バサミの木質も遺存している。
第47図 PL.263	29	鉈	19.6	(3.1)	0.9	0.2	16.5	0.9	0.3	0.85	0.3								裏スキや、鑄は確認できない。刃先端部の屈曲などから鉈と判断。茎部には木質の遺存は認められないが、植物繊維の紐状のもので斜め方向に巻き付けている痕跡が数か所ある。刃部近辺には、織物で覆われたような痕跡がある。茎部先端部は少し斜め方向に屈曲している。あるいは、少し折り曲げようとした可能性も考えられる。
第47図 PL.264	30	鉈	25.7	3.6	1.1	0.3	22.1	1.3	0.45	1.0	0.4								鑄は確認できる。裏スキは確認できない。もう1本に比べ大形の鉈である。茎の中ほどに木質の遺存が認められ、木柄の痕跡と考えられる。
第46図 PL.263	28	鑿	20.9+	20.0+	1.1	0.5	14.9	0.8	0.9	1.1	(5.0)	(1.0)	(1.2)	(6.0)	(2.3)				鑿か鑿と考えられる。頸はやや細手で、刃部はやや拡がりを見せている。身幅より身厚のほうが厚いものである。刃は明瞭に造りだしている。茎に木質で被せた後、樹皮様のもので上に覆い、その上から有機質のものを斜めに巻いているものである。身部には、植物繊維のつる状のものを斜めに巻き付けている痕跡があり、鉈に施されたものと近いものがある。
第45図 PL.263	26	曲刃鎌	18.3	3.5	0.3	1.0													先端が尖る独特の形態で、左鎌である。基部の折り返し部には木質は遺存していない。あるいは、矢のような武器の可能性もある。
第45図 PL.262	27	針?	3.8+	0.25	0.25														断面四角の棒状片。上端は新しいワレで本来の長さ不明。

5面43号竪穴建物

挿図 PL.No.	No.	器種類	出土位置 残存率	計測値		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第50図 PL.264	1	土師器 杯(A)	口縁部1/4欠損	口高 12.5 5.6		細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上位がナデ、中位から底部はヘラ削り。内面は体部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	AII④b内外面の一部にスス付着。
第50図 PL.264	2	土師器 杯(A)	1/3	口高 13.6 5.0		細砂粒/良好/にぶい赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部はヘラ削り。内面は底部から体部にヘラナデ。	AII③c
第50図 PL.264	3	土師器 杯(A)	一部欠損	口高 15.4 6.7		細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上位がナデ、中位から底部はヘラ削り。内面は体部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	AII①b
第50図	4	土師器 杯(A)	口縁部~体部片	口高 14.8		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はヘラ削り。内面は体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	AIII
第50図	5	土師器 杯(A)	口縁部-体部片	口高 14.8		細砂粒/良好/にぶい赤褐	口縁部は横ナデ、体部上半はナデ、下半はヘラ削り、内面は体部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	AI
第50図 PL.264	6	土師器 杯(B)	1/3	口最 11.8 12.5	高 5.2	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上位・中位がナデ、下位から底部はヘラ削り。内面は体部から口縁部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	BII③b
第50図	7	土師器 杯(C)	1/4	口稜 10.9 10.6		細砂粒・粗砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。口唇端部は平坦面をつくる。	CI
第50図 PL.264	8	土師器 杯(C)	1/3	口稜 11.1 11.1		細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。口唇端部は平坦面をつくる。	CI
第50図	9	土師器 杯(C)	口縁部~底部片	口稜 11.8 12.0		細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)はナデ、底部は手持ちヘラ削り。口唇端部は凹線が巡る平坦面をつくる。	CI
第50図	10	土師器 杯(C)	口縁部~体部片	口稜 15.9 15.8		細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)はナデ、底部は手持ちヘラ削り。口唇端部は凹線が巡る平坦面をつくる。	CI
第50図 PL.264	11	土師器 杯(C)	1/2	口稜 11.8 11.5		細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。口唇端部は丸みをもつ。	CII
第51図	12	土師器 壺	口縁部~胴部上位片	口高 15.7		細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部は横ナデ、頸部から胴部はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ。	
第51図 PL.264	13	土師器 壺	底部~胴部	胴底 26.2 8.0		細砂粒/良好/にぶい黄橙	胴部はヘラ削り後上位と中位にヘラ磨き、底部はヘラ削りか、器面磨滅のため単位不明。内面は底部から胴部がヘラナデ。	
第51図 PL.264	14	土師器 甕	底部欠損	口頸 16.3 14.0	胴 22.5	細砂粒/良好/にぶい黄橙	口縁部は上半が横ナデ、下半から胴部はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ。	D
第51図	15	土師器 甕	口縁部~胴部上位小片	口高 19.7		細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部は横ナデ、胴部はナデ。内面は体部がヘラナデ。内面は体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き、一部斜格子状に入る。	
第51図	16	土師器 甕	底部~胴部下位	底高 6.3		細砂粒/良好/にぶい橙	胴部と底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	
第51図	17	土師器 甕	底部~胴部下位片	底高 12.0		細砂粒/良好/にぶい橙	胴部はヘラ磨き、底部はヘラ削りか、器面磨滅のため単位等は不明。内面は底部から胴部がヘラナデ。	
第51図	18	土師器 甕	底部~胴部下位片	底高 7.1		細砂粒/良好/にぶい橙	胴部と底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	

46号竪穴建物

挿図 PL.No.	No.	器種類	出土位置 残存率	計測値		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第53図	1	土師器 杯(A)	口縁部-底部片	口高 12.8		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	AIII
第53図	2	土師器 杯(A)	口縁部小片	口高 13.6		細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は手持ちヘラ削り。内面体部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	AIII
第53図 PL.265	3	土師器 杯(C)	完形	口稜 12.4 11.7	高 4.8	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。口唇端部はやや丸みをもつづくり。	CII②a
第53図 PL.265	4	土師器 杯(C)	口縁部一部欠損	口稜 12.2 12.3	高 5.0	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。口唇端部は中程に窪みをもつ平坦面をつくる。	CII②a

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口	高	底			
第53図 PL.265	5	土師器 杯(C)	2/3	口 12.4 11.7	高	4.9	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は中程に凹線が巡る平坦面をつくる。	CⅡ②a
第53図 PL.265	6	土師器 杯(C)	3/4	口 12.4 12.3	高	5.2	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	CⅠ②a
第53図 PL.265	7	土師器 杯(C)	ほぼ完形	口 12.8 11.7	高	4.7	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は中程に窪みをもつ平坦面をつくる。	CⅡ②a
第53図 PL.265	8	土師器 杯(C)	ほぼ完形	口 12.6 12.6	高	5.3	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)は上位がナデ、中位から底部 は手持ちヘラ削り。口唇端部は平坦面をつくる。	CⅠ②a
第53図 PL.265	9	土師器 杯(C)	完形	口 12.6 12.3	高	5.1	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	CⅡ②a
第53図 PL.265	10	土師器 杯(C)	完形	口 14.1 13.5	高	4.9	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は中程に凹線が巡る平坦面をつくる。	CⅡ①a
第53図 PL.265	11	土師器 杯(C)	2/3	口 13.1 12.5	高	5.1	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は中程に凹線が巡る平坦面をつくる。	CⅡ①a
第53図 PL.265	12	土師器 杯(C)	ほぼ完形	口 15.2 15.4	高	6.8	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	CⅠ①a
第53図 PL.265	13	土師器 杯(C)	底部一部欠損	口 15.1 15.5	高	6.7	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	CⅢ①a
第53図 PL.265	14	土師器 杯(C)	完形	口 15.4 15.5	高	6.9	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は内傾する平坦面をつくる。	CⅠ①a外面 底部二次焼成 か?
第53図 PL.265	15	土師器 杯(C)	完形	口 12.5 12.5	高	5.0	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は丸みをもつ作り。	CⅢ②b
第53図 PL.265	16	土師器 杯(C)	口縁部1/4欠損	口 12.4 12.2	高	5.3	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は丸みをもつ作り。	CⅡ②b
第53図	17	土師器 高杯	口縁部片	口	21.8		細砂粒/良好/にぶ い黄橙	杯身部は口縁部上半が横ナデ、下半はヘラナデ。内面も外 面と同様。	杯身部内面は 黒色処理。
第54図 PL.265	18	土師器 椀	体部一部欠損	口 20.1 7.0	高	11.5	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はヘラ削り後放射状のヘラ磨き、体 部上位・中位は器面剥離のため不明、底部はヘラ削り。内 面は底部から体部がヘラナデ、上半は器面磨滅のため単位 不明。	FⅠ
第54図 PL.266	19	土師器 椀	口縁部～体部	口	12.4		細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は横ナデ、体部上半はヘラナデか、器面磨滅のため 単位不明、下半はヘラ削り。内面は体部がヘラナデ。	内面体部の中 位に白色付着 物。
第54図 PL.265	20	土師器 甌	ほぼ完形	口 17.2 3.3	孔 高	1.5 15.3	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部上半はナデ、下半はヘラ削り、底部 はナデ、内面は体部がヘラ削り。	A
第54図 PL.266	21	土師器 小型壺	口縁部上半の大部分が欠損	口 13.7 19.2	底 高	5.8 19.0	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部中位に段を有す。口縁部は横ナデ、胴部上半はナデ、 下半はヘラナデ、底部はヘラ削り。内面は底部から胴部が ヘラナデ。	
第54図 PL.266	22	土師器 壺	口縁部～胴部上 位	口	20.0		細砂粒/良好/橙	口縁部中位に段を有す。口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り。 内面は口縁部下位と胴部がヘラナデ。	
第54図	23	土師器 台付甕	脚部～胴部下 位片	脚	7.8		細砂粒/良好/明赤 褐	脚部と胴部は接合。胴部はヘラ削り、脚部はナデ。	
第54図 PL.266	24	土師器 小型甕	完形	口 14.5 14.4	底 高	5.6 15.3	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	外面口縁部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、胴部と底 部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	
第54図 PL.266	25	土師器 小型甕	底部欠損	口 11.7 10.0	頸	13.3	細砂粒/良好/橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部が ヘラナデ。	
第54図 PL.266	26	土師器 甕	1/4	口 15.1 22.1	底 高	7.5 27.2	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部は横ナデ、胴部と底部はヘラ削り。内面は底部から 胴部がヘラナデ。	
第54図	27	土師器 甕	口縁部片	口	18.7		細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は内外面とも横ナデ。	

48号竪穴建物

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口	高	底			
第59図	1	土師器 杯(A)	口縁部-体部片	口	13.0		細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半はヘラ削り。内 面は体部に斜放射状ヘラ磨きか、器面磨滅のため不鮮明。	
第59図	2	土師器 杯(B)	口縁部～底部片	口 13.5 14.8	最		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部は上位と中位がナデ、下位から底部 はヘラ削り。	
第59図 PL.266	3	土師器 杯(C)	1/4	口 12.2 11.0	口		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	
第59図	4	土師器 杯(C)	口縁部～体部小 片	口 12.2 11.8	口		細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)は手持ちヘラ削り。口唇端部 は平坦面をつくる。	
第59図 PL.266	5	土師器 小型壺	口縁部下半～胴 部上半片	頸 12.7	6.6		細砂粒/良好/明赤 褐	内面胴部に輪積み痕が残る。胴部はヘラナデか、器面磨滅 のため単位不明。内面は口縁部が横ナデ、胴部はナデ。	
第59図	6	土師器 甕	口縁部小片	口	15.8		細砂粒/良好/にぶ い黄橙	外面は胴部から頸部までヘラ削り、一部口縁部まで達する、 口縁部は横ナデ。	
第59図	7	土師器 甕	底部～胴部下 位小片	底	8.4		細砂粒/良好/にぶ い黄橙	底部はヘラ削り、胴部はヘラナデか。内面はヘラナデ。	
第59図 PL.266	8	土師器 甕	頸部～胴部上 半片	頸 13.5 19.7	頸		細砂粒/良好/にぶ い黄橙	内外面の胴部に輪積み痕が残る。頸部は横ナデ、胴部はヘ ラナデ。内面は胴部がヘラナデ。	
第59図 PL.266	9	須恵器 杯	1/3	蓋 受	12.5		細砂粒/還元焰/黄 灰	ロクロ整形、回転右回りか。底部は回転ヘラ削り。	
第59図	10	須恵器 甕	胴部小片				細砂粒/還元焰/黄 灰	外面は平行叩き痕が残るが、残存部位中程はナデ。内面は アテ具痕が残る。	

47号竪穴建物

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				底	高	厚			
第59図	11	土師器 甕	底部~胴部下位 片	底	10.0		細砂粒/良好/にぶ い橙	底部と胴部はヘラ削りか、器面磨滅のため不鮮明。内面はヘラナデ。	

50号竪穴建物

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
				口 最	高	厚				
第59図 PL.266	12	土師器 杯(B)	1/2	口 最	10.8 12.2	高	5.7	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面体部に放射状磨きか、器面にススが付着しており不鮮明。	内面と外面口縁部に炭付着多。
第59図 PL.266	13	須恵器 甕	胴部片					細砂粒/還元焰/灰	外面は平行叩き痕が残るが、内面はアテ具をナデ消している。	

45号竪穴建物

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
				頸	高	厚				
第59図	14	土師器 壺	頸部~胴部上位 片	頸	14.3			細砂粒/良好/明赤 褐	頸部に胴部と口縁部の接合痕が残る。外面は縦方向のヘラ磨き、内面はヘラナデ。	

3号竪穴建物

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
				口 最	高	厚				
第65図 PL.267	1	土師器 杯(A)	口唇部1/3欠損	口 最	14.3 5.3	高		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部から底部はヘラ削り。内面は体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	A II ②c
第65図 PL.267	2	土師器 杯(B)	1/4	口 最	10.4 11.0	高	5.2	細砂粒/良好/黒褐	口縁部は横ナデ、体部は上位がナデ、中位から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に斜めのヘラ磨き。	
第65図 PL.267	3	土師器 杯(B)	完形	口 最	11.8 12.3	高	5.2	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第65図 PL.267	4	土師器 杯(B)	口縁部一部欠損	口 最	14.1 15.7	高	7.5	細砂粒/良好/明赤 褐	口唇部は横ナデ、口縁部は横方向、体部は放射状ヘラ磨き、底部はヘラ削り。内面は体部から口縁部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第65図 PL.267	5	土師器 杯(B)	3/4	口 最	14.6 15.8	高	7.4	細砂粒・褐色粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部はヘラ削り。内面は体部から口縁部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第65図 PL.267	6	土師器 杯(C)	1/3	口 稜	13.2 12.0	高	4.7	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口唇部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。	
第65図 PL.267	7	土師器 杯(C)	口縁部1/4部欠 損	口 稜	13.0 12.3	高	5.3	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。口唇部は平坦面をつくる。	
第65図	8	土師器 杯(C)	口縁部片	口	12.6			細砂粒/良好/明赤 褐	口唇部は横ナデ、体部(稜下)は手持ちヘラ削り。	
第65図	9	土師器 高杯	脚部片					細砂粒/良好/明赤 褐	外面は縦方向のヘラナデ、内面は横方向のヘラナデ。	
第65図 PL.267	10	土師器 碗	3/4	口 高	15.6 9.1			細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい橙	口縁部は横ナデ、体部はナデ後間隔のある放射状ヘラ磨き、底部はヘラ削り。内面は底部から体部に放射状ヘラ磨き。	F II
第65図	11	土師器 碗	口縁部片					細砂粒/良好/明赤 褐	内外面ともヘラ磨き、外面は器面磨滅のため単位不鮮明。	
第65図 PL.267	12	土師器 小型甕	口縁部一部欠損	口 胴	13.6 18.9	底 高	7.3 18.4	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は頸部下がナデ、上位下半から下方はヘラ削り、下位上半は器面磨滅のため不鮮明、底部はヘラ削り。内面は口縁部下半にハケ目。	A I ②
第65図 PL.267	13	土師器 甕	1/2	口 胴	13.9 20.6	底 高	6.2 29.0	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい橙	口縁部は横ナデ、胴部は上位から中位がナデ、下位はヘラ削り後部分的にヘラ磨き、底部はヘラ磨き。内面胴部はヘラナデ、単位不鮮明。	D I
第65図 PL.267	14	土師器 甕	口縁部~胴部上 位1/3	口 胴	23.2 27.0			細砂粒・粗砂粒・ 片岩/良好/明赤褐	口縁部上半は横ナデ、口縁部下半から胴部はヘラナデ、一部ナデで単位不明。内面は口縁部上半は器面剥落で不明、下半から胴部はヘラナデ。	
第66図	15	土師器 甕	口縁部~胴部上 位片	口	15.2			細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい橙	口縁部は横ナデ、胴部はヘラナデ。内面も外面と同様。	
第66図 PL.268	16	土師器 甕	底部~胴部	底	8.2			細砂粒/良好/にぶ い黄橙	底部はナデ、胴部は器面が荒れており整形不明。内面は底部がヘラナデ、胴部下位はハケ目(1cmあたり11~13本)、中位はヘラナデ。	
第66図	17	須恵器 甕	胴部片					細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰	外面は平行叩き痕が残る。内面はヘラナデ。	
第66図	18	須恵器 甕	胴部小片					細砂粒/還元焰/灰	外面は平行叩き痕が残るが、間隔をあけて横方向のナデが施されている。内面は同心円状アテ具痕が残る。	器壁内部は酸化焰状態
第66図	19	須恵器 甕	胴部小片					細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰白	外面は平行叩き痕が残るが、間隔をあけて横方向のナデが施されている。内面はアテ具痕がナデ消されている。	
第66図	20	須恵器 甕	胴部片					細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰	外面は平行叩き痕が残るが、間隔をあけてナデ消されている。内面はヘラナデ、アテ具痕がかすかに残る。	
第66図	21	須恵器 甕	胴部片					細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/黄灰	外面は平行叩き痕が残る。内面はヘラナデ、アテ具痕がかすかに残る。	
第66図	22	須恵器 高杯	杯身部微細片					細砂粒/還元焰/暗 灰	ロクロ整形。	
第66図 PL.268	23	須恵器 甕	胴部小片					細砂粒/還元焰/灰	外面は平行叩き痕が残るが、間隔をあけて横方向のナデが施されている。内面はアテ具痕がナデ消されている。	
第66図 PL.268	24	石製品 白玉	完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.3 0.11	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。側面は斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第66図 PL.268	25	石製品 白玉	完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.4 0.35	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦でありともにわずかに擦痕が認められる。側面は中央にわずかな張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	

21号竪穴建物

挿図 PL.No.	No.	種 器 類 種	出土位置 残 存 率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備 考	
第70図 PL.268	1	土師器 杯(A)	口縁部1/3欠損	口 高	13.7 5.5		細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上位がナデ、中位から底部はヘラ削り。内面は体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	A II ③bス ス附着。	
第70図	2	土師器 杯(A)	口縁部片	口	13.0		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部はヘラ削り。内面体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	A I	
第70図 PL.268	3	土師器 杯(C)	1/4	口 稜	13.0 12.7		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。口唇端部は丸みをもつくり。	C II	
第70図 PL.268	4	土師器 杯(C)	口縁部片	口 稜	17.7 16.2		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)は手持ちヘラ削り。口唇端部は平坦面をつくる。	C II	
第70図 PL.268	5	土師器 小型甕	ほぼ完形	口 胴	13.5 13.2	底 高	6.0 15.3	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、胴部上位・中位はヘラナデか、器面磨滅のため不鮮明、下位と底部はヘラ削り。内面は底部から胴部にヘラナデ。	B I ①
第70図 PL.268	6	土師器 甕	胴部一部欠損	口 胴	16.5 24.6	底 高	6.9 31.6	細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は横ナデ、胴部は縦方向のヘラ磨き、器面磨滅のため大部分は単位不明、底部はヘラ削り。内面は底部から胴部と口縁部下半がヘラナデ。	D②
第70図 PL.268	7	土師器 甕	口縁部・胴部一 部欠損	口 胴	16.3 20.7	底 高	7.5 28.0	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、胴部と底部はヘラ削り、胴部の大部分は器面磨滅のため単位不明。内面は底部から胴部がヘラナデ。	D①外面胴部 の下半に粘土 附着。
第70図	8	土師器 甕	口縁部～胴部上 位片	口	16.8			細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ。	
第70図	9	土師器 甕	底部～胴部下 位片	底	8.0			細砂粒/良好/灰黄 褐	胴部は縦方向、底部周縁は横方向のヘラ磨き、底部もヘラ磨き。内面はヘラナデ。	
第70図	10	須恵器 甕	胴部小片					細砂粒/還元焰/灰	外面は平行叩き痕が残るが、間隔をあけて横方向のナデが施されている。内面はアテ具痕がナデ消されている。	
第70図	11	須恵器 甕	胴部片					細砂粒/還元焰/黄 灰	外面は平行叩き痕が残る。内面はヘラナデ。	
第70図 PL.268	12	須恵器 甕	胴部微細片					細砂粒/還元焰/褐 灰	胴部は外面に平行叩き痕が残る、内面はヘラナデ。	

25号竪穴建物

挿図 PL.No.	No.	種 器 類 種	出土位置 残 存 率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備 考	
第76図	1	土師器 杯(A)	口縁部～体部片	口	11.0			細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部はヘラ削り。内面は体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	A II
第76図	2	土師器 杯(A)	1/5	口	14.0			細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部上半はナデ、下半から底部はヘラ削り。内面は体部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	A III
第76図 PL.269	3	土師器 杯(A)	1/4	口	11.5			細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	A I
第76図	4	土師器 杯(A)	口縁部～体部片	口	14.0			細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部はヘラナデか。内面は体部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	A II
第76図 PL.269	5	土師器 杯(B)	口縁部の大部分 を欠損	口 最	10.8 12.0	高	5.9	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。内面は体部下位が斜め、中位が横方向のヘラ磨き。	B II ③a
第76図 PL.269	6	土師器 杯(B)	2/3	口 最	12.8 13.0	高	6.1	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は横ナデ、体部上半はナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部上半から口縁部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	B I ②a
第76図	7	土師器 杯(B)	1/3	口 最	11.0 11.6			細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は横方向、体部から底部は縦方向のヘラ磨き。内面は口縁部上半から口縁部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	B I
第76図	8	土師器 杯(B)	口縁部～体部片	口 最	13.8 14.0			細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部と底部はヘラ削り。内面は体部から口縁部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	B I
第76図 PL.269	9	土師器 杯(C)	3/4	口 稜	11.8 11.4	高	5.2	細砂粒/良好/橙	口唇端部には凹線が巡る。口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。口唇端部は窪みをもつ平坦面をつくる。	C I ③a
第76図 PL.269	10	土師器 杯(C)	完形	口 稜	13.1 12.8	高	5.3	細砂粒/良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。口唇端部は平坦面をつくる。	C II ①a
第76図	11	土師器 杯(C)	口縁部～体部片	口 稜	16.0 14.8			細砂粒/良好/明褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)は手持ちヘラ削り。口唇端部は平坦面をつくる。	C II
第76図 PL.269	12	土師器 杯(C)	1/2	口 稜	12.4 12.9			細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。口唇端部は丸みをもつくり。	C III
第76図 PL.269	13	土師器 高杯	脚部	脚	8.5			細砂粒/良好/明赤 褐	杯身部と脚部は接合。外面は上位から裾部に向けての放射状ヘラ磨き。内面は脚部がヘラナデ、裾部は横ナデ。	
第76図	14	土師器 高杯	脚部片					細砂粒/良好/にぶ い橙	脚部は縦方向のヘラ磨き。内面は杯身部がヘラ磨き、脚部はヘラナデ。	
第76図 PL.269	15	土師器 碗	口縁部～体部上 半片	口	14.4			細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は水平でなく、波打った状態である。口縁部は横ナデ、体部はナデ。内面は体部に放射状ヘラ磨き。	
第76図 PL.269	16	土師器 杯(D)	口縁部一部欠損	口 高	16.0 8.0			細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい赤褐	口縁部は横ナデ、体部から胴部はヘラ磨き、体部上半などは器面磨滅のため単位不明。内面は底部から体部に放射状ヘラ磨き。	DIV
第76図	17	土師器 碗	口縁部～胴部片	口	13.0			細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい橙	口縁部は横ナデ、体部はヘラ削り後ナデ。内面体部はヘラナデ。	D II
第76図 PL.269	18	土師器 埴	口縁部欠損	頸 胴	6.4 14.4			細砂粒/良好/明赤 褐	胴部上半はナデ、下半から底部はヘラ削り。内面はヘラナデか。	
第76図	19	土師器 小型壺	口縁部下半～胴 部下位1/4	胴	13.0			細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部から頸部は横ナデ。胴部はヘラ削りか、器面磨滅のため単位不明。内面胴部は斜めのヘラナデ。	
第76図 PL.269	20	土師器 小型甕	完形	口 胴	16.2 17.2	底 高	7.6 18.6	細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部と底部はヘラ削り、胴部上位は器面磨滅のため単位不明。底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	A I ②
第76図 PL.269	21	土師器 小型甕	口縁部一部欠損	口 胴	19.3 19.4	底 高	6.6 19.8	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り後ヘラ磨き、胴部上半は器面磨滅のため単位不明。内面は底部から胴部がヘラナデ。	A I ②

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値				胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				底	口	口	口			
第76図	22	土師器 小型壺	胴部～底部下位	底	3.7			細砂粒/良好/にぶ い褐	底部から胴部はヘラ削り、器面磨滅のため不鮮明、内面はヘラナデ。	
第77図 PL.270	23	土師器 甗	1/2	口 胴	19.0 28.0	底 高	7.2 34.5	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部は横ナデ、胴部は器面磨滅のため整形不明、底部はヘラ削りか。内面は胴部がヘラナデ。	C②
第77図	24	土師器 甗	3/4	口 胴	17.4 25.3	底 高	8.6 27.9	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい褐	口縁部はハケ目？胴部は上半がナデ、下半はヘラ削り、一部ナデで単位不明、底部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	C①
第77図 PL.270	25	土師器 甗	口縁部～胴部 中位片	口 胴	18.6 22.5			細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、頸部から胴部はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ。	D
第77図	26	土師器 甗	口縁部～頸部片	口	19.7			細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい橙	口縁部は横ナデ。内面口縁部はヘラナデ。	
第77図	27	土師器 甗	口縁部～頸部片	口	20.6			細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい橙	口縁部は横ナデ。内面口縁部は上半が横ナデ、下半はヘラナデ。	
第78図	28	土師器 甗	口縁部～頸部	口	21.3			細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部はから頸部は横ナデ、内面は胴部にヘラナデ。	
第78図	29	土師器 甗	口縁部～中位片	口	16.8			細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ。	
第78図	30	土師器 甗	口縁部～胴部上 位片	口	16.0			細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は木口の残るヘラナデ。内面は胴部がヘラナデ。	
第78図	31	土師器 小型壺	底部～胴部下位	底	5.7			細砂粒/良好/にぶ い褐	底部から胴部はヘラ削り。内面はヘラナデ。	
第78図	32	土師器 甗	底部～胴部下位	底	7.3			細砂粒/良好/にぶ い黄橙	底部と胴部はヘラ削り、器面磨滅のため単位不明。内面はヘラナデ。	
第78図	33	土師器 甗	底部～胴部下位	底	7.2			細砂粒/良好/にぶ い褐	底部と胴部はヘラ削り。内面はヘラナデ。	
第78図	34	土師器 甗	底部片	底	7.8			細砂粒/良好/にぶ い黄褐	底部に木葉痕が残る。内面はヘラナデ。	
第78図	35	須恵器 甗	胴部小片					細砂粒/還元焰/灰	外面は平行叩き痕が残るが、間隔をあけて横方向のナデが施されている。内面はアテ具痕がナデ消されているがかすかに残る。	
第78図	36	須恵器 甗	胴部小片					細砂粒/還元焰/灰	外面は平行叩き痕が残るが、間隔をあけて横方向のナデが施されている。内面はアテ具痕がナデ消されているがかすかに残る。	
第78図 PL.270	37	須恵器 甗	胴部片					細砂粒/還元焰/灰 白	外面は平行叩き後間隔をあけて幅1.0cmほどヘラナデ。内面はアテ具痕がかすかに残る。	
第78図 PL.270	38	須恵器 甗	胴部片					細砂粒/還元焰/灰	外面は平行叩き痕、内面は同心円状アテ具痕が残る。外面には降灰が付着。	
第78図	39	須恵器 甗	胴部片					細砂粒/還元焰/灰 白	外面は並行叩き痕が残るが、間隔をあけて横方向のナデが施されている。内面はアテ具痕が消されている。	
第78図	40	須恵器 甗	胴部片					細砂粒/還元焰/黄 灰	外面は平行叩き後間隔をあけてナデ。内面はヘラナデ。	
第78図	41	須恵器 甗	胴部小片					細砂粒/還元焰/灰	外面は平行叩き痕が残るが、間隔をあけて横方向のナデが施されている。内面はアテ具痕がナデ消されている。	
第78図 PL.270	42	石製品 丸玉	完形	長 幅	0.8 0.8	厚 重	0.7 0.55	蛇紋岩	暗褐色。全体的に丁寧に研磨整形されている。孔径約1.5mm。	
第78図 PL.270	43	石製品 丸玉	完形	長 幅	0.9 0.8	厚 重	0.8 0.64	蛇紋岩	暗褐色。全体的に丁寧に研磨整形されている。孔径約1.5mm。	
第78図 PL.270	44	石製品 白玉	完形	長 幅	0.8 0.8	厚 重	0.4 0.38	滑石	暗オリーブ灰色。全体的に丁寧に研磨整形され光沢があり擦痕は認められない。側面の中央にわずかな張りがあるが認められる。孔径約3mm。	
第78図 PL.270	45	石製品 白玉	完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.4 0.21	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり表面には擦痕が認められる。側面は中央に明瞭な張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約3mm。	
第78図 PL.270	46	石製品 白玉	完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.4 0.18	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。裏面には凹凸が認められる。側面は中央にわずかな張りがあり横方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第78図 PL.270	47	石製品 白玉	完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.32	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約3mm。	
第78図 PL.270	48	石製品 白玉	完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.4 0.18	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央にわずかな張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	

28号竪穴建物

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値				胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口 高	口 高	口 高	口 高			
第83図 PL.271	1	土師器 杯(A)	1/2	口 高	13.4 5.5			細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部はヘラ削り後ナデ、底部はヘラ削り。内面は体部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	AⅡ③b
第83図	2	土師器 杯(A)	1/4	口 高	12.8 5.5			細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上位がナデ、中位・下位から底部はヘラ削り。内面は体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	AⅡ④b
第83図 PL.271	3	土師器 杯(A)	2/3	口 高	15.8 8.5			細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	AⅡ①a
第83図	4	土師器 杯(A)	口縁部～体部片	口	12.9			細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部はヘラ削り。内面は体部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	AⅠ
第83図 PL.271	5	土師器 杯(B)	口縁部1/5欠	口 最	11.5 12.2	高	6.2	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部から底部はヘラ削り。内面は体部上半から口縁部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	BⅠ③a
第83図	6	土師器 杯(B)	口縁部～体部片	口 最	15.0 15.4			細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はナデか、器面磨滅のため不鮮明。	
第83図 PL.271	7	土師器 杯(C)	1/2	口 稜	12.6 11.6			細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り、器面磨滅のため単位不明。口唇端部は平坦面をつくる。	CⅡ
第83図 PL.271	8	土師器 杯(C)	口縁部～体部片	口 稜	12.6 12.0			細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)は手持ちヘラ削り。口唇端部は平坦面をつくる。	CⅠ

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値				胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口底	高	厚	重			
第83図 PL.271	9	土師器 碗	2/3	口底 4.3	高 6.4			細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、胴部上半は左傾の斜放射状ヘラ磨き、胴部下半と底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	C I
第83図	10	土師器 碗	底部	底	6.0			細砂粒/良好/にぶい赤褐	体部・底部ともヘラ磨き。内面はヘラナデ。	
第83図 PL.271	11	土師器 小型壺	口縁部1/2.底部欠損	口胴 16.0 24.6				細砂粒/良好/にぶい黄橙	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り後ヘラ磨き。内面胴部はヘラナデ。	C
第83図 PL.271	12	土師器 小型甕	1/2	口胴 13.8 14.2				細砂粒/良好/にぶい黄橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上半が横方向のヘラ磨き、下半は器面磨滅のため不明。内面は胴部がヘラナデ。	A
第83図	13	土師器 甕	口縁部～胴部上位片	口	16.5			細砂粒/良好/にぶい黄橙	口縁部は横ナデか、器面磨滅のため不鮮明、胴部はハケ目(1cmあたり6本)。内面は胴部がヘラナデ。	
第83図	14	土師器 甕	胴部片					細砂粒/良好/灰黄褐	外面は横方向へのヘラ削り後縦方向のヘラ磨き。内面は木口の残るヘラナデ。	
第83図 PL.271	15	須恵器 杯身	蓋受け～底部片	蓋受	11.8			細砂粒/還元焰/黄灰	口クロ整形。底部は回転ヘラ削り。	
第83図	16	須恵器 甕	胴部片					細砂粒/還元焰/黄灰	外面には平行叩き痕、内面には同心円状アテ具痕が残る。	
第83図 PL.271	17	石製品 石製模造品	不明	長幅 (1.7) (0.8)	厚重 0.3 0.4			滑石	灰白色。全体的に丁寧に研磨整形されている。左側片のやや上方に半円状のくびれ部があり、その内部は滑らかである。	
第83図 PL.271	18	石製品 白玉	完形	長幅 0.7 0.6	厚重 0.5 0.21			蛇紋岩	暗オリーブ灰色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。裏面は滑らかであるが中央が張り出した形態である。側面は中央に明瞭な張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔は裏面から表面にむかいわずかに大きくなっている。孔径約3mm。	
第83図 PL.271	19	石製品 白玉	完形	長幅 0.6 0.5	厚重 0.3 0.13			滑石	灰白色。表裏面ともにほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面にも擦痕は認められない。孔径約3mm。	
第83図 PL.271	20	石製品 白玉	完形	長幅 0.5 0.6	厚重 0.4 0.15			滑石	灰白色。表裏面ともにほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面にも擦痕は認められない。孔径約3mm。	
第83図 PL.271	21	石製品 砥石	完形	長幅 6.4 3.0	厚重 3.1 74.4			砥沢石	砥面は4面認められる。表裏面と両側面が砥面となっているが研ぎ減りにより上方が細くなる。上面と下面は滑らかでなく砥面と想定できないが、いずれにも細かな線条痕が認められる。	

26号竪穴建物

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値				胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考						
				口稜	高	厚	重									
第87図	1	土師器 杯(A)	口縁部～体部片	口稜 13.8 12.4				細砂粒/良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)は手持ちヘラ削り。内面にはヘラ磨きが施されているが器面磨滅のため単位不明。	A I						
第87図	2	土師器 杯(B)	口縁部片	口	11.0			細砂粒/良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部はヘラ削り。内面は左に傾く斜放射状ヘラ磨き。	B I						
第87図 PL.271	3	土師器 杯(C)	完形	口稜 12.0 11.2	高 5.5			細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。口唇端部は平坦面をつくる。	C II ②a						
第87図	4	土師器 杯(C)	口縁部一部欠損	口稜 13.7 12.6	高 5.6			細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。口唇端部は平坦面をつくる。	C II ①a						
第87図	5	土師器 杯(C)	口縁部～体部1/4	口稜 15.2 14.7				細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)は手持ちヘラ削り。口唇端部は平坦面をつくる。	C II						
第87図 PL.271	6	土師器 杯(C)	口縁部～体部上位片	口稜 11.0 11.3				細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)は手持ちヘラ削り。口唇端部は平坦面をつくる。	C I						
第87図	7	土師器 甕	底部～胴部下位片	底	9.2			細砂粒・粗砂粒・褐粒/良好/橙	底部はヘラ削り、胴部はヘラ磨き。内面はヘラナデ、単位不鮮明。							
第87図	8	須恵器 甕	胴部小片					細砂粒/還元焰/灰	外面は平行叩き痕がかすかに残る、内面は同心円状アテ具痕が残る。							
挿図 PL.No.	No.	細別器種	法量													
第87図 PL.271	9	板状素材	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	台形状で、断面5mmとやや厚めの鉄板である。表裏長側面の4面に木質で覆われている痕跡がある。

20号竪穴建物

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値				胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口高	高	厚	重			
第93図 PL.272	1	土師器 杯(A)	完形	口高 12.4 4.7				細砂粒・粗砂粒/良好/にぶい赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	A I ④b
第93図 PL.272	2	土師器 杯(A)	完形	口高 13.3 4.7				細砂粒・粗砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	A III ③c
第93図 PL.272	3	土師器 杯(A)	完形	口高 13.1 5.5				細砂粒・粗砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	A II ③b
第93図 PL.272	4	土師器 杯(A)	口縁部一部欠損	口高 13.5 5.1				細砂粒・粗砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、中位から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	A II ③b
第93図 PL.272	5	土師器 杯(A)	3/4	口高 13.5 4.6				細砂粒/良好/にぶい赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	A II ③c
第93図 PL.272	6	土師器 杯(A)	口縁部一部欠損	口高 13.8 5.1				細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	A II ③c
第93図 PL.272	7	土師器 杯(A)	口縁部1/2欠損	口高 14.2 5.4				細砂粒・粗砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部が器面磨滅のため整形不明。	A IV ②b
第93図 PL.272	8	土師器 杯(A)	口縁部一部欠損	口底 13.2 6.5	高 5.5			細砂粒・粗砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	A II ③b

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口高	口径	底径			
第93図	9	土師器 杯(A)	1/8	14.9 4.4			細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部はヘラ削り。内面は体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	AⅢ②c
第93図	10	土師器 杯(A)	口縁部～体部片	13.7			細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部はヘラ削り。内面は体部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	AⅡ
第93図	11	土師器 杯(A)	口縁部～体部片	13.0			細砂粒/良好/にぶい赤褐	口縁部は横ナデ、体部はヘラ削り。内面は左傾の斜放射状ヘラ磨き。	AⅠ
第93図	12	土師器 杯(A)	口縁部～体部片	13.7			細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半はヘラ磨き。内面は体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き、上半は器面磨滅のため単位不明。	AⅡ
第93図	13	土師器 杯(A)	口縁部～体部片	12.8			細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	AⅠ
第93図 PL.272	14	土師器 杯(A)	1/4	12.9			細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	AⅢ
第93図	15	土師器 杯(A)	口縁部～体部片	13.8			細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はヘラ削り、器面磨滅のため単位不明。内面は体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き、上半は器面磨滅のため単位不明。	AⅣ
第93図 PL.272	16	土師器 杯(B)	口縁部、体部一部欠損	10.6 12.0	高	6.1	細砂粒/良好/にぶい赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部ヘラ磨き。	BⅡ③a
第93図 PL.272	17	土師器 杯(B)	1/3欠損	12.0 12.9	高	5.6	細砂粒/良好/にぶい赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部はヘラ削り。内面は体部から口縁部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	BⅡ②b
第93図 PL.272	18	土師器 杯(B)	完形	11.9 12.5	高	5.5	細砂粒・粗砂粒/良好/にぶい赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上位と中位がナデ、下位から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	BⅠ③b
第93図 PL.272	19	土師器 杯(B)	口縁部～体部1/4欠損	12.8 13.2	高	6.0	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部はヘラ削り。内面は体部から口縁部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	BⅠ②b
第93図 PL.272	20	土師器 杯(B)	口縁部～体部片	11.8 12.8			細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上位・中位がナデ、下位はヘラ削り。内面は右傾の斜放射状ヘラ磨き。	BⅡ
第93図	21	土師器 杯(B)	口縁部～底部片	12.9 13.3			細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部はヘラ削り。内面は体部から口縁部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	BⅠ
第93図	22	土師器 杯(B)	口縁部～体部上半片	13.8 15.0			細砂粒/良好/赤褐	口縁部上半は横ナデ、下半はナデ、体部はヘラ削り。内面には右傾の斜放射状ヘラ磨き。	BⅡ
第93図	23	土師器 杯(B)	口縁部～体部上半片	16.0 16.9			細砂粒/良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部はヘラナデ。内面には右傾の斜放射状ヘラ磨き。	BⅠ
第93図 PL.272	24	土師器 杯(C)	口縁部1/3欠損	12.9 12.4	高	5.6	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。口唇端部は平坦面をつくる。	CⅡ②a
第93図	25	土師器 杯(C)	1/6	13.0 12.3	高	5.4	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。口唇端部は丸みをおびる平坦面をつくる。	CⅡ
第93図 PL.272	26	土師器 杯(C)	3/4	14.2 14.8	高	7.5	細砂粒・粗砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。口唇端部は平坦面をつくる。	CⅠ
第93図 PL.272	27	土師器 杯(C)	1/2	12.8 11.8			細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)はナデ、底部は手持ちヘラ削り。内面は底部がヘラナデ。口唇端部は窪みをもつ平坦面をつくる。	CⅡ
第93図	28	土師器 杯(C)	口縁部～底部片	13.0 12.5			細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。口唇端部は平坦面をつくる。	CⅡ
第93図 PL.272	29	土師器 杯(C)	1/3	12.7 12.2			細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り、器面磨滅のため単位不明。口唇端部は平坦面をつくる。	CⅡ
第93図 PL.272	30	土師器 杯(C)	口縁部～体部片	13.0 12.0			細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)は手持ちヘラ削り。口唇端部は平坦面をつくる。	CⅡ
第93図 PL.272	31	土師器 杯(C)	口縁部～体部片	13.9 13.5			細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)は手持ちヘラ削り。口唇端部は平坦面をつくる。	CⅡ
第94図 PL.272	32	土師器 杯(C)	1/3	15.0 14.8			細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。口唇端部は平坦面をつくる。	CⅠ
第94図	33	土師器 杯(C)	1/6	13.0 13.4			細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。口唇端部は丸みをもつつくり。	CⅠ
第94図 PL.272	34	土師器 杯(C)	1/2	12.3 12.3	高	5.0	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り、器面や磨滅のため削りの方向不明。口唇端部は丸みをもつつくり。	CⅠ②b
第94図	35	土師器 杯(C)	1/2	15.0 16.2	高	8.5	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。口唇端部は丸みをもつつくり。	CⅠ①b
第94図 PL.272	36	土師器 高杯	杯身部口縁部片	21.8			細砂粒/良好/にぶい黄橙	口縁部は横ナデ、体部はヘラナデか、器面磨滅のため詳細不明。内面はヘラナデ後斜放射状ヘラ磨きか、器面磨滅のため不鮮明。	
第94図 PL.272	37	土師器 小型甕	口縁部欠損	11.8 2.0× 1.5	胴底		細砂粒・粗砂粒/良好/にぶい褐	頸部は横ナデ、胴部はナデ、底部周囲はヘラ削り。内面は底部から胴部に放射状ヘラ磨き。	
第94図	38	土師器 碗	口縁部～体部上半片	15.0			細砂粒/良好/橙	口縁部から体部上位は横ナデ、中位はヘラ削り。内面体部はヘラナデ。	C
第94図 PL.272	39	土師器 埴	口縁部欠損	6.5 15.6	頸胴		細砂粒/良好/橙	口縁部は頸部に接合が剥落。胴部は上位がナデ、中位と下位はヘラ磨き、底部はヘラ削り。	
第94図 PL.273	40	土師器 小型甕	一部欠損	11.4 14.2	高	10.1	細砂粒・粗砂粒/良好/にぶい黄橙	外面胴部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、胴部上位はナデ、中位から底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	CⅢ①
第94図 PL.273	41	土師器 小型甕	口縁一部欠損	11.2 14.2	底高	6～ 6.5 12.0	細砂粒・粗砂粒/良好/にぶい橙	口縁部は横ナデ、胴部上位はナデ、中位から下位はヘラナデ、底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	CⅢ①
第94図 PL.273	42	土師器 壺	口縁部～胴部上位片	15.3			細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ後放射状ヘラ磨き、胴部はハケ目(1cmあたり8～本)。内面は口縁部がやや右傾の斜放射状ヘラ磨き、胴部はヘラナデ。	

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
第94図	43	土師器 小型甕	口縁部～胴部 中位1/4	口 胴	12.4 12.6			細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はナデ。内面は胴部がヘラ ナデ。	C II
第94図	44	土師器 小型甕	口縁部～胴部上 半1/2	口 胴	10.0 12.2			細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削りか、器面磨滅のため不鮮 明。内面は胴部がヘラナデ。	C III
第95図 PL.273	45	土師器 壺	口縁部・胴部一 部欠損	口 胴	16.0 21.2	底 高	6.8 22.0	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい橙	口縁部は横ナデ、胴部は上半がナデ、下半と底部はヘラ削 り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	A①
第94図 PL.000	46	土師器 甕	完形	口 底	27.8 8.6	高	31.1	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部が縦方向の ヘラ磨き後下位に横方向のヘラ磨き、一部器面磨滅のため 単位不明。	B
第95図 PL.274	47	土師器 甕	1/4	口 底	24.0 9.0	高	28.9	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ。	B
第94図	48	土師器 甕	口縁部～胴部上 半片	口 底	25.4			細砂粒・粗砂粒/ 良好/灰黄	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ。	B
第95図	49	土師器 甕	胴部下半～底部	底	7.6			細砂粒/良好/にぶ い黄橙	胴部はヘラ削り後ヘラ磨き。内面はヘラナデ後ヘラ磨きか、 器面磨滅のため単位不明。	B
第95図 PL.273	50	土師器 小型甕	ほぼ完形	口 胴	14.3 14.8	底 高	5.6 16.6	細砂粒/良好/浅黄	口縁部は横ナデ、胴部は上位から中位がヘラナデ、下位と 底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	B II ②
第95図 PL.274	51	土師器 小型壺	胴部～底部2/3 欠損	口 胴	12.1 11.8			細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ、胴部は上半がナデ、下半はヘラ削り。内 面は胴部がヘラナデ。	B II ①
第95図	52	土師器 小型甕	口縁部～胴部片	口 胴	14.0			細砂粒/良好/にぶ い褐	口縁部は横ナデ、胴部はヘラナデ。内面は胴部がヘラナデ、 器面磨滅のため単位不明。	
第95図 PL.274	53	土師器 小型甕	3/4	口 胴	21.9 21.1	底 高	6.4 19.3	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部は横ナデ、頸部から胴部中位は粗いハケ目、下位は ヘラ削りか、底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラ ナデ。	C II ②
第96図 PL.274	54	土師器 甕	胴部一部欠損	口 胴	18.4 21.6	底 高	6.8 27.0	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ、胴部と底部はヘラ削り、胴部上半は器面 磨滅のため単位不鮮明。内面は底部から胴部がヘラナデ。	A②
第96図 PL.274	55	土師器 壺	完形	口 胴	17.6 25.4	底 高	8.5 31.4	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部はハケ目後横ナデ、胴部はハケ目(1cmあたり4本)、 下位と底部はヘラ削り。内面は口縁部下位にハケ目が残る、 底部から胴部はヘラナデか。	B②
第96図 PL.274	56	土師器 甕	2/3	口 胴	19.8 22.0	底 高	5.1 31.6	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部と底部はヘラ削り。内面は 底部から胴部がヘラナデ。	D②
第97図 PL.275	57	土師器 甕	口縁を1/2欠損	口 胴	23.1 26.6	底 高	6.9 32.0	細砂粒/良好/浅黄	口縁部は横ナデ、胴部は上位から中位がヘラナデ、上位は 器面磨滅のため単位不明、胴部下位と底部はヘラ削り。内 面は底部から胴部がヘラナデ。	A③
第97図 PL.275	58	土師器 甕	4/5	口 胴	18.0 23.5	底 高	5.2 35.0	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部と底部はヘラ削り。内面は 底部から胴部がヘラナデ。	D③
第96図 PL.276	59	土師器 甕	胴部一部欠損	口 胴	18.2 23.4	底 高	7.1 25.7	細砂粒/良好/浅黄	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り、器面磨滅のため一部不 鮮明、底部は木葉痕が残る。内面胴部はヘラナデか。	A②内面胴部 の上位から中 にスス付着 か。
第97図 PL.276	60	土師器 甕	口縁部～胴部片	口 胴	17.1 23.1			細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部が ヘラナデ。	D内面胴部 の一部に付着 物。
第97図	61	土師器 甕	口縁部～胴部中 位片	口 胴	17.6 19.8			細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は横ナデ、胴部は下から頸部に達するヘラ削り。内 面胴部はヘラナデ。	
第97図 PL.276	62	土師器 甕	口縁部～頸部片	口	20.6			細砂粒/良好/浅黄	口縁部は横ナデ。内面は口縁部上半が横ナデ、下半がヘラ ナデ、頸部はハケ目。	
第97図 PL.276	63	土師器 甕	口縁部～頸部片	口	20.4			細砂粒/良好/橙	口縁部は上半が横ナデ、下半はヘラナデ。内面は口唇部が 横ナデ、口縁部はヘラナデ。	
第98図 PL.276	64	土師器 甕	口縁部～胴部上 半	口 胴	20.1 34.8			細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部は横ナデ、胴部はハケ目(1cmあたり6～7本)。内面 胴部はヘラナデ。	口縁部・胴部 とも楕円形。
第98図	65	土師器 甕	口縁部～胴部上 位片	口	19.8			細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ。	
第98図 PL.276	66	土師器 甕	口縁部～胴部上 位片	口	17.7			細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は横ナデ、胴部はナデ。内面は胴部がヘラナデ、口 縁部にハケ目痕がみられる。	
第98図 PL.276	67	土師器 甕	口縁部～胴部上 位片	口	18.0			細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部が ヘラナデ。	
第98図 PL.276	68	土師器 甕	底部～胴部片	底 胴	7.0 30.6			細砂粒/良好/灰黄	内面胴部に輪積み痕が残る。胴部は中位にハケ目(1cmあた り9～10本)、下位はヘラ削り、底部もヘラ削り。内面は ヘラナデ、中位は器面磨滅のため単位不明。	
第98図 PL.276	69	土師器 甕	底部～胴部下 位片	底	5.0			細砂粒/良好/にぶ い黄橙	底部はヘラ削りか、胴部はヘラナデ。内面はヘラナデ。	
第98図 PL.276	70	土師器 甕	底部～胴部下 位	底	7.0			細砂粒/良好/浅黄 橙	底部・胴部とも器面磨滅のため整形不鮮明。内面はヘラナ デ、器面磨滅のため単位不明。	
第98図 PL.276	71	土師器 甕	底部～胴部下 位	底	6.0			細砂粒/良好/橙	底部はヘラ削り、胴部は器面磨滅のため整形不明。内面は ヘラナデ。	
第98図 PL.276	72	土師器 甕	胴部下位片					細砂粒/良好/にぶ い黄橙	外面はハケ目(1cmあたり2～3本)、内面はヘラナデ。	
第99図 PL.276	73	土師器 甕	底部～胴部下 位片	底	6.8			細砂粒/良好/にぶ い橙	底部はヘラ削り、胴部はハケ目(1cmあたり7～8本)。内面 は木口の残るヘラナデ。	
第99図 PL.276	74	須恵器 杯蓋	口縁部片	口 稜	12.8 13.2			細砂粒/還元焰/灰 黄	ロクロ整形。口唇端部は凹線が巡る。	

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値					胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考						
				口	12.8												
第99図 PL.276	75	須恵器 杯蓋	口縁部片	口	12.8				細砂粒/還元焰/灰 黄	口クロ整形。口唇端部は凹線が巡る。							
第99図 PL.276	76	須恵器 杯蓋	天井部片						細砂粒/還元焰/黄 灰	口クロ整形、回転左回り。天井部は回転ヘラ削り。内面は 不定方向へのヘラナデ。							
第99図 PL.276	77	須恵器 甕	口縁部片						細砂粒/還元焰/灰	口クロ整形。口唇部は上下に引き出されている。							
第99図 PL.276	78	須恵器 甕	口縁部片						細砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	口クロ整形。口唇部は上下に引き出され、口縁部には波状 文が2段巡る。							
第99図 PL.276	79	須恵器 甕	胴部片						細砂粒/還元焰/黄 灰	外面には平行叩き痕、内面には同心円状アテ具痕が残る。							
第99図 PL.276	80	須恵器 壺	胴部上位小片						細砂粒/還元焰/灰	外面は降灰が厚く付着しており整形不明。内面はナデ。							
第99図 PL.276	81	須恵器 甕	胴部小片						細砂粒/還元焰/灰	外面には平行叩き痕がかすかに残る。内面はヘラナデ。	器壁内部は酸 化焰状態						
第99図 PL.276	82	石製品 管玉	完形	長 幅	2.3 0.7	厚 重	0.7 1.70			蛇紋岩	暗灰色。全体的に丁寧に研磨整形されている。肉眼で孔は 一直線ではなく、中央付近が狭くなっているのが観察でき る。両面穿孔の可能性ある。上下面ともに孔径約3mm。						
第99図 PL.276	83	石製品 管玉	ほぼ完形	長 幅	1.6 0.6	厚 重	0.6 1.15			葉ろう石	明緑灰色。全体的に丁寧に研磨整形されている。下面は孔 の周囲が同心円状に浅い皿状に窪んでいる。上下面ともに 孔径約2mm。						
第99図 PL.276	84	石製品 管玉	完形	長 幅	1.3 0.7	厚 重	0.7 1.22			葉ろう石	明緑灰色。全体的に丁寧に研磨整形されている。上下面と もに孔径約2mm。						
第99図 PL.276	85	石製品 管玉	ほぼ完形	長 幅	1.2 0.7	厚 重	0.8 1.19			葉ろう石	明緑灰色。全体的に丁寧に研磨整形されている。上下面と もに孔径約2mm。						
第99図 PL.276	86	石製品 平玉	ほぼ完形	長 幅	0.8 0.5	厚 重	0.4 0.24			葉ろう石	明緑灰色。全体的に丁寧に研磨整形されている。肉眼で孔 は一直線ではなく、中央付近が狭くなっているのが観察でき る。表裏ともに孔径約3mm。						
第99図 PL.276	87	石製品 白玉	完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.4 0.21			滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕が認められる。裏面は 平坦でなく凹凸が認められる。側面には斜め方向の擦痕が 認められる。孔径約2mm。						
第99図 PL.276	88	石製品 白玉	完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.4 0.23			滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕が認められる。裏面は 平坦でなく凹凸が認められる。側面には中央にわずかな張 りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。						
第99図 PL.276	89	石製品 白玉	完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.4 0.28			滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。 側面は中央にわずかな張りがあり斜め方向の擦痕が認めら れる。孔径約2mm。						
第99図 PL.276	90	石製品 白玉	完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.4 0.19			滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。 側面は中央にわずかな張りがあり斜め方向の擦痕が認めら れる。孔径約2mm。						
第99図 PL.276	91	石製品 砥石	完形	長 幅	21.2 20.0	厚 重	10.8 7400.0			粗粒輝石安山岩	整った矩形を呈しており全体的に整形されている可能性が ある。表面のほぼ全面にわたり非常に滑らかな面が形成さ れており砥面と想定される。線条痕もわずかに認められる。						
第99図 PL.276	92	礫石器 台石	1/2	長 幅	(14.7) 13.2	厚 重	(6.4) 1609.5			変質安山岩	壺円礫の利用が想定される。表面の中央付近がわずかに窪 んでおり比較的滑らかである。表面の右下隅に磨面が認め られる。上半部にわずかな赤化が認められ全体的に表面の 剥落があることから受熱の可能性ある。						
挿図 PL.No.	No.			法量													
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	
第99図 PL.276	93	針?	竈焚口部	1.6+	0.2	0.2											断面2mmの細棒状品。断面が四角に近い。両端は新しい ワレ。
第99図 PL.276	94	針?	竈煙道部	1.3+	0.3	0.2											断面2mmの細棒状品。断面が四角に近い。両端は古いワ レで、破損品か、切断品。
第99図 PL.276	95	針?	竈煙道部	1.1+	0.2	0.2											断面2mmの細棒状品。断面が四角に近い。両端は新しい ワレ。

10号竪穴建物

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値					胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口	12.6						
第102図 PL.277	1	土師器 杯(B)	口縁部～体部片	口	12.6				細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半がヘラ削り。内 面は器面剥離のため整形不明。	B I
第102図 PL.277	2	土師器 杯(C)	口縁部～体部片	口 稜	12.0 11.4				細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)はヘラ削り後ヘラ磨きか。口 唇端部は丸みをもつつくり。	C II
第102図 PL.277	3	土師器 甕	底部～胴部下位 小片						細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい赤褐	底部・胴部ともヘラ削りか、器面磨滅のため単位不明。内 面はヘラナデ。	
第102図 PL.277	4	須恵器 甕	胴部片						細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/黄灰	外面は平行叩き後間隔をあけて幅0.5cmほどのヘラナデ。 内面はアテ具痕ナデ消しているが、かすかに同心円状ア テ具痕が残る。	

9号竪穴建物

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値					胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口 高	13.8 5.6						
第108図 PL.277	1	土師器 杯(A)	3/4	口 高	13.8 5.6				細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部から底部はヘラ削り。内面は体部に 左傾の斜放射状ヘラ磨き。	A II ③b
第108図	2	土師器 杯(A)	1/4	口	13.6				細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上位がナデ、中位から底部は手持 ちヘラ削り。内面は左傾の放射状ヘラ磨き、底部付近は器 面磨滅のため単位不明。	A IV
第108図 PL.277	3	土師器 杯(A)	口縁部～体部片	口	14.0				細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はヘラ削り。内面体部に斜放射状へ ラ磨きが観察できるが器面磨滅のため単位不明。	A II
第108図 PL.277	4	土師器 杯(A)	口縁部～体部片	口	18.2				細砂粒/良好/明赤 褐	口唇端部に細い凹線が1条巡る。口縁部は横ナデ、体部は 上半がナデ、下半はヘラ削り。内面体部に右傾の斜放射 状ヘラ磨き。	A II
第108図	5	土師器 杯(A)	口縁部～体部片	口	18.2				細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はヘラ削り。内面体部は右傾の斜放 射状ヘラ磨き。	A III

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
第108図 PL.277	6	土師器 杯(B)	1/2	口 最	12.0 13.0	高	5.9	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に右傾の斜放射状ヘラ磨き、大部分は器面磨滅のため不鮮明。	B II ②b
第108図 PL.277	7	土師器 杯(C)	1/2	口 稜	12.2 11.8	高	5.2	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。口唇端部は丸みをもつくり。	C II ②b
第108図 PL.277	8	土師器 杯(C)	1/4	口 稜	11.6 11.5	高	5.4	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。口唇端部は平坦面をつくる。	C I ③a
第108図 PL.277	9	土師器 杯(C)	口縁部1/4欠損	口 稜	12.1 12.2	高	5.5	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。口唇端部は平坦面をつくる。	C I ②a
第108図 PL.277	10	土師器 杯(C)	口縁部～底部片	口 稜	12.0 12.8			細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。口唇端部は平坦面をつくる。	C II
第108図 PL.277	11	土師器 杯(C)	3/4	口 稜	15.0 14.7	高	6.9	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。口唇端部は平坦面をつくる。	C I ①a
第108図 PL.277	12	土師器 杯(C)	1/5	口 稜	13.6 12.7			細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。口唇端部は平坦面をつくる。	C II
第108図 PL.277	13	土師器 杯(C)	1/3	口 稜	15.6 16.2			細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。口唇端部は平坦面をつくる。	C I
第108図 PL.277	14	土師器 杯(C)	1/4	口 稜	16.9 17.0			細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。口唇端部は平坦面をつくる。	C III
第108図 PL.277	15	土師器 杯(C)	口縁部～体部片	口 稜	17.0 16.0			細砂粒/良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)は手持ちヘラ削り。口唇端部は平坦面をつくる。	C II
第108図 PL.277	16	土師器 椀	口縁部～体部下位片	口	15.5			細砂粒/良好/褐	口縁部は横ナデ、体部は上位・中位がナデ、下位は手持ちヘラ削り。内面はやや右傾の放射状ヘラ磨き、底部付近は器面磨滅のため単位不明。	B
第108図 PL.277	17	土師器 高杯	脚裾部	脚	12.6			細砂粒/良好/灰黄褐	外面は縦方向のヘラ磨き。内面はハケ目。	
第108図 PL.277	18	土師器 高杯	脚部片	脚	11.8			細砂粒・粗砂粒/ 良好/赤褐	裾部は横ナデ、脚部はヘラ削り後ヘラ磨きか。内面はヘラナデ。	
第108図 PL.277	19	土師器 高杯	脚部上部片					細砂粒/良好/にぶ い赤褐	外面は縦方向のヘラ磨き。内面は中央部がナデ、周辺部はハケ目。	
第108図 PL.277	20	土師器 椀	2/3	口 高	15.1 11.8			細砂粒/良好/橙	底部は成形後粘土を添付し、丸底化している。口縁部は横ナデ、頸部にハケ目が残る、胴部から底部は器面磨滅のため不鮮明。内面は底部から胴部がヘラナデ。	F II
第108図 PL.277	21	土師器 壺	口縁部～胴部	口 胴	16.2 22.8			細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はハケ目(1cmあたり5～6本)、胴部下位は器面磨滅のため不鮮明。内面胴部も器面磨滅。	B ①
第108図 PL.277	22	土師器 壺	口縁部～胴部上位片	口	14.7			細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、胴部はヘラナデか、器面磨滅のため単位不明。内面は胴部がヘラナデ。	A
第109図 PL.277	23	土師器 小型甕	1/2	口 胴	13.8 14.9	底 高	3.0 13.4	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい橙	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ磨き、器面磨滅のため不鮮明、底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	C II ②
第109図 PL.278	24	土師器 小型甕	2/3	口 胴	14.4 15.2	底 高	5.7 17.0	細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は横ナデ、胴部上位・中位はヘラナデか、器面磨滅のため不鮮明、下位と底部はヘラ削り。内面は底部から胴部にヘラナデ。	A I ②
第109図 PL.278	25	土師器 小型壺	口縁部欠損	胴 底	15.0 5.3			細砂粒/良好/橙	底部と胴部下位はヘラ削り、胴部中位・上位は器面剥離のため整形不明。内面はヘラナデか。	
第109図 PL.278	26	土師器 小型甕	底部～胴部片	胴 底	16.0 4.0			細砂粒/良好/橙	底部から底部周辺はヘラ削り、胴部はハケ目(1cmあたり12本)。内面はヘラナデ、器面磨滅のため単位不明。	
第109図 PL.278	27	土師器 小型甕	口縁部～胴部上位片	口	16.8			細砂粒/良好/にぶ い褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラナデ。内面は頸部から胴部がヘラナデ。	
第109図 PL.278	28	土師器 小型甕	口縁部～胴部上半1/3	口	16.6			細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は横ナデ、胴部はハケ目(1cmあたり10本前後)後ヘラナデ。内面は胴部がヘラナデ。	内外面にスス 附着。
第109図 PL.278	29	土師器 小型甕	口縁部～胴部上位片	口	11.2			細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は横ナデ、胴部はヘラナデか。内面胴部はハケ目(1cmあたり5本以上)。	
第109図 PL.278	30	土師器 小型甕	口縁部片	口	15.0			細砂粒/良好/にぶ い黄	口縁部は横ナデ、頸部から胴部はハケ目。内面は口縁部下 半から胴部にヘラナデ。	
第109図 PL.278	31	土師器 甕	1/2	口 胴	20.8 24.7	底 高	6.8 27.7	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ、胴部は上位と中位はナデ、下位はヘラ削りが残る、底部はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ、大部分は器面磨滅のため単位不明。	A ②外面胴部 下位に整形後 粘土貼付カ所 あり。
第109図 PL.278	32	土師器 甕	2/3	口 胴	16.7 19.9	底 高	4.8 28.1	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部と底部はヘラ削り、胴部上位は器面磨滅のため単位不明。内面は底部から胴部がヘラナデ。	D ①
第110図 PL.278	33	土師器 甕	口縁部～頸部片	口	17.0			細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ。内面は頸部がヘラナデ。	
第110図 PL.278	34	土師器 甕	底部～胴部下位片	底	9.2			細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	底部に輪積み痕が残る。底部と胴部はヘラ削り。内面はヘラナデ。	
第110図 PL.278	35	土師器 甕	底部片	底	7.0			細砂粒/良好/にぶ い橙	底部はヘラ削りか、器面磨滅のため単位不明。内面はヘラナデ。	
第110図 PL.278	36	土師器 甕	底部～胴部下位片	底	6.0			細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	底部と胴部下位下半はヘラ削り、下位上半はヘラナデ。内面はヘラナデ。	
第110図 PL.278	37	赤玉	破片	長 幅	6.4+ 5.0+	高 重	3.7 9.51		色味が良く硬度あり。	
第110図 PL.278	38	石製品 管玉	完形	長 幅	2.0 0.7	厚 重	0.7 1.39	蛇紋岩	暗オリーブ灰色。全体的に丁寧に研磨整形されている。肉眼で孔は一直線ではなく、中央付近が狭くなっているのが観察できる。両面穿孔の可能性ある。上下面ともに孔径約2mm。	

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値					胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考						
				長	幅	厚	重	容積									
第110図 PL.278	39	石製品 管玉	完形	長	1.8 0.8	厚	0.8 1.90	葉ろう石	明緑灰色。全体的に丁寧に磨き整形されている。上面は孔の周囲が同心円状にわずかに窪んでいる。上面の孔径約2mm。								
第110図 PL.278	40	石製品 砥石	不明	長	(8.6) (6.8)	厚	(2.1) 172.4	砂岩	表裏面の2面が砥面と想定される。表裏面ともに全体的に滑らかであるが波打つ形状を呈する。								
挿図 PL.No.	No.			法量													
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	
第110図 PL.278	41	曲刃鎌	掘り方	12.3	2.8	0.3	1.2										刃はほぼ直線状に伸びる。先端のみ刃先が屈曲する。また、刃先に向けて上方に折り曲げている可能性がある。曲柄には木質の遺存は無い。

11号竪穴建物

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値					胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				長	幅	厚	重	容積			
第111図	1	土師器 杯	口縁部片						細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、内面は斜放射状へら磨き。	
第111図 PL.279	2	土師器 椀	底部～体部下位 小片						細砂粒/良好/にぶい黄褐	底部・体部ともへら磨き。内面はへらナデ。	
第111図	3	土師器 甕	口縁部片						細砂粒/良好/にぶい赤褐	口縁部は内外面とも横ナデ。	
第111図 PL.279	4	土製品 不明	一部片						細砂粒/良好/にぶい褐	図配置の下部左に径0.5cmほどの穿孔あり、右側には幅0.3cm、高さ0.2cmの凸帯が半円状に巡る。内外面ともへらナデ。	
第111図 PL.279	5	石製品 管玉	完形	長	3.4 1.0	厚	1.0 6.53	珪質頁岩	暗緑灰色。全体的に丁寧に磨き整形されている。肉眼では一直線ではなく、中央付近が狭くなっているのが観察できる。両面穿孔の可能性ある。上下面ともに孔径約4mm。		
第111図 PL.279	6	石製品 石製横造品 (有孔円板)	完形	長	2.7 3.0	厚	0.4 5.5	蛇紋岩	緑黒色。表面は斜め方向の擦痕が、裏面は縦方向の擦痕が主体的である。左右の孔径約1.5mm。		

4号焼土

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値					胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口	高	最	底	容積			
第112図	1	土師器 杯(C)	口縁部～体部片	口	12.7 12.9				細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)は手持ちへら削り。口唇端部は丸みをもつ作り。	C I
第112図	2	土師器 高杯か	脚部片	脚	10.2				細砂粒/良好/明赤褐	外面はへら磨き。内面はハケ目。	
第112図	3	土師器 甕	口縁部片	口	16.0				細砂粒/良好/にぶい黄橙	口縁部は横ナデ。	

5面1号竪穴建物

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値					胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口	高	最	底	容積			
第121図 PL.279	1	土師器 杯(D)	口縁部一部欠損	口	12.5 5.6				細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部はへら削り。内面は底部から体部にへらナデ。	D III
第121図 PL.279	2	土師器 杯(A)	3/4	口	14.3 5.2				細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部は横ナデ、体部から底部はへら削り。内面は体部に右傾の斜放射状へら磨き。	A III②c
第121図 PL.279	3	土師器 杯(A)	1/2	口	12.5 12.9	高	7.2		細砂粒・粗砂粒/良好/にぶい橙	口縁部は横ナデ、体部から底部はへら削り。内面は口縁部が横ナデ、体部から底部はへらナデか、器面磨滅のため不鮮明。	A II④a
第121図 PL.279	4	土師器 杯(A)	1/3	口	13.8				細砂粒・粗砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部はへら削り。内面は体部に右傾の斜放射状へら磨き。	A II
第121図	5	土師器 杯(A)	1/5	口	13.8				細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上位がナデ、中位から底部はへら削り。内面は荒れており整形不明であるが、一部に斜放射状へら磨きが観察できる。	A II
第121図 PL.279	6	土師器 杯(D)	口縁部～体部 1/3	口	14.3				細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半はへら削り。内面は体部に右傾の斜放射状へら磨き。	D III
第121図	7	土師器 杯(A)	口縁部～体部片	口	13.0				細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部上半はナデ、下半はへら削り。内面は体部に右傾の斜放射状へら磨き。	A II
第121図	8	土師器 杯(A)	口縁部～体部片	口	17.2				細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上位にナデ、中位から下位はへら削り。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	A III
第121図	9	土師器 杯(B)	1/5	口	12.1 12.5	高	4.8		細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちへら削り。内面は体部から口縁部に左傾の斜放射状へら磨き。	B I②c
第121図 PL.279	10	土師器 杯(B)	1/3	口	11.2 12.2				細砂粒・粗砂粒・褐粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部はへら削り。内面は体部から口縁部に右傾の斜放射状へら磨き。	B II
第121図 PL.279	11	土師器 杯(B)	口縁部1/2	口	12.6 13.2				細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部と底部はへら削り。内面は体部から口縁部にかけて左傾の斜放射状へら磨き。	B II
第121図	12	土師器 杯(C)	口縁部片	口	10.9 9.7				細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)は手持ちへら削り。口唇端部は平坦面をつくる。	C II
第121図	13	土師器 杯	口縁部～底部片	口	16.5 15.2				細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちへら削り。	C II
第121図	14	土師器 杯(C)	口縁部片	口	13.0 12.5				細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)は手持ちへら削り。口唇端部は丸みをもつ作り。	C II
第121図 PL.279	15	土師器 杯(D)	2/3	口	13.7 3.2	高	4.8		細砂粒・石英/良好/にぶい赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半と底部はへら削り。内面は口縁部が横ナデ、体部はへらナデか、器面磨滅のため不鮮明。	D II
第121図	16	土師器 杯(D)	口縁部～体部片	口	13.8				細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半はへらナデ。内面は体部がへらナデ。	D II
第121図 PL.279	17	土師器 杯(D)	1/4	口	14.0				細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部と底部はへら削り、体部は器面磨滅のため単位不明。内面は右に傾く斜放射状へら磨きか、単位不鮮明。	D II

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口 稜	脚 高	底 高			
第121図 PL.279	18	土師器 高杯	1/2	口稜 16.1 9.6	脚高 11.6 13.6		細砂粒・粗砂粒・ 石英/良好/にぶい 赤褐	杯身部と脚部は接合。杯身部口縁部は横ナデ、底部はヘラナデ、脚部はヘラ磨きか、器面磨滅のため不明瞭。内面は杯身部口縁部上半が横ナデ、下半から底部はヘラナデ。脚部もヘラナデ。	A II
第121図 PL.279	19	土師器 高杯	ほぼ完形	口稜 16.7 10.0	脚高 12.8 13.1		細砂粒・粗砂粒・ 褐粒/良好/橙	杯身部と脚部は接合。杯身部口縁部は横ナデ、稜はヘラナデ、底部はナデ、脚部は横ナデ後脚部から裾部にヘラ磨き。内面は杯身部底部から口縁部に放射状ヘラ磨き、屈曲部にヘラナデ。脚部はヘラナデ。	A I
第121図 PL.280	20	土師器 高杯	口縁部2/3欠損	口稜 15.9 10.7			細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、底部(稜下)はナデ、脚部との接合部はヘラナデ。内面はヘラナデ。脚部は縦方向のヘラ磨き。内面は杯身部はヘラ磨き。脚部はヘラナデ。内面は上半がナデ、下半はヘラナデ。	
第121図 PL.280	21	土師器 高杯	杯身部	口稜 16.3 11.3			細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ後斜放射状ヘラ磨き、底部(稜下)はナデ。内面は底部から口縁部に右傾の斜放射状ヘラ磨き、口縁部は器面磨滅のため単位不明。	
第121図	22	土師器 高杯	杯身部1/3	口稜 16.2 11.0			細砂粒/良好/にぶ い赤褐	杯身部と脚部は接合。口縁部から底部上半は横ナデ、下半はヘラナデ。内面は底部から口縁部下半にヘラナデ。	
第121図 PL.280	23	土師器 高杯	杯身部	口 18.1			細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	底部と口縁部の間に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、底部はナデ。内面は器面剥落のため不明瞭であるが、一部に斜放射状のヘラ磨きのみみられる。	
第121図	24	土師器 高杯	杯身部下位～脚 部上半片	稜 11.0			細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい橙	杯身部と脚部は接合か。杯身部口縁部は横ナデ、底部(稜下)から脚部はヘラナデ。内面は脚部がナデ。	
第121図	25	土師器 高杯	脚部	脚 9.0			細砂粒/良好/橙	杯身部と脚部は接合。脚部は横ナデ、内面は上半がヘラナデ、下半は横ナデ。	
第121図	26	土師器 高杯	脚部1/4				細砂粒/良好/にぶ い赤褐	外面はヘラナデ、単位不鮮明。内面はナデ。	
第121図	27	土師器 高杯	脚部裾部片	脚 14.8			細砂粒/良好/橙	裾部は内外とも横ナデ。	
第122図 PL.280	28	土師器 椀	完形	口底 10.6 3.7	高 8.3		細砂粒/良好/橙	内外面に輪積み痕が残る。口縁部はヘラナデ後縦のナデ、胴部はナデ、底部はヘラ削り。内面は底部から胴部にヘラナデ。	C I
第122図 PL.280	29	土師器 椀	4/5	口底 12.2 3.5× 2.8	高 7.3		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上位と中位がナデ、下位と底部は手持ちヘラ削り。内面は底部から体部がヘラナデ。	C I 底部は楕 円形。
第122図	30	土師器 埴	口縁部片	口 10.6			細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は外面が横ナデ、内面は放射状ヘラ磨き。	
第122図	31	土師器 埴	胴部片	胴 14.5			細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	外面はヘラ削りか、器面磨滅のため整形不鮮明。内面はヘラナデ。	
第122図 PL.280	32	土師器 小型甕	1/2	口胴 11.5 12.4	底高 4.0 9.8		細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラナデ、底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	C II
第122図	33	土師器 小型甕	口縁部～胴部上 半片	口 13.8			細砂粒/良好/赤褐	口縁部は横ナデ、頸部から胴部上位はハケ目が残る、胴部中位はヘラ削り。内面は器面が荒れており整形不明。	
第122図 PL.280	34	土師器 小型甕	3/4	口胴 11.8 11.2	底高 4.1 9.6		細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部と底部はヘラナデ。内面は底部から胴部がヘラナデ。	C I
第122図 PL.280	35	土師器 小型甕	1/3	口胴 11.1 13.2	底高 3.6 11.6		細砂粒・粗砂粒/ 良好/赤褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部上位・中位はヘラ磨き、器面磨滅のため単位不明。胴部下位と底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	C II ①
第122図 PL.280	36	土師器 小型甕	完形	口胴 10.9 12.6	底高 4.7 11.0		細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は横ナデ、胴部はナデ、底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	C II ①
第122図	37	土師器 小型甕	口縁部欠損	底胴 2.1 12.1			細砂粒/良好/にぶ い橙	外面胴部に輪積み痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部はナデ、底部と底部周囲はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	
第122図	38	土師器 小型甕	口縁部～胴部片	口胴 12.8 12.4			細砂粒/良好/にぶ い褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ。	
第122図	39	土師器 小型甕	口縁部～胴部上 位片	口 11.8			細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラナデ。内面は胴部がヘラナデ。	
第122図	40	土師器 小型甕	口縁部～頸部片	口 14.8			細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラナデ。内面胴部もヘラナデ。	
第122図	41	土師器 小型甕	口縁部～胴部上 位片	口 13.8			細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ磨きか、器面磨滅のため不鮮明。内面胴部は器面剥落のため不明。	
第122図	42	土師器 甕	口縁部～胴部上 位片	口 14.2			細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部中ほどに段を有す。口縁部は横ナデ、内面は口縁部が横ナデ、胴部はヘラナデ。	
第122図 PL.280	43	土師器 甕	口縁部～頸部 1/2	口 16.1			細砂粒/良好/赤褐	口縁部中ほどに段を有す。口縁部は横ナデ、内面は口縁部上半が横ナデ、下半から胴部はヘラナデ。	A
第122図	44	土師器 甕	口縁部片	口 16.0			細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は外面が横ナデ、内面は上半が横ナデ、下半はヘラナデ。	
第122図 PL.280	45	土師器 甕	口縁部～胴部上 位片	口 18.1			細砂粒/良好/にぶ い赤褐	内面頸部と胴部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、胴部はナデ。内面は頸部下がナデ、胴部はヘラナデ。	
第122図	46	土師器 甕	口縁部片	口 22.0			細砂粒/良好/にぶ い橙	内外面とも横ナデ。	
第122図	47	土師器 甕	口縁部～胴部上 位片	口 16.0			細砂粒/良好/赤褐	内面頸部下に輪積み痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラナデ。内面は胴部がヘラナデ、頸部下に指頭痕が残る。	
第123図	48	土師器 甕	胴部片	胴 24.4			細砂粒/良好/灰白	頸部は横ナデ、胴部はヘラ磨きか、単位不鮮明。内面はヘラナデ。	
第123図 PL.280	49	土師器 甕	口縁部～胴部上 半片	頸 16.0			細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部中ほどに段を有す。口縁部は横ナデ、胴部はナデ。内面は胴部がヘラナデ、器面磨滅のため単位不明。	

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第123図	50	土師器 甕	底部～胴部下 半	底	6.0		細砂粒/良好/に ぶい赤褐	底部の整形は不明、胴部は下位にヘラ削りが残るが、その上位はナデで単位不明。内面は大部分はヘラナデであるが、一部ヘラ削り。	
第123図	51	土師器 甕	底部～胴部下 位片	底	6.8		細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	底部と胴部はヘラ削り、一部ヘラナデ。内面はヘラナデ。	
第123図	52	土師器 甕	底部	底	8.0		細砂粒/良好/に ぶい赤褐	外面は胴部・底部ともヘラ削りか、器面磨滅のため単位不明。内面はヘラナデ。	
第123図	53	土師器 甕	底部～胴部下 位	底	8.7		細砂粒/良好/明 黄褐	底部・体部ともヘラ磨き、器面磨滅のため単位不明。内面は底部同心円状、胴部が横方向のヘラ磨き。	
第123図	54	土師器 甕	底部～胴部下 位	底	5.2		細砂粒/良好/に ぶい赤褐	底部と胴部はヘラナデ、底部に粘土粒が付着。内面は器面磨滅のため整形不明。	
第123図	55	須恵器 杯蓋	口縁部片	口	11.8		細砂粒/還元焰/ 灰	ロクロ整形。	
第123図	56	須恵器 椀	口縁部～胴部	口 稜	6.6 7.2		細砂粒/還元焰/ 灰	ロクロ整形、回転右回りか。体部上位に刺突文が巡る。	
第123図 PL.281	57	須恵器 高杯	杯身底部～口 縁部片	稜	13.2		細砂粒/還元焰/ 灰	ロクロ整形。脚部は接合か。杯身底部は回転ヘラ削り。内面に降灰が厚く付着。	
第123図	58	須恵器 高杯	脚部片				細砂粒/還元焰/ 褐灰	ロクロ整形。脚部に透孔が設けられている。	
第123図	59	須恵器 高杯	脚部片				細砂粒/還元焰/ 黄灰	ロクロ整形。脚部に透孔が設けられている。	
第123図	60	須恵器 甕	口縁部片	口	9.9		細砂粒/還元焰/ 灰	ロクロ整形。内面に降灰が付着。	
第123図 PL.281	61	須恵器 甕	口縁部片				細砂粒/還元焰/ 灰	ロクロ整形。口縁部は凸帯によって区画、区画内を波状文が巡る。	
第123図 PL.281	62	須恵器 甕	口縁部片				細砂粒/還元焰/ 灰	ロクロ整形。凹線と凸帯によって区画、口唇部と口縁部にそれぞれ波状文が巡る。	
第123図	63	須恵器 壺	胴部中位小片				細砂粒/還元焰/ 灰	ロクロ整形、破片上位に降灰が付着。	
第123図	64	須恵器 甕	胴部小片				細砂粒/還元焰/ 灰	外面には平行叩き痕が残る。	
第123図	65	須恵器 甕	口縁部小片				細砂粒/還元焰/ 灰	ロクロ整形、破片下位に凹線が巡る。	
第123図	66	須恵器 甕	胴部上位小片				細砂粒/還元焰/ 灰	外面は平行叩き後間隔をあけた横方向のナデ、内面は同心円状アテ具痕がかすかに残る。外面に降灰付着。	
第123図 PL.281	67	須恵器 甕	口縁部片				細砂粒/還元焰/ 暗灰	ロクロ整形。口縁部は2条の断面三角形の凸帯によって区画、最上段の区画は2段の波状文が巡る。	4面1祭祀30と同一個体か。
第123図	68	土製品 円板状	完形	縦 横	3.6 3.5	厚 0.7	細砂粒/良好/に ぶい赤褐	土師器甕胴部を円板状に打ち欠いて二次使用か。外面はヘラ削り、内面はヘラナデ。	
第123図 PL.281	69	土製品 円板状	完形	縦 横	3.6 3.4	厚 0.55	細砂粒/良好/明 赤褐	土師器杯底部の転用か。周囲を打ち欠き七角形の円板状に仕上げている。	
第124図 PL.281	70	石製品 石製模造品 (剣形)	完形	長 幅	3.9 1.6	厚 重 0.4 3.9	蛇紋岩	暗オリーブ灰色。表裏面ともに斜め方向の擦痕が主体的である。上下の孔径約2mm。	
第124図 PL.281	71	石製品 紡輪	1/2	長 幅	4.7 —	厚 重 2.0 30.0	蛇紋岩	表裏面ともよく研磨され光沢がある。体部側面には光沢は認められず全体的に線条痕が集中する。孔の内部は斜め方向の細かな線条痕が認められる。孔径約8mm。	逆台形状 (厚型)
第124図 PL.281	72	礫石器 凹石	完形	長 幅	10.6 8.7	厚 重 4.5 466.2	粗粒輝石安山岩	極円礫を利用する。表裏面のほぼ中央に浅い凹みが認められる。表裏面の中央付近に磨面が認められる。	
第124図 PL.281	73	礫石器 磨石	完形	長 幅	10.4 8.0	厚 重 3.1 396.7	石英閃緑岩	扁平な円礫を利用する。表面のほぼ全面と裏面の中央付近に磨面が認められる。	
第124図 PL.281	74	礫石器 磨石	完形	長 幅	7.6 6.8	厚 重 3.9 268.8	粗粒輝石安山岩	極円礫を利用する。表裏面のほぼ全面に磨面が認められる。	
第124図 PL.281	75	礫石器 磨石	完形	長 幅	7.8 7.6	厚 重 2.8 238.3	変質安山岩	扁平な円礫を利用する。表裏面のほぼ全面に磨面が認められる。	
第124図 PL.281	76	礫石器 磨石	完形	長 幅	7.4 6.7	厚 重 2.8 229.4	粗粒輝石安山岩	扁平な円礫を利用する。表裏面のほぼ全面に磨面が認められる。	

7号竪穴建物

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第129図 PL.281	1	土師器 杯(A)	1/2	口	11.2		細砂粒/良好/明 赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部はヘラ削り。内面は体部中位から上位に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	A I
第129図	2	土師器 杯(A)	口縁部～体部 片	口	12.7		細砂粒/良好/明 赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上位がナデ、中位がヘラ削り。内面は体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	A I
第129図 PL.281	3	土師器 杯(A)	口縁部～体部 片	口	13.6		細砂粒/良好/ 橙	口縁部は横ナデ、体部はヘラ削り。内面は体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	A II
第129図 PL.281	4	土師器 杯(A)	口縁部～体部 片	口	13.8		細砂粒/良好/に ぶい赤褐	口縁部は横ナデ、体部はヘラ削り。内面は体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	A III
第129図 PL.281	5	土師器 杯(A)	口縁部～体部 片	口	13.9		細砂粒/良好/明 赤褐	口縁部は横ナデ、体部はヘラ削り。内面は体部に左傾の斜放射状ヘラ磨き、器面が荒れており不鮮明。	A IV
第129図 PL.281	6	土師器 杯(A)	口縁部～体部 片	口	14.0		細砂粒/良好/に ぶい赤褐	口縁部は横ナデ、体部はヘラ削り。内面は体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	A II
第129図 PL.281	7	土師器 杯(A)	3/4	口 高	13.1 6.3		細砂粒/良好/に ぶい赤褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部はヘラ削り。内面は底部から体部にヘラナデ。	A II ③a
第129図 PL.281	8	土師器 杯(A)	口唇部の体部 を欠損	口 高	14.7 5.9		細砂粒/良好/に ぶい赤褐	焼成前に口縁部の一方所を内側に押し曲げている。口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。内面は器面が荒れており整形不鮮明。	A II ②b
第129図	9	土師器 杯(B)	口縁部片	口 最	13.6 14.2		細砂粒/良好/明 赤褐	口唇部は横ナデ、口縁部から体部はナデ。内面は体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口	高	底			
第129図	10	土師器 杯(C)	口縁部片	口	14.0		細砂粒/良好/橙	口唇端部はやや内側に傾き凹線が巡る。口縁部は横ナデ。 口唇端部は窪みを持つ平坦面をつくる。	
第129図	11	土師器 杯(C)	口縁部～体部片	口	12.0		細砂粒/良好/明褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)は手持ちヘラ削り。口唇端部は丸みをもつくり。	
第129図 PL.281	12	土師器 杯(D)	3/4	口 高	12.9 6.1		細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に斜格子状ヘラ磨き、体部下半は器面磨滅のため単位不明。	D II
第129図 PL.281	13	土師器 手捏ね土器	1/2	口 底	8.8 4.8	高 5.0	細砂粒/良好/にぶい赤褐	外面口縁部と体部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、体部と底部はヘラナデ。内面は口唇部が横ナデ、底部から口縁部に放射状ヘラ磨き。	
第129図	14	土師器 椀	口縁部～体部片	口	14.0		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はヘラナデ、器面磨滅のため単位不明。	
第130図	15	土師器 高杯	杯身部1/2	口	22.8		細砂粒/良好/明赤褐	杯身部と脚部は接合、杯身部はやや雑な横方向と部分的に縦方向のヘラ磨き。内面は全体的には放射状であるが、底部と口唇部は横方向のヘラ磨き。	C
第130図	16	土師器 高杯	脚部裾部片	脚	11.8		細砂粒/良好/橙	脚部裾部は内外面とも横ナデ。	
第130図	17	土師器 高杯	脚部片				細砂粒/良好/明赤褐	外面はヘラ磨きか、器面磨滅のため単位不明。内面はヘラナデ。	
第130図	18	土師器 高杯	脚部片				細砂粒/良好/橙	外面はヘラ磨きか、器面磨滅のため単位不明。内面はヘラナデ。	
第130図	19	土師器 椀	口縁部～体部片	口	23.0		細砂粒/良好/にぶい赤褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ。内面は体部がヘラナデ。	
第130図	20	土師器 埴	口縁部～体部片	口	16.6		細砂粒・粗砂粒/ 良好/浅黄橙	口縁部はやや斜め、体部は縦方向のヘラ磨き。内面は横方向のヘラ磨き。	
第130図 PL.281	21	土師器 埴	底部～胴部1/2	頸 胴	6.8 15.2		細砂粒/良好/にぶい赤褐	内面胴部に輪積み痕が残る。胴部から底部はヘラ磨き、胴部下半から底部は器面磨滅のため単位不明。内面はヘラナデ。	
第130図	22	土師器 埴	胴部片	胴	14.0		細砂粒・石英/良好/赤褐	胴部は上位と中位はナデ、下位から底部はヘラ削り。内面はナデ。	
第130図	23	土師器 壺	頸部～胴部片	頸 胴	9.8 22.7		細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	内外面に輪積み痕が残る。外面はヘラ削り後ヘラナデか。内面はヘラナデ。	
第130図 PL.282	24	土師器 小型甕	1/3	口 胴	15.4 18.3	底 高 7.2 18.4	細砂粒/良好/明赤褐	外面頸部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、胴部はヘラナデ、底部はヘラ削りか。内面は底部から胴部がヘラナデ。	AI ②
第130図	25	土師器 小型甕	口縁部片	口	14.4		細砂粒/良好/にぶい黄橙	口縁部は横ナデ、内面はハケ目(1cmあたり8本)	
第130図 PL.282	26	土師器 甕	3/4	口 胴	14.5 20.7	底 高 6.4 21.6	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、胴部はヘラナデ、下半は器面磨滅のため単位不明。底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	C①
第130図 PL.282	27	土師器 甕	口縁部～胴部上位	口	15.9		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、胴部はハケ目(1cmあたり9本)。内面は口縁部が横ナデ、胴部はヘラナデ。	
第130図	28	土師器 甕	口縁部～胴部上位片	口	14.5		細砂粒/良好/にぶい黄橙	口縁部は横ナデ、胴部はナデ。内面は胴部にヘラナデ。	
第131図	29	土師器 甕	口縁部～頸部片	口	19.0		細砂粒/良好/明赤褐	断面に輪積み痕が残る。内外面とも横ナデ。	
第131図	30	土師器 甕	口縁部～胴部上位片	口	19.6		細砂粒/良好/にぶい赤褐	口縁部は横ナデ、口縁部下半から胴部は器面が荒れており整形不明。内面は胴部にヘラナデ。	
第131図	31	土師器 甕	口縁部1/4	口	18.6		細砂粒/良好/橙	口縁部から頸部は横ナデ。	
第131図	32	土師器 甕	口縁部～胴部上位片	口	27.4		細砂粒/良好/灰黄褐	外面口縁部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、胴部はヘラナデ。内面は胴部がヘラナデ。	
第131図	33	土師器 甕	底部～胴部下位	底	6.2		細砂粒/良好/赤褐	底部と胴部はヘラ削り。内面はヘラナデ。	
第131図	34	土師器 甕	底部～胴部下位片	底	10.0		細砂粒/良好/赤褐	底部はヘラ削り、胴部はヘラナデ。内面はヘラナデ。	
第131図	35	土師器 甕	底部～胴部下位	底	4.0		細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい赤褐	底部と胴部はヘラ削り。内面はヘラナデ。	
第131図	36	土師器 甕	底部～胴部下位	底	6.4		細砂粒/良好/明赤褐	底部と胴部はヘラ削り。内面はヘラナデ。	
第131図	37	土師器 甕	底部	底	6.5		細砂粒/良好/にぶい黄橙	外面はヘラ削り。内面はヘラ磨き。	
第131図	38	土師器 甕	胴部片				細砂粒/良好/にぶい褐	外面は叩きか。	
第131図 PL.282	39	須恵器 杯蓋	1/5	口 高	12.0 3.4		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転左回り。天井部は中程まで回転ヘラ削り。	
第131図	40	須恵器 杯蓋	口縁部片	口 稜	11.8 12.0		細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形。	
第131図	41	須恵器 杯蓋	天井部片				細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰黄	ロクロ整形。天井部中ほどまでは回転ヘラ削り。	
第131図	42	須恵器 杯身	口縁部～体部片	口 稜	10.9 13.5		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形。口唇端部は内傾し、浅い凹線が巡る。	
第131図	43	須恵器 甕	口縁部片				細砂粒/還元焰/褐灰	ロクロ整形。外面に波状文が巡る。	
第131図	44	須恵器 器台	体部片				細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形。体部に2段の凸帯が巡る。	
第131図	45	須恵器 高杯	脚部片				細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形。脚部に透孔が3カ所。	

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値					胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴													備考
第131図 PL.282	46	須恵器 甕	口縁部小片						細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形。口縁部中位に波状文が巡る。内外面に降灰が付着。													
第131図	47	須恵器 甕	口縁部1/3	口	23.7				細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰	ロクロ整形。内外面に降灰が厚く付着。内面口唇部に小粘土塊の付着がみられる。													
第131図 PL.282	48	須恵器 甕	口縁部片	口	33.8				細砂粒/還元焰/灰	口縁部はロクロ整形、凸帯と凹線によって区画、区画最上位に2段の波状文が巡る。外面に降灰が厚く付着。													
第131図	49	須恵器 甕	胴部小片						細砂粒/還元焰/灰	外面は平行叩き後間隔をあけたナデ、内面は同心円状アテ具痕が残る。													
第131図	50	須恵器 甕	胴部小片						細砂粒/還元焰/灰	外面は平行叩き後間隔をあけたナデ、内面は同心円状アテ具痕が残る。													
第131図	51	須恵器 甕	胴部片						細砂粒/還元焰/黄 灰	外面には平行叩き痕、内面には同心円状アテ具痕が残る。外面に降灰が厚く付着。													
第132図 PL.282	52	須恵器 甕	胴部片	胴	32.0				細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰	外面は平行叩き後2cm前後の間隔で横方向のナデ。内面は同心円状アテ具痕が残る。													53と同一個体か。
第132図 PL.283	53	須恵器 甕	底部～胴部下位 片						細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰	外面は平行叩き後3cm前後の間隔で横方向のナデ。内面は同心円状アテ具痕が残る。													52と同一個体か。
第132図 PL.282	54	須恵器 甕	胴部片						細砂粒/還元焰/黄 灰	外面には平行叩き痕、内面には同心円状アテ具痕が残る。外面に降灰が厚く付着。													
第132図 PL.282	55	須恵器 甕	胴部片						細砂粒/還元焰/黄 灰	外面は平行叩き後間隔をあけたヘラナデ、内面には同心円状アテ具痕が残る。外面は降灰が付着。													
第132図 PL.282	56	須恵器 甕	胴部片						細砂粒/還元焰/黄 灰	外面には平行叩き痕、内面には同心円状アテ具痕が残る。外面に降灰が厚く付着。													
第132図 PL.282	57	須恵器 甕	胴部片						細砂粒/還元焰/黄 灰	外面には平行叩き痕、内面には同心円状アテ具痕が残る。外面に降灰が厚く付着。													
第132図 PL.282	58	須恵器 甕	胴部片						細砂粒/還元焰/黄 灰	外面には平行叩き痕、内面には同心円状アテ具痕が残る。外面に降灰が厚く付着。													
第132図	59	須恵器 甕	胴部小片						細砂粒/還元焰/灰	外面は厚く降灰が付着のため整形が不鮮明であるが叩き痕はみられない。内面は同心円状アテ具痕が残る。													
第132図 PL.282	60	石製品 石製模造品 (剣形)	4/5	長 幅	(2.5) 1.4	厚 重	0.5 2.5		滑石	灰白色。表裏面ともに縦方向の擦痕が主体的である。上の孔の内面には横方向の線状痕が認められる。下の孔径約2mm。													
第132図 PL.282	61	石製品 紡輪	完形	長 幅	径4.8 —	厚 重	1.3 35.7		蛇紋岩	表裏面ともよく研磨される。体部側面は面取り整形され、鋸歯状の線刻が認められる。孔径約8mm。													逆台形状 (薄型)
挿図 PL.No.	No.			法量																			
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬							
第132図 PL.283	62	板状素 材(鉄 錠)?	掘り方	6.6	2.5	1.8	0.15										鉄錠状の板状素材片。厚さ1～1.5mmである。四辺すべて生きている。						

5号竪穴建物

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値					胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴													備考
第135図 PL.283	1	土師器 杯(A)	1/2	口 高	13.2 5.9				細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上位と中位がナデ、下位から底部はヘラ削り。内面は体部に左傾の斜放射状ヘラ磨き、器面磨滅のため不明瞭。													AⅢ③b
第135図 PL.283	2	土師器 杯(A)	1/3	口 高	14.8 5.4				細砂粒・褐粒/良 好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部はヘラ削り。内面は体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き、上半は器面磨滅のため単位不明。													AⅢ②c
第135図 PL.283	3	土師器 杯(A)	1/4	口	15.8				細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上位がナデ、中位・下位から底部はヘラ削り。内面は体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。													AⅢ
第135図	4	土師器 杯(B)	口縁部～体部片	口 最	11.8 12.1				細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ。内面は体部上半に横方向のヘラ磨き。													B I
第135図	5	土師器 杯(C)	口縁部～稜	口 稜	13.6 12.0				細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)は手持ちヘラ削り。口唇端部は窪みをもつ平坦面をつくる。													C II
第135図	6	土師器 杯(C)	口縁部～稜	口 稜	13.2 11.7				細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)は手持ちヘラ削り。口唇端部は丸みをもつ作り。													C II
第135図	7	土師器 甕	口縁部片	口	16.8				細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ。													
第135図	8	土師器 甕	胴部片						細砂粒/良好/灰黄 褐	内面に輪積み痕が残る。外面はナデか、整形不鮮明。内面はヘラナデ。													
第135図	9	須恵器 甕	口縁部片	口	13.0				細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形。口縁部に刺突文と凸帯が巡る。													
第135図	10	須恵器 高杯	杯身底部部片						細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形。杯身底部に透孔を設けた時の痕跡が残る。													
第135図	11	須恵器 高杯	杯身底部部小片						細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、体部に波状文が施されている。													

6号竪穴建物

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値					胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴													備考
第136図	1	土師器 杯(A)	口縁部片	口	11.4				細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はヘラ削り。内面体部はヘラナデ。													A II
第136図	2	土師器 杯(A)	口縁部～体部片	口	13.0				細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は器面磨滅のため不明瞭。内面体部に斜放射状ヘラ磨き。													A II
第136図	3	土師器 杯(A)	口縁部片	口	13.8				細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は横ナデ。													A II
第136図	4	土師器 杯(C)	口縁部片	口	13.6				細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。口唇端部は平坦面をつくる。													C I
第136図	5	土師器 杯(C)	口縁部片	口	13.8				細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。													C I

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第136図	6	土師器 高杯	杯身部口縁部片	口	15.4		細砂粒/良好/にぶ い褐色	口縁部は横ナデ、底部はヘラナデ。	
第136図	7	土師器 埴	口縁部片	口	9.8		細砂粒/良好/褐色	口縁部は横ナデ。内面は上位に左傾の斜放射状ヘラ磨き、 中位と下位はヘラナデ。	
第136図	8	土師器 甕	底部片				細砂粒/良好/にぶ い褐色	内外面ともヘラナデ。	
第136図	9	須恵器 高杯	杯身部位部小片				細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形。	

1号竪穴状遺構

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第139図 PL.283	1	土師器 杯(A)	口縁部一部欠損	口高	13.4 5.1		細砂粒/良好/明赤 褐色	口縁部は右傾の斜放射状ヘラ磨き、体部から胴部はヘラナ デ。内面は体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き、口縁部下が器 面剥離のため磨き端部不明。	A II ③b
第139図 PL.283	2	土師器 杯(A)	完形	口高	13.2 5.0		細砂粒・粗砂粒/ 良好/褐色	口縁部は横ナデ、体部から底部はヘラ削り。内面は底部か ら体部にやや右傾の斜放射状ヘラ磨き。	A II ③b
第139図 PL.283	3	土師器 杯(A)	口唇部1/2欠損	口底	13.0 3.7	高 6.0	細砂粒/良好/明赤 褐色	口縁部は横ナデ、体部から底部はヘラ削り。内面は体部上 半に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	A II ③a
第139図	4	土師器 杯(A)	1/4	口高	13.6 4.8		細砂粒/良好/明赤 褐色	口縁部上半は横ナデ、下半はナデ、体部から底部はヘラ削 り。内面は斜放射状ヘラ磨きか、器面磨滅のため単位不明。	A I ③c
第139図	5	土師器 杯(D)	底部～体部の一 部欠損	口底	12.8 3.4		細砂粒・石英/良 好/褐色	口縁部は横ナデ、体部は上位と中位がナデ、下位はヘラ削 り、底部はヘラナデ。内面は底部から体部下半にヘラ磨き。	D II
第140図 PL.283	6	土師器 杯(D)	2/3	口	13.5		細砂粒/良好/褐色	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から、底部はヘ ラ削り。内面は体部に放射状ヘラ磨き	D II
第140図	7	土師器 杯(D)	口縁部～体部片	口	15.4		細砂粒/良好/明赤 褐色	口縁部は横ナデ、体部はナデか。内面は体部に放射状磨き が観察できるが、磨滅のため単位不明。	D III
第140図 PL.283	8	土師器 椀	口唇部一部欠損	口底	11.3 2.9	高 7.9	細砂粒/良好/にぶ い赤褐色	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部はヘラ削り。内面は体 部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	C I
第140図 PL.284	9	土師器 高杯	杯身部1/4欠損	口稜	14.2 10.8	脚高 12.7 13.1	細砂粒/良好/にぶ い赤褐色	杯身部と脚部は接合。杯身部口縁部は横ナデ、底部はヘラ ナデ、脚部から裾部はヘラ磨き。内面は杯身底部部がヘラ ナデ、脚部もヘラナデ。	A
第140図 PL.283	10	土師器 高杯	完形	口稜	16.3 11.2	脚高 12.0 13.4	細砂粒/良好/にぶ い褐色	杯身部と脚部は接合。杯身部口縁部は横ナデ、底部(稜下) ヘラナデ、脚部はヘラ磨き、裾部は横ナデ。内面は杯身部 と脚部がヘラナデ	A
第140図	11	土師器 高杯	杯身部	口稜	15.3 9.0		細砂粒・石英/良 好/明赤褐色	杯身部と脚部は接合。口縁部は横ナデ、稜部にヘラナデ とヘラ磨き、底部から脚部にヘラナデ。内面は口縁部に放 射状ヘラ磨き。	A ?
第140図 PL.284	12	土師器 高杯	脚部下半	脚	16.5		細砂粒/良好/にぶ い赤褐色	脚部はナデ、裾部は横ナデ。内面は脚部がヘラナデ。	B
第140図	13	土師器 高杯	脚部				細砂粒/良好/褐色	脚部は縦方向のヘラ磨き、裾部は横ナデか。内面は脚部が ヘラナデ。	A
第140図 PL.284	14	土師器 杯(D)	ほぼ完形	口底	10.1 5.2	高 5.5	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐色	口縁部は横ナデ、体部と底部はヘラナデ。内面は底部から 体部にヘラナデ、底部から体部下半は器面剥離のため単位 不明。	D II
第140図	15	土師器 杯(D)	口縁部一部欠損	口底	12.3 3.9	高 6.0	細砂粒・石英/良 好/にぶい褐色	口縁部は横ナデ、体部は上位と中位がナデ、下位はヘラ削 り、底部はヘラナデ。内面は器面磨滅のため整形不鮮明。	D II
第140図 PL.284	16	土師器 杯(D)	2/3	口底	16.8 3.4		細砂粒/良好/にぶ い褐色	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持 ちヘラ削り。	DX
第140図 PL.284	17	土師器 椀	口縁部一部欠損	口底	14.7 5.5	高 9.8	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐色	口縁部から頸部は横ナデ。体部から底部はヘラ削り。内面 は底部から体部にヘラナデ後体部下半にやや雑な放射状ヘ ラ磨き。	F I
第140図 PL.284	18	土師器 椀	1/2	口底	12.8 2.5	高 8.5	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐色	口縁部は横ナデ、体部は上位と中位がナデ、下位はヘラ削 り、底部は器面磨滅のため不明。内面は底部から体部がヘ ラナデ。	B II
第140図 PL.284	19	土師器 椀	一部欠損	口最	13.7 16.8	底高 7.2 13.4	細砂粒/良好/にぶ い赤褐色	口縁部は横ナデ、体部はヘラナデ、器面磨滅のため単位不 明。底部はヘラ削り。内面は底部から体部はヘラナデ、体 部上半は単位不鮮明。	H
第140図 PL.284	20	土師器 小型壺	口縁部欠損	口胴	11.8 14.8	高 15.4	細砂粒/良好/にぶ い褐色	口縁部は横ナデ、胴部上位はナデ、中位から底部はヘラ削 り。内面は口縁部に放射状ヘラ磨き、上半は単位不鮮明、 胴部から底部はヘラナデか。	B I ②
第140図 PL.284	21	土師器 埴	頸部～底部1/2	頸胴	7.8 14.7		細砂粒/良好/にぶ い赤褐色	胴部はヘラナデ、器面磨滅のため単位不明、底部はヘラ削 り。内面はヘラナデ。	
第140図 PL.284	22	土師器 小型甕	3/4	口胴	13.7 13.2	底高 3.8 12.2	細砂粒/良好/にぶ い赤褐色	口縁部は横ナデ、胴部は上位～中位がヘラナデ、単位は器 面磨滅のため不明、下位はヘラ削り、底部はヘラ削りか。 内面胴部はヘラナデ。	C II ①
第140図 PL.284	23	土師器 小型甕	2/3	口胴	12.7 13.5	底高 3.5 11.2	細砂粒/良好/にぶ い赤褐色	内面胴部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、胴部は上位 ～中位がヘラナデ、器面磨滅のため単位不明、下位はヘラ 削り、底部はナデ。内面胴部はヘラナデ。	C II ①
第141図 PL.285	24	土師器 小型甕	一部欠損	口胴	13.4 13.7	底高 4.3 11.2	細砂粒/良好/にぶ い赤褐色	内面胴部に輪積み痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴 部は上位がヘラ磨き、中位がヘラナデ、上位・中位は器面 磨滅のため単位不明、下位はヘラ削り、底部はナデ。内面 胴部はヘラナデ。	C II ①
第141図 PL.285	25	土師器 小型甕	口唇部1/4他欠 損	口胴	13.9 14.2	底高 4.1 11.1	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい赤褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位・中位がヘラナデ、 器面磨滅のため単位不明、下位と底部はヘラ削り。内面胴 部はヘラナデ、下半は器面剥離のため不明。	C II ①
第141図	26	土師器 小型甕	底部～胴部下 半片	胴底	14.6 5.6		細砂粒/良好/赤褐色	底部・胴部ともヘラナデ。内面もヘラナデ。	
第141図	27	土師器 小型壺	口縁部下半～頸 部片				細砂粒/良好/にぶ い褐色	外面は放射状ヘラ磨き、内面は右傾の斜放射状ヘラ磨き。	

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
第141図 PL.285	28	土師器 把手付甌	ほぼ完形	口底	26.2 6.5	高	27.5	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	外面口縁部に輪積み痕が残る。把手は貼付。口縁部は横ナデ、胴部はヘラナデ。内面胴部はヘラ磨き、胴部下位は器面磨滅のため単位不明。	C内面吸炭。
第141図	29	土師器 甌	1/6	口底	12.4 6.9	高	15.6	細砂粒/良好/浅黄	内面に輪積み痕が残る。口縁部から胴部上半は横ナデ、頸部にヘラ痕が残る、胴部はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ。	D底部外面に 籠目が残る。
第141図 PL.286	30	土師器 甕	完形	口胴	19.0 24.4	底高	7.6 28.9	細砂粒・粗砂粒/ 良好/淡黄橙	内外面に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、胴部は縦方向のヘラナデ、中位と下位の間に横方向のヘラ削り、底部はヘラ削りか。内面は底部から胴部にヘラナデ。	C①
第141図 PL.285	31	土師器 甕	2/3	口胴	15～ 16 19.0	底高	5.8 22.0	細砂粒/良好/灰褐	成形時の歪み大。口縁部は横ナデ、胴部はヘラナデ後ヘラ磨きか、器面磨滅のため単位不明。底部はヘラ削り。内面は底部から胴部にヘラナデ。	C①
第142図 PL.286	32	土師器 甕	胴部一部欠損	口胴	16.0 22.2	底高	6.5 25.3	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位から中位はハケ目(1cmあたり5～8本)が残るが、下位はハケ目後ヘラ削り、底部はヘラ削り。内面は底部から胴部にヘラナデ。	A③
第142図 PL.286	33	土師器 甕	胴部一部欠損	口胴	16.3 24.4	底高	7.3 30.1	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄褐	口縁部は横ナデ、頸部から胴部上位はハケ目(1cmあたり6本)、下位はヘラナデ、胴部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ、器面磨滅のため単位不明。底部周辺はハケ目。	C①
第142図 PL.286	34	土師器 甕	口縁部～胴部の 一部欠損	口胴	17.3 23.6	底高	7.2 28.4	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は横ナデ、頸部から胴部はハケ目(1cmあたり4～5本)、底部はヘラ削り。内面は底部がハケ目、胴部はヘラナデ、器面磨滅のため単位不明。	C①
第143図 PL.287	35	土師器 甕	一部欠損	口胴	19.8 24.6	底高	8.0 29.2	細砂粒・粗砂粒・ 片岩/良好/にぶ い橙	内面胴部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、胴部と底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	C①
第143図 PL.283	36	土師器 甕	胴部下位～底部 欠損	口胴	15.4 21.8			細砂粒/良好/明赤 褐	外面頸部に輪積み痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位と中位にヘラ磨き、下位はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第143図 PL.287	37	土師器 甕	胴部下位～底部 欠損	口胴	17.5 20.0			細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、胴部はヘラナデ。内面胴部はヘラナデ。胴部中位に2～3cm幅の帯状に器面が磨滅。	
第143図 PL.287	38	土師器 甕	口縁部～胴部上 半	口	15.9			細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラナデ。内面は頸部下に指頭痕が残る、胴部はヘラナデ。	
第143図 PL.287	39	土師器 甕	胴部片					細砂粒/良好/明赤 褐	内面に輪積み痕が残る。外面はナデ、残存部の上位にヘラ削りがみられる。内面はヘラナデ。	
第143図	40	須恵器 杯蓋	口縁部片	口	12.0			細砂粒/還元焰/黄 灰	ロクロ整形。	
第143図	41	須恵器 高杯	脚部端部片	脚	9.0			細砂粒/還元焰/褐 灰	ロクロ整形。脚部には透孔がみられる。	
第143図	42	須恵器 甌	口縁部片	口	10.0			細砂粒/還元焰/オ リーブ灰	ロクロ整形。口縁部中ほどに凹線と凸帯が巡る。下半に刺突文が巡る。	

2号竪穴状遺構

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
第145図	1	土師器 杯(A)	口縁部片	口	13.8			細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は横ナデ。内面体部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	A II
第145図	2	土師器 杯(D)	口縁部片	口	10.0			細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部はヘラナデ。	D II
第145図	3	土師器 杯(C)	口縁部～体部片	口 稜	13.0 12.7			細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。口唇端部は平坦面をつくる。	C II
第145図	4	土師器 杯(C)	口縁部片	口 稜	13.2 11.7			細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。口唇端部は丸みをもつつくり。	C II
第145図	5	土師器 高杯	杯身底部～脚 部上位片					細砂粒/良好/橙	杯身部と脚部は接合。器面磨滅のため整形は不鮮明。	
第145図	6	土師器 盃	口縁部片	口	9.9			細砂粒/良好/明赤 褐	外面は口唇部まで放射状ヘラ磨き。内面は口縁部上半が横ナデ、下半はヘラナデ後口唇部手前までの放射状ヘラ磨き。	
第145図	7	土師器 甕	口縁部～胴部上 位小片	口	24.0			細砂粒/良好/にぶ い黄橙	外面口縁部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、胴部はヘラナデ。内面は胴部がヘラナデ。	
第145図	8	土師器 甕	胴部片					細砂粒/良好/にぶ い黄橙	外面はハケ目後部分的にヘラナデ。内面はヘラ削り。	
第145図	9	須恵器 杯蓋	口縁部片	口 稜	12.0 11.4			細砂粒/還元焰/黄 灰	ロクロ整形。口縁部に稜をもつ。天井部の整形は降灰が付着して不鮮明。	
第145図	10	須恵器 瓶	口縁部片	口	5.2			細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形。口縁部に波状文が巡る。	
第145図	11	須恵器 高杯	杯身口縁部～ 体部片	稜	11.0			細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/黄灰	ロクロ整形。口縁部下に2条の凹線が巡る。体部には波状文が巡る。	
第145図	12	須恵器 甕	胴部小片					細砂粒/還元焰/灰	外面は平行叩き後間隔をあけたナデ、内面は同心円状アテ具痕がかすかに残る。	
第145図 PL.287	13	石製品 管玉	不明	長幅	(0.7) 0.6	厚重	0.6 0.38	葉ろう石	明緑灰色。全体的に丁寧に研磨整形されている。上面の孔径約2mm	
第145図 PL.287	14	石製品 石製模造品 (勾玉形)	完形	長幅	2.3 1.6	厚重	0.4 2.2	滑石	灰色。表面は横方向の線条痕が主体的であり、裏面は斜め方向の擦痕が目立つ。孔径約1.5mm。	
第145図 PL.287	15	石製品 白玉	完形	長幅	0.7 0.7	厚重	0.2 0.12	滑石	灰白色。表面は平坦でなく凹凸が認められる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面には斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第145図 PL.287	16	石製品 白玉	完形	長幅	0.7 0.6	厚重	0.3 0.18	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが表面にはわずかに擦痕が認められる。側面は中央に明瞭な張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第145図 PL.287	17	石製品 白玉	完形	長幅	0.7 0.7	厚重	0.2 0.08	滑石	灰白色。表裏面は平坦でなく凹凸が認められる。側面は斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第145図 PL.287	18	石製品 白玉	完形	長幅	0.7 0.7	厚重	0.3 0.23	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり表面にはわずかに擦痕が認められる。側面は中央に明瞭な張りがあり縦方向と斜め方向の擦痕が認められ、斜め方向の擦痕の方が新しいと判断できる。孔径約2mm。

1号焼土

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
第146図 PL.287	1	石製品 紡輪	完形	長幅	径4.9 —	厚重	1.2 30.9	蛇紋岩	表裏面ともよく研磨される。体部側面は面取り整形され、直弧文状の線刻が認められる。孔径約7mm。	逆台形状 (薄型)

2号焼土

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
第146図	1	土師器 杯(C)	口縁部片	口	13.0			細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)は手持ちへら削り。口唇端部は丸みをもつつくり。	C II
第146図	2	土師器 甕	口縁部小片					細砂粒/良好/淡黄	外面は横ナデ、内面は器面剥落のため不明。	
第146図	3	土師器 甕	底部片	底	9.0			細砂粒/良好/にぶ い黄橙	底部はへらナデ、胴部はへら磨きか。内面はへらナデ。	

3号焼土

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
第146図	1	土師器 杯(A)	口縁部～体部上 位片	口	12.8			細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はへら削り。内面体部に左に傾く斜放射状へら磨き。口唇端部は平坦面をつくる。	A II
第146図	2	土師器 杯(A)	口縁部片	口	12.6			細砂粒/良好/明赤 褐	内外面とも器面磨滅のため単位不明。	A II
第146図	3	土師器 杯(C)	口縁部片	口 稜	13.0 13.0			細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。	C II
第146図	4	土師器 甕	口縁部片	口	16.8			細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は横ナデ。	
第146図	5	土師器 甕	口縁部片	口	17.6			細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ。	
第146図	6	土師器 甕	底部～胴部下位 小片	底	8.2			細砂粒/良好/にぶ い黄橙	底部はへらナデ、胴部はへら磨き。内面はへらナデ。	

68号竪穴建物

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
第157図 PL.288	1	土師器 杯(B)	口縁部一部欠損	口 最	11.6 12.4	高	4.9	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上位がナデ、中位から底部は手持ちへら削り。内面は体部から口縁部に左傾の斜放射状へら磨き。	B II ③b
第157図 PL.288	2	土師器 壺		口 胴	18.1 27.0	底 高	7.0 29.1	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はハケ目(1cmあたり4本)後下半にへら削り、底部もへら削り。内面は底部から胴部がへらナデ。	B ①

70号竪穴建物

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
第159図 PL.288	1	土師器 杯(A)	1/3	口 高	12.6 4.8			細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部はへら削り。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	A I ④b
第159図 PL.288	2	土師器 杯(A)	3/4	口 高	13.2 4.9			細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部は上位がナデ、中位から底部は手持ちへら削り。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	A II ③c
第159図 PL.288	3	土師器 杯(B)	2/3、器面剥離 力所多い	口 最	10.6 11.5	高	5.8	細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り。内面は体部から口縁部に右傾の斜放射状へら磨き。	B II ③a
第159図 PL.288	4	土師器 杯(B)	2/3	口 最	12.2 12.8	高	5.8	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部から口縁部に左傾の斜放射状へら磨き。	B I ②b
第159図	5	土師器 杯(C)	口縁部～体部片	口 稜	12.7 12.0			細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちへら削り。口唇端部は丸みをもつつくり。	C II
第159図	6	土師器 壺	口縁部片	口	15.8			細砂粒/良好/浅黄 橙	口縁部はへら磨きか、器面磨滅のため単位不明。	
第159図 PL.288	7	石製品 管玉	完形	長幅	2.4 0.6	厚重	0.6 1.59	滑石	暗オリーブ灰色。全体的に研磨整形されているが光沢が乏しい。上下面ともに孔径約3mm。	

4号集石

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
第167図 PL.289	1	剥片石器 石鏃	完形	長幅	18.1 10.8	厚重	2.3 579.0	細粒輝石安山岩	表裏面に大きく節面を残し露頭採取の可能性ある。表裏面の右側先端部付近に摩滅が認められ使用痕の可能性ある。両側片の中央付近を中心につぶれが認められ着柄痕の可能性ある。	
第167図 PL.289	2	礫石器 石皿	不明	長幅	(12.1) (9.8)	厚重	(7.3) 781.7	粗粒輝石安山岩	正面に比較的深い凹みが認められ中央部付近が磨面となっている。側面部も整った形態であり敲打痕がわずかに認められることから全体的に整形されていると考えられる。	

39号竪穴建物

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口	高				
第167図	1	土師器 杯(A)	口縁部片	口	12.7		細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ。内面は体部に右傾の斜放射 状へら磨き。	A I
第167図	2	土師器 杯(B)	2/3	口 最	12.1 13.3	高 5.9	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちへら削り。内 面は体部から口縁部に右傾の斜放射状へら磨き。	B III②b
第167図	3	土師器 杯(C)	口縁部～体部小 片	口 稜	10.8 11.0		細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)は手持ちへら削り。口唇端部 は丸みをもつつくり。	C I b
第167図	4	土師器 高杯	3/4	口 稜	18.2 10.2	脚 高 13.0 13.5	細砂粒/良好/明赤 褐	杯身部と脚部は接合。杯身部は口縁部が横ナデ、底部(稜下) から脚部はナデ、裾部は横ナデ。内面は口縁部に放射状へ ら磨きか、器面磨滅のため単位不明。脚部はへらナデ。	A II
第167図	5	土師器 高杯	脚部上位片				細砂粒・粗砂粒・ 褐粒/良好/橙	脚部と杯身部は接合。脚部は外面が横ナデ、内面はナデ。	脚部内面吸 炭。
第167図	6	土師器 碗	ほぼ完形	口 最	12.0 13.3	底 高 6.1 7.6	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ、体部はへら磨きか、単位不鮮明、底部は へら削り。内面は体部にへら磨き、器面磨滅のため単位不 明。	A
第167図	7	土師器 碗	完形	口 底	12.8 5.0	高 9.2	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明黄褐	口縁部から頸部は横ナデ、体部上位はナデ、中位から下位 はへらナデ、底部はへら削り。内面は底部から体部にへら ナデ、単位等不鮮明。	C
第168図	8	土師器 碗	完形	口 底	11.9 3.7	高 8.0	細砂粒/良好/明黄 褐	口縁部から頸部は横ナデ、体部はへらナデ、底部とその周 囲はへら削り。内面はへらナデ後へら磨きか、単位等不鮮 明。	D
第168図	9	土師器 碗	ほぼ完形	口 高	16.1 9.2		細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部はへら削り、体部のへら削り はナデ消されている。内面は底部から体部にへらナデ、 器面磨滅のため単位不明。	C内面の頸部 にスス付着。
第168図	10	土師器 碗	口縁部～体部片	口 最	14.0 14.4		細砂粒/良好/浅黄 橙	口縁部は横ナデ、体部はへら削り。内面は体部に斜放射状 へら磨き。	
第168図	11	土師器 碗	口縁部下半～底 部片				細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部はへら削り後へら磨き、器 面磨滅のため単位など不明。内面は底部から体部がへらナ デ。	
第168図	12	土師器 碗か	口縁部片	口	22.0		細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口唇端部は横ナデ、口縁部はへら削り。内面はへらナデ。	
第168図	13	土師器 甕	口縁部～胴部 3/4	口 胴	16.5 22.0		細砂粒/良好/橙	口唇部は横ナデ、口縁部から胴部は縦方向のハケ目(1cmあ たり2～3本)。内面は口縁部が横方向のハケ目、胴部はへ らナデか。	D
第168図	14	土師器 小型甕	口縁部～胴部上 位小片	口	11.0		細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は横ナデ、胴部はへらナデか。内面は胴部がへらナ デ。	
第168図	15	土師器 小型甕	口縁部片	口	13.6		細砂粒/良好/淡赤	口縁部は内外面とも横ナデ。	
第168図	16	土師器 甕	口縁部～頸部片	口	17.0		細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部から頸部は内外面とも横ナデ、内面胴部はへらナデ。	
第168図	17	土師器 甕	底部～胴部下位 小片	底	6.0		細砂粒/良好/にぶ い赤褐	底部はへら削り、胴部はへらナデ。内面は底部から胴部が へらナデ。	
第168図	18	土師器 ?	口縁部小片				細砂粒/良好/にぶ い赤褐	外面はへら磨きか、単位不鮮明、内面はへらナデ。	
第168図	19	須恵器 甕	胴部片				細砂粒/還元焰/灰	外面は平行叩きか、内面はナデ。	

72号竪穴建物

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口	高				
第173図	1	土師器 杯(A)	1/3	口 高	13.9 4.7		細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部から体部上半は横ナデ、下半から底部はへら削り、 器面磨滅のため単位不明。内面は体部に左傾の斜放射状へ ら磨き。	AIV③C
第173図	2	土師器 杯(A)	1/2	口 高	14.6 6.0		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は器面磨滅のため整形不明。 内面も同様。	A II②b
第173図	3	土師器 杯(A)	一部欠損	口 高	14.8 5.5		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部はへら削り。内面は体部に 右傾の斜放射状へら磨き。	A II②c
第173図	4	土師器 杯(A)	2/3	口 高	15.6 8.6		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部は上位がナデ、中位から底部は手持 ちへら削り。内面は体部に斜放射状へら磨きか、器面剥離 のため詳細不明。	A II①a
第173図	5	土師器 杯(A)	ほぼ完形	口 高	13.8 6.0		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ後斜放射状へら磨き、体部から底部はへら 削り。内面は体部に大きく右傾する斜放射状へら磨き。	A I③b
第173図	6	土師器 杯(A)	1/3	口 高	13.9 6.2		細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい褐	口縁部は横ナデ、体部上半はナデ後斜放射状へら磨き、 下半から底部はへら削り。内面は体部に右傾の斜放射状へ ら磨き。	A II③b
第173図	7	土師器 杯(A)	3/4	口 高	14.3 6.0		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ後斜放射状へら磨き、体部から底部はへら 削り。内面は体部に右傾する斜放射状へら磨き、底部もへ ら磨き。	A III②b
第173図	8	土師器 杯(A)	3/4	口 高	14.6 5.1		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部上位にナデ、上位下半から底部はへ ら削り。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	A III②c
第173図	9	土師器 杯(A)	5/6	口 高	14.6 6.1		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ後斜放射状へら磨き、体部から底部はへら 削り。内面は体部に右傾する斜放射状へら磨き。	A III②b
第173図	10	土師器 杯(A)	口縁部一部欠損	口 高	14.8 6.3		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ後斜放射状へら磨き、体部から底部はへら 削りか、器面磨滅のため不鮮明。内面は右傾する斜放射状 へら磨き、体部下半は器面磨滅のため不明。	A III②b
第173図	11	土師器 杯(A)	口縁部～体部上 半小片	口	13.2		細砂粒/良好/明赤 褐	口唇部から体部上位は斜めのへら磨き、中位はへら削り。 内面は口縁部が横ナデ、体部が右傾の斜放射状へら磨き。	A III
第173図	12	土師器 杯(A)	1/4	口	13.7		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部上位は斜放射状へら磨き、中位から 底部はへら削り。内面は体部に右傾の斜放射状へら磨き。	A II

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
第173図 PL.289	13	土師器 杯(D)	完形	口 最	14.2 15.1	高	5.6	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に右傾の斜放射状ヘラ磨き、口縁部は器面磨滅のため単位不明。	DⅧ
第173図	14	土師器 杯(B)	1/4	口 底	13.0 6.8	高	6.6	細砂粒/良好/赤褐	外面に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、体部はナデ、一部にハケ目が残る。底部はヘラ削り。内面は器面磨滅のため不鮮明。	B I ①a
第173図	15	土師器 杯(B)	口縁部～体部上 半小片	口	12.5			細砂粒/良好/にぶ い赤褐	外面口縁部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、体部は縦 方向のヘラ磨き。	B I
第173図 PL.289	16	土師器 高杯	杯身部1/2	口 稜	20.0 13.6			細砂粒/良好/橙	杯身部は口縁部に左傾の斜放射状ヘラ磨き、稜は横ナデ、 底部はナデ。内面は底部が放射状、口縁部は左傾の斜放射 状ヘラ磨き。	A
第173図	17	土師器 高杯	杯身部口縁部片	口 稜	16.2 9.8			細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は横ナデ、底部(稜下)はヘラナデ。内面はヘラナデ。	
第173図	18	土師器 高杯	杯身部口縁部片	口	17.2			細砂粒/良好/暗赤 褐	内外面とも口縁部は横ナデ。	
第173図	19	土師器 高杯	杯身部底部片	稜	12.5			細砂粒/良好/暗赤 褐	口縁部は横ナデ、底部はナデ。	
第173図	20	土師器 高杯	杯身部底部～脚 部片					細砂粒/良好/明赤 褐	杯身部と脚部は接合。杯身部底部はヘラナデ、脚部はヘラ 削り。内面は脚部がヘラナデ。	
第173図 PL.289	21	土師器 椀	完形	口 最	11.2 13.6	底 高	3.0 8.1	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	内外面に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、体部は上位に ハケ目残り、中位はナデ、下位から底部は手持ちヘラ削り。 内面はナデ。	E
第173図	22	土師器 椀	口縁部～体部片	口	15.9			細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は横ナデ、体部はハケ目(1cmあたり8本)後部分的に ナデ。内面は器面磨滅のため整形不鮮明。	E
第173図	23	土師器 椀	口縁部～体部上 半片	口	14.8			細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は横ナデ、体部はハケ目(1cmあたり8～9本)後部分 的にナデ。内面は口縁部が横ナデ、体部はヘラナデ。	E
第173図 PL.289	24	土師器 椀	一部欠損	口 最	11.5 11.8	底 高	4.0 8.2	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持 ちヘラ削り。内面は底部から体部に放射状ヘラ磨き。	C
第173図	25	土師器 椀	口縁部～体部片	口	11.8			細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部上位にはハケ目(1cmあたり6～7本) が残る、中位と下位はヘラ削り。内面は体部がヘラナデ。	B
第173図 PL.289	26	土師器 椀	1/3	口	12.8			細砂粒/良好/明赤 褐	内面体部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、体部は上半 がハケ目(1cmあたり6～9本)、下半から底部はヘラ削り。 内面は底部から体部にヘラナデ。	F
第173図 PL.290	27	土師器 椀	口縁部～体部上 半片	口	13.0			細砂粒/良好/にぶ い赤褐	内外面に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、体部はナデ、 一部にハケ目(1cmあたり7本)が残る。内面は体部がヘラナ デ。	C
第173図	28	土師器 椀	口縁部～体部上 半片	口	13.8			細砂粒/良好/赤褐	外面胴部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、体部はナ デ、一部にハケ目(1cmあたり8本)が残る。内面は口縁部下 半にハケ目、体部はヘラナデ。	B
第173図	29	土師器 椀	口縁部～体部片	口	13.3			細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部から頸部は横ナデ、体部はナデ。	B
第174図 PL.290	30	土師器 椀	口縁部～底部片	口 底	15.0 11.0			細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部はヘラ削り。内面は底 部から体部がヘラナデ。	B
第174図 PL.290	31	土師器 小型甕	1/3	口 底	11.2 7.2	高	9.5	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい赤褐	内面体部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、体部上半は ナデ、下半はヘラナデ、底部はヘラ削り。内面は底部から 体部にヘラナデ。	F
第174図	32	土師器 大型椀	口縁部～体部上 半片	口	24.0			細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は横ナデ、体部は外面が縦方向、内面が横方向のハ ケ目(1cmあたり8本)。	CIV①
第174図 PL.290	33	土師器 埴	胴部～底部	頸 胴	8.0 17.1			細砂粒/良好/橙	胴部上位は放射状のヘラ磨き、中位から底部はヘラ削り。 内面はヘラナデか。	
第174図 PL.290	34	土師器 小型壺	口縁部片	口	9.2			細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は内外面とも横ナデ。	
第174図 PL.290	35	土師器 小型壺か	口縁部～胴部片	口 胴	8.8 9.0			細砂粒/良好/明赤 褐	内外面に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、胴部は上半が ナデ、下半はヘラ削り。内面は胴部がナデ。	
第174図	36	土師器 小型壺	底部～胴部下 半片	底	3.5			細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい赤褐	底部はヘラ削り、胴部は残存部の左側がハケ目(1cmあたり 7～8本)、右側がヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナ デ。	底部は四角形 を呈す。
第174図	37	土師器 小型壺か	底部～胴部下 位片	底	5.0前 後			細砂粒・粗砂粒/ 良好/褐	底部はヘラ削り、胴部はヘラ削り後ナデ。内面は底部から 胴部にヘラナデ。	
第174図	38	土師器 小型壺か	底部					細砂粒/良好/にぶ い赤褐	底部から胴部下位はヘラ削り。内面はヘラナデ。	
第174図	39	土師器 小型壺	胴部上半片	胴	17.1			細砂粒/良好/明赤 褐	胴部上位はナデ、中位は横方向のヘラ磨き。内面は頸部周 囲が指頭痕の残るナデ、その下方はヘラナデ。	
第174図 PL.290	40	土師器 小型甕	口縁部～胴部上 半を1/3欠損	口 胴	12.8 15.0	底 高	5.5 13.1	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部と底部はヘラ削り、胴部上 位にハケ目が残る。内面は底部から胴部がヘラナデ	C I 内面胴部 と底部に白色 物付着。
第174図 PL.290	41	土師器 小型甕	胴部1/3欠損	口 胴	14.1 14.8	底 高	3.8 14.6	細砂粒/良好/橙	口縁部から頸部は横ナデ一部にハケ目が残る。胴部上位は ハケ目(1cmあたり7～8本)、中位と下位はヘラナデ、底部 はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	B I
第174図	42	土師器 小型甕	口縁部～胴部片	口	10.2			細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、胴部は上位がナデ、中位と下位はヘラナ デ。内面は胴部がナデ。	
第174図	43	土師器 小型甕	口縁部小片	口	15.0			細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は横ナデ。	
第174図	44	土師器 小型甕	口縁部小片	口	11.0			細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。	
第174図	45	土師器 小型甕	口縁部～胴部上 位片	口 頸	15.7 13.0	胴	17.6	細砂粒/良好/浅黄 橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘ ラナデ。	C

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口	底	高			
第174図 PL.290	46	土師器 甕	3/4	口 15.1 21.8	底	7.2 (23.5)	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	内面胴部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、胴部はヘラ 削り。内面胴部は上位がナデ、中位と下位はヘラナデ。	
第174図 PL.290	47	土師器 壺	口縁部～胴部上 位片	口 19.4			細砂粒/良好/橙	内面胴部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、胴部はヘラ ナデ。内面胴部はヘラナデ。	
第175図 PL.290	48	土師器 壺	胴部片	胴 21.0			細砂粒/良好/にぶ い黄橙	外面は器面磨滅のため整形不明。内面はヘラナデ。	
第175図 PL.291	49	土師器 甕	3/4	口 13.8 22.7	底	7.5× 7.0 31.4	細砂粒/良好/にぶ い橙	内面胴部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、胴部は縦方 向のヘラ磨き、底部はヘラ削り。内面は胴部上位がナデ、 中位から底部はヘラナデ。	C
第175図 PL.291	50	土師器 甕	3/4	口 18.1 23.5	底	7.2 28.4	細砂粒/良好/にぶ い橙	内面胴部に輪積み痕が残る。口縁部横ナデ。胴部はヘラ削 り後上半にヘラ磨き。内面胴部はヘラナデ。	C①
第175図 PL.291	51	土師器 甕	口縁部～胴部下 位	口 15.3 13.4	頸	22.2	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	内面胴部の中ほどに輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、胴 部はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ、器面磨滅のため単 位不鮮明。	D
第175図 PL.291	52	土師器 小型甕	口縁部～胴部片	口 13.5 12.4	頸	19.6	細砂粒/良好/にぶ い橙	内面胴部に輪積み痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴 部上位はナデ、中位にハケ目が残る。内面胴部はヘラナデ。	
第176図 PL.291	53	土師器 甕	完形	口 16.6 24.3	底	8.7 28.7	細砂粒・石英/良 好/にぶい赤褐	内面胴部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、胴部はヘラ 削り、底部は器面磨滅のため不鮮明。内面は底部から胴部 にヘラナデ。	C①
第176図 PL.292	54	土師器 甕	口縁部～胴部下 位	口 15.2 13.5	頸	21.3	細砂粒・石英/良 好/明赤褐	内面胴部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、胴部は上位 から中位がヘラナデ、上位は器面磨滅のため単位不明、下 位とはヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ、一部指ナデが残 る。	C
第176図 PL.292	55	土師器 甕	口縁部～胴部下 位片	口 16.8 15.7	頸	25.4	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	内面胴部に輪積み痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴 部はハケ目(1cmあたり8本)。内面は胴部がハケ目、器面磨 滅のため詳細不明。	D
第176図	56	土師器 甕	口縁部～胴部上 位片	口 17.8			細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい橙	口縁部は横ナデ、胴部はナデ。内面胴部はヘラナデ。	D
第176図 PL.292	57	土師器 甕	口縁部～胴部上 半片	口 14.7 12.7	頸	19.5	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラナデ。内面胴部はヘ ラナデ。	D
第176図 PL.292	58	土師器 甕	口縁部～胴部上 位	口 18.8 28.6			細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、胴部は器面磨滅のため整形不明。内面は 胴部がヘラナデ、胴部中位は器面磨滅のため単位不明。	D
第177図 PL.292	59	土師器 甕	口縁部～胴部上 位片	口 17.8			細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘ ラナデ。	
第177図	60	土師器 甕	口縁部～胴部上 位片	口 17.7			細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ、下半にハケ目が残る、胴部はヘラナデ。 内面胴部はヘラナデ。	
第177図	61	土師器 甕	口縁部～胴部上 位片	口 23.0			細砂粒/良好/橙	口縁部から頸部は横ナデ。内面は胴部がヘラナデ。	
第177図	62	土師器 甕	口縁部～胴部上 位片	口 24.0			細砂粒/良好/橙	頸部に胴部と口縁部の接合痕が残る。口縁部は横ナデ、頸 部から胴部はヘラナデ。	
第177図	63	土師器 甕	底部～胴部下 半片	底 23.7 6.0			細砂粒/良好/橙	底部はヘラ削り、胴部下位はヘラ削り、中位はハケ目(1cm あたり6～7本)、内面は胴部下半がヘラナデ、中位はハケ 目。	
第177図 PL.292	64	土師器 甕	底部～胴部下 位片	底 8.4			細砂粒/良好/橙	底部はヘラ削り、胴部はハケ目(1cmあたり8本)後部分的に ヘラナデ。内面はヘラナデ。	
第177図	65	土師器 甕	底部～胴部下 位片	底 6.1			細砂粒/良好/にぶ い赤褐	底部と胴部の底部周囲はヘラ削り、胴部下位はナデ。内面 はヘラナデ。	
第177図	66	土師器 甕	底部～胴部下 位片	底 9.0			細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	底部と胴部はヘラ削り。内面はヘラナデ。	
第177図	67	土師器 甕	胴部片	頸 15.3 21.6			細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい橙	外面はヘラナデ、内面は上半がハケ目(1cmあたり4～5本)、 下半はヘラナデ。	
第177図	68	土師器 甕	頸部～胴部上 位片	頸 21.0			細砂粒/良好/橙	頸部に胴部と口縁部の接合痕、内面胴部に輪積み痕が残る。 外面は器面磨滅のため整形不鮮明、内面は胴部がヘラナデ。	
第177図	69	手握ね土器 椀形	底部～体部下 半	底 4.8			細砂粒/良好/にぶ い黄橙	底部はヘラナデ、体部はナデ。内面はナデ。	
第177図 PL.292	70	須恵器 甕か	胴部片				細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形。胴部に細い凹線が巡る。外面には降灰が付着。	
第177図 PL.292	71	石製品 白玉	完形	長 幅 0.5 0.5	厚 重 0.2 0.08		滑石	灰色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側 面は中央にわずかな張りがあり斜め方向の擦痕が認められ る。孔径約2mm。	

53号竪穴建物

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口	底	高			
第180図	1	土師器 杯(A)	口縁部～体部小 片	口 12.0			細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ後斜めのヘラ磨き、体部はヘラ削り。内面 は体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	AⅡ
第180図	2	土師器 杯(A)	口縁部～体部小 片	口 12.0			細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部はヘラナデ。内面は体部に右傾の斜 放射状ヘラ磨き。	AⅣ

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第180図	3	土師器 杯(A)	口縁部～体部小片	口	12.0		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はヘラナデ。内面は体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	A
第180図 PL.293	4	土師器 杯(A)	1/3	口	13.8		細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は右傾の斜放射状ヘラ磨き。	AⅢ
第180図	5	土師器 杯(A)	口縁部～体部片	口	13.9		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上位がナデ、中位はヘラ削り後ヘラ磨き。内面は体部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	AⅡ
第180図	6	土師器 杯(C)	口縁部～体部小片	口 稜	11.4 11.0		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。口唇端部は丸みをもつくり。	CⅢ
第180図	7	土師器 高杯	杯身部片	口 稜	20.7 13.0		細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、内面は口唇部に斜放射状、口縁部に放射状ヘラ磨き。	A
第180図	8	土師器 高杯	杯身部片	口	21.8		細砂粒/良好/橙	杯身部は口縁部が横ナデ、底部は斜放射状ヘラ磨き。内面は底部から口縁部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第180図	9	土師器 高杯	杯身部底部片	稜	13.0		細砂粒/良好/橙	杯身部底部はヘラナデ、稜下は横ナデ。	A
第180図 PL.293	10	土師器 高杯	杯身部片				細砂粒/良好/にぶい赤褐	杯身部は差し込み状の突起で脚部と接合。脚部はナデ、裾部との境にヘラナデ、裾部は横ナデ。内面は脚部がヘラナデ。	
第180図 PL.293	11	土師器 椀	口縁部～胴部片	口 胴	11.8 14.6		細砂粒/良好/燻/明赤褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部上半はナデ、下半はヘラ削り、内面はヘラナデ。	D
第180図 PL.293	12	土師器 甕	1/3	口 胴	14.3 19.0	底高 6.6 21.7	細砂粒/良好/明赤褐	内面胴部に輪積み痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ磨き、下半は器面磨滅のため単位不明、底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	A②
第180図	13	土師器 甕	口縁部～胴部上位片	口	16.0		細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、胴部はナデ。内面は胴部がヘラナデ。	
第180図 PL.293	14	土師器 甕	口縁部～胴部上半	口	17.1		細砂粒/良好/明赤褐	内面胴部に輪積み痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ磨き、内面胴部はヘラナデ。	
第180図 PL.293	15	土師器 甕	口縁部～胴部上位片	口	15.5		細砂粒・粗砂粒/良好/明赤褐	内面胴部に輪積み痕が残る。口縁部上半は横ナデ、下半から頸部はヘラナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第180図	16	土師器 甕	口縁部～胴部上位片	口	22.0		細砂粒・石英/良好/橙	内面頸部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、胴部は器面磨滅のため不明。	
第180図	17	土師器 甕	頸部～胴部上位片				細砂粒/良好/橙	頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り、器面磨滅のため単位不明。内面は胴部がヘラナデ、器面磨滅のため単位不明。	
第180図 PL.293	18	須恵器 甕	口縁部上半片	口	9.0		細砂粒/還元焰/黄灰	ロクロ整形。口縁部中位に波状文が巡る。	

20号集石

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第187図 PL.296	1	土師器 小型甕	3/4	口 胴	12.8 15.5	底高 6.5 12.6	細砂粒/良好/にぶい赤褐	口縁部は横ナデ、胴部は上位にハケ目(1cmあたり5本)、中位と下位はヘラ削り、底部もヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	CⅡ①
第187図 PL.296	2	土師器 甕	ほぼ完形	口 底	15.2 4.9	高孔 13.9 2.1	細砂粒・粗砂粒/良好/橙	口唇部は横ナデ、体部は上半がハケ目(1cmあたり10本)、一部ナデ消されている、下半はヘラ磨き、底部はヘラナデ。内面は口縁部が横ナデ、体部上半はハケ目(1cmあたり5本)、下半はナデ。	A
第187図 PL.296	3	土師器 甕	口縁部欠損	底 孔	5.1 1.8		細砂粒/良好/にぶい赤褐	内面体部に輪積み痕が残る。体部と底部はヘラナデ。内面は体部がヘラナデ、孔の周囲はナデ。	A

40号竪穴建物

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第188図 PL.293	1	土師器 杯(A)	1/3	口 高	12.3 5.4		細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	AⅣ④b
第188図 PL.293	2	土師器 杯(A)	2/3	口 高	13.1 4.7		細砂粒/良好/橙	外面体部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、体部は上位がナデ、中位から底部はヘラ削り。内面は体部に右傾のヘラ磨き。	AⅡ③c
第188図 PL.293	3	土師器 杯(A)	ほぼ完形	口 高	12.4 5.3		細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上位がナデ、中位から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に斜放射状ヘラ磨き、器面が荒れており詳細不明。	AⅠ④b
第188図	4	土師器 杯(A)	口縁部～体部片	口	14.8		細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ。内面は体部に斜放射状ヘラ磨き。	AⅡ
第188図 PL.293	5	土師器 杯(B)	1/2	口 最	12.9 13.6	高 4.9	細砂粒・粗砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り、底部は器面磨滅のため単位不明。内面は体部から口縁部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	BⅠ②c
第188図 PL.293	6	土師器 杯(B)	口縁部一部欠損	口 最	13.4 13.5	底高 11.5 前後 4.9	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。内面は全面にヘラ磨き。	BⅠ①c
第188図	7	土師器 杯(B)	1/4	口 最	14.0 14.4	高 5.0	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は口唇部が横ナデ、口縁部から体部上半に横方向のヘラ磨き。	BⅠ①c外面
第188図	8	土師器 杯(B)	口縁部～体部片	口 最	11.7 12.4		細砂粒/良好/にぶい赤褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ。内面は雑な右上がりのヘラ磨き。	BⅠ
第188図 PL.293	9	土師器 杯(C)	1/5	口 稜	13.2 11.6		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)上位にナデ、中位から底部は手持ちヘラ削り。口唇端部は丸みをもつくり。	CⅠb
第188図 PL.293	10	土師器 高杯	脚部片	脚	12.4		細砂粒/良好/明赤褐	杯身部と脚部は接合。脚部は縦方向、裾部は放射状ヘラ磨き。内面は脚部がヘラナデ、裾部は横ナデ。	A
第188図 PL.293	11	土師器 高杯	脚部	脚	12.1		細砂粒/良好/明赤褐	脚部は縦方向、裾部は斜放射状ヘラ磨き。内面は脚部がヘラナデ、裾部が横ナデ。	

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
第188図 PL.294	12	土師器 高杯	脚部	脚	13.0			細砂粒/良好/明赤褐	脚部はヘラ磨きか、器面磨滅のため不鮮明、裾部は横ナデ。内面は脚部がヘラナデ、裾部は横ナデ。	
第188図 PL.294	13	土師器 高杯	脚部	脚	10.4			細砂粒/良好/橙	杯身部とは接合。外面は横ナデ、内面は脚部がヘラナデ、裾部は横ナデ。	
第188図	14	土師器 高杯	脚部上半～杯身 底部片					細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい赤褐	杯身部と脚部は接合。脚部は外面がナデ、内面はヘラナデ。	
第188図	15	土師器 高杯	脚部上位片					細砂粒/良好/にぶ い赤褐	外面はナデ、内面はヘラナデ。	
第188図	16	土師器 高杯	脚部上位片					細砂粒/良好/橙	杯身部は脚部に粘土紐を巻き上げて成形か。脚部は外面が縦方向のヘラ磨き。	
第188図 PL.294	17	土師器 椀	3/4	口底	12.4 3.1	高	7.7	細砂粒/良好/橙	口縁部から頸部は横ナデ、体部上半はヘラナデ、下半から底部はヘラ削り。内面は体部に放射状ヘラ磨き。	C I
第188図 PL.294	18	土師器 椀	一部欠損	口高	13.9 7.4			細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部から頸部は横ナデ、体部から底部はヘラナデ、器面磨滅のため単位不明。内面は底部から体部にやや右傾の斜放射状ヘラ磨き。	C II
第188図 PL.294	19	土師器 椀	1/2	口最	13.5 14.3	高	8.0	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半はヘラナデ、底部はヘラ削り。内面は底部から体部に放射状ヘラ磨き。	C II
第188図 PL.294	20	土師器 椀	一部欠損	口高	16.2 9.2			細砂粒・粗砂粒・ 石英/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部上半に大きく右傾する斜放射状ヘラ磨き。	C
第188図	21	土師器 椀	口縁部～体部片	口	15.0			細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ、体部はヘラ削り。内面は体部がヘラナデ。	
第188図	22	土師器 椀	口縁部～体部片	口	14.0			細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ。内面は体部がヘラナデ。	
第188図	23	土師器 埴	口縁部片	口	10.8			細砂粒/良好/橙	口縁部は内外面ともやや左傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第188図	24	土師器 埴	口縁部片	口	11.6			細砂粒/良好/にぶ い褐	口縁部は放射状ヘラ磨き、頸部は横ナデ。内面はやや左傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第188図 PL.294	25	土師器 甌	底部～体部下位	底孔	4.8 3.6			細砂粒/良好/にぶ い赤褐	底部・胴部ともヘラナデ。内面もヘラナデ。内面はナデ。	A
第189図 PL.294	26	土師器 甕	口縁部～胴部上 半片	口胴	16.6 25.2			細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	内面胴部に輪積み痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部はハケ目(1cmあたり6本)。内面は胴部がヘラナデ。	B
第189図 PL.294	27	土師器 小型甕	胴部一部欠損	口胴	12.8 15.4	底高	6.8 14.1	細砂粒/良好/橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は器面磨滅のため整形不明、底部はヘラ削り。内面は底部から胴部にヘラナデ。	C II ②
第189図 PL.294	28	土師器 小型甕	2/3	口胴	12.0 15.5	底高	5.3 16.6	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ、胴部は上半が器面磨滅のため整形不明、下半と底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	A I ②
第189図 PL.295	29	土師器 小型甕	口縁部～胴部下 位	口胴	14.2 17.4			細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部から胴部上位は縦方向、胴部中位は横方向のヘラ磨き、胴部下位もヘラ磨きであるが器面磨滅のため単位不明。内面は口縁部が縦方向、胴部は斜めのヘラ磨き。	C
第189図 PL.295	30	土師器 壺	3/4	口胴	22.5 32.2	底高	7.0 37.1	細砂粒/良好/橙	頸部と内面胴部下位に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、中程に凸帯が巡る、胴部は上位と中位がヘラナデ、上位は単位不鮮明、下位と底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	A ②
第189図	31	土師器 甕	口縁部～胴部上 位片	口	15.0			細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はハケ目。内面は胴部がヘラナデ。	
第189図 PL.295	32	土師器 甕	口縁部～胴部上 位片	口	17.8			細砂粒・粗砂粒/ 良好/浅黄橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラナデか。内面は頸部から胴部がヘラナデ。	
第190図 PL.295	33	土師器 甕	1/4	口胴	15.4 25.3	底高	7.4 34.5	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位上半がヘラナデ、上位下半から中位はヘラ磨き、下位と底部はヘラ削り。内面は底部から頸部がヘラナデ。	C
第190図	34	土師器 甕	口縁部片	口	17.0			細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は内外面とも横ナデ。	
第190図 PL.295	35	土師器 甕	口縁部～胴部上 位片	口	16.1			細砂粒/良好/赤褐	内面頸部に口縁部と胴部の接合痕が残る。口縁部は横ナデ、頸部は部分的にハケ目が残る。	
第190図	36	土師器 甕	口縁部～胴部上 位片	口	18.0			細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ、体部はナデ。内面は体部がヘラナデ。	
第190図 PL.296	37	土師器 甕	口縁部～胴部上 位片	口	19.0			細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は横ナデ、胴部はヘラナデか。内面は胴部がヘラナデ。	
第190図 PL.296	38	土師器 甕	口縁部～胴部片	口胴	14.2 19.1			細砂粒/良好/にぶ い橙	外面胴部下位に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、胴部上半はヘラ磨きか、器面磨滅のため不鮮明、下半はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ。	
第190図 PL.296	39	土師器 甕	口縁部～胴部上 位片	口	17.4			細砂粒/良好/橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラナデか、器面磨滅のため単位不明。内面は胴部がヘラナデ。	
第190図	40	土師器 甕	口縁部～胴部上 位片	口	17.8			細砂粒/良好/明赤 褐	内面頸部に口縁部と胴部の接合痕が残る。口縁部は横ナデ、胴部はハケ目(1cmあたり7～8本)、一部はナデ消されている。内面は頸部に指頭によるおさえ痕が残る、胴部はヘラナデ。	
第190図	41	土師器 甕	底部～胴部下位	底	7.8			細砂粒/良好/にぶ い褐	底部はヘラ削り、胴部はナデ。内面はヘラナデ。	
第191図 PL.296	42	土師器 甕	底部～胴部中位 片	底胴	8.2 25.2			細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	底部はヘラ削りか、器面磨滅のため不鮮明、外面胴部はヘラ削り後ヘラ磨き、下位は器面磨滅のため不明。内面はヘラナデ。	
第191図 PL.296	43	土師器 甕	底部～胴部下位	底	7.3			細砂粒/良好/橙	底部は器面磨滅のため不明、胴部はヘラナデ、下位上半は単位不明。内面はヘラナデ。	

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
				底	口	厚				
第191図	44	土師器 甕	底部～胴部下位	底	6.0		細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	底部はヘラ削りか、器面磨滅のため不鮮明、胴部はヘラ削り後へら磨き、胴部上半は単位不明。内面はヘラナデ。		
第191図	45	土師器 甕	底部～胴部下位	底	10.0		細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	底部はヘラ削りか、器面磨滅のため不鮮明、胴部はヘラ磨き。内面はヘラナデ。		
第191図	46	土師器 甕	頸部～胴部上位 片	頸	13.4		細砂粒/良好/淡黄	内面頸部に口縁部と胴部の接合痕が残る。外面頸部は横ナデ、胴部はヘラナデ。内面は頸部に指頭による押さえ痕が残る。胴部はヘラナデ。		
第191図 PL.296	47	土師器 不明	注口片	厚	0.4		細砂粒/良好/にぶ い黄橙	図上位に向かって径が細くなる。内外面ともヘラナデ。		
第191図 PL.296	48	土師器 不明	底部片か	底	4.2		細砂粒/良好/にぶ い橙	外面はヘラナデ、内面はナデ。		
第191図 PL.296	49	須恵器 杯蓋	3/4	口 稜	13.2 13.2	高 5.2	細砂粒/還元焰/黄 灰	ロクロ整形、回転右回り。天井部は周縁部を除き回転ヘラ削り。		
第191図 PL.296	50	須恵器 杯身	1/4	口 蓋受	11.2 13.3	高 4.6	細砂粒/還元焰/黄 灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転ヘラ削り。		
第191図 PL.296	51	須恵器 大型器台	口縁部片	口	24.8		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形。口縁部上位に断面三角形の凸帯が巡り、その下位に波状文が巡る。		
第191図 PL.296	52	石製品 白玉	完形	長 幅	0.6 0.5	厚 重	0.3 0.12	滑石	灰白色。表面は滑らかであるがわずかに内湾する。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面にも擦痕は認められない。孔径約2mm。	
第191図 PL.296	53	石製品 白玉	ほぼ完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.4 0.21	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。裏面は滑らかであるがやや内湾する。側面は中央にわずかな張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第191図 PL.296	54	石製品 白玉	完形	長 幅	0.5 0.5	厚 重	0.3 0.16	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央にわずかな張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	

12号集石

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
				胴底	長 幅	厚 重				
第198図	1	土師器 甕	底部～胴部下 片	胴底	21.6 5.6		細砂粒/良好/橙	底部・胴部ともヘラ削り、胴部は器面磨滅のため単位不明。内面はヘラナデ。		
第198図 PL.299	2	剥片石器 石鎌	完形	長 幅	17.6 11.6	厚 重	3.5 728.2	細粒輝石安山岩	表裏面に大きく節面を残し露頭採取の可能性がある。	

16号集石

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口	高	厚			
第199図	1	土師器 甕	口縁部微細片				細砂粒/良好/橙	外面に輪積み痕が残る。口縁部は内外面とも横ナデ。	

32号竪穴建物

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口	高	厚			
第200図 PL.297	1	土師器 杯(A)	一部欠損	口 高	12.9 4.7		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部は上位がナデ、中位から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に左傾の斜放射状ヘラ磨き、器面が荒れており詳細不明。	AII④c
第200図 PL.297	2	土師器 杯(A)	7/8	口 高	13.8 4.5		細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部はヘラ削り。内面は体部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	AI③c
第200図 PL.297	3	土師器 杯(A)	7/8	口 高	13.6 5.1		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部はヘラ削り。内面は体部上半に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	AII③c
第200図 PL.297	4	土師器 杯(A)	4/5	口 高	14.1 5.0		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ体部から底部はヘラ削り。内面は体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	AII②c
第200図 PL.297	5	土師器 杯(A)	2/3	口 高	15.6 7.9		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部から底部はヘラ削り後やや雑なヘラ磨き。内面は体部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	AIII①a
第200図	6	土師器 杯(B)	口縁部～体部小 片	口 最	12.6 13.0		細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は横ナデ、体部はヘラ削り。内面は体部から口縁部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	BI
第200図	7	土師器 杯(B)	口縁部～体部片	口 最	14.0 14.5		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部はヘラ削り。内面は体部から口縁部に大きく右傾する斜放射状ヘラ磨き。	BI
第200図 PL.297	8	土師器 杯(C)	1/3	口 稜	12.2 11.8		細砂粒/良好/明赤 褐	口唇端部は平坦で凹線が巡る。口縁部は横ナデ、体部(稜下)にナデが残るが、その下位から底部は手持ちヘラ削り。	CIIa
第200図	9	土師器 高杯か	杯身部口縁部～ 体部片	口 脚	12.4 11.8		細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口唇端部は内傾する平坦面をつくる。口縁部は横ナデ、体部(稜下)は上半がナデ、下半はヘラ削り。	G
第200図	10	土師器 杯(C)	口縁部～体部片	口 稜	17.0 15.0		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。口唇端部は平坦面をつくる。	CII
第200図	11	土師器 椀	口縁部～体部小 片	口 最	10.0 11.3		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部上位はナデ、中位はヘラナデ後放射所へのヘラ磨き。内面は体部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	CII
第200図 PL.297	12	土師器 高杯	杯身部口縁部・ 脚部裾部の一部 を欠損	口 脚	15.4 9.4	高 9.5	細砂粒/良好/赤褐	杯身部と脚部は接合。杯身部は口唇部が横ナデ、口縁部から底部はヘラナデ、脚部はナデ、裾部は横ナデ。内面は杯身部に左傾の斜放射状ヘラ磨き、下半は器面磨滅のため不明、脚部はナデ。	EII脚部内面は黒色化。
第200図 PL.297	13	土師器 高杯	杯身部口縁部・ 脚部裾部の一部 を欠損	口 脚	17.1 10.5	高 10.4	細砂粒/良好/赤褐	杯身部と脚部は接合。杯身部は口縁部が横ナデ、体部はナデ、底部はヘラ削り、脚部はヘラナデ、裾部は横ナデ。内面は杯身部に左傾の斜放射状ヘラ磨き、下半は器面磨滅のため単位等不鮮明、脚部はヘラナデ、裾部は横ナデ。	EII

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
第200図 PL.297	14	土師器 高杯	杯身部口縁部・ 脚部裾部の1/2 欠損	口 脚	16.1 9.5	高	9.4	細砂粒/良好/明赤 褐	杯身部と脚部は接合。杯身部は口縁部が横ナデ、体部から 底部はナデ、脚部は放射状ヘラ磨き。内面は杯身部に左傾 の斜放射状ヘラ磨き、器面磨滅のため単位等は不鮮明、脚 部はナデ、裾部は横ナデ。	EⅡ
第201図	15	土師器 高杯	杯身部2/3	口 稜	18.4 12.2			細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部から底部(稜下)周縁部は横ナデ後口縁部に斜放射状 ヘラ磨き、底部中ほどはナデ。内面は口縁部に左傾の斜放 射状ヘラ磨き。	A
第200図	16	土師器 高杯	脚部上位片					細砂粒/良好/にぶ い褐	脚部は外面が縦方向のヘラ磨き、内面はヘラナデ。	
第200図 PL.297	17	土師器 埴	底部・胴部～口 縁部下位1/4	頸 胴	7.3 15.4			細砂粒/良好/橙	口縁部は放射状、胴部は上位に斜放射状ヘラ磨き。胴部中 位から底部はヘラ削り。内面は口縁部にやや雑な放射状ヘ ラ磨き、頸部下に指ナデ痕が残る。胴部から底部はヘラナ デ、単位不鮮明。	
第200図 PL.297	18	土師器 小型甕	5/6	口 胴	10.9 12.7	底 高	6.4 11.6	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラナデ、底部はヘラ削 り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	CⅢ①
第200図 PL.297	19	土師器 小型甕	一部欠損	口 胴	14.6 16.2	底 高	5.5 18.5	細砂粒/良好/浅黄 橙	口縁部は横ナデ、胴部と底部はヘラ削り。内面は底部から 胴部がヘラナデ。	BⅠ②
第201図 PL.297	20	土師器 小型甕	3/4	口 胴	9.8 12.4	底 高	3.6 11.2	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は横ナデ、胴部と底部はヘラ削り、胴部上半はヘラ 削りがナデ消されている。内面胴部はヘラナデ、器面磨滅 のため単位不明。	CⅢ①
第201図 PL.297	21	土師器 小型甕	2/3	口 胴	10.2 14.4	底 高	6.2 13.9	細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は横ナデ、胴部と底部はヘラ削り、胴部上半は器面 磨滅のため不鮮明。内面は底部から胴部がヘラナデ。	AⅠ①
第201図 PL.297	22	土師器 小型甕	口縁部1/2欠損	口 胴	10.2 12.0	底 高	4.2 11.1	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は横ナデ、胴部と底部はヘラ削り、胴部上位と中位 はヘラ削りがナデ消されている。内面胴部はヘラナデ、器 面磨滅のため単位不明。	CⅡ①
第201図 PL.297	23	土師器 小型甕	1/3	口 胴	13.6 14.6	底 高	7.0 15.6	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい橙	口縁部は横ナデ、胴部上位はヘラナデ、中位・下位と底部 はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	AⅠ①
第201図 PL.298	24	土師器 甕	3/4	口 胴	15.4 23.9	底 高	7.2 30.5	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい橙	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ磨き、底部は器面磨滅のため 不鮮明。内面は底部から胴部がヘラナデ。	D②
第201図 PL.298	25	土師器 壺	口縁部～胴部片	口 頸	22.8 19.0	胴	31.6	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部は横ナデ、胴部上半は器面磨滅のため整形不鮮明、 下半はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ。	B
第201図 PL.299	26	土師器 甕	口縁部～胴部片	口 胴	16.0 18.3			細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は縦方向のヘラ磨き。内面 は胴部がヘラナデ。	D
第202図 PL.298	27	土師器 甕	胴部中位1/4欠 損	口 胴	16.4 22.2	底 高	7.1 26.6	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り、下位に器面磨滅箇所が 帯状に巡る、底部もヘラ削り、内面は底部から胴部がヘラ ナデ。	B①
第202図 PL.298	28	土師器 甕	口縁部・胴部一 部欠損	口 胴	18.2 22.9	底 高	6.8 34.7	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部と底部はヘラ削り。内面は 底部がヘラナデ、胴部はハケ目(1cmあたり3本)	D③
第202図 PL.299	29	土師器 甕	底部～胴部下 半	底 胴	7.7 28.2			細砂粒/良好/にぶ い橙	内面胴部に輪積み痕が残る。胴部はヘラ削り後ヘラナデ、 単位不鮮明、底部はヘラ削り。内面はヘラナデ。	
第202図	30	土師器 杯	底部					細砂粒/良好/橙	外面はヘラ削り。底部に方形の穿孔。	
第202図 PL.230	31	須恵器 甕	口縁部片	口	7.8			細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形。口縁部中位に凹線が巡る。	
第202図 PL.230	32	須恵器 瓶	口縁部片	口	9.0			細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形。口唇部下に凸帯が巡る。内面に降灰が付着。	
第202図 PL.230	33	須恵器 甕	口縁部片					細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、口縁部上位に断面三角形の凸帯貼付、その下 位に波状文が巡る。	
第202図 PL.230	34	須恵器 瓶	胴部片					細砂粒/還元焰/黄 灰	ロクロ整形。外面は降灰が厚く付着。	
第202図 PL.230	35	須恵器 甕	胴部片					細砂粒/還元焰/灰	外面は平行叩き後間隔をあけて幅1.0cmほどのヘラナデ。 内面はアテ具痕をナデ消しているが、かすかにアテ具痕が 残る。	
第202図 PL.230	36	石製品 管玉	完形	長 幅	2.7 1.0	厚 重	0.9 4.45	蛇紋岩	暗緑灰色。全体的に丁寧に研磨整形されている。肉眼で孔 は一直線ではなく、中央付近が狭くなっているのが観察 できる。両面穿孔の可能性ある。上下面ともに孔径約 3mm。	
第202図 PL.230	37	石製品 白玉	完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.29	滑石	灰白色。表面は孔の周囲に同心円状の溝が認められる。裏 面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面には横方 向の擦痕がわずかに認められる。孔径約2mm。	
第202図 PL.230	38	石製品 白玉	完形	長 幅	0.7 0.6	厚 重	0.4 0.26	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。 表面は孔の周辺部がわずかに窪んでいる。側面は中央にわ ずかな張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約 2mm。	
第202図 PL.230	39	石製品 白玉	完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.31	蛇紋岩	暗オリーブ灰色。表裏面はほぼ平坦であり表面には擦痕が わずかに認められる。裏面は孔の周辺部がわずかに窪んで いる。側面には横方向の擦痕がわずかに認められる。孔径約 2mm。	
第202図 PL.230	40	石製品 白玉	完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.4 0.28	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。 表面は孔の周辺部がわずかに窪んでおり、その内部は滑らか である。側面には斜め方向の擦痕がわずかに認められる。 孔径約2mm。	
第202図 PL.230	41	石製品 砥石	不明	長 幅	(4.3) (2.9)	厚 重	(1.0) 9.4	砂岩	表裏面ともに研ぎにより生じた想定される縦方向の稜が 認められる。上部及び下部欠損。	

10号集石

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口最	高	胴			
第206図	1	土師器 杯(B)	口縁部～底部片	口最	13.7 14.2		細砂粒/良好/にぶ い褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部はヘラ 削り。内面は体部上半から口縁部に右傾の斜放射状ヘラ磨 き。	B I

38号竪穴建物

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口最	高	胴			
第207図	1	土師器 杯(A)	口縁部～体部上 位片	口最	12.8		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ。内面は体部に多く傾く斜放 射状ヘラ磨き。	AIV
第207図	2	土師器 杯(D)	口縁部～体部上 位片	口最	13.8		細砂粒/良好・燻/ 暗赤褐	口縁部は横ナデ、体部は横方向のヘラ磨き。内面は口縁部 上半が横ナデ、下半から体部は横方向のヘラ磨き。	D III
第207図 PL.299	3	土師器 杯(B)	2/3	口最	11.8 12.6	高 5.0	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。内 面は体部から口縁部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	B II ③b
第208図 PL.299	4	土師器 杯(B)	ほぼ完形	口最	12.3 13.0	高 5.3	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持 ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に右傾の斜放射状ヘラ 磨き。	B II
第208図	5	土師器 杯(B)	1/4	口最	12.9 13.4	高 5.5	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は横ナデ、体部上位はナデ、中位から底部はヘラ削 り。内面は体部に斜放射状ヘラ磨き。	B I
第208図	6	土師器 杯(B)	口縁部～体部片	口最	12.7 13.4		細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部はヘラ削りか。内面は 体部から頸部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	B III
第207図 PL.299	7	土製品 不明(蓋か)	1/3	口最	8.6		細砂粒/良好/にぶ い橙	上面はナデ、下半はヘラナデ。	
第208図 PL.299	8	土師器 小型甕	口縁部～胴部	口胴	14.9 14.4		細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は横ナデ、胴部上位はナデか、中位から下位はヘラ 削り。内面は胴部がヘラナデか、器面磨滅のため不鮮明。	C
第208図	9	土師器 小型甕	口縁部小片	口最	13.8		細砂粒/良好/黄灰	口縁部は内外面とも横ナデ。	
第208図	10	土師器 甕	底部	底	6.0		細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄褐	底部と胴部はヘラ削り。内面はヘラナデ。	
第208図	11	土師器 甕	口縁部小片	口最			細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は内外面とも横ナデ。	

41号竪穴建物

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口最	高	胴			
第212図 PL.299	1	土師器 杯(B)	1/3	口最	11.9 12.3	高 5.1	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上位がナデ、中位から底部は手持 ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に左傾の斜放射状ヘラ 磨き。	B I ③b
第212図 PL.299	2	土師器 杯(B)	完形	口最	12.2 12.6	高 6.2	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部はヘラ削り。内面は体 部から口縁部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	B I ②a
第212図 PL.299	3	土師器 杯(D)	完形	口底	13.4 3.6	高 7.3	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部は横ナデ、体部は上位がナデ、中位と下位はヘラ削 り、底部もヘラ削り。内面は体部に放射状ヘラ磨き。	D III
第212図 PL.299	4	土師器 杯(D)	完形	口底	13.9 3.5	高 7.4	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ、体部は上位と中位がナデ、下位はヘラ削 り、底部もヘラ削り。内面は底部から体部がヘラナデ、器 面磨滅のため単位不明。	D III
第212図 PL.299	5	土師器 杯(D)	2/3	口最	13.3 13.8	高 7.8	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部上半は横方向のヘラ磨き、下半から 底部はヘラ削り。内面は底部から体部にやや右傾の斜放射 状ヘラ磨き。	D III
第212図 PL.300	6	土師器 高杯	脚部一部欠損	口脚	13.3 9.8	高 9.4	細砂粒/良好/明赤 褐	杯身部と脚部は接合。杯身部は口縁部が横ナデ、体部は上 半がナデ、下半はヘラナデ。脚部は斜放射状ヘラ磨き。内 面は杯身部の体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	F I
第212図 PL.300	7	土師器 高杯	杯身部3/4欠損	口脚	13.9 9.8	高 8.7	細砂粒/良好/明赤 褐	杯身部と脚部は接合。杯身部は口縁部が横ナデ、体部はナ デ。脚部は斜放射状ヘラ磨き。内面は杯身部が器面剥落の ため不明、脚部はヘラナデ。	F I
第212図 PL.299	8	土師器 椀	1/3	口底	11.5 4.7	高最 12.8	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ、体部は上位と中位がナデ、下位はヘラ削 り、底部はナデ。内面は底部から体部下位がヘラナデ、中 位から上位はやや右傾の斜放射状ヘラ磨き。	B
第212図 PL.300	9	土師器 小型甕	口縁部～胴部下 位片	口胴	13.2 12.5	16.0	細砂粒/良好/橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラナデか、器面磨滅の ため単位不明。内面は胴部がヘラナデ。	
第212図 PL.300	10	土師器 甕	口縁部～胴部上 位片	口最	13.8		細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は横ナデ、胴部上位はナデ、中位はヘラナデ。内面 は口縁部はヘラナデ後横ナデ、ヘラナデ痕が残る、胴部は ヘラナデ。	
第213図 PL.300	11	土師器 壺	口縁部～胴部下 位	口頸	16.4 14.2	胴 27.9	細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラナデ。内面は胴部が ヘラナデ。	B
第213図 PL.300	12	土師器 壺	底部～胴部2/3	底胴	6.0 20.8		細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	内面胴部に輪積み痕が残る。底部はヘラ削り。胴部はヘラ 削り後ヘラ磨き。内面は底部から胴部にヘラナデ。	
第213図 PL.300	13	土師器 甕	口縁部～胴部上 位片	口最	14.6		細砂粒・粗砂粒・ 小礫/良好/橙	内面胴部に輪積み痕が残る。口縁部と胴部は縦方向のヘラ 磨き。内面は口縁部が横方向のヘラ磨き、胴部はヘラナデ。	
第213図	14	土師器 甕	底部～胴部下位	底	5.8		細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい橙	胴部下位はヘラ削り、底部は器面磨滅のため整形不鮮明。 内面はヘラナデ。	
第213図	15	土師器 器種不明	口縁部片				細砂粒/良好/にぶ い褐	口縁部上半は横ナデ、下半はヘラナデ。内面は横ナデ。	
第213図 PL.300	16	須恵器 小型杯	口縁部1/2欠損	口稜	6.6 7.8	高 4.1	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。体部(稜下)下半から底部は手持 ちヘラ削り。内面底部と外面稜に降灰が付着。	

5号集石

挿図 PL.No.	No.	種器 種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第217図	1	土師器 杯(B)	口縁部～体部小片	口 最	12.0 12.6		細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部はヘラ削り。内面は器面が磨滅しており不明。	

37号竪穴

挿図 PL.No.	No.	種器 種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第218図	1	土師器 壺	口縁部片	口	15.8		細砂粒/良好/浅黄橙	外面はハケ目後ナデ、内面もハケ目、器面磨滅のため詳細不鮮明。	
第218図	2	土師器 甕	口縁部～胴部上位小片				細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部は横ナデ後、下半にヘラ磨き。内面は口縁部がヘラナデ。	

36号竪穴建物

挿図 PL.No.	No.	種器 種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第220図	1	土師器 壺	口縁部片	口	18.6		細砂粒/良好/にぶい黄橙	外面は縦方向、内面は横方向のヘラ磨き。	
第220図	2	土師器 甕	底部～胴部下位片	底	8.0		細砂粒/良好/にぶい黄橙	底部はヘラ削り、胴部はハケ目。内面は底部から胴部にヘラナデ。	
第220図	3	土師器 甕	口縁部小片				細砂粒/良好/にぶい橙	内外面ともヘラナデ後部分的なヘラ磨きか。	
第220図	4	土師器 甕	口縁部小片				細砂粒/良好/にぶい黄橙	内外面とも口縁部はハケ目。	

11号平地建物

挿図 PL.No.	No.	種器 種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第222図 PL.301	1	土師器 杯(A)	ほぼ完形	口 高	12.9 6.4		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削りか、底部は器面磨滅のため単位不明。内面は底部から体部右傾の斜放射状ヘラ磨き、一部に器面磨滅箇所あり。	AⅡ④a
第222図 PL.301	2	土師器 杯(A)	ほぼ完形	口 高	14.3 6.3		細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ後斜放射状ヘラ磨き、体部から底部はヘラ削り。内面は体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	AⅢ②b
第222図	3	土師器 杯(B)	口縁部片	口 最	11.8 13.0		細砂粒/良好/明赤褐	外面は左がややあがる横方向、内面は右傾の斜放射状ヘラ磨き。	BⅡ
第222図 PL.301	4	土師器 杯(D)	口縁部・体部一部欠損	口 高	13.5 4.7		細砂粒・粗砂粒/良好/にぶい橙	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。内面は体部がヘラナデ、底部はナデ。	DⅡ
第222図 PL.301	5	土師器 杯(D)	口縁部1/2欠損	口 底	12.5 7.4	高 5.5	細砂粒・粗砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。内面は底部から体部がヘラナデ。	DⅡ
第222図 PL.301	6	土師器 杯(D)	口唇部1/2欠損	口 底	11.9 7.4	高 6.4	細砂粒・粗砂粒/良好/にぶい橙	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。内面は底部から体部がヘラナデ。成形・調整ともに雑。	DⅡ内面は黒色処理。
第222図 PL.301	7	土師器 杯(D)	口唇部欠損	底	6.1		細砂粒/良好/黄橙	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部はヘラ削り。内面は底部から体部がヘラナデ。成形・調整はきわめて雑。	DⅡ色塗彩か。
第222図 PL.301	8	土師器 杯(D)	ほぼ完形	口 底	12.0 7.3	高 3.9	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。内面は体部がヘラナデ、底部はナデ。	DⅠ
第222図 PL.301	9	土師器 杯(D)	ほぼ完形	口 最	11.0 12.2	高 6.3	細砂粒・石英/良好/にぶい赤褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。内面はヘラナデ。	DⅠ
第222図 PL.301	10	土師器 杯(D)	口縁部一部欠損	口 最	10.9 11.9	底高 9.2 6.4	細砂粒・粗砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。内面は底部から口縁部にヘラナデ。	DⅠ
第222図 PL.301	11	土師器 杯(D)	口縁部1/2欠損	口 最	11.2 13.0	底高 10cm 前後 6.1	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。内面は底部から口縁部にヘラナデ。	DⅧ
第222図 PL.301	12	土師器 杯(D)	完形	口 最	12.0 13.8	高 6.1	細砂粒・石英/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部はヘラ削り後ナデ、底部は手持ちヘラ削り。内面は口唇部が横ナデと底部中央から体部・口縁部へのヘラナデ。	DⅧ
第222図 PL.301	13	土師器 杯(D)	ほぼ完形	口 最	11.8 13.6	底高 2.7 5.9	細砂粒/良好/にぶい赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上位と中位にヘラナデ、下位はヘラ削り、底部はナデ。内面は口唇部が横ナデ、底部から体部はヘラナデ。	DⅧ
第222図 PL.301	14	土師器 杯(D)	ほぼ完形	口 高	13.0 6.4		細砂粒/良好/橙	外面体部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。内面底部はナデ。	DⅡ
第223図 PL.301	15	土師器 碗	3/4	口 高	13.3 7.7		細砂粒/良好/褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は底部から体部にヘラナデ。	FⅡ
第223図 PL.302	16	土師器 碗	口唇部一部欠損	口 底	10.8 6.8	高 6.3	細砂粒・粗砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。内面は口縁部が横ナデ、体部はハケ目(一部器面磨滅のため単位不明)後一部にヘラ磨き、底部はヘラナデ。	BⅠ
第223図 PL.302	17	土師器 碗	3/4	口 底	12.0 3.5	高 7.2	細砂粒・粗砂粒/良好/にぶい黄橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半と底部は手持ちヘラ削り。内面は底部から体部にヘラナデ。成形・調整ともに雑。	BⅠ内面は黒色処理。
第223図 PL.302	18	土師器 高杯	杯身部	口 稜	16.8 9.4		細砂粒/良好/にぶい赤褐	杯身部口縁部は横ナデ、底部はナデ。内面は口縁部に放射状ヘラ磨き。	A
第223図 PL.302	19	土師器 小型壺	口縁部～胴部下位	口 頸	10.4 8.1	胴 11.6	細砂粒/良好/にぶい赤褐	口縁部は横ナデ、胴部は上位と中位にナデ、下位にヘラナデ。内面胴部はヘラナデか、整形不鮮明。	
第223図 PL.302	20	土師器 小型甕	口縁部～胴部下位	口 頸	14.0 12.2	胴 15.5	細砂粒/良好/にぶい褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位がナデ、中位から下位はヘラナデ。内面は胴部がヘラナデ。	
第223図 PL.302	21	土師器 甕	口縁部～胴部	口 頸	15.3 13.4	胴 18.6	細砂粒/良好/明赤褐	内面胴部に輪積み痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部上位上半にヘラナデ、その下位はナデ。内面は胴部上半がナデ、下半はヘラナデ。	
第223図 PL.302	22	土師器 壺	口縁部～胴部下位	口 頸	15.6 12.3	胴 25.8	細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部は横ナデ、胴部は上位から中位がヘラナデ、下位はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ。	

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
第223図 PL.302	23	土師器 甕	底部欠損	口頸	17.0 15.0	胴	25.2	細砂粒/良好/明黄褐	口縁部は横ナデ、胴部は上位がヘラナデ、中位から下位はヘラ削り、ほとんどナデで単位不明。内面は胴部がヘラナデ。	D
第223図	24	土師器 小型壺	底部片	底	5.0			細砂粒/良好/灰黄褐	底部と胴部はヘラ磨きか、器面磨滅のため単位不明。内面はヘラナデ。	
第223図 PL.302	25	土師器 甕	底部～胴部下位 片	底	10.4			細砂粒/良好/にぶい黄橙	底部は木葉痕が残る、胴部はナデか。内面はヘラナデ。	
第223図	26	土師器 甕	底部～胴部下位 片	底	7.2			細砂粒/良好/黒褐	底部はヘラ削り、胴部はヘラナデ。内面は底部から胴部がヘラナデ。	
第223図 PL.302	27	土師器 円板状	完形	縦横	2.3 2.2	厚	0.5	細砂粒/良好/灰黄褐	甕胴部の破片を周囲擦り磨いて円板状に整形か。	

1号方形周溝遺構

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
第225図	1	土師器 埴	口縁部片	口	8.3			細砂粒/良好/明赤褐	口縁部はヘラナデ、頸部はヘラ磨き。内面はやや左傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第225図	2	土師器 小型甕	胴部下位小片					細砂粒/良好/明黄褐	胴部下端は底部とともに輪積み痕が残る。外面はヘラケズリ、内面はヘラナデ。	
第225図	3	土師器 脚付椀	底部小片					細砂粒/良好/橙	脚部は添付、外面は体部から脚部がヘラ磨き。内面はヘラナデ。	
第225図 PL.303	4	土師器 円板状	完形	縦横	2.7 3.0	厚	0.8	細砂粒/良好/にぶい褐	甕胴部の破片を周囲擦り磨いて円板状に整形か。	

27号集石

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
第226図	1	弥生土器 筒形	胴部片					少量灰白色・珪質岩・輝岩・石英/緻密	方形状の入組文を施し、LR縄文を充填施文。外面一部に煤状炭化物付着、内面横位磨き。	
第226図	2	弥生土器 壺	底部1/2	底	(6.0)			灰白色・珪質岩・輝岩・石英赤色岩/緻密	胴部下半にコ字重ね文を施文か？内面横位磨き。	
第226図	3	剥片石器 石鎌	完形	長幅	24.7 11.3	厚重	3.3 938.8	細粒輝石安山岩	表裏面に節理面が大きく残り露頭採取の可能性がある。先端部付近に著しい磨滅が認められ使用痕の可能性がある。両側片の中央付近につぶれが認められ着柄痕の可能性がある。	

1号方形周溝遺構(弥生)

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
第227図	1	弥生土器 壺	口縁部片					灰白色・輝岩・珪質岩/緻密	口唇部上面にLR縄文を横位施文。口縁部に刺突充填の三角文を施す。内外面共にやや被熱風化。	弥生中期
第227図	2	弥生土器 壺	肩部片					乳白色・珪質乳白色岩・輝岩/緻密	櫛状工具の横帯文や横位のLR縄文を施す。内外面共に一部に煤状炭化物付着、やや被熱風化。	弥生中期
第227図	3	弥生土器 壺	胴部片					珪質乳白色・灰白色・黒色岩・粗砂/緻密	沈線の横帯文や横位のLR縄文を施文。内外面共に被熱風化、外面一部に煤状炭化物付着。	弥生中期
第227図	4	弥生土器 壺	肩部片					乳白色・珪質乳白色岩・輝岩/緻密	沈線の横帯文を施し、LR縄文を充填施文。内面横位磨きで、一部被熱剥離。	弥生中期
第227図	5	壺	胴部片					灰白色・珪質岩・輝岩・石英/緻密	櫛状工具の横帯文や羽状文を施す。外面斜位刷毛目、内面横位磨き。	弥生中期
第227図	6	弥生土器 壺	頸部片					乳白色・珪質乳白色岩・輝岩/緻密	沈線の横帯文や三角文を施し、LR縄文を充填施文。外面やや風化、内面横位磨き。	弥生中期
第227図	7	弥生土器 壺	頸部片					輝岩・珪質岩・石英/緻密	櫛状工具の波状文を3帯施す。施文具9歯20mm。内外面共に風化。	弥生中期
第227図	8	弥生土器 筒形	口縁部片					珪質岩・赤色・黒色岩/緻密	方形状の入組文を施し、LR縄文を充填施文。外面煤状炭化物付着、内面やや被熱風化。	弥生中期
第227図	9	弥生土器 筒形	胴部片					灰白色・珪質岩・輝岩・石英/緻密	方形状の入組文を施し、細密なLR縄文を充填施文。外面被熱風化、内面横位磨き。	弥生中期
第227図	10	弥生土器 筒形	胴部片					灰白色・輝岩・珪質岩/緻密	沈線の横線文や波状文を施し、LR縄文を充填施文。外面赤色塗彩、内面横位磨き。	弥生中期
第227図	11	弥生土器 筒形	口縁部片					乳白色・珪質乳白色岩・輝岩/緻密	方形状の入組文を施し、LR縄文を充填施文。内面やや被熱風化。	弥生中期
第227図	12	弥生土器 筒形	胴部片					乳白色・珪質乳白色岩・輝岩/緻密	方形状の入組文を施し、LR縄文を充填施文。内外面共に一部に煤状炭化物付着、内面撫で状の横位磨き。	弥生中期
第227図	12	弥生土器 筒形	胴部片					乳白色・珪質乳白色岩・輝岩/緻密	方形状の入組文を施し、LR縄文を充填施文。内外面共に一部に煤状炭化物付着、内面撫で状の横位磨き。	弥生中期
第227図	13	弥生土器 甕	口縁部～胴部 1/5	口	(20.0)			灰白色・珪質岩・輝岩・石英/緻密	口唇部上面に押圧状の刻目やLR縄文を施文。LR縄文を横位・多段に施文し、2本沈線の横帯文や波状文内を擦り消す。外面燻べ焼き状の黒斑。内面縦位磨きで後、やや粗い横位磨き。	弥生中期
第227図	14	弥生土器 甕	口縁部片					灰白色・赤色・黒色岩/緻密	口唇部上面に押圧状の刻目。折り返し状の複合口縁。口縁部にLR縄文を横位施文。内面横位磨き、燻べ焼き状の炭素吸着。	弥生中期
第227図	15	弥生土器 甕	口縁部片					輝岩・珪質岩・精鋭/緻密	口縁部に横位のLR縄文や沈線波状文を施文。内外面共にやや被熱風化。	弥生中期
第227図	16	弥生土器 甕	口縁部片					珪質乳白色・灰白色・黒色岩・粗砂/緻密	口唇部上面に押圧状の刻目。櫛状工具のやや粗い斜位条痕文を施す。内外面共にやや被熱風化、内面やや粗い横位磨き。	弥生中期
第227図	17	弥生土器 甕	口縁部片					灰白色輝岩・石英/緻密	口唇部上面に押圧状の刻目。口縁部に櫛状工具の斜位条痕文を施す。外面一部に煤状炭化物付着、内面横位磨き。	弥生中期

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
第227図	18	弥生土器 甕	口縁部片				乳白色・珪質乳白 色岩・輝岩/緻密	口唇部上面にカナムグラの擬似縄文を施文。口縁部に櫛歯 状工具の横位条痕文を施す。内面やや粗い横位磨き、や や被熱風化。	弥生中期	
第227図	19	弥生土器 甕	胴部片				灰白色・珪質岩・ 輝岩・石英/緻密	縦位の櫛歯羽状文を施す。外面一部に煤状炭化物付着、内 面撫で状の横位磨き。	弥生中期	
第227図	20	剥片石器 石鏃	埋土中 完形	長 幅	3.4 2.6	厚 重	0.7 5.1	黒色安山岩	押圧剥離により整形する。片面の中央付近に素材剥片段階 の剥離面を残す。	平基無茎鏃
第227図	21	剥片石器 石鏃	埋土中 完形	長 幅	2.8 2.0	厚 重	0.6 2.8	黒色安山岩	押圧剥離により整形する。片面の中央付近に素材剥片段階 の剥離面を残す。	平基無茎鏃

2号方形周溝遺構

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
第230図 PL.303	1	土師器 杯(A)	口縁部～体部片	口	14.8			細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部はヘラ磨きか、体部下半は器面磨滅 のため不明。内面は体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	A II
第230図 PL.303	2	土師器 杯(A)	口縁部～体部片	口	13.8			細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部はヘラナデか、器面磨滅のため不鮮 明。内面は体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き、口縁部から体 部上半は器面磨滅のため不鮮明。	A II
第230図 PL.303	3	土師器 杯(A)	口縁部～体部片	口	13.8			細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半は手持ちヘラ削 り。内面は体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	A I
第230図	4	土師器 杯(D)	口縁部～体部片	口	11.0			細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半はヘラナデ。内 面は体部がヘラナデ。	D II
第230図	5	土師器 杯(D)	口縁部～体部片	口	13.7			細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上位がナデ、中位・下位はヘラ削 り。内面は体部がヘラナデ。	D III
第230図	6	土師器 杯(D)	口縁部～底部小 片	口	13.0			細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持 ちヘラ削り。	D IV
第230図 PL.303	7	土師器 杯(D)	口縁部～体部片	口	11.6			細砂粒/良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部上半はナデ、下半はヘラ磨き。	D III
第230図	8	土師器 杯(D)	口縁部～体部小 片	口	13.8			細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ。	D II
第230図 PL.303	9	土師器 杯(B)	1/4	口 最	13.6 14.1	高	4.8	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半がヘラ削り、底 部は手持ちヘラ削り。内面体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	B II ①c
第230図 PL.303	10	土師器 杯(B)	1/4	口 最	11.8 12.7			細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。内 部体部から口縁部に左傾の斜放射状ヘラ書き。	B III
第230図	11	土師器 杯(C)	口縁部～体部小 片	口 稜	13.0 13.3			細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は平坦でやや内傾する。口縁部は横ナデ、体部(稜下) は手持ちヘラ削り。口唇端部は平坦面をつくる。	C I a
第230図	12	土師器 高杯	杯身底部小片					細砂粒/良好/にぶ い赤褐	杯身底部は内外面ともヘラナデ。	
第230図 PL.303	13	土師器 高杯	脚部片					細砂粒/良好/にぶ い赤褐	脚部は縦方向のヘラ磨き、裾部は横ナデ。内面は脚部がナ デ。	A
第230図 PL.303	14	土師器 椀	1/3	口 底	(12.0) 7.4	高	(8.0)	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい橙	外面に輪積み痕が残る。口唇部は横ナデ、口縁部から体部 はハケ目(1cmあたり6本)、一部ナデ消されている、底部は ヘラ削り。内面は底部から口唇部下にヘラナデ。	
第230図	15	土師器 椀	底部～体部下 半					細砂粒/良好/にぶ い橙	外面はヘラ削り、内面はヘラナデ。	
第230図	16	土師器 椀	口縁部～体部上 位片	口	16.0			細砂粒/良好/にぶ い赤褐	内面に輪積み痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、体部は ハケ目。内面体部はヘラナデ。	
第230図	17	土師器 椀	口縁部～体部上 位片	口	19.0			細砂粒/良好/にぶ い赤褐	内面に輪積み痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、体部は ハケ目が残る。内面体部はヘラナデ。	
第230図	18	土師器 椀	口縁部～体部片	口	12.3			細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は横ナデ、頸部はヘラ磨きか。内面は体部がヘラナ デ。	
第230図	19	土師器 埴	胴部上位片					細砂粒/良好/明赤 褐	胴部最上位に口縁部との接合痕が残る。外面は斜放射状ヘ ラ磨き、内面はナデ。	
第230図	20	土師器 壺	底部～胴部下 位	底	3.6			細砂粒/良好/にぶ い赤褐	底部はヘラナデ、胴部はヘラ磨きか、器面磨滅のため不鮮 明。内面はヘラナデ。	
第230図 PL.303	21	土師器 台付甕	脚部片					細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	脚部は貼付。脚部下位に縄文が施文。内面はヘラナデ。	東海東部
第230図 PL.303	22	土師器 甕	口縁部～胴部上 位片	口	20.0			細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラナデ、器面磨滅のた め単位不鮮明。内面は胴部がヘラナデ。	
第230図	23	土師器 甕	口縁部～胴部上 位片	口	15.9			細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は雑なヘラ磨き。内面胴部 はヘラナデ。	
第230図	24	土師器 甕	口縁部～胴部上 位片	口	16.0			細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は横ナデ、胴部はヘラナデ。内面は胴部がヘラナデ。	
第230図	25	土師器 甕	底部～胴部下 位小片	底	7.2			細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい褐	底部・胴部ともヘラ削り。内面はヘラナデ。	
第230図	26	土師器 甕	口縁部小片					細砂粒/良好/にぶ い褐	内外面とも横ナデ。	
第230図	27	手捏ね土器 椀形	底部～体部下 半片	底	3.6			細砂粒/良好/にぶ い褐	底部・体部ともナデ。	
第230図	28	手捏ね土器 壺形	胴部片					細砂粒/良好/にぶ い褐	外面はヘラナデ、内面はナデ。	
第230図	29	須恵器 甕	口縁部片	口	9.8			細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形。口縁部の屈曲部に断面三角形の凸帯が巡る。 内面口唇部は段を有する。	
第230図	30	須恵器 甕	口縁部片	口	9.8			細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形。口縁部の屈曲部に断面三角形の凸帯が巡る。 内面口唇部は段を有する。	29と同一個体 か。

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第230図 PL.303	31	須恵器 甕	口縁部片	口	23.0		細砂粒/還元焰/灰	口クロ整形。内面に降灰が付着。	
第230図	32	須恵器 甕	口縁部下位片				細砂粒/還元焰/灰	口クロ整形。口縁部下位に波状文が巡る。	

1号集石

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第231図	1	土師器 杯(B)	口縁部～体部片	口最	12.0 12.5		細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は横ナデ、体部はへら削り。内面は体部から口縁部 に左傾の斜放射状へら磨き。	B I
第231図 PL.303	2	土師器 杯(D)	1/3	口	10.9		細砂粒/良好/明褐	口縁部から体部上半は横ナデ、下半から底部は手持ちへら 削り。	D III
第231図 PL.303	3	土師器 杯(C)	1/2	口稜	12.7 12.6	高 5.4	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちへら削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	C II ②a
第231図	4	土師器 杯(C)	口縁部～体部片	口稜	12.0 11.8		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちへら削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	C II
第231図 PL.303	5	土師器 小型甕	口縁部～胴部中 位	口胴	17.2 25.2		細砂粒/良好/にぶ い黄ち代	口縁部は斜めのハケ目(1cmあたり3本)、胴部はへら削り。 内面は横方向のハケ目、胴部はへらナデか、器面磨滅のた め不鮮明。	
第231図	6	土師器 甕	口縁部片	口	18.0		細砂粒/良好/浅黄 橙	口縁部は横ナデ。内面は口縁部下半が器面磨滅のため整形 不明。	
第231図 PL.304	7	土師器 甕	底部～胴部下 底	底	8.6		細砂粒/良好/にぶ い黄橙	胴部はへらナデか、器面磨滅のため単位不明、底部はへら 削り。内面は底部から胴部にへらナデ。	
第232図 PL.304	8	土師器 壺	胴部1/2	頸胴	13.3 26.8		細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	外面は器面磨滅のため整形不明。内面はへらナデ。	
第232図 PL.303	9	礫石器 石皿	不明	長幅	(18.2) (16.8)	厚重 10.2 3451.7	粗粒輝石安山岩	明確な縁をもつ。裏面も平坦であり整った形態であること から全体的な整形が想定される。	
第232図 PL.304	10	礫石器 石皿	完形	長幅	15.8 20.9	厚重 6.4 3122.7	粗粒輝石安山岩	扁平な円盤を利用する。正面の中央から下方にかけて浅い 楕円状の窪みがあり内面は細かな凹凸が認められる。	

3号集石

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第233図	1	土師器 杯(B)	口縁部～体部小 片	口最	8.4 10.0		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部はへら削り。内面は体部に右傾の斜 放射状へら磨き。	B I
第233図	2	土師器 杯(C)	口縁部～体部小 片				細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)は手持ちへら削り。口唇端部 は丸みをもつづくり。	C II b
第233図	3	土師器 高杯	杯身部口縁部小 片				細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、内面には右傾の斜放射状へら磨き。	
第233図 PL.304	4	土師器 甕	口縁部～胴部下 位	口頸	17.8 14.0	胴 21.6	細砂粒/良好/浅黄 橙	内面胴部に輪積み痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴 部は上位にハケ目(1cmあたり5本)が残るが、中位から下位 は器面磨滅のため不明。内面は胴部がへらナデ。	D ②
第233図 PL.304	5	土師器 小型甕	口縁部～胴部下 位	口頸	11.6 10.6	胴 14.2	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部上半はへら磨き、下半はへ らナデ。内面は胴部にへらナデ。	C II
第233図 PL.304	6	石製品 石製模造品 (剣形)	ほぼ完形	長幅	3.0 (1.8)	厚重 0.4 3.1	蛇紋岩	暗オリーブ灰色。表面は斜め方向の擦痕が、裏面は縦方向 の擦痕が主体的である。上下の孔径約2mm。	
第233図 PL.304	7	剥片石器 石鏃	完形	長幅	16.3 13.8	厚重 3.2 634.5	細粒輝石安山岩	表裏面に大きく節面を残し露頭採取の可能性ある。表 裏面の先端付近に磨滅が認められ使用痕の可能性ある。 その磨滅痕より新しい刃部方向からの剥離痕が認められ、 刃部を中心とした再加工が想定される。両側片の中央付近 を中心につぶれが認められ着柄痕の可能性ある。	

7号集石

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第233図	1	土師器 杯(A)	口縁部～体部片	口	13.0		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部は器面磨滅のため不明。内面は体部 に右傾の斜放射状へら磨き。	A II
第233図	2	土師器 杯(A)	口縁部～体部片	口	13.0		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ。内面は体部に右傾の斜放射 状へら磨き。	A II
第233図	3	土師器 杯(A)	口縁部～体部片	口	13.8		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半がへら削り。内 面は体部に右傾の斜放射状へら磨き。	A II
第233図	4	土師器 杯(B)	口縁部～底部片	口最	11.0 11.6		細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持 ちへら削り。内面は体部上半から口縁部に右傾の斜放射状 へら磨き。	B I
第233図	5	土師器 椀	口縁部～体部小 片	口	21.0		細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は横ナデ、体部はへら削り。内面は体部がへらナデ。	
第233図	6	土師器 小型甕	口縁部～頸部小 片	口	11.0		細砂粒/良好/にぶ い橙	外面口縁部から頸部は横ナデ、内面は胴部がへらナデ。	

8号集石

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第234図	1	土師器 杯(A)	口縁部～体部片	口	13.9		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持 ちへら削り。内面は体部上半から口縁部に右傾の斜放射状 へら磨き。	A I
第234図	2	土師器 杯(B)	口縁部～底部片 (口唇端部欠損)	最	12.8		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部から底部はへら削り。内面は体部か ら口縁部に右傾の斜放射状へら磨き。	

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口 脚	高	底			
第234図 PL.305	3	土師器 高杯	ほぼ完形	14.0 10.9	高	14.4	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	杯身部と脚部は接合。杯身部は口縁部が横ナデ、体部から底部はヘラ削り。脚部はヘラナデ、裾部は横ナデ。内面は杯身部の体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き、脚部はナデ、下半は器面磨滅のため不鮮明。	F I
第234図	4	土師器 椀	3/4	13.7 14.2	高	10.0	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい褐	口縁部は横ナデ、体部は上位と中位がハケ目(1cmあたり6本)、一部ナデ消されている、下位から底部はヘラ削り。内面は底部から体部にヘラナデ、器面磨滅のため単位不明。	D II
第234図 PL.305	5	土師器 杯(B)	口縁部～体部片				細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部はヘラ削り。内面は体部上半から口縁部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第234図 PL.305	6	石製品 白玉	完形	長幅 0.6 0.6	厚重	0.3 0.13	滑石	灰白色。表面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。側面は中央にわずかな張りがあり横方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第234図 PL.305	7	石製品 白玉	完形	長幅 0.7 0.7	厚重	0.3 0.19	滑石	灰白色。表面は平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。側面は中央にわずかな張りがあり横方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	

599号土坑

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口 底	高	底			
第236図	1	土師器 杯(D)	1/2	12.6 4.0	高	6.6	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はヘラ削り後上位と中位はナデ、下位はそのまま残る、底部はヘラ削り。	DIX

13号竪穴建物

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口 高	底	底			
第240図 PL.305	1	土師器 杯(D)	2/3	14.0 6.3			細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部はヘラ削り。内面は右傾の斜放射状ヘラ磨き。	DIV
第240図	2	土師器 杯(A)	口縁部～体部片	12.8			細砂粒/良好/橙	口縁部から体部上半は横ナデ、下半はナデ。内面は体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	AIV
第240図 PL.305	3	土師器 杯(D)	口唇部の多くが欠損	13.1 6.4	高		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部はヘラ磨き、器面磨滅のため単位不鮮明。内面は体部から口縁部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	DIX
第241図	4	土師器 高杯	杯身部口縁部片	17.4			細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はナデ、内面は体部から口縁部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第241図 PL.305	5	土師器 甌	完形	18.3 17.3	底高	7.1 18.6	細砂粒/良好/橙	内面胴部に輪積み痕が残る。口縁部と底部周縁は横ナデ、胴部はヘラナデ。内面胴部はヘラナデ。	D
第241図 PL.305	6	土師器 小型甕	口縁部～胴部上位の一部欠損	11.5 14.3	底高	5.4 15.7	細砂粒/良好/にぶい黄橙	口縁部から頸部と胴部上位は横ナデ、中位・下位と底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	B I ②
第241図 PL.305	7	土師器 甕	口縁部～胴部上位片	21.6			細砂粒/良好/にぶい黄橙	口縁部は横ナデ、頸部から胴部はヘラ削り。内面は頸部と胴部がヘラナデ。	
第241図	8	土師器 甕	胴部片				細砂粒/良好/にぶい黄橙	外面は格子目叩き後ヘラ磨きか。内面はヘラナデ。	

15号竪穴建物

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口 高	底	底			
第243図 PL.306	1	土師器 杯(A)	完形	15.5 7.2			細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部はヘラ削り。内面は体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	A II ①a
第243図 PL.306	2	土師器 杯(B)	完形	11.7 12.5	高	5.0	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部はヘラ削り。内面は体部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	B I ③b
第243図 PL.306	3	土師器 杯(B)	完形	12.5 13.2	高	5.1	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部はヘラ削り。内面は体部から口縁部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	B I
第243図 PL.306	4	土師器 杯(D)	完形	12.6 13.3	高	5.8	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部はヘラ削り。内面は底部から体部に放射状と花弁状のヘラ磨き。	DX
第243図 PL.306	5	土師器 甌	一部欠損	12.6 15.8	底高	7.8 11.2	細砂粒/良好/にぶい黄橙	口縁部は横ナデ、体部と底部はヘラ削り。内面は体部がヘラナデ。底部は籠目あり。	E底部孔径 6.8cm
第243図 PL.306	6	土師器 小型甕	2/3	13.3 13.8	底高	7.3 12.2	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部は横ナデ、胴部はヘラナデ、器面磨滅のため単位不鮮明、底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	C II ①
第243図 PL.306	7	土師器 小型壺	ほぼ完形	11.8 18.5	底高	10.7 21.7	細砂粒/良好/浅黄橙	口縁部は横ナデ、下半から頸部にハケ目(1cmあたり5本)が残る、胴部はヘラ磨き、底部はヘラ削り。内面は底部から胴部、頸部はヘラナデ。	BIV②
第243図 PL.306	8	土師器 小型甕	ほぼ完形	12.7 13.0	底高	6.1 15.5	細砂粒・粗砂粒/ 良好/浅黄橙	口縁部は横ナデ、胴部はハケ目(1cmあたり8～9本)後一部にヘラナデとヘラ磨き、下位下半と底部はヘラ削り。内面は口縁部がハケ目、底部から胴部はヘラナデ。	B II ①
第243図 PL.306	9	土師器 甕	一部欠損	17.7 24.0	底高	6.8 32.8	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はハケ目(1cmあたり6～9本)、底部は周囲がヘラ削り、内部はナデ。内面は底部から胴部がヘラナデ。	D①
第244図 PL.307	10	土師器 小型甕	ほぼ完形	16.2 17.7	底高	5.8 19.6	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、胴部はヘラナデ後下半にヘラ磨き、底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	A I ①
第244図 PL.307	11	土師器 甕	ほぼ完形	21.8 28.6	底高	8.5 27.9	細砂粒/良好/にぶい黄橙	口縁部は横ナデ、胴部は上位がヘラナデ、中位がヘラ磨き、下位から底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	A①
第244図 PL.307	12	須恵器 杯蓋	完形	12.4 12.8	高	4.7	細砂粒/還元焰/灰	口縁部整形、回転左回り。天井部は中程まで回転ヘラ削り。口唇部は窪みをもつ平坦面をつくる。	

97号土坑

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口 稜	高	底			
第244図	1	土師器 高杯	杯身部片	18.0 9.0			細砂粒/良好/にぶい赤褐	杯身部は口縁部が横ナデ、底部はナデ。内面は口縁部下半がヘラナデ、底部はナデ。	

5面遺構外

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口 稜	高	底			
第246図	1	土師器 杯(C)	口縁部小片	11.2 9.8			細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)は手持ちヘラ削り。口唇部は平坦面をつくる。	C II

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値				胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考						
				口 稜	口 径	底 径	厚 重									
第246図	2	土師器 杯(C)	口縁部小片	口 稜	10.9 9.8			細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)は手持ちヘラ削り。口唇端部は平坦面をつくる。	C II						
第246図	3	土師器 杯(A)	口縁部小片	口	10.0			細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部はヘラ削り。内面は体部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。							
第246図	4	須恵器 甕	口縁部片					細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形。口縁部に波状文が巡る。							
第246図	5	土師器 椀	底部					細砂粒/良好/明赤 褐	底部はヘラ削り。内面は中央部から右傾の斜放射状ヘラ磨き。							
第246図	6	土師器 甕	底部	底	5.9			細砂粒/良好/にぶ い黄橙	底部はヘラ削りか、器面磨滅のため単位不明。内面はヘラナデ。							
第246図	7	土師器 壺	口縁部片	口	19.6			細砂粒/良好/にぶ い黄褐	口唇部は横ナデ、口縁部はヘラ磨き。内面は口唇部が横ナデ、口縁部はヘラナデ後一部にヘラ磨き。							
第246図	8	須恵器 壺	底部～胴部下位 片	底	5.8			細砂粒/良好/にぶ い黄橙	底部、体部とも器面磨滅のため整形不鮮明。内面はヘラナデ。							
第246図	9	石製品 砥石	ほぼ完形	長 幅	27.5 7.4	厚 重	6.7 1787.8	ひん岩	大形の棒状円礫を利用する。正面の中央から上方にかけて著しく滑らかな面が形成されており砥石と判断した。左側面の下方にも滑らかな面が認められ、上方には線条痕が集中する。上端には敲打痕が認められる。							
第247図	10	土師器 杯(C)	1/4	口 稜	12.4 12.0	高	5.5	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。口唇端部は丸みをもつつくり。	C I ②b						
第247図 PL.307	11	土師器 甕	3/4	口 胴	22.6 28.4	底 高	8.2 31.5	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は上半が横ナデ、下半はヘラナデ、胴部と底部はヘラ削り、胴部上位は器面磨滅のため不鮮明。内面は底部から胴部がヘラナデ。	A ①						
第247図 PL.307	12	須恵器 杯蓋	天井部小片					細砂粒/還元焰/黄 灰	ロクロ整形、外面の整形不鮮明。							
第247図 PL.307	13	須恵器 高杯	口縁部小片					細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形。							
第247図 PL.307	14	須恵器 高杯	杯身部体部小片					細砂粒/還元焰/暗 灰	ロクロ整形。体部に段が2段巡る。							
第247図	15	須恵器 高杯	杯身部底部片					細砂粒/還元焰/黄 灰	ロクロ整形。底部に脚部の透かしを開けたヘラ痕が残る。							
第247図	16	須恵器 甕	胴部片					細砂粒/還元焰/暗 灰	外面には平行叩き痕、内面には同心円状アテ具痕が残る。							
第247図 PL.307	17	須恵器 甕	胴部小片					細砂粒/還元焰/灰 白	外面は平行叩き痕が残る。内面はアテ具痕がナデ消されている。							
第247図	18	須恵器 甕	口縁部片					細砂粒/還元焰/黄 灰	内面に輪積み痕が残る。							
第247図	19	須恵器 甕	胴部小片					細砂粒/還元焰/灰	外面は平行叩き痕が残るが、間隔をあけて横方向のナデが施されている。内面はアテ具痕がナデ消されているがかすかに残る。							
第247図	20	須恵器 甕	胴部小片					細砂粒/還元焰/灰	外面は平行叩き痕が残るが、間隔をあけて横方向のナデが施されている。内面はアテ具痕がナデ消されているがかすかに残る。							
第247図 PL.307	21	石製品 石製模造品 (有孔方板)	ほぼ完形	長 幅	2.7 2.3	厚 重	0.6 6.4	滑石	灰白色。表裏面ともに斜め方向の擦痕が主体的である。裏面の孔の周辺部はわずかに窪んでいる。表面側からの穿孔の際に裏面側が破砕した可能性がある。孔径約2mm。							
挿図 PL.No.	No.	細別器種	法量													
			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	
第247図 PL.307	22	鉄製品 錐状工具?		10.6	8.0	0.55	0.3	2.6	0.5	0.25						先端が尖る錐状工具かと思われる工具。茎と想定される所には、木質か有機質と、植物繊維の紐巻きがなわれている。
第247図 PL.307	23	鉄製品 棒状工具?	6.1+	0.7	0.6											角柱状で、先端が細くなる棒状品。途中から屈曲しており、折り曲げた可能性もある。上部は新しいワレ。
挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値				胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考						
				口 稜	口 径	底 径	厚 重									
第247図 PL.308	24	土師器 杯(C)	2/3	口 稜	12.0 12.6	高	5.9	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。口唇端部は丸みをもつつくり。	C I ②bア						
第247図 PL.308	25	須恵器 杯蓋	天井部小片					細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転方向不明。天井部は回転ヘラ削り。							
第247図 PL.308	26	須恵器 杯蓋	口縁部～天井部 片					細砂粒/還元焰/黄 灰	ロクロ整形、回転方向不明。天井部は回転ヘラ削り。							
第247図 PL.308	27	須恵器 杯蓋	口縁部小片					細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形。							
第247図 PL.308	28	須恵器 杯蓋	口縁部小片					細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形。							
第247図 PL.308	29	須恵器 椀	口縁部小片	口	10.0			細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形。							
第248図 PL.308	30	須恵器 高杯	脚部下位片	脚	8.6			細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか。脚部に透孔が3カ所設けられている。							
第248図 PL.308	31	須恵器 高杯	脚部小片	脚	10.0			細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形。脚部には透孔が設けられている。							
第248図 PL.308	32	須恵器 高杯	脚部片	脚	10.2			細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。脚部に透孔が3カ所設けられている。							
第248図 PL.308	33	須恵器 甕	口縁部下半片	頸	16.2			細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形。口縁部中位に断面三角形の凸帯が巡る、凸帯下に波状文、頸部にカキ目が巡る。							
第248図 PL.308	34	須恵器 甕	胴部小片					細砂粒/還元焰/灰	胴部は外面に平行叩き痕、内面は同心円状アテ具痕が残る。							
第248図 PL.308	35	須恵器 甕	胴部微細片					細砂粒/還元焰/灰	胴部は外面に平行叩き痕が残る、内面はヘラナデ。							
第248図 PL.308	36	石製品 管玉	完形	長 幅	2.6 0.8	厚 重	0.8 2.85	蛇紋岩	暗オリーブ灰色。全面研磨整形するが光沢が乏しい。肉眼で孔は一直線ではなく、中央付近が狭くなっているのが観察できる。両面穿孔の可能性もある。上面の孔径約3mm、下面の孔径約4mm。							

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				長 幅	厚 重	口 高			
第248図 PL.308	37	石製品 管玉	完形	3.0 0.8	0.8 3.16		蛇紋岩	暗灰色。全体的に丁寧に研磨整形されている。肉眼で孔は一直線ではなく、中央付近が狭くなっているのが観察できる。両面穿孔の可能性はある。上面の孔径約4mm、下面の孔径約3mm。	
第248図 PL.308	38	石製品 管玉	完形	3.9 1.1	1.1 8.35		珪質頁岩	灰オリーブ色。全体的に丁寧に研磨整形されている。肉眼で孔は一直線ではなく、中央付近が狭くなっているのが観察できる。両面穿孔の可能性はある。上下面ともに孔径約3mm。	
第248図 PL.308	39	石製品 白玉	完形	0.7 0.7	0.3 0.21		滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。側面には縦方向と斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第248図 PL.308	40	石製品 白玉	完形	0.7 0.7	0.3 0.22		滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面には縦方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第248図 PL.308	41	石製品 白玉	完形	0.5 0.5	0.4 0.14		滑石	オリーブ灰色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。側面は中央にわずかな張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第248図 PL.308	42	石製品 白玉	完形	0.5 0.5	0.4 0.11		滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央にわずかな張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第248図 PL.308	43	石製品 白玉	完形	0.5 0.5	0.3 0.11		滑石	灰オリーブ色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面には斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第248図 PL.308	44	土師器 杯(A)	3/4	13.2 4.6			細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部はヘラ削り。内面は体部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	AIV③c
第248図 PL.308	45	土師器 杯(A)	3/4	15.2 5.6			細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上位がナデ、中位から底部はヘラ削り。内面は底部がヘラナデ。	AII①c
第248図	46	土師器 杯(A)	1/4	14.0 5.3			細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部上半はナデ、下半はヘラ削り。内面は体部に右傾のやや雑な斜放射状ヘラ磨き。	AII②b
第248図 PL.308	47	土師器 杯(A)	1/2	13.4			細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部はヘラ削り。内面は体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	AIV
第248図	48	土師器 杯(A)	1/3	14.0			細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部上半はナデ、下半から底部はヘラ削り。内面は体部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	AIV
第248図	49	土師器 杯(A)	口縁部～体部片	12.0			細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部上半はナデ、下半はヘラ削り。内面は体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	AII
第248図	50	土師器 杯(A)	1/3	14.4			細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部上位はナデ、中位・下位はヘラ削り。内面は体部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	AIII
第248図	51	土師器 杯(B)	1/4	11.8 12.3	高 5.2		細砂粒/良好/明赤褐	外面体部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部はヘラ削り。内面は大きく左傾する斜放射状ヘラ磨き。	BI③b
第248図	52	土師器 杯(D)	1/4	15.0			細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部はヘラ削り。内面は体部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	DIII
第248図 PL.308	53	土師器 杯(D)	1/4	13.2 14.0	高 5.9		細砂粒/良好/にぶい黄褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。内面は口縁部上半は横ナデ、下半から底部はヘラナデ。口唇端部は丸みをもつくり。	DX
第248図 PL.308	54	土師器 高杯	3/4	17.1 10.4	脚高 12.2 13.1		細砂粒/良好/橙	杯身底部に突起状の差し込みで脚部と接合。杯身は口縁部が横ナデ、底部はヘラナデ、脚部はナデか、裾部は横ナデ。内面は脚部がヘラナデ。	AI
第248図 PL.308	55	土師器 高杯	脚部1/3	12.6			細砂粒/良好/橙	脚部は縦方向、裾部は放射状ヘラ磨き。内面は脚部がヘラナデ、裾部は横ナデ。	
第248図	56	土師器 高杯	脚部	10.0			細砂粒/良好/橙	杯身部との接合不鮮明。脚部は横ナデ、内面は上半がヘラナデ、裾部は横ナデ。	
第248図	57	土師器 高杯か 環か	脚部片	6.8			細砂粒/良好/明赤褐	脚部端部は幅広の平坦面をつくる。外面はヘラ磨き、内面はヘラナデ。	
第248図 PL.308	58	土師器 壺	口縁部1/3	14.0			細砂粒/良好/にぶい橙	口唇部は横ナデ、口縁部はヘラナデ。内面は口唇部下に凹線が巡り、口縁部はヘラナデ。	
第248図 PL.308	59	土師器 小型壺	底部～胴部中位片	14.1 5.0			細砂粒・粗砂粒・褐色粒/良好/明赤褐	底部はヘラ削り。胴部はヘラ削り後ヘラ磨きか、器面磨滅のため不鮮明。内面はヘラナデ。	
第249図 PL.309	60	土師器 壺	口縁部～胴部上位片	16.8			細砂粒/良好/赤褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り後上位上半にヘラ磨き。内面は胴部がヘラナデ。	
第249図 PL.309	61	石製品 管玉	完形	2.3 0.6	厚重 0.6 1.03		珪質頁岩	緑灰色。全体的に丁寧に研磨整形されている。上下面ともに孔径約2mm。	
第249図 PL.309	62	土師器 杯(A)	口縁部1/3欠損	14.0 4.8			細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上位と中位がナデ、下位から底部はヘラ削り。内面は体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	AIV②c
第249図	63	土師器 杯(A)	口縁部～体部片	13.7			細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上位に横方向のヘラ磨き、中位・下位はヘラ削り。内面は体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	AI
第249図	64	土師器 杯(D)	口縁部～体部片	13.6			細砂粒/良好/にぶい褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ。内面は体部がヘラナデ。	DIII
第249図	65	土師器 杯(D)	口縁部～体部片	13.7			細砂粒/良好/にぶい褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ。内面は体部がヘラナデ。	DIII
第249図 PL.309	66	土師器 杯(B)	2/3	9.8 11.0	高 5.6		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部はヘラ削り。内面は体部中位から口縁部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	BIII③a
第249図	67	土師器 杯(B)	1/3	10.0 11.6	高 5.6		細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上位がナデ、中位から底部はヘラ削り。内面は体部から口縁部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	BIII③a
第249図 PL.309	68	土師器 杯(B)	口縁部一部欠損	10.3 12.0	高 5.5		細砂粒/良好/にぶい赤褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	BII③b
第249図 PL.309	69	土師器 杯(B)	1/2	11.8 13.0			細砂粒/良好/にぶい赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部はヘラ削り。内面は体部から口縁部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	BII
第249図 PL.309	70	土師器 杯(C)	口縁部1/4欠損	12.0 11.9	高 5.4		細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。口唇端部は平坦面をつくる。	CII②aイ

挿図 PL.No.	No.	種類 種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴					備考	
				口 径	高	底		口 径	高	底	口 径	高		底
第249図 PL.309	71	土師器 杯(C)	3/4	口 径	12.2 11.8	高	5.0	細砂粒/良好/明赤 褐	口唇端部は平坦でごく細い凹線が巡る。口縁部は横ナデ、 体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。					C I ②aイ
第249図 PL.309	72	土師器 杯(C)	3/4	口 径	12.7 12.3	高	5.2	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。					C I ②aイ
第249図	73	土師器 杯(C)	1/2	口 径	12.9 12.4			細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。					C I
第249図 PL.309	74	土師器 杯(C)	1/3	口 径	15.9 16.5	高	7.6	細砂粒・褐色粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り、 稜下にナデ部分が残る。口唇端部は平坦面をつくる。					C I ①aア
第249図	75	土師器 杯(C)	1/5	口 径	14.9 14.2			細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は窪みをもつ平坦面をつくる。					C II
第249図	76	土師器 杯(C)	口縁部～体部片	口 径	12.4 12.3			細砂粒/良好/明赤 褐	口唇端部はごく細い凹線が1条巡る。口縁部は横ナデ、 体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。					C I
第250図 PL.309	77	土師器 高杯	1/2	口 径	14.2 8.6	高	8.9	細砂粒/良好/橙	杯身部は底部に突起状差し込みで脚部と接合。杯身部は口 縁部が横ナデ、体部は上半がナデ、下半はヘラナデ。脚部 は横ナデか。内面は杯身部体部から口縁部に右傾の斜放射 状ヘラ磨き。脚部垂ヘラナデ。					E I
第250図 PL.309	78	土師器 高杯	脚部片	脚	9.9			細砂粒/良好/橙	杯身部と脚部は接合。脚部は横ナデ、内面は上半がヘラナ デ。					
第250図 PL.309	79	土師器 椀	口縁部等一部欠 損	口 径	13.4 14.9	高	10.3	細砂粒/良好/浅黄 橙	口縁部から頸部は横ナデ、体部上位から中位はヘラナデ、 下位から底部はヘラ削り、体部と底部にはヘラ磨きが施さ れているが、単位等不鮮明。内面は底部から体部にヘラナ デ。					C
第250図 PL.310	80	土師器 杯(D)	1/2	口 径	15.9			細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手 持ちヘラ削り。内面は体部上半に右傾の斜放射状ヘラ磨 き。					D III
第250図	81	土師器 小型壺	1/3	口 径	11.6 15.0			細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上半が横方向のヘラ磨 き、 下半から底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナ デ。					
第250図 PL.310	82	土師器 小型壺	底部～胴部	頸 径	10.1 13.0	底	5.4	細砂粒/良好/明赤 褐	胴部上半はナデ、下半はヘラ削り、底部はナデ。内面は器 面剥落のため整形不明。					C ①
第250図	83	土師器 甌	底部周縁小片	底	8.0			細砂粒/良好/にぶ い赤褐	胴部下位・底部端部はヘラ削り。内面はヘラナデ。					
第250図 PL.310	84	土師器? 壺	口縁部片	口 径	18.0			細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口唇部は横ナデ、口縁部はヘラ磨きか。					
第250図 PL.310	85	土師器 壺	口縁部～胴部上 位片	口 径	21.0			細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は横ナデ、胴部はヘラナデ。内面は口縁部上半が横 ナデ、下半から胴部がヘラナデ。					
第250図 PL.310	86	土師器 壺	胴部一部欠損	口 径	14.8 27.8	底 高	8.8 31.8	細砂粒/良好/浅黄 橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラナデ、底部はヘラ削 り。内面は胴部がヘラナデ、器面磨滅のため単位不明。					B ②
第250図 PL.310	87	土師器 小型甕	2/3	口 径	18.1 19.5	底 高	7.6 19.3	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい橙	内面胴部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、胴部はナ デ、 底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。					C III
第251図	88	土師器 小型甕	口縁部下半～胴 部上半片					細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、胴部は器面磨滅のため不鮮明。内面は胴 部がヘラナデ。					
第251図	89	土師器 甕	口縁部～頸部片	口 径	16.4			細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。内面は器面剥落のため整形不明。					
第251図	90	土師器 甕	底部～胴部下位 片	底	4.7			細砂粒/良好/にぶ い橙	底部は木葉痕が残る、胴部はヘラ削り。内面はヘラナデ後、 底部中央から放射状のヘラ磨き。					
第251図 PL.310	91	土師器 壺	口縁部～胴部上 位片	口 径	16.2			細砂粒/良好/橙	内面胴部に輪積み痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴 部はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ。					
第251図	92	土師器 甕	口縁部小片	口 径	18.0			細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は内外面とも横ナデ。					
第251図	93	土師器 甕	口縁部小片	口 径	23.6			細砂粒/良好/にぶ い黄橙	内外面ともヘラ磨き、外面は単位不鮮明。					
第251図 PL.310	94	須恵器 杯蓋	天井部片					細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか。天井部は回転ヘラ削り。					
第251図 PL.310	95	須恵器 甌	胴部片	頸 径	6.0 13.8			細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形。胴部下位から底部はヘラナデ、一部に平行叩 き痕が残る。胴部中位に凹線による区画、区画内に波状文 が巡る。					
第251図 PL.310	96	須恵器 瓶	胴部片					細砂粒/還元焰/灰	外面は平行叩き痕、内面は同心円状アテ具痕が残るが、破 片の上半と下半では叩き板、アテ具が異なる。					97と同一個体 か
第251図 PL.311	97	須恵器 瓶	胴部片					細砂粒/還元焰/灰	外面は平行叩き痕、内面は同心円状アテ具痕が残るが、破 片の上半と下半では叩き板、アテ具が異なる。					96と同一個体 か
第251図 PL.311	98	須恵器 壺	口縁部片	口 径	21.0			細砂粒/還元焰/灰	口縁部に断面三角形の凸帯が巡る。					
第251図 PL.311	99	石製品 石製模造品 (剣形)	1/2	長 幅	(3.6) (2.1)	厚 重	0.5 5.8	滑石	灰色。孔径約1.5mm。孔は表裏面ともに外に向かい緩や かに広がっており両面穿孔の可能性ある。					
第251図 PL.311	100	石製品 白玉	1/2	長 幅	1.1 (0.6)	厚 重	0.3 0.24	葉ろう石	オリーブ灰色。表面と側面は丁寧に研磨整形されており光 沢がある。内面(孔)も滑らかである。裏面は平坦でなく凹 凸が認められる。					
第251図 PL.311	101	石製品 白玉	完形	長 幅	0.6 0.7	厚 重	0.4 0.22	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。 側面は中央にわずかな張りがあり斜め方向の擦痕が認めら れる。孔径約2mm。					
挿図 PL.No.		製作技法	大別	細分	色	残存度	長さ	最大径	上面径	孔径	重さ	備考		
第251図 PL.311	102	引き伸ばし	カリ	P I I	淡青	完形	3.2	4.8	3.5	1.7	0.09			
第251図 PL.311	103	引き伸ばし	カリ	P I I	淡青	完形	3.8	4.3	2.8	1.5	0.11			
第251図 PL.311	104	引き伸ばし	カリ	P I I	淡青	完形	4.0	4.5	2.8	1.8	0.12			

42号竪穴建物

挿図 PL.No.	No.	種 類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
第262図 PL.311	1	土師器 杯(A)	1/2	口高	14.2 4.6		細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	AⅡ②c	
第262図	2	土師器 杯(A)	口縁部～体部片	口	13.4		細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は横ナデ、体部上半はナデ、下半はヘラナデ。内面は体部にヘラ磨きが施されているが、器面に土砂が付着しており方向や単位は不鮮明。	AⅠ	
第262図	3	土師器 杯(A)	口縁部～体部片	口	13.8		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部は上位がナデ、中位から底部はヘラ削り。内面は体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	AⅠ	
第262図	4	土師器 杯(B)	口縁部～底部片	口	13.8		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部はヘラ削り、器面磨滅のため単位不明。内面は体部から口縁部に左傾の斜放射状磨き、口縁部は器面剥落のため不明確。	BⅠ	
第262図	5	土師器 杯(B)	口縁部微細片	口最	11.0 12.0		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部はヘラ削り。内面は左頸の斜放射状ヘラ磨き。	BⅠ	
第262図 PL.311	6	土師器 杯(C)	3/4	口稜	12.8 12.6	高 5.6	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。口唇端部は平坦面をつくる。	CⅠ②a	
第262図	7	土師器 高杯	脚部片	脚	9.6		細砂粒/良好/橙	脚部はナデ、裾部は横ナデ。内面は脚部がヘラナデ。		
第262図	8	土師器 甕	口縁部片	口	19.6		細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は内外面とも横ナデ。		
第262図	9	土師器 甕	口縁部片	口	20.6		細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は内外面とも横ナデ。		
第263図 PL.311	10	土師器 小型甕	口縁部片	口	11.8		細砂粒/良好/橙	口縁部は内外面とも横ナデ。		
第263図 PL.311	11	土師器 甕	底部～胴部下位 片	底	6.5		細砂粒/良好/にぶ い褐	底部はヘラ削りか、器面磨滅のため不鮮明、胴部はヘラ削り後ヘラ磨き。内面はヘラナデ後ヘラ磨き、器面磨滅のため単位不明。		
第263図 PL.311	12	須恵器 蓋	1/3	口稜	11.8 11.6		細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。天井部は回転ヘラ削り。		
第263図 PL.311	13	須恵器 甕	口縁部片	口	30.0		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形。口縁部は凹線による区画と区画内に波状文が巡る。		
第263図 PL.311	14	須恵器 甕	口縁部小片				細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、口縁部に波状文が巡る。		
第263図 PL.311	15	須恵器 甕	口縁部片				細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形。外面に波状文が施文。		
第263図 PL.311	16	須恵器 甕	頸部～胴部片				細砂粒/還元焰/灰	頸部はナデ、胴部は平行叩き痕が残る。内面は胴部に同心円状アテ具痕が残る。外面は降灰が付着。		
第263図 PL.311	17	須恵器 甕	胴部片				細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰	内面胴部に輪積み痕が残る。外面は平行叩き痕が残る。内面にはアテ具痕がかすかに残る。		
第263図 PL.311	18	須恵器 甕	胴部片				細砂粒/還元焰/褐 灰	外面は平行叩き後間隔をあけて幅0.5cmほどのヘラナデ。内面はアテ具痕をナデ消しているが、かすかに同心円状アテ具痕が残る。		
第263図 PL.311	19	礫 棒状礫	完形	長幅	12.3 6.7	厚重	3.9 419.3	石英閃緑岩	棒状の円礫を利用する。表面に赤色物質の付着部位が散在する。赤色物質の付着状況は良好でない。表面の中央に漏斗状の凹みが認められる。	42堅-42
第263図 PL.311	20	礫 棒状礫	完形	長幅	12.5 5.8	厚重	4.2 440.2	石英閃緑岩	棒状の垂円礫を利用する。中央部のほぼ全周にわたり帯状に赤色物質が付着する。全体的に赤色物質の付着状況は良好でない。	42堅-27
第263図 PL.311	21	礫 棒状礫	完形	長幅	12.6 6.8	厚重	3.2 434.2	粗粒輝石安山岩	棒状の垂円礫を利用する。表面の中央に帯状に赤色物質が付着する。表面の左側に良好に赤色物質が認められる。	42堅-9
第263図 PL.311	22	礫 棒状礫	完形	長幅	12.8 6.6	厚重	4.4 508.8	粗粒輝石安山岩	棒状の垂円礫。赤色物質の付着は認められない。	42堅-45
第263図 PL.311	23	礫 棒状礫	完形	長幅	12.9 5.4	厚重	3.7 441.0	変質安山岩	棒状の垂円礫を利用する。表面から右側面の中央部やや上方に帯状に赤色物質が付着する。全体的に赤色物質の付着状況は良好でない。	42堅-31
第263図 PL.311	24	礫 棒状礫	完形	長幅	12.9 6.1	厚重	4.6 538.8	粗粒輝石安山岩	棒状の円礫を利用する。表面と右側面の一部において中央部から上方にかけて赤色物質が散在する。赤色物質の付着状況は良好でない。	42堅-48
第263図 PL.311	25	礫 棒状礫	完形	長幅	13.1 5.0	厚重	5.2 521.1	粗粒輝石安山岩	棒状の円礫を利用する。表面から右側面にかけて中央部に帯状に赤色物質が付着する。帯状の赤色部分では幅約2mmの線状の痕跡が折り重なるように認められる。全体的に良好に赤色物質が認められる。	42堅-12
第263図 PL.311	26	礫 棒状礫	完形	長幅	13.2 4.8	厚重	5.5 485.3	粗粒輝石安山岩	棒状の円礫を利用する。表面から上面にかけて赤色物質が付着する。上面に良好に赤色物質が認められる。	42堅-37
第263図 PL.311	27	礫 棒状礫	完形	長幅	13.3 6.1	厚重	4.0 474.4	変質安山岩	棒状の垂円礫。赤色物質の付着は認められない。	42堅-36
第263図 PL.311	28	礫 棒状礫	完形	長幅	13.3 5.5	厚重	4.5 465.3	変質安山岩	棒状の垂円礫を利用する。左側面から表面を経て右側面にかけて中央部に帯状に赤色物質が付着する。全体的に赤色物質の付着状況は良好でない。	42堅-43
第263図 PL.311	29	礫 棒状礫	完形	長幅	13.4 6.4	厚重	4.0 467.7	変質安山岩	棒状の垂円礫。赤色物質の付着は認められない。	42堅-49
第263図 PL.311	30	礫 棒状礫	完形	長幅	13.5 5.3	厚重	5.2 511.6	石英閃緑岩	棒状の垂円礫。赤色物質の付着は認められない。	42堅-28
第263図 PL.311	31	礫 棒状礫	完形	長幅	13.7 5.8	厚重	4.1 463.0	変質安山岩	棒状の垂円礫を利用する。表面から左側面を経て裏面にかけて中央部に帯状に赤色物質が付着する。正面の赤色部分では幅約3mmの線状の痕跡が認められる。表面の一部に比較的良好に赤色物質が認められる。	42堅-16
第264図 PL.312	32	礫 棒状礫	完形	長幅	13.7 6.9	厚重	4.6 639.0	変質安山岩	棒状の垂円礫を利用する。表面から左側面にかけての縁部付近において中央部に赤色物質がわずかに付着する。赤色物質の付着状況は良好でない。	42堅-24
第264図 PL.312	33	礫 棒状礫	ほぼ完形	長幅	13.8 6.1	厚重	4.8 581.8	変質安山岩	棒状の垂円礫を利用する。表面から右側面にかけて中央部に帯状に赤色物質が付着する。右側面に良好に赤色物質が認められる。	42堅-2

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				長 幅	厚 重	厚 重			
第264図 PL.312	34	礫 棒状礫	完形	13.8 6.7	4.7 554.3	変質安山岩	棒状の亜円礫を利用する。左側面から表面を経て右側面に かけて中央部に帯状に赤色物質が付着する。全体的に赤色 物質の付着状況は良好でない。	42堅-6	
第264図 PL.312	35	礫 棒状礫	完形	13.9 6.8	5.0 632.9	変質安山岩	棒状の円礫を利用する。中央部のほぼ全周にわたり帯状 に赤色物質が付着する。正面の帯状の赤色部分では幅約 4mmの線状の痕跡が折り重なるように認められる。正面 に良好に赤色物質が認められる。	42堅-20	
第264図 PL.312	36	礫 棒状礫	完形	13.9 7.0	4.5 654.9	変質安山岩	棒状の円礫を利用する。赤色物質の付着は認められない。 上下端部に敲打痕が認められる。	42堅-23	
第264図 PL.312	37	礫 棒状礫	完形	14.1 6.7	3.8 586.7	変質安山岩	棒状の亜円礫を利用する。表面から左側面にかけて中央部 に帯状に赤色物質が付着する。裏面の一部にも中央部に赤 色物質が付着する。表面に良好に赤色物質が認められる。	42堅-1	
第264図 PL.312	38	礫 棒状礫	完形	14.1 6.9	4.6 688.6	凝灰質砂岩	棒状の円礫を利用する。左側面から表面を経て右側面に かけて中央部に帯状に赤色物質が付着する。全体的に赤色物 質の付着状況は良好でない。	42堅-32	
第264図 PL.312	39	礫 棒状礫	完形	14.1 6.6	5.8 862.0	粗粒輝石安山岩	棒状の円礫を利用する。表面から右側面を経て裏面に かけて中央部に帯状に赤色物質が付着する。表面の赤色部分 では幅約4mmの線状の痕跡が認められる。全体的に赤色物 質の付着状況は良好でない。	42堅-50	
第264図 PL.312	40	礫 棒状礫	完形	14.2 5.4	4.5 474.3	変質安山岩	棒状の亜円礫を利用する。正面と右側面の一部において中 央部に帯状に赤色物質が付着する。全体的に赤色物質の付 着状況は良好でない。	42堅-26	
第264図 PL.312	41	礫 棒状礫	完形	14.5 6.3	4.8 604.4	変質安山岩	棒状の亜円礫を利用する。表面から左側面にかけて中央部 に帯状に赤色物質が付着する。表面の赤色部分では幅約 3mmの線状の痕跡が認められる。表面に良好に赤色物質 が認められる。	42堅-4	
第264図 PL.312	42	礫 棒状礫	完形	14.5 7.0	4.0 539.3	変質安山岩	棒状の亜円礫。赤色物質の付着は認められない。	42堅-39	
第264図 PL.312	43	礫 棒状礫	完形	14.8 6.9	4.9 722.1	粗粒輝石安山岩	棒状の円礫を利用する。中央部の全周にわたり帯状に赤色 物質が付着する。全体的に良好に赤色物質が認められる。	42堅-7	
第264図 PL.312	44	礫 棒状礫	完形	15.0 7.5	5.3 810.5	変質安山岩	棒状の円礫を利用する。表面から右側面にかけての縁辺部 において中央部に帯状に赤色物質が付着する。また裏面 の一部でも中央付近に赤色物質が付着する。縁辺部の赤色部 分では幅約3mmの線状の痕跡が認められる。全体的に赤 色物質の付着状況は良好でない。	42堅-29	
第264図 PL.312	45	礫 棒状礫	完形	15.1 6.1	4.9 643.4	石英閃緑岩	棒状の亜円礫。赤色物質の付着は認められない。	42堅-51	
第264図 PL.312	46	礫 棒状礫	完形	15.2 7.9	4.4 729.8	変質安山岩	棒状の亜円礫を利用する。中央部の全周にわたり帯状に赤 色物質が付着する。表面の赤色部分では幅約4mmの線状 の痕跡が折り重なるように認められる。表面から右側面 にかけての縁辺部付近に良好に赤色物質が認められる。	42堅-18	
第264図 PL.312	47	礫 棒状礫	完形	15.2 6.8	5.1 707.7	石英閃緑岩	棒状の円礫を利用する。表面から左側面の中央部に帯状に 赤色物質の付着が認められる。裏面の中央部にも帯状に赤 色物質の付着が認められる。表面の一部に比較的良好に赤 色物質が認められる。	42堅-34	
第264図 PL.312	48	礫 棒状礫	完形	15.4 7.0	4.5 586.3	粗粒輝石安山岩	棒状の亜円礫を利用する。表面から右側面の上方にかけて 中央部に帯状に赤色物質が付着する。また正面下方にも帯 状に赤色物質が付着する。中央部の帯状の赤色部分では幅 約4mmの線状の痕跡が折り重なるように認められる。表 面の中央部に良好に赤色物質が認められる。	42堅-13	
第264図 PL.312	49	礫 棒状礫	完形	15.7 7.3	4.6 765.9	粗粒輝石安山岩	棒状の亜円礫。赤色物質の付着は認められない。	42堅-30	
第265図 PL.312	50	礫 棒状礫	完形	(15.9) 7.6	5.8 910.8	石英閃緑岩	棒状の亜円礫を利用する。表面と裏面の一部において中央 部に帯状に赤色物質が付着する。全体的に赤色物質の付着 状況は良好でない。	42堅-22	
第265図 PL.312	51	礫 棒状礫	完形	16.0 5.7	4.5 618.7	細粒輝石安山岩	棒状の亜円礫を利用する。表面から左側面にかけて中央部 から上方に赤色物質が付着する。正面の赤色物質の付着状 況は比較的良好である。	42堅-53	
第265図 PL.312	52	礫 棒状礫	完形	16.0 6.2	5.5 830.1	変質安山岩	棒状の亜円礫を利用する。表面から右側面を経て裏面の一 部にかけて中央部に帯状に赤色物質が付着する。全体的に 良好に赤色物質が認められる。	42堅-10	
第265図 PL.312	53	礫 棒状礫	完形	16.2 6.5	3.9 553.2	変質安山岩	棒状の亜円礫を利用する。表面から左側面にかけて中央部 に帯状に赤色物質が付着する。全体的に良好に赤色物質が 認められる。	42堅-11	
第265図 PL.312	54	礫 棒状礫	ほぼ完形	16.5 8.0	5.6 947.7	粗粒輝石安山岩	棒状の円礫。赤色物質の付着は認められない。	42堅-38	
第265図 PL.312	55	礫 棒状礫	完形	16.7 7.8	5.2 1107.7	石英閃緑岩	棒状の円礫を利用する。表面と裏面の一部において中央部 のやや上方に帯状に赤色物質が付着する。表面の一部に良 好に赤色物質が認められる。	42堅-8	
第265図 PL.313	56	礫 棒状礫	完形	16.7 7.0	6.2 1121.0	変質安山岩	棒状の円礫を利用する。左側面から表面を経て右側面に かけて中央部やや上方に帯状に赤色物質が付着する。全体的 に赤色物質の付着状況は良好でない。	42堅-52	
第265図 PL.313	57	礫 棒状礫	完形	17.0 6.2	4.6 652.7	珪質頁岩	棒状の亜円礫を利用する。表面から左側面を経て裏面に かけて中央部に帯状に赤色物質が付着する。表面に良好に赤 色物質が認められる。	42堅-3	
第265図 PL.313	58	礫 棒状礫	完形	17.0 6.6	4.6 758.0	変質安山岩	棒状の円礫を利用する。表面から左側面にかけて中央部 に帯状に赤色物質が付着する。全体的に赤色物質の付着状 況は良好でない。	42堅-25	
第265図 PL.313	59	礫 棒状礫	完形	17.1 7.9	5.0 987.1	変質安山岩	棒状の亜円礫を利用する。中央部の全周にわたり帯状に赤 色物質が付着する。全体的に赤色物質の付着状況は良好で ない。	42堅-5	
第265図 PL.313	60	礫 棒状礫	完形	17.1 8.3	4.5 1014.1	変質安山岩	棒状の亜円礫を利用する。表面から左側面を経て裏面に かけて中央部に帯状に赤色物質が付着する。表面の一部に比 較的良好に赤色物質が認められる。	42堅-14	

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				長 幅	厚 重	厚 重			
第265図 PL.313	61	礫 棒状礫	完形	17.1 6.8	4.6 780.0		細粒輝石安山岩	棒状の亜円礫を利用する。中央部のほぼ全周にわたり帯状に赤色物質が付着する。表面に比較的良好に赤色物質が認められる。	42堅-21
第265図 PL.313	62	礫 棒状礫	完形	17.2 6.2	4.2 601.5		変質安山岩	棒状の亜円礫を利用する。表面から右側面を経て裏面の一部にかけて中央部に帯状に赤色物質が付着する。正面の赤色部分では幅約3mmの線状の痕跡が認められる。表面の一部に比較的良好に赤色物質が認められる。	42堅-15
第265図 PL.313	63	礫 棒状礫	完形	17.2 6.8	5.0 959.8		かこう岩	棒状の円礫。赤色物質の付着は認められない。	42堅-33
第265図 PL.313	64	礫 棒状礫	完形	17.2 7.5	5.4 1096.6		閃緑岩	棒状の円礫を利用する。表面の中央に帯状に赤色物質が付着する。赤色物質の付着状況は良好でない。	42堅-47
第265図 PL.313	65	礫 棒状礫	完形	17.4 6.2	4.5 742.4		粗粒輝石安山岩	棒状の亜円礫を利用する。左側面から表面を経て右側面にかけて中央部に帯状に赤色物質が付着する。正面の帯状の赤色部分では幅約3mmの線状の痕跡が折り重なるように認められる。表面に良好に赤色物質が認められる。	42堅-17
第266図 PL.313	66	礫 棒状礫	完形	18.0 6.4	5.4 893.5		ひん岩	棒状の亜円礫を利用する。表面の中央の一部に赤色物質が付着する。赤色物質の付着状況は良好でない。	42堅-44
第266図 PL.313	67	礫 棒状礫	完形	18.4 6.7	3.9 703.5		変質安山岩	棒状の亜角礫を利用する。表面の中央部に帯状に赤色物質が付着する。全体的に赤色物質の付着状況は比較的良好である。	42堅-19
第266図 PL.313	68	礫 棒状礫	完形	18.7 8.0	4.8 1087.6		ひん岩	棒状の亜円礫を利用する。表面の中央部に赤色物質が付着する。赤色物質の付着状況は良好でない。	42堅-35
第266図 PL.313	69	礫 棒状礫	完形	19.2 7.6	5.0 947.1		ひん岩	棒状の円礫を利用する。表面から左側面を経て裏面の一部にかけて中央部に帯状に赤色物質が付着する。表面の下方にも赤色物質が付着する。表面の赤色部分では幅約3mmの線状の痕跡が認められる。表面の一部に比較的良好に赤色物質が認められる。	42堅-41
第266図 PL.313	70	礫 棒状礫	完形	19.2 7.8	5.8 1145.7		細粒輝石安山岩	棒状の円礫。赤色物質の付着は認められない。	42堅-40
第266図 PL.313	71	礫 棒状礫	完形	19.3 7.1	5.7 957.8		粗粒輝石安山岩	棒状の亜円礫。赤色物質の付着は認められない。	42堅-46
第266図 PL.313	72	石製品 砥石	完形	33.4 10.1	8.4 3523.9		粗粒輝石安山岩	大形の棒状円礫を利用する。表裏面のほぼ全面に滑らかな面が認められ砥面と考えられる。右側面の一部にも砥面が認められる。表面の砥面はほぼ平坦であり側面部との境界に研ぎ減りにより生じた想定される稜が形成される。表面の上方には線条痕があり敲打により生じた想定される凹みが認められる。	
第266図 PL.313	73	石製品 砥石	1/2	18.2 10.6	9.2 2616.1		粗粒輝石安山岩	表裏面と両側面は全体的に非常に滑らかであり砥面と想定される。表裏面には断面U字形の線条痕が認められる。上面は滑らかでなく砥面とは想定されないが部分的に線条痕が認められる。	
第266図 PL.313	74	石製品 砥石	完形	12.5 7.0	4.9 658.3		粗粒輝石安山岩	円礫を利用する。裏面のやや上方に非常に滑らかな面が形成されている。また表面の中央と裏面の上方に線条痕が集中しており砥石と判断した。	

8号平地建物

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口 径	底 高	厚 重			
第268図	1	土師器 杯(A)	口縁部～体部片	14.9			細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部から体部上半は横ナデ、下半はヘラ削り。内面は体部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第268図	2	土師器 杯(B)	口縁部小片	12.3 13.0			細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ。内面は体部から口縁部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第268図	3	土師器 杯(C)	口縁部小片	12.0 10.6			細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。	
第268図	4	土師器 杯(C)	口縁部下半～体 部小片	12.1			細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)は手持ちヘラ削り。	
第268図	5	土師器 甕	口縁部片	15.0			細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は内外面とも横ナデ。	
第268図	6	土師器 甕	口縁部小片				細砂粒/良好/明黄 褐	内外面とも口縁部は横ナデ。	
第269図 PL.314	7	土師器 壺	口縁部一部欠損	19.8 47.0	8.8 54.6		細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は中位に段を有す。口縁部は横ナデ、胴部はヘラ磨き、上位は器面磨滅のため単位等不明。底部はヘラ削り。内面は頸部と底部から胴部はヘラナデ。	
第268図 PL.314	8	土師器 壺	口縁部～胴部 1/3	15.0 39.0			細砂粒/良好/浅黄 橙	内面胴部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、胴部はハケ目(1cmあたり6本)、上半は器面磨滅のため単位不鮮明。内面は胴部がヘラナデか。	
第268図 PL.314	9	須恵器 壺	口縁部の一部欠 損	21.2 13.0	25.0 29.4		細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰	口縁部はロクロ整形、凹線によって3段に区画、区画内に波状文が巡る。底部から胴部は平行叩き痕が残り、胴部上半には間隔をあけて。内面は底部から胴部に同心円状アテ具痕が残る。	
第268図 PL.314	10	須恵器 杯蓋	口縁部微細片	12.0			細砂粒/還元焰/黄 灰	ロクロ整形。	
第269図 PL.314	11	石製品 白玉	8平地建物 完形	0.7 0.7	0.4 0.29		滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央にわずかな張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	

1号掘立柱建物(赤玉)

第273図 PL.315	1	8	8.0	6.0+	5.9+	204.3+	2/3		
第273図 PL.315	2	20	6.0+	5.8+	3.4+	84.7+	1/3		
第273図 PL.315	3	40	7.3	7.3	6.0	329.1	完形	山形	
第273図 PL.315	4	3	7.0	7.0	5.6+	295.4+	一部欠4/5	球形	別玉のくぼみあり

挿 図 PL.No	番号	取上番号	長径	短径	高さ	重量g	残存	形状	備考
第273図 PL.315	5	2	6.9	6.8	6.7	340.9	完形	球形	
第273図 PL.315	6	5	6.8	6.7	5.7	278.6	完形	球形	
第273図 PL.315	7	41	7.1	7.0	6.0	289.1	完形	球形	
第273図 PL.315	8	1	7.0	6.8	6.3	229.3	完形	山形	
第274図 PL.315	9	4	7.0	6.8	7.0	360.2	完形	球形	
第274図 PL.315	10	10	6.0	5.3	5.4	253.4	完形	球形	
第274図 PL.315	11	42	7.1	6.9	7.1	373.8	完形	球形	
第274図 PL.316	12	9	7.0	6.9	6.4	285.0	完形	球形	
第275図 PL.316	13	11	7.3	6.8	5.7	309.2	完形	球形	
第275図 PL.316	14	6	7.1	6.7	5.7	287.8	完形	球形	
第275図 PL.316	15	7	7.0	6.9	5.4	339.4	完形	球形	
第274図 PL.316	16	104	5.2	4.8	3.0+	88.9+	1/2		
第274図 PL.316	17	106	4.8+	4.6+	3.3+	64.9+	2/3		
第274図 PL.316	18	49	3.2	3.0	1.8+	16.8+	1/10		
第274図 PL.316	19	48	7.1	6.8+	5.3+	244.3+	3/4		
第274図 PL.316	20	56	3.9	3.7+	3.2+	34.1+	1/10		
第275図 PL.316	21	57	5.6	4.3+	3.2+	69.8+	1/8		
第275図 PL.316	22	22	7.1	6.8	5.6	261.0	完形	山形	
第275図 PL.316	23	21	7.6+	7.4	6.0	265.3	ほぼ完形	山形	2割れ
第275図 PL.316	24	78	5.6+	4.8+	2.7+	63.2+	1/8		
第275図 PL.316	25	79	4.2	3.2	3.4+	36.1+	1/10		
第276図 PL.317	26	43	6.9	6.5	5.8	263.5	完形	山形	
第276図 PL.317	27	26	6.7	6.1	5.7	233.7	完形	山形	
第276図 PL.317	28	73	4.6	4.3	3.9	66.3+	1/8		
第276図 PL.317	29	62	7.1	6.6	4.1	201.5	完形	山形	上部変形
第276図 PL.317	30	63	3.6	3.1	2.0	15.6+	1/12		
第276図 PL.317	31	44	6.7	6.5	5.3	245.2	ほぼ完形	山形	
第276図 PL.317	32	64	5.4+	3.8+	2.3+	34.2+	1/10		
第276図 PL.317	33	27	7.1	6.2	5.2+	242.3+	3/4	山形	2割れ
第276図 PL.317	34	77	7.0+	6.1+	5.8+	159.3+	2/3	山形	底面に有機質の茎状の 痕跡あり
第276図 PL.317	35	50	7.2	6.1	6.0	235.6	ほぼ完形	山形	
第277図 PL.317	36	28	6.4	5.7+	4.8+	157.4+	崩壊3/4	山形	
第277図 PL.317	37	33	7.6	7.4	6.2	340.6	完形	山形	
第277図 PL.317	38	84	4.6	3.3+	3.2+	35.8+	1/10		
第277図 PL.318	39	74	6.6	6.4	5.9	238.5	完形	山形	
第277図 PL.318	40	30	8.6	7.5+	5.2+	247.7+	2/3	山形	2割れ
第277図 PL.317	41	31	6.3+	5.9+	4.2+	101.2+	崩壊1/3		
第277図 PL.318	42	81	7.4+	7.3	5.4	230.5+	2/3	山形	
第277図 PL.318	43	45	7.6	7.2	7.3	326.9	完形	山形	
第277図 PL.318	44	85	7.9	7.6+	3.9	164.2+	1/2	山形	
第277図 PL.318	45	82	8.0+	5.7+	4.6+	176.2+	ほぼ完形		崩壊
第278図 PL.318	46	39	7.0	6.5	5.5	243.6	完形	山形	
第278図 PL.318	47	52	6.9	6.7	5.5	260.6	完形	山形	

挿 図 PL.No	番号	取上番号	長径	短径	高さ	重量g	残存	形状	備考
第278図 PL.318	48	66	7.3	7.1	6.4	268.4	完形	山形	上部変形
第278図 PL.318	49	71	6.7	4.7	5.1	147.3+	2/3	山形	
第278図 PL.318	50	58	7.2	6.8	5.6	221.6+	ほぼ完形	山形	2割れ
第278図 PL.318	51	59	7.0	5.4	5.4	210.8+	完形	山形	上部変形
第278図 PL.319	52	67	7.6	7.0	5.8	304.3	完形	山形	
第278図 PL.319	53	69	6.8+	6.8	5.2	223.1+	一部欠	山形	
第278図 PL.319	54	65	6.7+	6.2	5.9	253.2+	一部欠	山形	
第279図 PL.319	55	24	7.1	7.0	5.4	258.8	完形	山形	
第279図 PL.319	56	80	7.0	6.4	6.1	245.4+	一部欠	変形山形	
第279図 PL.319	57	90	7.7	7.3	6.6	371.4	完形		
第279図 PL.319	58	103	6.8	6.5	5.8	232.0	完形	球形	上部変形別玉のくぼみあり
第279図 PL.319	59	102	7.8+	4.8+	5.0+	153.5+	1/3		
第279図 PL.319	60	91	7.4+	6.2+	4.8+	141.0+	1/4		
第279図 PL.319	61	88	7.0	7.0	5.8	290.3	ほぼ完形	球形	
第279図 PL.319	62	95	7.4	7.3	5.7	306.4	完形	山形	
第279図 PL.320	63	98	7.3	7.1	6.2	321.4	完形	山形	
第280図 PL.320	64	29	6.6	6.5	5.4	226.3	完形		
第280図 PL.320	65	93	6.8+	6.5	2.9+	181.9+	2/3		
第280図 PL.320	66	101	6.9	6.1	4.9	190.6+	ほぼ完形		
第280図 PL.320	67	100	8.0	6.7	5.4	276.2	完形	山形	
第280図 PL.320	68	32	6.2	4.3+	2.8+	49.4+	崩壊1/5		
第280図 PL.320	69	61	6.9	6.6	5.4	251.9	完形	山形	
第280図 PL.320	70	97	7.5+	6.5	6.0+	228.8+	ほぼ完形		
第280図 PL.320	71	99	7.2	6.6+	5.0	303.3+	2/3	山形	
第280図 PL.320	72	87	7.1	6.9	7.0	210.7+	3/4	山形	
第280図 PL.320	73	96	7.9	7.0	6.2	303.0+	完形	山形	
第281図 PL.320	74	86	8.0	8.0	5.8	340.6+	一部欠	山形	
第281図 PL.321	75	76	6.8+	6.4+	6.2	274.1+	3/4		別玉のくぼみあり
第281図 PL.321	76	83	7.5+	6.9+	5.6+	233.7+	2/3		
第281図 PL.321	77	94	7.5	7.2	5.3	272.2+	2/3	山形	
第281図 PL.321	78	75	7.7	7.4	4.6	227.1+	2/3	山形	
第281図 PL.321	79	89	7.6	6.6	5.2+	229.5+	2/3		圧痕の跡が明瞭に残る
第281図 PL.321	80	68	7.1	6.9	6.4	310.8	完形	山形	
第281図 PL.320	81	72	7.0	7.0	5.6	262.9+	完形	山形	
第282図 PL.321	82	70	8.4	7.2	5.8	325.8+	一部欠	山形	
第282図 PL.321	83	92	8.3	7.4	5.9+	256.6+	3/4	山形	
第282図 PL.321	84	13	8.0	7.1	6.1	319.8	完形	山形	
第282図 PL.321	85	55	7.1	7.0	5.2	263.6	完形	山形	
第282図 PL.322	86	14	7.0	6.6	5.4	236.3	完形	山形	
第282図 PL.322	87	15	7.8	6.9	6.0	311.1	完形	山形	
第282図 PL.322	88	60	7.3	6.3	6.0	275.9	完形	球形	
第282図 PL.322	89	16	7.5	6.9	5.8	297.9	完形	山形	
第282図 PL.322	90	38	6.0+	4.8+	3.8+	95.5+	1/4		

挿図 PL.No	番号	取上番号	長径	短径	高さ	重量g	残存	形状	備考		
第283図 PL.322	91	51	8.0	6.8	6.8	324.9+	一部欠	球形			
第283図 PL.322	92	54	8.1	7.7	5.3	297.9	完形	山形			
第283図 PL.322	93	23	8.0	7.5	6.2	363.1	完形	山形	底部に茎の圧痕が2条有り。		
第283図 PL.322	94	17	6.8	6.7	5.5	258.4	完形	球形			
第283図 PL.322	95	19	7.0	6.8	5.1	246.5	完形	山形			
第283図 PL.322	96	18	7.6	7.3	6.0	331.6	完形	山形			
第283図 PL.323	97	37	6.3+	5.0+	3.1+	96.8+	1/2	球形			
第283図 PL.323	98	53	5.0	4.9	4.8	83.8+	1/4				
第283図 PL.323	99	34	5.4+	5.0+	2.6+	69.4+	1/4				
第283図 PL.323	100	36	5.9+	5.1+	3.8+	110.3+	1/4				
第284図 PL.323	101	46	7.4	6.7	5.9	296.9	完形	山形			
第284図 PL.323	102	12	7.8	7.5	4.9	273.8	完形	球形			
第284図 PL.323	103	35	2.9	2.4+	1.9+	8.6+	1/8				
第284図 PL.323	104	47	7.4	6.6+	5.4	259.3+	完形	山形			
第284図 PL.323	105	107	6.4+	5.8+	4.7+	191.8+	破片				
第284図 PL.323	106	108	5.6+	4.4+	4.9+	163.1+	破片				
第284図 PL.323	107	109	6.7	5.4	3.1	104.9+	2/3		2割れ		
第284図 PL.323	108	109②	5.4+	4.5+	2.7+	55.7+					
第284図 PL.323	109	110	8.2+	5.4+	3.5+	100.6+	2/3		2割れ別玉のくぼみあり		
第284図 PL.323	110	110②	5.0+	3.5+	2.6+	36.6+					
第284図 PL.323	111	111	5.3+	5.1+	3.4+	72.0+	破片		3割れ		
第284図 PL.323	112	111②	4.9+	4.5+	3.4+	65.6+					
第284図 PL.324	113	113	5.4+	4.9+	2.8+	55.1+	破片				
第284図 PL.324	114	116	5.5+	3.9+	2.4+	計測不能	崩壊				
第284図 PL.324	115	116②	5.8+	5.1+	2.8+	59.8+					
第285図 PL.324	116	116③	5.6+	3.1+	2.1+	19.1+			2片		
第285図 PL.324	117	117	3.0+	3.1+	1.9+	16.4+					
第285図 PL.324	118	121	5.4	3.7	2.4	41.9+			9区3面S7ETC14④		
第285図 PL.324	119	122	4.4+	4.4+	2.0+	28.3+			9区3面S7ETC33		
第285図 PL.324	120	123	4.0	2.8+	1.4+	15.0+			9区3面S7ETC38		
第285図 PL.324	121	124	4.4+	3.1+	2.0+	23.9+			9区3面S7ETC40		
挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴		備考	
PL.324	122	土師器 杯(A)	口縁部～体部小片	口	13.8		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半はヘラ削り。内面は体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。			
PL.324	123	土師器 杯(B)	口縁部小片	口 最	15.8 16.8		細砂粒/良好/にぶい赤褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ。			
PL.324	124	土師器 杯(A)	口縁部～体部小片				細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ。内面は体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。			
PL.324	125	土師器 杯(C)	口縁部小片				細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。口唇端部は平坦面をつくる。			
第285図 PL.324	126	土師器 壺	口縁部一部欠損	口 胴	21.1 40.9	底 高	7.6× 8.2 45.8	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、胴部はハケ目(1cmあたり5～6本)後一部にヘラナデ、底部はヘラ削り。内面は口縁部がハケ目、底部から胴部はヘラナデか。		
PL.324	127	土師器 甕	底部～胴部下位小片	底	7.6		細砂粒/良好/灰黄	底部はヘラ削り、胴部はヘラナデか。内面は底部から胴部がヘラナデ。			

7号畠

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値				胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口	口	口	口			
第292図	1	土師器 杯(A)	口縁部～体部小片	口	13.0			細砂粒/良好/にぶい赤褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ。	A I
第292図	2	土師器 杯(B)	1/5	口	11.7 12.3			細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部はヘラ削り。内面は左傾の斜放射状ヘラ磨き。	B I
第292図	3	土師器 杯(C)	口縁部～体部小片	口	13.8 13.2			細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。口唇端部は平坦面をつくる。	C I
第292図	4	土師器 杯(C)	口縁部～体部小片	口	12.8 12.0			細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。口唇端部は平坦面をつくる。	C II
第292図	5	土師器 杯(C)	口縁部～体部小片	口	13.2 14.0			細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。口唇端部は平坦面をつくる。	C I
第292図	6	土師器 杯(C)	口縁部～体部小片	口	12.9 11.8			細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)は手持ちヘラ削り。口唇端部は平坦面をつくる。	C II
第292図	7	土師器 杯(C)	口縁部小片	口	13.8			細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。口唇端部は丸みをもつくり。	
第292図	8	土師器 椀	口縁部～体部小片	口	16.8			細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はヘラ削り。内面は体部がヘラナデ。	
第292図	9	土師器 小型壺	底部～胴部下位	底	4.0			細砂粒/良好/にぶい黄橙	底部はヘラ削り、胴部はヘラ磨き、単位不鮮明。内面はヘラナデ。	
第292図 PL.324	10	土師器 壺	口縁部～胴部中位片	口	16.2 24.4			細砂粒/良好/橙	内面胴部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り後ヘラナデ、胴部中位はヘラ削りが残る。内面は胴部にヘラナデ。	
第292図 PL.324	11	土師器 甗	口縁部～胴部上位片	口	19.0			細砂粒/良好/にぶい橙	内外面とも口縁部は横ナデ、胴部はヘラナデ。	
第292図	12	土師器 甗	口縁部小片	口	15.8			細砂粒/良好/浅黄	口縁部から頸部は横ナデ。内面は胴部がヘラナデ。	
第292図 PL.324	13	手捏ね土器 椀形	1/3	口	4.0 2.0	高	4.5	細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部は横ナデ、体部はヘラナデ。内面はナデ。	
第292図 PL.324	14	須恵器 甗	胴部上位小片					細砂粒/還元焰/褐敗	外面は平行叩き後間隔をあけたナデ、内面はアテ具痕をナデ消している。	

11号畠

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値				胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考					
				口	口	口	口								
第294図	1	土師器 杯(A)	口縁部～体部小片	口	15.0			細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ。内面は体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	A I					
第294図	2	土師器 小型甗	口縁部～胴部上位小片					細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、胴部はナデ。内面は胴部がヘラナデ。						
挿図 PL.No.	No.	細別器種	法量												
			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
第287図 PL.271	3	板状素材 (鉄錠)	2.4+	1.8	0.2										
			厚さ2mmの小型鉄板状品。上部は凸型に成形しているか？下端のワレは古いる。												

12号畠

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値				胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第295図	1	土師器 椀	口縁部～体部小片					細砂粒/良好/灰黄褐	口縁部から頸部は横ナデ、体部はヘラ磨き、器面磨滅のため単位不明。内面は体部がヘラナデ。	

6号畠

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値				胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第299図	1	土師器 杯(A)	口縁部小片	口	13.8			細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ。	
第299図	2	土師器 杯(C)	口縁部小片	口	12.0 10.6			細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)は手持ちヘラ削り。口唇端部は丸みをもつくり。	
第299図	3	土師器 甗	口縁部小片	口	24.0			細砂粒/良好/浅黄橙	口縁部は横ナデ、頸部は胴部からのヘラ削りが達している。	
第299図	4	土師器 甗	口縁部～胴部上位小片	口	29.4			細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部が縦方向のヘラナデ。	
第299図	5	土師器 甗	底部片	底	8.0			細砂粒/良好/明黄褐	底部と胴部はヘラ削り、器面磨滅のため単位不明。内面はヘラナデ。	
第299図	6	土師器 甗	底部～胴部下位	底	10.9			細砂粒/良好/橙	底部はヘラ削り、胴部には一部ハケ目が残る。内面はヘラナデ。	

8号畠

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値				胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第299図	1	土師器 椀	口縁部～体部小片	口	16.0			細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はヘラ削り。内面は体部に斜めのヘラ磨き。	
第299図	2	土師器 甗	頸部～胴部上半片	頸	13.6			細砂粒/良好/黒褐	頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り後のナデで単位など不明。内面は胴部がヘラナデ。	

3号祭祀遺構

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口高				
第428図 PL.325	1	土師器 杯(A)	P591 4/5	16.6 6.5		細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り。内面は体部に右傾の斜放射状へら磨き。	AI①b
第428図 PL.325	2	土師器 杯(A)	P582-2 口縁部・底部一 部欠損	16.7 7.6		細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り。内面は体部に右傾の斜放射状へら磨き。	AI①a
第428図 PL.325	3	土師器 杯(A)	P571-1・2 ほぼ完形	16.4 8.3		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り。内面は体部に右傾の斜放射状へら磨き。	AI①a
第428図 PL.325	4	土師器 杯(A)	P574-3 完形	15.4 5.6		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り。内面は体部に右傾の斜放射状へら磨き。	AI①c
第428図 PL.325	5	土師器 杯(A)	P612-2 口縁部・底部一 部欠損	15.2 8.4		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は右傾の斜放射状へら磨き。	AI①a
第428図 PL.325	6	土師器 杯(A)	P608-3 完形	14.7 5.9		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	AI②b
第428図 PL.325	7	土師器 杯(A)	PP600-5 完形	14.6 5.0		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	AI②c
第428図 PL.325	8	土師器 杯(A)	PP68-10 完形	14.6 4.6		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	AI②c
第428図 PL.325	9	土師器 杯(A)	P87-3 完形	14.5 5.1		細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は細かい手持ちへら削り。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	AI②c
第428図 PL.325	10	土師器 杯(A)	P64-9 ほぼ完形	14.5 4.8		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちへら削り。内面は体部に右傾の斜放射状へら磨き。	AI②c
第428図 PL.325	11	土師器 杯(A)	P532-9 完形	14.4 5.9		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部に右傾の斜放射状へら磨き。	AI②b
第428図 PL.325	12	土師器 杯(A)	P454-11 完形	14.3 5.9		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部はへら削り。内面は体部に右傾の斜放射状へら磨き。	AI②b
第428図 PL.325	13	土師器 杯(A)	P73-16 口縁部一部欠損	14.3 5.7		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちへら削り。内面は口縁部が横方向、底部周縁から体部に右傾の斜放射状へら磨き。	AI②b
第428図 PL.325	14	土師器 杯(A)	P499-1 口縁部1/4欠損	14.3 5.5		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	AI②b
第428図 PL.325	15	土師器 杯(A)	P81-2 ほぼ完形	14.2 5.9		細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上位と中位がナデ、下位から底部は手持ちへら削り。内面は体部に右傾の斜放射状へら磨き。	AI②b
第428図 PL.325	16	土師器 杯(A)	P544-4 ほぼ完形	14.2 5.6		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り。内面は体部に右傾の斜放射状へら磨き。	AI②b
第428図 PL.325	17	土師器 杯(A)	P617 完形	14.2 5.6		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り。内面は体部に右傾の斜放射状へら磨き。	AI②b
第428図 PL.325	18	土師器 杯(A)	P83-4 ほぼ完形	14.2 4.9		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部はへら削り。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	AI②b
第428図 PL.325	19	土師器 杯(A)	P80-6 ほぼ完形	14.1 6.0		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	AI②b
第428図 PL.325	20	土師器 杯(A)	P128-6 完形	14.1 5.5		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り。内面は体部に右傾の斜放射状へら磨き。	AI②b
第428図 PL.325	21	土師器 杯(A)	P82-6 口縁部・底部一 部欠損	14.1 5.3		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り。内面は左傾の斜放射状へら磨き。	AI②b
第428図 PL.325	22	土師器 杯(A)	P454-7 口縁部一部欠損	14.1 4.7		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	AI②c
第428図 PL.325	23	土師器 杯(A)	P493-3 完形	14.0 6.0		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部から底部はへら削り、体部はへらナデに近い。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	AI②c
第428図 PL.325	24	土師器 杯(A)	P73-10 口縁部一部欠損	14.0 5.4		細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り。内面は体部に右傾の斜放射状へら磨き。	AI②b
第428図 PL.325	25	土師器 杯(A)	P578-1 ほぼ完形	14.0 5.5		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちへら削り後部分的にへら磨き。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	AI②b
第428図 PL.325	26	土師器 杯(A)	P534-10 完形	14.0 5.4		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り。内面は体部に右傾の斜放射状へら磨き。	AI②b
第429図 PL.325	27	土師器 杯(A)	P457-1 ほぼ完形	14.0 5.4		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちへら削り。内面は体部に右傾の斜放射状へら磨き。	AI②b
第429図 PL.326	28	土師器 杯(A)	P64-11 ほぼ完形	14.0 5.3		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上位がナデ、中位から底部は手持ちへら削り。内面は体部に右傾の斜放射状へら磨き。	AI②b
第429図 PL.326	29	土師器 杯(A)	P457-5 ほぼ完形	14.0 5.1		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部の上位と中位はナデ、下位から底部は手持ちへら削り。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	AI②c
第429図 PL.326	30	土師器 杯(A)	P67-17 ほぼ完形	14.0 5.1		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り。内面は体部上半に右傾の斜放射状へら磨き。	AI②c
第429図 PL.326	31	土師器 杯(A)	P363 4/5	14.0 5.1		細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部に右傾の斜放射状へら磨き。	AI②c
第429図 PL.326	32	土師器 杯(A)	P107 完形	13.9 5.9		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ後へら磨き、体部から底部は手持ちへら削り。内面は底部がへらナデ、体部は斜格子状へら磨き。	AI③b
第429図 PL.326	33	土師器 杯(A)	P582-3 口唇部一部欠損	13.9 5.8		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部に右傾の斜放射状へら磨き。	AI③b
第429図 PL.326	34	土師器 杯(A)	P128-4 口縁部一部欠損	13.9 5.5		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り。内面は体部に右傾の斜放射状へら磨き。	AI③b
第429図 PL.326	35	土師器 杯(A)	P532-11 完形	13.9 5.4		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	AI③b
第429図 PL.326	36	土師器 杯(A)	P42-11 ほぼ完形	13.9 5.3		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部は上位・中位がナデ、下位から底部は手持ちへら削り。内面は体部上半に左傾の斜放射状へら磨き。	AI③b
第429図 PL.326	37	土師器 杯(A)	P616-6 口縁部一部欠損	13.9 4.9		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部に右傾の斜放射状へら磨き。	AI③b

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口高	高さ			
第429図 PL.326	38	土師器 杯(A)	P493-7・8 ほぼ完形	口高 4.9	13.9 4.9	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部はヘラナデ、単位不鮮明、底部はヘ ラ削り。内面は体部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	AI③b
第429図 PL.326	39	土師器 杯(A)	P72-3 完形	口高 5.7	13.8 5.7	細砂粒/良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は 体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	AI③b
第429図 PL.326	40	土師器 杯(A)	P89-11 完形	口高 5.5	13.8 5.5	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上位がナデ、中位から底部は手持 ちヘラ削り。内面は底部周縁から体部に右傾の斜放射状ヘ ラ磨き。	AI③b
第429図 PL.326	41	土師器 杯(A)	P96-9 ほぼ完形	口高 5.4	13.8 5.4	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面田 体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	AI③b
第429図 PL.326	42	土師器 杯(A)	P56-2・3 口縁部他一部欠 損	口高 5.2	13.8 5.2	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。内 面は体部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	AI③b
第429図 PL.326	43	土師器 杯(A)	P57-2 完形	口高 4.9	13.8 4.9	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持 ちヘラ削り。内面は体部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	AI③b
第429図 PL.326	44	土師器 杯(A)	P84-7 口唇部一部欠損	口高 5.0	13.8 5.0	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持 ちヘラ削り。内面は体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	AI③c
第429図 PL.326	45	土師器 杯(A)	P788-1 完形	口高 5.0	13.8 5.0	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持 ちヘラ削り。内面は体部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	内面体部にス ス付着か。
第429図 PL.326	46	土師器 杯(A)	P583-4 完形	口高 5.0	13.8 5.0	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持 ちヘラ削り。内面は体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	AI③c
第429図 PL.326	47	土師器 杯(A)	P57-5 完形	口高 4.7	13.8 4.7	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は 体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	AI③c
第429図 PL.326	48	土師器 杯(A)	P43-3 1/2	口高 3.5	13.8 3.5	細砂粒・粗砂粒/ 良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持 ちヘラ削り。内面は体部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	AI③c
第429図 PL.326	49	土師器 杯(A)	P478-2 ほぼ完形	口高 5.7	13.7 5.7	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持 ちヘラ削り。内面は体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	AI③b海線 骨針?
第429図 PL.326	50	土師器 杯(A)	P455-14 完形	口高 5.5	13.7 5.5	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上位・中位がナデ、下位から底部 は手持ちヘラ削り。内面は体部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	AI③b
第429図 PL.326	51	土師器 杯(A)	P82-1 完形	口高 5.5	13.7 5.5	細砂粒/良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は 体部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	外面にスス付 着か。
第429図 PL.326	52	土師器 杯(A)	P531-3 口縁部一部欠損	口高 5.2	13.7 5.2	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持 ちヘラ削り。内面は体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	AI③b
第430図 PL.326	53	土師器 杯(A)	P61-3 完形	口高 5.1	13.7 5.1	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持 ちヘラ削り。内面は体部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	AI③c
第430図 PL.327	54	土師器 杯(A)	P579-3 完形	口高 5.6	13.8 5.6	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持 ちヘラ削り。内面は体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	AI③c
第430図 PL.327	55	土師器 杯(A)	P525-2 完形	口高 5.0	13.7 5.0	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部はヘラ 削り。内面は体部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	内外面に付着 物あり。
第430図 PL.327	56	土師器 杯(A)	P476-3 完形	口高 5.8	13.6 5.8	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は 体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	AI③b
第430図 PL.327	57	土師器 杯(A)	P366 7/8	口高 5.6	13.6 5.6	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は 体部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	AI③b
第430図 PL.327	58	土師器 杯(A)	P60-1 7/8	口高 5.4	13.6 5.4	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持 ちヘラ削り。内面は体部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	AI③b
第430図 PL.327	59	土師器 杯(A)	P73-17 完形	口高 5.5	13.6 5.5	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は 体部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	AI③b
第430図 PL.327	60	土師器 杯(A)	P485-6 ほぼ完形	口高 5.5	13.6 5.5	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持 ちヘラ削り。内面は体部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	AI③b
第430図 PL.327	61	土師器 杯(A)	P264 1/3	口高 5.3	13.6 5.3	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は 体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	AI③b
第430図 PL.327	62	土師器 杯(A)	P543-4 ほぼ完形	口高 5.1	13.6 5.1	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上位がナデ、中位から底部は手持 ちヘラ削り。内面は体部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	AI③b
第430図 PL.327	63	土師器 杯(A)	P583-2 口縁部一部欠損	口高 5.2	13.6 5.2	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上位がナデ、中位・下位はヘラ磨 き、底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に右傾の斜放射状 ヘラ磨き。	AI③b
第430図 PL.327	64	土師器 杯(A)	P54-6 口縁部一部欠損	口高 5.1	13.6 5.1	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は 体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	AI③b
第430図 PL.327	65	土師器 杯(A)	P609-3 完形	口高 5.1	13.6 5.1	細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持 ちヘラ削り。内面は体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	AI③b
第430図 PL.327	66	土師器 杯(A)	P456-7 完形	口高 5.0	13.6 5.0	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持 ちヘラ削り。内面は体部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	AI③c
第430図 PL.327	67	土師器 杯(A)	P527-8 ほぼ完形	口高 5.0	13.6 5.0	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は 体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	AI③c
第430図 PL.327	68	土師器 杯(A)	P445 完形	口高 5.5	13.5 5.5	細砂粒/良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は 体部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	AI③b
第430図 PL.327	69	土師器 杯(A)	P457-6 完形	口高 5.2	13.5 5.2	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持 ちヘラ削り。内面は体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	AI③b
第430図 PL.327	70	土師器 杯(A)	P37 ほぼ完形	口高 5.1	13.5 5.1	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は 体部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	AI③b
第430図 PL.327	71	土師器 杯(A)	P41-2 完形	口高 5.1	13.5 5.1	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持 ちヘラ削り。内面は体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	AI③b
第430図 PL.327	72	土師器 杯(A)	P49-1 完形	口高 5.0	13.5 5.0	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。内 面は体部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	AI③cベン ガラ付着か?
第430図 PL.327	73	土師器 杯(A)	P61-2 2/3	口高 4.8	13.5 4.8	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持 ちヘラ削り。内面は体部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	AI③c
第430図 PL.327	74	土師器 杯(A)	P77 完形	口高 4.6	13.5 4.6	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持 ちヘラ削り。内面は体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	AI③c
第430図 PL.327	75	土師器 杯(A)	P485-14 口縁部一部欠損	口高 4.6	13.5 4.6	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は 体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	AI③c
第430図 PL.327	76	土師器 杯(A)	P72-7 完形	口高 7.4	13.4 7.4	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持 ちヘラ削り。内面は体部上半に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	AI③a

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第430図 PL.327	77	土師器 杯(A)	P266-2 口縁部1/3欠損	口 高	13.4 5.5	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部上半から口縁部の一部に右傾の斜放射状へら磨き。	A I ③b
第430図 PL.327	78	土師器 杯(A)	P481-3 ほぼ完形	口 高	13.4 5.4	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り。内面は体部に右傾の斜放射状へら磨き。	A I ③b
第431図 PL.328	79	土師器 杯(A)	P481-2 完形	口 高	13.4 5.3	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り。内面は体部に右傾の斜放射状へら磨き。	A I ③b内面 底部に鉄器片 付着。T1。
第431図 PL.328	80	土師器 杯(A)	P502-8 ほぼ完形	口 高	13.4 5.4	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部に右傾の斜放射状へら磨き。	A I ③b
第431図 PL.328	81	土師器 杯(A)	P73-14 口唇部1/2欠損	口 高	13.4 5.1	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部に右傾の斜放射状へら磨き。	A I ③b
第431図 PL.328	82	土師器 杯(A)	P43-2 口縁部一部欠損	口 高	13.4 5.0	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	A I ③c
第431図 PL.328	83	土師器 杯(A)	P499-4 ほぼ完形	口 高	13.4 4.6	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部はへら削り。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	A I ③c
第431図 PL.328	84	土師器 杯(A)	P68-17 完形	口 高	13.3 5.8	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り。内面は体部に右傾の斜放射状へら磨き。	A I ③b
第431図 PL.328	85	土師器 杯(A)	P61-4 一部欠損	口 高	13.3 5.2	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	A I ③b
第431図 PL.328	86	土師器 杯(A)	P48-11 一部欠損	口 高	13.3 5.1	細砂粒/良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	A I ③b
第431図 PL.328	87	土師器 杯(A)	P493-1 完形	口 高	13.3 5.1	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部はへら削り。内面は体部に右傾の斜放射状へら磨き。	A I ③b
第431図 PL.328	88	土師器 杯(A)	P431-1 体部一部欠損	口 高	13.3 4.7	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	A I ③c
第431図 PL.328	89	土師器 杯(A)	P572 ほぼ完形	口 高	13.2 6.0	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部に右傾の斜放射状へら磨き。	A I ③b
第431図 PL.328	90	土師器 杯(A)	P455-13 完形	口 高	13.2 5.8	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り。内面は体部に右傾の斜放射状へら磨き。	A I ③b
第431図 PL.328	91	土師器 杯(A)	P579-6 口縁部・底部一 部欠損	口 高	13.2 5.4	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上位がナデ、中位から底部は手持ちへら削り。内面は底部周縁から体部に右傾の斜放射状へら磨き。	A I ③b
第431図 PL.328	92	土師器 杯(A)	P527-9 完形	口 高	13.2 4.9	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部に右傾の斜放射状へら磨き。	A I ③c
第431図 PL.328	93	土師器 杯(A)	P48-5 ほぼ完形	口 高	13.2 4.8	細砂粒/良好/明赤褐	外面の口縁部下に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り。内面は体部に右傾の斜放射状へら磨き。	A I ③c
第431図 PL.328	94	土師器 杯(A)	P84-2 完形	口 高	13.2 4.7	細砂粒/良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	A I ③c
第431図 PL.328	95	土師器 杯(A)	P90-10 底部一部欠損	口 高	13.1 5.8	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り、横ナデ下にナデが残る。内面は体部に右傾の斜放射状へら磨き。	A I ③b
第431図 PL.328	96	土師器 杯(A)	P574-5 口縁部一部欠損	口 高	13.1 5.6	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り。内面は体部に右傾の斜放射状へら磨き。	A I ③b
第431図 PL.328	97	土師器 杯(A)	P83-9 ほぼ完形	口 高	13.1 5.0	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部はへら削り。内面は体部に右傾の斜放射状へら磨き。	A I ③b
第431図 PL.328	98	土師器 杯(A)	P128-8 ほぼ完形	口 高	13.0 5.6	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上位がナデ、中位から底部は手持ちへら削り。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	A I ③b
第431図 PL.328	99	土師器 杯(A)	P472-2 ほぼ完形	口 高	13.0 5.6	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り。内面は体部に右傾の斜放射状へら磨き。	A I ③b
第431図 PL.328	100	土師器 杯(A)	P578-3 ほぼ完形	口 高	13.0 5.4	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	A I ③b
第431図 PL.328	101	土師器 杯(A)	P128-7 ほぼ完形	口 高	13.0 5.5	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上位がナデ、中位から底部は手持ちへら削り。内面は体部に右傾の斜放射状へら磨き。	A I ③b
第431図 PL.328	102	土師器 杯(A)	P269 完形	口 高	13.0 5.1	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちへら削り。内面は体部上半に左傾の斜放射状へら磨き。	A I ③b
第431図 PL.328	103	土師器 杯(A)	P94-1 底部一部欠損	口 高	13.0 4.5	細砂粒/良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	A I ③c
第431図 PL.328	104	土師器 杯(A)	P57-1 完形	口 高	13.0 4.6	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	A I ③c
第432図 PL.329	105	土師器 杯(A)	P491-2 口縁部一部欠損	口 高	12.9 5.5	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上位がナデ、中位から底部は手持ちへら削り。内面は体部に右傾の斜放射状へら磨き。	A I ④b内面 黒色処理。
第432図 PL.329	106	土師器 杯(A)	P47-4 口縁部一部欠損	口 高	12.8 5.4	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	A I ④b炭質 物付着。
第432図 PL.329	107	土師器 杯(A)	P90-15 ほぼ完形	口 高	12.8 5.4	0 細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り。内面は体部に右傾の斜放射状へら磨き。	A I ④b
第432図 PL.329	108	土師器 杯(A)	P52-3 完形	口 高	12.8 5.2	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	A I ④b
第432図 PL.329	109	土師器 杯(A)	P601-3 完形	口 高	12.8 5.3	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部に右傾の斜放射状へら磨き。	A I ④b
第432図 PL.329	110	土師器 杯(A)	P67-12 完形	口 高	12.8 5.1	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	A I ④b
第432図 PL.329	111	土師器 杯(A)	P67-18 完形	口 高	12.7 5.7	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り。内面は体部に右傾の斜放射状へら磨き。	A I ④b
第432図 PL.329	112	土師器 杯(A)	P485-10 口縁部一部欠損	口 高	12.6 4.6	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部に右傾の斜放射状へら磨き。	A I ④c
第432図 PL.329	113	土師器 杯(A)	P58-5 完形	口 高	12.4 4.6	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部に右傾の斜放射状へら磨き。	A I ④c

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第432図 PL.329	114	土師器 杯(A)	P456-5 完形	口 高	12.2 6.6	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	外面頸部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	A I ④a
第432図 PL.329	115	土師器 杯(A)	P458-2 完形	口 高	11.8 6.0	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	A I ④a
第432図 PL.329	116	土師器 杯(A)	P788-3 一部欠損	口 高	16.8 8.4	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部は上位がナデ、中位から底部は手持ちヘラ削り。内面は底部から体部にヘラ磨きか、単位不鮮明。	A II ①a内面 黒色処理。
第432図 PL.329	117	土師器 杯(A)	P126-4 口縁部一部欠損	口 高	15.7 6.7	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部上半に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	A II ①a
第432図 PL.329	118	土師器 杯(A)	P788-4 口縁部一部欠損	口 高	15.5 7.5	細砂粒/良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。外面と内面の口縁から体部は漆塗るか。	A II ①b
第432図 PL.329	119	土師器 杯(A)	P126-3 完形	口 高	15.4 8.2	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部上半に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	A II ①a
第432図 PL.329	120	土師器 杯(A)	P483 3/4	口 高	15.2 8.8	細砂粒/良好/橙	口縁部から頸部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部はヘラ削り。内面は体部上半に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	A II ①a
第432図 PL.329	121	土師器 杯(A)	P577-3 口縁部一部欠損	口 高	15.1 7.6	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	A II ①c
第432図 PL.329	122	土師器 杯(A)	P131 完形	口 高	15.1 7.6	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上位がナデ、中位から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	A II ①a
第432図 PL.329	123	土師器 杯(A)	P456-16 ほぼ完形	口 高	15.0 6.0	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	A II ①b
第432図 PL.330	124	土師器 杯(A)	P128-2 完形	口 高	14.9 8.0	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上位がナデ、中位から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	A II ②a
第432図 PL.330	125	土師器 杯(A)	P128-1 完形	口 高	14.8 9.4	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上位がナデ、中位から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	A II ②a
第432図 PL.330	126	土師器 杯(A)	P297 4/5	口 高	14.7 7.7	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上位がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	A II ②a
第433図 PL.330	127	土師器 杯(A)	P72-11 口唇部一部欠損	口 高	14.4 5.4	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部はヘラ削り後ナデ、底部は手持ちヘラ削りが残る。内面は底部がヘラナデ、体部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	A II ②a
第433図 PL.330	128	土師器 杯(A)	P266-3 ほぼ完形	口 高	14.4	高 4.6 細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部は上位がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	A II ②c
第433図 PL.330	129	土師器 杯(A)	P534-4 口縁部一部欠損	口 高	14.3 5.5	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	A II ②b
第433図 PL.330	130	土師器 杯(A)	P590-4 完形	口 高	14.2 5.5	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	A II ②b
第433図 PL.330	131	土師器 杯(A)	P225-2 完形	口 高	14.2 5.6	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	A II ②b
第433図 PL.330	132	土師器 杯(A)	P494-2 完形	口 高	14.2 4.8	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部から底部はヘラ削り、上半は器面磨滅のため不鮮明。内面は体部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	A II ②c
第433図 PL.330	133	土師器 杯(A)	P48-2 口縁部一部欠損	口 高	14.2 4.9	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削りか、器面磨滅のため単位不鮮明。内面は器面が荒れており整形不明。	A II ②c
第433図 PL.330	134	土師器 杯(A)	P83-8 ほぼ完形	口 高	14.1 5.6	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部はヘラ削り。内面は体部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	A II ②b
第433図 PL.330	135	土師器 杯(A)	P75 完形	口 高	14.1 5.2	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	A II ②c
第433図 PL.330	136	土師器 杯(A)	P609-1 完形	口 高	14.1 5.1	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	A II ②c
第433図 PL.330	137	土師器 杯(A)	P72-4 完形	口 高	14.0 5.3	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	A II ②b
第433図 PL.330	138	土師器 杯(A)	P582-4 ほぼ完形	口 高	14.0 5.3	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は器面剥落のため整形不明。	A II ②b
第433図 PL.330	139	土師器 杯(A)	P457-7 完形	口 高	14.0 4.8	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	A II ②c
第433図 PL.330	140	土師器 杯(A)	P51-3 完形	口 高	13.9 5.8	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部から底部はヘラ削り。内面は体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	A II ③炭質物 付着。
第433図 PL.330	141	土師器 杯(A)	P68-15 ほぼ完形	口 高	13.9 5.3	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部は上位がナデ、中位から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	A II ③b
第433図 PL.330	142	土師器 杯(A)	P48-6 ほぼ完形	口 高	13.9 5.3	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	A II ③b
第433図 PL.330	143	土師器 杯(A)	P48-10 ほぼ完形	口 高	13.9 5.0	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	A II ③c
第433図 PL.330	144	土師器 杯(A)	P51-1 ほぼ完形	口 高	13.9 5.0	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部から底部はヘラ削り、体部は器面磨滅のため単位等不鮮明。内面は体部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	A II ③c
第433図 PL.330	145	土師器 杯(A)	P454-1 口縁部一部欠損	口 高	13.9 4.8	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り後体部の一部にヘラ磨き。内面は体部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	A II ③c内面 黒色処理。
第433図 PL.330	146	土師器 杯(A)	P360 口縁部・底部一 部欠損	口 高	13.8 5.6	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	A II ③b
第433図 PL.331	147	土師器 杯(A)	P531-2 完形	口 高	13.8 5.6	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	A II ③b
第433図 PL.331	148	土師器 杯(A)	P527-6 口縁部・底部一 部欠損	口 高	13.8 5.4	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	A II ③b
第433図 PL.331	149	土師器 杯(A)	P59-3 ほぼ完形	口 高	13.8 5.3	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部上半に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	A II ③b
第433図 PL.331	150	土師器 杯(A)	P90-1 口縁部一部欠損	口 高	13.8 5.1	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	A II ③c

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第433図 PL.331	151	土師器 杯(A)	P245 1/2	口高 13.8 5.0		細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	AⅡ③c
第433図 PL.331	152	土師器 杯(A)	P455-6 ほぼ完形	口高 13.8 5.0		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り。内面は上部上半に左傾の斜放射状へら磨き。	AⅡ③c
第433図 PL.331	153	土師器 杯(A)	P456-2 完形	口高 13.8 4.9		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	AⅡ③c
第434図 PL.331	154	土師器 杯(A)	P559-10・11 口唇部・底部一 部欠損	口高 13.8 5.0		細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	AⅡ③c
第434図 PL.331	155	土師器 杯(A)	P62-1 ほぼ完形	口高 13.8 4.8		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	AⅡ③c炭質 物付着。
第434図 PL.331	156	土師器 杯(A)	P559-13 ほぼ完形	口高 13.8 4.6		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面はへら磨きか、器面剥落のため不鮮明。	AⅡ③c
第434図 PL.331	157	土師器 杯(A)	P312 口縁部・底部一 部欠損	口高 13.7 5.7		細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい橙	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちへら削り。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	AⅡ③b
第434図 PL.331	158	土師器 杯(A)	P94-9 口縁部一部欠損	口高 13.7 5.2		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちへら削り。内面は体部に右傾の斜放射状へら磨き。	AⅡ③b
第434図 PL.331	159	土師器 杯(A)	P43-6 完形	口高 13.7 5.2		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちへら削り。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	AⅡ③b
第434図 PL.331	160	土師器 杯(A)	P54-5 4/5	口高 13.6 5.7		細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部に右傾の斜放射状へら磨き。	AⅡ③b
第434図 PL.331	161	土師器 杯(A)	P590-5 完形	口高 13.6 5.6		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	AⅡ③b
第434図 PL.331	162	土師器 杯(A)	P73-4 完形	口高 13.6 5.3		細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部から口縁部に右傾の斜放射状へら磨き。	AⅡ③b
第434図 PL.331	163	土師器 杯(A)	P73-13 口唇部一部欠損	口高 13.6 5.2		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	AⅡ③b
第434図 PL.331	164	土師器 杯(A)	P476-1 口縁部一部欠損	口高 13.6 5.1		細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上位から中位がナデ、下位から底部は手持ちへら削り。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	AⅡ③b
第434図 PL.331	165	土師器 杯(A)	P54-4 完形	口高 13.6 5.1		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り。内面は底部に放射状へら磨き、体部に左傾の斜放射状へら磨き。	AⅡ③b
第434図 PL.331	166	土師器 杯(A)	P55-2 完形	口高 13.6 4.9		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り後体部はナデ。内面は底部周縁から体部に右傾の斜放射状へら磨き。	AⅡ③c
第434図 PL.331	167	土師器 杯(A)	P58-10 口縁部一部欠損	口高 13.5 5.7		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り、体部の上位は一部ナデ。内面は体部に右傾の斜放射状へら磨き。	AⅡ③b
第434図 PL.331	168	土師器 杯(A)	P64-10 完形	口高 13.5 5.1		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部に右傾の斜放射状へら磨き。	AⅡ③b
第434図 PL.331	169	土師器 杯(A)	P455-4 口縁部一部欠損	口高 13.5 5.0		細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部に右傾の斜放射状へら磨き。	AⅡ③c
第434図 PL.331	170	土師器 杯(A)	P499-5 口縁部一部欠損	口高 13.5 4.8		細砂粒/良好/にぶ い褐	口縁部は横ナデ、体部は上位がナデ、中位から底部は手持ちへら削り。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	AⅡ③c
第434図 PL.331	171	土師器 杯(A)	P59-4 7/8	口高 13.5 4.7		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部は上位・中位がナデ、下位から底部は手持ちへら削り。内面は体部に右傾の斜放射状へら磨き。	AⅡ③c
第434図 PL.331	172	土師器 杯(A)	P544-6 完形	口高 13.5 4.5		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	AⅡ③c
第434図 PL.331	173	土師器 杯(A)	P577-7 ほぼ完形	口高 13.4 5.8		細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り、体部の一部にへら磨き。内面は体部に右傾の斜放射状へら磨き。	AⅡ③b
第434図 PL.331	174	土師器 杯(A)	P569-1 完形	口高 13.4 5.4		細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り。内面は体部に右傾の斜放射状へら磨き。	AⅡ③b
第434図 PL.331	175	土師器 杯(A)	P498 口縁部一部欠損	口高 13.4 5.4		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	AⅡ③b
第434図 PL.331	176	土師器 杯(A)	P54-7 7/8	口高 13.4 4.8		細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	AⅡ③c
第434図 PL.332	177	土師器 杯(A)	P87-2 ほぼ完形	口高 13.4 4.9		細砂粒/良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部にへら磨きか、器面剥落のため不鮮明。	AⅡ③c
第434図 PL.332	178	土師器 杯(A)	P48-9 ほぼ完形	口高 13.4 4.9		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちへら削り。	AⅡ③c
第434図 PL.332	179	土師器 杯(A)	P73-5 完形	口高 13.4 4.8		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部に右傾の斜放射状へら磨き。	AⅡ③c
第434図 PL.332	180	土師器 杯(A)	P600-6 完形	口高 13.3 6.0		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部から口縁部に右傾の斜放射状へら磨き。	AⅡ③b
第434図 PL.332	181	土師器 杯(A)	P48-1 口縁部一部欠損	口高 13.3 5.2		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	AⅡ③b
第435図 PL.332	182	土師器 杯(A)	P82-2 ほぼ完形	口高 13.3 4.9		細砂粒/良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちへら削り。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	AⅡ③内外面 にスス付着。
第435図 PL.332	183	土師器 杯(A)	P788-2 口唇部の一部欠 損	口高 13.3 4.7		細砂粒/良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	AⅡ③c内面 黒色処理。
第435図 PL.332	184	土師器 杯(A)	P424 1/2	口高 13.3 4.7		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部に右傾の斜放射状へら磨き。	AⅡ③c
第435図 PL.332	185	土師器 杯(A)	P578-4 口縁部一部欠損	口高 13.3 4.6		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部に右傾の斜放射状へら磨き。	AⅡ③c
第435図 PL.332	186	土師器 杯(A)	P485-5 口縁部一部欠損	口高 13.2 4.9		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部に右傾の斜放射状へら磨き。	AⅡ③c

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
第435図 PL.332	187	土師器 杯(A)	P46-3 完形	口 高	13.2 4.8		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデか、下半から底部は手持ちへら削り。内面体部に左傾の斜放射状へら磨き。	AⅡ③c
第435図 PL.332	188	土師器 杯(A)	P544-5 完形	口 高	13.2 4.5		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちへら削り。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	AⅡ③c
第435図 PL.332	189	土師器 杯(A)	P134-2 ほぼ完形	口 高	13.1 4.9		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は細かい手持ちへら削り。内面は体部に右傾の斜放射状へら磨き。	AⅡ③c
第435図 PL.332	190	土師器 杯(A)	P134-3 口縁部一部欠損	口 高	13.0 5.0		細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	AⅡ③b
第435図 PL.332	191	土師器 杯(A)	P135-1 完形	口 高	13.0 4.8		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちへら削り。内面は体部に右傾の斜放射状へら磨き。	AⅡ③c
第435図 PL.332	192	土師器 杯(A)	P534-2 口縁部一部欠損	口 高	13.0 4.6		細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	AⅡ③c
第435図 PL.332	193	土師器 杯(A)	P495-3 完形	口 高	13.0 4.1		細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上位がナデ、中位・下位から底部は手持ちへら削り。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	AⅡ③c
第435図 PL.332	194	土師器 杯(A)	P595-3 ほぼ完形	口 高	12.9 5.4		細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部に右傾の斜放射状へら磨き。	AⅡ④b
第435図 PL.332	195	土師器 杯(A)	P83-1 ほぼ完形	口 高	12.9 4.9		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部はへら削り。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	AⅡ④b
第435図 PL.332	196	土師器 杯(A)	P44-2 口縁部一部欠損	口 高	12.8 5.2		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り、体部の一部はへら削りをナデ消している。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	AⅡ④b炭質 物付着。
第435図 PL.332	197	土師器 杯(A)	P54-2 ほぼ完形	口 高	12.8 4.9		細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちへら削り。内面は体部から口縁部に左傾の斜放射状へら磨き。	AⅡ④b
第435図 PL.332	198	土師器 杯(A)	P52-2 ほぼ完形	口 高	12.7 5.0		細砂粒/良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	AⅡ④b
第435図 PL.332	199	土師器 杯(A)	P47-2 ほぼ完形	口 高	12.4 5.0		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちへら削り。内面は体部から口縁部に左傾の斜放射状へら磨き。	AⅡ④b
第435図 PL.332	200	土師器 杯(A)	P64-8 ほぼ完形	口 高	11.8 6.7		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部に右傾の斜放射状へら磨き。	AⅡ④a
第435図 PL.333	201	土師器 杯(A)	P90-6 口唇部1/3欠損	口 高	14.3 5.5		細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り。内面は器面が荒れており整形不明。	AⅢ②b
第435図 PL.333	202	土師器 杯(A)	P67-6 完形	口 高	14.3 5.9		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部に雑な左傾の斜放射状へら磨き。	AⅢ②c
第435図 PL.333	203	土師器 杯(A)	P536-2 完形	口 高	14.2 5.6		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り。内面は体部に右傾の斜放射状へら磨き。	AⅢ②b
第435図 PL.333	204	土師器 杯(A)	P456-17 ほぼ完形	口 高	14.2 5.4		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	AⅢ②b
第435図 PL.333	205	土師器 杯(A)	P507-1 完形	口 高	14.2 5.3		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	AⅢ②c
第436図 PL.333	206	土師器 杯(A)	P678 完形	口 高	14.2 5.0		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り。内面は体部に右傾の斜放射状へら磨き。	AⅢ②c
第436図 PL.333	207	土師器 杯(A)	P534-16 完形	口 高	14.2 4.9		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り。内面は体部に右傾の斜放射状へら磨き。	AⅢ②c
第436図 PL.333	208	土師器 杯(A)	P57-8 完形	口 高	14.1 4.9		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	AⅢ②c
第436図 PL.333	209	土師器 杯(A)	P600-2 完形	口 高	14.0 5.0		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り。内面は体部に右傾の斜放射状へら磨き。	AⅢ②c
第436図 PL.333	210	土師器 杯(A)	P485-15 ほぼ完形	口 高	14.0 5.1		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちへら削り。内面は体部に右傾の斜放射状へら磨き。	AⅢ②c
第436図 PL.333	211	土師器 杯(A)	P614-2 完形	口 高	14.0 4.8		細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部に右傾の斜放射状へら磨き。	AⅢ②c
第436図 PL.333	212	土師器 杯(A)	P444 完形	口 高	14.0 4.6		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部上半に右傾の斜放射状へら磨き。	AⅢ②c
第436図 PL.333	213	土師器 杯(A)	P679 完形	口 高	13.9 4.8		細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り。内面は体部に右傾の斜放射状へら磨き。	AⅢ③c
第436図 PL.333	214	土師器 杯(A)	P86 完形	口 高	13.9 4.5		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り後へら磨き。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	一部にスス付 着か。 AⅢ③c
第436図 PL.333	215	土師器 杯(A)	P58-3 口縁部一部欠損	口 高	13.8 5.4		細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	AⅢ③b
第436図 PL.333	216	土師器 杯(A)	P477-4 ほぼ完形	口 高	13.8 5.0		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部は上位がナデ、中位から底部は手持ちへら削り。内面は体部に3～4本を単位とする斜格子状へら磨き。	AⅢ③c
第436図 PL.333	217	土師器 杯(A)	P608-1 口縁部一部欠損	口 高	13.8 4.8		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	AⅢ③c
第436図 PL.333	218	土師器 杯(A)	P609-2 ほぼ完形	口 高	13.7 5.1		細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り。内面は体部に右傾の斜放射状へら磨き。	AⅢ③c
第436図 PL.333	219	土師器 杯(A)	P103 ほぼ完形	口 高	13.7 5.1		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り後へら磨き。内面は体部に右傾の斜放射状へら磨き。	AⅢ③c
第436図 PL.333	220	土師器 杯(A)	P606 底部一部欠損	口 高	13.7 5.0		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	AⅢ③c
第436図 PL.333	221	土師器 杯(A)	P81-4 完形	口 高	13.7 5.0		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	AⅢ③c
第436図 PL.333	222	土師器 杯(A)	P55-3 ほぼ完形	口 高	13.7 4.8		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	AⅢ③c炭質 物付着。
第436図 PL.333	223	土師器 杯(A)	P583-1 ほぼ完形	口 高	13.6 5.3		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半はへら磨き、底部は手持ちへら削り。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	AⅢ③b

挿 図 PL.No.	No.	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計測値		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備 考
第436図 PL.333	224	土師器 杯(A)	P73-12 完形	口 高	13.5 5.4	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り。内面は体部に右傾の斜放射状へら磨き。	AⅢ③b
第436図 PL.333	225	土師器 杯(A)	P261-2 口縁部一部欠損	口 高	13.5 5.0	細砂粒/良好/明赤褐	外面口縁部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り。内面は体部上半に左傾の斜放射状へら磨き。	AⅢ③c
第436図 PL.333	226	土師器 杯(A)	P38 口唇部1/2欠損	口 高	13.4 5.2	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	AⅢ③b炭質物付着。
第436図 PL.333	227	土師器 杯(A)	P493-4 ほぼ完形	口 高	13.4 4.8	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部はへら削り。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	AⅢ③c
第436図 PL.333	228	土師器 杯(A)	P273 口縁部1/3欠損	口 高	13.4 4.8	細砂粒/良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部はへらナデ、一部にへら磨き。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	AⅢ③c
第436図 PL.333	229	土師器 杯(A)	P528-12 口唇部一部欠損	口 高	13.3 4.8	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	AⅢ③c
第436図 PL.333	230	土師器 杯(A)	P493-5 ほぼ完形	口 高	13.3 4.6	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部上半はナデ下半から底部はへら削り。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	AⅢ③c
第436図 PL.334	231	土師器 杯(A)	P503-3 ほぼ完形	口 高	13.2 4.5	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちへら削り。内面は体部上半に左傾の斜放射状へら磨き。	AⅢ③c
第436図 PL.334	232	土師器 杯(A)	P72-8 完形	口 高	13.2 4.5	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	AⅢ③b
第436図 PL.334	233	土師器 杯(A)	P127 口縁部・底部一 部欠損	口 高	13.2 4.4	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部はへら磨き。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	AⅢ③c
第436図 PL.334	234	土師器 杯(A)	P58-9 完形	口 高	13.2 4.7	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	AⅢ③c
第436図 PL.334	235	土師器 杯(A)	P456-3 完形	口 高	13.0 4.7	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上位と中位がナデ、下位から底部は手持ちへら削り。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	AⅢ③c
第436図 PL.334	236	土師器 杯(A)	P59-2 完形	口 高	13.0 4.4	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部に右傾の斜放射状へら磨き。	AⅢ③c
第437図 PL.334	237	土師器 杯(A)	P266-4 口縁部一部欠損	口 高	12.8 4.8	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は丁寧なへら削り、底部は手持ちへら削り。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	AⅢ④b
第437図 PL.334	238	土師器 杯(A)	P493-6 ほぼ完形	口 高	12.8 4.6	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部はへら削り。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	AⅢ④c
第437図 PL.334	239	土師器 杯(A)	P493-2 口縁部一部欠損	口 高	12.6 4.5	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上位から中位がナデ、下位から底部は手持ちへら削り。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	AⅢ④c
第437図 PL.334	240	土師器 杯(A)	P90-4 完形	口 高	14.8 5.3	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	AⅣ②c
第437図 PL.334	241	土師器 杯(A)	P456-11 口縁部一部欠損	口 高	14.3 5.2	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	AⅣ②c
第437図 PL.334	242	土師器 杯(A)	P494-3 口縁部・底部一 部欠損	口 高	13.9 4.7	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ体部から底部はへら削り、器面磨滅のため単位不明。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	AⅣ③c
第437図 PL.334	243	土師器 杯(A)	P346・347 ほぼ完形	口 高	13.7 5.1	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。底部中央に焼成後の穿孔、径2.0×1.8cm。	AⅣ③c
第437図 PL.334	244	土師器 杯(A)	P72-5 完形	口 高	13.5 4.6	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちへら削り。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	AⅣ③c
第437図 PL.334	245	土師器 杯(A)	P67-7 ほぼ完形	口 高	13.3 5.6	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部に右傾の斜放射状へら磨き。	AⅣ③b
第437図 PL.334	246	土師器 杯(A)	P569-2 完形	口 高	13.2 4.7	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	外面口縁部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	AⅣ③c
第437図 PL.334	247	土師器 杯(A)	P457-3 完形	口 高	13.2 4.9	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	AⅣ③c
第437図 PL.334	248	土師器 杯(A)	P485-4 完形	口 高	13.1 4.8	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部に右傾の斜放射状へら磨き。	AⅣ③c
第437図 PL.334	249	土師器 杯(A)	P225-3 ほぼ完形	口 高	13.0 4.8	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	AⅣ③c
第437図 PL.334	250	土師器 杯(A)	P67-2 完形	口 高	13.0 4.6	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちへら削り。内面は体部に右傾の斜放射状へら磨き。	AⅣ③c
第437図 PL.334	251	土師器 杯(A)	P532-8 底部欠損	口	16.8	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り。内面は体部に右傾の斜放射状へら磨き。	AⅠ
第437図 PL.334	252	土師器 杯(A)	P319 底部欠損	口	13.3	細砂粒/良好/にぶい赤褐	口縁部は横ナデ、体部はへら磨きに近いへら削り、底部は手持ちへら削り。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	AⅠ
第437図 PL.334	253	土師器 杯(A)	P532-6 底部欠損	口	16.3	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り、口縁部横ナデ下にナデが残る。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	AⅡ
第437図 PL.334	254	土師器 杯(A)	P48-3 口縁部～体部	口	14.3	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上位がナデ、中位から底部は手持ちへら削り。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	AⅡ
第437図 PL.334	255	土師器 杯(A)	P279 1/4	口	14.2	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	AⅡ
第437図 PL.334	256	土師器 杯(A)	P788-5 底部一部欠損	口 高	13.9 4.6	細砂粒/良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ後へら磨き、底部は手持ちへら削り。内面は体部に右傾の斜放射状へら磨き。	AⅡ
第437図 PL.334	257	土師器 杯(A)	P48-4 口縁部～体部	口	13.4	細砂粒/良好/明赤褐	外面体部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半はへらナデ。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	AⅡ
第437図 PL.334	258	土師器 杯(A)	P43-1 口縁部～体部片	口	13.0	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちへら削り。内面は体部にやや間隔ある左傾の斜放射状へら磨き。	AⅡ
第437図 PL.334	259	土師器 杯(A)	P578-5 5/6	口	12.7	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部の横ナデ以外は内外面とも器面剥落のため整形不明。	AⅡ
第437図 PL.334	260	土師器 杯(A)	P268 1/3	口	11.6	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。	AⅡ

挿 図 PL.No.	No.	種 類 器 種	出 土 位 置 残 存 率	計 測 値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
				口 最	高	口 最			
第438図 PL.335	261	土師器 杯(B)	P89-7 ほぼ完形	13.2 13.7	高	5.1	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部から口縁部に右傾の斜放射状へら磨き。	B I ①c
第438図 PL.335	262	土師器 杯(B)	P605-1 完形	13.0 13.5	高	5.7	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り。内面は体部から口縁部に左傾の斜放射状へら磨き。	B I ①a
第438図 PL.335	263	土師器 杯(B)	P499-3 完形	13.0 13.5	高	5.5	細砂粒/良好/赤褐	外面口縁部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、体部から底部はへら削り。内面は体部から口縁部に左傾の斜放射状へら磨き。	B I ①b
第438図 PL.335	264	土師器 杯(B)	P605-2 口縁部一部欠損	12.3 13.4	高	6.4	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り。内面は体部から口縁部に左傾の斜放射状へら磨き。	B I ①a
第438図 PL.335	265	土師器 杯(B)	P499-2 口縁部一部欠損	12.5 13.3	高	5.6	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り。内面は体部から口縁部に左傾の斜放射状へら磨き。	B I ①b
第438図 PL.335	266	土師器 杯(B)	P73-11 完形	12.6 13.0	高	5.6	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り後体部下半にへら磨き。内面は体部から口縁部にやや雑な左傾の斜放射状へら磨き。	B I ①a
第438図 PL.335	267	土師器 杯(B)	P534-2 完形	12.5 13.0	高	5.4	細砂粒/良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り。内面は体部から口縁部に右傾の斜放射状へら磨き。	B I ①b
第438図 PL.335	268	土師器 杯(B)	P457-2 完形	12.3 13.0	高	5.0	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り。内面は体部から口縁部にやや雑な左傾の斜放射状へら磨き。	B I ①c
第438図 PL.335	269	土師器 杯(B)	P58-2 完形	12.2 12.8	高	5.8	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上位がナデ、中位から底部は手持ちへら削り。内面は体部から口縁部に右傾の斜放射状へら磨き。	B I ②b
第438図 PL.335	270	土師器 杯(B)	P616-5 底部一部欠損	12.2 12.8	高	5.6	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部から口縁部に右傾の斜放射状へら磨き。	B I ②b
第438図 PL.335	271	土師器 杯(B)	P225-5 口縁部1/5欠損	12.3 12.8	高	5.5	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	B I ②b
第438図 PL.335	272	土師器 杯(B)	P456-8 完形	12.4 12.8	高	5.4	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部はへら磨き、上半は器面磨滅のため単位不明、底部は手持ちへら削り。内面は体部上半から口縁部に左傾の斜放射状へら磨き。	B I ②b
第438図 PL.335	273	土師器 杯(B)	P474-1 完形	12.3 12.8	高	5.4	細砂粒/良好/橙	外面口縁部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、体部から口縁部はへら削り。内面は体部から口縁部に左傾の斜放射状へら磨き。	B I ②b
第438図 PL.335	274	土師器 杯(B)	P58-11 口縁部一部欠損	12.2 12.8	高	5.3	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちへら削り。内面は体部上半から口縁部に右傾の斜放射状へら磨き。	B I ②b
第438図 PL.335	275	土師器 杯(B)	P89-6 口縁部一部欠損	12.2 12.7	高	5.5	細砂粒/良好/橙	口縁部から体部上位は横ナデ、体部中位はナデ、下位から底部は手持ちへら削り。内面は体部から口縁部に右傾の斜放射状へら磨き。	B I ②b
第438図 PL.335	276	土師器 杯(B)	P90-13 ほぼ完形	12.1 12.7	高	5.2	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上位がナデ、中位から底部は手持ちへら削り。内面は口縁部上半から口縁部に右傾の斜放射状へら磨き。	B I ②b
第438図 PL.335	277	土師器 杯(B)	P82-3 完形	12.1 12.6	高	5.4	細砂粒/良好/暗灰黄	口縁部は横ナデ、口縁部下にナデ部分が残る、体部から口縁部はへら削り。内面の整形は付着物のため不明。	付着物あり。 B I ②b
第438図 PL.335	278	土師器 杯(B)	P58-1 完形	12.5 5.1	高		細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部から口縁部に左傾の斜放射状へら磨き。	B I ②b
第438図 PL.335	279	土師器 杯(B)	P67-3 完形	11.9 12.5	高	5.0	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り、体部はへら磨き。内面は体部から口縁部に左傾の斜放射状へら磨き。大部分はススによって不明。	スス付着か。 B I ②b
第438図 PL.335	280	土師器 杯(B)	P90-9 完形	11.8 12.4	高	6.0	細砂粒・粗砂粒/ 良好/赤褐	外面体部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部から口縁部に大きく左傾の斜放射状へら磨き。	B I ②a
第438図 PL.335	281	土師器 杯(B)	P457-4 完形	11.9 12.4	高	4.9	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部から口縁部に右傾の斜放射状へら磨き。	B I ②b
第438図 PL.335	282	土師器 杯(B)	P456-13 完形	12.0 12.3	高	5.6	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部から口縁部に右傾の斜放射状へら磨き。	B I ②b
第438図 PL.336	283	土師器 杯(B)	P84-1 口縁部一部欠損	11.7 12.3	高	5.6	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上位がナデ、中位から底部は手持ちへら削り。内面は体部から口縁部に左傾の斜放射状へら磨き。	B I ②b
第438図 PL.336	284	土師器 杯(B)	P82-4 ほぼ完形	12.2 5.3	高		細砂粒/良好/橙	内外面口縁部は漆塗りか。口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り。	B I ②b
第439図 PL.336	285	土師器 杯(B)	P594-1 完形	11.6 12.2	高	5.5	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部から口縁部に左傾の斜放射状へら磨き。	B I ②b
第439図 PL.336	286	土師器 杯(B)	P490-4 ほぼ完形	11.5 12.2	高	5.2	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り。内面は体部から口縁部に左傾の斜放射状へら磨き。	B I ②b
第439図 PL.336	287	土師器 杯(B)	P83-5 完形	11.5 12.2	高	5.1	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、口縁部下にナデ部分が残る、体部から底部はへら削り。内面は体部上半から口縁部に左傾の斜放射状へら磨き。	B I ②b
第439図 PL.336	288	土師器 杯(B)	P225-4 完形	11.6 12.2	高	5.0	細砂粒/良好/明赤褐	外面体部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部から口縁部に左傾の斜放射状へら磨き。	B I ②b
第439図 PL.336	289	土師器 杯(B)	P68-3 ほぼ完形	11.5 12.0	高	4.6	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上位がナデ、中位から底部は手持ちへら削り。内面は体部から口縁部に左傾の斜放射状へら磨き。	B I ②b
第439図 PL.336	290	土師器 杯(B)	P68-1 完形	11.4 11.9	高	5.5	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちへら削り。内面は体部から口縁部に左傾の斜放射状へら磨き。	B I ③b
第439図 PL.336	291	土師器 杯(B)	P579-4・5 口縁部1/3欠損	11.0 11.4	高	5.3	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り後体部にへら磨き。内面は体部から口縁部に左傾の斜放射状へら磨き。	B I ③b

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口最	高	径			
第439図 PL.336	292	土師器 杯(B)	P467-2 ほぼ完形	口最 11.0 11.4	高 4.9	径	細砂粒/良好/橙	口縁部から体部上半は横ナデ、体部下半はナデ、底部は手持ちへら削り。内面は体部上半から口縁部に左傾の斜放射状へら磨き。	BⅠ③b
第439図 PL.336	293	土師器 杯(B)	P612-1 完形	口最 12.7 13.7	高 5.0	径	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り。内面は体部から口縁部に右傾の斜放射状へら磨き。	BⅡ①c
第439図 PL.336	294	土師器 杯(B)	P495-2 ほぼ完形	口最 13.0 13.6	高 6.0	径	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、中位・下位から底部は手持ちへら削り。内面は体部から口縁部に左傾の斜放射状へら磨き。	BⅡ①c
第439図 PL.336	295	土師器 杯(B)	P94-10 完形	口最 13.1 13.6	高 5.7	径	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部から口縁部に右傾の斜放射状へら磨き。	BⅡ①c
第439図 PL.336	296	土師器 杯(B)	P80-3・4 底部一部欠損	口最 12.7 13.5	高 5.9	径	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部から体部上位は横ナデ、体部中位から底部は手持ちへら削り。内面は体部から口縁部に右傾の斜放射状へら磨き。	BⅡ①c
第439図 PL.336	297	土師器 杯(B)	P616-2 口縁部一部欠損	口最 12.6 13.5	高 5.6	径	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら磨き。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	BⅡ①c
第439図 PL.336	298	土師器 杯(B)	P455-3 ほぼ完形	口最 12.8 13.5	高 5.4	径	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り。内面は体部から口縁部に左傾の斜放射状へら磨き。	BⅡ①c
第439図 PL.336	299	土師器 杯(B)	P74 ほぼ完形	口最 12.7 13.4	高 5.7	径	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り。内面は体部から口縁部に右傾の斜放射状へら磨き。	BⅡ①c
第439図 PL.336	300	土師器 杯(B)	P64-7 一部欠損	口最 12.9 13.4	高 5.5	径	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部から口縁部に左傾の斜放射状へら磨き。	BⅡ①c
第439図 PL.336	301	土師器 杯(B)	P581-1 ほぼ完形	口最 12.5 13.4	高 5.4	径	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部から体部上半は横ナデ、体部下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部上半から口縁部に右傾の斜放射状へら磨き。	BⅡ①c
第439図 PL.336	302	土師器 杯(B)	P55-1 ほぼ完形	口最 12.6 13.3	高 5.5	径	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部から口縁部に左傾の斜放射状へら磨き。	BⅡ①c炭質物 付着。
第439図 PL.336	303	土師器 杯(B)	P616-4 ほぼ完形	口最 12.6 13.3	高 6.0	径	細砂粒/良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り。内面は体部から口縁部に左傾の斜放射状へら磨き。	BⅡ①c
第439図 PL.336	304	土師器 杯(B)	P554-6 完形	口最 12.7 13.3	高 5.7	径	細砂粒/良好/明赤褐	外面口縁部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部上半から口縁部に左傾の斜放射状へら磨き。	BⅡ①c
第440図 PL.336	305	土師器 杯(B)	P68-20・21 ほぼ完形	口最 12.5 13.3	高 5.7	径	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部から口縁部に左傾の斜放射状へら磨き。	BⅡ①c
第440図 PL.336	306	土師器 杯(B)	P554-7 体部一部欠損	口最 12.5 13.2	高 6.0	径	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部はへら磨き、一部にナデが残る、底部は手持ちへら削り。内面は体部上半から口縁部に左傾の斜放射状へら磨き。	BⅡ①c
第440図 PL.336	307	土師器 杯(B)	P594-2 口縁部一部欠損	口最 12.4 13.2	高 5.8	径	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部から口縁部に右傾の斜放射状へら磨き。	BⅡ①c
第440図 PL.337	308	土師器 杯(B)	P94-5 完形	口最 12.4 13.2	高 5.5	径	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部上半から口縁部に右傾の斜放射状へら磨き。	BⅡ①c
第440図 PL.337	309	土師器 杯(B)	P578-2 完形	口最 12.4 13.1	高 5.8	径	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り。内面は体部から口縁部に左傾の斜放射状へら磨き。	BⅡ①c
第440図 PL.337	310	土師器 杯(B)	P601-2 口縁部一部欠損	口最 12.4 13.1	高 5.8	径	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半はへら磨き、底部は手持ちへら削り。内面は体部から口縁部に右傾の斜放射状へら磨き。	BⅡ①c
第440図 PL.337	311	土師器 杯(B)	P43-5 完形	口最 12.4 13.1	高 5.6	径	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部はへら削り。内面は体部上半から口縁部に右傾の斜放射状へら磨き。	BⅡ①c
第440図 PL.337	312	土師器 杯(B)	P454-2 ほぼ完形	口最 12.4 13.1	高 5.3	径	細砂粒/良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちへら削り。内面は体部から口縁部に左傾の斜放射状へら磨き。	BⅡ①c外面 スス付着か。
第440図 PL.337	313	土師器 杯(B)	P456-9 体部一部欠損	口最 12.1 13.0	高 5.9	径	細砂粒/良好/明赤褐	外面口縁部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り。内面は体部から口縁部に左傾の斜放射状へら磨き。	BⅡ①c
第440図 PL.337	314	土師器 杯(B)	P454-3 ほぼ完形	口最 12.1 13.0	高 5.8	径	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部から体部上位は横ナデ、体部中位はナデ、下位から底部は手持ちへら削り。内面は体部から口縁部に左傾の斜放射状へら磨き。	BⅡ①c
第440図 PL.337	315	土師器 杯(B)	P64-8・9 一部欠損	口最 12.4 13.0	高 5.8	径	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部から口縁部に左傾の斜放射状へら磨き。	BⅡ①c
第440図 PL.337	316	土師器 杯(B)	P343・344 底部一部欠損	口最 12.3 13.0	高 5.8	径	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちへら削り。内面は体部から口縁部に左傾の斜放射状へら磨き。	BⅡ①c
第440図 PL.337	317	土師器 杯(B)	P455-7 完形	口最 12.2 13.0	高 5.7	径	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部から体部上位は横ナデ、体部中位がナデ、下位から底部は手持ちへら削り。内面は体部から口縁部に左傾の斜放射状へら磨き。	BⅡ①c
第440図 PL.337	318	土師器 杯(B)	P365 ほぼ完形	口最 12.0 13.0	高 5.5	径	細砂粒/良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り。内面は底部周縁から体部・口縁部に右傾の斜放射状へら磨き。	BⅡ①c
第440図 PL.337	319	土師器 杯(B)	P43-4 完形	口最 12.3 13.0	高 5.5	径	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	BⅡ①c
第440図 PL.337	320	土師器 杯(B)	P47-1 完形	口最 12.4 13.0	高 5.3	径	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	BⅡ①c
第440図 PL.337	321	土師器 杯(B)	P502-3 口縁部一部欠損	口最 12.1 12.9	高 5.2	径	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部から口縁部に右傾の斜放射状へら磨き。	BⅡ②b
第440図 PL.337	322	土師器 杯(B)	P783 ほぼ完形	口最 12.3 12.9	高 5.0	径	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は口縁部に凹線が1条走り、体部から口縁部に右傾の斜放射状へら磨き。	BⅡ②c
第440図 PL.337	323	土師器 杯(B)	P44-1 ほぼ完形	口最 12.0 12.8	高 5.9	径	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部から口縁部に左傾の斜放射状へら磨き。	BⅡ②b

挿図 PL.No.	No.	種類 種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口 最	高	5.5			
第440図 PL.327	324	土師器 杯(B)	P261-1 ほぼ完形	口 最 11.8 12.8	高	5.5	細砂粒/良好/明赤褐 口縁部は横ナデ、体部はヘラナデ、底部は手持ちヘラ削り。 内面は体部から口縁部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	BⅡ②b	
第440図 PL.327	325	土師器 杯(B)	P58-12 底部一部欠損	口 最 12.2 12.8	高	5.3	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐 口縁部は横ナデ、体部は横方向のヘラ磨き、底部は手持ち ヘラ削り。内面は体部上半から口縁部に左傾の斜放射状ヘ ラ磨き。	BⅡ②b	
第440図 PL.327	326	土師器 杯(B)	P554-5 完形	口 最 12.0 12.8	高	5.1	細砂粒/良好/橙 口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は 体部から口縁部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	BⅡ②b	
第440図 PL.327	327	土師器 杯(B)	P65-6 完形	口 最 12.0 12.7	高	5.8	細砂粒/良好/明赤 褐 口縁部は横ナデ、体部は上位がナデ、中位から底部は手持 ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に左傾の斜放射状ヘラ 磨き。	BⅡ②b	
第440図 PL.327	328	土師器 杯(B)	P67-5 完形	口 最 12.1 12.7	高	5.5	細砂粒/良好/明赤 褐 口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。内 面は体部から口縁部に難な左傾の斜放射状ヘラ磨き。	BⅡ②b	
第440図 PL.327	329	土師器 杯(B)	P59-1 完形	口 最 11.8 12.7	高	5.5	細砂粒/良好/明赤 褐 口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。内 面は体部から口縁部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	BⅡ②b	
第441図 PL.327	330	土師器 杯(B)	P84-9 完形	口 最 12.1 12.7	高	5.4	細砂粒/良好/明赤 褐 口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持 ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に左傾の斜放射状ヘラ 磨き。	BⅡ②b底部 に焼成後穿 孔。	
第440図 PL.327	331	土師器 杯(B)	P57-6 完形	口 最 12.2 12.7	高	5.3	細砂粒/良好/にぶ い赤褐 口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は 体部から口縁部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	BⅡ②b	
第440図 PL.327	332	土師器 杯(B)	P467-5 ほぼ完形	口 最 12.0 12.7	高	4.9	細砂粒/良好/明赤 褐 口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。内 面は体部から口縁部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	BⅡ②c	
第441図 PL.338	333	土師器 杯(B)	P46-4・5 体部一部欠損	口 最 11.8 12.6	高	6.0	細砂粒/良好/明赤 褐 口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。	BⅡ②a炭質 物付着。	
第441図 PL.338	334	土師器 杯(B)	P559-8 完形	口 最 12.1 12.6	高 0	5.7	細砂粒/良好/明赤 褐 口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は 体部から口縁部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	BⅡ②b	
第441図 PL.338	335	土師器 杯(B)	P559-2 完形	口 最 11.8 12.6	高	5.7	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐 口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持 ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に左傾の斜放射状ヘラ 磨き。	BⅡ②b	
第441図 PL.338	336	土師器 杯(B)	P455-1 口縁部1/3欠損	口 最 12.0 12.6	高	5.5	細砂粒/良好/明赤 褐 口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。内 面は体部から口縁部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	BⅡ②b	
第441図 PL.338	337	土師器 杯(B)	P70-1 完形	口 最 11.7 12.6	高	5.6	細砂粒/良好/明赤 褐 口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は 体部から口縁部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	BⅡ②b	
第441図 PL.338	338	土師器 杯(B)	P543 完形	口 最 12.0 12.6	高	5.5	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐 口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は 体部から口縁部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	BⅡ②b	
第441図 PL.338	339	土師器 杯(B)	P507-5 完形	口 最 11.8 12.6	高	5.4	細砂粒/良好/明赤 褐 口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持 ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に左傾の斜放射状ヘラ 磨き。	BⅡ②b	
第441図 PL.338	340	土師器 杯(B)	P89-8 完形	口 最 12.0 12.6	高	5.4	細砂粒/良好/橙 口縁部は横ナデ、横ナデ後に体部から底部は手持ちヘラ削 り。	BⅡ②b	
第441図 PL.338	341	土師器 杯(B)	P54-3 ほぼ完形	口 最 12.0 12.6	高	5.0	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙 口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持 ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に左傾の斜放射状ヘラ 磨き。	BⅡ②b	
第441図 PL.338	342	土師器 杯(B)	P67-10 完形	口 最 11.9 12.6	高	5.0	細砂粒/良好/明赤 褐 口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。内 面は体部から口縁部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	BⅡ②b内面 黒色処理。	
第441図 PL.338	343	土師器 杯(B)	P65-11 体部一部欠損	口 最 11.8 12.5	高	6.0	細砂粒/良好/明赤 褐 口縁部は横ナデ、体部は上位がナデ、中位から底部は手持 ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に左傾の斜放射状ヘラ 磨き。	BⅡ②a	
第441図 PL.338	344	土師器 杯(B)	P73-1 口縁部1/3欠損	口 最 11.7 12.5	高	5.3	細砂粒/良好/明赤 褐 口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持 ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に左傾の斜放射状ヘラ 磨き。	BⅡ②b内面 黒色処理。	
第441図 PL.338	345	土師器 杯(B)	P68-8 完形	口 最 11.7 12.5	高	5.1	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙 口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 内面は体部から口縁部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	BⅡ②b	
第441図 PL.338	346	土師器 杯(B)	P455-5 ほぼ完形	口 最 11.5 12.4	高	5.8	細砂粒/良好/にぶ い赤褐 口縁部は横ナデ、体部は上位がナデ、中位から底部は手持 ちヘラ削り後ヘラ磨きを一部に施す。内面は体部から口縁 部下半に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	BⅡ②a一部 に炭化物付 着。	
第441図 PL.338	347	土師器 杯(B)	P65-9 完形	口 最 11.5 12.4	高	6.0	細砂粒/良好/明赤 褐 口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持 ちヘラ削り。内面は体部上半から口縁部に左傾の斜放射状 ヘラ磨き。	BⅡ②a	
第441図 PL.338	348	土師器 杯(B)	P68-11 ほぼ完形	口 最 11.6 12.4	高	5.6	細砂粒/良好/橙 口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は 体部から口縁部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	BⅡ②b	
第441図 PL.338	349	土師器 杯(B)	P90-8 完形	口 最 11.6 12.4	高	5.6	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐 口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は 体部から口縁部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	BⅡ②b	
第441図 PL.338	350	土師器 杯(B)	P47-3 完形	口 最 11.6 12.4	高	5.4	細砂粒/良好/明赤 褐 口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は 体部上半から口縁部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	BⅡ②b	
第441図 PL.338	351	土師器 杯(B)	P532-2 完形	口 最 11.8 12.4	高	5.3	細砂粒/良好/明赤 褐 口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。内 面は体部から口縁部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	BⅡ②b	
第441図 PL.338	352	土師器 杯(B)	P45 口縁部一部欠損	口 最 11.7 12.4	高	5.3	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐 口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。	BⅡ②b炭質 物付着。	
第441図 PL.339	353	土師器 杯(B)	P73-2 完形	口 最 11.6 12.4	高	5.2	細砂粒/良好/明赤 褐 口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削りか、器面 磨滅のため単位不鮮明。内面は体部から口縁部に左傾の斜 放射状ヘラ磨き。	BⅡ②b内面 の一部に炭 化物付着。	
第441図 PL.339	354	土師器 杯(B)	P65-3 ほぼ完形	口 最 11.5 12.3	高	5.5	細砂粒・粗砂粒/ 良好/赤褐 口縁部は横ナデ、体部は上位がナデ、中位から底部は手持 ちヘラ削り。内面は器面剥離のため整形不明。	BⅡ②b	
第441図 PL.339	355	土師器 杯(B)	P134-4 ほぼ完形	口 最 11.5 12.3	高	5.3	細砂粒/良好/明赤 褐 外面体部に輪積み痕が残る。口縁部から体部上半は横ナデ、 体部下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁 部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	BⅡ②b	
第441図 PL.339	356	土師器 杯(B)	P494-1 ほぼ完形	口 最 11.7 12.3	高	5.3	細砂粒/良好/橙 口縁部は横ナデ、体部は上半が器面磨滅のため不鮮明、下 半から底部はヘラ削り。内面は体部から口縁部に左傾の斜 放射状ヘラ磨き。	BⅡ②b	

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口最	高	底			
第442図 PL.339	357	土師器 杯(B)	P532-10 完形	口最 11.7 12.2	高 5.5	底	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	BⅡ②b
第442図 PL.339	358	土師器 杯(B)	P467-1 口縁部一部欠損	口最 11.5 12.2	高 5.0	底	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。内面は体部上半から口縁部に雑な斜格子状ヘラ磨き。	BⅡ②b
第442図 PL.339	359	土師器 杯(B)	P237-1 3/4	口最 11.1 12.0	高 5.6	底	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	BⅡ②a内面 黒色処理。
第442図 PL.339	360	土師器 杯(B)	P64-2・3 底部一部欠損	口最 11.5 12.0	高 5.6	底	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り、底部器面磨滅のため単位不鮮明。内面は体部から口縁部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	BⅡ②a
第442図 PL.339	361	土師器 杯(B)	P261-3 ほぼ完形	口最 11.0 12.0	高 5.5	底	細砂粒/良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	BⅡ②b
第442図 PL.339	362	土師器 杯(B)	P39 完形	口最 11.2 12.0	高 5.0	底	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	BⅡ②b
第442図 PL.339	363	土師器 杯(B)	P46-8 完形	口最 11.1 12.0	高 5.0	底	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に右傾の斜放射状ヘラ磨きか、単位不鮮明。	BⅡ②b炭質 物付着。
第442図 PL.339	364	土師器 杯(B)	P58-4 完形	口最 11.0 12.0	高 4.7	底	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	BⅡ②c
第442図 PL.339	365	土師器 杯(B)	P559-3 口縁部・体部一 部欠損	口最 10.9 11.9	高 5.9	底	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	BⅡ③a
第442図 PL.339	366	土師器 杯(B)	P225-1 完形	口最 10.8 11.9	高 5.9	底	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上位がナデ、中位から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	BⅡ③a
第442図 PL.339	367	土師器 杯(B)	P51-2 完形	口最 10.9 11.9	高 5.9	底	細砂粒/良好/橙	外面口縁部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ。体部はナデ、底部はヘラ削りか、器面磨滅のため不鮮明。内面は体部から口縁部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	BⅡ③a内外 面に付着物あり。
第442図 PL.339	368	土師器 杯(B)	P67-8 ほぼ完形	口最 11.2 11.9	高 5.6	底	細砂粒/良好/明赤 褐	外面体部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	BⅡ③a
第442図 PL.339	369	土師器 杯(B)	P44-5 ほぼ完形	口最 11.3 11.8	高 5.4	底	細砂粒・粗砂粒/ 良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上位がナデ、中位から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	BⅡ③b
第442図 PL.339	370	土師器 杯(B)	P559-4 3/4	口最 10.8 11.7	高 5.5	底	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に左傾の斜放射状ヘラ磨きか、器面剥落のため不鮮明。	BⅡ③a
第442図 PL.339	371	土師器 杯(B)	P544-2 口縁部・底部一 部欠損	口最 10.8 11.4	高 5.3	底	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	BⅡ③b
第442図 PL.339	372	土師器 杯(B)	P534-1 完形	口最 10.7 11.3	高 5.6	底	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	BⅡ③a
第442図 PL.339	373	土師器 杯(B)	P507-3 完形	口最 10.6 11.3	高 5.3	底	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	BⅡ③a
第442図 PL.339	374	土師器 杯(B)	P44-3 ほぼ完形	口最 10.0 11.1	高 6.2	底	細砂粒/良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。内面は底部から体部にヘラナデ。	BⅡ③a炭質 物付着。
第442図 PL.340	375	土師器 杯(B)	P495-6 完形	口最 12.1 13.4	高 5.6	底	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	BⅢ①b
第442図 PL.340	376	土師器 杯(B)	P64-6 完形	口最 12.2 13.2	高 5.9	底	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部から体部上位は横ナデ、中位はナデ、下位から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部から口唇部下に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	BⅢ①b
第442図 PL.340	377	土師器 杯(B)	P534-5 完形	口最 12.4 13.1	高 5.7	底	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	BⅢ①b
第442図 PL.340	378	土師器 杯(B)	P105 口縁部・底部一 部欠損	口最 11.9 13.0	高 6.0	底	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	BⅢ①b内面 黒色処理。
第443図 PL.340	379	土師器 杯(B)	P430-1 口縁部一部欠損	口最 11.7 12.9	高 5.5	底	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部はヘラ磨きか、単位不鮮明。底部は手持ちヘラ削り。内面は底部から体部がヘラナデ。	BⅢ②b炭質 物付着。
第443図 PL.340	380	土師器 杯(B)	P455-2 口唇部一部欠損	口最 11.6 12.8	高 5.5	底	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部から体部上位は横ナデ、体部中位はナデ、下位から底部は手持ちヘラ削り後部分的にヘラ磨き。内面は体部から口縁部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	BⅢ②bス ス付着。
第443図 PL.340	381	土師器 杯(B)	P543-2 完形	口最 11.9 12.8	高 5.4	底	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	BⅢ②b
第443図 PL.340	382	土師器 杯(B)	P65-12 完形	口最 11.7 12.7	高 5.9	底	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部は上位がナデ、中位から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	BⅢ②b
第443図 PL.340	383	土師器 杯(B)	P510 完形	口最 11.4 12.6	高 5.4	底	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部は上位がナデ、中位から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	BⅢ②b鉄器 付着(鉄器 No.34)
第443図 PL.340	384	土師器 杯(B)	P784 完形	口最 11.3 12.5	高 6.1	底	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部上半から口縁部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	BⅢ②a
第443図 PL.340	385	土師器 杯(B)	P577-5 完形	口最 11.2 12.4	高 6.2	底	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は底部周縁から口縁部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	BⅢ②a
第443図 PL.340	386	土師器 杯(B)	P93 ほぼ完形	口最 11.3 12.3	高 5.2	底	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	BⅢ②b
第443図 PL.340	387	土師器 杯(B)	P477-2 完形	口最 10.8 12.2	高 6.1	底	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上位がナデ、中位から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	BⅢ②a

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口 最	高	底			
第443図 PL.340	388	土師器 杯(B)	P534-8 完形	口 最 11.0 12.1	高 6.3	底	細砂粒/良好/にぶ い橙	外面口縁部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、体部から 底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に左傾の斜放射状ヘラ 磨き。	BⅢ②a
第443図 PL.340	389	土師器 杯(B)	P616-1 口縁部一部欠損	口 最 10.9 12.1	高 5.6	底	細砂粒/良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は 体部から口縁部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	BⅢ②b
第443図 PL.340	390	土師器 杯(B)	P56-1 ほぼ完形	口 最 11.4 12.1	高 5.3	底	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。内 面は体部から口縁部に左傾の斜放射状ヘラ磨きか、口縁部 は器面磨滅のため不鮮明。	BⅢ②b
第443図 PL.340	391	土師器 杯(B)	P89-9 完形	口 最 10.7 12.0	高 6.0	底	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は 体部から口縁部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	BⅢ②a
第443図 PL.340	392	土師器 杯(B)	P64-1 口縁部一部欠損	口 最 10.7 12.0	高 5.2	底	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持 ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に右傾の斜放射状ヘラ 磨き。	BⅢ②b
第443図 PL.341	393	土師器 杯(B)	P272 完形	口 最 10.6 11.9	高 5.7	底	細砂粒/良好/橙	外面口縁部に輪積み痕が残る。口縁部から体部上半は横ナ デ、体部下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部から 口縁部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	BⅢ③a
第443図 PL.341	394	土師器 杯(B)	P569-3・4 口縁部一部欠損	口 最 11.2 11.9	高 5.4	底	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は 体部から口縁部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	BⅢ③b
第443図 PL.341	395	土師器 杯(B)	P60-2 3/4	口 最 10.9 11.9	高 5.4	底	細砂粒/良好/橙	外面は器面剥落のため整形不明。内面は体部から口縁部に 左傾の斜放射状ヘラ磨き。	BⅢ③b
第443図 PL.341	396	土師器 杯(B)	P46-6 完形	口 最 10.5 11.7	高 5.8	底	細砂粒/良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。内 面は体部から口縁部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	BⅢ③a炭質 物付着。
第443図 PL.341	397	土師器 杯(B)	P534-18 ほぼ完形	口 最 10.2 11.4	高 5.9	底	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持 ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に右傾の斜放射状ヘラ 磨き。	BⅢ③a
第443図 PL.341	398	土師器 杯(B)	P126-6 ほぼ完形	口 最 10.5 11.4	高 5.4	底	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は 器面が荒れており整形不明。	BⅢ③a
第443図 PL.341	399	土師器 杯	P385 1/4	口 高 14.0 4.7		底	細砂粒/良好/にぶ い褐	口縁部は横ナデ、体部上半はナデ、下半はヘラ磨き、底部 はヘラ削り。内面は体部から口縁部に左傾の斜放射状ヘラ 磨き。	内面黒色処 理。
第443図 PL.341	400	土師器 杯(B)	P467-8 底部一部欠損	口 最 12.0 12.7		底	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持 ちヘラ削り。内面は口縁部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第443図 PL.341	401	土師器 杯(B)	P48-7 底部欠損	口 最 11.5 12.0		底	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削りか。 内面は体部から口縁部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	炭質物付着。
第443図 PL.341	402	土師器 杯(B)	P266-1 1/2	口 最 10.8 12.8		底	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。内 面は体部から口縁部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第444図 PL.341	403	土師器 杯(蓋模倣)	P577-2 ほぼ完形	口 最 16.6 16.6	高 8.2	底	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	CⅠ①a
第444図 PL.341	404	土師器 杯(蓋模倣)	P72-15 口縁部一部欠損	口 最 14.4 14.5	高 7.2	底	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は窪みをもつ平坦面をつくる。	CⅠ①a
第444図 PL.341	405	土師器 杯(蓋模倣)	P602-2 完形	口 最 14.0 13.4	高 6.0	底	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)は上半がナデ、下半から底部 は手持ちヘラ削り。口唇端部は幅広い平坦面をつくる。	CⅠ①a
第444図 PL.341	406	土師器 杯(蓋模倣)	P72-9 完形	口 最 13.7 14.0	高 6.6	底	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	CⅠ①a
第444図 PL.341	407	土師器 杯(蓋模倣)	P68-16 ほぼ完形	口 最 13.4 13.1	高 6.0	底	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は窪みをもつ平坦面をつくる。	CⅠ①a
第444図 PL.341	408	土師器 杯(蓋模倣)	P785 完形	口 最 13.2 13.1	高 6.1	底	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は2条のごく細い凹線が巡る平坦面をつくる。	CⅠ①a
第444図 PL.341	409	土師器 杯(蓋模倣)	P532-15 ほぼ完形	口 最 13.2 13.0	高 5.7	底	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部はごく細い凹線が巡る平坦面をつくる。	CⅠ①a
第444図 PL.341	410	土師器 杯(蓋模倣)	P528-11 ほぼ完形	口 最 13.2 13.4	高 5.4	底	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	CⅠ①a
第444図 PL.341	411	土師器 杯(蓋模倣)	P57-10 完形	口 最 13.2 13.0	高 5.2	底	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくるが、中程は窪みをもつ。	CⅠ①a
第444図 PL.341	412	土師器 杯(蓋模倣)	P589-1 体部一部欠損	口 最 12.2 12.7	高 6.0	底	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	CⅠ①a
第444図 PL.341	413	土師器 杯(蓋模倣)	P554-3 ほぼ完形	口 最 13.0 12.6	高 5.2	底	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	CⅠ①a
第444図 PL.342	414	土師器 杯(蓋模倣)	P454-9 ほぼ完形	口 最 14.7 15.3	高 7.5	底	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は丸みをもつつくり。	CⅠ①b
第444図 PL.342	415	土師器 杯(蓋模倣)	P454-10 完形	口 最 13.4 13.3	高 5.8	底	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は丸みをもつつくり。	CⅠ①b
第444図 PL.342	416	土師器 杯(蓋模倣)	P574-2 完形	口 最 13.1 13.8	高 5.4	底	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は丸みをもつつくり。	CⅠ①b
第444図 PL.342	417	土師器 杯(蓋模倣)	P79-5 底部一部欠損	口 最 13.0 13.2	高 6.4	底	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は丸みをもつつくり。	CⅠ①b
第444図 PL.342	418	土師器 杯(蓋模倣)	P602-3 底部一部欠損	口 最 13.0 13.0	高 5.7	底	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は丸みをもつつくり。	CⅠ①b
第444図 PL.342	419	土師器 杯(蓋模倣)	P431-2・3 底部~体部一部 欠損	口 最 13.0 13.2	高 5.5	底	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は丸みをもつつくり。	CⅠ①b
第445図 PL.342	420	土師器 杯(蓋模倣)	P94-11 完形	口 最 12.9 13.0	高 6.1	底	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は窪みをもつ平坦面をつくる。	CⅠ②a
第445図 PL.342	421	土師器 杯(蓋模倣)	P81-1 完形	口 最 12.9 12.8	高 5.7	底	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は窪みをもつ平坦面をつくる。	CⅠ②a
第445図 PL.342	422	土師器 杯(蓋模倣)	P94-6 口縁部一部欠損	口 最 12.9 13.0	高 5.7	底	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は窪みをもつ平坦面をつくる。	CⅠ②a
第445図 PL.342	423	土師器 杯(蓋模倣)	P68-9 完形	口 最 12.9 13.0	高 5.5	底	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	CⅠ②a内面 の一部にスス 付着。

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第445図 PL.342	424	土師器 杯(蓋模倣)	P490-2 ほぼ完形	口 稜	12.9 13.0	高 5.0	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	C I ②a
第445図 PL.342	425	土師器 杯(蓋模倣)	P579-2 底部一部欠損	口 稜	12.8 12.3	高 5.7	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)はナデ、底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	C I ②a
第445図 PL.342	426	土師器 杯(蓋模倣)	P454-6 完形	口 稜	12.8 13.1	高 5.7	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り、 体部に雑なヘラ磨き。口唇端部は平坦面をつくる。	C I ②a
第445図 PL.342	427	土師器 杯(蓋模倣)	P58-7 完形	口 稜	12.8 12.4	高 5.2	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り、 稜下はナデ。口唇端部は内傾する平坦面をつくる。	C I ②a
第445図 PL.342	428	土師器 杯(蓋模倣)	P559-6 口縁部・底部一 部欠損	口 稜	12.8 12.7	高 5.3	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は窪みを持つ平坦面をつくる。内面剥離。	C I ②a
第445図 PL.342	429	土師器 杯(蓋模倣)	P502-2 完形	口 稜	12.8 11.8	高 5.1	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	C I ②a
第445図 PL.342	430	土師器 杯(蓋模倣)	P73-8 ほぼ完形	口 稜	12.7 12.4	高 6.1	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	C I ②a
第445図 PL.342	431	土師器 杯(蓋模倣)	P541 完形	口 稜	12.7 13.0	高 6.1	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	C I ②a
第445図 PL.342	432	土師器 杯(蓋模倣)	P534-15 口縁部一部欠損	口 稜	12.7 12.5	高 5.9	細砂粒/良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	C I ②a
第445図 PL.342	433	土師器 杯(蓋模倣)	P601-1 完形	口 稜	12.7 12.9	高 5.8	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	C I ②a
第445図 PL.342	434	土師器 杯(蓋模倣)	P589-2 底部一部欠損	口 稜	12.7 12.6	高 5.5	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	C I ②a
第445図 PL.342	435	土師器 杯(蓋模倣)	P237-2 3/4	口 稜	12.7 12.7	高 5.5	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	C I ②a
第445図 PL.342	436	土師器 杯(蓋模倣)	P528-4 完形	口 稜	12.7 12.4	高 5.2	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は窪みをもつ平坦面をつくる。	C I ②a
第445図 PL.342	437	土師器 杯(蓋模倣)	P49-2 完形	口 稜	12.6 12.0	高 5.6	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	C I ②a
第445図 PL.343	438	土師器 杯(蓋模倣)	P532-5 ほぼ完形	口 稜	12.6 12.7	高 5.6	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	C I ②a
第445図 PL.343	439	土師器 杯(蓋模倣)	P53 完形	口 稜	12.6 12.4	高 5.5	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	C I ②a
第445図 PL.343	440	土師器 杯(蓋模倣)	P65-10 口縁部・底部一 部欠損	口 稜	12.6 12.4	高 5.4	細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	C I ②a
第445図 PL.343	441	土師器 杯(蓋模倣)	P583-3 口縁部一部欠損	口 稜	12.6 12.5	高 5.4	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	C I ②a
第445図 PL.343	442	土師器 杯(蓋模倣)	P503-1 口縁部一部欠損	口 稜	12.5 12.0	高 5.6	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部はゆるやかな窪みを持つ平坦面をつくる。	C I ②a
第446図 PL.434	443	土師器 杯(蓋模倣)	P252 1/2	口 稜	12.5 12.4	高 5.6	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	C I ②a
第446図 PL.434	444	土師器 杯(蓋模倣)	P79-2 完形	口 稜	12.5 12.4	高 5.4	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい赤褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	C I ②a
第446図 PL.434	445	土師器 杯(蓋模倣)	P65-5 底部一部欠損	口 稜	12.5 12.5	高 5.4	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	C I ②a
第446図 PL.434	446	土師器 杯(蓋模倣)	P527-7 完形	口 稜	12.5 12.4	高 5.4	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は窪みをもつ平坦面をつくる。	C I ②a
第446図 PL.434	447	土師器 杯(蓋模倣)	P495-4 完形	口 稜	12.5 12.5	高 5.3	細砂粒・粗砂粒・ 褐色粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)は上半がナデ、下半から底部 は手持ちヘラ削り。口唇端部は平坦面をつくる。	C I ②a
第446図 PL.434	448	土師器 杯(蓋模倣)	P65-2 口唇部一部欠損	口 稜	12.5 12.8	高 5.3	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)は上半がナデ、下半から底部 は手持ちヘラ削り。口唇端部は幅広の凹線が巡る面をつくる。	C I ②a
第446図 PL.434	449	土師器 杯(蓋模倣)	P90-7 口縁部・底部一 部欠損	口 稜	12.5 12.4	高 5.2	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は凹線が巡る平坦面をつくる。	C I ②a
第446図 PL.434	450	土師器 杯(蓋模倣)	P72-14 ほぼ完形	口 稜	12.5 12.5	高 5.3	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	C I ②a
第446図 PL.434	451	土師器 杯(蓋模倣)	P579-1 完形	口 稜	12.5 12.4	高 5.2	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	C I ②a
第446図 PL.434	452	土師器 杯(蓋模倣)	P72-10 口縁部一部欠損	口 稜	12.5 12.6	高 5.3	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	C I ②a
第446図 PL.434	453	土師器 杯(蓋模倣)	P65-4 完形	口 稜	12.5 12.5	高 5.2	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	C I ②a
第446図 PL.434	454	土師器 杯(蓋模倣)	P577-4 口縁部一部欠損	口 稜	12.5 12.0	高 5.0	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	C I ②a
第446図 PL.434	455	土師器 杯(蓋模倣)	P588-10 口唇部一部欠損	口 稜	12.5 12.0	高 5.0	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は窪みをもつ平坦面をつくる。	C I ②a
第446図 PL.434	456	土師器 杯(蓋模倣)	P65-4 ほぼ完形	口 稜	12.4 12.4	高 6.0	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	C I ②a
第446図 PL.434	457	土師器 杯(蓋模倣)	P544-1 口縁部一部欠損	口 稜	12.4 12.4	高 5.8	細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	C I ②a
第446図 PL.434	458	土師器 杯(蓋模倣)	P614-1 ほぼ完形	口 稜	12.4 12.4	高 5.8	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	C I ②a
第446図 PL.434	459	土師器 杯(蓋模倣)	P680 完形	口 稜	12.4 12.3	高 5.6	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は窪みをもつ平坦面をつくる。	C I ②a
第446図 PL.434	460	土師器 杯(蓋模倣)	P534-7 完形	口 稜	12.4 12.4	高 5.6	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	C I ②a

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値				胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口径	高さ	径	径			
第446図 PL.434	461	土師器 杯(蓋模倣)	P84-4 完形	口径 12.4 12.3	高 5.5	径	径	細砂粒/良好/外燻 /明赤褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	C I ②a
第446図 PL.434	462	土師器 杯(蓋模倣)	P485-13 口縁部一部欠損	口径 12.4 12.1	高 5.4	径	径	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は窪みをもつ平坦面をつくる。	C I ②a
第446図 PL.434	463	土師器 杯(蓋模倣)	P90-5 口縁部一部欠損	口径 12.4 12.0	高 5.4	径	径	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	C I ②a
第446図 PL.434	464	土師器 杯(蓋模倣)	P478-1 完形	口径 12.4	高 5.5	径	径	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	C I ②a
第446図 PL.344	465	土師器 杯(蓋模倣)	P559-12 ほぼ完形	口径 12.4 12.2	高 5.5	径	径	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	C I ②a
第446図 PL.344	466	土師器 杯(蓋模倣)	P534-14 完形	口径 12.4 12.2	高 5.3	径	径	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	C I ②a
第447図 PL.344	467	土師器 杯(蓋模倣)	P68-12 ほぼ完形	口径 12.4 12.4	高 5.3	径	径	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	C I ②a
第447図 PL.344	468	土師器 杯(蓋模倣)	P517-1 完形	口径 12.4 12.5	高 5.1	径	径	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	C I ②a
第447図 PL.344	469	土師器 杯(蓋模倣)	P518 ほぼ完形	口径 12.4 12.2	高 5.1	径	径	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	C I ②a
第447図 PL.344	470	土師器 杯(蓋模倣)	P527-2 完形	口径 12.4 12.3	高 5.1	径	径	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	C I ②a
第447図 PL.344	471	土師器 杯(蓋模倣)	P79-3・4 ほぼ完形	口径 12.4 12.5	高 4.6	径	径	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)は上半がナデ、下半から底部 は手持ちヘラ削り。口唇端部は平坦面をつくる。	C I ②a
第447図 PL.344	472	土師器 杯(蓋模倣)	P67-15 完形	口径 12.3 12.7	高 6.3	径	径	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部はごく細い凹線が巡る平坦面をつくる。	C I ②a
第447図 PL.344	473	土師器 杯(蓋模倣)	P68-4 ほぼ完形	口径 12.3 11.9	高 5.9	径	径	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	C I ②a
第447図 PL.344	474	土師器 杯(蓋模倣)	P534-9 ほぼ完形	口径 12.3 12.6	高 5.4	径	径	細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	C I ②a
第447図 PL.344	475	土師器 杯(蓋模倣)	P282 口縁部・底部一 部欠損	口径 12.3 12.2	高 5.2	径	径	細砂粒/良好/明赤 橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は窪みをもつ平坦面をつくる。	C I ②a
第447図 PL.344	476	土師器 杯(蓋模倣)	P523 ほぼ完形	口径 12.3 12.4	高 5.0	径	径	細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は凹線が巡る平坦面をつくる。	C I ②a
第447図 PL.344	477	土師器 杯(蓋模倣)	P476-2 完形	口径 12.2 12.4	高 6.1	径	径	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	C I ②a
第447図 PL.344	478	土師器 杯(蓋模倣)	P80-5 完形	口径 12.2 12.1	高 5.8	径	径	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	C I ②a
第447図 PL.344	479	土師器 杯(蓋模倣)	P229 口縁部一部欠損	口径 12.2 12.0	高 5.9	径	径	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部はごく細い凹線が2条巡る平坦面をつくる。	C I ②a
第447図 PL.344	480	土師器 杯(蓋模倣)	P73-15 ほぼ完形	口径 12.2 12.5	高 5.6	径	径	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は外傾する平坦面をつくる。	C I ②a
第447図 PL.344	481	土師器 杯(蓋模倣)	P559-9 口縁部一部欠損	口径 12.2 12.3	高 5.5	径	径	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	スス付着。 C I ②a
第447図 PL.344	482	土師器 杯(蓋模倣)	P527-5 口縁部・底部一 部欠損	口径 12.2 12.0	高 5.3	径	径	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	C I ②a
第447図 PL.344	483	土師器 杯(蓋模倣)	P68-7 口縁部一部欠損	口径 12.2 12.2	高 5.3	径	径	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	C I ②a
第447図 PL.344	484	土師器 杯(蓋模倣)	P89-3 完形	口径 12.2 12.2	高 5.2	径	径	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)はナデ、底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	C I ②a
第447図 PL.344	485	土師器 杯(蓋模倣)	P57-7 ほぼ完形	口径 12.2 11.9	高 5.1	径	径	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	C I ②a
第447図 PL.344	486	土師器 杯(蓋模倣)	P502-9 ほぼ完形	口径 12.2 12.4	高 5.0	径	径	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	C I ②a
第447図 PL.344	487	土師器 杯(蓋模倣)	P73-6 完形	口径 12.2 12.0	高 4.9	径	径	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をもつくり。	C I ②a
第447図 PL.344	488	土師器 杯(蓋模倣)	P68-6 完形	口径 12.2 12.0	高 4.6	径	径	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	C I ②a
第448図 PL.344	489	土師器 杯(蓋模倣)	P78-2 完形	口径 12.1 12.0	高 5.7	径	径	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	C I ②a
第448図 PL.344	490	土師器 杯(蓋模倣)	P527-3 口縁部一部欠損	口径 12.1 11.7	高 5.5	径	径	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	C I ②a
第448図 PL.344	491	土師器 杯(蓋模倣)	P528-8 ほぼ完形	口径 12.1 11.6	高 5.4	径	径	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は窪みをもつ平坦面をつくる。	C I ②a
第448図 PL.345	492	土師器 杯(蓋模倣)	P490-1 口縁部一部欠損	口径 12.1 12.1	高 5.3	径	径	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 器面磨滅のため単位不鮮明。口唇端部は平坦面をつくる。	C I ②a
第448図 PL.345	493	土師器 杯(蓋模倣)	P527-1 完形	口径 12.1 12.4	高 5.2	径	径	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	C I ②a
第448図 PL.345	494	土師器 杯(蓋模倣)	P528-6 口縁部・底部一 部欠損	口径 12.1 12.1	高 5.2	径	径	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は2条のごく細い凹線が巡る平坦面をつくる。	C I ②a
第448図 PL.345	495	土師器 杯(蓋模倣)	P57-9 ほぼ完形	口径 12.1 12.0	高 5.1	径	径	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	C I ②a
第448図 PL.345	496	土師器 杯(蓋模倣)	P58-8 完形	口径 12.1 12.2	高 4.9	径	径	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	C I ②a
第448図 PL.345	497	土師器 杯(蓋模倣)	P260 1/3	口径 12.1 11.6	高 4.5	径	径	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	C I ②a
第448図 PL.345	498	土師器 杯(蓋模倣)	P485-11 口縁部一部欠損	口径 12.0 12.3	高 5.5	径	径	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は窪みをもつ平坦面をつくる。	C I ②a
第448図 PL.345	499	土師器 杯(蓋模倣)	P66 底部一部欠損	口径 12.0 12.0	高 5.5	径	径	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。内面底部の大部分は器面剥離。	C I ②a

挿 図 PL.No.	No.	種 類	出土位置 残 存 率	計測値				胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備 考
				口	径	高	径			
第448図 PL.345	500	土師器 杯(蓋模倣)	P456-12 体部一部欠損	口	12.0 12.0	高	5.4	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇部は平坦面をつくる。	C I ②a
第448図 PL.345	501	土師器 杯(蓋模倣)	P485-17 ほぼ完形	口	12.0 11.7	高	5.3	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇部は平坦面をつくる。	C I ②a
第448図 PL.345	502	土師器 杯(蓋模倣)	P96-7 口縁部一部欠損	口	12.0 11.8	高	5.1	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇部は窪みをもつ平坦面をつくる。	C I ②a
第448図 PL.345	503	土師器 杯(蓋模倣)	P590-7 口縁部1/5欠損	口	12.0 12.3	高	5.1	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇部は平坦面をつくる。	C I ②a
第448図 PL.345	504	土師器 杯(蓋模倣)	P467-7 完形	口	12.0 12.1	高	5.0	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇部は窪みをもつ平坦面をつくる。	C I ②a
第448図 PL.345	505	土師器 杯(蓋模倣)	P485-16 ほぼ完形	口	12.0 12.2	高	4.5	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇部は平坦面をつくる。	C I ②a
第448図 PL.345	506	土師器 杯(蓋模倣)	P72-12 口唇部一部欠損	口	12.8 13.5	高	6.0	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は丁寧な手持ちヘラ 削り。内面口唇部に凹線が巡る	C I ②b
第448図 PL.345	507	土師器 杯(蓋模倣)	P84-6 完形	口	12.8 13.2	高	6.0	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇部は丸みをもつつくり。	C I ②b
第448図 PL.345	508	土師器 杯(蓋模倣)	P68-19 ほぼ完形	口	12.8 12.8	高	5.8	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇部は丸みをもつつくり。	C I ②b
第448図 PL.345	509	土師器 杯(蓋模倣)	P456-6 完形	口	12.7 12.4	高	4.9	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇部は丸みをもつつくり。	C I ②b
第448図 PL.345	510	土師器 杯(蓋模倣)	P536-1 底部1/4欠損	口	12.6 13.0	高	5.7	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇部は丸みをもつつくり。	C I ②b
第448図 PL.345	511	土師器 杯(蓋模倣)	P634 口縁部・底部一 部欠損	口	12.5 13.0	高	6.5	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇部は丸みをもつつくり。	C I ②b
第449図 PL.345	512	土師器 杯(蓋模倣)	P530 完形	口	12.5 12.7	高	5.8	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇部は丸みをもつつくり。	C I ②b
第449図 PL.345	513	土師器 杯(蓋模倣)	P67-13 完形	口	12.5 12.5	高	5.7	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇部は丸みをもつつくり。	C I ②b
第449図 PL.345	514	土師器 杯(蓋模倣)	P600-3 完形	口	12.5 12.8	高	5.6	細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇部は丸みをもつつくり。	C I ②b
第449図 PL.345	515	土師器 杯(蓋模倣)	P474-2 完形	口	12.5 13.0	高	5.4	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇部は丸みをもつつくり。	C I ②b
第449図 PL.345	516	土師器 杯(蓋模倣)	P539 完形	口	12.4 12.3	高	5.7	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇部は丸みをもつつくり。	C I ②b
第449図 PL.345	517	土師器 杯(蓋模倣)	P443-2 完形	口	12.2 12.3	高	5.8	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇部は丸みをもつつくり。	C I ②b
第449図 PL.346	518	土師器 杯(蓋模倣)	P78-3 ほぼ完形	口	11.9 12.1	高	5.5	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇部は平坦面をつくる。	C I ③b
第449図 PL.346	519	土師器 杯(蓋模倣)	P68-2 完形	口	11.9 11.8	高	5.5	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇部は平坦面をつくる。	C I ③a
第449図 PL.346	520	土師器 杯(蓋模倣)	P84-10 完形	口	11.9 11.9	高	5.4	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇部は平坦面をつくる。	C I ③a
第449図 PL.346	521	土師器 杯(蓋模倣)	P456-4 完形	口	11.9 11.5	高	4.6	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇部は平坦面をつくる。	C I ③a
第449図 PL.346	522	土師器 杯(蓋模倣)	P528-5 ほぼ完形	口	11.8 12.1	高	5.5	細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇部は平坦面をつくる。	C I ③a
第449図 PL.346	523	土師器 杯(蓋模倣)	P64-5 ほぼ完形	口	11.8 11.6	高	5.6	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇部は平坦面をつくる。	C I ③a
第449図 PL.346	524	土師器 杯(蓋模倣)	P504 完形	口	11.8 12.3	高	5.6	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇部は平坦面をつくる。	C I ③a
第449図 PL.346	525	土師器 杯(蓋模倣)	P556 口縁部一部欠損	口	11.8 12.2	高	5.0	細砂粒/良好/橙	口唇部は内傾する平坦面をつくり、細い凹線が2条巡る。 口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。	C I ③a
第449図 PL.346	526	土師器 杯(蓋模倣)	P467-6 完形	口	11.8 12.0	高	4.9	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇部は窪みをもつ平坦面をつくる。	C I ③a
第449図 PL.346	527	土師器 杯(蓋模倣)	P44-4 ほぼ完形	口	11.7 11.2	高	6.5	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 内面は底部から口縁部下半がヘラナデ。	C I ③a
第449図 PL.346	528	土師器 杯(蓋模倣)	P534-13 完形	口	11.6 11.4	高	5.5	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇部は平坦面をつくる。	C I ③a
第449図 PL.346	529	土師器 杯(蓋模倣)	P457-9 完形	口	11.6 11.6	高	5.3	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)は上半がナデ、体部下半から 底部は手持ちヘラ削り。口唇部は平坦面をつくる。	C I ③a
第449図 PL.346	530	土師器 杯(蓋模倣)	P477-1 ほぼ完形	口	11.5 11.8	高	5.0	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇部は平坦面をつくる。	C I ③a
第449図 PL.346	531	土師器 杯(蓋模倣)	P577-6 口縁部一部欠損	口	11.3 11.2	高	5.5	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇部は平坦面をつくる。	C I ③a
第449図 PL.346	532	土師器 杯(蓋模倣)	P339 ほぼ完形	口	11.2 11.6	高	5.2	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇部は平坦面をつくる。	C I ③a
第449図 PL.346	533	土師器 杯(蓋模倣)	P602-1 完形	口	11.9 11.8	高	5.4	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇部は丸みをもつつくり。	C I ③b
第449図 PL.347	534	土師器 杯(蓋模倣)	P67-9 完形	口	11.9 11.8	高	5.2	細砂粒/やや軟質/ 橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇部は丸みをもつつくり。内面は底部から体部に放射 状ヘラ磨き。	C I ③b内面 の口縁部にス ス付着。
第449図 PL.346	535	土師器 杯(蓋模倣)	P532-14 ほぼ完形	口	11.8 12.0	高	5.4	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇部は丸みをもつつくり。	C I ③b
第449図 PL.346	536	土師器 杯(蓋模倣)	P218 完形	口	11.7 11.5	高	4.5	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇部は丸みをもつつくり。	C I ③b
第450図 PL.346	537	土師器 杯(蓋模倣)	P72-2 ほぼ完形	口	11.6 11.5	高	4.8	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇部は丸みをもつつくり。	C I ③b
第450図 PL.346	538	土師器 杯(蓋模倣)	P67-1 完形	口	10.6 10.8	高	4.6	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇部は丸みを持つ。	C I ③b

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第450図 PL.346	539	土師器 杯(蓋模倣)	P65-1 完形	口径 10.4	高 10.4	4.9	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は面をつくるがやや丸みを持つ。	CⅠ③b
第450図 PL.347	540	土師器 杯(蓋模倣)	P58-6 完形	口径 15.8	高 14.4	6.4	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)は上半がナデ、下半から底部 は手持ちヘラ削り。口唇端部はわずかに窪みを持ち、内傾 する。	CⅡ①a
第450図 PL.347	541	土師器 杯(蓋模倣)	P60-3 完形	口径 13.9	高 12.4	4.9	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	CⅡ①a
第450図 PL.347	542	土師器 杯(蓋模倣)	P507-2 口唇部一部欠損	口径 13.8	高 13.0	5.5	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持 ちヘラ削り。内面は底部がヘラナデ。口唇端部はわずかな 窪みをもつ平坦面をつくる。	CⅡ①a
第450図 PL.347	543	土師器 杯(蓋模倣)	P67-16 ほぼ完形	口径 13.5	高 12.7	5.8	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部はごく細い凹線が巡る平坦面をつくる。	CⅡ①a
第450図 PL.347	544	土師器 杯(蓋模倣)	P65-7 完形	口径 13.3	高 12.6	5.4	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	CⅡ①a
第450図 PL.347	545	土師器 杯(蓋模倣)	P595-1 完形	口径 13.2	高 12.0	5.8	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は2条の凹線をもつ平坦面をつくる。	CⅡ①a
第450図 PL.347	546	土師器 杯(蓋模倣)	P590-6 口唇部1/4欠損	口径 13.2	高 12.2	5.5	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	CⅡ①a
第450図 PL.347	547	土師器 杯(蓋模倣)	P352・357 完形	口径 13.1	高 12.2	5.7	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は窪みをもつ平坦面をつくる。	CⅡ①a
第450図 PL.347	548	土師器 杯(蓋模倣)	P602-5 口縁部一部欠損	口径 13.1	高 12.8	5.5	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	CⅡ①a
第450図 PL.347	549	土師器 杯(蓋模倣)	P65-8 完形	口径 13.1	高 12.8	5.4	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は窪みをもつ平坦面をつくる。	CⅡ①a
第450図 PL.347	550	土師器 杯(蓋模倣)	P495-1 ほぼ完形	口径 13.1	高 12.5	4.8	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	CⅡ①a
第450図 PL.347	551	土師器 杯(蓋模倣)	P590-8 ほぼ完形	口径 13.0	高 12.4	5.8	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	CⅡ①a
第450図 PL.347	552	土師器 杯(蓋模倣)	P68-14 完形	口径 13.0	高 12.5	5.7	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は窪みをもつ平坦面をつくる。	CⅡ①a
第451図 PL.347	553	土師器 杯(蓋模倣)	P544-3 完形	口径 13.0	高 12.5	5.6	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	CⅡ①a
第451図 PL.347	554	土師器 杯(蓋模倣)	P592 ほぼ完形	口径 13.0	高 12.2	5.6	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	CⅡ①a
第451図 PL.347	555	土師器 杯(蓋模倣)	P502-1 完形	口径 13.0	高 12.6	5.5	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部はごく細い窪みが巡る平坦面をつくる。	CⅡ①a
第451図 PL.347	556	土師器 杯(蓋模倣)	P508-1 完形	口径 13.0	高 12.8	5.3	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	CⅡ①a
第451図 PL.347	557	土師器 杯(蓋模倣)	P56-5 口縁部一部欠損	口径 13.5	高 12.5	5.1	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は丸みをもつつくり。	CⅡ①b
第451図 PL.347	558	土師器 杯(蓋模倣)	P654 口縁部一部欠損	口径 12.9	高 12.5	5.9	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	CⅡ②a
第451図 PL.347	559	土師器 杯(蓋模倣)	P490-5 完形	口径 12.9	高 12.1	5.9	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部はごく細い凹線が巡る平坦面をつくる。	CⅡ②a
第451図 PL.347	560	土師器 杯(蓋模倣)	P81-5 口縁部・底部一 部欠損	口径 12.9	高 12.2	5.7	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は窪みをもつ平坦面をつくる。	CⅡ②a
第451図 PL.347	561	土師器 杯(蓋模倣)	P256 3/4	口径 12.9	高 12.4	5.5	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は窪みをもつ平坦面をつくる。	CⅡ②a
第451図 PL.347	562	土師器 杯(蓋模倣)	P611-2 ほぼ完形	口径 12.9	高 12.2	5.3	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 内面底部にヘラナデが残る。口唇端部は平坦面をつくる。	CⅡ②a
第451図 PL.348	563	土師器 杯(蓋模倣)	P136 完形	口径 12.9	高 12.1	4.8	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は凹線が巡る平坦面をつくる。	CⅡ②a
第451図 PL.348	564	土師器 杯(蓋模倣)	P80-1 ほぼ完形	口径 12.8	高 12.0	5.7	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は両端が丸まる平坦面をつくる。	CⅡ②a
第451図 PL.348	565	土師器 杯(蓋模倣)	P84-8 口縁部一部欠損	口径 12.8	高 12.2	5.5	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は窪みをもつ平坦面をつくる。	CⅡ②a
第451図 PL.348	566	土師器 杯(蓋模倣)	P456-10 完形	口径 12.8	高 12.1	5.5	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	CⅡ②a
第451図 PL.348	567	土師器 杯(蓋模倣)	P534-17 ほぼ完形	口径 12.8	高 12.3	5.4	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	CⅡ②a
第451図 PL.348	568	土師器 杯(蓋模倣)	P602-4 口縁部一部欠損	口径 12.8	高 12.3	5.4	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	CⅡ②a
第451図 PL.348	569	土師器 杯(蓋模倣)	P532-3 ほぼ完形	口径 12.8	高 12.4	5.2	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	CⅡ②a
第451図 PL.348	570	土師器 杯(蓋模倣)	P56-4 口縁部一部欠損	口径 12.8	高 12.4	5.2	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	CⅡ②a
第451図 PL.348	571	土師器 杯(蓋模倣)	P82-5 完形	口径 12.8	高 11.8	4.9	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	スス付着か。 CⅡ②a
第451図 PL.348	572	土師器 杯(蓋模倣)	P607-1 ほぼ完形	口径 12.7	高 11.6	5.5	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	CⅡ②a
第451図 PL.348	573	土師器 杯(蓋模倣)	P502-4 完形	口径 12.7	高 12.6	4.6	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は窪みが巡る平坦面をつくる。	CⅡ②a
第452図 PL.348	574	土師器 杯(蓋模倣)	P82-7 ほぼ完形	口径 12.6	高 12.2	5.8	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	CⅡ②a
第452図 PL.348	575	土師器 杯(蓋模倣)	P443-1 完形	口径 12.6	高 12.3	5.8	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	CⅡ②a
第452図 PL.348	576	土師器 杯(蓋模倣)	P507-8 ほぼ完形	口径 12.6	高 12.4	5.7	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	CⅡ②a
第452図 PL.348	577	土師器 杯(蓋模倣)	P457-8 完形	口径 12.6	高 12.5	5.5	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	CⅡ②a

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口径	高さ	底径			
第452図 PL.348	578	土師器 杯(蓋模倣)	P89-10 完形	口径 12.6 12.5	高 5.3		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	CII②a
第452図 PL.348	579	土師器 杯(蓋模倣)	P457-10 完形	口径 12.6 12.2	高 5.3		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	CII②a
第452図 PL.348	580	土師器 杯(蓋模倣)	P90-11 底部一部欠損	口径 12.6 11.9	高 5.2		細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。口唇端 部は窪みのある平坦面をつくる。	CII②a
第452図 PL.348	581	土師器 杯(蓋模倣)	P608-2 口縁部一部欠損	口径 12.6 12.0	高 5.1		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	CII②a
第452図 PL.348	582	土師器 杯(蓋模倣)	P559-5 完形	口径 12.5 11.8	高 5.6		細砂粒/やや軟質/ 橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	CII②a
第452図 PL.348	583	土師器 杯(蓋模倣)	P68-18 完形	口径 12.5 12.0	高 5.2		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	CII②a
第452図 PL.348	584	土師器 杯(蓋模倣)	P300 1/2	口径 12.5 12.2	高 5.3		細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は窪みをもつ平坦面をつくる。	CII②a
第452図 PL.348	585	土師器 杯(蓋模倣)	P63-2 ほぼ完形	口径 12.5 11.9	高 4.7		細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部はほぼ平坦である。	CII②a
第452図 PL.348	586	土師器 杯(蓋模倣)	P134-1 口縁部一部欠損	口径 12.4 12.1	高 5.5		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	CII②a
第452図 PL.348	587	土師器 杯(蓋模倣)	P503-2 口縁部一部欠損	口径 12.1 12.0	高 5.5		細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	CII②a
第452図 PL.349	588	土師器 杯(蓋模倣)	P67-14 完形	口径 12.4 11.6	高 5.5		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	CII②a
第452図 PL.349	589	土師器 杯(蓋模倣)	P485-2 ほぼ完形	口径 12.4 11.9	高 5.4		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	CII②a
第452図 PL.349	590	土師器 杯(蓋模倣)	P55-4 口縁部1/4欠損	口径 12.4 12.0	高 5.5		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	CII②a
第452図 PL.349	591	土師器 杯(蓋模倣)	P83-2 完形	口径 12.4 11.8	高 5.3		細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は窪みをもつ平坦面をつくる。	CII②a
第452図 PL.349	592	土師器 杯(蓋模倣)	P554-0 底部一部欠損	口径 12.4 12.1	高 5.2		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	CII②a
第452図 PL.349	593	土師器 杯(蓋模倣)	P616-3 口縁部一部欠損	口径 12.4 11.7	高 5.2		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	CII②a
第452図 PL.349	594	土師器 杯(蓋模倣)	P494-4 ほぼ完形	口径 12.4 11.7	高 5.1		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は窪みをもつ平坦面をつくる。	CII②a
第452図 PL.349	595	土師器 杯(蓋模倣)	P454-5 ほぼ完形	口径 12.3 12.3	高 5.1		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は凹線が巡る平坦面をつくる。	CII②a
第452図 PL.349	596	土師器 杯(蓋模倣)	P46-7 一部欠損	口径 12.3 11.8	高 5.2		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は幅広い平坦面をつくる。	CII②a
第453図 PL.349	597	土師器 杯(蓋模倣)	P532-4 完形	口径 12.3 12.0	高 5.0		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	CII②a
第453図 PL.349	598	土師器 杯(蓋模倣)	P96-8 口縁部一部欠損	口径 12.3 12.1	高 5.0		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は凹線が巡る平坦面をつくる。	CII②a
第453図 PL.349	599	土師器 杯(蓋模倣)	P502-7 完形	口径 12.3 11.8	高 4.9		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部はわずかな窪みが巡る平坦面をつくる。	CII②a
第453図 PL.349	600	土師器 杯(蓋模倣)	P54-1 完形	口径 12.2 12.0	高 5.6		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	CII②a
第453図 PL.349	601	土師器 杯(蓋模倣)	P55-5 口縁部一部欠損	口径 12.2 11.6	高 5.3		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	CII②a
第453図 PL.349	602	土師器 杯(蓋模倣)	P528-2 完形	口径 12.2 11.2	高 5.0		細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は凹線が巡る平坦面をつくる。	CII②a
第453図 PL.349	603	土師器 杯(蓋模倣)	P48-8 口縁部他一部欠 損	口径 12.1 11.8	高 5.5		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	CII②a
第453図 PL.349	604	土師器 杯(蓋模倣)	P581-2 口縁部1/4・底 部一部欠損	口径 12.1 12.2	高 5.0		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)は上半がナデ、下半から底部 は手持ちヘラ削り。口唇端部は平坦面をつくる。	CII②a
第453図 PL.349	605	土師器 杯(蓋模倣)	P472-1 完形	口径 12.1 11.5	高 4.6		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	CII②a
第453図 PL.349	606	土師器 杯(蓋模倣)	P527-4 ほぼ完形	口径 12.0 11.5	高 5.6		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	CII②a
第453図 PL.349	607	土師器 杯(蓋模倣)	P600-4 ほぼ完形	口径 12.0 11.6	高 5.5		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 内面底部にヘラナデ痕が残る。口唇端部は平坦面をつくる。	CII②a
第453図 PL.349	608	土師器 杯(蓋模倣)	P502-5 完形	口径 12.0 11.6	高 5.3		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	CII②a
第453図 PL.349	609	土師器 杯(蓋模倣)	P64-4 ほぼ完形	口径 12.0 11.3	高 5.0		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	CII②a
第453図 PL.349	610	土師器 杯(蓋模倣)	P57-3 完形	口径 12.0 11.4	高 4.8		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	CII②a
第453図 PL.350	611	土師器 杯(蓋模倣)	P481-1 完形	口径 12.0 11.4	高 4.7		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	CII②a
第453図 PL.350	612	土師器 杯(蓋模倣)	P190 完形	口径 12.0 11.7	高 4.6		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部はごく細い凹線が巡る平坦面をつくる。	CII②a
第453図 PL.350	613	土師器 杯(蓋模倣)	P467-3 完形	口径 12.0 11.2	高 4.6		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	CII②a
第453図 PL.350	614	土師器 杯(蓋模倣)	P69 完形	口径 12.9 12.5	高 4.8		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は丸みをもつ作り。	CII②b
第453図 PL.350	615	土師器 杯(蓋模倣)	P458-1 ほぼ完形	口径 12.8 12.2	高 6.2		細砂粒・粗砂粒・ 礫/良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は丸みをもつ作り。	CII②b
第453図 PL.350	616	土師器 杯(蓋模倣)	P94-8 完形	口径 12.8 12.0	高 5.7		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は丸みをもつ。	CII②b

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第453図 PL.350	617	土師器 杯(蓋模倣)	P455-9 口縁部一部欠損	口 12.8 稜 12.8	高	5.2	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇部は丸みをもつくり。	CⅡ②b
第453図 PL.350	618	土師器 杯(蓋模倣)	P135-2 口縁部1/5欠損	口 12.6 稜 12.1	高	6.0	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇部は丸みをもつくり。	CⅡ②b
第453図 PL.350	619	土師器 杯(蓋模倣)	P79-1 完形	口 12.6 稜 12.2	高	5.1	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇部は丸みをもつくり。	CⅡ②b
第454図 PL.350	620	土師器 杯(蓋模倣)	P68-13 口唇部一部欠損	口 12.5 稜 11.8	高	5.8	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇部は丸みをもつくり。	CⅡ②b
第454図 PL.350	621	土師器 杯(蓋模倣)	P611-1 口縁部一部欠損	口 12.5 稜 12.5	高	5.4	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇部は丸みをもつくり。	CⅡ②b
第454図 PL.350	622	土師器 杯(蓋模倣)	P78-1 完形	口 12.5 稜 12.5	高	5.2	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇部は丸みをもつくり。	CⅡ②b
第454図 PL.350	623	土師器 杯(蓋模倣)	P128-5 ほぼ完形	口 12.4 稜 12.4	高	5.7	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇部は丸みをもつくり。	CⅡ②b
第454図 PL.350	624	土師器 杯(蓋模倣)	P94-3 完形	口 12.4 稜 11.3	高	5.5	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇部は丸みをもつくり。	CⅡ②b
第454図 PL.350	625	土師器 杯(蓋模倣)	P456-15 完形	口 12.4 稜 12.0	高	5.3	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇部は丸みをもつくり。	CⅡ②b
第454図 PL.350	626	土師器 杯(蓋模倣)	P542 口縁部一部欠損	口 12.3 稜 11.8	高	5.6	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇部は丸みをもつくり。	CⅡ②b
第454図 PL.350	627	土師器 杯(蓋模倣)	P537 完形	口 12.3 稜 12.2	高	5.5	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇部は丸みをもつくり。	CⅡ②b
第454図 PL.350	628	土師器 杯(蓋模倣)	P101-1 完形	口 12.0 稜 11.0	高	5.0	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇部は丸みをもつ。	CⅡ②b
第454図 PL.350	629	土師器 杯(蓋模倣)	P41-1 ほぼ完形	口 11.9 稜 11.5	高	5.3	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇部は平坦面をつくる。	CⅡ③a
第454図 PL.350	630	土師器 杯(蓋模倣)	P490-3 口縁部・体部一 部欠損	口 11.9 稜 11.4	高	5.3	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇部は平坦面をつくる。	CⅡ③a
第454図 PL.350	631	土師器 杯(蓋模倣)	P68-5 完形	口 11.9 稜 11.5	高	5.1	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇部は丸みをもつ。	CⅡ③a
第454図 PL.350	632	土師器 杯(蓋模倣)	P554-1 ほぼ完形	口 11.9 稜 11.9	高	5.1	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇部は平坦面をつくる。	CⅡ③a
第454図 PL.350	633	土師器 杯(蓋模倣)	P67-11 口縁部・体部一 部欠損	口 11.8 稜 11.9	高	5.6	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇部は平坦面をつくる。	CⅡ③a
第454図 PL.350	634	土師器 杯(蓋模倣)	P485-9 完形	口 11.8 稜 11.4	高	5.2	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇部は平坦面をつくる。	CⅡ③a
第454図 PL.351	635	土師器 杯(蓋模倣)	P596 完形	口 11.7 稜 10.8	高	5.3	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇部は平坦面をつくる。	CⅡ③a
第454図 PL.351	636	土師器 杯(蓋模倣)	P554-4 ほぼ完形	口 11.7 稜 11.2	高	5.3	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇部は平坦面をつくる。	CⅡ③a
第454図 PL.351	637	土師器 杯(蓋模倣)	P94-7 完形	口 11.3 稜 11.2	高	4.8	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇部は平坦面をつくる。	CⅡ③a
第454図 PL.351	638	土師器 杯(蓋模倣)	P67-4 ほぼ完形	口 11.8 稜 11.7	高	5.0	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇部は平坦面をつくる。	CⅡ③bスス 付着。
第454図 PL.351	639	土師器 杯(蓋模倣)	P455-12 口縁部一部欠損	口 11.5 稜 10.7	高	4.7	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇部は丸みをもつくり。	CⅢ①a
第454図 PL.351	640	土師器 杯(蓋模倣)	P61-1 完形	口 10.3 稜 10.0	高	4.6	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り、 器面磨滅のため単位不明。口唇部は丸みをもつくり。	CⅢ①a
第455図 PL.351	641	土師器 杯(蓋模倣)	P108 完形	口 14.0 稜 14.7	高	5.9	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇部は外傾する平坦面をつくる。	CⅢ②a
第455図 PL.351	642	土師器 杯(蓋模倣)	P528-7 完形	口 12.8 稜 13.1	高	5.6	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇部は平坦面をつくる。	CⅢ②a
第455図 PL.351	643	土師器 杯(蓋模倣)	P574-4 口縁部・底部一 部欠損	口 12.5 稜 12.9	高	5.8	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇部は平坦面をつくる。	CⅢ②a
第455図 PL.351	644	土師器 杯(蓋模倣)	P495-5 完形	口 12.4 稜 12.7	高	5.3	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)は上半がナデ、下半から底部は 手持ちヘラ削り。口唇部は窪みが巡る平坦面をつくる。	CⅢ②a
第455図 PL.351	645	土師器 杯(蓋模倣)	P502-6 完形	口 12.2 稜 12.5	高	5.1	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇部は窪みが巡る平坦面をつくる。	CⅢ②a
第455図 PL.351	646	土師器 杯(蓋模倣)	P63-1 完形	口 12.2 稜 12.7	高	4.9	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇部はほぼ平坦である。	CⅢ②a
第455図 PL.351	647	土師器 杯(蓋模倣)	P52-1 完形	口 12.1 稜 11.6	高	5.2	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇部は窪みをもつ平坦面をつくる。	CⅢ②a
第455図 PL.351	648	土師器 杯(蓋模倣)	P554-2 完形	口 12.0 稜 12.4	高	5.5	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇部は平坦面をつくる。	CⅢ②a
第455図 PL.351	649	土師器 杯(蓋模倣)	P478-3 口縁部・底部一 部欠損	口 12.0 稜 12.6	高	5.5	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇部は平坦面をつくる。	CⅢ②a
第455図 PL.351	650	土師器 杯(蓋模倣)	P532-12 ほぼ完形	口 11.8 稜 12.1	高	5.4	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)上半はナデ、下半から底部は 手持ちヘラ削り、一部にヘラ磨き。口唇部は細い線が巡 る平坦面をつくる。	CⅢ③a
第455図 PL.351	651	土師器 杯(蓋模倣)	P73-7 ほぼ完形	口 11.8 稜 12.2	高	5.2	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇部は平坦面をつくる。	CⅢ③a
第455図 PL.351	652	土師器 杯(蓋模倣)	P83-3 口縁部一部欠損	口 11.7 稜 12.0	高	4.8	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇部は平坦面をつくる。	CⅢ③a
第455図 PL.351	653	土師器 杯(蓋模倣)	P534-12 完形	口 11.6 稜 12.0	高	5.4	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇部は平坦面をつくる。	CⅢ③a

挿 図 PL.No.	No.	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備 考
第455図 PL.351	654	土師器 杯(蓋模倣)	P72-6 完形	口 稜	11.5 11.8	高 5.1	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は丸みをもつが内側に平坦面をつくる。	CⅢ③a
第456図 PL.352	655	土師器 杯(蓋模倣)	P581-3 口縁部・底部一 部欠損	口 稜	11.9 12.3	高 5.6	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は丸みをもつづくり。	CⅢ③b
第456図 PL.352	656	土師器 杯(蓋模倣)	P283 完形	口 稜	11.8 12.3	高 5.7	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は丸みをもつづくり。	CⅢ③b
第456図 PL.352	657	土師器 杯(蓋模倣)	P534-6 完形	口 稜	11.8 12.6	高 5.5	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は丸みをもつづくり。	CⅢ③b
第456図 PL.352	658	土師器 杯(蓋模倣)	P46-9 完形	口 稜	11.8 11.8	高 6.0	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)は上半がナデ、下半はヘラ磨 き、底部は手持ちヘラ削り。内面は底部から体部にヘラ磨 き。口唇端部は丸みをもつづくり。	CⅣ
第456図 PL.352	659	土師器 杯(蓋模倣)	P90-2 完形	口 稜	13.5 12.2	高 5.6	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 内面は口縁部に横方向、底部から体部に右傾の斜放射状ヘ ラ磨き。口唇端部は丸みをもつづくり。	CⅣ内外面に スス付着か。
第456図 PL.352	660	土師器 杯(蓋模倣)	P46-1 口縁部1/4欠損	口 稜	13.2 12.0	高 5.2	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)はナデ、底部は手持ちヘラ削 り。内面は底部から体部にやや右傾の斜放射状ヘラ磨き、 口縁部に横方向のヘラ磨き。口唇端部は丸みをもつづくり。	CⅣ
第457図 PL.352	661	土師器 杯	P57-4 ほぼ完形	口 稜	13.5 13.0	高 6.3	細砂粒・粗砂粒/ 酸化焰/明赤褐	須恵器技法模倣。ロクロ整形、回転右回り。体部中程から 底部は回転ヘラ削り。	CⅤ
第457図 PL.352	662	土師器 杯	P507-4 完形	口 稜	13.0 12.3	高 5.8	細砂粒・粗砂粒/ 酸化焰/にぶい橙	須恵器技法模倣。ロクロ整形、回転右回り。体部中程から 底部は回転ヘラ削り。	CⅤ
第457図 PL.352	663	土師器 杯	P531-1 完形	口 稜	12.6 12.4	高 5.5	細砂粒・粗砂粒/ 酸化焰/灰黄	須恵器技法模倣。ロクロ整形、回転右回り。体部中程から 底部は回転ヘラ削り。	CⅤ
第457図 PL.352	664	土師器 杯	P84-5 ほぼ完形	口 稜	12.5 11.8	高 5.8	細砂粒・粗砂粒/ 酸化焰/明赤褐	須恵器技法模倣。ロクロ整形、回転右回り。体部中程から 底部は回転ヘラ削り。	CⅤ
第457図 PL.352	665	土師器 杯	P532-1 ほぼ完形	口 稜	12.0 11.8	高 5.8	細砂粒・粗砂粒/ 酸化焰/灰黄	須恵器技法模倣。ロクロ整形、回転右回り。体部中程から 底部は回転ヘラ削り。内面は底部中央にナデ。	CⅤ
第457図 PL.352	666	土師器 杯	P528-3 完形	口 稜	12.8 12.0	高 5.8	細砂粒/酸化焰/橙	須恵器技法模倣。ロクロ整形、回転左回り。体部中程から 底部は回転ヘラ削り。内面は底部中央にナデ。	CⅤ
第458図 PL.353	667	土師器 杯	P507-6 完形	口 稜	12.5 12.0	高 5.6	細砂粒/酸化焰/明 赤褐	須恵器技法模倣。ロクロ整形、回転右回り。体部中程から 底部は回転ヘラ削り。	CⅤ
第458図 PL.353	668	土師器 杯	P525-1 完形	口 稜	12.4 11.8	高 5.1	細砂粒・粗砂粒/ 酸化焰/にぶい褐	須恵器技法模倣。ロクロ整形、回転左回り。体部中程から 底部は回転ヘラ削り。	CⅤ
第458図 PL.353	669	土師器 杯	P485-8 完形	口 高	12.9 6.2		細砂粒・粗砂粒/ 酸化焰/にぶい橙	須恵器技法模倣。ロクロ整形、回転左回り。底部から体部 下位は回転ヘラ削り。内面底部はナデ。	CⅤ
第458図 PL.353	670	土師器 杯	P96-3 完形	口 最	11.5 12.5	高 6.0	細砂粒・粗砂粒/ 酸化焰/明赤褐	須恵器技法模倣。ロクロ整形、回転右回り。底部から体部 下位は回転ヘラ削り。	CⅤ
第458図 PL.353	671	土師器 杯	P590-2 口縁部一部欠損	口 最	11.6 12.6	高 5.8	細砂粒・粗砂粒/ 酸化焰/明赤褐	須恵器技法模倣。ロクロ整形、回転右回り。底部から体部 下位は回転ヘラ削り。内面は底部にナデ。	CⅤ
第456図 PL.535	672	土師器 杯(蓋模倣)	P598 完形	口 稜	12.4 12.4	高 5.6	細砂粒/良好/明黄 橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は丸みをもつづくり、底部中央に成型時の台状突 起が残る。	CⅥ
第456図 PL.535	673	土師器 杯(蓋模倣)	P46-2 底部欠損	口 稜	13.0 12.6		細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくり、中程に凹線が巡る。	
第456図 PL.535	674	土師器 杯(蓋模倣)	P430-2 底部欠損	口 稜	12.2 12.1		細砂粒/良好/明褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	
第456図 PL.535	675	土師器 杯(蓋模倣)	P479-1 口縁部1/4欠損	口 稜	12.1 11.9		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	
第456図 PL.535	676	土師器 杯(蓋模倣)	P544-7 口縁部・底部一 部欠損	口 稜	13.0 12.2		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	
第456図 PL.535	677	土師器 杯(蓋模倣)	P236 1/2	口 稜	12.9 12.4		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	
第456図 PL.535	678	土師器 杯(蓋模倣)	P485-12 口縁部他一部欠 損	口 稜	12.6 12.1		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	
第456図 PL.535	679	土師器 杯(蓋模倣)	P456-14 口縁部・底部一 部欠損	口 稜	12.4 12.2		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は窪みを持つ平坦面をつくる。	
第456図 PL.535	680	土師器 杯(蓋模倣)	P505 3/4	口 稜	13.2 13.3		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は丸みをもつづくり。	
第459図 PL.534	681	土師器 杯(D)	P70-2 完形	口 高	13.3 6.7		細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は 底部から体部にヘラナデ。	D I
第459図 PL.534	682	土師器 杯(D)	P512 完形	口 最	10.0 10.4	高 5.1	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい褐	口縁部は横ナデ、体部は上位・中位がナデ、下位から底部 は手持ちヘラ削り。内面は底部から体部がヘラナデ。	D I
第459図 PL.534	683	土師器 杯(D)	P72-1 底部一部欠損	口 高	13.5 6.7		細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は 体部上半に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	DⅣ
第459図 PL.534	684	土師器 杯(D)	P610-2 完形	口 底	12.9 7.0前後	高 4.9	細砂粒/良好/褐	口縁部は横ナデ、体部から底部はヘラ磨き。内面は底部から 口縁部下半に密な放射状ヘラ磨き。	DⅤ
第459図 PL.534	685	土師器 杯(D)	P610-1 口縁部一部欠損	口 高	12.7 5.4		細砂粒/良好/にぶ い黄褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り後全体的 にヘラ磨き、口縁部から体部上半はやや粗い。内面は体部 に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	DⅤ
第459図 PL.534	686	土師器 杯(D)	P610-3 完形	口 高	14.6 5.3		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り後ヘラ磨 き。内面は体部に放射状ヘラ磨き。	DⅤ
第459図 PL.534	687	土師器 杯(D)	P89-4 口唇部1/3欠損	口 最	10.5 11.2	底 高 3.3 5.6	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部と底部はヘラ削り。内面は底部がヘ ラナデ。	DⅦ
第459図 PL.534	688	土師器 杯(D)	P532-13 ほぼ完形	口 底	13.0 6.0× 6.2	高 6.0	細砂粒/やや軟質/ 橙	内外面に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、体部はナデ、 底部は周縁部をヘラ削り。	DⅧ

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口 最	底 高	底 高			
第459図 PL.534	689	土師器 杯(D)	P120-2 完形	口 最 14.6 15.0	底 高 8.0 7.2		細砂粒/良好/明黄 褐	外面体部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、体部はナデ、 底部はヘラ削り後周縁部をヘラ磨き。内面は体部から口縁 部に雑なヘラ磨き。	DIX
第459図 PL.534	690	土師器 杯(D)	P73-9 完形	口 最 13.2 13.2	底 高 4.4 6.4		細砂粒/良好/浅黄 橙	口縁部は横ナデ、体部と底部は手持ちヘラ削り。内面は底 部から体部に不定方向のヘラ磨き。	DIX
第459図 PL.534	691	土師器 杯(D)	P485-7 口縁部一部欠損	口 最 11.4 12.5	高 5.3		細砂粒/良好/明赤 褐	内面体部に回転による痕跡が残る。口縁部から体部上位は 横ナデ、中・下位はヘラ削り、底部は手持ちヘラ削り。内 面底部はヘラナデ。	DX
第459図 PL.534	692	土師器 杯(D)	P266-5 口縁部・底部一 部欠損	口 最 12.3 12.7	高 6.0		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がヘラ磨き一部器面磨滅のた め単位不明、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は口縁 部が横方向のヘラ磨き、底部周縁から体部は左傾の斜放射 状ヘラ磨き。	DXI
第459図 PL.534	693	土師器 杯(D)	P506 完形	口 高 14.2 4.9			細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は 全面をヘラ磨き後さらに体部から口縁部に左傾の斜放射状 ヘラ磨き。	DXII内面黒色 処理
第460図 PL.354	694	土師器 椀	P289 完形	口 高 15.4 10.0			細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部から頸部は横ナデ、体部から底部はヘラ削り。内面 は底部から体部がヘラナデ。	B II
第460図 PL.355	695	土師器 椀	P83-6 ほぼ完形	口 高 12.1 7.5			細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部は横ナデ、体部から底部はヘラ削り。内面は底部か ら体部がヘラナデ。底部は平底に近いが、体部との境は不 明瞭。	C I
第460図 PL.354	696	土師器 椀	P559-14 体部一部欠損	口 底 17.3 8.5× 8.0	高 12.0		細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部は横ナデ、体部から底部はヘラ削り。内面は底部か ら体部にヘラナデ。	C II
第460図 PL.354	697	土師器 椀	P83-7 完形	口 高 12.4 8.1			細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい橙	口縁部は横ナデ、体部から底部はヘラ削り。内面は底部か ら体部がヘラナデ。	C II
第460図 PL.355	698	土師器 椀	P72-16 完形	口 底 15.6 6.2	高 10.8		細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	外面体部に輪積み痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、体 部上位と中位はナデ、下位と底部はヘラ削り。内面は底部 から体部に放射状ヘラ磨き。	F I
第460図 PL.355	699	土師器 椀	P764 2/3	口 底 15.4 9.0前 後	高 9.6		細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部は横ナデ、体部はヘラ磨き、底部はヘラ削り。内面 は底部と体部上位がヘラナデ。	F I
第460図 PL.355	700	土師器 椀	P71 4/5	口 底 15.6 5.6	高 12.7		細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部は横ナデ、体部と底部はヘラ削り。内面は底部から 体部にヘラナデ。	G
第460図 PL.355	701	土師器 椀	P362 完形	口 底 12.0 4.5	高 10.7		細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部は横ナデ、体部上位はナデ、中位・下位と底部はヘ ラ削り。内面は底部から体部がヘラナデ。	G
第461図 PL.355	702	土師器 高杯	P485-3 脚部の裾部2/3 欠損	口 最 17.4 11.5	脚 高 11.3 14.4		細砂粒・粗砂粒・ 長石/良好/橙	杯身部と脚部は接合。口縁部は横ナデ、底部(稜下)から脚 部はナデ、裾部は横ナデ。内面は脚部がヘラナデ。	A I
第461図 PL.355	703	土師器 高杯	P532-7 完形	口 最 14.0 10.2	脚 高 10.3 12.8		細砂粒・粗砂粒/ 良好/赤褐	杯身部と脚部は接合。杯身部は口縁部が横方向のヘラ磨き、 底部(稜下)はナデ、脚部は縦方向のヘラ磨き、裾部は横ナ デ。内面は杯身部の底部から体部に放射状ヘラ磨き。	A I 朱塗り か。
第461図 PL.355	704	土師器 高杯	P121 ほぼ完形	口 最 18.4 10.4	脚 高 12.0 12.1		細砂粒/良好/橙	杯身部と脚部は接合。杯身部は口縁部が放射状ヘラ磨き、 稜下はナデ、脚部は放射状ヘラ磨き。内面は口縁部が左傾 の斜放射状ヘラ磨き、脚部はヘラナデ、裾部は横ナデ。	D I
第461図 PL.355	705	土師器 高杯	P266-6 ほぼ完形	口 最 14.4 8.5	脚 高 10.0 9.2		細砂粒/良好/明赤 褐	杯身部と脚部は接合。杯身部は口縁部が横ナデ、稜下はヘ ラナデ、脚部は横ナデ。内面は杯身部の体部から口縁部に 右傾の斜放射状ヘラ磨き。	D II
第461図 PL.356	706	土師器 高杯	P90-3 ほぼ完形	口 脚 15.2 10.0	高 10.9		細砂粒/良好/明赤 褐	杯身部と脚部は接合。杯身部は外面に放射状、内面に右傾 の斜放射状ヘラ磨き。脚部はヘラナデ、裾部は横ナデ。内 面は脚部がヘラナデ。	E I
第461図 PL.356	707	土師器 高杯	P80-2 完形	口 脚 13.3 8.8	高 10.5		細砂粒/良好/橙	杯身部と脚部は接合。杯身部は口縁部が横ナデ、体部はヘ ラナデ、脚部はナデ。内面は脚部がヘラナデ。	E I
第461図 PL.356	708	土師器 高杯	P455-8・10・11 完形	口 脚 14.4 8.6	高 10.2		細砂粒/良好/明赤 褐	杯身部と脚部は接合。脚部内面は吸灰による黒色化。口縁 部は横ナデ、体部はナデ、底部はヘラ削り、脚部は横ナデ。 内面は杯身部体部から口縁部に左傾の斜放射状磨き、脚部 はヘラナデ。	E I
第461図 PL.356	709	土師器 高杯	P534-11 完形	口 脚 13.7 10.0	高 9.8		細砂粒/良好/橙	杯身部と脚部は接合。杯身部は口唇部が横ナデ体部はヘラ ナデ、一部にハケ目(1cmあたり10本)が残る、脚部はナデ 裾部は横ナデ。内面は杯身部が体部から口縁部に右傾の斜 放射状ヘラ磨き。	E II
第461図 PL.356	710	土師器 高杯	P559-1 ほぼ完形	口 脚 14.5 10.0	高 9.0		細砂粒/良好/赤褐	杯身部と脚部は接合。外面口縁部に輪積み痕が残る。杯身 部の口縁部と脚部の裾部が横ナデ、体部はナデ、脚部はヘ ラナデ。内面は杯身部がヘラナデ後ヘラ磨き、脚部はヘラ ナデ。	E II
第461図 PL.356	711	土師器 高杯	P497-1 口縁部一部欠損	口 脚 14.0 9.8	高 9.2		細砂粒/良好/赤褐	杯身部と脚部は接合。杯身部は口縁部と裾部が横ナデ、体 部から脚部はナデ。内面は杯身部の底部から体部がヘラナ デ、脚部はナデ。	E II
第461図 PL.356	712	土師器 高杯	P528-9 完形	口 脚 13.4 8.9	高 8.0		細砂粒/良好/明赤 褐	杯身部と脚部は接合。杯身部は口縁部と脚部に斜放射状ヘ ラ磨き、体部はヘラ削り。内面は杯身部体部から口縁部に 右傾の斜放射状ヘラ磨き、脚部はヘラナデ、裾部は横ナデ。	E II
第461図 PL.357	713	土師器 高杯	P578-6 3/4	口 脚 13.8 10.7	高 9.7		細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	脚部に杯身部を粘土紐巻き上げて成形か。杯身部は口縁部 がナデ、体部・底部から脚部はナデ、裾部は横ナデ。内面 は杯身部体部に左傾の斜放射状ヘラ磨き、下半は器面剥落 で不鮮明、脚部はヘラナデ。	F I
第461図 PL.357	714	土師器 高杯	P94-4 完形	口 脚 13.8 9.6	高 9.2		細砂粒/良好/橙	杯身部と脚部は接合。杯身部は口縁部が横ナデ、体部から 底部は斜めのヘラ磨き、脚部は縦方向のヘラ磨き。内面は 体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き、脚部はナデ、裾部は横ナ デ。	F I
第461図 PL.357	715	土師器 高杯	P507-7 口縁部・脚部一 部欠損	口 脚 13.6 9.8	高 9.5		細砂粒/良好/明赤 褐	杯身部と脚部は接合。杯身部は口縁部と接合部、裾部が横 ナデ、体部はヘラナデ、脚部はナデ。内面は杯身部体部に 右傾の斜放射状ヘラ磨き。	F I
第461図 PL.357	716	土師器 高杯	P454-8 ほぼ完形	口 脚 13.7 10.3	高 9.5		細砂粒/良好/明赤 褐	杯身部と脚部は接合。杯身部は口縁部が横ナデ、体部から 底部は斜めのヘラ磨き、脚部は縦方向のヘラ磨き。内面は 体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き、脚部はナデ、裾部は横ナ デ。	F I

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口 脚	高	底 高			
第461図 PL.357	717	土師器 高杯	P284 ほぼ完形	口脚 13.9 9.1	高 8.8		細砂粒/良好/橙	脚部に杯身部を粘土紐巻き上げて成形か。杯身部は口縁部がナデ、体部から底部はヘラ削り、脚部はナデ、裾部は横ナデ。内面は杯身部体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き、脚部はヘラナデ。	F I
第462図 PL.357	718	土師器 高杯	P84-3 完形	口脚 13.5 9.0	高 8.5		細砂粒/良好/明赤褐	杯身部と脚部は接合。杯身部は口縁部が横ナデ、体部がナデ、脚部は横ナデ。内面は杯身部体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	F III 炭化物付着
第462図 PL.357	719	土師器 高杯	P96-2 脚部2/3欠損	口脚 13.1 12.0	脚高 9.8 10.1		細砂粒/良好/明赤褐	杯身部と脚部は接合。口縁部は横ナデ、体部はナデ、接合部はヘラ磨き、脚部はナデ。内面は脚部上半にヘラナデ。口唇端部は平坦面をつくる。	G I 脚部内面は吸炭による黒色化。
第462図 PL.357	720	土師器 高杯	P485-1 完形	口脚 12.1 15.6	脚高 9.9 10.3		細砂粒/良好/橙	杯身部と脚部は接合。杯身部は口縁部が横ナデ、稜下はナデ、脚部はヘラナデ、裾部は横ナデ。内面は脚部がヘラナデ。口唇端部は平坦面をつくる。	G I
第462図 PL.358	721	土師器 高杯	P457-11 ほぼ完形	口脚 12.0 11.5	脚高 9.8 10.4		細砂粒/良好/明赤褐	杯身部と脚部は接合。口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り、脚部は横ナデ。内面は脚部がヘラナデ。口唇端部は平坦面をつくる。	G I
第462図 PL.358	722	土師器 高杯	P55-6 完形	口脚 12.1 11.5	脚高 8.4 10.1		細砂粒/良好/赤褐	杯身部と脚部は接合。口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り後ナデ、接合部は横ナデ、脚部はナデ。口唇端部は平坦面をつくる。	G I
第462図 PL.358	723	土師器 高杯	P50 口縁部・脚部一部欠損	口脚 12.0 11.8	脚高 8.6 9.2		細砂粒・石英/良好/明赤褐	杯身部と脚部は接合。杯身部は口縁部が横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。内面は脚部がヘラナデ。口唇端部は平坦面をつくる。	G I
第462図 PL.358	724	土師器 高杯	P467-4 ほぼ完形	口脚 12.2 10.8	脚高 10.0 8.3		細砂粒/良好/浅黄橙	外面は赤色塗彩か。杯身部と脚部は接合か。杯身部は口縁部が横ナデ、稜下がナデ、脚部もナデ、裾部はハケ目。内面は脚部がヘラナデ。口唇端部は丸みをもつくり。	G II 脚部内面は吸炭による黒色化。
第462図 PL.358	725	土師器 高杯	P96-6 完形	口脚 11.3 12.3	脚高 10.5 10.5		細砂粒/良好/橙	杯身部と脚部は接合。杯身部口縁部は横ナデ、体部はヘラナデ、脚部は縦方向のヘラ磨き。内面は杯身部が底部に斜め、体部から口縁部に大きく右傾する斜放射状のヘラ磨き。脚部もヘラ磨き。	H
第462図 PL.358	726	土師器 高杯	P557 杯身部一部欠損	口脚 15.6 11.2	高 10.3		細砂粒/良好/橙	須恵器技法模倣。杯身部と脚部は接合。ロクロ整形、回転右回り。杯身部は体部から底部は回転ヘラ削り、脚部は端部を上にして整形。酸化焰焼成。	I
第462図 PL.358	727	土師器 高杯	P590-1 口縁部・脚部一部欠損	口脚 16.2 10.6	高接合部 11.1 4.8		細砂粒・粗砂粒/良好/橙	須恵器技法模倣。杯身部と脚部は接合。ロクロ整形、回転右回り。杯身部は体部から底部は回転ヘラ削り、脚部は端部を上にして整形。杯身部内面は器面剥離のため不鮮明。酸化焰焼成。	I
第463図 PL.359	728	土師器 罎	P92 完形	口頸 9.3 6.4	胴高 15.3 15.0		細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は上半は横ナデ、一部にハケ目が残る、下半と胴部上半はヘラナデ、胴部下半から底部はヘラ削り。内面は口縁部下半と底部から胴部がヘラナデ。	②
第463図 PL.359	729	土師器 罎	P529-1 完形	口頸 9.3 5.9	胴高 15.0 16.5		細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部は横ナデ、胴部は上位がヘラ磨き、中位から底部はヘラ削り。内面は口縁部が斜放射状ヘラ磨き、底部から胴部はヘラナデか。	②
第463図 PL.359	730	土師器 罎	P489 完形	口頸 9.4 6.8	胴高 15.9 18.2		細砂粒/良好/橙	口縁部と胴部は頸部で接合。口縁部は放射状ヘラ磨き、胴部は上位と中位に放射状ヘラ磨き、下位から底部はヘラ削り。内面は口縁部に放射状ヘラ磨き。底部から頸部はヘラナデ。	②
第463図 PL.359	731	土師器 罎	P582-1 口唇部一部欠損	口頸 10.6 5.4	胴高 14.7 15.5		細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は放射状、胴部上半は斜放射状ヘラ磨き、胴部下半から底部はヘラ削り。内面は口縁部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	②
第463図 PL.359	732	土師器 罎	P351 完形	口頸 8.6 6.6	胴高 14.5 17.1		細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部と胴部上位は放射状ヘラ磨き、胴部中位から底部はヘラ削り。内面は口縁部が斜放射状ヘラ磨き、底部から胴部はヘラナデ。	②
第463図 PL.359	733	土師器 罎	P538 完形	口頸 9.8 6.2	胴高 15.0 17.8		細砂粒/良好/橙	口縁部と胴部上位は斜放射状ヘラ磨きか、器面剥落・磨滅のため単位不鮮明、胴部中位から底部はヘラ削り。内面は口縁部下半がヘラナデ。	②
第463図 PL.359	734	土師器 罎	P119 完形	口頸 9.6 6.9	胴高 15.2 16.3		細砂粒/良好/橙	口縁部と胴部上位は放射状ヘラ磨き、胴部中位から底部はヘラ削り。内面は口縁部が横ナデ、底部から胴部はヘラナデ。	②
第463図 PL.359	735	土師器 罎	P600-1 完形	口頸 9.7 6.0	胴高 15.2 17.4		細砂粒/良好/橙	口縁部は胴部と接合。口縁部から頸部は横ナデ、胴部上位はナデ、中位と下位はヘラ磨き、底部はヘラ削り。内面は頸部にヘラ磨き、胴部はヘラナデか。	③
第463図 PL.359	736	土師器 罎	P540 完形	口頸 9.2 5.4	胴高 13.6 15.9		細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部は上位が横ナデ、中位・下位はヘラナデ、胴部は上位がナデ、中位から底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデか。	③
第463図 PL.359	737	手捏ね土器 碗形	P547 2/3	口底 5.4 4.0	高 4.3		細砂粒/良好/にぶい黄橙	口縁部・体部ともナデ、底部は器面磨滅のため不鮮明。内面もナデ。	
第463図 PL.359	738	土師器 甕	P434 完形	口頸 10.4 7.2	胴高 16.1 17.6		細砂粒・粗砂粒/良好/にぶい橙	胴部中位に楕円形(2.0×1.5cm)の穿孔。口縁部は横ナデ、胴部は上位がナデ、中位から底部はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ、口縁部下半もヘラナデ。	
第464図 PL.360	739	土師器 小型壺	P656 一部欠損	口胴 5.7 8.2	底高 4.3 7.9		細砂粒/良好/明赤褐	内面胴部に輪積み痕が残る。口縁部は横方向のハケ目後縦方向のヘラ磨き、胴部上半はヘラナデ、下半と底部はヘラ削り後ヘラ磨き。内面は口縁部に縦方向のヘラ磨き、底部から胴部はヘラナデ。	A I ①
第464図 PL.360	740	土師器 小型壺	P133-1 口縁部上半1/2欠損	口胴 12.6 18.2	底高 5.6 19.0		細砂粒・粗砂粒/良好/橙	口縁部と胴部上位に放射状ヘラ磨き、胴部中位・下位と底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	A I ②
第464図 PL.360	741	土師器 小型壺	P132-1 完形	口胴 7.2 11.0	底高 3.0 ~4.0 12.0		細砂粒/良好/にぶい黄橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部と底部はヘラ磨き、胴部中位は器面磨滅のため単位不明。内面は底部から胴部がヘラナデ。	A II ①
第464図 PL.360	742	土師器 小型甕	P604-1 完形	口頸 11.4 8.6	胴高 17.2 18.6		細砂粒/良好/にぶい黄橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部から底部はヘラ削り後ヘラ磨き、底部は器面磨滅のため単位不明。内面は底部から胴部がヘラナデ。	A II ①
第464図 PL.360	743	土師器 小型壺	P545-2 完形	口胴 9.3 11.1	底高 6.9 12.2		細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り、底部はヘラナデか。内面は底部から胴部がナデ。	B I ①

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
				口 胴	底 高	底 高				
第464図 PL.360	744	土師器 小型壺	P219 完形	口 胴	13.3 18.5	底 高	6.5 20.1	細砂粒・粗砂粒・ 褐色粒/良好/にぶい 褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラナデ後下半にヘラ磨 き、底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	B I ②
第464図 PL.360	745	土師器 小型壺	P85 口縁部上半1/2 欠損	口 胴	13.3 20.0	底 高	7.0 19.8	細砂粒・粗砂粒・ 石英/良好/橙	口縁部から胴部上位に放射状ヘラ磨き、胴部上半は器面磨 滅のため整形不明、下半と底部はヘラ削り。内面は底部から 胴部がヘラナデ。	B I ②
第464図 PL.360	746	土師器 小型壺	P211・331 口唇部1/2欠損	口 胴	13.8 18.7	底 高	6.0 18.4	細砂粒/良好/明赤 褐色	口縁部は放射状ヘラ磨き、胴部上半はナデ、下半と底部は ヘラ削り。内面は口縁部が斜放射状ヘラ磨き、底部から胴 部はヘラナデ。	B I ②
第465図 PL.361	747	土師器 小型壺	P90-12 4/5	口 胴	13.2 15.1	底 高	6.9 14.9	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部と底部はヘラ削り。内面は 底部から胴部をヘラナデ後胴部中程に間隔をあけたヘラ磨 き。	B II ①
第465図 PL.361	748	土師器 小型壺	P577-1 口縁部1/4欠損	口 胴	13.2 16.8	底 高	8.1 17.3	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位がヘラナデ、中位か ら下位はヘラ削り、底部もヘラ削り。内面は底部から胴部 がヘラナデ。	B II ①
第465図 PL.361	749	土師器 小型壺	P463 3/4	口 胴	16.2 15.2	底 高	6.3 14.9	細砂粒/良好/にぶ い赤褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部上半はナデ、下半と底部は ヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	B II ②
第465図 PL.361	750	土師器 小型壺	P94-2 口縁部2/3欠損	口 頸	8.9 7.4	胴 高	11.0 8.9	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	底部は丸底。口縁部は横ナデ、胴部は上位がナデ、中位か ら底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ、器面 磨滅のため単位不明。	B III ①
第465図 PL.361	751	土師器 小型壺	P89-1 完形	口 頸	7.7 8.6	胴 高	11.6 10.9	細砂粒/良好/にぶ い赤褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はナデ、底部はヘラ削り。 内面は底部から胴部がヘラナデか、付着物のため単位不明 瞭。	B IV ① スス付着。
第465図 PL.361	752	土師器 小型壺	P491-1 完形	口 頸	7.3 7.2	胴 高	10.0 5.9	細砂粒・粗砂粒・ 褐色粒/良好/橙	底部は丸底、口唇部は平坦で内傾する。口縁部から胴部 上半は横ナデ、下半から底部はヘラ削り。内面は底部から 胴部下下がナデ。	C ①
第465図 PL.361	753	土師器 小型壺	P82-8 口縁部一部欠損	口 頸	10.4 10.4	胴 高	11.8 7.2	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐色	口縁部から胴部上半は横ナデ、下半から底部は手持ちヘラ 削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	C ①
第465図 PL.361	754	土師器 小型壺	P616-7 底部～胴部下位 1/4欠損	口 胴	13.2 18.0	底 高	5.8 13.6	細砂粒/良好/浅黄 橙	成形時の歪みが大きい。口縁部は横ナデ、頸部下はナデ、 胴部と底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	C ①
第465図 PL.361	755	土師器 小型壺	P102 完形	口 頸	17.2 16.5	胴 高	21.3 16.5	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい橙	ロクロ痕に近い整形痕が残る。回転は右回りか。胴部下 半から底部は回転ヘラ削り後底部に手持ちヘラ削り。内面は 底部にヘラナデ。内面口唇部に「V」字状線刻。	C ②
第466図 PL.362	756	土師器 壺	P99-1 完形	口 胴	14.0 19.3	底 高	4.7 19.6	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい橙	口縁部は横ナデ、中位に弱い段を有する。胴部は上半部が ナデ、下半部がヘラ削り。底部はヘラ削り。内面は、ヘラ ナデ。	A ①
第466図 PL.362	757	土師器 壺	P99-2 口唇部1/2欠損	口 胴	15.6 20.0	底 高	5.9 20.6	細砂粒/良好/橙	内面胴部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、頸部下と底 部周囲はナデ、胴部と底部はヘラ削り。内面は底部から胴 部がヘラナデ。	A ①
第466図 PL.362	758	土師器 壺	P433 口縁部上半1/4 欠損	口 胴	16.5 21.0	底 高	6.6 21.5	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、胴部は上半がナデ、下半と底部はヘラ削 り。内面は底部から胴部下位にヘラナデが残る。	A ①
第466図 PL.362	759	土師器 壺	P580-1 3/4	口 胴	16.3 21.2	底 高	5.3 22.3	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐色	口縁部は横ナデ、胴部上位はナデ、中位・下位と底部はヘ ラ削り。内面は底部から胴部にヘラナデ、単位不鮮明。	A ①
第466図 PL.362	760	土師器 壺	P500 完形	口 胴	16.6 22.5	底 高	7.0 23.5	細砂粒/良好/橙	口縁部中位に段を有す。口縁部から頸部は横ナデ、胴部は 上位がヘラナデ、中位から下位と底部はヘラ削り、器面磨 滅のため単位不明。内面は底部から胴部がヘラナデ。	外面胴部に鉄 器付着。A ①
第467図 PL.363	761	土師器 壺	P126-5 一部欠損	口 胴	18.3 22.1	底 高	8.7 22.3	細砂粒・粗砂粒/ 良好/褐色	口縁部は横ナデ、胴部上位はナデ、中位から下位と底部は ヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	A ①
第467図 PL.363	762	土師器 壺	P603-2 完形	口 胴	16.5 24.0	底 高	7.0 24.9	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明褐色	内面胴部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、胴部は上半 がヘラ磨き、器面磨滅のため単位不鮮明、下半と底部はヘ ラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ、胴部上半は単位 不鮮明。	A ①
第467図 PL.363	763	土師器 壺	P427・633 口縁部一部欠損	口 胴	23.0 30.6	底 高	7.5 30.6	細砂粒/良好/橙	口縁部中位に段を有す。口縁部は横ナデ、胴部と底部はヘ ラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	A ②
第468図 PL.364	764	土師器 壺	P109-2 口縁部2/3欠損	口 胴	19.8 27.0	底 高	7.0 31.0	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	内面胴部に輪積み痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴 部上位・中位はヘラナデ、下位と底部はヘラ削り。内面は 底部から胴部がヘラナデ。	A ②
第468図 PL.364	765	土師器 壺	P440 口縁部1/2欠損	口 胴	19.6 28.8	底 高	8.2 32.5	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部中程に段を有す。口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削 りか、上位と中位は器面磨滅のため単位不明、底部はヘラ削 り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	A ②
第468図 PL.364	766	土師器 壺	P123 口縁部1/3欠損	口 胴	18.6 29.3	底 高	7.6 34.1	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、胴部は上位と中位がヘラナデ、下位と底 部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ、胴部上半 は器面磨滅のため単位不鮮明。	A ②
第469図 PL.365	767	土師器 壺	P426 口縁部一部欠損	口 胴	20.6 34.0	底 高	7.9 36.1	細砂粒/良好/橙	口縁部中位に段を有す。胴部は上半がヘラナデか、器面磨 滅のため単位不鮮明、下半と底部はヘラ削り。内面は底部 から胴部がヘラナデ、器面磨滅。	A ②
第469図 PL.365	768	土師器 壺	P117 ほぼ完形	口 胴	20.3 33.3	底 高	6.8 37.9	細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は横ナデ、中位に弱い段を有する。胴部外面はヘラ 磨き。内面はヘラナデ、ヘラ磨き。	A ②
第470図 PL.366	769	土師器 壺	P110 完形	口 胴	13.6 20.8	底 高	6.2 22.5	細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部と胴部上半は斜放射状ヘラ磨き、下半と底部はヘラ 削り。内面は口縁部が斜放射状ヘラ磨き、底部から胴部は ヘラナデ。	B ①
第470図 PL.366	770	土師器 壺	P425 完形	口 胴	15.3 24.2	底 高	7.1 26.1	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、胴部は上半が縦方向のヘラ削り単位不鮮 明、下半は横方向のヘラ削り、底部もヘラ削り。内面は底 部から胴部がヘラナデ。	B ①
第470図 PL.366	771	土師器 壺	P604-2 ほぼ完形	口 胴	17.4 28.0	底 高	8.1 29.9	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はハケ目(1cmあたり5～7本) 後胴部下半にヘラ削り、底部もヘラ削り。内面は底部から 胴部がヘラナデ。	B ①
第471図 PL.367	772	土師器 壺	P382 完形	口 胴	14.3 25.6	底 高	6.9 31.4	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部は横ナデ、胴部は上半がヘラナデ、下半はヘラ削り、 底部はヘラ削りか、器面磨滅のため不鮮明。内面は底部か ら胴部がヘラナデ。	B ②

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
				口 胴	底 高	底 高				
第471図 PL.367	773	土師器 壺	P370 1/2	口 胴	18.2 32.7	底 高	8.4 31.1	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	内面胴部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、胴部はヘラ 削り、底部はヘラ削りか、器面磨滅のため不鮮明。内面は 底部から胴部がヘラナデ。	B②
第471図 PL.367	774	土師器 甗	P465 口縁部1/4・胴 部一部欠損	口 胴	17.5 25.7	底 高	7.9 32.2	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は上位が横ナデ、中位から頸部はヘラナデ、胴部は ヘラナデ後ヘラ磨き、底部は中央部がナデ、周囲はヘラ削 り。内面は底部から胴部と口縁部の下位・中位がヘラナデ。	B②
第472図 PL.368	775	土師器 壺	P118-2 完形	口 胴	19.0 27.6	底 高	7.7 31.5	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい橙	口縁部は上半が横ナデ、下半は縦方向のヘラナデ、頸部は 横方向のヘラナデ、胴部はヘラナデ後ヘラ磨き、底部はヘ ラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	B②
第472図 PL.368	776	土師器 壺	P335 一部欠損	口 胴	18.4 28.9	底 高	6.8 32.8	細砂粒/良好/明褐	口縁部は横ナデ、胴部はヘラナデ後ヘラ磨き、ヘラ磨きは 横方向のみ残存、底部はヘラ削り。内面は底部から胴部と口 縁部下位がヘラナデ。	B②
第473図 PL.369	777	土師器 壺	P113 完形	口 胴	20.2 32.1	底 高	8.5 34.9	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部はハケ目後横ナデか、胴部はハケ目(1cmあたり7本)、 胴部下位は器面磨滅のため単位不鮮明、底部はヘラ削り。 内面は頸部がハケ目、底部から胴部はヘラナデ、器面磨滅 のため単位不明。	B②
第473図 PL.369	778	土師器 甗	P414 3/4	口 胴	16.6 27.5	底 高	7.4 33.2	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい褐	内面胴部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、頸部はヘラ ナデ、胴部と底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラ ナデ。	B②
第474図 PL.370	779	土師器 壺	P334 口縁部1/2欠損	口 胴	19.4 31.5	底 高	8.8 34.9	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削りか、器面磨滅のため単位 不明、底部もヘラ削り。内面は底部から胴部はヘラナデ、 器面磨滅のため単位不明。	B②
第474図 PL.370	780	土師器 壺	P388・418 2/3	口 胴	19.6 32.2	底 高	7.4 36.0	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい橙	内面胴部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、胴部はヘラ 削り後ヘラ磨きか、器面磨滅のため不鮮明、底部はヘラ削 り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	B②
第475図 PL.371	781	土師器 壺	P449-1・2 口縁部・胴部一 部欠損	口 胴	19.4 32.2	底 高	8.0 36.1	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい橙	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ磨き、胴部下位と底部は器面 磨滅のため整形不鮮明。内面は底部から胴部がヘラナデ。	B②
第475図 PL.371	782	土師器 壺	P112 完形	口 胴	17.8 34.2	底 高	8.3 39.4	細砂粒・粗砂粒/ 良好/浅黄橙	口縁部は横ナデ後上半に間隔のあいた縦方向のヘラ磨き、 胴部上半はヘラナデ、下半はヘラ削り後横方向のヘラ磨き、 底部はヘラ削り。内面は底部から胴部と口縁部下位がヘラ ナデ。	B②
第476図 PL.372	783	土師器 壺	P111 口縁部一部欠損	口 胴	22.7 35.5	底 高	8.6 40.8	細砂粒/良好/黄橙	口縁部は上半が横ナデ、下半から頸部下にかけてハケ目(1 cmあたり10本)、胴部はハケ目後ヘラナデ、底部はヘラ削り。 内面は底部から胴部下位がヘラナデ、上半はナデ、口縁部 下半はヘラナデ。	B③
第477図 PL.372	784	土師器 壺	P220 3/4	口 胴	22.9 36.4	底 高	8.5 42.7	細砂粒・粗砂粒/ 良好/浅黄橙	口縁部は放射状にヘラ磨き、胴部は上位に横方向のヘラ磨 きと下位にヘラ削りが残るが、その間は器面磨滅のため整 形不鮮明、底部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデか単位不 鮮明。	B③
第478図 PL.372	785	土師器 壺	P403 口縁部一部欠損	口 胴	20.0 40.6	底 高	7.5 43.1	細砂粒・粗砂粒/ 良好/浅黄橙	口縁部は横ナデ、頸部から胴部上位と中位にハケ目(1cm あたり10本)が残るが、大部分は器面磨滅、底部はヘラ削り。 内面は底部から胴部がヘラナデ。	B③
第479図 PL.373	786	土師器 壺	P533 3/4	口 胴	20.0 38.8	底 高	7.6× 9.5 44.4	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、頸部はヘラナデ、胴部はヘラ削り後ヘラ 磨き、底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	C
第480図 PL.373	787	土師器 壺	P182 1/2	口 胴	17.7 26.0	底 高	6.6 33.2	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部はハケ目後ナデ、胴部は上位から中位にハケ目(1cm あたり4～5本)、下位はヘラナデ、底部はヘラ削り。内面 は口縁部にハケ目が残る、底部から胴部がヘラナデ。	C
第480図 PL.374	788	土師器 甗	P437 一部欠損	口 胴	16.9 27.0	底 高	7.9 35.5	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、胴部は下半にヘラ磨きが残るが、上半は 器面磨滅のため不明、底部はヘラ削り。内面は底部から胴 部がヘラナデ。	
第481図 PL.374	789	土師器 甗	E2Gr 胴部	頸 胴	10.5 21.3			細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	外面胴部に輪積み痕が残る。胴部は上位がナデ、中位から 下位はヘラ削り。内面はヘラナデ。	
第481図 PL.374	790	土師器 壺	P646 底部～胴部上位 片	胴 底	22.7 7.0			細砂粒/良好/橙	底部はヘラ削り、胴部は上位と中位がヘラナデ、下位はヘ ラ削りが残る。内面はヘラナデ。	
第481図 PL.375	791	土師器 甗	P183・184 肩部～底部1/3	胴 底	31.2 8.4			細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	胴部はヘラ削り、底部は周辺がヘラ削り、中央はナデ。内 面は胴部下位がハケ目(1cmあたり11～13本)、底部と胴部 中位・上位はヘラナデ。	
第481図 PL.374	792	土師器 甗	P205 底部～胴部下 1/2片	底	7.8			細砂粒/良好/にぶ い黄橙	底部はヘラ削り、胴部はヘラ磨き、下位は器面磨滅のため 単位不明。内面はヘラナデ。	
第482図 PL.375	793	土師器 壺	P223 2/3	頸 胴	13.5 34.8	底	9.2	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい橙	内面胴部に輪積み痕が残る。底部はヘラ削り、胴部はヘラ 削り後一部にヘラ磨き。内面は底部から胴部にヘラナデ。	
第482図 PL.375	794	土師器 甗	P206 胴部～底部	胴 底	27.6 8.2			細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	内面胴部に輪積み痕が残る。胴部はヘラ削り後後中位より上 位にヘラ磨き、底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘ ラナデ。	
第483図 PL.376	795	土師器 小型甗	P582-5 4/5	口 胴	10.0 12.6	底 高	6.5 12.2	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はハケ目後ヘラ削りか、底 部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	AI①
第483図 PL.376	796	土師器 小型甗	P122 完形	口 胴	9.6 13.0	底 高	3.7 13.3	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り後上位・中位は ナデ、底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	AI①
第483図 PL.376	797	土師器 小型甗	P91 ほぼ完形	口 胴	9.6 13.2	底 高	8cm前 後 12.9	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ、胴部はナデ、底部はヘラ削り。内面は底 部にヘラナデが残るが胴部はナデで不明。	AI①
第483図 PL.376	798	土師器 小型甗	P101-2 口縁部一部欠損	口 胴	10.6 13.7	底 高	5.0 13.7	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ磨き、底部はヘラ削 り。内面は底部から胴部と頸部がヘラナデ。	AI①
第483図 PL.376	799	土師器 小型甗	P640 完形	口 胴	12.6 16.6	底 高	7.6 16.3	細砂粒/良好/浅黄 橙	口縁部は横ナデ、胴部上半はヘラナデ、下半はヘラ磨き、 中位は器面磨滅のため整形不明、底部はヘラ削り。内面は 底部から胴部がヘラナデ。	AI②
第483図 PL.376	800	土師器 小型甗	P509 完形	口 胴	14.4 16.1	底 高	6.4 16.1	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	内面胴部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、胴部は頸部 下と底部付近にハケ目(1cmあたり8本)が残る、底部はヘラ 削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	AI②

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口頸	胴高	底高			
第483図 PL.376	801	土師器 小型甕	P580-2 ほぼ完形	口頸 16.4 13.2	胴高 17.4 17.8	底高 6.0 16.6	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、胴部は上位と中位は器面磨滅のため整形不鮮明、胴部から位から底部はヘラ削り。内面は底部から胴部にヘラナデ。	A I ②
第483図 PL.376	802	土師器 小型甕	P89-2 口縁部一部欠損	口頸 11.2 13.2	胴高 6.0 16.6	底高 6.0 16.6	細砂粒/良好/浅黄 橙	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り後ヘラナデ、底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	A II
第483図 PL.376	803	土師器 小型甕	P643 胴部一部欠損	口頸 12.7 16.0	胴高 6.5 18.8	底高 6.5 18.8	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ、頸部にハケ目が残る。胴部上位と中位はナデ、下位と底部はヘラ削り。内面は口縁部がハケ目、底部から胴部がヘラナデ。	A II
第484図 PL.377	804	土師器 小型甕	P607-2 胴部一部欠損	口頸 12.8 12.8	胴高 6.2 13.1	底高 6.2 13.1	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部と底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	B I ①
第484図 PL.377	805	土師器 小型甕	P535 口縁部・胴部一 部欠損	口頸 11.5 13.3	胴高 5.8 14.3	底高 5.8 14.3	細砂粒/良好/橙	外面胴部に輪積み痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部と底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	B I ①
第484図 PL.377	806	土師器 小型甕	P84-11 口縁部一部欠損	口頸 11.5 10.5	胴高 13.9 15.0	底高 13.9 15.0	細砂粒/良好/浅黄 橙	口縁部は横ナデ、胴部上半はナデ、下半から底部はヘラ削り。内面は底部から胴部、口縁部下半がヘラナデ。	B I ①
第484図 PL.377	807	土師器 小型甕	P120-1 完形	口頸 12.2 13.8	胴高 6.8 15.2	底高 6.8 15.2	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、胴部はヘラナデ、底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	B I ①
第484図 PL.377	808	土師器 小型甕	P492 完形	口頸 12.1 14.4	胴高 5.0 14.7	底高 5.0 14.7	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部と底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	B I ①外側胴部に鉄器付着(鉄器一括)
第484図 PL.377	809	土師器 小型甕	P96-1 完形	口頸 11.8 14.8	胴高 5.3 15.4	底高 5.3 15.4	細砂粒/良好/橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ磨き、底部と底部周囲はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	B I ①
第484図 PL.377	810	土師器 小型甕	P76 完形	口頸 15.6 16.3	胴高 5.6 19.7	底高 5.6 19.7	細砂粒/良好/橙	口縁部上半は横ナデ、胴部はヘラ磨き、底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	B I ②
第484図 PL.377	811	土師器 広口壺	P125 完形	口頸 9.8 11.5	胴高 6cm前 後 10.3	底高 6cm前 後 10.3	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部は横ナデ、胴部上位はヘラ削り、中位・下位はヘラ磨き、底部はヘラナデ。内面は底部から胴部がヘラナデ。	B II ①
第484図 PL.377	812	土師器 小型甕	P47-5 口縁部一部欠損	口頸 10.0 10.2	胴高 6.0 11.5	底高 6.0 11.5	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は上半が横ナデ、下半から胴部にかけては縦方向のヘラ磨き、胴部下半は器面磨滅のため整形不明、底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	B II ①
第484図 PL.377	813	土師器 小型甕	P128-3 ほぼ完形	口頸 12.2 13.8	胴高 6.3 14.3	底高 6.3 14.3	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、胴部と底部はヘラ削り後、口縁部下半から胴部中位にかけてヘラ磨き。内面は底部から胴部がヘラナデ。	B II ①
第485図 PL.377	814	土師器 小型甕	P332 完形	口頸 13.8 15.6	胴高 6.8 16.8	底高 6.8 16.8	細砂粒/良好/明黄 褐	胴部内外面に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、胴部はヘラナデか、器面磨滅のため整形不鮮明、底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	B II ②
第485図 PL.377	815	土師器 小型壺	P109-1 ほぼ完形	口頸 13.1 16.2	胴高 14前 後 16.2	底高 14前 後 16.2	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部上位はナデ、中位から下位はヘラナデ、底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	B II ②
第485図 PL.378	816	土師器 小型甕	P126-1 完形	口頸 13.9 15.1	胴高 5.2 18.4	底高 5.2 18.4	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部は横ナデ、胴部と底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	B II ②
第485図 PL.378	817	土師器 小型甕	P570 完形	口頸 11.0 12.8	胴高 6.3 18.6	底高 6.3 18.6	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	内面胴部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、胴部と底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデか。	B II ②
第485図 PL.378	818	土師器 小型甕	P647 胴部～底部1/3 欠損	口頸 10.7 12.5	胴高 5.4 10.6	底高 5.4 10.6	細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラナデ、底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	C I
第485図 PL.378	819	土師器 小型甕	P545-1 口縁部1/3欠損	口頸 9.2 8.4	胴高 10.9 8.7	底高 10.9 8.7	細砂粒/良好/明赤 褐	底部は丸底。口縁部は横ナデ、胴部は上半がナデ、下半から底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	C II ①
第485図 PL.378	820	土師器 小型甕	P648 完形	口頸 9.4 9.0	胴高 11.2 9.1	底高 11.2 9.1	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	底部は丸底。口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位と中位がヘラナデ、下位から底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	C II ①
第485図 PL.378	821	土師器 小型甕	P89-5 口縁部一部欠損	口頸 12.0 13.5	胴高 13.5 10.1	底高 13.5 10.1	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい赤褐	口縁部は横ナデ、胴部は上位がナデ、中位から底部はヘラ削り。内面は底部から胴部はヘラナデ、器面磨滅のため単位不明。	C II ①
第485図 PL.378	822	土師器 小型甕	P83-10 完形	口頸 11.0 12.6	胴高 4.5 11.2	底高 4.5 11.2	細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は横ナデ、頸部はヘラ磨き、胴部はヘラナデ、器面磨滅のため単位不鮮明、底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	C II ①
第485図 PL.378	823	土師器 小型甕	P590-3 口縁部1/3欠損	口頸 11.7 10.7	胴高 12.4 9.9	底高 12.4 9.9	細砂粒/良好/黒褐	底部は丸底。口縁部から頸部は横ナデ、胴部から底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	C II ①
第485図 PL.378	824	土師器 小型甕	P581-4 ほぼ完形	口頸 12.2 13.2	胴高 6.3 12.2	底高 6.3 12.2	細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は横ナデ、胴部は上位がナデ、中位・下位はヘラナデ、底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	C II ①
第486図 PL.378	825	土師器 小型甕	P87-1 口縁部一部欠損	口頸 12.8 11.3	胴高 13.2 11.8	底高 13.2 11.8	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位がナデ、中位・下位はヘラ磨き、底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	C II ①
第486図 PL.378	826	土師器 小型甕	P574-1 完形	口頸 13.4 13.1	胴高 6.1 11.8	底高 6.1 11.8	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部は横ナデ、胴部はハケ目(1cmあたり3本)、底部はヘラ削り。内面は底部から胴部、口縁部下半がヘラナデ。	C II ①
第486図 PL.378	827	土師器 小型甕	P586 ほぼ完形	口頸 12.5 11.7	胴高 13.6 10.5	底高 13.6 10.5	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ、胴部上位はヘラナデ、中位から底部は器面剥離のため整形不明。内面は底部から胴部がヘラナデか。	C II ①
第486図 PL.378	828	土師器 小型甕	P508-2 完形	口頸 12.9 13.8	胴高 5.0 11.8	底高 5.0 11.8	細砂粒・粗砂粒・ 石英/良好/にぶい 橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部上半はナデ、口縁部下半から胴部上半に雑なヘラ磨き、胴部下半から底部はヘラ削り。内面は口縁部と胴部に雑なヘラ磨き。	C II ①
第486図 PL.378	829	土師器 小型甕	P605-3 口縁部一部欠損	口頸 12.7 12.1	胴高 14.1 11.0	底高 14.1 11.0	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位がナデ、中位・下位はヘラナデ、底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	C II ①
第486図 PL.378	830	土師器 小型甕	P126-2 完形	口頸 13.8 13.9	胴高 5.3 14.6	底高 5.3 14.6	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、胴部は上半がナデ、下半と底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	C II ①
第486図 PL.379	831	土師器 小型甕	P96-4 口縁部一部欠損	口頸 12.0 13.0	胴高 5.3 11.9	底高 5.3 11.9	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り、底部もヘラ削り、器面磨滅のため単位不明。内面は底部から胴部がヘラナデ。	C II ①
第486図 PL.379	832	土師器 小型甕	P584 ほぼ完形	口頸 12.2 14.0	胴高 6.9 12.2	底高 6.9 12.2	細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は横ナデ、頸部下はナデ、胴部はヘラナデ、底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	C II ①

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
				口 胴	底 高	5.2× 4.8 12.2				
第486図 PL.379	833	土師器 小型甕	P130 口唇部1/2欠損	口 胴	11.8 13.6	底 高	5.2× 4.8 12.2	細砂粒/良好/橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部と底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。口唇端部は平坦面をつくる。	CⅡ①
第486図 PL.379	834	土師器 小型甕	P644-1 ほぼ完形	口 胴	13.1 14.2	底 高	4.6 13.1	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ、胴部と底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	CⅡ①
第486図 PL.379	835	土師器 小型甕	P507-9 完形	口 胴	14.6 15.7	底 高	8.9 12.8	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ、胴部はハケ目(1cmあたり8本)、底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	CⅡ①
第487図 PL.379	836	土師器 小型甕	P63-4 完形	口 胴	15.7 14.7	底 高	6.9 13.5	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上半がナデ、下半と底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	CⅡ②
第487図 PL.379	837	土師器 小型甕	P468 4/5	口 胴	14.2 15.2	底 高	5.3 14.5	細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部と底部はヘラ削り、胴部は器面がやや磨滅。内面は底部から胴部がヘラナデ。	CⅡ②
第487図 PL.379	838	土師器 小型甕	P63-3 底部一部欠損	口 胴	15.9 14.8	底 高	8.5 13.2	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい褐	底部の成整形は雑。口縁部は横ナデ、胴部は上半がナデ、中位がヘラナデ、中位は単位不鮮明、下位と底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	CⅡ②
第487図 PL.379	839	土師器 小型甕	P497-2 ほぼ完形	口 胴	17.2 18.3	底 高	8.2 15.1	細砂粒/良好/浅黄 橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は器面磨滅のため整形不鮮明、底部とその周辺はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ、胴部中程は器面磨滅。	CⅡ②
第487図 PL.379	840	土師器 小型甕	P88 完形	口 胴	17.1 17.5	底 高	6.5 14.5	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、胴部は上位・中位がヘラナデ、下位と底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	CⅡ②
第487図 PL.380	841	土師器 小型甕	P787 口縁部・胴部 1/4欠損	口 胴	9.0 10.3	底 高	4.2 8.9	細砂粒/良好/黄灰	口縁部は横ナデ、胴部は上位がナデ、中位がヘラナデ、下位はヘラ削り、底部もヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	CⅢ①
第487図 PL.380	842	土師器 小型甕	P454-4 ほぼ完形	口 胴	10.3 12.0	底 高	4.0× 3.2 9.2	細砂粒/良好/橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ磨き、一部器面磨滅のため単位不明。底部はヘラ削り。内面は口縁部に1条の凹線が巡る、底部から胴部はヘラナデ。	CⅢ①
第487図 PL.380	843	土師器 小型甕	P129 口縁部一部欠損	口 胴	10.3 12.1	底 高	4.1 9.2	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部から頸部は横ナデ、頸部下はナデ、胴部はヘラ削り後大部分をヘラ磨き、底部もか。内面は底部から胴部がヘラナデ。	CⅢ①
第487図 PL.380	844	土師器 小型甕	P95-1 ほぼ完形	口 胴	9.9 12.0	底 高	4.9 10.2	細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部と底部はヘラ削り、胴部上位にナデ部分が残る。内面は底部から胴部がヘラナデ後底部から胴部下半に放射状ヘラ磨き。	CⅢ①
第488図 PL.380	845	土師器 小型甕	P526 口縁部1/4欠損	口 最	10.7 12.9	底 高	4.8 10.5	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ、体部上位はナデ、中位から下位はヘラ磨き、底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	CⅢ①
第488図 PL.380	846	土師器 小型甕	P645 完形	口 胴	10.1 13.5	底 高	7.3 11.4	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラナデ後部分的にヘラ磨き、底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	CⅢ①
第488図 PL.380	847	土師器 小型甕	P72-13 口縁部・底部一 部欠損	口 頸	11.0 11.0	胴 高	13.6 10.8	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい橙	内面胴部に輪積み痕が残る。口縁部から頸部下まで横ナデ胴部から底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデか。	内面底部に白 色付着物あり。 CⅢ①
第488図 PL.380	848	土師器 小型甕	P511 ほぼ完形	口 胴	11.9 14.9	底 高	10cm 前後 11.7	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	内面黒色処理。口縁部は横ナデ、頸部下はナデ、胴部はヘラ磨き、底部はヘラ削り。内面は底部から胴部下半がヘラ磨き、上半はヘラナデ。	CⅢ①
第488図 PL.380	849	土師器 小型甕	P285 底部・胴部一部 欠損	口 頸	12.8 12.8	胴 高	14.4 12.1	細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ磨き、底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	CⅢ①
第488図 PL.380	850	土師器 小型甕	P644-2 ほぼ完形	口 胴	14.5 16.1	底 高	6.7 14.3	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ、胴部と底部はハケ目(1cmあたり7本)。内面は底部から胴部がヘラナデ。	CⅢ②
第489図 PL.381	851	土師器 甕	P311 完形	口 胴	24.5 28.6	底 高	8.8 33.6	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	内面胴部に輪積み痕が残る。口縁部から胴部はハケ目(1cmあたり4・5本)後胴部下半にヘラ削り、底部もヘラ削り。内面は口縁部から頸部がハケ目、底部から胴部はヘラナデ。	A③
第489図 PL.381	852	土師器 甕	P177 口縁部・胴部一 部欠損	口 胴	24.2 27.6	底 高	6.9 32.3	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	外面胴部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り、上位・中位は器面磨滅のため単位不明、底部もヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ、単位不鮮明。	A③
第490図 PL.380	853	土師器 甕	P713 1/2	口 胴	23.6 23.3	底 高	7.8 22.7	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はヘラ磨き、底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	B
第490図 PL.382	854	土師器 甕	P118-1 ほぼ完形	口 胴	14.0 19.7	底 高	7.5 24.4	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部から頸部下は横ナデ、胴部はヘラナデ、底部はヘラ削りか。内面は底部から胴部がヘラナデ。	C①
第490図 PL.382	855	土師器 甕	P349 ほぼ完形	口 胴	15.7 21.3	底 高	6.8 24.8	細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は横ナデ、胴部は上位がヘラナデ、中位から下位はヘラ磨き、底部はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ。単位不鮮明。	C①
第491図 PL.382	856	土師器 小型壺	P296 3/4	口 胴	16.6 21.9	底 高	6.6 19.7	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部から頸部は横ナデ。胴部はヘラナデ。底部はヘラ削り。内面は胴部に縦方向のヘラ磨き。	C①
第491図 PL.382	857	土師器 甕	P603-1 口縁部・胴部一 部欠損	口 胴	16.4 21.4	底 高	6.0 25.0	細砂粒/良好/赤褐	口縁部は上位が横ナデ、中・下位はヘラナデ単位不鮮明、胴部はヘラナデ、底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	C①
第491図 PL.382	858	土師器 壺	P95-2 胴部一部欠損	口 胴	16.3 22.2	底 高	7.4 25.7	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部から胴部上位に放射状ヘラ磨き、胴部は上半が横方向、下半が縦方向のヘラ削り、底部もヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	C①
第491図 PL.383	859	土師器 甕	P634 完形	口 胴	14.9 22.5	底 高	7.4 27.5	細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラナデ、底部はヘラ削り、底部周縁は器面磨滅。内面は底部から胴部がヘラナデ、器面磨滅のため単位不明。	C①
第492図 PL.383	860	土師器 壺	P133-2 口縁部一部欠損	口 胴	17.9 24.6	底 高	6.9 28.4	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	内面胴部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、胴部はヘラ磨き、底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	C①
第492図 PL.383	861	土師器 甕	P588 3/4	口 胴	17.8 23.6	底 高	8.0 29.3	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は上半が横ナデ、下半から頸部はヘラナデ、胴部と底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	C①
第492図 PL.383	862	土師器 甕	P416 口縁部・胴部一 部欠損	口 胴	17.5 25.0	底 高	7.0 29.8	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部上半はヘラナデ、中位は器面磨滅のため不鮮明、下位と底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	C①
第493図 PL.384	863	土師器 甕	P291 一部欠損	口 胴	15.3 24.0	底 高	9.3 29.3	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部と底部はヘラ削りか、器面磨滅のため不鮮明。内面は底部から胴部がヘラナデ、内面も器面磨滅のため不鮮明。	C①
第493図 PL.384	864	土師器 甕	P176 3/4	口 胴	16.6 26.5	底 高	6.4 31.1	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ、頸部はヘラナデ、胴部は上半にハケ目(1cmあたり8本)が残り、下半はヘラナデ、底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	C②

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
				口 胴	底 高	底 高				
第494図 PL.384	865	土師器 壺	P642 3/4	口 胴	20.6 29.6	底 高	8.7 34.3	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい褐	口縁部は上半が横ナデ、下半から頸部はヘラナデ、胴部と 底部はヘラ削り。内面は底部から頸部と口縁部下位はヘラ ナデ。	C②
第494図 PL.385	866	土師器 甗	P435 口縁部一部欠損	口 胴	19.5 28.7	底 高	7.0 34.3	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り後上位から中位にヘラ磨 き、底部はヘラ削り。内面は底部から胴部と口縁部下位が ヘラナデ。	C②
第495図 PL.385	867	土師器 甗	P104 完形	口 胴	15.7 22.5	底 高	6.1 29.3	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部と底部はヘラ削り。内面は 底部から胴部がヘラナデ。	D①
第495図 PL.385	868	土師器 甗	P391-1・2 口縁部・胴部一 部欠損	口 胴	16.5 23.1	底 高	7.0 30.0	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい橙	内面胴部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、胴部はヘラ ナデ、底部はヘラ削り。内面は体部から胴部がヘラナデ。	D①
第495図 PL.386	869	土師器 壺	P639 完形	口 胴	17.4 24.0	底 高	6.4 31.3	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	外面頸部に輪積み痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴 部と底部はヘラ削り。内面は底部から胴部にヘラナデ。	D①
第496図 PL.386	870	土師器 甗	P95-3 口縁部一部欠損	口 胴	17.0 22.2	底 高	6.0 31.1	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	内面胴部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、胴部と底部 はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	D①
第496図 PL.386	871	土師器 甗	P438 完形	口 胴	17.8 23.6	底 高	8.8 32.9	細砂粒/良好/浅黄 橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部と底部はヘラ削り。内面は 底部から胴部がヘラナデ。	D②
第496図 PL.386	872	土師器 甗	P466 口唇部・底部一 部欠損	口 胴	16.2 25.6	底 高	7.1 34.2	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ、頸部と胴部上位の一部は横ナデ、胴部は ヘラ磨き、底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナ デ。	D②
第497図 PL.387	873	土師器 甗	P106 完形	口 胴	19.4 27.6	底 高	8.6 35.2	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は上半が横ナデ、下半から胴部と底部はヘラ削り。 内面は底部から胴部がヘラナデ。	D②
第497図 PL.387	874	土師器 甗	P439 口縁部1/5欠損	口 胴	16.4 20.8	底 高	6.6 33.6	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ磨き、底部はヘラ削り、器面 磨滅のため単位不明。内面は底部から胴部がヘラナデ。	D③
第498図 PL.388	875	土師器 甗	P181 3/4	口 胴	17.4 21.1	底 高	7.3 33.8	細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は横ナデ、胴部は上位・中位がハケ目(1cmあたり8 本)、下位と底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラ ナデ。	D③
第498図 PL.388	876	土師器 甗	P415 3/4	口 胴	16.2 22.5	底 高	6.8 35.3	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部は横ナデ、胴部と底部はヘラ削り。内面は底部から 胴部がヘラナデ。	D③
第498図 PL.388	877	土師器 甗	P98 完形	口 胴	12.6 17.3	底 高	7.5 23.9	細砂粒・粗砂粒/ 良好/浅黄	内外面の胴部に輪積み痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、 胴部はヘラナデ、底部はヘラ削り。内面は底部から胴部が ヘラナデ。	E
第499図 PL.388	878	土師器 甗	P676 口縁部～胴部上 位片	口 頸	24.6 22.5	胴	27.4	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、胴部はヘラナデ、単位不鮮明。内面は胴 部がヘラナデ。	
第499図 PL.389	879	土師器 甗	P124 底部欠損	口 胴	17.3 20.1	底	9.4	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部は横ナデ、胴部と底部はヘラ削り。内面は底部から 胴部がヘラナデ。底部の孔は一部に二次調整が行われてお り、甗に転用か。	底孔6.9×7.4
第499図 PL.389	880	土師器 甗	P786 頸部から胴部上 半1/2	頸 胴	16.5 28.7			細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい赤褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ磨き。内面は胴部が ヘラナデ。	
第499図 PL.389	881	土師器 甗	P323 口縁部～胴部 1/3	頸 胴	15.2 28.2			細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、胴部はヘラナデか、大部分は器面磨滅の ため単位不鮮明。内面胴部はヘラナデ。	
第500図 PL.390	882	土師器 甗	P307 底部～胴部2/3	胴 底	35.0 8.2			細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	胴部はヘラ磨き、大部分は器面磨滅のため単位不鮮明、底 部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	
第500図 PL.390	883	土師器 甗	P395 胴部片	胴	24.5			細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	胴部は外面がヘラ削り、内面はヘラナデ。	
第501図 PL.391	884	須恵器 椀	P132-2 完形	口 稜	7.6 8.5	高	6.6	細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/黄灰	ロクロ整形、回転右回り。体部上位に2段の断面三角形の 凸帯、その下位に波状文が巡る、底部は手持ちヘラ削り。	
第501図 PL.391	885	須恵器 大口壺	P477-3 口縁部一部欠損	口 頸	9.1 8.7	胴 高	10.0 7.2	細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。胴部上位に凹線による区画、そ の中に刺突文、底部から胴部下位は回転ヘラ削り。内面胴 部下半に降灰が付着。	
第501図 PL.391	886	須恵器 脚付椀	P58-13 脚部一部欠損	口 稜	7.2 9.2	脚 高	7.8 10.8	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。脚部下位に円形の透孔が3カ所、 配置不均衡。椀身は体部上位に刺突文が巡り、底部は回 転ヘラ削り。	
第501図 PL.391	887	須恵器 高杯	P96-5 口縁部一部欠	口 稜	13.3 13.1	脚 高	10.3 10.7	細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。杯身と脚部は接合、脚部に台 形状の透孔が3カ所、配置不均衡。杯身は体部に波状文 が巡り、底部は回転ヘラ削り。	
第501図 PL.391	888	須恵器 高杯	P40 完形	口 脚	12.6 9.6	高	11.9	細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。杯身と脚部は接合、脚部に台 形状の透孔が3カ所、配置不均衡。杯身は体部上位を2条 の稜で区画し、その下位に波状文が巡る。底部は回転ヘラ 削り。内面にアテ具痕を残す。	
第501図 PL.391	889	須恵器 高杯	P558 脚部欠	口 稜	14.7 14.4			細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。杯身と脚部は接合、脚部に台 形状の透孔が3カ所、配置不均衡。杯身は体部に凹線に よる区画内に波状文が巡り、底部は回転ヘラ削り。	
第501図 PL.391	890	須恵器 甗	P90-14 ほぼ完形	口 高	12.6 10.6	胴 孔	10.3 1.8	細砂粒/還元焰/黄 灰	ロクロ整形。回転右回り。口縁部は上位に沈線が巡り、そ の上下に放射状に条線が延びる。体部上位に2条の沈線を 巡らし、その間に櫛形列点文を配する。注口は直径1.7cm の長円形を呈する。	
第501図 PL.391	891	須恵器 甗(二重)	P577-8 完形	口 高	11.2 12.2	胴 孔	11.3 1.3	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形。口縁部は断面三角形の凸帯によって区画、区 画の上下に2段の波状文。頸部から胴部上半は凹線によ って3段に区画、各区画内を刺突文が巡る。また、胴部から 底部には縦に長い透かしが上位6カ所、中位6カ所、下位 5カ所交互に設けられ、ともに底部中央の1カ所と胴部下 位の4カ所に円形の透かしが設けられている。口縁部から 胴部上半は一部降灰によって不鮮明。	
第501図 PL.391	旧 9	石	完形	長 幅	1.4 1.6	厚 重	0.9 2.1	熔融砂	二重甗の中空部分で確認。	
第501図 PL.392	892	須恵器 甗	P115-1 口縁部欠損	頸 胴	6.7 17.6	孔 残 存 高	1.3 11.2	細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか。底部には平行叩き痕が残る。 胴部上半に降灰が厚く付着。	
第501図 PL.391	893	須恵器 甗	P57-11 底部欠損	口 頸	11.8 6.5	胴	10.4	細砂粒/酸化焰/橙	ロクロ整形。口縁部は下半に1段の波状文、胴部は上位が カキ目、中位は凹線による区画内に左側からの刺突文、下 位から底部はヘラ削りか。	

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
				頸	胴	高				
第502図 PL.392	894	須恵器 甕	P100 口縁部上半欠損	頸 5.7 12.4	孔	1.2	細砂粒/還元焰/黄 灰	ロクロ整形、回転左回りか。口縁部中ほどに断面三角形の凸帯、胴部下半から底部は手持ちヘラ削り、底部は器面磨滅のため単位不明。外面の胴部上半と内面の口縁部と底部に降灰が厚く付着。		
第502図 PL.392	895	須恵器 直口壺	P597 完形	口 頸 9.4 7.1	胴 高	12.2 13.5	細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。内面頸部に輪積痕が残る。口縁部中位に凹線による区画とその内部に波状文、胴部上半に凹線による2段の区画と内部に刺突文が巡る。胴部下半から底部は木口の残る手持ちヘラ削り。		
第502図 PL.392	896	須恵器 壺	P635 口縁部1/2欠損	口 頸 11.9 9.4	胴 高	15.1 15.7	細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか。内面底部に輪積痕が残る。底部から胴部下半には格子目状の叩き痕が残る、胴部中位は回転ヘラ削り。内面は底部から胴部下半がアテ具痕をナデ消している。		
第502図 PL.392	897	須恵器 小型甕	P436 完形	口 頸 19.0 12.6	胴 高	23.6 23.7	細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰	胴部と口縁部は頸部で接合。胴部外面は中位に平行叩き痕が残る。下位は弱いヘラ削り。内面は底部から胴部にアテ具痕を残す。		
第502図 PL.393	898	須恵器 甕	P115-2 完形	口 頸 19.7 14.2	胴 高	31.9 34.0	細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰	口縁部と胴部は頸部で接合。口縁部はロクロ整形、底部から胴部には平行叩き後間隔をあけた横方向のナデ。内面は底部から胴部に同心円状アテ具痕が残るが、上半は部分的に縦方向のナデが施されている。		
第503図 PL.393	899	須恵器 壺	P195 口縁部一部欠損	口 頸 20.0 15.6	胴 高	35.6 37.1	細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰白	口縁部はロクロ整形、頸部で胴部と接合、胴部は底部から胴部まで平行叩き痕が残る。内面は底部から胴部に同心円状アテ具痕が残る。		
第503図 PL.394	900	須恵器 甕	P116 口縁部1/3欠損	口 頸 18.0 12.5	胴 高	27.1 27.3	細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰	口縁部と胴部は頸部で接合。口縁部は中位で断面三角形の凸帯による区画、上下に波状文が巡る、底部から胴部は平行叩き後胴部に間隔をあけて2～4条の浅いカキ目。内面は底部にアテ具痕が残るが、胴部はヘラナデ。		
第504図 PL.394	901	須恵器 甕	P637 口縁部上半1/2 欠損	口 頸 22.7 16.3	胴 高	47.8 44.0	細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰	口縁部と胴部は頸部で接合。口縁部はロクロ整形、外面はロクロ痕をナデ消している。底部から胴部には平行叩き痕が残る。内面は底部から胴部に同心円状アテ具痕が残る。		
第505図 PL.395	902	須恵器 甕	P114 完形	口 胴 24.3 49.0	高	48.6	細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰	口縁部はロクロ整形、頸部で胴部と接合、外面は胴部から底部まで平行叩き目痕が残る。内面は底部から胴部にアテ具痕が残る。下半部ではこれを一部ナデ消している。	外面全体と内 面底部に窯体 の剥落片、灰 が厚く付着。	
第502図	903	須恵器 高杯か	口縁部小片				細砂粒/還元焰/灰 黄褐	ロクロ整形。口縁部は波状文を施したのち、波状文の中ほどに1条の凹線が巡る。		
第502図	904	須恵器 甕	口縁部片				細砂粒/還元焰/暗 灰	ロクロ整形。口唇端部は内傾する平坦面をつくる。		
第502図	905	須恵器 甕	胴部微細片				細砂粒/還元焰/黄 灰	胴部には凹線と刺突文が巡る。		
第502図	906	須恵器 甕	胴部小片				細砂粒/還元焰/黄 灰	外面は平行叩き痕、内面は同心円状アテ具痕が残る。		
第502図	907	須恵器 甕	胴部小片				細砂粒/還元焰/黄 灰	外面は平行叩き後間隔をあけたナデ。内面は同心円状アテ具痕が残る。		
第506図 PL.395	1	小型鏡	完形	径	5.7	厚	0.15~ 0.2	青銅	鑄上がりが悪いのか、文様の判別難しい。	
第507図 PL.396	1	石製品 勾玉	S2748 完形	長 幅	3.6 2.2	厚 重	1.3 12.0	葉ろう石	明緑灰色。全体的に丁寧に研磨整形されている。孔はわずかにヒョウタン形を呈しており二つの孔が連結した可能性がある。	
第507図 PL.396	2	石製品 勾玉	S2288 完形	長 幅	3.2 2.2	厚 重	0.9 8.2	葉ろう石	明緑灰色。全体的に丁寧に研磨整形されており光沢がある。二つの孔が認められ孔の周囲はわずかに窪んでいる。一つの孔は長楕円形を呈する。	
第507図 PL.396	3	石製品 勾玉	P-572 S1 完形	長 幅	2.8 1.8	厚 重	0.7 4.7	葉ろう石	暗緑色。全体的に丁寧に研磨整形されており光沢がある。孔はわずかにヒョウタン形を呈しており二つの孔が連結した可能性がある。	
第507図 PL.396	4	石製品 勾玉	P-485-5 S2 ほぼ完形	長 幅	1.8 0.9	厚 重	0.8 1.3	葉ろう石	淡緑色。全面に面取り整形痕の認められる。孔径約1mm。	
第507図 PL.396	5	石製品 勾玉	P-506 S2 完形	長 幅	1.4 0.7	厚 重	0.4 0.4	葉ろう石	淡緑色。全体的に丁寧に研磨整形されているが表裏面と側面との境界にはやや稜が形成される。全体的にやや光沢がある。表面の孔の周囲は孔と同心円状にわずかに窪んでいる。孔径約2mm。	
第507図 PL.396	6	石製品 勾玉	P-479 S2 2/3	長 幅	(1.1) (0.4)	厚 重	0.3 0.03	葉ろう石	緑色。全体的に丁寧に研磨整形されているが表裏面と側面との境界にはやや稜が形成される。全体的にやや光沢がある。	
第507図 PL.396	7	石製品 勾玉	S1602 完形	長 幅	3.8 3.0	厚 重	1.2 4.3	琥珀	発掘現場で取り上げの際、脆弱であるため保存処理される。そのため色彩不明。全体的に丁寧に研磨整形されている。孔は長楕円形を呈する。	
第507図 PL.396	8	石製品 勾玉	P-479-2 S55 完形	長 幅	2.3 1.5	厚 重	0.8 4.4	変質蛇紋岩	暗緑灰色。全体的に丁寧に研磨整形されており光沢がある。孔はわずかにヒョウタン形を呈する。	
第507図 PL.396	9	石製品 勾玉	S2304 完形	長 幅	2.6 1.7	厚 重	0.9 5.0	変質蛇紋岩	暗緑色。全体的に丁寧に研磨整形されており光沢がある。裏面の孔の周囲は孔と同心円状にわずかに窪んでいる。孔径約2mm。	
第507図 PL.396	10	石製品 勾玉	S2414 完形	長 幅	2.5 1.4	厚 重	0.6 2.4	変質蛇紋岩	緑灰色。全体的に丁寧に研磨整形されておりやや光沢がある。表裏面の孔の周囲は孔と同心円状にわずかに窪んでいる。表裏面の孔はわずかにヒョウタン形を呈しており二つの孔が連結した可能性がある。	
第507図 PL.396	11	石製品 勾玉	P-497-2 S34 完形	長 幅	2.6 1.6	厚 重	0.8 4.06	変質蛇紋岩	明緑灰色。全体的に丁寧に研磨整形されており光沢がある。表裏面の孔はヒョウタン形であるが、孔の中央付近は狭くなっておりほぼ円形を呈する。	
第507図 PL.396	12	石製品 勾玉	P-571-1 S92 完形	長 幅	2.6 1.7	厚 重	0.7 3.7	蛇紋岩	黒色。全体的に丁寧に研磨整形されており光沢がある。二つの孔が連結した状態であり孔は明瞭なヒョウタン形を呈する。	
第507図 PL.396	13	石製品 勾玉	S2298 完形	長 幅	2.5 1.6	厚 重	0.8 3.8	蛇紋岩	暗灰色。全体的に丁寧に研磨整形されておりやや光沢がある。表裏面の孔の周囲は孔と同心円状にわずかに窪んでいる。表裏面の孔はわずかにヒョウタン形を呈しており二つの孔が連結した可能性がある。	

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				長幅	厚	重			
第507図 PL.396	14	石製品 勾玉	P-479-1 S1 完形	1.8 1.2	0.5 1.4	滑石	緑灰色。全体的に丁寧に研磨整形されているが光沢はない。表裏面の孔の周囲は孔と同心円状にわずかに窪んでいる。孔径約2mm。		
第507図 PL.396	15	石製品 勾玉	P-78-1 S40 P-78-2 S1 1/4	(1.4) (1.1)	(0.8) 1.7	ぎよくずい	赤褐色。全体的に丁寧に研磨整形されており光沢がある。上面は折断面であるが表裏面からの両極加撃の痕跡が認められ故意に折断している可能性がある。	2点接合	
第508図 PL.396	1	石製品 管玉	P-489 完形	3.2 0.8	0.8 3.80	蛇紋岩	暗緑灰色。全体的に丁寧に研磨整形されており光沢がある。孔は中央付近が狭くなっており両面穿孔と考えられる。上下面ともに孔径約3mm。		
第508図 PL.396	2	石製品 管玉	P-478-1 S1 完形	3.0 0.8	0.8 2.83	蛇紋岩	緑黒色。全体的に丁寧に研磨整形されており光沢がある。孔は中央付近が狭くなっており両面穿孔と考えられる。上下面ともに孔径約3mm。		
第508図 PL.396	3	石製品 管玉	P-571-1 S76 完形	3.0 0.7	0.7 2.31	蛇紋岩	暗緑灰色。側面部にはわずかに擦痕が認められる、側面部と上下面ともによく研磨整形されているが光沢がやや鈍い。肉眼で孔は一直線ではなく、中央付近が狭くなっているのが観察できる。両面穿孔の可能性ある。上下面の孔径約3mm。		
第508図 PL.396	4	石製品 管玉	S2286 完形	2.7 0.8	0.8 3.23	蛇紋岩	暗緑色。側面部は丁寧に研磨整形されておりわずかに光沢がある。上下面には細かい階段状の痕跡が幾重にも累積し何らかの工具による切断痕と考えられる。上下面の孔径約2mm。		
第508図 PL.396	5	石製品 管玉	S2284 完形	2.7 0.8	0.8 3.08	蛇紋岩	オリブ灰色。全体的に丁寧に研磨整形されているが光沢はない。上下面の孔の周囲は孔と同心円状にわずかに窪んでいる。孔は中央付近で屈曲しており両面穿孔と考えられる。上下面の孔径約2mm。		
第508図 PL.396	6	石製品 管玉	S126 完形	2.7 0.8	0.8 2.98	蛇紋岩	暗緑灰色。側面部は丁寧に研磨整形されており光沢がある。上下面には細かい階段状の痕跡が幾重にも累積し何らかの工具による切断痕と考えられる。上下面の孔径約2mm。		
第508図 PL.396	7	石製品 管玉	S275 完形	2.6 0.8	0.8 3.19	蛇紋岩	青黒色。側面部は丁寧に研磨整形されておりわずかに光沢がある。上下面には細かい階段状の痕跡が幾重にも累積し何らかの工具による切断痕と考えられる。上下面の孔径約2mm。		
第508図 PL.396	8	石製品 管玉	P-502-7 完形	2.6 0.8	0.8 3.12	蛇紋岩	緑黒色。全体的に丁寧に研磨整形されており光沢がある。孔は中央付近で屈曲しており両面穿孔と考えられる。上下面ともに孔径約2mm。		
第508図 PL.396	9	石製品 管玉	P-511 S78 完形	2.5 0.6	0.7 2.01	蛇紋岩	青黒色。全体的に丁寧に研磨整形されており光沢がある。孔は中央付近で屈曲しており両面穿孔と考えられる。上下面ともに孔径約2mm。		
第508図 PL.396	10	石製品 管玉	S2279 完形	2.3 0.8	0.8 2.68	蛇紋岩	暗緑灰色。側面部は丁寧に研磨整形されておりわずかに光沢がある。上下面には細かい階段状の痕跡が幾重にも累積し何らかの工具による切断痕と考えられる。孔は中央付近で屈曲しており両面穿孔と考えられる。上下面の孔径約2mm。		
第508図 PL.396	11	石製品 管玉	S2249 完形	2.5 0.8	0.7 2.49	蛇紋岩	青黒色。全体的に丁寧に研磨整形されており光沢がある。肉眼で孔は一直線ではなく、中央付近が狭くなっているのが観察できる。両面穿孔の可能性ある。上下面の孔径約3mm。		
第508図 PL.396	12	石製品 管玉	S3233 完形	2.5 0.9	0.9 3.17	蛇紋岩	暗緑灰色。全体的に丁寧に研磨整形されており光沢がある。上下面の孔の周囲は孔と同心円状にわずかに窪んでいる。肉眼で孔は一直線ではなく、中央付近が狭くなっているのが観察できる。両面穿孔の可能性ある。上下面の孔径約3mm。		
第508図 PL.396	13	石製品 管玉	S1599 完形	2.4 1.0	1.0 4.24	蛇紋岩	暗緑灰色。全体的に丁寧に研磨整形されており光沢がある。上下面の孔の周囲は孔と同心円状にわずかに窪んでいる。上下面の孔径約2mm。		
第508図 PL.396	14	石製品 管玉	S2196 完形	2.5 0.8	0.8 2.49	蛇紋岩	オリブ灰色。全体的に丁寧に研磨整形されているが光沢はない。肉眼で孔は一直線ではなく、中央付近が狭くなっているのが観察できる。両面穿孔の可能性ある。上下面の孔径約3mm。		
第508図 PL.396	15	石製品 管玉	S2291 完形	2.4 0.8	0.7 2.51	蛇紋岩	暗オリブ灰色。全体的に丁寧に研磨整形されており光沢がある。肉眼で孔は一直線ではなく、中央付近が狭くなっているのが観察できる。両面穿孔の可能性ある。上下面の孔径約3mm。		
第508図 PL.396	16	石製品 管玉	P-502-7 S一括 完形	2.4 0.8	0.8 1.82	蛇紋岩	暗オリブ灰色。全体的に丁寧に研磨整形されており光沢がある。上下面は孔の周囲が同心円状に浅い皿状に窪んでいる。上下面ともに孔径約3mm。		
第508図 PL.396	17	石製品 管玉	P-8S1 完形	2.3 0.7	0.7 2.35	蛇紋岩	暗緑色。全体的に丁寧に研磨整形されており光沢がある。孔は中央付近が狭くなっており両面穿孔と考えられる。上下面ともに孔径約3mm。		
第508図 PL.396	18	石製品 管玉	S2300 完形	2.2 0.7	0.7 1.91	蛇紋岩	緑黒色。全体的に丁寧に研磨整形されており光沢がある。肉眼で孔は一直線ではなく、中央付近が狭くなっているのが観察できる。両面穿孔の可能性ある。上下面の孔径約3mm。		
第508図 PL.396	19	石製品 管玉	S1117 完形	2.2 0.8	0.8 2.38	蛇紋岩	暗青灰色。側面部にはわずかに擦痕が認められよく研磨整形されている。光沢がある。上下面には細かい階段状の痕跡が幾重にも累積し何らかの工具による切断痕と考えられる。上下面ともに孔径約2mm。		
第508図 PL.396	20	石製品 管玉	P-53S83 完形	2.2 0.7	0.7 1.91	蛇紋岩	青黒色。全体的に丁寧に研磨整形されており光沢がある。上下面ともに孔径約2mm。		
第508図 PL.396	21	石製品 管玉	P-382 S1 完形	2.2 0.8	0.8 2.36	蛇紋岩	緑黒色。側面部は丁寧に研磨整形されており光沢がある。上下面には細かい階段状の痕跡が幾重にも累積し何らかの工具による切断痕と考えられる。上下面の孔径約2mm。		
第508図 PL.396	22	石製品 管玉	S993 完形	2.2 0.8	0.8 2.44	蛇紋岩	暗青灰色。全体的に丁寧に研磨されており、側面部は光沢がある。下面には細かい階段状の痕跡が累積する状況がわずかに認められ何らかの工具による切断痕と考えられる。上下面ともに孔径約3mm。		

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				長	幅	厚			
第508図 PL.396	23	石製品 管玉	S2297 完形	2.2 0.6	0.3 1.28	蛇紋岩	暗緑灰色。全体的に丁寧に研磨整形されており光沢がある。上下面の孔の周囲は孔と同心円状にわずかに窪んでいる。上下面の孔径約3mm。		
第508図 PL.396	24	石製品 管玉	S1454 完形	2.1 0.8	0.8 2.32	蛇紋岩	暗オリーブ灰色。全体的に丁寧に研磨整形されているが光沢はない。上下面の孔径約2mm。		
第508図 PL.396	25	石製品 管玉	S1303 完形	2.1 0.6	0.6 1.22	蛇紋岩	暗緑灰色。全体的に丁寧に研磨整形されており光沢がある。肉眼で孔は一直線ではなく、中央付近が狭くなっているのが観察できる。両面穿孔の可能性ある。上下面の孔径約3mm		
第508図 PL.396	26	石製品 管玉	S1598 完形	2.1 0.8	0.8 1.85	蛇紋岩	青黒色。全体的に丁寧に研磨整形されており光沢がある。肉眼で孔は一直線ではなく、中央付近が狭くなっているのが観察できる。両面穿孔の可能性ある。上下面の孔径約3mm。		
第508図 PL.396	27	石製品 管玉	S1455 完形	2.1 0.8	0.8 2.30	蛇紋岩	暗緑灰色。側面部は丁寧に研磨整形されており光沢がある。上下面には細かい階段状の痕跡が幾重にも累積し何らかの工具による切断痕と考えられる。孔は中央付近で屈曲しており両面穿孔と考えられる。上下面の孔径約2mm。		
第508図 PL.396	28	石製品 管玉	S470 完形	2.1 0.8	0.8 2.38	蛇紋岩	オリーブ黒色。全体的に丁寧に研磨整形されているが光沢はない。上下面は孔の周囲が同心円状に浅い皿状にくぼんでいる。上下面ともに孔径約2mm。		
第508図 PL.396	29	石製品 管玉	S994 完形	2.0 0.8	0.8 2.52	蛇紋岩	暗青灰色。側面部にはわずかに擦痕が認められる、側面部と上下面ともによく研磨整形されており光沢がある。上下面ともに孔径約3mm。		
第508図 PL.396	30	石製品 管玉	S2273 完形	2.0 0.8	0.8 2.12	蛇紋岩	青黒色。側面部は丁寧に研磨整形されておりわずかに光沢がある。上下面には細かい階段状の痕跡が幾重にも累積し何らかの工具による切断痕と考えられる。孔は中央付近で屈曲しており両面穿孔と考えられる。上下面の孔径約3mm。		
第508図 PL.396	31	石製品 管玉	S1600 完形	1.9 0.8	0.8 1.99	蛇紋岩	暗緑灰色。全体的に丁寧に研磨整形されており光沢がある。上下面の孔の周囲は孔と同心円状にわずかに窪んでいる。上下面の孔径約2mm。		
第508図 PL.396	32	石製品 管玉	S2197 完形	2.0 0.6	0.5 1.01	蛇紋岩	暗緑灰色。全体的に丁寧に研磨整形されており光沢がある。肉眼で孔は一直線ではなく、中央付近が狭くなっているのが観察できる。両面穿孔の可能性ある。上下面の孔径約3mm。		
第508図 PL.396	33	石製品 管玉	S2275 完形	2.0 0.8	0.8 2.28	蛇紋岩	緑黒色。側面部は丁寧に研磨整形されておりわずかに光沢がある。上下面には細かい階段状の痕跡が幾重にも累積し何らかの工具による切断痕と考えられる。上下面の孔径約2mm。		
第508図 PL.396	34	石製品 管玉	P-80-3 完形	2.0 0.8	0.7 1.85	蛇紋岩	青黒色。全体的に丁寧に研磨整形されており光沢がある。下の孔は二つが連結しておりヒョウタン形を呈する。上の孔径約2mm。		
第508図 PL.396	35	石製品 管玉	S992 完形	1.9 0.8	0.8 1.76	蛇紋岩	暗緑灰色。全体的に丁寧に研磨整形されており光沢がある。上下面の孔の周囲は孔と同心円状にわずかに窪んでいる。上下面ともに孔径約3mm。		
第508図 PL.396	36	石製品 管玉	S2289 完形	1.9 0.7	0.7 2.26	蛇紋岩	緑黒色。側面部は丁寧に研磨整形されておりわずかに光沢がある。上下面には細かい階段状の痕跡が幾重にも累積し何らかの工具による切断痕と考えられる。孔は中央付近で屈曲しており両面穿孔と考えられる。上下面の孔径約2mm。		
第508図 PL.396	37	石製品 管玉	S3202 完形	1.8 0.7	0.7 1.48	蛇紋岩	暗緑灰色。全体的に丁寧に研磨整形されており光沢がある。肉眼で孔は一直線ではなく、中央付近が狭くなっているのが観察できる。両面穿孔の可能性ある。上下面の孔径約3mm。		
第508図 PL.396	38	石製品 管玉	S1858 完形	1.9 0.7	0.7 1.37	蛇紋岩	オリーブ灰色。全体的に丁寧に研磨整形されているが光沢はない。肉眼で孔は一直線ではなく、中央付近が狭くなっているのが観察できる。両面穿孔の可能性ある。上下面の孔径約3mm。		
第508図 PL.396	39	石製品 管玉	P-135 S2 完形	1.8 0.7	0.7 1.50	蛇紋岩	オリーブ黒色。全体的に丁寧に研磨整形されており光沢がある。上下面は孔の周囲が同心円状に浅い皿状にくぼんでいる。上下面ともに孔径約2mm。		
第508図 PL.396	40	石製品 管玉	S1209 完形	1.8 0.7	0.7 1.19	蛇紋岩	灰オリーブ色。全体的に丁寧に研磨整形されており光沢がある。上下面の孔の周囲は孔と同心円状にわずかに窪んでいる。上下面ともに孔径約3mm。		
第508図 PL.396	41	石製品 管玉	P-478-1 S2 完形	1.8 0.7	0.5 1.00	蛇紋岩	緑黒色。全体的に丁寧に研磨整形されており光沢がある。孔は中央付近で狭くなっており両面穿孔と考えられる。上下面ともに孔径約3mm。		
第508図 PL.396	42	石製品 管玉	P-477-3 S22 完形	1.5 0.7	0.7 1.20	蛇紋岩	暗オリーブ灰色。全体的に丁寧に研磨整形されており光沢がある。下面には穿孔途中の孔が1カ所認められる。上下面ともに孔径約2mm。		
第508図 PL.396	43	石製品 管玉	S2283 完形	2.4 0.7	0.7 2.52	葉ろう石	淡緑色。全体的に丁寧に研磨整形されておりわずかに光沢がある。上下面の孔径約2mm。		
第508図 PL.396	44	石製品 管玉	S2195 完形	2.0 0.8	0.8 1.88	葉ろう石	暗緑灰色。全体的に丁寧に研磨整形されており光沢がある。肉眼で孔は一直線ではなく、中央付近が狭くなっているのが観察できる。両面穿孔の可能性ある。上下面の孔径約2mm。		
第508図 PL.396	45	石製品 管玉	S2287 ほぼ完形	1.8 0.6	0.6 1.13	葉ろう石	明緑灰色。全体的に丁寧に研磨整形されておりわずかに光沢がある。上下面の孔はやや楕円状を呈し、肉眼で孔は一直線ではなく中央付近が狭くなっているのが観察できる。両面穿孔の可能性ある。上下面の孔径約3mm。		
第508図 PL.396	46	石製品 管玉	P-78 S2 ほぼ完形	1.7 0.6	0.6 0.65	葉ろう石	淡緑色。全体的に丁寧に研磨整形されており光沢がある。上下面の孔は二つが連結しておりヒョウタン形を呈する。上の孔径約3mm。		
第508図 PL.396	47	石製品 管玉	P-571-1 S1 ほぼ完形	1.5 0.7	0.7 1.12	葉ろう石	明緑灰色。全体的に丁寧に研磨整形されている。上面の孔の周囲は孔と同心円状にわずかに窪んでいる。上下面ともに孔径約2mm。		

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴					備考
				長 幅	厚 重	孔 径		最大径	上面径	孔径	重さ	出土位置	
第508図 PL.396	48	石製品 管玉	S469 ほぼ完形	長 幅 1.7 0.9	厚 重 0.8 1.57		葉ろう石	明緑灰色。全体的に丁寧に研磨整形されており光沢がある。孔は中央付近で屈曲しており両面穿孔と考えられる。上下面は孔の周囲が同心円状に浅い皿状にくぼんでいる。上下面ともに孔径約2mm。					
第508図 PL.396	49	石製品 管玉	P-479-2 S31 完形	長 幅 1.6 0.8	厚 重 0.7 1.40		葉ろう石	淡緑色。全体的に丁寧に研磨整形されており光沢がある。上下面は孔の周囲が同心円状に浅い皿状に窪んでいる。上下面ともに孔径約2mm。					
第508図 PL.396	50	石製品 管玉	P-53 S1 完形	長 幅 (1.3) 0.6	厚 重 0.5 0.55		葉ろう石	明緑灰色。全体的に丁寧に研磨整形されており特に側面部は光沢がある。孔はヒョウタン形であり二つの孔が連結している可能性がある。					
第508図 PL.396	51	石製品 管玉	S3217 ほぼ完形	長 幅 1.4 0.6	厚 重 0.6 0.72		葉ろう石	淡緑色。全体的に丁寧に研磨整形されており光沢がある。上下面の孔径約2mm。					
第508図 PL.396	52	石製品 管玉	S318 完形	長 幅 1.3 0.6	厚 重 0.6 0.69		葉ろう石	明緑灰色。側面部にはわずかに擦痕が認められる。側面部と上下面ともによく研磨整形されており光沢がある。上下面ともに孔径約2mm。					
第508図 PL.396	53	石製品 管玉	S2784 ほぼ完形	長 幅 1.3 0.7	厚 重 0.6 0.68		葉ろう石	淡緑色。全体的に丁寧に研磨整形されており光沢がある。上下面の孔径約2mm。					
第508図 PL.396	54	石製品 管玉	S875 完形	長 幅 1.2 0.7	厚 重 0.7 0.81		葉ろう石	暗緑色。全体的に丁寧に研磨整形されており光沢がある。上下面の孔の周囲は孔と同心円状にわずかに窪んでいる。上下面ともに孔径約2mm。					
第508図 PL.396	55	石製品 管玉	P-476-1 S81 完形	長 幅 3.3 0.9	厚 重 0.9 4.85		珪化凝灰岩	暗緑色。全体的に丁寧に研磨整形されているが光沢はない。孔は中央付近が狭くなっており両面穿孔と考えられる。上下面ともに孔径約3mm。					
第508図 PL.396	56	石製品 管玉	S2276 完形	長 幅 2.6 0.9	厚 重 0.9 4.15		珪化凝灰岩	暗緑灰色。全体的に丁寧に研磨整形されており光沢がある。上下面の孔径約2mm。					
第508図 PL.396	57	石製品 管玉	P-507-8 S1 完形	長 幅 3.5 1.0	厚 重 1.0 6.31		珪質頁岩	灰オリーブ色。全体的に丁寧に研磨整形されているが光沢はない。孔は中央付近が狭くなっており表面穿孔と考えられる。上下面ともに孔径約3mm。					
第508図 PL.396	58	石製品 管玉	S1601 4/5	長 幅 1.0 0.6	厚 重 (0.6) 0.31		珪質頁岩	暗緑灰色。全体的に丁寧に研磨整形されており光沢がある。裏面には受熱による剥落痕が認められる。上面の孔径約2mm、下面の孔径約3mm。					
第508図 PL.396	59	石製品 管玉	S2299 完形	長 幅 1.8 0.8	厚 重 0.7 1.71		変質蛇紋岩	暗緑色。全体的に丁寧に研磨整形されており光沢がある。上面の孔は二つが連結しておりヒョウタン形を呈する。下面の孔の周囲は孔と同心円状にわずかに窪んでいる。下面の孔径約3mm。					
第508図 PL.396	60	石製品 管玉	S2274 不明	長 幅 (1.7) 0.8	厚 重 0.8 1.82		変質蛇紋岩	緑色。全体的に丁寧に研磨整形されており光沢がある。上面の孔径約1mm。下部欠損。					
第508図 PL.396	61	石製品 管玉	S2749 完形	長 幅 0.8 0.5	厚 重 0.5 0.27		碧玉	淡緑色。全体的に丁寧に研磨整形されており側面部は光沢がある。上下面の孔径約2mm。					
第508図 PL.396	62	石製品 管玉	P-80-3 S41 完形	長 幅 1.8 0.7	厚 重 0.6 1.14		閃緑岩	暗緑灰色。全体的に丁寧に研磨整形されており光沢がある。上下面は孔の周囲が同心円状に浅い皿状に窪んでいる。上下面ともに孔径約2mm。					
第509図 PL.397	1	石製品 棗玉	S1162 完形	長 幅 1.1 1.0	厚 重 1.0 1.3		葉ろう石	明緑灰色。全体的に丁寧に研磨整形されている。上下面はほぼ平坦である。孔径約2mm。					
第509図 PL.397	2	石製品 垂飾	S1603 完形	長 幅 2.6 1.6	厚 重 0.6 2.8		葉ろう石	明緑灰色。全体的に丁寧に研磨整形されており光沢がある。孔はわずかにヒョウタン形を呈しており二つの孔が連結した可能性がある。					
第509図 PL.397	3	石製品 管玉(平玉)	S2296 ほぼ完形	長 幅 1.0 0.8	厚 重 0.9 1.10		葉ろう石	明緑灰色。全体的に丁寧に研磨整形されており光沢がある。上下面の孔は楕円形を呈しており二つの孔が連結している可能性がある。断面方形。上下面の孔径約3mm。					
第509図 PL.397	4	石製品 平玉	P-511 S12 完形	長 幅 1.3 1.1	厚 重 0.6 0.53		琥珀	暗赤褐色。全体的に丁寧に研磨整形されている。孔はヒョウタン形であり二つの孔が連結している可能性がある。					
第509図 PL.397	5	石製品 平玉	S2506 ほぼ完形	長 幅 1.1 0.9	厚 重 0.6 0.90		葉ろう石	明緑灰色。全体的に丁寧に研磨整形されており特に側面部は光沢がある。孔はわずかにヒョウタン形を呈しており二つの孔が連結した可能性がある。					
第509図 PL.397	6	石製品 小玉	P-571-1 S77 完形	長 幅 0.6 0.7	厚 重 0.4 0.18		葉ろう石	緑色。全体的に丁寧に研磨整形されておりやや光沢がある。表面の孔の周囲は孔と同心円状にわずかに窪んでいる。裏面の孔の周囲は孔と同心円状に平坦面が形成される。孔径約2mm。					
第509図 PL.397	7	土製品 土玉	S442 完形	径 高 0.6 0.5	孔 0.2		微砂粒・良好・黒 褐	側面はよく磨かれている。上下面は擦れて器面が磨滅。					
第509図 PL.397	8	石製品 珠状耳飾	S- 1/2	長 幅 (2.7) 1.6	厚 重 0.6 2.8		葉ろう石	灰白色～黄灰色。全体的に丁寧に研磨整形されており光沢がある。					
第509図 PL.397	9	石製品 紡輪	S3016 完形	径 長 短 4.2 4.2× 4.2	厚 重 1.0 25.8		蛇紋岩	全体的に丁寧に研磨整形される。体部側面の傾斜部の断面形はやや内湾する。					
挿図 PL.No.	製作技法		大別	細分	色	残存度	長さ	最大径	上面径	孔径	重さ	出土位置	備考
第510図 PL.397	1	ガラス勾玉	ソーダ	SII B	淡青	完形	1.5+	-	-	-	1.71	ETC41	下半部分勾玉 厚み0.7+
第510図 PL.397	2	鑄型	-	-	紺	完形	1.9	2.7	2.1	1.0	0.02	P476-1 ETC2	
第510図 PL.397	3	鑄型	-	-	紺	完形	1.5	2.6	2.0	1.1	0.02	P476-2 ETC2	
第510図 PL.397	4	鑄型	-	-	紺	完形	2.0	2.5	1.6	1.0	0.02	P478 ETC2	
第510図 PL.397	5	鑄型	-	-	紺	完形	3.0	3.6	2.5	1.3	0.05	P478 ETC3	
第510図 PL.397	6	鑄型	-	-	紺	完形	3.0	3.5	3.0	1.6	0.05	P500 ETC9	
第510図 PL.397	7	鑄型	-	-	紺	完形	2.0	2.6	1.5	0.8	0.02	P507-8 ETC1	

挿 図 PL.No.		製作技法	大別	細分	色	残存度	長さ	最大径	上面径	孔径	重さ	出土位置	備考
第510図 PL.397	8	鋳型	-	-	紺	完形	2.3	2.2	1.5	0.8	0.01	P530 ETC2	
第510図 PL.397	9	鋳型	-	-	紺	完形	2.0	2.6	1.7	1.0	0.02	P530 ETC3	
第510図 PL.397	10	鋳型	-	-	紺	完形	2.1	2.7	1.5	1.0	0.01	P571-1 ETC3	
第510図 PL.397	11	鋳型	-	-	紺	完形	1.6	2.9	1.9	1.1	0.02	P80-1 ETC1	
第510図 PL.397	12	鋳型	-	-	紺	完形	1.2	2.5	1.6	0.9	0.01	P81-2 ETC1	
第510図 PL.397	13	鋳型	-	-	紺	完形	1.4	2.6	1.8	0.9	0.01	P82-2 ETC2	
第510図 PL.397	14	鋳型	-	-	紺	完形	1.3	2.3	1.7	0.8	0.01	P86 一括	
第510図 PL.397	15	鋳型	-	-	紺	完形	1.7	3.1	2.1	0.8	0.03	杯集中部	2点
第510図 PL.397	16	鋳型	-	-	紺	完形	2.5	3.5	2.5	1.2	0.05	ETC34	
第510図 PL.397	17	鋳型	-	-	紺	完形	1.8	2.5	2.0	1.0	0.02	ETC52	
第510図 PL.397	18	鋳型	-	-	紺	完形	1.8	2.7	2.0	1.0	0.02	ETC53	
第510図 PL.397	19	鋳型	-	-	紺	完形	2.5	3.2	2.3	1.0	0.04	ETC59	
第510図 PL.397	20	鋳型	-	-	紺	完形	2.6	2.3	2.0	0.8	0.03	ETC65	
第510図 PL.397	21	鋳型	-	-	紺	完形	1.6	2.6	1.9	1.1	0.02	ETC67	
第510図 PL.397	22	鋳型	-	-	紺	完形	1.7	2.6	1.9	1.0	0.02	ETC72	
第510図 PL.397	23	鋳型	-	-	紺	完形	2.2	2.8	1.7	0.8	0.03	ETC77	
第510図 PL.397	24	鋳型	-	-	紺	完形	1.6	2.9	1.8	1.1	0.03	ETC78	
第510図 PL.397	25	鋳型	-	-	紺	完形	1.4	2.3	3.4	0.9	0.02	ETC80	
第510図 PL.397	26	鋳型	-	-	紺	完形	2.2	3.2	2.5	1.3	0.03	中央部	接合体10点 →8点、2分割
第510図 PL.397	27	鋳型	-	-	紺	完形	1.5	2.5	1.6	0.9	0.02	中央部	10点→8点
第510図 PL.397	28	鋳型	-	-	紺	完形	1.7	2.5	1.7	0.9	0.02	中央部	10点→8点
第510図 PL.397	29	鋳型	-	-	黄緑	完形	2.4	3.0	2.0	1.1	0.03	P507-9 ETC1	
第510図 PL.397	30	鋳型	-	-	黄緑	完形	2.2	2.9	2.0	0.9	0.03	ETC42	銅+錫酸鉛
第510図 PL.397	31	鋳型	-	-	黄緑	完形	1.6	2.3	1.6	0.8	0.02	ETC44	
第510図 PL.397	32	鋳型	-	-	黄緑	完形	2.0	3.3	2.2	0.9	0.03	ETC58	
第510図 PL.397	33	鋳型	-	-	黄緑	完形	1.6	2.3	1.7	0.8	0.01	ETC60	
第510図 PL.397	34	鋳型	-	-	淡青	完形	1.3	2.0	1.5	1.0	0.01	P458-2 ETC1	
第510図 PL.397	35	鋳型	-	-	淡青	完形	1.7	2.5	2.2	0.9	0.02	P502-5 ETC1	
第510図 PL.397	36	鋳型	-	-	淡青	完形	1.7	2.6	2.0	0.8	0.02	ETC38	
第510図 PL.397	37	鋳型	-	-	淡青	完形	1.5	3.0	2.0	0.9	0.03	P8	
第510図 PL.397	38	鋳型	-	-	青緑灰	完形	2.2	4.0	2.7	1.2	0.06	ETC49	
第510図 PL.397	39	鋳型	-	-	青緑灰	完形	2.5	3.2	2.0	1.0	0.03	ETC54	
第510図 PL.397	40	鋳型	-	-	青	完形	1.6	2.6	2.3	1.1	0.02	P58-3 一括	2点
第510図 PL.397	41	鋳型	-	-	濃青	完形	4.3	5.1	3.5	1.3	0.17	ETC7	
第510図 PL.397	42	引き伸ばし	ソーダ	SIIA	淡紺	完形	1.4	3.4	2.3	1.5	0.02	P571-1 ETC4	コバルト
第510図 PL.397	43	引き伸ばし	ソーダ	SII B	淡青	完形	2.7	3.7	3.2	1.5	0.06	P476-1 ETC1	銅
第510図 PL.397	44	引き伸ばし	ソーダ	SII B	淡青	完形	2.3	3.5	2.5	1.4	0.03	P478-1 一括	銅
第510図 PL.397	45	引き伸ばし	ソーダ	SII B	淡青	完形	2.5	4.1	3.1	1.5	0.07	P479-2 ETC4	銅
第510図 PL.397	46	引き伸ばし	ソーダ	SII B	淡青	完形	2.0	2.7	2.5	1.3	0.02	P489 一括	銅
第510図 PL.397	47	引き伸ばし	ソーダ	SII B	淡青	完形	1.9	3.1	3.0	1.4	0.03	P489 一括	銅

挿 図 PL. No.		製作技法	大別	細分	色	残存度	長さ	最大径	上面径	孔径	重さ	出土位置	備考
第510図 PL.397	48	引き伸ばし	ソーダ	SII B	淡青	完形	1.3	2.3	1.5	1.1	0.01	P489 一括	銅
第510図 PL.397	49	引き伸ばし	ソーダ	SII B	淡青	完形	4.0	4.8	3.0	1.3	0.15	P489 一括	銅・171と 接
第510図 PL.397	50	引き伸ばし	ソーダ	SII B	淡青	完形	2.3	3.1	2.2	1.2	0.04	P489 一括	銅
第510図 PL.397	51	引き伸ばし	ソーダ	SII B	淡青	完形	2.7	3.3	3.0	1.3	0.06	P490-1 ETC2	銅
第510図 PL.397	52	引き伸ばし	ソーダ	SII B	淡青	完形	1.7	2.7	2.0	0.9	0.03	P498 ETC1	銅
第510図 PL.397	53	引き伸ばし	ソーダ	SII B	淡青	完形	1.6	2.7	2.0	1.3	0.02	P500 ETC1	銅
第510図 PL.397	54	引き伸ばし	ソーダ	SII B	淡青	完形	2.7	3.5	2.5	1.7	0.05	P500 ETC5	銅
第510図 PL.397	55	引き伸ばし	ソーダ	SII B	淡青	完形	2.5	2.3	1.8	1.1	0.02	P500 ETC13	銅
第510図 PL.397	56	引き伸ばし	ソーダ	SII B	淡青	完形	2.9	4.0	2.7	1.0	0.07	P500 ETC6	銅
第510図 PL.397	57	引き伸ばし	ソーダ	SII B	淡青	完形	1.8	3.5	3.0	1.0	0.03	P510 ETC1	銅
第510図 PL.397	58	引き伸ばし	ソーダ	SII B	淡青	完形	1.7	2.7	1.7	1.0	0.03	P510 ETC2	銅
第510図 PL.397	59	引き伸ばし	ソーダ	SII B	淡青	一部欠損	1.9	3.5	2.5	1.3	0.03	P511 ETC1	銅・一部欠損
第510図 PL.397	60	引き伸ばし	ソーダ	SII B	淡青	完形	2.0	3.0	2.0	1.0	0.03	P511 ETC2	銅
第510図 PL.397	61	引き伸ばし	ソーダ	SII B	淡青	完形	1.8	3.5	2.9	1.4	0.04	P528-9 ETC1	銅
第510図 PL.397	62	引き伸ばし	ソーダ	SII B	淡青	完形	2.0	2.5	1.6	1.3	0.02	P528-7 一括	銅
第510図 PL.397	63	引き伸ばし	ソーダ	SII B	淡青	完形	1.5	2.6	1.5	1.0	0.02	P530 ETC5	銅
第510図 PL.397	64	引き伸ばし	ソーダ	SII B	淡青	完形	3.0	3.7	2.5	1.3	0.07	P534-18 ETC1	銅
第510図 PL.397	65	引き伸ばし	ソーダ	SII B	淡青	完形	2.0	3.5	2.7	1.2	0.05	P534-18 ETC2	銅
第510図 PL.398	66	引き伸ばし	ソーダ	SII B	淡青	完形	2.5	3.7	2.5	1.7	0.05	P534-18 ETC3	銅
第510図 PL.398	67	引き伸ばし	ソーダ	SII B	淡青	完形	2.3	4.0	3.0	1.4	0.04	P534-18 ETC4	銅
第510図 PL.398	68	引き伸ばし	ソーダ	SII B	淡青	完形	3.3	3.6	2.5	1.5	0.06	P534-18 ETC5	銅
第510図 PL.398	69	引き伸ばし	ソーダ	SII B	淡青	完形	2.5	3.8	3.0	1.4	0.05	P534-18 ETC6	銅
第510図 PL.398	70	引き伸ばし	ソーダ	SII B	淡青	完形	1.7	2.5	1.7	0.9	0.01	P541 ETC1	銅
第510図 PL.398	71	引き伸ばし	ソーダ	SII B	淡青	完形	2.3	4.7	4.0	1.8	0.06	P554-0 一括	銅
第510図 PL.398	72	引き伸ばし	ソーダ	SII B	淡青	完形	2.5	4.5	3.5	2.0	0.08	P554-2 一括	銅
第510図 PL.398	73	引き伸ばし	ソーダ	SII B	淡青	完形	1.8	2.3	1.5	1.0	0.02	P569-4 ETC1	銅
第510図 PL.398	74	引き伸ばし	ソーダ	SII B	淡青	完形	3.8	4.5	3.8	2.0	0.13	P571-1 ETC1	銅
第510図 PL.398	75	引き伸ばし	ソーダ	SII B	淡青	完形	1.1	2.4	1.8	0.9	0.01	P571-1 ETC2	銅
第510図 PL.398	76	引き伸ばし	ソーダ	SII B	淡青	完形	2.2	3.3	2.6	1.3	0.04	P572-2 ETC1	銅
第510図 PL.398	77	引き伸ばし	ソーダ	SII B	淡青	完形	1.9	3.4	3.1	1.4	0.04	P58-3 一括	銅
第510図 PL.398	78	引き伸ばし	ソーダ	SII B	淡青	完形	1.5	3.4	2.5	1.4	0.03	P78-2 ETC1	銅
第510図 PL.398	79	引き伸ばし	ソーダ	SII B	淡青	完形	2.8	4.5	3.8	1.5	0.08	P80-4 ETC4	銅
第510図 PL.398	80	引き伸ばし	ソーダ	SII B	淡青	完形	2.2	3.2	2.3	1.4	0.04	P81-1 ETC1	銅
第510図 PL.398	81	引き伸ばし	ソーダ	SII B	淡青	完形	1.6	2.4	2.0	1.3	0.02	ETC2	銅
第510図 PL.398	82	引き伸ばし	ソーダ	SII B	淡青	完形	2.4	3.3	1.9	1.2	0.04	ETC6	銅
第510図 PL.398	83	引き伸ばし	ソーダ	SII B	淡青	完形	2.3	3.6	2.6	0.8	0.04	ETC8	銅
第510図 PL.398	84	引き伸ばし	ソーダ	SII B	淡青	完形	3.2	2.8	1.8	0.9	0.02	ETC9	銅
第510図 PL.398	85	引き伸ばし	ソーダ	SII B	淡青	完形	2.5	4.3	2.4	1.4	0.07	ETC12	銅
第510図 PL.398	86	引き伸ばし	ソーダ	SII B	淡青	完形	1.5	2.6	1.6	1.0	0.02	ETC18	銅
第510図 PL.398	87	引き伸ばし	ソーダ	SII B	淡青	完形	1.6	2.8	1.6	1.0	0.02	ETC19	銅

挿 図 PL.No.		製作技法	大別	細分	色	残存度	長さ	最大径	上面径	孔径	重さ	出土位置	備考
第510図 PL.398	88	引き伸ばし	ソーダ	SII B	淡青	完形	2.0	4.6	3.3	1.9	0.08	ETC20	銅
第510図 PL.398	89	引き伸ばし	ソーダ	SII B	淡青	完形	2.3	3.0	(0.6)	1.1	0.03	ETC21	銅
第510図 PL.398	90	引き伸ばし	ソーダ	SII B	淡青	完形	2.2	2.7	2.0	1.2	0.03	ETC23	銅
第510図 PL.398	91	引き伸ばし	ソーダ	SII B	淡青	1/2	2.5	3.5	2.0	1.1	0.02	ETC24	銅・半分残る
第510図 PL.398	92	引き伸ばし	ソーダ	SII B	淡青	完形	3.3	3.5	1.7	1.0	0.07	ETC26	銅
第510図 PL.398	93	引き伸ばし	ソーダ	SII B	淡青	完形	1.6	2.7	2.0	1.1	0.03	ETC27	銅
第510図 PL.398	94	引き伸ばし	ソーダ	SII B	淡青	完形	1.2	3.0	2.0	1.2	0.02	ETC28	銅
第510図 PL.398	95	引き伸ばし	ソーダ	SII B	淡青	完形	1.6	2.7	2.0	1.0	0.02	ETC29	銅
第510図 PL.398	96	引き伸ばし	ソーダ	SII B	淡青	完形	1.6	2.5	1.5	1.0	0.02	ETC30	銅
第510図 PL.398	97	引き伸ばし	ソーダ	SII B	淡青	完形	2.5	2.2	1.5	1.1	0.02	ETC35	銅
第510図 PL.398	98	引き伸ばし	ソーダ	SII B	淡青	完形	2.5	3.0	1.7	1.0	0.04	ETC36	銅
第510図 PL.398	99	引き伸ばし	ソーダ	SII B	淡青	完形	2.3	2.5	2.3	1.0	0.02	ETC37	銅
第510図 PL.398	100	引き伸ばし	ソーダ	SII B	淡青	完形	3.3	4.2	3.0	1.5	0.07	ETC47	銅
第510図 PL.398	101	引き伸ばし	ソーダ	SII B	淡青	完形	2.8	3.0	2.0	1.5	0.04	ETC51	銅
第510図 PL.398	102	引き伸ばし	ソーダ	SII B	淡青	完形	2.0	3.7	2.5	1.1	0.04	ETC62	銅
第510図 PL.398	103	引き伸ばし	ソーダ	SII B	淡青	完形	1.6	2.3	1.5	0.9	0.02	ETC68	銅
第510図 PL.398	104	引き伸ばし	ソーダ	SII B	淡青	完形	2.1	3.5	2.9	1.3	0.04	ETC69	銅
第510図 PL.398	105	引き伸ばし	ソーダ	SII B	淡青	完形	2.7	5.1	3.6	1.6	0.10	ETC70	銅
第510図 PL.398	106	引き伸ばし	ソーダ	SII B	淡青	完形	1.2	3.0	2.0	1.1	0.02	ETC76	銅
第510図 PL.398	107	引き伸ばし	ソーダ	SII B	淡青	完形	2.2	4.1	3.6	1.6	0.05	ETC79	銅
第510図 PL.398	108	引き伸ばし	ソーダ	SII B	淡青	完形	2.5	3.3	2.0	1.2	0.04	ETC88	銅
第510図 PL.398	109	引き伸ばし	ソーダ	SII B	淡青	完形	2.5	4.2	3.4	1.9	0.06	ETC80	銅
第510図 PL.398	110	引き伸ばし	ソーダ	SII B	淡青	完形	2.2	2.2	1.5	0.8	0.02	J5	銅
第510図 PL.398	111	引き伸ばし	ソーダ	SII B	淡青	完形	1.7	3.3	2.3	1.3	0.03	K7	銅
第510図 PL.398	112	引き伸ばし	ソーダ	SII B	淡青	完形	1.7	3.2	2.7	1.2	0.03	S179	銅
第510図 PL.398	113	引き伸ばし	ソーダ	SII B	淡青	完形	1.3	3.8	2.7	1.5	0.02	中央部 一括	銅+10点→8点
第510図 PL.398	114	引き伸ばし	ソーダ	SII B	淡青	完形	1.6	3.0	2.7	1.2	0.02	中央部 一括	銅+10点→8点
第510図 PL.398	115	引き伸ばし	ソーダ	SII B	淡青	完形	1.2	2.7	1.5	1.0	0.01	中央部 一括	銅+10点→8点
第510図 PL.398	116	引き伸ばし	ソーダ	SII B	淡青	完形	4.2	3.0	2.0	1.2	0.05	P472-1 S4	銅
第510図 PL.398	117	引き伸ばし	ソーダ	SII B	黄緑	完形	1.6	2.8	2.0	1.1	0.02	P195 ETC1	銅+錫酸鉛・青色7点一括
第510図 PL.398	118	引き伸ばし	ソーダ	SII B	黄緑	完形	2.3	2.7	2.0	1.2	0.04	P476-1 ETC3	銅+錫酸鉛
第510図 PL.398	119	引き伸ばし	ソーダ	SII B	黄緑	1/2	2.6	3.7	3.3	1.3	0.04	P476-1 ETC4	銅+錫酸鉛・粉砕+1/2
第510図 PL.398	120	引き伸ばし	ソーダ	SII B	黄緑	完形	1.5	2.6	1.7	1.0	0.02	P478-1 ETC1	銅+錫酸鉛
第510図 PL.398	121	引き伸ばし	ソーダ	SII B	黄緑	完形	2.3	2.8	2.0	1.5	0.02	P479-2 ETC1	銅+錫酸鉛
第510図 PL.398	122	引き伸ばし	ソーダ	SII B	黄緑	完形	2.4	3.5	2.3	1.2	0.05	P479-2 ETC2	銅+錫酸鉛
第510図 PL.398	123	引き伸ばし	ソーダ	SII B	黄緑	完形	1.0	2.5	1.9	1.2	0.01	P489 一括	銅+錫酸鉛・2点
第510図 PL.398	124	引き伸ばし	ソーダ	SII B	黄緑	完形	1.8	2.7	2.0	1.3	0.02	P489 一括	銅+錫酸鉛
第510図 PL.398	125	引き伸ばし	ソーダ	SII B	黄緑	完形	2.3	4.1	3.2	1.5	0.06	P490-1 ETC1	銅+錫酸鉛
第510図 PL.398	126	引き伸ばし	ソーダ	SII B	黄緑	完形	1.9	3.3	2.8	1.7	0.03	P490-4 ETC1	銅+錫酸鉛
第510図 PL.399	127	引き伸ばし	ソーダ	SII B	黄緑	完形	2.1	3.7	2.7	1.1	0.05	P497-2 ETC1	銅+錫酸鉛

挿 図 PL.No.		製作技法	大別	細分	色	残存度	長さ	最大径	上面径	孔径	重さ	出土位置	備考
第510図 PL.399	128	引き伸ばし	ソーダ	SII B	黄緑	完形	2.7	3.7	2.5	1.5	0.06	P500 ETC2	銅+錫酸鉛
第510図 PL.399	129	引き伸ばし	ソーダ	SII B	黄緑	完形	2.2	2.5	2.2	1.1	0.02	P502-1 一括	銅+錫酸鉛
第510図 PL.399	130	引き伸ばし	ソーダ	SII B	黄緑	完形	2.2	3.1	2.1	1.1	0.03	P502-3 一括	銅+錫酸鉛
第510図 PL.399	131	引き伸ばし	ソーダ	SII B	黄緑	完形	2.3	3.7	3.0	1.7	0.06	P510 一括	銅+錫酸鉛
第510図 PL.399	132	引き伸ばし	ソーダ	SII B	黄緑	完形	2.0	3.2	2.0	1.2	0.03	P530 ETC1	銅+錫酸鉛
第510図 PL.399	133	引き伸ばし	ソーダ	SII B	黄緑	完形	1.6	2.3	1.6	1.0	0.02	P530 ETC4	銅+錫酸鉛
第510図 PL.399	134	引き伸ばし	ソーダ	SII B	黄緑	完形	2.1	3.5	2.0	1.3	0.03	P534-18 一括	銅+錫酸鉛
第510図 PL.399	135	引き伸ばし	ソーダ	SII B	黄緑	完形	1.7	2.9	2.3	1.2	0.02	P58-3 一括	銅+錫酸鉛・2点
第510図 PL.399	136	引き伸ばし	ソーダ	SII B	黄緑	完形	1.3	2.8	1.8	0.8	0.02	P79-1 ETC1	銅+錫酸鉛
第510図 PL.399	137	引き伸ばし	ソーダ	SII B	黄緑	完形	1.8	3.7	2.6	1.3	0.03	杯集中部	銅+錫酸鉛・2点
第510図 PL.399	138	引き伸ばし	ソーダ	SII B	黄緑	完形	1.2	3.3	2.0	1.2	0.02	ETC10	銅+錫酸鉛
第510図 PL.399	139	引き伸ばし	ソーダ	SII B	黄緑	完形	1.6	2.9	2.1	1.1	0.02	ETC14	銅+錫酸鉛
第510図 PL.399	140	引き伸ばし	ソーダ	SII B	黄緑	完形	3.0	3.7	2.5	1.2	0.08	ETC15	銅+錫酸鉛
第510図 PL.399	141	引き伸ばし	ソーダ	SII B	黄緑	完形	2.2	3.1	2.0	1.0	0.03	ETC22	銅+錫酸鉛
第510図 PL.399	142	引き伸ばし	ソーダ	SII B	黄緑	完形	3.5	3.0	2.3	1.2	0.05	ETC32	銅+錫酸鉛
第510図 PL.399	143	引き伸ばし	ソーダ	SII B	黄緑	完形	1.8	3.0	2.0	1.2	0.02	ETC33	銅+錫酸鉛
第510図 PL.399	144	引き伸ばし	ソーダ	SII B	黄緑	完形	2.7	3.6	2.5	1.3	0.06	ETC39	銅+錫酸鉛
第510図 PL.399	145	引き伸ばし	ソーダ	SII B	黄緑	完形	1.7	2.8	2.0	1.2	0.02	ETC43	銅+錫酸鉛
第510図 PL.399	146	引き伸ばし	ソーダ	SII B	黄緑	完形	1.1	2.4	1.5	0.8	0.01	ETC45	銅+錫酸鉛
第510図 PL.399	147	引き伸ばし	ソーダ	SII B	黄緑	完形	1.3	2.3	1.5	0.8	0.01	ETC46	銅+錫酸鉛
第510図 PL.399	148	引き伸ばし	ソーダ	SII B	黄緑	完形	1.2	2.5	2.0	1.1	0.01	ETC48	銅+錫酸鉛
第510図 PL.399	149	引き伸ばし	ソーダ	SII B	黄緑	完形	2.2	2.3	2.0	1.1	0.03	ETC50	銅+錫酸鉛
第510図 PL.399	150	引き伸ばし	ソーダ	SII B	黄緑	完形	1.1	2.1	1.7	0.8	0.01	ETC55	銅+錫酸鉛
第510図 PL.399	151	引き伸ばし	ソーダ	SII B	黄緑	完形	2.2	3.1	2.2	1.3	0.03	ETC56	銅+錫酸鉛
第510図 PL.399	152	引き伸ばし	ソーダ	SII B	黄緑	完形	2.2	4.0	3.8	1.1	0.04	ETC61	銅+錫酸鉛
第510図 PL.399	153	引き伸ばし	ソーダ	SII B	黄緑	完形	2.2	3.2	2.3	1.2	0.04	ETC63	銅+錫酸鉛
第510図 PL.399	154	引き伸ばし	ソーダ	SII B	黄緑	完形	2.3	3.4	2.2	1.0	0.04	ETC64	銅+錫酸鉛
第510図 PL.399	155	引き伸ばし	ソーダ	SII B	黄緑	完形	1.6	2.4	1.7	1.1	0.02	ETC71	銅+錫酸鉛
第510図 PL.399	156	引き伸ばし	ソーダ	SII B	黄緑	完形	2.0	3.2	2.2	1.2	0.04	ETC73	銅+錫酸鉛
第510図 PL.399	157	引き伸ばし	ソーダ	SII B	黄緑	完形	1.3	2.8	1.7	1.2	0.02	ETC74	銅+錫酸鉛
第510図 PL.399	158	引き伸ばし	ソーダ	SII B	黄緑	完形	2.0	2.7	1.7	1.0	0.02	ETC75	銅+錫酸鉛
第510図 PL.399	159	引き伸ばし	ソーダ	SII B	黄緑	完形	0.9	2.5	1.7	1.0	0.01	ETC89	銅+錫酸鉛
第510図 PL.399	160	引き伸ばし	ソーダ	SII B	黄緑	完形	1.6	3.0	2.0	1.2	0.02	J6	銅
第510図 PL.399	161	引き伸ばし	ソーダ	SII B	黄緑	完形	3.1	3.7	2.0	0.9	0.08	J7	銅+錫酸鉛
第510図 PL.399	162	引き伸ばし	ソーダ	SII B	黄緑	完形	2.0	3.7	2.3	1.2	0.05	J8	銅+錫酸鉛
第510図 PL.399	163	引き伸ばし	ソーダ	SII B	黄緑	完形	2.2	2.8	2.2	1.2	0.03	K8	銅+錫酸鉛
第510図 PL.399	164	引き伸ばし	ソーダ	SII B	黄緑	完形	2.7	4.3	2.7	1.5	0.06	中央部東側	銅+錫酸鉛・2点
第510図 PL.399	165	引き伸ばし	ソーダ	SII B	黄緑	完形	1.4	2.5	2.0	1.0	0.02	中央部東側	銅+錫酸鉛
第510図 PL.399	166	引き伸ばし	ソーダ	SII B	黄緑	完形	1.7	3.3	2.5	1.3	0.04	P126-5 一括	銅+錫酸鉛
第510図 PL.399	167	引き伸ばし	ソーダ	SII B	濃青	完形	1.5	3.0	2.3	1.5	0.02	P479 ETC1	銅+マンガン

挿 図 PL.No.		製作技法	大別	細分	色	残存度	長さ	最大径	上面径	孔径	重さ	出土位置	備考
第510図 PL.399	168	引き伸ばし	ソーダ	S IIB	濃青	一部欠損	2.6	4.2	3.0	1.3	0.07	P479-1 ETC1	銅+マンガン・ 2点
第510図 PL.399	169	引き伸ばし	ソーダ	S IIB	濃青	完形	2.1	2.6	1.8	1.2	0.02	P82-2 ETC1	銅+マンガン
第510図 PL.399	170	引き伸ばし	ソーダ	S IIB	濃青	完形	3.0	4.0	3.0	1.4	0.06	ETC1-1	銅+マンガン・ 2点
第510図 PL.399	171	引き伸ばし	ソーダ	S IIB	濃青	完形	2.2	3.8	2.5	0.9	0.05	中央部東側	銅+マンガン
第510図 PL.399	172	引き伸ばし	ソーダ	S IIB	紺	完形	1.3	2.4	1.7	1.0	0.01	P491-1 ETC2	コバルト
第510図 PL.399	173	引き伸ばし	ソーダ	S IIB	紺	1/3	1.6+	2.6+	(1.8)	(1.0)	0.01	北西部	コバルト・2 点、半分
第510図 PL.399	174	引き伸ばし	ソーダ	S IIB	紺	完形	1.5	3.3	2.5	1.5	0.02	中央部	
第510図 PL.399	175	引き伸ばし	ソーダ	S IIB	紺	完形	1.5	3.5	2.5	1.4	0.03	中央部東側	2点
第510図 PL.399	176	引き伸ばし	ソーダ	S IIB	赤褐	完形	2.2	3.8	3.5	2.0	0.04	P490-1 S1	銅コロイド
第510図 PL.399	177	引き伸ばし	ソーダ	S IIB	赤褐	完形	1.7	2.7	2.0	1.0	0.02	S2301	銅コロイド
第510図 PL.399	178	引き伸ばし	ソーダ	S IIB	赤褐	完形	2.0	3.5	2.5	1.5	0.04	P489 一括	銅コロイド
第510図 PL.399	179	引き伸ばし	ソーダ	S IIB	黄	完形	3.2	3.4	2.5	1.0	0.07	P461-1 ETC5	錫酸鉛
第510図 PL.399	180	引き伸ばし	ソーダ	S IIB	黄	完形	1.2	2.7	1.8	0.9	0.01	P64-11 一括	錫酸鉛
第510図 PL.399	181	引き伸ばし	ソーダ	S IIB	暗灰	完形	1.1	2.8	2.0	1.0	0.02	中央部	銅+マンガン・ 10点→8点
第510図 PL.399	182	引き伸ばし	ソーダ	S III B	紺	完形	1.8	3.4	2.3	1.2	0.03	P476-2 ETC1	コバルト
第510図 PL.399	183	引き伸ばし	ソーダ	S III B	紺	完形	2.8	3.8	2.8	1.1	0.06	P479-2 ETC3	コバルト
第510図 PL.399	184	引き伸ばし	ソーダ	S III B	紺	完形	2.7	4.3	2.3	1.3	0.07	P489 一括	コバルト
第510図 PL.399	185	引き伸ばし	ソーダ	S III B	紺	完形	3.5	4.3	3.0	1.4	0.08	P500 ETC3	コバルト
第510図 PL.400	186	引き伸ばし	ソーダ	S III B	紺	完形	2.3	4.3	2.7	1.5	0.07	P500 ETC7	コバルト
第510図 PL.400	187	引き伸ばし	ソーダ	S III B	紺	完形	2.7	4.3	4.0	1.5	0.07	P500 ETC10	コバルト
第510図 PL.400	188	引き伸ばし	ソーダ	S III B	紺	完形	3.2	4.0	2.5	1.0	0.08	P500 ETC11	コバルト
第510図 PL.400	189	引き伸ばし	ソーダ	S III B	紺	完形	3.0	4.0	3.0	1.5	0.09	P500 ETC12	コバルト
第510図 PL.400	190	引き伸ばし	ソーダ	S III B	紺	完形	2.6	4.0	3.0	1.6	0.06	P500 ETC8	コバルト
第510図 PL.400	191	引き伸ばし	ソーダ	S III B	紺	完形	3.0	2.7	1.5	1.0	0.03	P530 ETC6	コバルト
第510図 PL.400	192	引き伸ばし	ソーダ	S III B	紺	完形	1.3	2.1	1.3	0.8	0.01	P572 ETC1	コバルト
第510図 PL.400	193	引き伸ばし	ソーダ	S III B	紺	完形	2.7	3.8	2.1	1.1	0.07	ETC4	コバルト
第510図 PL.400	194	引き伸ばし	ソーダ	S III B	紺	完形	3.0	3.8	3.1	1.2	0.06	ETC5	コバルト
第510図 PL.400	195	引き伸ばし	ソーダ	S III B	紺	1/2	2.0	3.8+	(2.6)	(1.5)	0.02	ETC11	コバルト・半 分残る
第510図 PL.400	196	引き伸ばし	ソーダ	S III B	紺	完形	2.5	3.7	2.8	1.1	0.06	ETC13	コバルト
第510図 PL.400	197	引き伸ばし	ソーダ	S III B	紺	完形	2.7	4.0	2.5	1.5	0.07	ETC16	コバルト
第510図 PL.400	198	引き伸ばし	ソーダ	S III B	紺	1/2	2.9	3.7+	1.7+	(1.0)	0.06	ETC17	コバルト・粉 砕
第510図 PL.400	199	引き伸ばし	ソーダ	S III B	紺	完形	1.7	2.5	1.7	1.0	0.02	ETC40	コバルト
第510図 PL.400	200	引き伸ばし	ソーダ	S III B	紺	完形	5.7	5.7	4.3	1.3	0.37	ETC81	コバルト・67 と接合
第510図 PL.400	201	引き伸ばし	ソーダ	S III B	紺	完形	1.7	3.0	2.5	1.2	0.03	I7	コバルト
第510図 PL.400	202	引き伸ばし	ソーダ	S III B	紺	完形	1.3	2.9	2.0	1.0	0.02	中央部	コバルト・10 点→8点
第510図 PL.400	203	引き伸ばし	ソーダ	S III B	紺	完形	5.6	7.7	5.5	1.7	0.44	S1207	コバルト
第510図 PL.400	204	引き伸ばし	ソーダ	S III B/SVA	赤褐	完形	2.3	3.4	3.1	1.5	0.04	P476-3 ETC1	銅コロイド
第510図 PL.400	205	引き伸ばし	ソーダ	S III B/SVA	赤褐	完形	2.8	3.0	2.0	1.4	0.04	S3204	銅コロイド
第510図 PL.400	206	引き伸ばし	カリ	P I	紺色透明	完形	1.5	2.5	2.0	1.3	0.01	P500 ETC4	コバルト
第510図 PL.400	207	引き伸ばし	カリ	P I	紺色透明	完形	2.5	3.7	2.8	1.3	0.05	P80-6 ETC1	コバルト

挿 図 PL.No.		製作技法	大別	細分	色	残存度	長さ	最大径	上面径	孔径	重さ	出土位置	備考	
第510図 PL.400	208	引き伸ばし	カリ	P I	紺色透明	完形	2.5	3.3	2.5	1.2	0.05	北西部	コバルト・2点	
第510図 PL.400	209	引き伸ばし	カリ	P II	淡青色透明	完形	2.7	3.1	1.5	1.2	0.04	P527-9 ETC1	銅	
挿 図 PL.No.	No.	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴					備 考	
第511図 PL.401	1	石製品 石製模造品 (短甲形)	S1080 完形	長 幅	5.7 3.6	厚 重	2.6 74.7	滑石	にぶい黄橙色。表裏面及び両側面は縦方向の多くの作出面 で構成されている。この作出面の一部には、縦方向に直交 する直線的な痕跡が認められる。それは刀子等の工具による 痕跡と想定され、縦方向の作出面は同様の工具による作 業単位と考えられる。孔径約2mm。					
第512図 PL.401	2	石製品 石製模造品 (斧形)	P-53 S2 完形	長 幅	(3.4) 2.7	厚 重	1.1 14.9	滑石	灰白色。表裏面には多くの作出面が認められ刀子等工具に よる加工痕と考えられる。左右両側面も刀子等工具による 作出面で構成されるが、長軸方向に平行する直線の線条痕 が認められ加工工具の痕跡と考えられる。完全に穿孔され た孔は2個認められともに孔径約2mm。穿孔途中の孔は表 裏面にそれぞれ1個認められる。					
第512図 PL.401	3	石製品 石製模造品 (勾玉形)	P-506 S59 完形	長 幅	2.7 1.7	厚 重	0.5 3.3	滑石	灰色。表裏面ともに斜め方向の擦痕が主体的である。左側 面の内湾部はいくつもの作出面で構成されており、刀子等 工具による痕跡と考えられる。孔径約2mm。					勾玉形 I
第512図 PL.401	4	石製品 石製模造品 (勾玉形)	S2782 完形	長 幅	3.9 2.9	厚 重	0.6 7.0	滑石	灰色～にぶい黄橙色。表裏面ともに横方向の擦痕が主体 的である。左側面の内湾部分は非常に滑らかであり、長軸 方向に直交する小さい段差が認められ長軸方向の細かな擦 痕も認められる。段差によって区切られた区間は刀子等工 具による作業単位と想定され、内湾部分は同様の工具より 形成されたと考えられる。孔径約2mm。					勾玉形 II
第512図 PL.401	5	石製品 石製模造品 (勾玉形)	P-51S41 完形	長 幅	3.5 2.3	厚 重	0.6 5.8	滑石	灰白色。表裏面ともに横方向の擦痕が主体的である。左側 面の内湾部はいくつもの作出面で構成されており、刀子等 工具による痕跡と考えられる。孔径約2mm。					勾玉形 II
第512図 PL.401	6	石製品 石製模造品 (勾玉形)	S1604 完形	長 幅	2.5 1.6	厚 重	0.5 2.2	滑石	灰白色。表裏面ともに斜め方向の擦痕がわずかに認められ る。左側面の内湾部はいくつもの作出面で構成されており、 刀子等工具による痕跡と考えられる。上下の孔径約2mm。					勾玉形 II
第512図 PL.401	7	石製品 石製模造品 (勾玉形)	S2206 完形	長 幅	3.0 1.7	厚 重	0.7 5.3	滑石	灰白色。表裏面ともに斜め方向の擦痕が主体的である。 左側面の内湾部には横方向の擦痕が認められる。孔径約 2mm。					勾玉形 III
第512図 PL.401	8	石製品 石製模造品 (勾玉形)	S302 完形	長 幅	2.6 1.9	厚 重	0.5 2.4	滑石	灰白色。表面には横方向の擦痕が認められる。孔径約 2mm。					勾玉形 III
第512図 PL.401	9	石製品 石製模造品 (勾玉形)	完形	長 幅	2.0 1.5	厚 重	0.6 2.1	滑石	灰白色。表裏面ともに横方向の擦痕が主体的である。孔径 約2mm。					勾玉形 III
第513図 PL.402	10	石製品 石製模造品 (半円形)	P-479-2 S1 完形	長 幅	3.8 2.5	厚 重	0.6 10.3	滑石	灰色。表面は横方向、裏面は斜め方向の擦痕が主体的であ る。孔径約2mm。					半円形 I
第513図 PL.402	11	石製品 石製模造品 (半円形)	P-490-2 S1 完形	長 幅	3.2 2.2	厚 重	0.6 6.8	滑石	灰白色。表裏面ともに斜め方向の擦痕が主体的である。孔 径約3mm。					半円形 I
第513図 PL.402	12	石製品 石製模造品 (半円形)	S873 完形	長 幅	2.9 1.6	厚 重	0.5 3.6	滑石	灰白色。表面は斜め方向、裏面は縦方向の擦痕が主体的で ある。孔径約2mm。					半円形 I
第513図 PL.402	13	石製品 石製模造品 (半円形)	P-81 S1 完形	長 幅	2.7 1.7	厚 重	0.4 3.1	滑石	灰色。表面は斜め方向、裏面は縦方向の擦痕が主体的であ る。孔径約2mm。					半円形 I
第513図 PL.402	14	石製品 石製模造品 (半円形)	S1842 P-489付近 完形	長 幅	2.4 1.6	厚 重	0.5 3.4	滑石	灰白色。表裏面ともに斜め方向の擦痕が主体的である。表 面の孔は周囲がわずかに窪んでおり、裏面からの穿孔の際 に表面側が破砕した可能性がある。孔径約2mm。					半円形 I
第513図 PL.402	15	石製品 石製模造品 (半円形)	S2285 完形	長 幅	3.9 2.1	厚 重	0.6 8.1	滑石	灰白色。表面は二つの作出面で構成される。左側の作出面 は弧状の細かい線条痕が平行に並びわずかに内湾する。刀 子等工具により作出された面と考えられる。右側の作出面 は斜め方向の擦痕が主体的である。裏面は斜め方向の擦 痕が主体的である。表面の孔は周囲がわずかに窪んでおり、 裏面からの穿孔の際に表面側が破砕した可能性がある。孔 径約2mm。					半円形 II
第513図 PL.402	16	石製品 石製模造品 (半円形)	S1724 完形	長 幅	3.6 2.1	厚 重	0.6 6.6	滑石	灰白色～灰色。表面は横方向、裏面は縦方向の擦痕が主体 的である。孔径約2mm。					半円形 II
第513図 PL.402	17	石製品 石製模造品 (半円形)	S2768 完形	長 幅	3.5 2.2	厚 重	0.5 6.4	滑石	にぶい黄橙色。表裏面ともに斜め方向の擦痕が主体的であ る。表面の孔は周囲がわずかに窪んでおり、裏面からの穿 孔の際に表面側が破砕した可能性がある。孔径約2mm。					半円形 II
第513図 PL.402	18	石製品 石製模造品 (半円形)	S2 完形	長 幅	3.1 1.8	厚 重	0.6 4.5	滑石	灰黄色。表裏面ともに横方向の擦痕が主体的である。表面 の孔は周囲がわずかに窪んでおり、裏面からの穿孔の際に 表面側が破砕した可能性がある。孔径約2mm。					半円形 II
第513図 PL.402	19	石製品 石製模造品 (半円形)	P-80-6 S1 完形	長 幅	3.1 1.6	厚 重	0.5 3.8	滑石	灰色。表裏面ともに斜め方向の擦痕が主体的である。孔径 約2mm。					半円形 II
第513図 PL.402	20	石製品 石製模造品 (半円形)	S1938 完形	長 幅	3.0 2.0	厚 重	0.5 6.0	滑石	灰白色。表裏面ともに斜め方向の擦痕が主体的である。孔 径約2mm。					半円形 II
第513図 PL.402	21	石製品 石製模造品 (半円形)	P-525-1 S61 完形	長 幅	3.0 2.0	厚 重	0.6 4.9	滑石	オリーブ灰色。表裏面ともに斜め方向の擦痕が主体的であ る。孔径約2mm。					半円形 II
第513図 PL.402	22	石製品 石製模造品 (半円形)	P-527-9 S1 完形	長 幅	2.9 1.7	厚 重	0.7 5.1	滑石	灰白色。表面は斜め方向の擦痕が主体的である。裏面は擦 痕がわずかに認められる。孔径約2mm。					半円形 II
第514図 PL.402	23	石製品 石製模造品 (半円形)	S2281 完形	長 幅	2.9 1.8	厚 重	0.5 4.4	滑石	灰白色。表面は縦方向、裏面は斜め方向の擦痕が主体的で ある。孔径約2mm。					半円形 II

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				長	幅	厚			
第514図 PL.402	24	石製品 石製模造品 (半円形)	S2490 完形	長幅 2.8 1.8	厚 0.6 0.57	滑石	灰白色。表面は横方向、裏面は斜め方向の擦痕が主体的である。孔径約2mm。	半円形Ⅱ	
第514図 PL.402	25	石製品 石製模造品 (半円形)	S120 完形	長幅 2.8 1.8	厚 0.6 0.49	滑石	灰色。表裏面ともに縦方向の擦痕が主体的である。表面の孔は周囲がわずかに窪んでおり、裏面からの穿孔の際に表面側が破砕した可能性がある。孔径約2mm。	半円形Ⅱ	
第514図 PL.402	26	石製品 石製模造品 (半円形)	P-525-1 S57 完形	長幅 2.8 1.7	厚 0.6 0.51	滑石	明緑灰色。表裏面ともに斜め方向の擦痕が主体的である。裏面の孔は周囲がわずかに窪んでおり、表面からの穿孔の際に表面側が破砕した可能性がある。孔径約2mm。	半円形Ⅱ	
第514図 PL.402	27	石製品 石製模造品 (半円形)	P-507-8 S27 完形	長幅 2.7 1.9	厚 0.6 0.45	滑石	オリープ灰色。表面は斜め方向、裏面は横方向の擦痕が主体的である。孔径約2mm。	半円形Ⅱ	
第514図 PL.402	28	石製品 石製模造品 (半円形)	P-511 S58 完形	長幅 2.6 2.0	厚 0.5 0.46	滑石	灰白色～灰色。表裏面ともに横方向の擦痕が主体的である。裏面の孔は周囲がわずかに窪んでおり、表面からの穿孔の際に裏面側が破砕した可能性がある。孔径約2mm。	半円形Ⅱ	
第514図 PL.402	29	石製品 石製模造品 (半円形)	S3014 完形	長幅 2.6 1.9	厚 0.5 0.40	滑石	灰白色。表裏面ともに斜め方向の擦痕が主体的である。孔径約2mm。	半円形Ⅱ	
第514図 PL.402	30	石製品 石製模造品 (半円形)	S3017 完形	長幅 2.5 1.7	厚 0.6 0.36	滑石	灰白色。表裏面ともに斜め方向の擦痕が主体的である。孔径約2mm。	半円形Ⅱ	
第514図 PL.402	31	石製品 石製模造品 (半円形)	S991 完形	長幅 2.3 1.8	厚 0.6 0.39	滑石	灰白色。表裏面ともに斜め方向の擦痕が主体的である。裏面の孔は周囲がわずかに窪んでおり、表面からの穿孔の際に裏面側が破砕した可能性がある。孔径約2mm。	半円形Ⅱ	
第514図 PL.402	32	石製品 石製模造品 (半円形)	S- 完形	長幅 2.3 1.6	厚 0.5 0.24	滑石	暗灰色。表裏面ともに横方向の擦痕が主体的である。孔径約2mm。	半円形Ⅱ	
第514図 PL.402	33	石製品 石製模造品 (半円形)	S2154 完形	長幅 2.3 1.5	厚 0.6 0.30	滑石	オリープ灰色。表面は横方向、裏面は斜め方向の擦痕が主体的である。孔径約2mm。	半円形Ⅱ	
第514図 PL.402	34	石製品 石製模造品 (半円形)	S2930 完形	長幅 2.2 1.7	厚 0.5 0.24	滑石	灰白色。表裏面ともに横方向の擦痕が主体的である。孔径約2mm。	半円形Ⅱ	
第514図 PL.402	35	石製品 石製模造品 (有孔円板)	P-50S135 完形	長幅 2.1 1.8	厚 0.5 0.26	滑石	灰白色。表裏面ともに斜め方向の擦痕が主体的である。孔径約2mm。	半円形Ⅱ	
第514図 PL.402	36	石製品 石製模造品 (半円形)	S564 完形	長幅 1.9 1.6	厚 0.6 0.29	滑石	灰白色。表面は擦痕がわずかに認められる。裏面は横方向の擦痕が主体的である。孔径約2mm。	半円形Ⅱ	
第514図 PL.402	37	石製品 石製模造品 (半円形)	S2153 完形	長幅 1.9 1.1	厚 0.5 0.19	滑石	灰白色。表面は斜め方向、裏面は横方向の擦痕が主体的である。裏面の孔は周囲がわずかに窪んでおり、表面からの穿孔の際に裏面側が破砕した可能性がある。孔径約2mm。	半円形Ⅱ	
第514図 PL.402	38	石製品 石製模造品 (半円形)	S2489 完形	長幅 1.8 1.3	厚 0.4 0.10	滑石	灰白色。表裏面ともに横方向の擦痕が主体的である。孔径約2mm。	半円形Ⅱ	
第514図 PL.402	39	石製品 石製模造品 (半円形)	S874 完形	長幅 2.4 1.7	厚 0.6 0.31	滑石	灰白色。表面は縦方向、裏面は横方向の擦痕が主体的である。左側面及び下側面には穿孔の痕跡が認められる。孔径約2mm。	半円形Ⅲ	
第514図 PL.402	40	石製品 石製模造品 (半円形)	S3152 完形	長幅 2.3 1.4	厚 0.5 0.23	滑石	灰色。表面は横方向、裏面は斜め方向の擦痕が主体的である。上下の孔はともに裏面側の孔の周囲がわずかに窪んでおり、表面からの穿孔の際に裏面側が破砕した可能性がある。上下の孔径約2mm。	半円形Ⅲ	
第515図 PL.403	41	石製品 石製模造品 (有孔円板)	S1948 完形	長幅 4.2 4.5	厚 0.5 14.2	滑石	灰白色。表裏面ともに斜め方向の擦痕が主体的である。左右の孔径約2mm。	有孔円板Ⅰ	
第515図 PL.403	42	石製品 石製模造品 (有孔円板)	P-489 S27 完形	長幅 3.7 3.7	厚 0.5 11.5	滑石	灰色。表裏面ともに斜め方向の擦痕が主体的である。左右の孔は表面側で周囲がわずかに窪んでおり、裏面からの穿孔の際に表面側が破砕した可能性がある。左右の孔径約2mm。	有孔円板Ⅰ	
第515図 PL.403	43	石製品 石製模造品 (有孔円板)	P-50S7 完形	長幅 3.4 3.7	厚 0.6 10.8	滑石	灰白色。表裏面ともに斜め方向の擦痕が主体的である。左右の孔は表面側で周囲がわずかに窪んでおり、裏面からの穿孔の際に表面側が破砕した可能性がある。左右の孔径約2mm。	有孔円板Ⅰ	
第515図 PL.403	44	石製品 石製模造品 (有孔円板)	P-511 S57 1/2	長幅 (2.5) (3.1)	厚 0.6 0.54	滑石	灰白色。表裏面ともに縦方向の擦痕が主体的である。孔は表面側で周囲がわずかに窪んでおり、裏面からの穿孔の際に表面側が破砕した可能性がある。孔径約2mm。	有孔円板Ⅱ	
第515図 PL.403	45	石製品 石製模造品 (有孔円板)	P-50S120 完形	長幅 3.0 3.0	厚 0.6 7.7	滑石	灰色。表面は縦方向、裏面は斜め方向の擦痕が主体的である。表面の上部に刀子状工具による削り出しと想定される痕跡が認められる。左右の孔は裏面側で周囲がわずかに窪んでいる。表面からの穿孔の際に裏面側が破砕した可能性がある。上下の孔径約2mm。	有孔円板Ⅱ	
第515図 PL.403	46	石製品 石製模造品 (有孔円板)	P-542 S1 完形	長幅 2.8 3.1	厚 0.5 6.9	滑石	オリープ灰色。表裏面は斜め方向の擦痕が主体的である。左右の孔径約2mm。	有孔円板Ⅱ	
第515図 PL.403	47	石製品 石製模造品 (有孔円板)	P-525-1 S59 完形	長幅 2.5 2.5	厚 0.5 4.0	滑石	オリープ灰色。表面は横方向、裏面は斜め方向の擦痕が主体的である。左右の孔径約2mm。	有孔円板Ⅱ	
第515図 PL.403	48	石製品 石製模造品 (有孔円板)	S2280 3013 ほぼ完形	長幅 1.8 2.4	厚 0.5 0.34	滑石	灰白色。表裏面ともに斜め～横方向の擦痕が認められる。左右の孔径約2mm。	有孔円板Ⅱ	
第515図 PL.403	49	石製品 石製模造品 (有孔円板)	P-539 S17 完形	長幅 1.9 2.2	厚 0.5 2.3	滑石	オリープ灰色。表面は斜め方向の擦痕が主体的である。裏面は二つの作出面で構成されており、上部は縦方向、下部は横方向の擦痕が主体的である。左右の孔径約2mm。	有孔円板Ⅱ	
第516図 PL.403	50	石製品 石製模造品 (有孔方板)	P-479-2 S56 完形	長幅 4.2 3.9	厚 0.6 13.2	滑石	灰色。表裏面ともに斜め方向の擦痕が主体的である。孔径約2mm。	有孔方板Ⅰ	

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
				長	幅	厚				
第516図 PL.403	51	石製品 石製模造品 (有孔方板)	P-511 S56 完形	長 幅	4.1 1.9	厚 重	0.6 7.0	滑石	灰白色。表裏面ともに斜め方向の擦痕が主体的である。上下の孔径約2mm。	有孔方板 I
第516図 PL.403	52	石製品 石製模造品 (有孔方板)	S609 ほぼ完形	長 幅	2.9 2.0	厚 重	0.5 4.3	滑石	灰黄色。表裏面ともに斜め方向の擦痕が主体的である。上下の孔は表面側で周囲がわずかに窪んでおり、裏面からの穿孔の際に表面側が破碎した可能性がある。上下の孔径約2mm。	有孔方板 I
第516図 PL.403	53	石製品 石製模造品 (有孔方板)	P-525-1 S62 完形	長 幅	3.5 2.2	厚 重	0.6 8.0	滑石	灰白色。表裏面ともに斜め方向の擦痕が主体的である。上下の孔は裏面側で周囲がわずかに窪んでおり、表面からの穿孔の際に裏面側が破碎した可能性がある。上下の孔径約2mm。	有孔方板 I
第516図 PL.403	54	石製品 石製模造品 (有孔方板)	S3012 完形	長 幅	4.6 2.4	厚 重	0.8 16.2	滑石	にぶい黄褐色。表裏面ともに斜め方向の擦痕が主体的である。孔は裏面側で周囲がわずかに窪んでおり、表面からの穿孔の際に裏面側が破碎した可能性がある。上下の孔径約3mm。	有孔方板 II
第516図 PL.403	55	石製品 石製模造品 (有孔方板)	P-525-2 S2 完形	長 幅	3.1 2.4	厚 重	0.4 4.1	滑石	オリーブ灰色。表裏面ともに斜め方向の擦痕が主体的である。薄形。孔径約2mm。	有孔方板 II
第516図 PL.403	56	石製品 石製模造品 (有孔方板)	P-50S137 完形	長 幅	3.0 2.4	厚 重	0.5 5.9	滑石	灰色。表裏面ともに斜め方向の擦痕が主体的である。孔径約2mm。	有孔方板 II
第517図 PL.403	57	石製品 石製模造品 (剣形)	P-53S3 完形	長 幅	5.1 2.3	厚 重	0.6 10.8	滑石	灰白色。表裏面ともに縦方向の擦痕が主体的である。孔は裏面側で周囲がわずかに窪んでおり表面からの穿孔の際に裏面側が破碎した可能性がある。孔径約2mm。	剣形 I A
第517図 PL.403	58	石製品 石製模造品 (剣形)	S2931 完形	長 幅	4.4 2.3	厚 重	0.7 7.5	滑石	灰白色。表面は横方向の擦痕が認められる。裏面は斜め方向の擦痕が主体的である。表面上部に穿孔途中の孔があり二つの孔が連結したヒョウタン形を呈する。孔径約2mm。	剣形 I A
第517図 PL.403	59	石製品 石製模造品 (剣形)	P-80-3 S40 完形	長 幅	3.7 2.0	厚 重	0.6 6.5	滑石	明緑灰色。表面は斜め方向、裏面は横方向の擦痕が主体的である。上下の孔径約2mm。	剣形 I B
第517図 PL.403	60	石製品 石製模造品 (剣形)	S2783 完形	長 幅	3.4 2.0	厚 重	0.4 4.1	滑石	灰白色。表裏面ともに横方向の擦痕が主体的である。孔径約2mm。	剣形 I B
第517図 PL.403	61	石製品 石製模造品 (剣形)	S870 完形	長 幅	3.2 2.1	厚 重	0.6 5.9	滑石	明オリーブ灰色～灰色。表裏面ともに斜め方向の擦痕が主体的である。表面の孔は周囲がわずかに窪んでおり、表面からの穿孔の際に裏面側が破碎した可能性がある。孔径約2mm。	剣形 I B
第517図 PL.404	62	石製品 石製模造品 (剣形)	S1840 P-489付近 完形	長 幅	7.5 2.4	厚 重	0.7 13.4	滑石	灰白色。表裏面ともに横方向と斜め方向の擦痕が認められる。表面下部に穿孔途中の孔が1カ所認められる。上下の孔径約2mm。	剣形 II
第517図 PL.404	63	石製品 石製模造品 (剣形)	S127 ほぼ完形	長 幅	6.7 2.5	厚 重	0.6 14.2	滑石	灰色。表裏面ともに斜め方向の擦痕が主体的である。上下の孔径約2mm。	剣形 II
第518図 PL.404	64	石製品 石製模造品 (剣形)	S1838 P-489付近 ほぼ完形	長 幅	6.2 (2.3)	厚 重	0.6 12.0	滑石	オリーブ灰色。表裏面ともに斜め方向の擦痕が主体的である。上下の孔径約2mm。	剣形 II
第518図 PL.404	65	石製品 石製模造品 (剣形)	P-50S38 4/5	長 幅	(6.0) 2.5	厚 重	0.5 11.3	滑石	オリーブ灰色。表裏面ともに斜め方向の擦痕が主体的である。上下の孔は表面側で周囲がわずかに窪んでおり、裏面からの穿孔の際に表面側が破碎した可能性がある。上下の孔径約2mm。	剣形 II
第518図 PL.404	66	石製品 石製模造品 (剣形)	S1841 P-489付近 完形	長 幅	5.9 2.5	厚 重	0.5 13.6	滑石	オリーブ灰色。表裏面ともに横方向の擦痕が主体的である。上下の孔径約2mm。	剣形 II
第518図 PL.404	67	石製品 石製模造品 (剣形)	S2040 完形	長 幅	5.7 2.4	厚 重	0.6 12.5	滑石	明オリーブ灰色。表裏面ともに斜め方向の擦痕が主体的である。上下の孔径約2mm。	剣形 II
第518図 PL.404	68	石製品 石製模造品 (剣形)	S124 完形	長 幅	5.6 1.7	厚 重	0.6 8.5	滑石	オリーブ灰色。表裏面ともに横方向の擦痕が主体的である。上下の孔径約2mm。	剣形 II
第518図 PL.404	69	石製品 石製模造品 (剣形)	S1839 P-489付近 ほぼ完形	長 幅	5.5 3.0	厚 重	0.8 13.7	滑石	明オリーブ灰色。表裏面ともに斜め方向の擦痕が認められる。上下の孔径約2mm。	剣形 II
第519図 PL.404	70	石製品 石製模造品 (剣形)	S123 完形	長 幅	5.5 2.4	厚 重	0.6 12.8	滑石	灰色。表裏面ともに斜め方向の擦痕が主体的である。上下の孔はいずれも表面側で周囲がわずかに窪んでおり裏面からの穿孔の際に表面側が破碎した可能性がある。上下の孔径約2mm。	剣形 II
第519図 PL.404	71	石製品 石製模造品 (剣形)	S301 完形	長 幅	5.2 2.2	厚 重	0.6 8.6	滑石	オリーブ灰色。表裏面ともに斜め方向の擦痕が主体的である。上下の孔はいずれも表面側で周囲がわずかに窪んでおり裏面からの穿孔の際に表面側が破碎した可能性がある。上下の孔径約2mm。	剣形 II
第519図 PL.404	72	石製品 石製模造品 (剣形)	S1835a P-489付近 完形	長 幅	5.0 2.5	厚 重	0.7 11.9	滑石	灰白色～白色。表面は横方向の擦痕が主体的である。裏面は横方向と斜め方向の擦痕が混在する。上下の孔径約2mm。	剣形 II
第519図 PL.404	73	石製品 石製模造品 (剣形)	P-500-1 S1 完形	長 幅	5.0 1.9	厚 重	0.4 5.5	滑石	明オリーブ灰色。表裏面ともに横方向の擦痕が主体的である。上下の孔径約2mm。	剣形 II
第519図 PL.404	74	石製品 石製模造品 (剣形)	S230 ほぼ完形	長 幅	(4.6) 2.4	厚 重	0.6 8.7	滑石	明オリーブ灰色。表面は横方向、裏面は斜め方向の擦痕が主体的である。上下の孔は表面側で周囲がわずかに窪んでおり、裏面からの穿孔の際に表面側が破碎した可能性がある。上下の孔径約2mm。	剣形 II
第519図 PL.404	75	石製品 石製模造品 (剣形)	S1277 完形	長 幅	4.6 2.5	厚 重	0.9 13.8	滑石	オリーブ灰色。表裏面ともに斜め方向の擦痕が主体的である。上部の孔の周辺は凹状を呈し線条痕が認められる。上部の孔は3つが連結した形態を呈する。下部の孔径約2mm。	剣形 II

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				長	幅	厚			
第519図 PL.404	76	石製品 石製模造品 (剣形)	S16 ほぼ完形	4.6 2.8	0.6 0.9	滑石	暗オリーブ灰色。表裏面ともに斜め方向の擦痕が主体的である。上の孔径約2mm。	剣形Ⅱ	
第519図 PL.404	77	石製品 石製模造品 (剣形)	S2204 完形	4.5 3.3	0.7 11.6	滑石	明青灰色。表裏面は共に斜め～横方向の擦痕が認められる。表裏面は丁寧に研磨されており光沢がある。上下の孔径約2mm。	剣形Ⅱ	
第520図 PL.404	78	石製品 石製模造品 (剣形)	S2152 完形	4.5 2.3	0.6 8.8	滑石	明緑灰色。表面は縦方向、裏面は横方向の擦痕が主体的である。上下の孔径約2mm。	剣形Ⅱ	
第520図 PL.404	79	石製品 石製模造品 (剣形)	P-497-2 S1 完形	4.5 2.5	0.7 10.4	滑石質蛇紋岩	緑黒色。表面は横方向、裏面は斜め方向の擦痕が主体的である。表面下部に穿孔途中の孔が1カ所認められる。上下の孔径約2mm。	剣形Ⅱ	
第520図 PL.404	80	石製品 石製模造品 (剣形)	S3015 完形	4.3 2.4	0.5 6.5	滑石	灰白色。表裏面ともに横方向の擦痕がわずかに認められる。上下の孔径約2mm。	剣形Ⅱ	
第520図 PL.404	81	石製品 石製模造品 (剣形)	S125 ほぼ完形	(4.3) 2.2	0.5 6.4	滑石	灰白色。表裏面ともに斜め方向の擦痕がわずかに認められる。上下の孔径約2mm。	剣形Ⅱ	
第520図 PL.405	82	石製品 石製模造品 (剣形)	P-498 S2 完形	4.2 1.5	0.6 5.9	滑石	にぶい黄褐色。表裏面ともに横方向の擦痕が主体的である。上下の孔径約2mm。	剣形Ⅱ	
第520図 PL.405	83	石製品 石製模造品 (剣形)	P-511 S113 完形	4.2 2.1	0.5 6.6	滑石	灰色。表裏面ともに横方向の擦痕が主体的である。上下の孔は裏面側で周囲がわずかに窪んでおり、表面からの穿孔の際に裏面側が破砕した可能性がある。上下の孔径約2mm。	剣形Ⅱ	
第520図 PL.405	84	石製品 石製模造品 (剣形)	P-525-1 S1 完形	4.1 2.1	0.5 5.9	滑石	明オリーブ灰色。表裏面ともに斜め方向の擦痕が主体的である。上下の孔径約2mm。	剣形Ⅱ	
第520図 PL.405	85	石製品 石製模造品 (剣形)	S231 完形	4.0 2.6	0.6 10.0	滑石	灰色。表裏面ともに斜め方向の擦痕が主体的である。上下の孔径約2mm。	剣形Ⅱ	
第520図 PL.405	86	石製品 石製模造品 (剣形)	S2292 完形	4.0 2.2	0.6 7.2	滑石	灰色。表面は斜め方向、裏面は縦方向の擦痕が主体的である。上の孔は表面側で周囲がわずかに窪んでおり裏面からの穿孔の際に表面側が破砕した可能性がある。孔径約2mm。	剣形Ⅱ	
第521図 PL.405	87	石製品 石製模造品 (剣形)	P-525-1 S58 完形	4.0 2.2	0.6 5.8	滑石	明オリーブ灰色。表裏面ともに斜め方向の擦痕がわずかに認められる。上下の孔径約2mm。	剣形Ⅱ	
第521図 PL.405	88	石製品 石製模造品 (剣形)	P-489 4/5	(4.0) 1.9	0.6 6.6	滑石	オリーブ灰色。表面は斜め方向、裏面は横方向の擦痕が主体的である。上下の孔径約2mm。	剣形Ⅱ	
第521図 PL.405	89	石製品 石製模造品 (剣形)	P-572 S2 ほぼ完形	4.0 2.0	0.5 5.3	滑石	灰白色。表裏面ともに斜め方向の擦痕が主体的である。上の孔径約2mm。	剣形Ⅱ	
第521図 PL.405	90	石製品 石製模造品 (剣形)	完形	3.8 2.2	0.5 6.3	滑石	灰色。表裏面ともに斜め～横方向の擦痕が認められる。上下の孔は裏面側で周囲がわずかに窪んでおり、表面からの穿孔の際に裏面側が破砕した可能性がある。上下の孔径約2mm。	剣形Ⅱ	
第521図 PL.405	91	石製品 石製模造品 (剣形)	P-500-1 S8 完形	3.8 1.9	0.5 5.4	滑石	オリーブ灰色。表裏面ともに横方向の擦痕が主体的である。上下の孔径約2mm。	剣形Ⅱ	
第521図 PL.405	92	石製品 石製模造品 (剣形)	P-7S1606 完形	3.8 1.9	0.6 6.5	滑石	暗オリーブ灰色～灰白色。表裏面ともに斜め方向の擦痕が主体的である。上下の孔は裏面側で周囲がわずかに窪んでおり、表面からの穿孔の際に裏面側が破砕した可能性がある。上下の孔径約2mm。	剣形Ⅱ	
第521図 PL.405	93	石製品 石製模造品 (剣形)	P-489 完形	3.8 1.9	0.4 4.4	滑石	オリーブ灰色。表裏面ともに斜め方向の擦痕が主体的である。上下の孔径約2mm。	剣形Ⅱ	
第521図 PL.405	94	石製品 石製模造品 (剣形)	P-477-1 S1 完形	3.7 1.8	0.6 4.3	滑石	オリーブ灰色。表裏面ともに斜め方向の擦痕がわずかに認められる。上下の孔は裏面側で周囲がわずかに窪んでおり、表面からの穿孔の際に裏面側が破砕した可能性がある。上下の孔径約2mm。	剣形Ⅱ	
第521図 PL.405	95	石製品 石製模造品 (剣形)	完形 S2282	3.7 2.3	0.5 6.0	滑石	灰白色。表面は横方向、裏面は斜め方向の擦痕が主体的である。上下の孔は裏面側で周囲がわずかに窪んでおり、表面からの穿孔の際に裏面側が破砕した可能性がある。上下の孔径約2mm。	剣形Ⅱ	
第521図 PL.405	96	石製品 石製模造品 (剣形)	P-490-5 S1 完形	3.5 1.5	0.4 2.4	滑石	灰白色。表面は斜め方向、裏面は横方向の擦痕が主体的である。上下の孔は表面側で周囲がわずかに窪んでおり、裏面からの穿孔の際に表面側が破砕した可能性がある。上下の孔径約2mm。	剣形Ⅱ	
第521図 PL.405	97	石製品 石製模造品 (剣形)	S287 完形	3.5 2.4	0.6 7.0	滑石	灰白色。表裏面ともに斜め方向の擦痕が主体的である。上下の孔径約2mm。	剣形Ⅱ	
第521図 PL.405	98	石製品 石製模造品 (剣形)	S122 完形	3.4 1.8	0.4 3.5	滑石	明オリーブ灰色。表面は斜め方向、裏面は横方向の擦痕が主体的である。上下の孔径約2mm。	剣形Ⅱ	
第521図 PL.405	99	石製品 石製模造品 (剣形)	P-489 完形	3.3 1.5	0.4 2.2	滑石	オリーブ灰色。表裏面ともに横方向の擦痕がわずかに認められる。上下の孔径約2mm。	剣形Ⅱ	
第521図 PL.405	100	石製品 石製模造品 (剣形)	P-489 完形	3.3 2.3	0.5 5.1	滑石	明オリーブ灰色。表裏面ともに横方向の擦痕が主体的である。上下の孔径約2mm。	剣形Ⅱ	
第521図 PL.405	101	石製品 石製模造品 (剣形)	S232 完形	3.2 2.1	0.6 4.4	滑石	明オリーブ灰色～暗オリーブ灰色。表面は横方向、裏面は斜め方向の擦痕が主体的である。上下の孔径約2mm。	剣形Ⅱ	

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
				長	幅	厚				
第522図 PL.405	102	石製品 石製模造品 (剣形)	S2302 完形	長 幅	3.2 2.1	厚 重	0.5 4.2	滑石	灰白色。表面は斜め方向、裏面は横方向の擦痕が主体的である。上下の孔は裏面側で周囲がわずかに窪んでおり、表面からの穿孔の際に裏面側が破砕した可能性がある。上下の孔径約2mm。	剣形Ⅱ
第522図 PL.405	103	石製品 石製模造品 (剣形)	S2207 完形	長 幅	3.2 2.1	厚 重	0.6 5.3	滑石	にぶい黄橙色。表面は斜め方向、裏面は横方向の擦痕が主体的である。下の孔は表面側で周囲がわずかに窪んでおり、裏面からの穿孔の際に表面側が破砕した可能性がある。上下の孔径約2mm。	剣形Ⅱ
第522図 PL.405	104	石製品 石製模造品 (剣形)	S2279 完形	長 幅	3.1 2.0	厚 重	0.7 6.7	滑石	灰オリーブ色。表面は斜め方向、裏面は縦方向の擦痕が主体的である。上の孔は表面側で周囲がわずかに窪んでおり、裏面からの穿孔の際に表面側が破砕した可能性がある。孔径約2mm。	剣形Ⅱ
第522図 PL.405	105	石製品 石製模造品 (剣形)	P-502-1 完形	長 幅	3.1 2.1	厚 重	0.4 4.5	滑石	暗オリーブ灰色～灰白色。表裏面ともに斜め方向の擦痕が主体的である。上下の孔は表面側で周囲がわずかに窪んでおり、裏面からの穿孔の際に表面側が破砕した可能性がある。上下の孔径約2mm。	剣形Ⅱ
第522図 PL.405	106	石製品 石製模造品 (剣形)	S1856 完形	長 幅	3.0 1.6	厚 重	0.6 3.1	滑石	灰白色。表裏面はともに斜め方向の擦痕が主体的である。上の孔は表面側で周囲がわずかに窪んでおり、表面からの穿孔の際に表面側が破砕した可能性がある。上下の孔径約2mm。	剣形Ⅱ
第522図 PL.405	107	石製品 石製模造品 (剣形)	P-50S136 完形	長 幅	2.9 1.6	厚 重	0.4 2.6	滑石	オリーブ灰色。表面は斜め方向と縦方向の擦痕が認められる。裏面は斜め方向の擦痕が主体的である。上下の孔は表面側で周囲がわずかに窪んでおり、裏面からの穿孔の際に表面側が破砕した可能性がある。上下の孔径約2mm。	剣形Ⅱ
第522図 PL.405	108	石製品 石製模造品 (剣形)	S1862 完形	長 幅	2.9 1.8	厚 重	0.4 2.1	滑石	灰白色。表面は擦痕が認められない。裏面は斜め方向の擦痕が主体的である。上下の孔径約2mm。	剣形Ⅱ
第522図 PL.405	109	石製品 石製模造品 (剣形)	P-539 S1 完形	長 幅	2.9 1.2	厚 重	0.4 1.6	滑石	オリーブ灰色。表裏面ともに斜め方向の擦痕が主体的である。表面には二つの作出面が認められる。上下の孔径約2mm。	剣形Ⅱ
第522図 PL.405	110	石製品 石製模造品 (剣形)	S2278 ほぼ完形	長 幅	(2.8) 2.1	厚 重	0.4 3.5	滑石	にぶい黄橙色。表裏面ともに斜め方向の擦痕が主体的である。下の孔は裏面側で周囲がわずかに窪んでおり、表面からの穿孔の際に裏面側が破砕した可能性がある。上下の孔径約2mm。	剣形Ⅱ
第522図 PL.406	111	石製品 石製模造品 (剣形)	P-479-2 S30 完形	長 幅	2.7 1.8	厚 重	0.4 3.6	滑石	灰白色。表面は斜め方向、裏面は横方向の擦痕が主体的である。上下の孔は裏面側で周囲がわずかに窪んでおり、表面からの穿孔の際に裏面側が破砕した可能性がある。上下の孔径約2mm。	剣形Ⅱ
第522図 PL.406	112	石製品 石製模造品 (剣形)	P-506 S1 完形	長 幅	2.5 1.7	厚 重	0.5 2.4	滑石	にぶい黄橙色。表裏面ともに斜め方向の擦痕が主体的である。上下の孔径約2mm。	剣形Ⅱ
第522図 PL.406	113	石製品 石製模造品 (剣形)	S2534 1/2	長 幅	(2.3) 1.7	厚 重	0.5 2.1	滑石	灰白色。表面は斜め方向の擦痕が主体的である。裏面は全体的に研磨の痕跡が認められず剥落した面と想定される。上下の孔径約2mm。下部欠損。	剣形Ⅱ
第522図 PL.406	114	石製品 石製模造品 (剣形)	S2290 完形	長 幅	2.2 1.7	厚 重	0.4 2.5	滑石	灰白色。表面は斜め方向、裏面は横方向の擦痕が主体的である。上下の孔は表面側で周囲がわずかに窪んでおり、裏面からの穿孔の際に表面側が破砕した可能性がある。上下の孔径約2mm。	剣形Ⅱ
第522図 PL.406	115	石製品 石製模造品 (剣形)	S3 1/2	長 幅	(3.5) 2.5	厚 重	0.7 7.4	滑石	にぶい黄橙色。表面は斜め方向、裏面は横方向の擦痕が主体的である。孔径約2mm。	剣形Ⅱ
第522図 PL.406	116	石製品 石製模造品 (剣形)	P-485-5 S1 2/3	長 幅	(3.8) 2.5	厚 重	0.8 10.2	滑石	灰白色。表面は横方向、裏面は斜め方向の擦痕が主体的である。孔径約2mm。右上部及び下部欠損。	剣形Ⅱ
第522図 PL.406	117	石製品 石製模造品 (剣形)	S1138 完形	長 幅	3.7 2.0	厚 重	0.8 7.5	滑石	灰白色。表裏面ともに擦痕は目立たない。表面の孔は周囲がわずかに窪んでおり、裏面からの穿孔の際に表面側が破砕した可能性がある。孔径約2mm。	剣形Ⅱ
第522図 PL.406	118	石製品 石製模造品 (剣形)	S1081 完形	長 幅	3.5 1.6	厚 重	0.5 4.1	滑石	灰白色。表裏面ともに横方向の擦痕が主体的である。孔径約2mm。	剣形Ⅱ
第523図 PL.406	119	石製品 石製模造品 (剣形)	S415 完形	長 幅	4.6 2.6	厚 重	1.0 15.4	滑石	明オリーブ灰色～灰色。表裏面ともに横方向の擦痕が主体的である。孔径約2mm。	剣形ⅢA
第523図 PL.406	120	石製品 石製模造品 (剣形)	P-84-6 S1b ほぼ完形	長 幅	4.0 1.8	厚 重	0.4 3.8	滑石	オリーブ灰色。表裏面ともに横方向の擦痕が主体的である。孔径約2mm。	剣形ⅢA
第523図 PL.406	121	石製品 石製模造品 (剣形)	P84-6 P502-7 S1b 一括 2/3	長 幅	3.1 1.7	厚 重	0.4 2.8	滑石	オリーブ灰色。表面は横方向、裏面は斜め方向の擦痕が主体的である。孔径約2mm。	剣形ⅢA
第523図 PL.406	122	石製品 石製模造品 (剣形)	P-508-1 S1 完形	長 幅	2.7 1.6	厚 重	0.5 3.6	滑石	灰白色。表面は横方向と斜め方向の擦痕が認められる。裏面は斜め方向の擦痕が主体的である。裏面の孔は周囲がわずかに窪んでおり、表面からの穿孔の際に裏面側が破砕した可能性がある。孔径約2mm。	剣形ⅢA
第523図 PL.406	123	石製品 石製模造品 (剣形)	S2696 完形	長 幅	2.7 2.5	厚 重	0.6 4.5	滑石	灰白色。表裏面ともに斜め方向の擦痕が主体的である。孔径約2mm。	剣形ⅢB
第523図 PL.406	124	石製品 石製模造品 (剣形)	P-490-1 S2 完形	長 幅	1.8 1.6	厚 重	0.5 2.2	滑石	明オリーブ灰色。表面は縦方向、裏面は斜め方向の擦痕が主体的である。孔径約2mm。	剣形ⅢB
第523図 PL.406	125	石製品 石製模造品 (剣形)	P-54S1 ほぼ完形	長 幅	7.0 (3.2)	厚 重	0.8 23.3	滑石	暗灰色。表裏面ともに斜め方向の擦痕が主体的である。両側面及び上面は長軸に平行する方向の擦痕が主体的である。上の孔は表面側で周囲がわずかに窪んでおり、裏面からの穿孔の際に表面側が破砕した可能性がある。上下の孔径約2mm。	剣形ⅣA
第523図 PL.406	126	石製品 石製模造品 (剣形)	S121 完形	長 幅	6.0 3.5	厚 重	0.5 13.4	滑石	灰白色。表裏面ともに斜め方向の擦痕が主体的である。上下の孔径約2mm。	剣形ⅣA

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第524図 PL.406	127	石製品 石製模造品 (剣形)	P-498 S1 完形	長幅 5.3 2.2	厚 0.5 9.1		滑石	明オリープ灰色。表裏面ともに斜め方向の擦痕が主体的である。上下の孔径約2mm。	剣形ⅣA
第524図 PL.406	128	石製品 石製模造品 (剣形)	P-525-1 S2 完形	長幅 5.3 2.4	厚 0.6 11.7		滑石	明オリープ灰色。表面は横方向、裏面は斜め方向の擦痕が主体的である。上下の孔径約2mm。	剣形ⅣA
第524図 PL.406	129	石製品 石製模造品 (剣形)	S871 ほぼ完形	長幅 (5.2) 2.3	厚 0.5 8.3		滑石	明緑灰色。表面は斜め方向の擦痕が主体的である。裏面は横方向と縦方向の擦痕が認められる。上下の孔径約2mm。	剣形ⅣA
第524図 PL.406	130	石製品 石製模造品 (剣形)	P-511 S14 完形	長幅 5.1 2.4	厚 0.5 7.7		滑石	明オリープ灰色。表面は斜め方向、裏面は縦方向の擦痕が主体的である。上下の孔径約2mm。	剣形ⅣA
第524図 PL.406	131	石製品 石製模造品 (剣形)	S872 完形	長幅 4.8 3.0	厚 0.5 11.7		滑石	灰白色。表面は横方向、裏面は縦方向の擦痕が主体的である。上下の孔はいずれも表面側で周囲がわずかに窪んでおり裏面からの穿孔の際に表面側が破砕した可能性がある。上下の孔径約2mm。	剣形ⅣA
第524図 PL.406	132	石製品 石製模造品 (剣形)	P-490-1 S33 完形	長幅 4.4 2.4	厚 0.6 9.1		滑石	明オリープ灰色～灰色。表面は斜め方向、裏面は横方向の擦痕が主体的である。上下の孔は表面側で周囲がわずかに窪んでおり、裏面からの穿孔の際に表面側が破砕した可能性がある。上下の孔径約2mm。	剣形ⅣA
第524図 PL.407	133	石製品 石製模造品 (剣形)	S1844 1835b P-489付近 完形	長幅 4.4 2.8	厚 0.6 12.6		滑石	明緑灰色。表面は斜め方向、裏面は横方向の擦痕が主体的である。上下の孔径約2mm。	剣形ⅣA
第524図 PL.407	134	石製品 石製模造品 (剣形)	S1836 P-489付近 完形	長幅 4.3 2.1	厚 0.5 5.2		滑石	明オリープ灰色。表面は斜め方向の擦痕が主体的であり、裏面は擦痕がわずかに認められる。上下の孔径約2mm。	剣形ⅣA
第524図 PL.407	135	石製品 石製模造品 (剣形)	S2767 完形	長幅 4.4 2.5	厚 0.6 10.4		滑石	灰白色。表裏面ともに斜め方向の擦痕が主体的である。上下の孔は裏面側で周囲がわずかに窪んでおり、表面からの穿孔の際に裏面側が破砕した可能性がある。表面の右縁にいくつかの加工単位が認められ刀子等工具による加工痕と考えられる。上下の孔径約2mm。	剣形ⅣA
第525図 PL.407	136	石製品 石製模造品 (剣形)	P-511 S13 完形	長幅 3.8 2.2	厚 0.6 6.9		滑石	灰白色。表裏面ともに横方向の擦痕が主体的である。上下の孔はいずれも表面側で周囲がわずかに窪んでおり裏面からの穿孔の際に表面側が破砕した可能性がある。上下の孔径約2mm。	剣形ⅣA
第525図 PL.407	137	石製品 石製模造品 (剣形)	S1843 P-489付近 完形	長幅 3.8 2.8	厚 0.6 7.9		滑石	明オリープ灰色。表面は斜め方向、裏面は縦方向の擦痕が主体的である。上下の孔は裏面側で周囲がわずかに窪んでおり、表面からの穿孔の際に裏面側が破砕した可能性がある。上下の孔径約2mm。	剣形ⅣA
第525図 PL.407	138	石製品 石製模造品 (剣形)	P-541 S73 完形	長幅 3.6 2.3	厚 0.5 6.7		滑石	オリープ灰色。表裏面ともに斜め方向の擦痕が主体的である。上下の孔は表面側で周囲がわずかに窪んでおり、裏面からの穿孔の際に表面側が破砕した可能性がある。上下の孔径約2mm。	剣形ⅣA
第525図 PL.407	139	石製品 石製模造品 (剣形)	P-50S119 完形	長幅 3.4 1.6	厚 0.5 4.1		滑石	オリープ灰色。表面は縦方向の擦痕が主体的である。裏面は多方向の擦痕が認められる。上下の孔径約2mm。	剣形ⅣA
第525図 PL.407	140	石製品 石製模造品 (剣形)	P-490-1 S3 完形	長幅 3.3 2.5	厚 0.5 6.0		滑石	灰白色。表裏面ともに斜め方向の擦痕が主体的である。上下の孔は裏面側で周囲がわずかに窪んでおり、表面からの穿孔の際に裏面側が破砕した可能性がある。上下の孔径約2mm。	剣形ⅣA
第525図 PL.407	141	石製品 石製模造品 (剣形)	S414 完形	長幅 3.3 2.5	厚 0.5 5.4		滑石	灰白色。表裏面ともに斜め方向の擦痕が主体的である。上下の孔は裏面側で周囲がわずかに窪んでおり、表面からの穿孔の際に裏面側が破砕した可能性がある。上下の孔径約2mm。	剣形ⅣA
第525図 PL.407	142	石製品 石製模造品 (剣形)	P-50S39 ほぼ完形	長幅 2.6 1.9	厚 0.6 4.3		滑石	オリープ灰色。表裏面ともに横方向の擦痕が主体的である。下の孔は裏面側で周囲がわずかに窪んでおり表面からの穿孔の際に裏面側が破砕した可能性がある。上下の孔径約2mm。	剣形ⅣA
第525図 PL.407	143	石製品 石製模造品 (剣形)	S123 完形	長幅 2.6 2.5	厚 0.5 4.4		滑石	灰白色。表裏面ともに斜め～横方向の擦痕が認められる。下側辺には横方向の擦痕が認められる。上の孔は裏面側で周囲がわずかに窪んでおり、表面からの穿孔の際に裏面側が破砕した可能性がある。上下の孔径約2mm。	剣形ⅣB
第525図 PL.407	144	石製品 石製模造品 (剣形)	P-444 S6 完形	長幅 2.5 2.1	厚 0.5 4.4		滑石	にぶい黄褐色。表面は縦方向、裏面は斜め方向の擦痕が主体的である。下側辺には横方向の擦痕が認められる。上下の孔は裏面側で周囲がわずかに窪んでおり、表面からの穿孔の際に裏面側が破砕した可能性がある。上下の孔径約2mm。	剣形ⅣB
第525図 PL.407	145	石製品 石製模造品 (剣形)	S233 1/2	長幅 (3.4) 2.5	厚 0.6 9.6		滑石	明オリープ灰色。表裏面ともに斜め方向の擦痕が主体的である。上の孔は表面側で周囲がわずかに窪んでおり、裏面からの穿孔の際に表面側が破砕した可能性がある。上下の孔径約2mm。	剣形Ⅳ不明
第525図 PL.407	146	石製品 石製模造品 (剣形)	S300 1/2	長幅 (3.6) (2.7)	厚 0.7 8.0		滑石	灰白色。表裏面ともに斜め方向の擦痕が主体的である。孔径約2mm。上部欠損。	剣形Ⅰ～Ⅳ不明
第526図 PL.407	147	石製品 石製模造品 (不定形)	P-474-2 S1 完形	長幅 4.1 4.1	厚 0.8 14.8		滑石	明緑灰色。表面は縦方向と横方向の擦痕が混在する。裏面は斜め方向の擦痕が認められる。表面の孔は二つが連結したヒョウタン形を呈し、その一方は穿孔途中である。孔径約2mm。	不明
第526図 PL.407	148	石製品 石製模造品 (不明)	P-78 S1 不明	長幅 (3.0) (1.6)	厚 0.5 3.1		滑石	灰白色。表裏面ともに横方向の擦痕が主体的である。上下の孔径約2mm。	不明
第526図 PL.407	149	石製品 石製模造品 (不明)	P-490-2 S2 不明	長幅 (4.5) 3.0	厚 0.8 13.1		滑石	にぶい黄褐色。表裏面ともに斜め方向の擦痕が主体的である。孔径約2mm。	不明
第526図 PL.407	150	石製品 石製模造品 (不明)	P-46-3 S1b 不明	長幅 (3.0) (1.4)	厚 (0.6) 3.2		滑石	灰白色。表裏面ともに横方向の擦痕が主体的である。孔径約2mm。	不明

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				長幅	厚	重			
第526図 PL.407	151	石製品 石製模造品 (不明)	S16b 不明	長幅 (2.6) (1.3)	厚 0.5 1.5	重	滑石	明オリブ灰色。表裏面ともに斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	不明
第526図 PL.407	152	石製品 石製模造品 (不明)	S2303 不明	長幅 (2.5) 2.4	厚 0.6 6.3	重	滑石	灰白色。表裏面ともに斜め方向の擦痕が主体的である。上の孔径約2mm。	不明
第526図 PL.407	153	石製品 石製模造品 (不明)	P-525-1 S3 P-525-1 S60a P525-1 S71 不明	長幅 (2.3) 2.6	厚 0.4 3.1	重	滑石	オリブ灰色。表面は斜め方向の擦痕が認められる。裏面は横方向と斜め方向の擦痕が混在する。孔径約2mm。	不明 3点接合
第526図 PL.407	154	石製品 石製模造品 (不明)	S534 不明	長幅 (2.2) 2.3	厚 0.7 4.3	重	滑石	灰白色。表面は横方向の擦痕が認められるが、裏面は擦痕が目立たない。孔径約2mm。	不明
第526図 PL.407	155	石製品 石製模造品 (不明)	S1139 不明	長幅 (2.1) 2.1	厚 0.5 3.7	重	滑石	灰白色。表裏面ともに斜め方向の擦痕が主体的である。孔径約2mm。	不明
第526図 PL.407	156	石製品 石製模造品 (不明)	P-46-3 S1a 不明	長幅 (2.1) 2.3	厚 0.8 4.6	重	滑石	灰白色。表面は斜め方向、裏面は横方向の擦痕が主体的である。孔径約2mm。	不明
第526図 PL.407	157	石製品 石製模造品 (不明)	S2781 不明	長幅 (2.0) (2.0)	厚 0.4 2.2	重	滑石	灰白色。表裏面ともに擦痕は目立たない。孔径約2mm。	不明
第526図 PL.407	158	石製品 石製模造品 (不明)	S1605 不明	長幅 (1.9) 1.8	厚 0.5 1.6	重	滑石	灰白色。表面は縦方向の擦痕がわずかに認められる。裏面は断面V字形の比較的幅の広い線条痕が斜め方向に認められる。孔径約2mm。	不明
第527図 PL.408	1	石製品 白玉	P-527-4 S2 完形	長幅 0.7 0.7	厚 0.4 0.30	重	滑石	灰色。側面は中央に明瞭な張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。孔は中央付近に段差が認められる。孔径約2mm。	B2a I
第527図 PL.408	2	石製品 白玉	S1565 完形	長幅 0.7 0.7	厚 0.5 0.36	重	滑石	灰白色。側面は中央に明瞭な張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であり擦痕が認められる。孔径約2mm。	B2a II
第527図 PL.408	3	石製品 白玉	S2541 完形	長幅 0.7 0.7	厚 0.4 0.35	重	滑石	灰白色。側面は中央に張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。孔径約2mm。	B2a II
第527図 PL.408	4	石製品 白玉	P-489 S40 完形	長幅 0.7 0.7	厚 0.4 0.31	重	滑石	灰白色。側面は中央に明瞭な張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。孔径約2mm。	B2a II
第527図 PL.408	5	石製品 白玉	P-491-2 S6 完形	長幅 0.6 0.6	厚 0.4 0.28	重	滑石	灰白色。側面は中央に明瞭な張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦でありわずかに擦痕が認められる。孔径約2mm。	B2a II
第527図 PL.408	6	石製品 白玉	S645 完形	長幅 0.7 0.7	厚 0.4 0.27	重	滑石	灰白色。側面は中央に張りがありわずかに稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約3mm。	B2a II
第527図 PL.408	7	石製品 白玉	S2425 完形	長幅 0.7 0.7	厚 0.4 0.35	重	滑石	灰色。側面は中央に張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約3mm。	B2a III
第527図 PL.408	8	石製品 白玉	S2835 完形	長幅 0.6 0.6	厚 0.3 0.18	重	滑石	灰白色。側面は中央に張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約2mm。	B2a III
第527図 PL.408	9	石製品 白玉	P-444 S12 完形	長幅 0.7 0.7	厚 0.5 0.36	重	滑石	灰白色。側面は中央に明瞭な張りがありわずかに稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦でありわずかに擦痕が認められる。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約3mm。	B2a III
第527図 PL.408	10	石製品 白玉	P-498 S102 完形	長幅 0.6 0.6	厚 0.4 0.25	重	滑石	灰色。側面は中央に張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であり擦痕が認めらる。裏面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約2mm。	B2a III
第527図 PL.408	11	石製品 白玉	P-511 S99 完形	長幅 0.7 0.7	厚 0.4 0.23	重	滑石	灰白色。側面は中央に明瞭な張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約2mm。	B2a III
第527図 PL.408	12	石製品 白玉	P-532-6 S16 完形	長幅 0.6 0.6	厚 0.4 0.32	重	滑石	灰白色。側面は中央に張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約2mm。	B2a III
第527図 PL.408	13	石製品 白玉	S92 完形	長幅 0.7 0.7	厚 0.3 0.25	重	滑石	灰白色。側面は中央に明瞭な張りがありわずかに稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であり擦痕が認められる。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約2mm。	B2a III
第527図 PL.408	14	石製品 白玉	S955 完形	長幅 0.7 0.7	厚 0.4 0.42	重	滑石	灰色。側面は中央に明瞭な張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であり擦痕が認められる。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	B2a IV
第527図 PL.408	15	石製品 白玉	S1950 完形	長幅 0.5 0.5	厚 0.3 0.17	重	滑石	灰白色。側面は中央に明瞭な張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	B2a IV
第527図 PL.408	16	石製品 白玉	P-476-1 S6 完形	長幅 0.8 0.7	厚 0.5 0.39	重	滑石	灰色。側面は中央に明瞭な張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦でありわずかに擦痕が認められる。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	B2a IV
第527図 PL.408	17	石製品 白玉	P-578-1 S5 完形	長幅 0.7 0.7	厚 0.4 0.29	重	滑石	灰白色。側面は中央に明瞭な張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	B2a IV
第527図 PL.408	18	石製品 白玉	S1484 完形	長幅 0.7 0.7	厚 0.5 0.39	重	滑石	灰白色。側面は中央に明瞭な張りがありわずかに稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。孔は上下端が外に向かい広がっている。孔径約3mm。	B2a V

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				長幅	厚重			
第527図 PL.408	19	石製品 白玉	S2638 完形	長幅 0.6 0.6	厚重 0.4 0.24	滑石	灰白色。側面は中央に明瞭な張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦でありわずかに擦痕が認められる。孔は上下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	B2a V
第527図 PL.408	20	石製品 白玉	S2223 完形	長幅 0.7 0.7	厚重 0.4 0.24	滑石	灰白色。側面は中央に明瞭な張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は中央付近に段差が認められる。孔径約2mm。	B2b I
第527図 PL.408	21	石製品 白玉	S531 完形	長幅 0.5 0.5	厚重 0.3 0.16	滑石	灰白色。側面は中央に明瞭な張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦でありわずかに擦痕が認められる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔径約2mm。	B2b II
第527図 PL.408	22	石製品 白玉	S2533 完形	長幅 0.8 0.8	厚重 0.5 0.42	滑石	灰白色。側面は中央に張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔径約2mm。	B2b II
第527図 PL.408	23	石製品 白玉	S3009 完形	長幅 0.6 0.6	厚重 0.4 0.27	滑石	灰白色。側面は中央に明瞭な張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔径約2mm。	B2b II
第527図 PL.408	24	石製品 白玉	P-80-5 S15 完形	長幅 0.7 0.7	厚重 0.4 0.23	滑石	灰白色。側面は中央に張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦でありわずかに擦痕が認められる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔径約2mm。	B2b II
第527図 PL.408	25	石製品 白玉	P-96-8 S4 完形	長幅 0.7 0.7	厚重 0.5 0.36	滑石	灰白色。側面は中央に張りがありわずかに稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔径約2mm。	B2b II
第527図 PL.408	26	石製品 白玉	P-498 S70 完形	長幅 0.7 0.7	厚重 0.4 0.32	滑石	灰白色。側面は中央に明瞭な張りがありわずかに稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔径約2mm。	B2b II
第527図 PL.408	27	石製品 白玉	P-528-9 S12 完形	長幅 0.6 0.6	厚重 0.3 0.17	滑石	灰白色。側面は中央に明瞭な張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。孔径約3mm。	B2b II
第527図 PL.408	28	石製品 白玉	P-528-9 S29 完形	長幅 0.6 0.6	厚重 0.4 0.32	滑石	オリープ灰色。側面は中央に明瞭な張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔径約3mm。	B2b II
第527図 PL.408	29	石製品 白玉	S57 完形	長幅 0.7 0.7	厚重 0.3 0.16	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は小さな作出面が多数認められ刀子等工具による加工痕の可能性ある。孔径約2mm。	B2b II
第527図 PL.408	30	石製品 白玉	S717 完形	長幅 0.7 0.7	厚重 0.5 0.33	滑石	灰白色。側面は中央に張りがありわずかに稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約2mm。	B2b III
第527図 PL.408	31	石製品 白玉	S846 完形	長幅 0.7 0.7	厚重 0.5 0.30	滑石	灰白色。側面は中央に張りがありわずかに稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約2mm。	B2b III
第527図 PL.408	32	石製品 白玉	S865 完形	長幅 0.6 0.6	厚重 0.4 0.23	滑石	灰白色。側面は中央に明瞭な張りがありわずかに稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦でありわずかに擦痕が認められる。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約2mm。	B2b III
第527図 PL.408	33	石製品 白玉	S1002 完形	長幅 0.7 0.7	厚重 0.4 0.38	滑石	灰白色。側面は中央に張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦でありわずかに擦痕が認められる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約3mm。	B2b III
第527図 PL.408	34	石製品 白玉	S1051 完形	長幅 0.6 0.6	厚重 0.4 0.25	滑石	灰白色。側面は中央に張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約3mm。	B2b III
第527図 PL.408	35	石製品 白玉	S2903 完形	長幅 0.7 0.7	厚重 0.4 0.27	滑石	灰白色。側面は中央に明瞭な張りがありわずかに稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約2mm。	B2b III
第527図 PL.408	36	石製品 白玉	S3117 完形	長幅 0.7 0.7	厚重 0.5 0.33	滑石	灰白色。側面は中央に明瞭な張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約2mm。	B2b III
第527図 PL.408	37	石製品 白玉	P-497-2 S33 完形	長幅 0.7 0.7	厚重 0.5 0.41	滑石	灰白色。側面は中央に明瞭な張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦でありわずかに擦痕が認められる。裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約3mm。	B2b III
第527図 PL.408	38	石製品 白玉	S83 完形	長幅 0.6 0.6	厚重 0.4 0.16	滑石	灰白色。側面は中央に明瞭な張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約2mm。	B2b III
第527図 PL.408	39	石製品 白玉	S13 完形	長幅 0.7 0.7	厚重 0.5 0.40	滑石	灰白色。側面は中央に明瞭な張りがありわずかに稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	B2b IV
第527図 PL.408	40	石製品 白玉	S60 完形	長幅 0.8 0.8	厚重 0.4 0.37	滑石	灰白色。側面は中央に明瞭な張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	B2b IV

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				長幅	厚重			
第527図 PL.408	41	石製品 白玉	S479 完形	長幅 0.7 0.7	厚重 0.5 0.29	滑石	灰白色。側面は中央に明瞭な張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約3mm。	B2bIV
第527図 PL.408	42	石製品 白玉	S1189 完形	長幅 0.6 0.6	厚重 0.5 0.36	滑石	灰白色。側面は中央に張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦でなく凹凸が認められる。裏面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	B2bIV
第527図 PL.408	43	石製品 白玉	S1677 ほぼ完形	長幅 0.7 0.7	厚重 0.4 0.33	滑石	灰白色。側面は中央に明瞭な張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	B2bIV
第527図 PL.408	44	石製品 白玉	S1714 完形	長幅 0.7 0.7	厚重 0.4 0.30	滑石	灰白色。側面は中央に明瞭な張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦でありわずかに擦痕が認められる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約3mm。	B2bIV
第527図 PL.408	45	石製品 白玉	S2486 完形	長幅 0.7 0.7	厚重 0.3 0.27	滑石	灰白色。側面は中央に明瞭な張りがありわずかに稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦でありわずかに擦痕が認められる。裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	B2bIV
第527図 PL.408	46	石製品 白玉	P-477-1 S16 完形	長幅 0.7 0.7	厚重 0.4 0.33	滑石	灰白色。側面は中央に明瞭な張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦でありわずかに擦痕が認められる。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	B2bIV
第527図 PL.408	47	石製品 白玉	S2 (一括) 完形	長幅 0.7 0.7	厚重 0.4 0.35	滑石	灰白色。側面は中央に明瞭な張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	B2bIV
第527図 PL.408	48	石製品 白玉	S75 (一括) 完形	長幅 0.7 0.7	厚重 0.4 0.26	滑石	灰白色。側面は中央に明瞭な張りがありわずかに稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	B2bIV
第527図 PL.408	49	石製品 白玉	S605 完形	長幅 0.7 0.7	厚重 0.4 0.36	滑石	灰白色。側面は中央に明瞭な張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は上下端が外に向かい広がっている。孔径約3mm。	B2b V
第527図 PL.408	50	石製品 白玉	S1617 完形	長幅 0.7 0.7	厚重 0.4 0.35	滑石	灰白色。側面は中央に明瞭な張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は上下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	B2b V
第527図 PL.408	51	石製品 白玉	P-67-9 S1(一括) 完形	長幅 0.7 0.6	厚重 0.5 0.25	滑石	灰白色。側面は中央に明瞭な張りがありわずかに稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦でありわずかに擦痕が認められる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は上下端が外に向かい広がっている。孔径約3mm。	B2b V
第527図 PL.408	52	石製品 白玉	S626 完形	長幅 0.7 0.6	厚重 0.4 0.24	滑石	灰白色。側面は中央に明瞭な張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は中央付近に段差が認められる。孔径約3mm。	B2c I
第527図 PL.408	53	石製品 白玉	S752 完形	長幅 0.7 0.7	厚重 0.4 0.29	滑石	灰白色。側面は中央に明瞭な張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は中央付近に段差が認められる。孔径約2mm。	B2c I
第527図 PL.408	54	石製品 白玉	P-68-13 S7 完形	長幅 0.7 0.7	厚重 0.5 0.35	滑石	灰白色。側面は中央に明瞭な張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は中央付近に段差が認められる。孔径約3mm。	B2c I
第527図 PL.408	55	石製品 白玉	S1005 完形	長幅 0.7 0.7	厚重 0.6 0.45	滑石	灰白色。側面は中央に明瞭な張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔径約2mm。	B2c II
第527図 PL.408	56	石製品 白玉	P-57-9 S8 完形	長幅 0.6 0.7	厚重 0.4 0.27	滑石	灰白色。側面は中央に明瞭な張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔径約2mm。	B2c II
第527図 PL.408	57	石製品 白玉	P-131 S1 完形	長幅 0.8 0.8	厚重 0.5 0.54	滑石	灰白色。側面は中央に明瞭な張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔径約3mm。	B2c II
第527図 PL.408	58	石製品 白玉	P-455-6 S3 完形	長幅 0.7 0.7	厚重 0.4 0.21	滑石	灰白色。側面は中央に明瞭な張りがありわずかに稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔径約3mm。	B2c II
第527図 PL.408	59	石製品 白玉	P-478-1 S30 完形	長幅 0.8 0.8	厚重 0.5 0.42	滑石	灰白色。側面は中央に明瞭な張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔径約2mm。	B2c II
第527図 PL.408	60	石製品 白玉	P-479-2 S20 完形	長幅 0.6 0.6	厚重 0.5 0.23	滑石	灰白色。側面は中央に明瞭な張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔径約2mm。	B2c II
第527図 PL.408	61	石製品 白玉	P-500-1 S49 完形	長幅 0.8 0.8	厚重 0.5 0.48	滑石	灰白色。側面は中央に明瞭な張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔径約2mm。	B2c II
第527図 PL.408	62	石製品 白玉	P-506 S22 完形	長幅 0.7 0.7	厚重 0.6 0.35	滑石	灰白色。側面は中央に明瞭な張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔径約3mm。	B2c II
第527図 PL.408	63	石製品 白玉	P-511 S85 完形	長幅 0.6 0.6	厚重 0.3 0.18	滑石	灰白色。側面は中央に明瞭な張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔径約3mm。	B2c II
第527図 PL.408	64	石製品 白玉	P-589-1 S1 完形	長幅 0.7 0.7	厚重 0.3 0.21	滑石	灰白色。側面は中央に明瞭な張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔径約3mm。	B2c II

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				長幅	厚	重量			
第527図 PL.408	65	石製品 白玉	S85 完形	0.7 0.7	0.5 0.40		滑石	灰白色。側面は中央に明瞭な張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約3mm。	B2cIII
第527図 PL.408	66	石製品 白玉	S143 完形	0.7 0.7	0.4 0.28		滑石	灰白色。側面は中央に明瞭な張りがありわずかに稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約3mm。	B2cIII
第527図 PL.408	67	石製品 白玉	S445 完形	0.6 0.7	0.4 0.25		滑石	灰白色。側面は中央に明瞭な張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約3mm。	B2cIII
第527図 PL.408	68	石製品 白玉	S737 完形	0.8 0.8	0.4 0.32		滑石	灰白色。側面は中央に明瞭な張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約3mm。	B2cIII
第527図 PL.408	69	石製品 白玉	S971 完形	0.6 0.6	0.5 0.21		滑石	灰白色。側面は中央に明瞭な張りがありわずかに稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦でなく凹凸が認められる。裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約3mm。	B2cIII
第527図 PL.408	70	石製品 白玉	S1057 完形	0.7 0.7	0.4 0.31		滑石	灰白色。側面は中央に張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約2mm。	B2cIII
第527図 PL.408	71	石製品 白玉	S2588 完形	0.6 0.6	0.3 0.20		滑石	灰白色。側面は中央に張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約2mm。	B2cIII
第527図 PL.408	72	石製品 白玉	S2924 完形	0.6 0.6	0.3 0.19		滑石	灰白色。側面は中央に明瞭な張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約2mm。	B2cIII
第527図 PL.408	73	石製品 白玉	P-80-4 S9 完形	0.7 0.7	0.4 0.39		滑石	灰白色。側面は中央に明瞭な張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約2mm。	B2cIII
第527図 PL.408	74	石製品 白玉	P-96-8 S1 完形	0.6 0.6	0.3 0.27		滑石	灰白色。側面は中央に明瞭な張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約2mm。	B2cIII
第527図 PL.408	75	石製品 白玉	P-511 S109 完形	0.7 0.7	0.3 0.29		蛇紋岩	灰色。側面は中央に張りがありわずかに稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約2mm。	B2cIII
第527図 PL.408	76	石製品 白玉	P-528-9 S43 完形	0.7 0.7	0.3 0.20		滑石	灰白色。側面は中央に明瞭な張りがありわずかに稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約3mm。	B2cIII
第527図 PL.408	77	石製品 白玉	S567 完形	0.7 0.7	0.5 0.35		滑石	灰白色。側面は中央に明瞭な張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約3mm。	B2cIV
第527図 PL.408	78	石製品 白玉	S1319 完形	0.7 0.7	0.4 0.21		滑石	灰白色。側面は中央に明瞭な張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	B2cIV
第527図 PL.408	79	石製品 白玉	S1702 完形	0.7 0.7	0.4 0.24		滑石	灰白色。側面は中央に明瞭な張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約3mm。	B2cIV
第527図 PL.408	80	石製品 白玉	S2348 完形	0.6 0.6	0.5 0.29		滑石	灰白色。側面は中央に明瞭な張りがありわずかに稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	B2cIV
第527図 PL.408	81	石製品 白玉	S3026 完形	0.7 0.7	0.4 0.42		滑石	灰白色。側面は中央に明瞭な張りがありわずかに稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	B2cIV
第527図 PL.408	82	石製品 白玉	P-112 S2 完形	0.7 0.7	0.3 0.23		滑石	灰白色。側面は中央に明瞭な張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	B2cIV
第527図 PL.408	83	石製品 白玉	P-126-2 完形	0.7 0.7	0.4 0.39		滑石	オリーブ灰色。側面は中央に明瞭な張りがありわずかに稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	B2cIV
第527図 PL.408	84	石製品 白玉	P-467-8 S6 完形	0.7 0.7	0.4 0.22		滑石	灰白色。側面は中央に明瞭な張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	B2cIV
第527図 PL.408	85	石製品 白玉	P-476-1 S14 完形	0.7 0.7	0.5 0.38		滑石	灰白色。側面は中央に明瞭な張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	B2cIV
第527図 PL.408	86	石製品 白玉	P-476-2 S48 完形	0.8 0.8	0.3 0.29		蛇紋岩	青黒色。側面は中央に明瞭な張りがありわずかに稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	B2cIV
第527図 PL.408	87	石製品 白玉	P-485-16 S7 完形	0.7 0.7	0.6 0.47		滑石	灰白色。側面は中央に明瞭な張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	B2cIV

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				長幅	厚	重量			
第527図 PL.408	88	石製品 白玉	P-489 S30 完形	長幅 0.7 0.7	厚 0.5 0.33	重量 0.33	滑石	灰白色。側面は中央に明瞭な張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	B2cIV
第527図 PL.408	89	石製品 白玉	P-491-1 S17 完形	長幅 0.7 0.7	厚 0.5 0.33	重量 0.33	滑石	灰白色。側面は中央に明瞭な張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約3mm。	B2cIV
第527図 PL.408	90	石製品 白玉	P-51S58 完形	長幅 0.6 0.6	厚 0.4 0.28	重量 0.28	滑石	灰白色。側面は中央に明瞭な張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦でありわずかに擦痕が認められる。裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	B2cIV
第527図 PL.408	91	石製品 白玉	P-511 S29 完形	長幅 0.7 0.7	厚 0.4 0.32	重量 0.32	滑石	灰白色。側面は中央に明瞭な張りがありわずかに稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	B2cIV
第527図 PL.408	92	石製品 白玉	P-572 S21 完形	長幅 0.7 0.7	厚 0.4 0.34	重量 0.34	滑石	灰白色。側面は中央に明瞭な張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	B2cIV
第527図 PL.408	93	石製品 白玉	P-578-1 S3 完形	長幅 0.6 0.6	厚 0.4 0.28	重量 0.28	滑石	灰白色。側面は中央に明瞭な張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	B2cIV
第527図 PL.408	94	石製品 白玉	S7 完形	長幅 0.7 0.7	厚 0.4 0.27	重量 0.27	滑石	灰白色。側面は中央に明瞭な張りがありわずかに稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	B2cIV
第527図 PL.408	95	石製品 白玉	S454 完形	長幅 0.7 0.7	厚 0.4 0.22	重量 0.22	滑石	灰白色。側面は中央に明瞭な張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は上下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	B2cV
第527図 PL.408	96	石製品 白玉	S1620 完形	長幅 0.7 0.7	厚 0.3 0.25	重量 0.25	滑石	灰白色。側面は中央に明瞭な張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は上下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	B2cV
第527図 PL.408	97	石製品 白玉	S1710 完形	長幅 0.7 0.7	厚 0.4 0.35	重量 0.35	滑石	灰白色。側面は中央に明瞭な張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は上下端が外に向かい広がっている。孔径約3mm。	B2cV
第527図 PL.408	98	石製品 白玉	S2268 完形	長幅 0.7 0.7	厚 0.4 0.36	重量 0.36	滑石	灰白色。側面は中央に明瞭な張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は上下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	B2cV
第527図 PL.408	99	石製品 白玉	S3218 完形	長幅 0.7 0.7	厚 0.4 0.31	重量 0.31	滑石	灰白色。側面は中央に明瞭な張りがありわずかに稜を形成し横方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約2mm。	B3aIII
第527図 PL.408	100	石製品 白玉	S520 完形	長幅 0.7 0.7	厚 0.4 0.36	重量 0.36	滑石	灰白色。側面は中央に明瞭な張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であり擦痕が認められる。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	B3aIV
第527図 PL.408	101	石製品 白玉	S2573 完形	長幅 0.7 0.7	厚 0.6 0.55	重量 0.55	滑石	灰白色。側面は中央に明瞭な張りがあり横方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦でありわずかに擦痕が認められる。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	B3aIV
第527図 PL.408	102	石製品 白玉	P-128-2 S6 完形	長幅 0.7 0.7	厚 0.4 0.37	重量 0.37	滑石	灰色。側面は中央に明瞭な張りがありわずかに稜を形成し横方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であり擦痕が認められる。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	B3aIV
第527図 PL.408	103	石製品 白玉	S2742 完形	長幅 0.6 0.6	厚 0.4 0.24	重量 0.24	滑石	オリーブ灰色。側面は中央に明瞭な張りがありわずかに稜を形成し横方向の擦痕が認められる。表面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は中央付近に段差が認められる。孔径約2mm。	B3b I
第527図 PL.408	104	石製品 白玉	S1094 完形	長幅 0.7 0.7	厚 0.3 0.26	重量 0.26	滑石	オリーブ灰色。側面は中央に明瞭な張りがありわずかに稜を形成し横方向の擦痕が認められる。表面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔径約2mm。	B3b II
第527図 PL.408	105	石製品 白玉	S18 完形	長幅 0.6 0.6	厚 0.5 0.31	重量 0.31	滑石	灰白色。側面は中央に明瞭な張りがあり横方向の擦痕が認められる。表面は平坦でありわずかに擦痕が認められる。裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔径約2mm。	B3b II
第528図 PL.408	106	石製品 白玉	S2800 完形	長幅 0.6 0.6	厚 0.4 0.21	重量 0.21	滑石	灰白色。側面は中央に張りがありわずかに稜を形成し横方向の擦痕が認められる。表面は平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約2mm。	B3bIII
第528図 PL.408	107	石製品 白玉	S2803 完形	長幅 0.6 0.6	厚 0.3 0.16	重量 0.16	滑石	灰白色。側面は中央に張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦でありわずかに擦痕が認められる。裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約2mm。	B3bIII
第528図 PL.408	108	石製品 白玉	S329 完形	長幅 0.7 0.7	厚 0.4 0.27	重量 0.27	滑石	灰白色。側面は中央に張りがあり稜を形成し横方向の擦痕が認められる。表面は平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔径約2mm。	B3c II
第528図 PL.408	109	石製品 白玉	S2452 完形	長幅 0.7 0.7	厚 0.4 0.21	重量 0.21	滑石	灰白色。側面は中央に明瞭な張りがあり横方向の擦痕が認められる。表面は平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約3mm。	B3cIII
第528図 PL.408	110	石製品 白玉	S468 完形	長幅 0.6 0.6	厚 0.4 0.21	重量 0.21	滑石	灰白色。側面は中央に明瞭な張りがありわずかに稜を形成し横方向の擦痕が認められる。表面は平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約3mm。	B3cIV

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				長 幅	厚 重				
第528図 PL.408	111	石製品 白玉	S49 完形	長 幅 0.7 0.7	厚 重 0.5 0.36		滑石	暗褐色。側面は中央に明瞭な張りがあり稜を形成し擦痕は認められない。表面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約2mm。	B4bⅢ
第528図 PL.408	112	石製品 白玉	P-498 S81 完形	長 幅 0.6 0.6	厚 重 0.3 0.14		滑石	灰白色。側面は中央に明瞭な張りがありわずかに稜を形成し擦痕は認められない。表裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔径約2mm。	B4cⅡ
第528図 PL.408	113	石製品 白玉	S830 完形	長 幅 0.6 0.6	厚 重 0.4 0.29		滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。孔径約2mm。	C2aⅡ
第528図 PL.408	114	石製品 白玉	S2583 完形	長 幅 0.6 0.6	厚 重 0.3 0.22		滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。孔径約2mm。	C2aⅡ
第528図 PL.408	115	石製品 白玉	P-101 S4 完形	長 幅 0.6 0.6	厚 重 0.5 0.27		滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦でありわずかに擦痕が認められる。孔径約3mm。	C2aⅡ
第528図 PL.408	116	石製品 白玉	P-105 S3 完形	長 幅 0.6 0.6	厚 重 0.3 0.22		滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。上下面に赤色物質の付着がわずかに認められる。孔径約2mm。	C2aⅡ
第528図 PL.408	117	石製品 白玉	P-195 S13 完形	長 幅 0.7 0.7	厚 重 0.5 0.41		滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦でありわずかに擦痕が認められる。孔径約2mm。	C2aⅡ
第528図 PL.408	118	石製品 白玉	P-444 S9 完形	長 幅 0.7 0.7	厚 重 0.5 0.37		滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。孔径約2mm。	C2aⅡ
第528図 PL.408	119	石製品 白玉	P-476-1 S42 完形	長 幅 0.7 0.7	厚 重 0.4 0.35		滑石	オリーブ灰色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦でありわずかに擦痕が認められる。孔径約2mm。	C2aⅡ
第528図 PL.408	120	石製品 白玉	P-499-4 S2 完形	長 幅 0.7 0.7	厚 重 0.3 0.19		滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。孔径約2mm。	C2aⅡ
第528図 PL.408	121	石製品 白玉	S2515 完形	長 幅 0.6 0.7	厚 重 0.4 0.24		滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦でありわずかに擦痕が認められる。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約2mm。	C2aⅡ
第528図 PL.408	122	石製品 白玉	S2663 完形	長 幅 0.7 0.7	厚 重 0.4 0.28		滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦でありわずかに擦痕が認められる。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約3mm。	C2aⅢ
第528図 PL.408	123	石製品 白玉	S2739 完形	長 幅 0.8 0.7	厚 重 0.4 0.30		滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約3mm。	C2aⅢ
第528図 PL.408	124	石製品 白玉	P-90-12 S4 完形	長 幅 0.7 0.7	厚 重 0.3 0.28		滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦でありわずかに擦痕が認められる。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約2mm。	C2aⅢ
第528図 PL.408	125	石製品 白玉	P-528-9 S33 完形	長 幅 0.6 0.6	厚 重 0.4 0.19		滑石	オリーブ灰色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約3mm。	C2aⅢ
第528図 PL.408	126	石製品 白玉	P-581-4 S10 完形	長 幅 0.6 0.6	厚 重 0.4 0.20		滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であり擦痕が認められる。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約2mm。	C2aⅢ
第528図 PL.408	127	石製品 白玉	S52 完形	長 幅 0.7 0.7	厚 重 0.6 0.46		滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であり擦痕が認められる。裏面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	C2aⅣ
第528図 PL.408	128	石製品 白玉	S934 完形	長 幅 0.7 0.7	厚 重 0.4 0.27		滑石	オリーブ灰色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	C2aⅣ
第528図 PL.408	129	石製品 白玉	S1473 完形	長 幅 0.6 0.6	厚 重 0.4 0.26		滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。孔径約2mm。	C2aⅡ
第528図 PL.408	130	石製品 白玉	S2003 完形	長 幅 0.7 0.7	厚 重 0.4 0.35		滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	C2aⅣ
第528図 PL.408	131	石製品 白玉	S2470 完形	長 幅 0.6 0.6	厚 重 0.4 0.23		滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であり擦痕が認められる。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	C2aⅣ
第528図 PL.408	132	石製品 白玉	S2592 完形	長 幅 0.6 0.6	厚 重 0.5 0.33		滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦でありわずかに擦痕が認められる。裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	C2aⅣ
第528図 PL.408	133	石製品 白玉	S2798 完形	長 幅 0.7 0.7	厚 重 0.4 0.36		滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	C2aⅣ
第528図 PL.408	134	石製品 白玉	S3089 完形	長 幅 0.6 0.6	厚 重 0.3 0.18		滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であり擦痕が認められる。裏面は平坦でありわずかに擦痕が認められる。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	C2aⅣ
第528図 PL.408	135	石製品 白玉	P-61-4 S11 完形	長 幅 0.6 0.6	厚 重 0.4 0.30		滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	C2aⅣ

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				長幅	厚	重量			
第528図 PL.408	136	石製品 白玉	P-90-9 S2 完形	0.7 0.6	0.4 0.30	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	C2aIV	
第528図 PL.408	137	石製品 白玉	P-285 S1 完形	0.8 0.8	0.4 0.37	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	C2aIV	
第528図 PL.408	138	石製品 白玉	P-472-2 S12 完形	0.7 0.7	0.3 0.19	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	C2aIV	
第528図 PL.408	139	石製品 白玉	P-479 S20 完形	0.6 0.6	0.3 0.21	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	C2aIV	
第528図 PL.408	140	石製品 白玉	P-541 S57 完形	0.7 0.7	0.3 0.25	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	C2aIV	
第528図 PL.408	141	石製品 白玉	P-61 S22 完形	0.6 0.6	0.4 0.31	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。孔は上下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	C2aIV	
第528図 PL.408	142	石製品 白玉		0.7 0.7	0.3 0.24		灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。孔は上下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	C2b I	
第528図 PL.408	143	石製品 白玉	S1150 完形	0.7 0.7	0.5 0.40	滑石	オリーブ灰色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は中央付近に段差が認められる。孔径約2mm。	C2b II	
第528図 PL.408	144	石製品 白玉	S65 完形	0.7 0.7	0.4 0.33	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。孔径約2mm。	C2b II	
第528図 PL.408	145	石製品 白玉	S1095 完形	0.7 0.7	0.4 0.28	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔径約2mm。	C2b II	
第528図 PL.408	146	石製品 白玉	P-78-2 S12 完形	0.6 0.6	0.4 0.26	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦でありわずかに擦痕が認められる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔径約2mm。	C2b II	
第528図 PL.408	147	石製品 白玉	P-489 S32 完形	0.6 0.7	0.5 0.38	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔径約2mm。	C2b II	
第528図 PL.408	148	石製品 白玉	P-490-1 S5 完形	0.7 0.7	0.5 0.30	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔径約2mm。	C2b II	
第528図 PL.408	149	石製品 白玉	P-493-1 S47 完形	0.6 0.6	0.5 0.26	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦でありわずかに擦痕が認められる。裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔径約3mm。	C2b II	
第528図 PL.408	150	石製品 白玉	P-500-1 S3 完形	0.7 0.7	0.4 0.26	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔径約2mm。	C2b II	
第528図 PL.408	151	石製品 白玉	P-500-1 S82 完形	0.7 0.7	0.4 0.35	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔径約2mm。	C2b II	
第528図 PL.408	152	石製品 白玉	P-528-9 S3 完形	0.7 0.7	0.5 0.37	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。孔径約3mm。	C2b II	
第528図 PL.408	153	石製品 白玉	P-541 S8 完形	0.6 0.6	0.4 0.25	蛇紋岩	青黒色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦でありわずかに擦痕が認められる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔径約2mm。	C2b II	
第528図 PL.408	154	石製品 白玉	S2664 完形	0.7 0.7	0.4 0.38	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約2mm。	C2b III	
第528図 PL.408	155	石製品 白玉	S2808 完形	0.6 0.6	0.4 0.28	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦でありわずかに擦痕が認められる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約2mm。	C2b III	
第528図 PL.408	156	石製品 白玉	P-78 S27 完形	0.7 0.7	0.4 0.34	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦でありわずかに擦痕が認められる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約3mm。	C2b III	
第528図 PL.408	157	石製品 白玉	P-78-2 S34 完形	0.7 0.7	0.4 0.24	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦でありわずかに擦痕が認められる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約3mm。	C2b III	
第528図 PL.408	158	石製品 白玉	P-80-5 S9 完形	0.6 0.6	0.3 0.21	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦でありわずかに擦痕が認められる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約2mm。	C2b III	
第528図 PL.408	159	石製品 白玉	P-80-6 S13 完形	0.5 0.5	0.3 0.13	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦でありわずかに擦痕が認められる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約3mm。	C2b III	

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				長 幅	厚 重	厚 重			
第528図 PL.408	182	石製品 白玉	P-91 S5 (一括) 完形	長幅 0.6 0.6	厚重 0.5 0.32	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦でありわずかに擦痕が認められる。裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約3mm。	C2bIV	
第528図 PL.408	183	石製品 白玉	P-476-2 S40 完形	長幅 0.6 0.6	厚重 0.4 0.26	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦でありわずかに擦痕が認められる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	C2bIV	
第528図 PL.408	184	石製品 白玉	P-477-3 S16 完形	長幅 0.6 0.6	厚重 0.3 0.24	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	C2bIV	
第528図 PL.408	185	石製品 白玉	P-489 S18 (一括) 完形	長幅 0.7 0.7	厚重 0.4 0.30	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦でありわずかに擦痕が認められる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	C2bIV	
第528図 PL.408	186	石製品 白玉	P-489 S45 (一括) 完形	長幅 0.7 0.6	厚重 0.5 0.32	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦でありわずかに擦痕が認められる。裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	C2bIV	
第528図 PL.408	187	石製品 白玉	P-498 S30 完形	長幅 0.7 0.7	厚重 0.4 0.35	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	C2bIV	
第528図 PL.408	188	石製品 白玉	P-500-1 S61 完形	長幅 0.7 0.7	厚重 0.5 0.47	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	C2bIV	
第528図 PL.408	189	石製品 白玉	P-500-1 S144 完形	長幅 0.6 0.6	厚重 0.4 0.28	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦でありわずかに擦痕が認められる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	C2bIV	
第528図 PL.408	190	石製品 白玉	P-500-1 S160 完形	長幅 0.7 0.7	厚重 0.5 0.41	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	C2bIV	
第528図 PL.408	191	石製品 白玉	P-506 S29 完形	長幅 0.8 0.8	厚重 0.5 0.60	蛇紋岩	青黒色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であり擦痕が認められる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	C2bIV	
第528図 PL.408	192	石製品 白玉	P-506 S33 完形	長幅 0.6 0.6	厚重 0.3 0.24	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦でありわずかに擦痕が認められる。裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	C2bIV	
第528図 PL.408	193	石製品 白玉	P-511 S97 完形	長幅 0.8 0.8	厚重 0.4 0.39	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦でありわずかに擦痕が認められる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	C2bIV	
第528図 PL.408	194	石製品 白玉	P-543-2 S5 完形	長幅 0.6 0.6	厚重 0.4 0.27	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦でありわずかに擦痕が認められる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	C2bIV	
第528図 PL.408	195	石製品 白玉	P-589-1 S2 完形	長幅 0.7 0.7	厚重 0.6 0.48	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦でありわずかに擦痕が認められる。裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	C2bIV	
第528図 PL.408	196	石製品 白玉	S751 完形	長幅 0.7 0.7	厚重 0.4 0.38	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦でありわずかに擦痕が認められる。裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は上下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	C2bV	
第528図 PL.408	197	石製品 白玉	S1958 完形	長幅 0.6 0.6	厚重 0.3 0.21	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は上下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	C2bV	
第528図 PL.408	198	石製品 白玉	P-78 S39 完形	長幅 0.6 0.6	厚重 0.5 0.27	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であり擦痕が認められる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は上下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	C2bV	
第528図 PL.408	199	石製品 白玉	P-467-2 S3 完形	長幅 0.7 0.7	厚重 0.4 0.24	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であり擦痕が認められる。裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は上下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	C2bV	
第528図 PL.408	200	石製品 白玉	P-479 S13 完形	長幅 0.7 0.6	厚重 0.4 0.22	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦でありわずかに擦痕が認められる。裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は上下端が外に向かい広がっている。孔径約3mm。	C2bV	
第528図 PL.408	201	石製品 白玉	S199 (一括) 完形	長幅 0.6 0.6	厚重 0.5 0.18	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は中央付近に段差が認められる。孔径約3mm。	C2c I	
第528図 PL.408	202	石製品 白玉	S38 完形	長幅 0.7 0.7	厚重 0.4 0.37	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔径約2mm。	C2c II	
第528図 PL.408	203	石製品 白玉	S55 完形	長幅 0.6 0.6	厚重 0.4 0.29	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔径約2mm。	C2c II	

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				長	幅	厚			
第528図 PL.408	204	石製品 白玉	S186 完形	0.8 0.8	0.4 0.39	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔径約2mm。	C2c II	
第528図 PL.408	205	石製品 白玉	S192 完形	0.7 0.7	0.4 0.31	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であり擦痕が認められる。孔径約2mm。	C2c II	
第528図 PL.408	206	石製品 白玉	S850 完形	0.6 0.6	0.4 0.21	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔径約3mm。	C2c II	
第528図 PL.408	207	石製品 白玉	S1611 完形	0.7 0.7	0.5 0.31	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔径約2mm。	C2c II	
第528図 PL.408	208	石製品 白玉	S1944 完形	0.7 0.7	0.5 0.38	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔径約2mm。	C2c II	
第528図 PL.408	209	石製品 白玉	S2364 完形	0.6 0.6	0.5 0.22	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔径約2mm。	C2c II	
第528図 PL.408	210	石製品 白玉	S3054 完形	0.7 0.6	0.4 0.28	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔径約2mm。	C2c II	
第528図 PL.408	211	石製品 白玉	P-61 S20 完形	0.6 0.6	0.4 0.25	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔径約2mm。	C2c II	
第528図 PL.408	212	石製品 白玉	P-72-15 S2 完形	0.7 0.8	0.4 0.41	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔径約2mm。	C2c II	
第528図 PL.408	213	石製品 白玉	P-73-13 S7 (一 括) 完形	0.7 0.7	0.5 0.37	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔径約2mm。	C2c II	
第528図 PL.408	214	石製品 白玉	P-78 S4 完形	0.8 0.8	0.6 0.54	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔径約2mm。	C2c II	
第529図 PL.408	215	石製品 白玉	P-82-2 S7 完形	0.6 0.6	0.4 0.29	滑石	オリーブ灰色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔径約2mm。	C2c II	
第529図 PL.408	216	石製品 白玉	P-101 S10 完形	0.7 0.7	0.5 0.27	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔径約3mm。	C2c II	
第529図 PL.408	217	石製品 白玉	P-101 S17 (一 括) 完形	0.6 0.6	0.6 0.32	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔径約2mm。	C2c II	
第529図 PL.408	218	石製品 白玉	P-128-3 S4 (一 括) 完形	0.7 0.7	0.5 0.32	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔径約2mm。	C2c II	
第529図 PL.408	219	石製品 白玉	P-430-2 S2 完形	0.7 0.7	0.5 0.37	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔径約3mm。	C2c II	
第529図 PL.408	220	石製品 白玉	P-445 S4 完形	0.6 0.6	0.4 0.23	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔径約2mm。	C2c II	
第529図 PL.408	221	石製品 白玉	P-476-2 S17 完形	0.7 0.7	0.5 0.33	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔径約2mm。	C2c II	
第529図 PL.408	222	石製品 白玉	P-477-3 S14 完形	0.6 0.6	0.3 0.18	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔径約3mm。	C2c II	
第529図 PL.408	223	石製品 白玉	P-493-1 S38 (一 括) 完形	0.5 0.5	0.4 0.14	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔径約3mm。	C2c II	
第529図 PL.408	224	石製品 白玉	P-500-1 S74 完形	0.7 0.7	0.6 0.41	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔径約3mm。	C2c II	
第529図 PL.408	225	石製品 白玉	P-525-1 S50 完形	0.6 0.6	0.3 0.14	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔径約3mm。	C2c II	
第529図 PL.408	226	石製品 白玉	P-527-9 S10 完形	0.7 0.6	0.4 0.26	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔径約3mm。	C2c II	
第529図 PL.408	227	石製品 白玉	P-528-9 S35 完形	0.7 0.7	0.3 0.19	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔径約3mm。	C2c II	
第529図 PL.408	228	石製品 白玉	P-571-1 S13 完形	0.7 0.7	0.5 0.40	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔径約3mm。	C2c II	
第529図 PL.408	229	石製品 白玉	S1 (一括) 完形	0.8 0.7	0.4 0.36	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔径約2mm。	C2c II	
第529図 PL.408	230	石製品 白玉	S55 (一括) 完形	0.7 0.7	0.4 0.30	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり横方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔径約3mm。	C2c III	
第529図 PL.408	231	石製品 白玉	S243 完形	0.7 0.7	0.5 0.42	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約3mm。	C2c III	

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				長幅	厚	重量			
第529図 PL.408	232	石製品 白玉	S1174 完形	長幅 0.7 0.7	厚 0.4 0.25	重量	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約2mm。	C2cⅢ
第529図 PL.408	233	石製品 白玉	S1191 完形	長幅 0.7 0.6	厚 0.3 0.21	重量	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約3mm。	C2cⅢ
第529図 PL.408	234	石製品 白玉	S1380 完形	長幅 0.7 0.7	厚 0.4 0.29	重量	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約3mm。	C2cⅢ
第529図 PL.408	235	石製品 白玉	S1638 完形	長幅 0.6 0.6	厚 0.5 0.24	重量	滑石	灰色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約3mm。	C2cⅢ
第529図 PL.408	236	石製品 白玉	P-78-2 S18 完形	長幅 0.7 0.7	厚 0.5 0.41	重量	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約3mm。	C2cⅢ
第529図 PL.408	237	石製品 白玉	P-78-3 S12 完形	長幅 0.8 0.8	厚 0.5 0.39	重量	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約3mm。	C2cⅢ
第529図 PL.408	238	石製品 白玉	P-80-3 S38 完形	長幅 0.6 0.6	厚 0.4 0.20	重量	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約3mm。	C2cⅢ
第529図 PL.408	239	石製品 白玉	P-81 S15 完形	長幅 0.7 0.7	厚 0.5 0.36	重量	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約2mm。	C2cⅢ
第529図 PL.408	240	石製品 白玉	P-225-4 S4 ほぼ完形	長幅 0.6 0.6	厚 0.5 0.29	重量	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約3mm。	C2cⅢ
第529図 PL.408	241	石製品 白玉	P-272 S3 完形	長幅 0.6 0.6	厚 0.4 0.28	重量	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約3mm。	C2cⅢ
第529図 PL.408	242	石製品 白玉	P-511 S42 ほぼ完形	長幅 0.7 0.7	厚 0.4 0.29	重量	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約2mm。	C2cⅢ
第529図 PL.408	243	石製品 白玉	S88 完形	長幅 0.7 0.6	厚 0.4 0.24	重量	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は下端が外に向かい広がっている。部分的に褐色物質が付着し鉄錆と考えられる。孔径約2mm。	C2cⅣ
第529図 PL.408	244	石製品 白玉	S152 完形	長幅 0.6 0.6	厚 0.3 0.29	重量	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は下端が外に向かい広がっている。褐色物質が部分的に認められ鉄分の可能性がある。孔径約2mm。	C2cⅣ
第529図 PL.408	245	石製品 白玉	S424 完形	長幅 0.7 0.6	厚 0.4 0.29	重量	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	C2cⅣ
第529図 PL.408	246	石製品 白玉	S606 完形	長幅 0.7 0.7	厚 0.4 0.21	重量	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	C2cⅣ
第529図 PL.408	247	石製品 白玉	S844 完形	長幅 0.7 0.7	厚 0.4 0.25	重量	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約3mm。	C2cⅣ
第529図 PL.408	248	石製品 白玉	S996 完形	長幅 0.7 0.7	厚 0.4 0.31	重量	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	C2cⅣ
第529図 PL.408	249	石製品 白玉	S1228 完形	長幅 0.7 0.7	厚 0.4 0.37	重量	滑石	オリーブ黄色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	C2cⅣ
第529図 PL.408	250	石製品 白玉	S1506 完形	長幅 0.6 0.6	厚 0.3 0.18	重量	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	C2cⅣ
第529図 PL.408	251	石製品 白玉	S1623 完形	長幅 0.6 0.6	厚 0.4 0.22	重量	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は上下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	C2cⅣ
第529図 PL.408	252	石製品 白玉	S1822 完形	長幅 0.7 0.7	厚 0.4 0.27	重量	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	C2cⅣ
第529図 PL.408	253	石製品 白玉	S2059 完形	長幅 0.7 0.7	厚 0.5 0.46	重量	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	C2cⅣ
第529図 PL.408	254	石製品 白玉	S2108 完形	長幅 0.6 0.6	厚 0.5 0.27	重量	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	C2cⅣ
第529図 PL.408	255	石製品 白玉	S2346 完形	長幅 0.7 0.7	厚 0.4 0.31	重量	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	C2cⅣ

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				長 幅	厚 重	厚 重			
第529図 PL.409	280	石製品 白玉	S2475 完形	0.6 0.6	0.3 0.18		滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は上下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	C2c V
第529図 PL.409	281	石製品 白玉	P-78-2 S13 完形	0.7 0.7	0.3 0.24		滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は上下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	C2c V
第529図 PL.409	282	石製品 白玉	P-476-1 S4 完形	0.7 0.7	0.3 0.26		滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は上下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	C2c V
第529図 PL.409	283	石製品 白玉	S748 完形	0.7 0.7	0.4 0.28		滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦でありわずかに擦痕が認められる。孔径約2mm。	C3a II
第529図 PL.409	284	石製品 白玉	P-87 S1 (一括) 完形	0.5 0.5	0.3 0.14		蛇紋岩	青黒色。側面は中央にわずかに張りがあり横方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であり擦痕が認められる。孔径約2mm。	C3a II
第529図 PL.409	285	石製品 白玉	P-91 S7 (一括) 完形	0.6 0.6	0.3 0.15		滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり横方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦でありわずかに擦痕が認められる。孔径約3mm。	C3a II
第529図 PL.409	286	石製品 白玉	S87 (一括) 完形	0.6 0.7	0.4 0.29		滑石	灰色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約2mm。	C3a III 楕円を呈す
第529図 PL.409	287	石製品 白玉	S431 完形	0.6 0.6	0.4 0.28		滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であり擦痕が認められる。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	C3a IV
第529図 PL.409	288	石製品 白玉	S1043 完形	0.6 0.6	0.5 0.31		滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	C3a IV
第529図 PL.409	289	石製品 白玉	P-511 S107 完形	0.7 0.7	0.4 0.29		滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であり擦痕が認められる。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	C3a IV
第529図 PL.409	290	石製品 白玉	P-500-1 S166 完形	0.6 0.6	0.4 0.24		滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり横方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であり擦痕が認められる。孔は上下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	C3a V
第529図 PL.409	291	石製品 白玉	S17 (一括) 完形	0.7 0.7	0.4 0.35		滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり横方向の擦痕が認められる。表面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は中央付近に段差が認められる。孔径約2mm。	C3b I
第529図 PL.409	292	石製品 白玉	P-119 S3 (一括) 完形	0.7 0.6	0.4 0.28		滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり横方向の擦痕が認められる。表面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔径約2mm。	C3b II
第529図 PL.409	293	石製品 白玉	P-51S27 完形	0.7 0.7	0.5 0.33		滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり横方向の擦痕が認められる。表面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔径約3mm。	C3b II
第529図 PL.409	294	石製品 白玉	S2536 完形	0.7 0.7	0.3 0.25		滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦でありわずかに擦痕が認められる。裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約2mm。	C3b III
第529図 PL.409	295	石製品 白玉	S1071 完形	0.6 0.6	0.3 0.25		滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり横方向の擦痕が認められる。表面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	C3b IV
第529図 PL.409	296	石製品 白玉	S1866 完形	0.7 0.7	0.4 0.40		滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり横方向の擦痕が認められる。表面は平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	C3b IV
第529図 PL.409	297	石製品 白玉	S118 (一括) 完形	0.7 0.7	0.4 0.26		滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり横方向の擦痕が認められる。表面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は上下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	C3b V
第529図 PL.409	298	石製品 白玉	P-490-5 S11 完形	0.5 0.5	0.4 0.15		滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり横方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は中央付近に段差が認められる。孔径約2mm。	C3c I
第529図 PL.409	299	石製品 白玉	S1037 完形	0.6 0.6	0.5 0.29		滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔径約2mm。	C3c II
第529図 PL.409	300	石製品 白玉	S1903 完形	0.7 0.7	0.4 0.40		滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり横方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔径約2mm。	C3c II
第529図 PL.409	301	石製品 白玉	S1917 完形	0.7 0.7	0.3 0.28		滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であり擦痕が認められる。孔径約2mm。	C3c II
第529図 PL.409	302	石製品 白玉	S2669 完形	0.6 0.6	0.5 0.33		滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり横方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔径約2mm。	C3c II
第529図 PL.409	303	石製品 白玉	P-498 S37 完形	0.7 0.7	0.4 0.38		滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり横方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔径約2mm。	C3c II

挿 図 PL.No.	No.	種 器 類 種	出 土 位 置 残 存 率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備 考
				長 幅	厚 重	厚 重			
第529図 PL.409	304	石製品 白玉	P-506 S42 完形	0.7 0.6	0.3 0.23	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり横方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔径約2mm。	C3cII	
第529図 PL.409	305	石製品 白玉	P-577-6 S6 (一 括) 完形	0.7 0.7	0.4 0.35	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり横方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔径約2mm。	C3cII	
第529図 PL.409	306	石製品 白玉	S58 完形	0.6 0.6	0.5 0.22	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり横方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約2mm。	C3cIII	
第529図 PL.409	307	石製品 白玉	S2857 完形	0.7 0.7	0.3 0.28	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約3mm。	C3cIII	
第529図 PL.409	308	石製品 白玉	P-73-5 S3(一括) 完形	0.7 0.7	0.3 0.18	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり横方向の擦痕が認められる。表面は平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約3mm。	C3cIII	
第529図 PL.409	309	石製品 白玉	P-343 S5 完形	0.6 0.6	0.4 0.20	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり横方向の擦痕が認められる。表面は平坦であるが擦痕は認められない。表裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約2mm。	C3cIII	
第529図 PL.409	310	石製品 白玉	S1106 完形	0.7 0.7	0.6 0.48	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり横方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	C3cIV	
第529図 PL.409	311	石製品 白玉	S2431 完形	0.6 0.6	0.4 0.23	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は上下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	C3cV	
第529図 PL.409	312	石製品 白玉	P-476-1 S34 完形	0.7 0.7	0.5 0.29	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり横方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は上下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	C3cV	
第529図 PL.409	313	石製品 白玉	P-502-9 S2 (一 括) 完形	0.5 0.5	0.4 0.11	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり擦痕が認められない。表面は平坦でありわずかに擦痕が認められる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	C4bIV	
第529図 PL.409	314	石製品 白玉	S130 完形	0.7 0.7	0.4 0.31	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。孔径約3mm。	D2aII	
第529図 PL.409	315	石製品 白玉	S167 完形	0.6 0.6	0.5 0.33	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく横方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。孔径約2mm。	D2aII	
第529図 PL.409	316	石製品 白玉	S835 完形	0.6 0.6	0.4 0.29	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。孔径約3mm。	D2aII	
第530図 PL.409	317	石製品 白玉	S1261 完形	0.7 0.7	0.6 0.59	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。孔径約3mm。	D2aII	
第530図 PL.409	318	石製品 白玉	S1607 完形	0.6 0.6	0.4 0.26	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。孔径約3mm。	D2aII	
第530図 PL.409	319	石製品 白玉	S2112 完形	0.7 0.7	0.4 0.32	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦でありわずかに擦痕が認められる。孔径約3mm。	D2aII	
第530図 PL.409	320	石製品 白玉	S2212 完形	0.6 0.6	0.3 0.28	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。孔径約2mm。	D2aII	
第530図 PL.409	321	石製品 白玉	P-455-13 S2 完形	0.6 0.6	0.5 0.33	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。孔径約2mm。	D2aII	
第530図 PL.409	322	石製品 白玉	P-477-3 S30 完形	0.6 0.6	0.5 0.32	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。孔径約2mm。	D2aII	
第530図 PL.409	323	石製品 白玉	P-490-5 S38 完形	0.7 0.6	0.5 0.34	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦でありわずかに擦痕が認められる。孔径約2mm。	D2aII	
第530図 PL.409	324	石製品 白玉	P-542 S20 完形	0.7 0.7	0.4 0.36	滑石	灰白色。側面は中央に張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。孔径約2mm。	D2aII	
第530図 PL.409	325	石製品 白玉	S983 完形	0.7 0.7	0.5 0.37	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦でありわずかに擦痕が認められる。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約3mm。	D2aIII	
第530図 PL.409	326	石製品 白玉	S2525 完形	0.7 0.7	0.5 0.37	滑石	灰色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約3mm。	D2aIII	
第530図 PL.409	327	石製品 白玉	P-528-9 S2 完形	0.6 0.6	0.5 0.28	滑石	灰白色。側面は中央に張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約3mm。	D2aIII	
第530図 PL.409	328	石製品 白玉	P-581-4 S1 完形	0.7 0.7	0.5 0.39	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であり擦痕が認められる。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約2mm。	D2aIII	
第530図 PL.409	329	石製品 白玉	S117 完形	0.6 0.6	0.4 0.28	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	D2aIV	

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				長	幅	厚			
第530図 PL.409	330	石製品 白玉	S599 完形	0.7 0.7	0.4 0.34	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	D2aIV	
第530図 PL.409	331	石製品 白玉	S1112 完形	0.6 0.6	0.4 0.36	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であり擦痕が多く認められる。裏面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	D2aIV	
第530図 PL.409	332	石製品 白玉	S1205 完形	0.6 0.6	0.4 0.21	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦でありわずかに擦痕が認められる。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	D2aIV	
第530図 PL.409	333	石製品 白玉	S1248 完形	0.6 0.6	0.4 0.29	滑石	灰白色。側面は中央に張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	D2aIV	
第530図 PL.409	334	石製品 白玉	S1628 完形	0.6 0.6	0.5 0.32	滑石	オリープ灰色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であり擦痕が認められる。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	D2aIV	
第530図 PL.409	335	石製品 白玉	S1669 完形	0.7 0.7	0.4 0.29	滑石	オリープ灰色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であり擦痕が認められる。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	D2aIV	
第530図 PL.409	336	石製品 白玉	S1978 完形	0.6 0.6	0.5 0.37	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦でありわずかに擦痕が認められる。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	D2aIV	
第530図 PL.409	337	石製品 白玉	S2406 完形	0.6 0.6	0.3 0.17	滑石	オリープ灰色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	D2aIV	
第530図 PL.409	338	石製品 白玉	P-61 S23 完形	0.6 0.6	0.4 0.29	滑石	灰白色。側面は中央に張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦でありわずかに擦痕が認められる。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	D2aIV	
第530図 PL.409	339	石製品 白玉	P-500-1 S239 完形	0.7 0.7	0.5 0.36	滑石	青黒色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であり擦痕が認められる。孔は下端が外に向かい広がっている。部分的に褐色物質が付着しており鉄錆と考えられる。孔径約2mm。	D2aIV	
第530図 PL.409	340	石製品 白玉	S1358 完形	0.6 0.6	0.4 0.30	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。孔は上下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	D2a V	
第530図 PL.409	341	石製品 白玉	S103 (一括) 完形	0.7 0.7	0.4 0.26	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であり擦痕が認められる。孔は上下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	D2a V	
第530図 PL.409	342	石製品 白玉	S800 完形	0.6 0.6	0.5 0.30	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は中央付近に段差が認められる。孔径約3mm。	D2b I	
第530図 PL.409	343	石製品 白玉	S1474 完形	0.6 0.6	0.5 0.29	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は中央付近に段差が認められる。孔径約3mm。	D2b I	
第530図 PL.409	344	石製品 白玉	P-42 S一括 完形	0.7 0.6	0.5 0.30	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は中央付近に段差が認められる。孔径約3mm。	D2b I	
第530図 PL.409	345	石製品 白玉	S2109 完形	0.7 0.7	0.5 0.35	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔径約2mm。	D2b II	
第530図 PL.409	346	石製品 白玉	S2235 ほぼ完形	0.6 0.6	0.4 0.27	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔径約2mm。	D2b II	
第530図 PL.409	347	石製品 白玉	S3050 完形	0.6 0.7	0.5 0.29	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔径約2mm。	D2b II	
第530図 PL.409	348	石製品 白玉	P-105 S5 完形	0.7 0.7	0.5 0.33	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔径約2mm。	D2b II	
第530図 PL.409	349	石製品 白玉	P-444 S14 完形	0.6 0.7	0.5 0.36	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であり擦痕が多く認められる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔径約2mm。	D2b II	
第530図 PL.409	350	石製品 白玉	P-51S42 完形	0.6 0.6	0.5 0.30	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦でありわずかに擦痕が認められる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔径約2mm。	D2b II	
第530図 PL.409	351	石製品 白玉	P-534-1S7 完形	0.7 0.7	0.5 0.38	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦でありわずかに擦痕が認められる。裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔径約2mm。	D2b II	
第530図 PL.409	352	石製品 白玉	P-477-3 S32 完形	0.6 0.6	0.5 0.23	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約2mm。	D2b III	
第530図 PL.409	353	石製品 白玉	P-528-2 S3 完形	0.7 0.6	0.3 0.18	滑石	灰白色。側面は中央に張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約3mm。	D2b III	
第530図 PL.409	354	石製品 白玉	P-532-3 S6 完形	0.7 0.7	0.7 0.46	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約3mm。	D2b III	

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				長 幅	厚 重				
第530図 PL.409	355	石製品 白玉	P-541 S42 完形	長幅 0.6 0.6	厚重 0.4 0.33		滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約2mm。	D2bⅢ
第530図 PL.409	356	石製品 白玉	P-542 S37 完形	長幅 0.6 0.6	厚重 0.4 0.25		滑石	灰色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦でありわずかに擦痕が認められる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約2mm。	D2bⅢ
第530図 PL.409	357	石製品 白玉	S841 完形	長幅 0.7 0.6	厚重 0.4 0.31		滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	D2bⅣ
第530図 PL.409	358	石製品 白玉	S969 完形	長幅 0.7 0.6	厚重 0.5 0.32		滑石	緑黒色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	D2bⅣ
第530図 PL.409	359	石製品 白玉	S2518 ほぼ完形	長幅 0.7 0.7	厚重 0.5 0.29		滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	D2bⅣ
第530図 PL.409	360	石製品 白玉	P-474-2 S4 完形	長幅 0.6 0.6	厚重 0.4 0.24		滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	D2bⅣ
第530図 PL.409	361	石製品 白玉	P-476-2 S31 完形	長幅 0.7 0.6	厚重 0.4 0.27		滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦でありわずかに擦痕が認められる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	D2bⅣ
第530図 PL.409	362	石製品 白玉	P-493-4 S54 (一括) 完形	長幅 0.7 0.7	厚重 0.5 0.41		蛇紋岩	緑黒色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	D2bⅣ
第530図 PL.409	363	石製品 白玉	P-498 S104 完形	長幅 0.7 0.7	厚重 0.4 0.26		蛇紋岩	灰色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦でありわずかに擦痕が認められる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	D2bⅣ
第530図 PL.409	364	石製品 白玉	P-506 S45 完形	長幅 0.7 0.7	厚重 0.5 0.38		滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦でありわずかに擦痕が認められる。裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	D2bⅣ
第530図 PL.409	365	石製品 白玉	P-542 S40 完形	長幅 0.7 0.7	厚重 0.4 0.32		滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約2mm。	D2bⅣ
第530図 PL.409	366	石製品 白玉	S984 完形	長幅 0.7 0.7	厚重 0.4 0.26		滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦でありわずかに擦痕が認められる。裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は上下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	D2bⅤ
第530図 PL.409	367	石製品 白玉	S2076 完形	長幅 0.7 0.7	厚重 0.4 0.25		滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は上下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	D2bⅤ
第530図 PL.409	368	石製品 白玉	S2188 完形	長幅 0.6 0.6	厚重 0.3 0.16		滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦でありわずかに擦痕が認められる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は上下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	D2bⅤ
第530図 PL.409	369	石製品 白玉	S30 (一括) 完形	長幅 0.6 0.7	厚重 0.5 0.28		滑石	灰白色。側面は中央に張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦でありわずかに擦痕が認められる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は上下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	D2bⅤ
第530図 PL.409	370	石製品 白玉	S842 完形	長幅 0.6 0.6	厚重 0.6 0.30		滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は中央付近に段差が認められる。孔径約2mm。	D2cⅠ
第530図 PL.409	371	石製品 白玉	P-430-2 S7 完形	長幅 0.7 0.7	厚重 0.5 0.32		滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は中央付近に段差が認められる。孔径約3mm。	D2cⅠ
第530図 PL.409	372	石製品 白玉	S1875 完形	長幅 0.7 0.7	厚重 0.4 0.31		滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔径約2mm。	D2cⅡ
第530図 PL.409	373	石製品 白玉	S3191 完形	長幅 0.6 0.6	厚重 0.6 0.32		滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔径約2mm。	D2cⅡ
第530図 PL.409	374	石製品 白玉	P-500-1 S68 完形	長幅 0.6 0.6	厚重 0.4 0.25		滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔径約2mm。	D2cⅡ
第530図 PL.409	375	石製品 白玉	P-500-1 S158 完形	長幅 0.7 0.7	厚重 0.5 0.36		滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔径約2mm。	D2cⅡ
第530図 PL.409	376	石製品 白玉	P-500-1 S251 完形	長幅 0.6 0.6	厚重 0.5 0.25		滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦でなく凹凸が認められる。部分的に褐色物質が付着し鉄錆と考えられる。孔径約2mm。	D2cⅡ
第530図 PL.409	377	石製品 白玉	P-512 S12 完形	長幅 0.6 0.6	厚重 0.4 0.28		滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔径約2mm。	D2cⅡ
第530図 PL.409	378	石製品 白玉	P-525-1 S12 完形	長幅 0.6 0.6	厚重 0.5 0.25		滑石	灰色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔径約2mm。	D2cⅡ

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
				長	幅	厚				
第530図 PL.409	379	石製品 白玉	P-525-1 S13 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.5 0.25	滑石	灰白色。側面は中央に張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔径約2mm。	D2c II
第530図 PL.409	380	石製品 白玉	P-525-1 S27 完形	長 幅	0.6 0.5	厚 重	0.5 0.26	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔径約2mm。	D2c II
第530図 PL.409	381	石製品 白玉	P-525-1 S30 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.3 0.16	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔径約2mm。	D2c II
第530図 PL.409	382	石製品 白玉	P-525-1 S34 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.3 0.15	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔径約2mm。	D2c II
第530図 PL.409	383	石製品 白玉	P-525-1 S42 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.4 0.20	滑石	オリーブ灰色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔径約2mm。	D2c II
第530図 PL.409	384	石製品 白玉	P-525-1 S49 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.4 0.16	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔径約2mm。	D2c II
第530図 PL.409	385	石製品 白玉	P-525-2 S5 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.5 0.29	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。側面の一部に縦方向の細かい線条痕が認められ擦痕の可能性はある。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔径約2mm。	D2c II
第530図 PL.409	386	石製品 白玉	P-534-1S11 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.3 0.26	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔径約2mm。	D2c II
第530図 PL.409	387	石製品 白玉	P-600-1 S1 (一括) 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.4 0.36	滑石	灰白色。側面は中央に張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔径約2mm。	D2c II
第530図 PL.409	388	石製品 白玉	S34 完形	長 幅	0.7 0.6	厚 重	0.4 0.29	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約3mm。	D2c III
第530図 PL.409	389	石製品 白玉	S758 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.3 0.23	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約3mm。	D2c III
第530図 PL.409	390	石製品 白玉	S954 完形	長 幅	0.6 0.7	厚 重	0.5 0.26	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦でありわずかに擦痕が認められる。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約2mm。	D2c III
第530図 PL.409	391	石製品 白玉	S1608 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.3 0.17	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約3mm。	D2c III
第530図 PL.409	392	石製品 白玉	P-51S61 (一括) 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.5 0.27	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約3mm。	D2c III
第530図 PL.409	393	石製品 白玉	P-534-1S9 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.33	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約2mm。	D2c III
第530図 PL.409	394	石製品 白玉	P-542 S23 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.4 0.33	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約3mm。	D2c III
第530図 PL.409	395	石製品 白玉	P-577-4 S4 (一括) 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.4 0.21	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約3mm。	D2c III
第530図 PL.409	396	石製品 白玉	S13 (一括) 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.32	滑石	灰白色。側面は中央に張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約2mm。	D2c III
第530図 PL.409	397	石製品 白玉	S998 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.4 0.28	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	D2c IV
第530図 PL.409	398	石製品 白玉	S1285 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.5 0.27	滑石	灰白色。側面は中央に張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	D2c IV
第530図 PL.409	399	石製品 白玉	S1407 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.4 0.42	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	D2c IV
第530図 PL.409	400	石製品 白玉	S1451 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.4 0.33	滑石	オリーブ灰色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	D2c IV
第530図 PL.409	401	石製品 白玉	S1528 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.4 0.30	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	D2c IV
第530図 PL.409	402	石製品 白玉	S1758 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.35	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は上下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	D2c IV
第530図 PL.409	403	石製品 白玉	S2545 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.4 0.31	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約3mm。	D2c IV
第530図 PL.409	404	石製品 白玉	S2872 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.5 0.23	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	D2c IV
第530図 PL.409	405	石製品 白玉	P-61 S17 完形	長 幅	0.6 0.7	厚 重	0.4 0.26	滑石	灰白色。側面は中央に張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	D2c IV

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
				長	幅	厚				
第530図 PL.409	406	石製品 白玉	P-474-2 S11 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.3 0.27	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	D2cIV
第530図 PL.409	407	石製品 白玉	P-479-2 S3 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.4 0.28	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	D2cIV
第530図 PL.409	408	石製品 白玉	P-525-1 S16 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.4 0.15	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	D2cIV
第530図 PL.409	409	石製品 白玉	P-571-1 S60 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.4 0.31	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は下端が外に向かい広がっている。部分的に褐色物質が付着し鉄錆と考えられる。孔径約3mm。	D2cIV
第530図 PL.409	410	石製品 白玉	P-589-2 S1 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.3 0.19	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	D2cIV
第530図 PL.409	411	石製品 白玉	S1888 ほぼ完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.4 0.22	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	D2cV
第530図 PL.409	412	石製品 白玉	S3 (一括) 完形	長 幅	0.7 0.6	厚 重	0.6 0.29	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	D2cV
第530図 PL.409	413	石製品 白玉	S3063 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.4 0.27	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく横方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であり擦痕が認められる。孔は中央付近に段差が認められる。孔径約2mm。	D3a I
第530図 PL.409	414	石製品 白玉	S604 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.5 0.28	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく横方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	D3bIV
第530図 PL.409	415	石製品 白玉	S1030 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.43	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく横方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	D3bIV
第530図 PL.409	416	石製品 白玉	P-498 S60 完形	長 幅	0.8 0.7	厚 重	0.4 0.39	滑石	オリープ灰色。側面は中央に張りがなく横方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であり擦痕が認められる。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	D3bIV
第530図 PL.409	417	石製品 白玉	S825 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.35	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく横方向の擦痕が認められる。表面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は中央付近に段差が認められる。孔径約2mm。	D3b I
第530図 PL.409	418	石製品 白玉	P-132-2 S5 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.4 0.24	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく横方向の擦痕が認められる。表面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は中央付近に段差が認められる。孔径約3mm。	D3b I
第530図 PL.409	419	石製品 白玉	S2574 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.5 0.27	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく横方向の擦痕が認められる。表面は平坦でありわずかに擦痕が認められる。裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔径約2mm。	D3b II
第530図 PL.409	420	石製品 白玉	S2785 完形	長 幅	0.5 0.6	厚 重	0.5 0.22	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく横方向の擦痕が認められる。表面は平坦でありわずかに擦痕が認められる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔径約2mm。	D3b II
第530図 PL.409	421	石製品 白玉	P-425 S4 (一括) 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.38	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく横方向の擦痕が認められる。表面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔径約2mm。	D3b II
第530図 PL.409	422	石製品 白玉	P-500-1 S174 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.34	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく横方向の擦痕が認められる。表面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔径約2mm。	D3b II
第530図 PL.409	423	石製品 白玉	P-53S16 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.4 0.25	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく横方向の擦痕が認められる。表面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔径約2mm。	D3b II
第530図 PL.409	424	石製品 白玉	S2237 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.5 0.41	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく横方向の擦痕が認められる。表面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	D3bIV
第531図 PL.409	425	石製品 白玉	S76 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.4 0.37	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく横方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔径約2mm。	D3c II
第531図 PL.409	426	石製品 白玉	S1651 完形	長 幅	0.5 0.7	厚 重	0.4 0.21	滑石	オリープ灰色。側面は中央に張りがなく横方向の擦痕が認められる。表面は平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔径約2mm。	D3c II
第531図 PL.409	427	石製品 白玉	P-476-1 S56 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.4 0.27	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく横方向の擦痕が認められる。表面は平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。部分的に褐色物質が付着し鉄錆と考えられる。孔径約2mm。	D3c II
第531図 PL.409	428	石製品 白玉	P-500-1 S29 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.4 0.34	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく横方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。部分的に褐色物質が付着しており鉄錆と考えられる。孔径約2mm。	D3c II
第531図 PL.409	429	石製品 白玉	P-788-2 S2 (一括) 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.4 0.23	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく横方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔径約3mm。	D3c II
第531図 PL.409	430	石製品 白玉	S1771 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.4 0.31	滑石	灰色。側面は中央に張りがなく横方向の擦痕が認められる。表面は平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約2mm。	D3c III
第531図 PL.409	431	石製品 白玉	P-78-2 S37 (一括) 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.3 0.23	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく横方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約2mm。	D3c III

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				長幅	厚重			
第531図 PL.409	432	石製品 白玉	P-51S34 完形	0.7 0.7	0.4 0.30	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく横方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。全体的に赤色物質が薄く付着する。孔径約2mm。	D3cIII
第531図 PL.409	433	石製品 白玉	P-528-9 S24 完形	0.7 0.7	0.6 0.50	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく横方向の擦痕が認められる。表面は平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約3mm。	D3cIII
第531図 PL.409	434	石製品 白玉	S963 完形	0.6 0.6	0.3 0.21	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく横方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	D3cIV
第531図 PL.409	435	石製品 白玉	S1610 完形	0.8 0.8	0.5 0.52	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく横方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約3mm。	D3cIV
第531図 PL.409	436	石製品 白玉	P-474-2 S5 完形	0.6 0.6	0.5 0.23	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔径約2mm。	D2bII
第531図 PL.409	437	石製品 白玉	S1787 完形	0.8 0.8	0.4 0.32	滑石	緑黒色。側面は中央に張りがなく小さないくつもの作出面で構成される。表裏面は平坦であり擦痕が認められる。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約2mm。	D5aIII
第531図 PL.409	438	石製品 白玉	S188 (一括) 完形	0.7 0.8	0.3 0.23	蛇紋岩	緑黒色。側面はいくつもの作出面で構成される。表裏面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約2mm。	D5aIII
第531図 PL.409	439	石製品 白玉	S2241 完形	0.8 0.8	0.4 0.26	蛇紋岩	緑黒色。側面は中央に張りがなく小さないくつもの作出面で構成される。表裏面は平坦であり擦痕が認められる。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	D5aIV
第531図 PL.409	440	石製品 白玉	P-454-11 S1 完形	0.7 0.8	0.3 0.20	蛇紋岩	緑黒色。側面は中央に張りがなく小さないくつもの作出面で構成される。表面は平坦であり擦痕が認められる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約2mm。	D5bIII
第531図 PL.409	441	石製品 白玉	S99 (一括) 完形	0.7 0.7	0.3 0.22	蛇紋岩	緑黒色。側面はいくつもの作出面で構成される。表面は平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約2mm。	D5bIII
第531図 PL.409	442	石製品 白玉	P-511 S32 完形	0.7 0.7	0.6 0.30	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約3mm。	E2aIV
第531図 PL.409	443	石製品 白玉	P-456-6 S5 完形	0.6 0.6	0.6 0.39	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であり擦痕が認められる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔径約3mm。	E2bII
第531図 PL.409	444	石製品 白玉	P-493-8 S1 完形	0.8 0.8	0.9 0.71	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。孔径約2mm。	E2bIII
第531図 PL.409	445	石製品 白玉	P-56-5 S6 完形	0.7 0.7	0.7 0.46	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦でありわずかに擦痕が認められる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約3mm。	E2bIII
第531図 PL.409	446	石製品 白玉	P-456-6 S3 完形	0.6 0.6	0.7 0.37	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦でありわずかに擦痕が認められる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約2mm。	E2bIII
第531図 PL.409	447	石製品 白玉	S2271 完形	0.7 0.7	0.7 0.56	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	E2bIV
第531図 PL.409	448	石製品 白玉	P-430-2 S3 完形	0.7 0.7	0.7 0.56	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔径約2mm。	E2cII
第531図 PL.409	449	石製品 白玉	P-8S24 完形	0.6 0.6	0.6 0.38	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約2mm。	E2cIII
第531図 PL.409	450	石製品 白玉	S928 完形	0.7 0.7	0.7 0.50	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり横方向の擦痕が認められる。表面は平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約2mm。	E3cIII
第531図 PL.409	451	石製品 白玉	P-7S1 (一括) 完形	0.7 0.7	0.7 0.50	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり横方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	E3cIV
第531図 PL.409	452	石製品 白玉	P-80-4 S11 完形	0.7 0.6	0.8 0.49	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦でありわずかに擦痕が認められる。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約2mm。	F2aIII
第531図 PL.409	453	石製品 白玉	P-527-7 S2 完形	0.6 0.6	0.5 0.35	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	F2aIV
第531図 PL.409	454	石製品 白玉	S1913 ほぼ完形	0.7 0.7	0.7 0.59	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦でありわずかに擦痕が認められる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔径約2mm。	F2bII
第531図 PL.409	455	石製品 白玉	S1943 完形	0.6 0.6	0.6 0.34	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔径約3mm。	F2bII
第531図 PL.409	456	石製品 白玉	P-489 S11 (一括) 完形	0.6 0.7	0.7 0.42	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔径約2mm。	F2bII

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				長 幅	厚 重	厚 重			
第531図 PL.409	457	石製品 白玉	P-456-6 S8 完形	長幅 0.7 0.7	厚重 0.7 0.46	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約3mm。	F2bIV	
第531図 PL.409	458	石製品 白玉	P-500-1 S268 完形	長幅 0.6 0.6	厚重 0.6 0.47	滑石	オリープ灰色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦でありわずかに擦痕が認められる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	F2bIV	
第531図 PL.409	459	石製品 白玉	S1286 完形	長幅 0.7 0.7	厚重 0.6 0.41	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。裏面の孔は二つの孔が連結しており、平面形がヒョウタン形を呈する。一方の孔は穿孔途中で止まっている。孔径約3mm。	F2c II	
第531図 PL.409	460	石製品 白玉	P-489 S69 (一括) 完形	長幅 0.5 0.6	厚重 0.5 0.16	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔径約2mm。	F2c II	
第531図 PL.409	461	石製品 白玉	S44 (一括) 完形	長幅 0.6 0.6	厚重 0.6 0.25	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔径約2mm。	F2c II	
第531図 PL.409	462	石製品 白玉	S843 完形	長幅 0.6 0.7	厚重 0.7 0.29	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約2mm。	F2c III	
第531図 PL.409	463	石製品 白玉	S356 完形	長幅 0.6 0.5	厚重 0.6 0.25	滑石	灰白色。側面は中央に張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	F2cIV	
第531図 PL.409	464	石製品 白玉	P-511 S2 完形	長幅 0.6 0.7	厚重 0.6 0.41	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は下端が外に向かい広がっている。部分的に赤褐色物質が付着し鉄錆と考えられる。孔径約2mm。	F2cIV	
第531図 PL.409	465	石製品 白玉	S9 (一括) 完形	長幅 0.6 0.6	厚重 0.6 0.53	滑石	灰白色。側面は中央に張りはなく横方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔径約2mm。	F3c II	
第531図 PL.409	466	石製品 白玉	S1093 完形	長幅 0.7 0.7	厚重 0.3 0.15	滑石	オリープ灰色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。孔は中央付近に段差が認められる。孔径約2mm。	G2a I	
第531図 PL.409	467	石製品 白玉	P-67-15 S4 完形	長幅 0.6 0.6	厚重 0.3 0.17	滑石	灰白色。側面は中央に明瞭な張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であり擦痕が認められる。孔は中央付近に段差が認められる。孔径約2mm。	G2a I	
第531図 PL.409	468	石製品 白玉	S242 完形	長幅 0.6 0.6	厚重 0.3 0.19	滑石	灰白色。側面は斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。孔径約2mm。	G2a II	
第531図 PL.409	469	石製品 白玉	S687 完形	長幅 0.7 0.7	厚重 0.3 0.16	滑石	灰白色。側面は斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であり擦痕が認められる。孔径約2mm。	G2a II	
第531図 PL.409	470	石製品 白玉	S2417 完形	長幅 0.7 0.7	厚重 0.3 0.15	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約2mm。	G2a III	
第531図 PL.409	471	石製品 白玉	P-55-6 S6 完形	長幅 0.7 0.7	厚重 0.2 0.20	滑石	灰白色。側面は中央に明瞭な張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔径約2mm。	G2b II	
第531図 PL.409	472	石製品 白玉	S2711 完形	長幅 0.7 0.7	厚重 0.3 0.18	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦でありわずかに擦痕が認められる。裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約3mm。	G2b III	
第531図 PL.409	473	石製品 白玉	P-53S72 完形	長幅 0.7 0.7	厚重 0.3 0.19	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔径約2mm。	G2b III	
第531図 PL.409	474	石製品 白玉	S432 完形	長幅 0.7 0.7	厚重 0.2 0.16	滑石	灰白色。側面は斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	G2bIV	
第531図 PL.409	475	石製品 白玉	S893 完形	長幅 0.6 0.6	厚重 0.3 0.15	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	G2bIV	
第531図 PL.409	476	石製品 白玉	P-474-2 S7 完形	長幅 0.7 0.7	厚重 0.3 0.18	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	G2bIV	
第531図 PL.409	477	石製品 白玉	S1 (一括) 完形	長幅 0.7 0.7	厚重 0.2 0.17	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	G2bIV	
第531図 PL.409	478	石製品 白玉	P-225-4 S6 完形	長幅 0.5 0.5	厚重 0.2 0.09	滑石	灰白色。側面は斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔径約2mm。	G2c II	
第531図 PL.409	479	石製品 白玉	P-476-2 S14 完形	長幅 0.8 0.8	厚重 0.2 0.14	滑石	灰色。側面は斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔径約2mm。	G2c II	
第531図 PL.409	480	石製品 白玉	P-525-1 S68 完形	長幅 0.7 0.7	厚重 0.2 0.17	滑石	灰白色。側面は斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔径約3mm。	G2c II	
第531図 PL.409	481	石製品 白玉	P-54-8 S2 完形	長幅 0.7 0.7	厚重 0.3 0.17	滑石	灰白色。側面は斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約3mm。	G2c III	
第531図 PL.409	482	石製品 白玉	S2430 完形	長幅 0.7 0.7	厚重 0.2 0.17	滑石	オリープ灰色。側面は中央に明瞭な張りがありわずかに稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	G2cIV	

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
				長	幅	厚				
第531図 PL.409	483	石製品 白玉	S2496 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.3 0.18	滑石	灰白色。側面は斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	G2cIV
第531図 PL.409	484	石製品 白玉	P-96-8 S7 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.3 0.17	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	G2cIV
第531図 PL.409	485	石製品 白玉	P-476-1 S74 完形	長 幅	0.7 0.6	厚 重	0.2 0.11	滑石	灰白色。側面は斜め方向の擦痕が認められる。表面は平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	G2cIV
第531図 PL.409	486	石製品 白玉	P-490-1 S20 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.2 0.10	滑石	灰白色。側面は斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	G2cIV
第531図 PL.409	487	石製品 白玉	S24 (一括) 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.2 0.12	滑石	灰白色。側面は斜め方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は上下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	G2cIV
第531図 PL.409	488	石製品 白玉	S2491 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.2 0.18	滑石	灰白色。側面は横方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。孔径約2mm。	G3a II
第531図 PL.409	489	石製品 白玉	S973 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.2 0.11	滑石	灰白色。側面は横方向の擦痕が認められる。表面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔径約2mm。	G3b II
第531図 PL.409	490	石製品 白玉	P-457-8 S7 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.2 0.11	滑石	灰白色。側面は横方向の擦痕が認められる。表面は平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦でありわずかに擦痕が認められる。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約3mm。	G3b III
第531図 PL.409	491	石製品 白玉	S2073 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.2 0.13	滑石	灰白色。側面は横方向の擦痕が認められる。表面は平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦であり擦痕がわずかに認められる。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	G3bIV
第531図 PL.409	492	石製品 白玉	S179 (一括) 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.2 0.09	滑石	灰白色。側面は中央に張りがなく横方向の擦痕が認められる。表面は平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は中央付近に段差が認められる。孔径約3mm。	G3c I
第531図 PL.409	493	石製品 白玉	S73 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.2 0.18	滑石	灰白色。側面は横方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔径約2mm。	G3c II
第531図 PL.409	494	石製品 白玉	S1487 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.2 0.15	滑石	灰白色。側面は中央にわずかに張りがあり横方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔径約2mm。	G3c II
第531図 PL.409	495	石製品 白玉	S2126 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.2 0.14	滑石	緑黒色。側面は横方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔径約2mm。	G3c II
第531図 PL.409	496	石製品 白玉	S76(一括) 4/5	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.2 0.12	蛇紋岩	灰色。側面は横方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔径約2mm。	G3c II
第531図 PL.409	497	石製品 白玉	S625 完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.2 0.18	滑石	灰白色。側面は横方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約2mm。	G3c III
第531図 PL.409	498	石製品 白玉	P-507-8 S26 完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.2 0.13	滑石	灰白色。側面は横方向の擦痕が認められる。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔は下端が外に向かい広がっている。孔径約2mm。	G3cIV
第531図 PL.409	499	石製品 白玉	S2128 完形	長 幅	0.8 0.8	厚 重	0.3 0.27	蛇紋岩	緑黒色。側面は中央に張りがなく小さないくつもの作出面で構成される。表裏面は平坦であり擦痕が認められる。孔径約2mm。	G5a II
第531図 PL.409	500	石製品 白玉	S100 (一括) 完形	長 幅	0.8 0.8	厚 重	0.4 0.19	蛇紋岩	緑黒色。側面はいくつかの作出面で構成される。表裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔は下端付近が階段状になり狭くなっている。孔径約2mm。	G5c III
第547図 PL.444	1	石製品 粒状礫	完形	長 幅	0.5 0.4	厚 重	0.3 0.1	チャート	灰色。小形の極円礫。光沢はない。	
第547図 PL.444	2	石製品 粒状礫	完形	長 幅	0.6 0.5	厚 重	0.3 0.1	チャート	暗赤褐色。小形の極円礫。全体的に光沢がある。	
第547図 PL.444	3	石製品 粒状礫	完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.3 0.2	チャート	白色。小形の垂円礫。全体的にやや光沢がある。	
第547図 PL.444	4	石製品 粒状礫	完形	長 幅	0.7 0.5	厚 重	0.3 0.1	チャート	黒褐色。小形の円礫。全体的にやや光沢がある。	
第547図 PL.444	5	石製品 粒状礫	完形	長 幅	0.7 0.5	厚 重	0.2 0.1	チャート	黒褐色。小形の円礫。全体的にやや光沢がある。	
第547図 PL.444	6	石製品 粒状礫	完形	長 幅	0.7 0.5	厚 重	0.5 0.2	チャート	灰色。小形の円礫。全体的にわずかに光沢がある。	
第547図 PL.444	7	石製品 粒状礫	完形	長 幅	0.8 0.4	厚 重	0.3 0.1	チャート	灰色。小形の極円礫。全体的に光沢がある。	
第547図 PL.444	8	石製品 粒状礫	完形	長 幅	0.8 0.6	厚 重	0.4 0.2	チャート	白色。小形の極円礫。全体的にやや光沢がある。	
第547図 PL.444	9	石製品 粒状礫	完形	長 幅	0.8 0.6	厚 重	0.4 0.2	チャート	褐灰色。小形の極円礫。全体的にわずかに光沢がある。	
第547図 PL.444	10	石製品 粒状礫	完形	長 幅	0.8 0.7	厚 重	0.4 0.2	チャート	黒褐色。小形の極円礫。全体的にやや光沢がある。	
第547図 PL.444	11	石製品 粒状礫	完形	長 幅	0.9 0.6	厚 重	0.3 0.2	チャート	灰褐色。小形の極円礫。全体的にわずかに光沢がある。	
第547図 PL.444	12	石製品 粒状礫	完形	長 幅	0.9 0.7	厚 重	0.3 0.3	チャート	黒褐色。小形の円礫。全体的にわずかに光沢がある。	
第547図 PL.444	13	石製品 粒状礫	完形	長 幅	0.9 0.9	厚 重	0.6 0.5	チャート	黒褐色。小形の極円礫。全体的にわずかに光沢がある。	
第547図 PL.444	14	石製品 粒状礫	完形	長 幅	0.9 0.8	厚 重	0.4 0.4	チャート	オリーブ黒色。小形の極円礫。全体的にわずかに光沢がある。	
第547図 PL.444	15	石製品 粒状礫	完形	長 幅	1.0 0.6	厚 重	0.5 0.4	チャート	黒褐色。小形の極円礫。全体的にわずかに光沢がある。	

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				長幅	厚	重			
第547図 PL.444	16	石製品 粒状礫	完形	長幅 1.0 0.7	厚 0.6	重 0.5	チャート	オリーブ灰色。小形の極円礫。全体的にわずかに光沢がある。	
第547図 PL.444	17	石製品 粒状礫	完形	長幅 1.0 0.9	厚 0.6	重 0.6	チャート	灰色。小形の極円礫。全体的にわずかに光沢がある。	
第547図 PL.444	18	石製品 粒状礫	完形	長幅 1.1 0.8	厚 0.6	重 0.5	チャート	オリーブ黒色。小形の円礫。全体的にやや光沢がある。	
第547図 PL.444	19	石製品 粒状礫	完形	長幅 1.1 0.9	厚 0.3	重 0.5	チャート	灰色。小形の極円礫。全体的にわずかに光沢がある。	
第547図 PL.444	20	石製品 粒状礫	完形	長幅 1.1 0.9	厚 0.5	重 0.6	チャート	灰色。小形の極円礫。光沢はない。	
第547図 PL.444	21	石製品 粒状礫	完形	長幅 1.1 0.9	厚 0.5	重 0.7	チャート	黄灰色。小形の円礫。全体的にわずかに光沢がある。	
第547図 PL.444	22	石製品 粒状礫	完形	長幅 1.1 0.9	厚 0.8	重 1.0	チャート	オリーブ黒色。小形の極円礫。全体的にやや光沢がある。	
第547図 PL.444	23	石製品 粒状礫	完形	長幅 1.1 1.1	厚 0.6	重 1.0	チャート	灰黄色。小形の円礫。全体的にわずかに光沢がある。	
第547図 PL.444	24	石製品 粒状礫	完形	長幅 1.1 1.2	厚 0.9	重 1.7	チャート	灰色。小形の円礫。全体的にわずかに光沢がある。	
第547図 PL.444	25	石製品 粒状礫	完形	長幅 1.2 1.0	厚 0.6	重 0.9	チャート	灰色。小形の円礫。全体的に光沢がある。	
第547図 PL.444	26	石製品 粒状礫	完形	長幅 1.2 0.9	厚 0.7	重 1.0	チャート	暗赤褐色。小形の極円礫。光沢はない。	
第547図 PL.444	27	石製品 粒状礫	完形	長幅 1.3 0.8	厚 0.6	重 0.8	チャート	灰色。小形の円礫。全体的に光沢がある。	
第547図 PL.444	28	石製品 粒状礫	完形	長幅 1.3 0.8	厚 0.8	重 1.2	チャート	オリーブ褐色。小形の極円礫。全体的にやや光沢がある。	
第547図 PL.444	29	石製品 粒状礫	完形	長幅 1.4 1.1	厚 1.0	重 2.1	チャート	灰色。小形の円礫。全体的に光沢がある。	
第547図 PL.444	30	石製品 粒状礫	完形	長幅 1.5 0.8	厚 0.7	重 0.9	チャート	灰色。小形の円礫。全体的にわずかに光沢がある。	
第547図 PL.444	31	石製品 粒状礫	完形	長幅 1.5 1.0	厚 0.6	重 1.1	チャート	暗赤褐色。小形の極円礫。全体的に光沢がある。	
第547図 PL.444	32	石製品 粒状礫	完形	長幅 1.6 1.0	厚 0.5	重 1.2	チャート	灰色。小形の円礫。全体的に光沢がある。	
第547図 PL.444	33	石製品 粒状礫	完形	長幅 1.8 1.4	厚 0.6	重 2.1	チャート	灰色。小形の極円礫。全体的にやや光沢がある。	
第547図 PL.444	34	石製品 粒状礫	ほぼ完形	長幅 1.9 1.5	厚 0.7	重 2.4	チャート	赤褐色。小形の円礫。全体的にわずかに光沢がある。	
第547図 PL.444	35	石製品 粒状礫	ほぼ完形	長幅 (1.9) 1.5	厚 0.8	重 3.1	チャート	灰色。小形の極円礫。全体的にわずかに光沢がある。	
第547図 PL.444	36	石製品 粒状礫	完形	長幅 2.0 1.7	厚 1.1	重 4.1	チャート	暗赤褐色。小形の極円礫。全体的にわずかに光沢がある。	
第547図 PL.444	37	石製品 粒状礫	完形	長幅 2.3 1.5	厚 1.1	重 4.6	チャート	暗褐色。小形の円礫。光沢はない。	
第547図 PL.444	38	石製品 粒状礫	完形	長幅 0.6 0.4	厚 0.3	重 0.1	珪質頁岩	オリーブ灰色。小形の極円礫。全体的にやや光沢がある。	
第547図 PL.444	39	石製品 粒状礫	完形	長幅 0.6 0.5	厚 0.3	重 0.1	珪質頁岩	灰色。小形の極円礫。全体的にやや光沢がある。	
第547図 PL.444	40	石製品 粒状礫	完形	長幅 0.6 0.5	厚 0.2	重 0.1	珪質頁岩	灰色。小形の極円礫。全体的に光沢がある。	
第547図 PL.444	41	石製品 粒状礫	完形	長幅 0.7 0.4	厚 0.3	重 0.1	珪質頁岩	灰白色。小形の極円礫。光沢はない。	
第547図 PL.444	42	石製品 粒状礫	完形	長幅 0.7 0.5	厚 0.2	重 0.1	珪質頁岩	灰色。小形の極円礫。全体的に光沢がある。	
第547図 PL.444	43	石製品 粒状礫	完形	長幅 0.7 0.5	厚 0.4	重 0.2	珪質頁岩	灰色。小形の円礫。光沢はない。	
第547図 PL.444	44	石製品 粒状礫	完形	長幅 0.7 0.6	厚 0.6	重 0.3	珪質頁岩	黒褐色。小形の極円礫。全体的にわずかに光沢がある。	
第547図 PL.444	45	石製品 粒状礫	完形	長幅 0.7 0.6	厚 0.3	重 0.1	珪質頁岩	灰色。小形の極円礫。全体的にわずかに光沢がある。	
第547図 PL.444	46	石製品 粒状礫	完形	長幅 0.8 0.4	厚 0.3	重 0.1	珪質頁岩?	灰色。小形の極円礫。全体的にやや光沢がある。	
第547図 PL.444	47	石製品 粒状礫	完形	長幅 0.8 0.5	厚 0.4	重 0.2	珪質頁岩	黒褐色。小形の垂円礫。全体的にわずかに光沢がある。	
第547図 PL.444	48	石製品 粒状礫	完形	長幅 0.8 0.6	厚 0.3	重 0.2	珪質頁岩	オリーブ黒色。小形の極円礫。全体的に光沢がある。	
第547図 PL.444	49	石製品 粒状礫	完形	長幅 0.9 0.8	厚 0.5	重 0.5	珪質頁岩	暗灰黄色。小形の極円礫。全体的にやや光沢がある。	
第547図 PL.444	50	石製品 粒状礫	完形	長幅 1.1 0.7	厚 0.5	重 0.5	珪質頁岩	黒褐色。小形の円礫。全体的にわずかに光沢がある。	
第547図 PL.444	51	石製品 粒状礫	完形	長幅 1.1 0.9	厚 0.6	重 0.8	珪質頁岩	黒褐色。小形の極円礫。全体的にわずかに光沢がある。	
第547図 PL.444	52	石製品 粒状礫	完形	長幅 1.2 0.6	厚 0.4	重 0.5	珪質頁岩	暗褐色。小形の垂円礫。全体的にわずかに光沢がある。	
第547図 PL.444	53	石製品 粒状礫	完形	長幅 1.2 0.8	厚 0.5	重 0.5	珪質頁岩	灰色。小形の円礫。全体的にわずかに光沢がある。	
第547図 PL.444	54	石製品 粒状礫	完形	長幅 1.3 0.4	厚 0.3	重 0.1	珪質頁岩	にぶい褐色。小形の円礫。光沢はない。	
第547図 PL.444	55	石製品 粒状礫	完形	長幅 1.6 1.0	厚 0.6	重 1.4	珪質頁岩	黒褐色。小形の極円礫。全体的にわずかに光沢がある。	

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				長幅	厚	重			
第547図 PL.444	56	石製品 粒状礫	完形	1.7 1.1	0.9 1.6		珪質頁岩	灰褐色。小形の円礫。全体的にわずかに光沢がある。	
第547図 PL.444	57	石製品 粒状礫	完形	2.2 1.5	0.8 3.5		珪質頁岩	オリーブ黒色。小形の円礫。全体的にやや光沢がある。	
第547図 PL.444	58	石製品 粒状礫	完形	3.4 1.5	1.0 5.6		珪質頁岩	黒褐色。小形の円礫。全体的にやや光沢がある。	
第547図 PL.444	59	石製品 粒状礫	完形	0.6 0.4	0.3 0.1		砂岩	黒褐色。小形の円礫。全体的にやや光沢がある。	
第547図 PL.444	60	石製品 粒状礫	完形	0.7 0.4	0.3 0.1		砂岩	黒褐色。小形の極円礫。全体的にやや光沢がある。	
第547図 PL.444	61	石製品 粒状礫	完形	0.7 0.4	0.3 0.1		砂岩?	黒褐色。小形の極円礫。全体的にわずかに光沢がある。	
第547図 PL.444	62	石製品 粒状礫	完形	0.7 0.5	0.2 0.1		砂岩	灰色。小形の極円礫。全体的にわずかに光沢がある。	
第547図 PL.444	63	石製品 粒状礫	完形	0.7 0.6	0.3 0.2		砂岩	暗褐色。小形の極円礫。全体的にわずかに光沢がある。	
第547図 PL.444	64	石製品 粒状礫	完形	0.7 0.6	0.3 0.2		砂岩	暗灰黄色。小形の極円礫。全体的にやや光沢がある。	
第547図 PL.444	65	石製品 粒状礫	完形	0.8 0.5	0.4 0.1		砂岩	暗褐色。小形の極円礫。全体的にやや光沢がある。	
第547図 PL.444	66	石製品 粒状礫	完形	0.8 0.7	0.4 0.3		砂岩	灰褐色。小形の極円礫。光沢はない。	
第547図 PL.444	67	石製品 粒状礫	完形	0.8 0.6	0.4 0.2		砂岩	灰褐色。小形の極円礫。全体的にわずかに光沢がある。	
第547図 PL.444	68	石製品 粒状礫	完形	0.9 0.5	0.5 0.3		砂岩	黒褐色。小形の極円礫。全体的にわずかに光沢がある。	
第547図 PL.444	69	石製品 粒状礫	完形	0.9 0.6	0.5 0.4		砂岩	黒褐色。小形の極円礫。全体的にわずかに光沢がある。	
第547図 PL.444	70	石製品 粒状礫	1/2	(0.9) 0.8	0.4 0.4		砂岩	灰色。小形の垂円礫。全体的にわずかに光沢がある。	
第547図 PL.444	71	石製品 粒状礫	完形	1.1 0.8	0.5 0.3		砂岩	暗褐色。小形の極円礫。全体的にわずかに光沢がある。	
第547図 PL.444	72	石製品 粒状礫	完形	1.2 1.0	1.0 1.4		砂岩	暗褐色。小形の極円礫。全体的にやや光沢がある。	
第547図 PL.444	73	石製品 粒状礫	完形	1.3 0.6	0.5 0.5		砂岩	暗赤褐色。小形の極円礫。全体的にわずかに光沢がある。	
第547図 PL.444	74	石製品 粒状礫	完形	1.3 0.9	0.7 1.0		砂岩	暗赤褐色。小形の極円礫。全体的にわずかに光沢がある。	
第547図 PL.444	75	石製品 粒状礫	完形	1.5 1.0	0.6 0.9		砂岩	黒褐色。小形の円礫。全体的に光沢がある。	
第547図 PL.444	76	石製品 粒状礫	完形	1.5 1.2	0.6 1.5		砂岩	オリーブ黒色。小形の極円礫。全体的にわずかに光沢がある。	
第547図 PL.444	77	石製品 粒状礫	完形	1.7 1.5	0.8 2.5		砂岩	黒褐色。小形の円礫。全体的にわずかに光沢がある。	
第548図 PL.444	78	石製品 粒状礫	完形	0.6 0.5	0.3 0.1		流紋岩	灰色。小形の極円礫。全体的に光沢がある。	
第548図 PL.444	79	石製品 粒状礫	完形	0.8 0.6	0.4 0.3		流紋岩	灰褐色。小形の極円礫。全体的にやや光沢がある。	
第548図 PL.444	80	石製品 粒状礫	完形	0.9 0.4	0.4 0.2		流紋岩	暗赤褐色。小形の極円礫。全体的にわずかに光沢がある。	
第548図 PL.444	81	石製品 粒状礫	完形	0.9 0.8	0.5 0.4		流紋岩	暗赤褐色。小形の極円礫。全体的にわずかに光沢がある。	
第548図 PL.444	82	石製品 粒状礫	完形	1.0 0.8	0.5 0.6		流紋岩	暗赤褐色。小形の極円礫。全体的にやや光沢がある。	
第548図 PL.444	83	石製品 粒状礫	完形	1.0 1.6	0.8 1.7		流紋岩	黒褐色。小形の極円礫。光沢はない。	
第548図 PL.444	84	石製品 粒状礫	完形	1.1 0.7	0.4 0.4		流紋岩	暗褐色。小形の極円礫。全体的にやや光沢がある。	
第548図 PL.444	85	石製品 粒状礫	完形	1.1 0.7	0.3 0.4		流紋岩	橙色。小形の極円礫。全体的に光沢がある。	
第548図 PL.444	86	石製品 粒状礫	完形	1.1 0.9	0.4 0.4		流紋岩	暗赤褐色。小形の極円礫。全体的に光沢がある。	
第548図 PL.444	87	石製品 粒状礫	完形	1.1 0.9	0.6 0.7		流紋岩	灰白色。小形の極円礫。全体的にわずかに光沢がある。	
第548図 PL.444	88	石製品 粒状礫	完形	1.1 1.1	0.6 0.9		流紋岩	灰赤色。小形の極円礫。光沢はない。	
第548図 PL.444	89	石製品 粒状礫	完形	1.3 1.0	0.6 1.1		流紋岩	黒褐色。小形の極円礫。全体的にわずかに光沢がある。	
第548図 PL.444	90	石製品 粒状礫	完形	1.4 1.2	0.8 1.6		流紋岩	黒褐色。小形の極円礫。全体的に光沢がある。	
第548図 PL.444	91	石製品 粒状礫	完形	1.5 1.1	0.6 1.2		流紋岩	にぶい黄褐色。小形の垂円礫。全体的にやや光沢がある。	
第548図 PL.444	92	石製品 粒状礫	1/2	1.5 1.3	(0.8) 1.6		流紋岩	暗褐色。小形の極円礫。光沢はない。	
第548図 PL.444	93	石製品 粒状礫	完形	2.2 1.5	1.1 4.1		流紋岩	暗赤褐色。小形の円礫。全体的にやや光沢がある。	
第548図 PL.444	94	石製品 粒状礫	完形	2.5 1.3	0.8 2.9		流紋岩	褐色。小形の円礫。全体的にやや光沢がある。	
第548図 PL.444	95	石製品 粒状礫	完形	0.6 0.5	0.3 0.1		変質安山岩?	暗褐色。小形の極円礫。全体的にわずかに光沢がある。	

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				長幅	厚重	0.3			
第548図 PL.444	96	石製品 粒状礫	完形	長幅 0.9 0.5	厚重 0.3 0.1	変質安山岩	灰色。小形の円礫。全体的にわずかに光沢がある。		
第548図 PL.444	97	石製品 粒状礫	完形	長幅 0.9 0.5	厚重 0.3 0.1	変質安山岩	灰色。小形の円礫。光沢はない。		
第548図 PL.444	98	石製品 粒状礫	完形	長幅 1.8 1.2	厚重 0.7 1.6	変質安山岩	オリーブ黒色。小形の円礫。全体的にやや光沢がある。		
第548図 PL.444	99	石製品 粒状礫	完形	長幅 2.1 1.2	厚重 0.5 2.1	変質安山岩	黒褐色。小形の極円礫。全体的にわずかに光沢がある。		
第548図 PL.444	100	石製品 粒状礫	完形	長幅 0.7 0.7	厚重 0.4 0.2	溶結凝灰岩	灰褐色。小形の極円礫。全体的にやや光沢がある。		
第548図 PL.444	101	石製品 粒状礫	完形	長幅 0.8 0.6	厚重 0.4 0.3	溶結凝灰岩または 凝灰質砂岩	黒褐色。小形の極円礫。全体的にやや光沢がある。		
第548図 PL.444	102	石製品 粒状礫	完形	長幅 1.1 0.8	厚重 0.4 0.4	溶結凝灰岩	黒褐色。小形の極円礫。全体的にわずかに光沢がある。		
第548図 PL.444	103	石製品 粒状礫	完形	長幅 1.2 0.8	厚重 0.4 0.5	溶結凝灰岩	黒褐色。小形の極円礫。全体的に光沢がある。		
第548図 PL.444	104	石製品 粒状礫	完形	長幅 2.2 1.1	厚重 0.9 2.2	溶結凝灰岩	暗褐色。小形の垂円礫。全体的に光沢がある。		
第548図 PL.445	105	石製品 粒状礫	完形	長幅 0.7 0.4	厚重 0.3 0.1	頁岩	黒色。小形の極円礫。全体的にわずかに光沢がある。		
第548図 PL.445	106	石製品 粒状礫	完形	長幅 1.0 0.9	厚重 0.5 0.6	頁岩	黒色。小形の極円礫。全体的にわずかに光沢がある。		
第548図 PL.445	107	石製品 粒状礫	完形	長幅 2.0 1.6	厚重 0.8 3.5	頁岩	黒褐色。小形の極円礫。全体的にわずかに光沢がある。		
第548図 PL.445	108	石製品 粒状礫	完形	長幅 0.7 0.3	厚重 0.3 0.1	黒色頁岩	黒色。小形の極円礫。全体的にやや光沢がある。		
第548図 PL.445	109	石製品 粒状礫	完形	長幅 1.0 0.7	厚重 0.5 0.5	黒色頁岩	黒褐色。小形の極円礫。全体的にわずかに光沢がある。		
第548図 PL.445	110	石製品 粒状礫	完形	長幅 2.2 1.6	厚重 1.0 4.7	黒色頁岩	暗赤褐色。小形の極円礫。全体的にわずかに光沢がある。		
第548図 PL.445	111	石製品 粒状礫	完形	長幅 0.7 0.7	厚重 0.4 0.2	凝灰質砂岩	灰色。小形の極円礫。全体的にわずかに光沢がある。		
第548図 PL.445	112	石製品 粒状礫	完形	長幅 0.8 0.6	厚重 0.3 0.2	凝灰質砂岩	灰色。小形の極円礫。全体的にやや光沢がある。		
第548図 PL.445	113	石製品 粒状礫	完形	長幅 2.0 1.6	厚重 0.8 4.1	凝灰質砂岩	黒褐色。小形の極円礫。全体的に光沢がある。		
第548図 PL.445	114	石製品 粒状礫	完形	長幅 1.4 1.2	厚重 0.6 1.4	変質デイサイト	灰色。小形の極円礫。全体的に光沢がある。		
第548図 PL.445	115	石製品 粒状礫	完形	長幅 2.5 2.4	厚重 1.5 12.2	変質デイサイト	暗褐色。小形の極円礫。光沢はない。		
第548図 PL.445	116	石製品 粒状礫	完形	長幅 2.0 0.9	厚重 0.5 1.5	変珪岩	にぶい赤褐色。小形の垂円礫。光沢はない。		
第548図 PL.445	117	石製品 粒状礫	完形	長幅 3.1 2.4	厚重 1.0 9.8	変珪岩	にぶい褐色。小形の極円礫。光沢はない。		
第548図 PL.445	118	石製品 粒状礫	完形	長幅 0.7 0.6	厚重 0.4 0.2	変玄武岩	黒褐色。小形の円礫。光沢はない。		
第548図 PL.445	119	石製品 粒状礫	完形	長幅 2.9 2.0	厚重 0.9 7.7	変玄武岩	暗オリーブ灰色。小形の極円礫。全体的にやや光沢がある。		
第548図 PL.445	120	石製品 粒状礫	完形	長幅 0.8 0.5	厚重 0.4 0.1	砂質頁岩	黒褐色。小形の極円礫。光沢はない。		
第548図 PL.445	121	石製品 粒状礫	完形	長幅 1.3 0.9	厚重 0.6 1.1	砂質頁岩	暗赤褐色。小形の極円礫。光沢はない。		
第548図 PL.445	122	石製品 粒状礫	完形	長幅 0.9 0.5	厚重 0.3 0.1	粗粒輝石安山岩	灰色。小形の極円礫。光沢はない。		
第548図 PL.445	123	石製品 粒状礫	完形	長幅 2.2 1.4	厚重 0.4 2.4	粗粒輝石安山岩	暗褐色。小形の垂円礫。全体的にわずかに光沢がある。		
第548図 PL.445	124	石製品 粒状礫	完形	長幅 0.5 0.4	厚重 0.3 0.1	玉髓	灰白色。小形の極円礫。全体的に光沢がある。		
第548図 PL.445	125	石製品 粒状礫	完形	長幅 0.6 0.5	厚重 0.4 0.2	凝灰岩？	灰色。小形の極円礫。全体的に光沢がある。		
第548図 PL.445	126	石製品 粒状礫	完形	長幅 0.7 0.5	厚重 0.4 0.2	石英	白色。小形の極円礫。全体的にわずかに光沢がある。		
第548図 PL.445	127	石製品 粒状礫	完形	長幅 0.7 0.6	厚重 0.5 0.2	石英質岩石(鈹化脈?)	灰色。小形の極円礫。全体的にやや光沢がある。		
第548図 PL.445	128	石製品 粒状礫	完形	長幅 0.8 0.5	厚重 0.3 0.2	変質玄武岩	灰褐色。小形の極円礫。全体的にわずかに光沢がある。		
第548図 PL.445	129	石製品 粒状礫	完形	長幅 0.8 0.6	厚重 0.3 0.2	安山岩？	灰褐色。小形の垂円礫。全体的にわずかに光沢がある。		
第548図 PL.445	130	石製品 粒状礫	完形	長幅 1.0 0.8	厚重 0.3 0.6	不明	灰白色。小形の極円礫。光沢はない。		
第548図 PL.445	131	石製品 粒状礫	完形	長幅 1.1 0.8	厚重 0.3 0.4	輝緑岩	黒褐色。小形の極円礫。全体的にやや光沢がある。		
第548図 PL.445	132	石製品 粒状礫	完形	長幅 1.3 1.0	厚重 0.4 0.7	輝緑凝灰岩	暗褐色。小形の極円礫。全体的にわずかに光沢がある。		
第548図 PL.445	133	石製品 粒状礫	完形	長幅 1.4 0.9	厚重 0.6 0.9	かこう岩	暗褐色。小形の円礫。全体的にやや光沢がある。		
第548図 PL.445	134	石製品 粒状礫	完形	長幅 1.6 1.1	厚重 0.9 1.8	珪質変質岩	暗赤褐色。小形の極円礫。全体的に光沢がある。		
第548図 PL.445	135	石製品 粒状礫	完形	長幅 1.9 1.2	厚重 0.5 1.4	珪質岩ホルンフェルス？	灰色。小形の極円礫。全体的にやや光沢がある。		

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値				胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				長幅	3.1 2.1	厚重	1.0 9.9			
第548図 PL.445	136	石製品 粒状礫	完形	長幅	3.1 2.1	厚重	1.0 9.9	閃緑岩質圧砕岩?	黒褐色。小形の極円礫。全体的にわずかに光沢がある。	
第549図 PL.445	1	—	完形	長幅	1.9 2.2	厚重	1.6 3.9	未固結凝灰岩	軟質である。直径1mm程度の孔が多数存在する。	土製品?
第549図 PL.445	2	—	完形	長幅	2.1 1.8	厚重	1.7 1.4	未固結凝灰岩	軟質である。直径1mm程度の孔が認められる。	土製品?
第549図 PL.445	3	原石	完形	長幅	2.1 3.9	厚重	1.6 15.7	赤碧玉	赤色。自然礫。亜角礫。	

挿図 PL.No.	No.		法量															
			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬			
第532図 PL.434	1	短茎腸扶長 三角形	2.4	2.3	3.1+	0.1	0.8								0.9	0.4	0.1	薄手扁平な2孔を有し、深い逆刺を持つ短茎の三角形鏃である。三角形鏃は本個体のみ。木質の痕跡は無し。
第532図 PL.434	2	短茎腸扶長 三角形		2.3+	1.6+	0.1	0.4								0.1+	(0.3)	0.1	薄手で扁平な深い逆刺を持つ長三角形鏃。木質が刃部上部に付着するが、別個体のものか。短茎は確かにあることを断面観察から各顧した。向かって左側の逆刺は、すでに折れていたもので、破損か切断の可能性がある。
第532図 PL.434	3	短茎腸扶長 三角形	2.7+	2.3	1.6	0.1	0.4								0.8	0.4	0.1	薄手扁平で逆刺を持つ長三角形鏃である。木質の遺存も無い。
第532図 PL.434	4	短茎腸扶長 三角形		2.5	1.6+	0.1	0.5								0.5+	0.3	0.1	薄手扁平な、やや深い逆刺を持つ長三角形鏃。刃部は古いワレで破損品か切断と推定する。白玉が付着している。根ばさみの痕跡は無い。
第532図 PL.434	5	短茎腸扶長 三角形	2.6	2.5	1.9	0.1	0.5								1.6	0.3	0.1	扁平でやや浅めの逆刺を持つ短茎長三角形鏃。刃部本体に付着する有機質あり、
第532図 PL.434	6	短茎腸扶長 三角形	3.4	3.0	2.3+	0.1	0.3								0.6	0.6	0.1	3片に分かれた破片が接合した、腸扶長三角形鏃である。
第532図 PL.434	7	短茎腸扶長 三角形	1.9+	1.8+	1.7+	0.1	0.7								0.8	0.3	0.1	薄手扁平なやや浅めの逆刺を持つ短茎長三角形鏃。逆刺部は破損あるいは切断の可能性あり。
第532図 PL.434	8	短茎腸扶長 三角形	3.3	3.0	2.7	0.15	0.55								0.9	0.6	0.1	重扶の逆刺を持つ短茎の長三角形鏃。莖先に三角鉄片が付着し、木質も付着している。篋竹の可能性あり。孔は認められない。
第532図 PL.434	9	短茎腸扶長 三角形		4.4	3.3	0.15	0.7								0.2+	(0.65)	0.15	短茎部がワレで無い。ワレは……。浅い逆刺でやや幅広い形を呈する短茎長三角形鏃。孔は認められない。興味深いのは、鹿角が莖付近に認められることである。近くに、鹿角刀子があり、その影響か。穿孔は0.2cmある。
第532図 PL.434	10	短茎腸扶長 三角形	2.9	2.6	1.3	0.1	0.4								0.7	0.4	0.1	扁平薄手で、やや浅い逆刺を持つ長三角形鏃。短茎が少し屈曲している。折り曲げた可能性あり。根ばさみの痕跡は認められない。
第532図 PL.434	11	短茎腸扶長 三角形	3.3	2.7	1.6	0.1	0.2								0.7	0.4	0.1	扁平薄手で、浅めの逆刺を持つ一孔を有する長三角形鏃。根ばさみの痕跡は認められない。
第532図 PL.434	12	短茎腸扶長 三角形	3.6	3.2	1.5	0.15	0.4								0.7	0.35	0.1	扁平薄手で、やや浅い逆刺を持つ長三角形鏃。孔は認められない。根ばさみの痕跡の可能性のある、木質が莖や刃部に一部付着する。
第532図 PL.434	13	短茎腸扶長 三角形	3.6+	3.4+	1.8+	0.1	0.45								0.7	0.4	0.1	扁平薄手で、やや浅い逆刺を持つ長三角形鏃。孔は認められない。ワレは……。
第532図 PL.434	14	短茎腸扶長 三角形	4.1	3.7	2.2+	0.15	0.4								0.8	0.6	0.1	やや大形の浅い逆刺を持つ短茎長三角形鏃。孔は無く、莖に根ばさみの痕跡は認められない。
第532図 PL.434	15	短茎腸扶長 三角形	4.4	4.1	2.8	0.1									1.0	0.4	0.1	完存品。扁平で、一孔を有し、浅い逆刺を持つ短茎長三角形鏃。根ばさみの木質の痕跡があり、裏側には少し斜めになるが、ずれたものと考えている。
第532図 PL.434	16	短茎腸扶長 三角形		4.3	1.7	0.15	1.1								0.6+	0.4	0.1	薄手の造りで、逆刺が長い。根扶みの木質付着無し。
第532図 PL.434	17	短茎腸扶長 三角形	5.9	5.2	2.6	0.2	0.5								0.8	0.6	0.15	大形で浅い逆刺を持つ短茎長三角形鏃。X線から二孔が開いている可能性あり。根ばさみの痕跡は無い。
第532図 PL.434	18	短茎腸扶長 三角形		5.3	2.6	0.15	5.2								0.9	0.4	0.15	調査時のワレにより破損するもほぼ完存。細長いが大形で、深い逆刺を持つ短茎長三角形鏃。根ばさみの木質の痕跡が良く残る。
第533図 PL.434	19	無茎五角形	2.3	1.4	0.1													薄手の五角形鏃。この時期では珍しい形態。斜め方向に植物繊維状のもので巻いた痕跡あり。
第533図 PL.434	20	無茎腸扶長 三角形	2.7	2.4	0.1	0.5												無茎の浅い逆刺を持つ三角形鏃。薄手小型軽量である。根ばさみの痕跡残る。
第533図 PL.434	21	無茎重扶長 三角形	2.9	3.3	0.15	0.3												無茎の浅い重扶を持ち、鏃身に一孔を持つ三角形鏃。根ばさみの痕跡は無し。穿孔径0.2mm。
第533図 PL.434	22	無茎腸扶長 三角形	2.8	1.4	0.1	0.3												薄手扁平軽量の浅い逆刺を持ち、一孔を有する長三角形鏃。根ばさみの痕跡は認められない。穿孔径0.1mm。
第533図 PL.434	23	無茎腸扶長 三角形		2.6+	1.5+	0.1	0.3+											薄手扁平軽量で、浅井逆刺を持ち、方形の一孔を有する長三角形鏃。根ばさみの痕跡は認められない。刃部先端は新しいワレであるが、逆刺のワレはもともとの古いワレで破損品か切断の可能性がある。
第533図 PL.434	24	無茎重扶長 三角形	2.9	2.2+	0.15	0.5												重扶りで、無茎の長三角形鏃である。長方形の小孔あり。根ばさみの痕跡は無い。
第533図 PL.434	25	無茎腸扶長 三角形	3.0	2.2	0.15	0.5												錆が多いが、X線で無茎であることははっきりと確認。孔は無い模様。根ばさみの痕跡は認められない。
第533図 PL.434	26	無茎腸扶長 三角形	3.3	1.5+	0.2	0.2												無茎と推定される、浅い逆刺を持つと推定される長三角形鏃である。孔・根ばさみの痕跡は不明。ワレは新しいものである。
第533図 PL.434	27	無茎腸扶長 三角形		3.25	1.6+	0.1	0.2											浅い逆刺を持つ無茎長三角形鏃である。孔・根ばさみの痕跡は無し。ワレは新しいものである。

挿 図 PL.No.	No.		質量														
			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬		
第533図 PL.434	28	無・短茎長 三角形		1.5+	0.7+	0.1											調査時の破損で不明な資料であるが、平根の無・短茎長三角形鏃と推定する。根ばさみの痕跡は無い。
第533図 PL.434	29	無・短茎長 三角形		2.8+	2.1+	0.15											調査時の破損で、不明。平根の無・短茎長三角形鏃と推定。根ばさみの痕跡は無い。あるいは、板状の素材片の可能性もある。
第533図 PL.435	30	平根圭頭形	6.6+	3.1	2.9	0.3		3.6+	0.4					0.4	0.4		関東地方では極めて珍しい鏃。重みのあるもので、刃は頭部前半のみ。篋竹の痕跡は認められない。
第533図 PL.435	31	平根腸扶長 三角形	8.5+	5.6	3.3	0.3	1.2	3.3	0.6	0.3	0.8	0.35	0.6+	0.5	0.3		大形の平根鏃で、逆刺を持つ長三角形鏃である。圭頭鏃とともにこの遺構では珍しい大型平根鏃である。逆刺はあまり深くなく、台形闊を呈する。茎の折れは新しいものである。茎に植物繊維巻きがある。
第533図 PL.435	32	平根腸扶長 三角形	9.5+	4.5	1.3	0.2	0.7	2.6	0.5	0.3	0.7	0.3	2.9+	0.4	0.2		刃部が大きめの、平根鏃に入る鏃である。逆刺はやや深く、頸は短い。台形の斜め闊である。茎はやや長めである。茎に木質の付着はなく、やや長めである。先端は古いワレである。
第533図 PL.435	33	短頸腸扶長 三角形	10.3	4.2	1.2	0.2	0.6	3.3	0.4	0.2	0.7	0.3	3.3	0.3	0.2		片丸造で逆刺はある程度深めの推定長三角形鏃。短い頸の短頸鏃である。台形闊を呈し、茎は非常に長い。木質の付着はない。
第533図 PL.435	34	平根腸扶長 三角形	13.5	4.1	1.6	0.3	1.2	5.9	0.4	0.2	0.8	0.4	4.7	0.5	0.4		刃部が大きめで、平根系に入る短頸鏃である。刃部の中などの全体の大きさは、前の例よりある。逆刺は深く、頸もやや長めである。台形状であるが、末端がやや張り出す形をとる。茎に木質の付着はない。
第534図 PL.435	35	短頸腸扶片 刃	13.8	2.4	0.75	0.2	0.4	6.8	0.5	0.3	0.7	0.4	5.1	0.45	0.4		わずかに、頸部7cmに届かない。短頸腸扶片刃鏃である。逆刺はやや短めと推定する。台形闊状で、茎は短めである。茎に木質の付着は無い。
第534図 PL.435	36	長頸腸扶片 刃形	13.3	2.1	0.7	0.2	0.5	7.8	0.4	0.3	0.6	0.5	3.8	0.4	0.3		鏃がひどく、形態の確認が難しいが、X線等により片刃と判断。また、逆刺についてもX線等から判断した。頸長から長頸鏃とした。闊は台形闊、闊付近に別個体の鏃の篋竹と思われる木質付着。頸部に振じりの可能性あるも、砂粒付着による変形と考えた。実用品と変わらない大きさである。
第534図 PL.435	37	長頸腸扶片 刃形	9.6+	1.9	0.7	0.2	0.6	8.3	0.5	0.2	0.8	0.4	2.9+	0.6	0.4		鏃がひどく、形態の確認が難しいが、X線等により片刃と判断。逆刺についても、短めであるものの、逆刺があるものと判断した。台形闊である。頸部に白玉が付着する。頸部下側に、鹿角装と思われる白色物質が付着しているが、この鏃に伴うものというより、近くの鹿角装鏃の鹿角装具の一部が付着したものと考えている。
第534図 PL.435	38	長頸腸扶片 刃形	9.6+	1.9	0.7	0.2	0.6	8.3	0.5	0.2	0.8	0.4	2.9+	0.6	0.4		鏃がひどく、形態の確認が難しいが、X線等により片刃と判断。逆刺についても、短めであるものの、逆刺があるものと判断した。台形闊である。頸部に白玉が付着する。頸部下側に、鹿角装と思われる白色物質が付着しているが、この鏃に伴うものというより、近くの鹿角装鏃の鹿角装具の一部が付着したものと考えている。
第534図 PL.435	39	有頸腸扶片 刃形	3.6+	2.5	0.9	0.2	0.4	1.5+	0.7	0.3							逆刺を有する片刃鏃の刃部である。刃部は肉眼観察で、逆刺はX線で確認した。逆刺はやや浅い。
第534図 PL.435	40	有頸腸扶片 刃形	12.6+	2.4	0.8	0.2	0.4	9.4	0.5	0.2	0.6	0.3	1.1+	0.4	0.2		鏃がひどいが、X線で腸扶片刃の刃部と頸部と判断した。逆刺はやや浅めである。ただ、全体にやや太めであるのが気になる。頸部下を折り曲げており、やや屈曲している。
第534図 PL.435	41	短頸独立片 逆刺腸扶長 三角形	10.1	2.1	1.4	0.2	0.4	4.6	0.55	0.3	0.5	0.3	3.65	(0.4)	(0.2)		小型短頸で薄手の独立片逆刺鏃。刃部は、やや短めの片丸造の長三角形鏃である。全体が小型化した様相から祭具と考えられる。樹皮巻が一部遺存し、篋竹も一部残る。片逆刺長1.5cm、片逆刺巾1.0cm、片逆刺厚0.6cm、逆刺長0.6cmである。
第534図 PL.435	42	短頸腸扶長 三角形	8.6	2.6	1.0	0.2	0.6	3.8	0.45	0.3	0.6	0.3	2.7	0.3	0.25		片丸造で、頸部の短い短頸で、逆刺のある長三角形鏃で小型である。祭具と考えられる。台形闊で、茎は長い。茎部に木質の付着はない。
第534図 PL.435	43	短頸腸扶長 三角形	10.6	3.2	1.1	0.25	0.6	3.4	0.4	0.2	0.55	0.3	4.4	0.3	0.2		片丸造で逆刺はある程度深めの推定の長三角形鏃。短い頸の短頸鏃である。台形闊を呈し、茎は長めである。木質の付着はない。
第535図 PL.435	52	有頸腸扶長 三角形	7.6	3.5	1.0	0.3	0.4	3.9	0.4	0.2	0.6	0.3	0.6+	0.3	0.1		端部は円弧状を呈し、片丸造に近い。側縁も刃部が形成されている可能性あり、(腸扶)長三角形鏃の刃部の可能性が高い。頸部の短い
第534図 PL.435	44	短頸腸扶長 三角形	11.6	3.5	1.85	0.2	0.6	4.0	0.55	0.3	0.6	0.4	4.6	0.3	0.2		片丸造で、逆刺はX線により推定。台形闊状で、やや斜め闊に近い。頸のやや短い短頸長三角形鏃である。茎はやや長めである。茎に木質の付着あり。
第535図 PL.436	45	短頸腸扶長 三角形	10.9	2.7	1.2	0.2	0.6	4.3	0.5	0.3	0.7	0.35	4.6	0.4	0.2		ほぼ同じ位置から出土した、T47よりやや長い頸部の片丸造りで逆刺しを持つ短頸長三角形鏃。茎はT47に比べ長い。
第535図 PL.436	46	短頸腸扶長 三角形	10.5	2.1	0.9	0.2	0.35	5.3	0.4	0.2	0.55	0.3	3.4	0.4	0.25		片丸造の逆刺の短い長三角形鏃。頸部も極めて細目で、短頸小型鏃と考えられ、祭具としたい。闊はやや拡がる台形闊であろう。
第535図 PL.436	47	短頸腸扶長 三角形	11.2	2.5	1.3	0.25	0.6	6.1	0.5	0.3	0.7	0.4	3.1	0.4	0.2		片丸造で、逆刺もあまり深くない刃部がやや短めの長三角形鏃である。頸も長頸鏃からほんの少し短い短頸鏃である。角闊で、茎は短めである。木質の付着は無い。
第535図 PL.436	48	短頸腸扶長 三角形	14.7	1.9	0.8	0.2	0.3	6.3	0.4	0.2	0.55	0.3	6.9	0.4	0.2		片丸造で、刃部がやや短めで逆刺がやや浅い長三角形鏃である。頸部が長頸鏃よりやや短く、短頸鏃となる。茎は頸部に比べてかなり長めである。
第535図 PL.436	49	短頸腸扶長 三角形	11.6	2.3	1.1	0.2	0.4	6.9	0.5	0.25	0.85	0.3	2.8	0.5	0.3		いわゆる長頸鏃よりやや短めの片丸造の鏃。長頸鏃からやや短頸化した長三角形鏃と考えられる。逆刺は無いものと判断したが、他の出土鏃がすべて逆刺があるので、検討する必要あり。
第535図 PL.436	50	長頸腸扶長 三角形	13.1+	2.7+	1.4	0.2	0.4	7.1	0.6	0.25	0.7	0.35	3.6+	0.3	0.2		片丸造の長頸長三角形鏃で、大型のもの。実用品と変わらない大きさである。逆刺はやや浅めの造りである。やや台形闊を有している。木質の遺存は確認できない。

挿 図 PL.No.	No.		法量														
			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬		
第535図 PL.436	51	長頸腸扶長 三角形	17.6	2.8	0.9	0.2	0.4	8.8	0.4	0.2	0.5	0.4	6.4	0.35	0.3	片丸造で、頸部の長い、この形式では明瞭に分かる唯一の長頸長三角形鎌である。逆刺については、X線でも良く確認できないが、他例を見て、逆刺が有ると判断した。全体に細長く造られ、関は7世紀の鎌によくある角柱状の関に近いものである。茎はやや長めである。	
第535図 PL.436	53	有頸腸扶長 三角形	4.3+	3.5	1.3	0.2	0.4	1.3+	0.5	0.3					片丸造で、やや浅い逆刺を持つ長三角形鎌の刃部である。頸のワレは新しいもhの。		
第536図 PL.436	54	頸・茎部	9.8+					4.9+	0.5	0.3	0.6	0.35	4.9	0.35	0.2	頸部はしっかりとしており、角関である、茎はやや長め、木質の付着はない。	
第536図 PL.436	55	頸・茎部	6.4+					3.1+	0.5	0.25	0.65	0.35	3.3	0.3	0.25	頸・茎部破片。茎部は完存在。台形関である。頸部下部に有機質あるいは木質が一部付着している。頸部上部は新しいワレである。	
第536図 PL.436	56	頸・茎部	6.1+					2.9+	0.5	0.3	0.6	0.3	3.2	0.35	0.2	頸部は明瞭に残り、角関である。茎も完存している。茎に木質の付着はない。	
第536図 PL.436	57	頸・茎部	5.7+					0.6+				0.5+	0.3	5	0.3	0.2	頸・茎部破片。茎部は完存在。角関である。茎がやや長めである。頸部上部のワレは古いワレで、破損か、故意に切断したと思われる。
第536図 PL.436	58	頸・茎部	5.3+					1.6+				0.3	0.4	3.7	0.5	0.3	頸・茎部破片。茎部は完存。頸の上部のワレは新しいワレである。台形関である。茎には、木質と樹皮巻の一部が残る。また、頸部下部の表面に、植物繊維と思われる紐状のものが5巻ほど確認できる。何か巻いていた可能性が高い。
第536図 PL.436	59	頸部						3.3+	0.4	0.3	0.5	0.3					頸部の破片と想定している。上のワレは古い段階のもの。素材の棒状品として捉えることもできるものである。
第536図 PL.436	60	茎部												2.4+	0.3	0.25	茎破片。尻部は完存している。上部は古いワレである。茎の一部に木質の付着がある。
第536図 PL.436	61	茎部												1.1+	0.55	0.2	茎破片。尻部完存。上部のワレは・・・か？木質の付着あり。
第536図 PL.436	62	茎部												1.3+	0.6	0.4	茎破片。尻部完存。上部のワレは古い。破損か切断。木質の付着無し。
第536図 PL.436	63	茎部												1.3+	0.5	0.25	茎破片。尻部端のワレ新しい。上部のワレは古い。破損か切断。木質の付着無し。
第536図 PL.436	64	茎部												1.5+	0.4	0.3	茎破片。両端部新しいワレ。
第536図 PL.436	65	茎部												1.6+	0.3	0.3	茎破片。尻部完存。上部のワレは古い。破損か切断。木質の付着無し。
第537図 PL.437	66	U字形鎌鋤 先	11.9	8.1	1.1	0.4~ 0.5											小型のU字形鎌鋤先。刃先端は、やや直線状を呈してから屈曲する。木柄を挿み込みむ造作は、手前側が少し長めで、しかも屈曲が強い。右側の挿み込み部で木質が遺存しており、木柄の装着は分かる。刃先は、現状ではあまり鋭くない。土師器片・白玉が付着する。
第538図 PL.437	67	U字形鎌鋤 先	10.3+	5.1+	0.8	0.2~ 0.3											完存の前述のU字形鎌鋤先に比べると大形のもの。2/3は欠損している。木質の付着が表裏にあるも、挿み込み部分には、木柄の装着が無く、木柄の装着は無かった可能性が高い。
第538図 PL.438	68	小型曲刃鎌	6.1	(1.6)	0.1	0.9											小型曲刃鎌。研ぎべりなのか、刃先が細目になっている。曲柄の部分の屈曲はかなりの角度がある。木質の付着は無い。
第538図 PL.438	69	小型曲刃鎌	7.2	2.7	0.2	0.8											ほぼ直線状に伸びる鎌であるが、曲刃鎌として考えたい。刃先は細目になっているのは、先の鎌と同じで、やはり研ぎ減りによるものだろうか？木質の付着は無い。
第538図 PL.438	70	小型曲刃鎌	7.9	2.3	0.2	1.3											小型曲刃鎌。研ぎべりなのか、刃先が細目になっている。曲柄の部分の屈曲は少し角度が弱い。木質の付着は無い。白玉が刃端部に付着している。
第538図 PL.438	71	中型曲刃鎌	9.6	2.2	0.3	0.9											中型曲刃鎌。刃先の屈曲は先端部を少し曲げるタイプのものである。刃は意識して造られている。木柄の痕跡は良く残るが、その木柄の隣に有機質状のものが、鎌身本体に巾3cmほど認められる。鎌を包んでいた可能性あり。
第538図 PL.438	72	中型曲刃鎌	10.3	2.3	0.3	0.7											中型曲刃鎌。刃先端を少し屈曲させるタイプのものである。刃は意識して造られている。鎌本体に、木質や草・鹿角の可能性のあるものの付着物が付く。鎌を覆うものか別個体の付着物か。
第539図 PL.438	73	中型曲刃鎌	11.3	2.2	0.2	0.3+											中型曲刃鎌。刃先端を少し屈曲させるタイプのものである。木柄の装着角度が鈍角で、他の鎌と少し異なる。木柄の木質の残りも良く、柄を装着していたことが良く分かる。
第539図 PL.438	74	穂摘具	4.3	4.1	3.7	1.1	0.1	0.25									扁平薄手小型の穂積具。刃は形成しておらず、板状である。2孔を両端上寄りに有し、上方は、やや内湾し、下方の刃部に当たる箇所はほぼ直線状を呈するが、ほんの少し外湾している。刃隅は隅丸形である。木質が斜めに付着しており、穂積具の把握する台部の木質の可能性ある。小型品であるので祭具と考える。
第539図 PL.438	75	穂摘具	5.0	4.1	4.9	0.9	0.1	0.1									扁平小型の穂積具。刃はほとんど形成しておらず、板状である。2孔を両端上寄りに有し、基端がやや内湾し、刃縁がほぼ直線状であるが、中央に凹部がある。あるいはこちらが基端になる可能性もある。刃隅は弧状を呈する。木質が、体部の一部に付着しており、台部の一部かと推定する。有孔方板が錆着している。
第539図 PL.438	76	穂摘具	5.7	5.1	4.9	1.4	0.1	0.15									扁平小型の穂積具。一孔を確認。台部と考えられる木質の位置などから、基端は、ゆるやかな内湾を呈する。刃縁は大きく内湾するものである。刃隅の向かって左側は外側に向かう斜角を呈し、右側は隅丸である。刃はほとんど形成しておらず板状を呈する。
第539図 PL.439	77	穂摘具	6.0	6.0	5.8	1.4	0.15	穿孔 0.25									扁平小型の穂積具。2孔を基端部と推定する側に有する。基端は内湾しており、刃縁は外湾している。台部の木質の痕跡は認められない。刃隅は、いずれも弧状を呈する。刃はほとんど形成しておらず板状を呈する。

挿 図 PL.No.	No.		法量														
			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬		
第539図 PL.439	78	穂摘具	6.2	5.8	6.2	1.4	0.2	0.2									扁平小型であるがやや大形の穂積具。2孔が基端上方にあり、上部の木質が付着している。また、一部に樹皮状のものが体部端に付着している。基端部・刃縁ともに直線状を呈する。刃隅は隅丸状を呈する。刃はほとんど形成しておらず、板状を呈する。
第539図 PL.439	79	穂摘具	7.0	7.0	6.5	1.5	0.2	穿孔 0.2									扁平小型であるがやや大形の穂積部。2孔を両端に有している。基端部と推定する上方は、やや内湾を呈し、刃縁はほぼ直線状を呈する。刃隅は、円弧状から隅丸形である。上部の木質の痕跡は認められない。刃はほとんど形成しておらず、板状を呈する。
第539図 PL.439	80	穂摘具破片	1.8+	1.3+	1.8+	1.2	0.1										穂摘具破片。孔は認められない。上部の木質が一部遺存。刃隅は隅丸の形態。破断面は古く、破損品か切断の可能性はある。
第539図 PL.439	81	穂摘具破片	1.85+	1.6+	1.55+	1.15	0.1	0.3									穂摘具破片。一孔を有する。上部の木質は認められない。基端は内湾、刃縁は直線状、刃隅は隅丸の形態。
第539図 PL.439	82	穂摘具破片	2.2+	2.1+	2.0+	1.2	0.1	0.1									穂摘具破片。一孔を有する。基端は内湾状、刃縁は直線状、刃隅は斜角形である。
第539図 PL.439	83	穂摘具破片	2.5+	2.3+	2.1+	1.1	0.1										穂摘具破片。基端は直線状、刃縁も直線状の可能性ある。刃隅は隅丸である。一部植物繊維が斜めに入る。
第539図 PL.439	84	穂摘具破片	2.6+	2.4+	2.3+	1.05	0.1	0.2									穂摘具破片。破断面は、古く破損品か切断の可能性ある。基端は直線状、刃縁も直線状を呈する。刃隅は、隅丸の形態である。一孔を有する。上部の木質一部残存。白玉が付着している。
第540図 PL.439	85	穂摘具破片	2.7+	2.5+	2.3+	1.3	0.1										穂摘具破片。基端は直線状、刃縁も直線状を呈し、刃隅はやや鈍角状である。上部の木質が一部遺存し、植物繊維が紐状に一部残存。破断面は古いので、破損か切断の可能性ある。
第540図 PL.439	86	穂摘具破片	2.8+	2.8+	2.5+	1.7	0.1	穿孔 0.15									穂摘具破片。一孔を有する。基端は直線状で、刃縁は内湾状、刃隅は隅丸である。上部の木質痕跡らしきものが、認められる。白玉が付着している。
第540図 PL.439	87	穂摘具破片	2.9+	2.8+	2.9+	1.0	0.1	(0.2)									穂摘具破片。一孔を有する。基端・刃縁ともに直線状で、刃隅は鈍角である。おそらく上部の木質を思われる有機質が、かなりの部分を覆っている。
第540図 PL.439	88	穂摘具破片	3.0	1.8+	2.8+	1.5	0.1	0.2									穂摘具破片の可能性高い。基端は、中央部が少し凹部になる。刃縁は内湾状になるか。刃隅は鈍角である。一孔を有する。木質の遺存は無い。
第540図 PL.439	89	穂摘具破片	3.1+	2.1+	2.9+	1.2	0.1										穂摘具破片。一孔を有する。基端、刃縁ともに直線状で、刃隅は鈍角である。木質の遺存は無い。古いワレである。
第540図 PL.439	90	穂摘具破片	3.4+	1.9+	3.2+	1.3	0.1										穂摘具破片。孔は確認できない。基端、刃縁ともに直線状で、刃隅は鈍角である。上部の木質がかなりよく遺存している。
第540図 PL.439	91	穂摘具破片	3.2+	3.1+	2.9+	1.1	0.1	穿孔 0.2									穂摘具破片。一孔を有する。破断面は古く、破損品か切断の可能性あり。基端、刃縁ともに直線状で、刃隅は鈍角である。上部の有機質の一部が遺存する。
第540図 PL.439	92	穂摘具破片	3.3+	2.4+	3.0+	0.9	0.1	0.2									穂摘具破片。一孔を有する。基端、刃縁ともに直線状で、刃隅は鈍角である。木質の遺存は無い。
第540図 PL.439	93	穂摘具破片	3.1+	3.0+	3.0+	1.0	0.1	0.2									穂摘具破片。一孔を有する。基端、刃縁ともに直線状で、刃隅は隅丸である。上部の木質と、植物繊維が一部残存。興味深いのは、端部が折り曲げられて屈曲していることである。故意に曲げた可能性が高い。
第540図 PL.439	94	穂摘具破片	3.3+	2.8+	3.3+	1.5	0.1	0.2									穂摘具破片。一孔有り。破断面は古く、破損品か切断の可能性あり。着端は直線状、刃縁は内湾状を呈する。刃隅は、隅丸である。布や植物の茎の痕跡などが錆化して残っている。
第540図 PL.439	95	穂摘具破片	3.5+	2.8+	3.3+	1.4	0.1										穂摘具破片。破断面は古く、破損品か切断の可能性あり。基端、刃縁ともに直線状、刃隅は鈍角である。木質は認められない。
第540図 PL.439	96	穂摘具破片	3.5+	3.3+	3.3+	1.0	0.1	0.2									穂摘具の破片。二孔を有する。刃隅は隅丸の形態。一部古い破断面があり、破損品か切断の可能性ある。
第540図 PL.439	97	穂摘具破片	3.9+	3.9+	3.6+	1.2	0.1	穿孔 0.1									穂摘具破片。一孔を有する。基端、刃縁ともに直線状で、刃隅は鈍角である。木質の遺存は無い。
第540図 PL.439	98	穂摘具破片	4.5+	4.0+	4.4+	1.2	0.1										穂摘具破片。孔は確認できない。基端、刃縁ともに直線状で、刃隅は鈍角である。上部の木質の一部が遺存する。
第540図 PL.439	99	穂摘具破片	4.5+	3.3+	4.5+	1.5	0.1										扁平で、端が一部欠損している。孔はX線でも確認できなかった。木質の遺存から、基端を想定した。基端は直線状を呈し、刃縁もほぼ直線状を呈する。刃隅は、隅丸を帝室呈している。木質の残りは片面に良く残り、上部の装着状況が分かる。刃はほとんど形成しておらず、板状を呈する。
第540図 PL.439	100	穂摘具破片	5.1+	4.4+	4.9+	1.4	0.1										扁平で、端が一部欠損している。孔はX線でも確認できなかった。木質の遺存から、基端を想定した。基端は直線状を呈し、刃縁もほぼ直線状を呈する。刃隅は、隅丸を帝室呈している。木質の残りは片面に良く残り、上部の装着状況が分かる。刃はほとんど形成しておらず、板状を呈する。
第540図 PL.439	101	穂積具破片 (素材片・半円形状)	1.9	2.9	2.9	0.1											半円形状を呈するが、上部左右に角を有して、六角形に近い形状を呈する小鉄片。穿孔の有無不明。木質の付着はない。あるいは穂積具の小型品の可能性もある。
第540図 PL.439	102	穂積具破片 (素材片・半円形状)	1.7	3.1		0.1											半円形状を呈し、二孔を有する可能性のある板状品。うち一孔には目釘状のものが打ちこまれている可能性がある。木質が目釘状のものの周辺から上部端にかけて遺存する。
第540図 PL.439	103	穂積具破片 (素材片・半円形状)	1.6	3.1	1.8	0.1											半円形状を呈し、一孔を有する板状品。下部部に有機質(布?)の痕跡がある。穂積具の可能性あり。
第540図 PL.439	104	穂積具破片 (素材片・半円形状)	2.0+	1.2+	1.5+	2.9	0.1	0.2									穂積具破片。一孔を有する。基端は外湾状、刃隅はやや鈍角である。植物の茎の遺存がごく一部認められる。孔には目釘状のものが打ちこまれている可能性がある。木質が目釘状のものの周辺から上部端にかけて遺存する。

挿 図 PL.No.	No.		法量														
			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬		
第541図 PL.440	105	袋柄斧	8.4	3.1	2.6	0.3	4.1	0.9	3.5	1.1							小型袋柄斧。肩はなだらかに有するもので、刃は蛤刃状になっている。木柄は良く残り、袋部に沿って材を加工して偏円形状にして納めている。刃先は現状ではあまりすどいものではない。身の側面にも一部木質が付着している。別個体の付着物であろう。
第541図 PL.440	106	袋柄斧	9.4	4.1	2.7	3.6	4.7	0.6	4.1	1.6							小型袋柄斧。袋部はソケット状になっている珍しいタイプ。肩部も少し意識して形成している。刃もしっかりと形造っている。木質の遺存はない。木柄は装着していなかった可能性が高い。
第542図 PL.441	107	鹿角装刀子	5.5	5.5	2.8	0.8	0.2	2.7	(0.7)	0.2	2.1+	1.5	0.9+				小型鹿角装刀子。茎の上に直接鹿角装具を被せている。片開の可能性あり。刃部先端が屈曲しており、故意に曲げた可能性もある。小型ということもあり、祭具としての使用が考えられる。木鞘の痕跡は無い。
第542図 PL.441	108	鹿角装刀子	6.1+	5.8+	2.7	0.8	0.2	3.1	0.8	0.2	3.3+	1.7+	1.3+				小型鹿角装刀子。茎の上に木質を被せ、その上から鹿角装具をはめる。両開の可能性高い。もともと小型のもので祭具としての使用が考えられる。臼玉が付着している。木鞘の痕跡は無い。
第542図 PL.441	109	鹿角装刀子	6.1+	5.7	2.7	1.2	0.25	3.0	0.8	0.25	2.4+	1.3	1.1+				小型鹿角装刀子。茎の上に木質を被せ、その上から鹿角装具をはめる。両開の可能性高い。もともと小型のもので祭具としての使用が考えられる。木鞘の痕跡は無い。
第542図 PL.441	110	鹿角装刀子	6.1+	5.4	3.1	1.0	0.3	2.3	1.15	0.3	2.2+	1.5	1.3+				小型鹿角装刀子。刃部から茎部に至る箇所がクランク状になっており、鹿角装具が無い。あるいはこの箇所にも木装具があった可能性がある。茎部には、植物繊維による細い糸巻きが施された後に、木を被せて、その上から鹿角装具を被せている。木鞘の痕跡は無い。
第542図 PL.441	111	鹿角装刀子	5.9	5.9	3.4	1.0	0.2	2.5	0.8	0.2	2.4+	1.4+	1.0+				小型鹿角装刀子。両開である。茎の上に直接鹿角装具を被せている。木鞘の痕跡は無い。小型ということもあり、祭具としての使用が考えられる。
第542図 PL.441	112	鹿角装刀子	5.7+	5.6+	2.6+	1.4	0.3	3.1	1.1	3.0	3.1+	1.5+	0.9+				小型鹿角装刀子。刃部先端欠損。茎の上に木質を被せ、その上から鹿角装具をはめる。片開である。刃部鞘の所に革のような痕跡が見える箇所あり。
第542図 PL.441	113	鹿角装刀子	8.3	8.3	5.6	1.2	0.3	2.6	0.8	0.25	2.1+	1.2+	0.8+				小型鹿角装刀子。茎の上に木質を被せ、その上から鹿角装具をはめる。両開の可能性高い。刃部に有機質(革?)で覆われている。刃を覆っているのか?植物繊維は無い。刃部は折り曲げられて屈曲している。故意に曲げたものと考えられる。
第543図 PL.441	114	鹿角装刀子	9.1	9.1	5.8	1.1	0.4	3.3	(0.8)	0.2	2.4+	1.5+	1.2				小型鹿角装刀子。茎の上に木質を被せ、その上から鹿角装具をはめる。両開である。11cmの錷状のものが観察できるが、錆がひどく確言できない。木鞘の可能性のある木質が刃部のごく一部に遺存する。
第543図 PL.441	115	鹿角装刀子	10.6+	10.6+	7.0+	1.55	0.2	3.6	(0.7)	0.25	2.9+	1.5+	0.5+				鹿角装刀子。両開である。茎を植物繊維状のもので巻き込み、その上から鹿角装具をはめている。また、鹿角装刀子全体に、有機質状のもので覆われているのが観察され、さらに有機質状のものの上に植物繊維の茎状のもので巻いた痕跡も認められる。
第543図 PL.441	116	鹿角装刀子	11.8+	11.0	7.0	(1.2)	(0.4)	4.0	(1.1)	(0.35)	4.6+	2.2+	1.7+				鹿角装刀子。両開である。茎の上に木質を被せ、その上から鹿角装具をはめている。刃部には、木質が一部付着し、有機質状のものも刃先端部にある。木鞘があって、その上から有機質状のもので覆っている可能性がある。
第543図 PL.442	117	鹿角装刀子	11.2+	11.2+	7.5+	1.9	0.3	3.7	1.2	0.4	3.7+	1.9+	1.7+				鹿角装刀子。両開である。茎の上に木質を被せ、その上から鹿角装具をはめている。刃部を弱く曲げている可能性があるようになわずかな屈曲がある。刃部には内湾状に研ぎべりが認められる。
第543図 PL.442	118	鹿角装刀子	10.8	10.8	(8.4)	1.5	0.2	(2.4)	1.1	0.25	2.1+	1.2+	1.2+				鹿角装刀子。明瞭な開は認められない。茎の上から直接鹿角を被せている。刃部の基部に内湾する折り状のものが入る。何か特殊な用途に使用したものか?植物繊維状のもの痕跡が、いくつか巻き込みように確認でき、植物繊維の茎で刀子を巻いていた可能性もある。
第544図 PL.442	119	鹿角装刀子破片	5.0+	4.2+	0.5+	1.1	0.3	3.4	1.3	0.3	4.3+	2.0+	1.4+				鹿角装刀子破片。茎が中心で、刃部はほとんど欠損している。破断面は古く、破損品か切断の可能性がある。茎の上から直接鹿角装具を被せたものと考えられる。鹿角装具には、角畝・角溝が一部確認でき、海綿体も内部の数か所確認できる。
第544図 PL.442	120	刀子破片			4.0	0.7	0.2										小型刀子。鹿角装刀子の本体に比べて細身である。小型農工具のかなり進展したタイプであろう。刀子は、破断面からするとすでに破損していたか切断したものと考えられる。茎は遺存せず形態不明。刃部の基部にごく少量の有機質が付着している。
第544図 PL.442	121	刀子破片	6.6	6.6	(4.2)	0.5	0.1	(2.3)	0.5	0.1							小型刀子片。やはり細身のもの。小型農工具のかなり進展したタイプ。茎がはっきりしない。あるいはこれで完結している可能性もある。茎のほうを少し振っているのが観察できた。故意に変形させたか?
第544図 PL.442	122	木装刀子	4.9+	4.9+	3.2+	1.2	0.2	1.7	1.0	0.2							小型刀子。刃部先端欠損部の破断面は古く、破損品か切断の可能性あり。両開である。茎には、木質が覆われ、木柄と推定する。刃部の一部には有機質のものが確認でき、覆っていた可能性もある。
第544図 PL.442	123	刀子破片						1.7+	1.0+	0.2							小型刀子片。破断面は新しい。刃先部分が屈曲しており、故意に折り曲げた、あるいは切断時の力の加減で、屈曲したもの可能性がある。木質・有機質の付着は別個体由来するもの可能性がある。
第544図 PL.442	124	刀子破片	2.6+	2.6+	1.0+	1.0	0.2	1.6+	0.8	0.2							小型刀子片。両開と推定。茎部と刃部の一部確認。破断面は新しい。調査時の破損か。
第544図 PL.442	125	刀子茎破片						2.1+	1.1	0.2							小型刀子茎破片。破断面は新しい。目釘は打ち込まれている。木質の付着は認められない。

挿 図 PL.No.	No.		法量															
			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬			
第544図 PL.442	126	錐	6.9	4.5	0.4	0.2	2.4	0.4	0.2									錐の可能性が高い。先端は尖っており、上部は隅丸の直線状を呈する。上部1/3は、木質により包まれ、さらにその上に鹿角と思われる白色物質により一部覆われている。可能性として、木柄の上から鹿角装具を覆っていた可能性がある。
第544図 PL.442	127	針	1.9+	0.1	0.1													細い針状の工具の破片と考える。両端はいずれも古いワレである。両盤部ともに細身であるので鎌の茎よりは針と考えている。
第544図 PL.442	128	釘	1.5+	0.4	0.2	0.2	1.3+	0.2	0.2									小型で、頭部が逆L字状を呈していることから釘の可能性を考えた。下部には四面に木質が認められており、何らなの木に打ち付けてあったものと考えられる。
第545図 PL.442	129	素材片(長 方形形状)	2.5	1.2	0.8	0.1												長方形の鉄板片。四辺はいきている。下端左隅は屈曲があり、折り曲げられている可能性あり。中央に孔あるいは目釘様のものがある。植物繊維の紐状のものが中央にある。有機質のものが下端部に付着している。
第545図 PL.442	130	素材片(長 方形形状)	(4.4)	1.2	0.1													長方形板素材と想定。小型曲刃鎌の可能性もあり。短測辺を屈曲させている。下端一部に木質の付着の可能性はある。白玉2個付着している。
第545図 PL.442	131	素材片(長 方形形状)	1.7+	1.4	1.1	0.1												長方形の小形鉄板である。下端は古いワレで、屈曲の痕跡があり、折り曲げている可能性高い。体部中央に穿孔の可能性がX線から推定される。白玉が付着している。
第545図 PL.442	132	素材片(長 方形形状)	1.2+	1.8	0.1													薄手の長方形の鉄板片。新しいワレ。有機質が付着している。
第545図 PL.442	133	素材片(長 方形形状)	1.8+	2.0		0.15												本来は長方形と考えられる個体。両端は新しいワレで、裏側は剥離しており、本来の形状の情報が少ない。
第545図 PL.442	134	素材片(長 方形形状)	3.5+	1.1	0.8	0.2												長方形の小形鉄板。下部は古いワレである。左上隅に屈曲あり。主軸にそって全体的に緩やかに屈曲している。木質が一部付着し、鹿角の可能性のある白色物質も極少量付着する。
第545図 PL.442	135	素材片(長 方形形状)	3.5+	1.4		0.1												長方形であるが、両端は古いワレで本来の形は不明。左側側辺がややアールを持っている。
第545図 PL.442	136	素材片(長 方形形状)	4.3	1.8		0.1												長方形で、片方の端部に有機質らしきものの付着。もう一端は新しいワレである。曲刃鎌片の可能性もある。
第545図 PL.442	137	素材片(長 方形形状)	4.6+	1.1	0.95	0.2												長方形を呈する小鉄板片。下端は古いワレで少し屈曲している。切断の跡か？小型鉄錠の可能性あり。
第545図 PL.443	138	素材片(長 方形形状)	4.9+	1.9	1.5	0.15												片方の測偏が屈曲しているなど小型鉄錠に近い形態を持つ。片端部は新しいワレで本来の形態不明。いきているもう片端には、有機質状のもので覆われている。小型鉄錠の可能性あり。
第545図 PL.443	139	素材片(逆 台形状)	2.9	1.8	1.0	0.15												撥形を呈する、小鉄板。下端のワレの新古は不明。下端の形態はX線で推定。小型鉄錠の可能性あり。
第545図 PL.443	140	素材片(逆 台形状)	2.9	1.6	1.0	0.2												逆台形状を呈する小型鉄板片。下端部は古いワレの可能性あり。小型鉄錠の可能性あり。木質が上部に一部付着している。
第545図 PL.443	141	素材片(逆 台形状)	2.5+	1.2	0.8	0.1												逆台形状を呈する小型鉄板片。下端部のワレはいつか不明。小型鉄錠の可能性あり。
第545図 PL.443	142	素材片(逆 台形状)	2.1+	2.0	1.6	0.2												逆台形状を呈する小型鉄板片。下端部のワレは古い。小型鉄錠の可能性あり。
第545図 PL.443	143	素材片(逆 台形状)	3.1+	2.0	1.9	0.1												逆台形状を呈する小型鉄板片。木質の遺存なし。古いワレである。可能性として、曲刃鎌片の可能性もある。
第545図 PL.443	144	素材片(円 頭状)	2.3	1.1		0.2												上端部が緩いアールを呈する緩円頭状の小鉄板。下端部はほんの少し屈曲しており、折り曲げている可能性がある。
第545図 PL.443	145	素材片(円 頭状)	2.5	1.0		0.1												円頭状で長方形を呈する鉄板片。下端は古いワレで切断か破損の可能性あり。下端左隅に屈曲あり。折り曲げている可能性あり。
第545図 PL.443	146	素材片(円 頭状)	1.8+	1.3		0.1												円頭状の長方形を呈する鉄板片。下端は古いワレで切断か破損の可能性あり。
第545図 PL.443	147	素材片(円 頭状)	1.5+	1.5+		0.5												板状の小鉄片で、円頭状を有する。それ以外の辺は新しいワレで本来の形態不明。鉄かと思われる留金具状のものが隅角にあり、木質も付着している。何らかの部品の一部分の可能性もある。
第545図 PL.443	148	素材片(円 頭状)	1.1+	1.6		0.2												円頭状の破片。下部は新しいワレで本来の形は不明。
第545図 PL.443	149	素材片(円 頭状)	1.6	(2.2)		0.2												半円形状を呈する小鉄片。2つに新しく割れており、本来の巾は不明。穿孔の有無不明。木質の付着はない。あるいは穂積具の小型品の可能性もある。
第545図 PL.443	150	素材片(円 頭状)	2.8+	1.5	0.8	0.1												円頭状で、下部右側に挟りが入り、少し細くなる。古いワレが下端部にある。
第545図 PL.443	151	素材片(偏 円頭状)	2.7	1.5	0.7	0.1												偏円頭状で、右側が少し挟れて細くなる。本来がこの形である。穿孔が1つあり、主軸方向全体に弱い屈曲がある。
第545図 PL.443	152	素材片(三 角形状)	1.6+	1.3	0.9	0.1												三角形の小鉄板片。先端は古いワレ。裁断された鉄板破片か？
第546図 PL.443	153	素材片(三 角形状)	1.8		1.4+	0.1												三角形の小鉄板片。先端は古いワレ。下半部は新しいワレ。裁断された鉄板破片か？
第546図 PL.443	154	素材片(三 角形状)	2.4	1.7	0.1													三角形の小鉄板片。短茎鎌に付着しており、茎の根ばさみの木質が本体に付着している。裁断された鉄板破片か？
第546図 PL.443	155	素材片(三 角形状)	2.4+	0.8	0.5	0.1												三角形の小鉄板片。先端は新しいワレ。穿孔を体部下半部で確認。裁断された鉄板破片か？
第546図 PL.443	156	素材片(三 角形状)	2.1+	1.2	0.8	0.1												少し崩れた三角形を呈する省鉄板片。上端右側に斜めに屈曲している。折り曲げている可能性が高い。三角形部上部は、古いワレで、下端は新しいワレである。
第546図 PL.443	157	素材片(三 角形状)	1.6+	1.0	0.2													小型刀子茎破片？破断面は古いので破損品か切断の可能性あり。木質が一部付着している。白玉も着している。

挿図 PL.No.	No.		法量														
			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬		
第546図 PL.443	158	素材片(厚板状)	1.2+	2.2+	0.3												やや厚みのある板状素材片。曲柄の破片の可能性もあり。木質の遺存なし。
第546図 PL.443	159	素材片(厚板状)	2.8+	1.9+	0.3												やや厚みのある、長方形の鉄板片。四辺がワレしており、本来の形態不明。長辺方向が湾曲している。
第546図 PL.443	160	素材片(厚板状)	2.2+	1.5+	0.4												やや厚みのある板状片。剥離激しくはっきりとしない。木質等の付着はない。刀子茎の可能性あり。
第546図 PL.443	161	素材片(細片板状)	1.1+	1.0+	0.1												小鉄板片。厚さ1mmほどで、木質が付着する。製品の破損品か？
第546図 PL.443	162	素材片(細片板状)	0.8+	0.6+	0.1												剥離片か？
第546図 PL.443	163	素材片(細片板状)	1.0+	0.55	0.1												小鉄板片。厚さ1mmほどである。剥離片か？
第546図 PL.443	164	素材片(細片板状)	0.8+	1.9+	0.1												小鉄板片。四辺古いワレの可能性あり。錆が出ていないので、もしかしたら石か？
第546図 PL.443	165	素材片(細片板状)	0.9	1.05	0.75	0.1											不定形状の鉄板片。可能性として、小型の短茎腸状三角形鏃の可能性ある。
第546図 PL.443	166	素材片(細片板状)	1.5	0.9	0.1												小鉄板片。錆がひどく外形が不明だが、完結している可能性あり。少し内湾している。有機質の付着がある。
第546図 PL.443	167	素材片(棒板状)	1.9	0.9	0.2												厚さ2mmほどの長方形の棒板状品。完結していると想定。
第546図 PL.443	168	素材片(棒板状)	3.1	0.7	0.3	0.3											一方がやや細くなる、厚さ3mmほどの棒板状品。断ち切っているか不明。
第546図 PL.443	169	素材片(棒板状)	6.4	1.1	0.4												4mmと厚みのある長方形の棒板状品。完結している。下部に一部木質付着痕跡がある。
第546図 PL.443	170	素材片(棒板状)	0.9+	0.5	0.3												厚さ3mmほどの棒板状品。下端部は古いワレである。
第546図 -	171	素材片(棒板状)	1.3+	0.6	0.2												厚さ2mmほどの長方形の棒板状品。上辺は古いワレ。上辺近くがやや屈曲している。
第546図 -	172	素材片(棒板状)															上部は新しいワレか？木質か有機質の付着あり。棒板状品の可能性高い。鏃の茎の可能性もある。
第546図 PL.443	173	素材片(棒板状)	3.9+	0.55	0.2												厚さ2mmほどの扁平棒状鉄片。先端が斜辺であるが、古いワレの可能性が高く、切断の痕跡の可能性あり。下端は新しいワレで本来の形態不明。体部にほんの少し木質が付着している。
第546図 PL.443	174	素材片(棒板状)	4.6	0.9	0.6	0.3											厚さ3mmほどの棒板状品。両端が切断されてような形態を取る。下端は振じれ屈曲している。
第546図 PL.443	175	鉄滓	0.2	0.2	0.15												径1.5mmほどの円粒。粒状滓の可能性あり。
第546図 PL.443	176	鉄滓	0.7	0.5	0.4												径5mmほどの滓
第546図 PL.443	177	鉄滓	1.1	1.0	0.5												径1cmほどの滓
第546図 PL.443	178	鉄滓	0.7	0.6	0.5												径7mmほどの表面滑らかな滓
第546図 PL.443	179	鉄滓	0.9	0.8	0.7												径9mmほどの滓
第546図 PL.443	180	鉄滓	1.2	1.1	0.6												径1.3mmほどの滓
第546図 PL.443	181	鉄滓	1.0	1.3	0.7												径7mmほどの滓
第546図 PL.443	182	鉄滓	1.0	1.0	0.9												径9mmほどの滓。球頭状を呈する。
第546図 PL.443	183	鉄滓	4.7	3.8	1.8												巾4.8cmの大形滓。

31号溝

挿図 PL.No.	No.	種器 種類	出土位置 残存率	計測値		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
第555図 -	1	土師器 杯(A)	1/4	口 高	12.9 4.8		細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部と底部はヘラ削り、器面磨滅のため単位不明。内面はヘラ磨きか、単位不鮮明。	AⅡ④c
第555図 PL.446	2	土師器 杯(A)	1/3	口 高	14.4 5.6		細砂粒/良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部はヘラ削り。内面は斜放射状ヘラ磨き、器面が荒れており単位等不鮮明。	AⅡ②b
第555図 PL.446	3	土師器 杯(A)	1/3	口 高	14.8 6.0		細砂粒/良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	AⅠ②b
第555図 -	4	土師器 杯(A)	口縁部～体部小片	口	12.0		細砂粒/良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部は手持ちヘラ削り。	AⅠ
第555図 -	5	土師器 杯(A)	口縁部～体部小片	口	14.0		細砂粒/良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部は手持ちヘラ削り。	AⅢ
第555図 -	6	土師器 杯(A)	口縁部～体部小片	口	12.0		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はヘラ削り、口縁部下の一部にナデ部分が残る。内面は体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	AⅡ
第555図 -	7	土師器 杯(B)	1/4	口 最	12.8 13.3	高 5.0	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部と底部はヘラ削り、器面磨滅のため単位不明。内面は体部から口縁部にやや左傾の斜放射状ヘラ磨き。	BⅠ②c
第555図 PL.446	8	土師器 杯(B)	1/2	口 最	11.9 12.5		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上位がナデ、中位から底部は手持ちヘラ削り。内面は斜放射状ヘラ磨きか、器面磨滅のため単位不明。	BⅠ③

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴			備考	
第555図 PL.446	9	土師器 杯(B)	1/2	口 最	12.2 12.8		細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に左傾の斜放射状、上半から口縁部は器面剥落のため不明。			B I	
第555図 PL.446	10	土師器 杯(C)	1/2	口 稜	11.9 12.2		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。口唇端部は丸みをもつくり。			C I ③b	
第555図 -	11	土師器 杯(C)	1/4	口 稜	11.9 12.0		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り、器面磨滅のため単位不明。口唇端部は丸みをもつくり。			C I ③b	
第555図 -	12	土師器 杯(C)	口縁部～体部片	口 稜	13.0 12.6		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。口唇端部は丸みをもつくり。			C II ①b	
第555図 -	13	土師器 杯(D)	1/4	口	11.9		細砂粒/良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部はヘラ磨き、器面磨滅のため単位不明。内面は左傾の斜放射状ヘラ磨き。			D III	
第555図 -	14	土師器 高杯	脚部～杯身部底 部	脚	9.0		細砂粒/良好/にぶ い赤褐	杯身と脚部は接合。杯身部底部はヘラ削り、脚部はヘラ磨き、単位不鮮明。内面は杯身部はヘラ磨きか、脚部はヘラナデ、端部は横ナデ。			杯身部内面は 黒色処理。	
第555図 PL.446	15	土師器 高杯	脚部片	脚	9.5		細砂粒/良好/明赤 褐	杯身部と脚部は接合。脚部は杯身部との接合部から端部への放射状ヘラ磨き。内面は脚部がヘラナデ、端部は横ナデ。				
第555図 -	16	土師器 高杯	脚部	脚	10.6		細砂粒/良好/明赤 褐	脚部は貼付、内外面ともヘラ磨き、外面は器面磨滅のため単位不明。				
第555図 -	17	土師器 高杯	脚部～杯身部底 部				細砂粒/良好/にぶ い橙	杯身部と脚部は接合。杯身部から脚部は縦方向のヘラ磨き。内面は脚部がヘラナデ。				
第555図 -	18	土師器 高杯	脚部	脚	9.4		細砂粒/良好/明赤 褐	杯身部と脚部は接合。脚部はヘラナデ、裾部は横ナデ。内面は脚部がヘラナデ、裾部は横ナデ。内外面とも使用が激しかったのか擦り磨かれた状態である。				
第555図 PL.446	19	土師器 脚付椀	体部下位片				細砂粒/良好/にぶ い橙	身部と脚部は接合か。内・外面はヘラナデ。				
第555図 -	20	土師器 高杯	脚部～杯身部底 部				細砂粒/良好/にぶ い橙	杯身部と脚部は接合。杯身部から脚部は縦方向のヘラナデか、単位不鮮明。内面は脚部がヘラナデ。			外面は赤色塗 彩。	
第555図 PL.446	21	土師器 椀	口縁部～底部 1/2	口 底	14.6 7.5	高 8.4	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部はヘラ削り。内面体部は口縁部下が横方向、その下位は2段の斜放射状ヘラ磨き。			B I	
第555図 -	22	土師器 椀	口縁部～胴部片	口	18.4		細砂粒/良好/灰黄 褐	口縁部は横ナデ、体部はヘラ磨き。内面は体部がヘラナデ、器面は使用による擦り磨きがみられる。			C	
第555図 -	23	土師器 甕	底部～体部下位 片	底 孔	5.0 1.2		細砂粒/良好/にぶ い黄橙	底部・体部ともヘラ磨き。内面はヘラナデ。				
第555図 -	24	土師器 甕	口縁部～頸部片	口	19.6		細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ。内面口縁部は横ナデ、胴部はヘラナデ。				
第555図 -	25	土師器 小型甕	口縁部～頸部小 片	口	14.0		細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は内外面とも横ナデ。口唇端部は平坦面をつくり、口縁部下位に段を有す。				
第555図 -	26	土師器 甕	口縁部～頸部片	口	15.6		細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ。内面胴部はヘラナデ。				
第555図 -	27	土師器 甕	口縁部片	口	18.0		細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ。				
第556図 -	28	土師器 甕	底部	底	11.4		細砂粒/良好/橙	内面に輪積み痕が残る。底部・体部ともヘラ削りか、器面磨滅のため単位不明。内面はヘラナデ。				
第556図 -	29	土師器 甕	底部	底	7.4		細砂粒/良好/にぶ い褐	底部はヘラ削り、器面磨滅のため単位不明。内面はナデ、内面の周縁部には胴部の輪積み痕が残る。				
第556図 -	30	須恵器 杯蓋	天井部片	稜	11.0		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形。天井部中ほどは手持ちヘラ削り。				
第556図 PL.446	31	須恵器 杯身	1/4	口 蓋受	11.6 14.2	高 5.2	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転ヘラ削り。				
第556図 -	32	須恵器 瓶	胴部片				細砂粒/還元焰/灰	外面にはカキ目。内面はナデ。				
第556図 -	33	須恵器 甕	胴部片				細砂粒/還元焰/灰	外面は格子目状叩き痕が残る。内面はナデ。				
第556図 -	34	須恵器 甕	胴部小片				細砂粒/還元焰/灰	外面は格子目状叩き痕、内面は同心円状アテ具痕が残る。				
第556図 -	35	須恵器 甕	胴部片				細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/黄灰	外面には平行叩き痕、内面には同心円状アテ具痕が残る。				
第556図 -	36	須恵器 甕	胴部片				細砂粒/還元焰/灰	外面には平行叩き痕、内面には同心円状アテ具痕が残る。				
第556図 PL.446	37	石製品 白玉	完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.3 0.22	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり表面には擦痕は認めらる。側面は斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。			

4号道

挿図 PL.No	番号	取上番号	長径	短径	高さ	重量g	残存	形状	備考
第558図 PL.446	1	S-1	3.0+	2.8+	2.3+	9.5+	破片		

3号畠

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴			備考
第559図 -	1	須恵器 甕	胴部片				細砂粒/還元焰/灰 黄	外面には平行叩き痕が残る。内面はヘラナデ。			

1号祭祀遺構

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
				口	高	厚				
第562図 PL.446	1	土師器 杯(A)	2/3	口	13.6		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部はヘラ削り。内面は体部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	A I ③	
第562図 PL.446	2	土師器 杯(A)	1/3	口	11.7		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部と底部はヘラ削り、体部は器面磨滅のため単位不明。内面はヘラ磨きか、単位不鮮明。	A II ④	
第562図 -	3	土師器 杯(A)	1/4	口	15.6		細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部はヘラ削り。内面は体部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	A I ③	
第562図 -	4	土師器 杯(A)	口縁部～底部片	口	14.0		細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部はヘラ削り。内面は体部に斜放射状ヘラ磨き、体部上半は器面磨滅のため不明。	A IV ②	
第562図 PL.446	5	土師器 杯(B)	3/4	口 最	10.9 12.4	高 5.8	細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部下半に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	B III ③a	
第562図 PL.446	6	土師器 杯(B)	1/2	口 最	11.7 12.4	高 5.0	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい橙	口縁部は横ナデ、体部から底部はヘラ削り。内面は体部から口縁部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	B II ③b	
第562図 PL.446	7	土師器 杯(B)	口縁部片	口 最	11.5 12.3		細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。内面は体部上半から口縁部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	B I ③	
第562図 -	8	土師器 杯(B)	口縁部～体部上 半片	口 最	11.8 12.2		細砂粒/良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上位がナデ、中位がヘラ削り。内面は体部から口縁部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	B I ③	
第562図 -	9	土師器 杯(C)	口縁部～体部片	口 稜	11.9 11.9		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。口唇端部は平坦面をつくる。	C II ③a	
第562図 -	10	土師器 杯(C)	口縁部～底部片	口 稜	13.8 13.6		細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。口唇端部は平坦面をつくる。	C II ①a	
第562図 PL.446	11	土師器 杯(C)	1/3	口 稜	12.8 13.0		細砂粒/良好/にぶ い褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。口唇端部は丸みをもつくり。	C I ②b	
第562図 -	12	土師器 高杯	脚部～杯身底部	脚	9.0		細砂粒/良好/橙	杯身部と脚部は接合。脚部と杯身底部は横ナデ。体部はヘラナデ。内面は杯身部位部が横ナデ、底部はヘラ磨き、単位不鮮明。脚部はヘラナデ。	杯身部内面は 黒色処理。	
第562図 -	13	土師器 壺	口縁部～胴部上 位片	口	24.0		細砂粒/良好/明赤 褐	内面胴部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、胴部はナデ。内面は頸部から胴部がヘラナデ。	A	
第562図 -	14	土師器 壺	口縁部片	口	15.8		細砂粒/良好/橙	口縁部は内外面とも横ナデ、内面は器面剥落部分があり。		
第563図 -	15	土師器 小型甕	口縁部～胴部上 位片	口	11.0		細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り後ヘラナデ。内面胴部はヘラナデ。		
第563図 -	16	土師器 甕	口縁部片	口	15.0		細砂粒/良好/灰黄 褐	口縁部は横ナデ。		
第563図 -	17	土師器 甕	口縁部～頸部片	口	16.2		細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部から頸部は横ナデ。内面は胴部にヘラナデ。		
第563図 -	18	土師器 甕	口縁部～胴部上 位片	口	16.6		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラナデ。内面は胴部がヘラナデ。		
第563図 -	19	土師器 甕	口縁部片	口	16.7		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、外面には放射状ヘラ磨き。内面は口縁部に斜放射状ヘラ磨き、大部分は器面磨滅のため単位不明、頸部は横方向のヘラ磨き。		
第563図 -	20	土師器 甕	口縁部～胴部上 位片	口	19.8		細砂粒/良好/浅黄 橙	口縁部は横ナデ、胴部はヘラナデ。内面も同様。		
第563図 -	21	土師器 甕	底部～胴部下半	胴 底	19.4 6.0		細砂粒/良好/にぶ い黄橙	内面胴部に輪積み痕が残る。底部と胴部はヘラ削り。内面はヘラナデ。		
第563図 -	22	土師器 甕	胴部片	胴	33.0		細砂粒/良好/赤褐	外面はヘラ削り、器面が荒れており単位不明。内面はヘラナデ、内面も外面と同様。		
第563図 PL446	23	須恵器 杯蓋	1/4	口 稜	12.8 12.4		細砂粒/還元焰/暗 灰黄	ロクロ整形、回転方向不明。天井部は中程まで回転ヘラ削り。		
第563図 -	24	須恵器 杯身	口縁部～体部片	口 稜	10.8 10.7		細砂粒/還元焰/褐 灰	ロクロ整形。底部中ほどは回転ヘラ削り。		
第563図 -	25	須恵器 杯身	体部片				細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形。		
第563図 -	26	須恵器 高杯	杯身部口縁部 1/4	口	16.3		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形。体部に2段の小凸帯が巡る。内面はヘラナデ。		
第563図 PL446	27	須恵器 高杯	脚部	脚	10.1		細砂粒/還元焰/暗 灰黄	ロクロ整形、回転右回りか。杯身部とは接合。脚部に3カ所の透孔。		
第563図 -	28	須恵器 高杯	杯身部口縁部小 片				細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形。		
第563図 -	29	須恵器 甕	口縁部片				細砂粒/還元焰/オ リーブ灰	ロクロ整形。内外面に降灰が付着。		
第563図 PL446	30	須恵器 甕	口縁部片				細砂粒/還元焰/暗 灰	ロクロ整形。口縁部は2条の断面三角形の凸帯によって区画、最上段の区画は2段の波状文が巡る。	5面1建物67と 同一個体か。	
第563図 PL446	31	須恵器 甕	胴部片				細砂粒/還元焰/黄 灰	外面には平行叩き痕、内面には同心円状アテ具痕が残る。外面に降灰が付着。		
第563図 PL446	32	須恵器 甕	胴部片				細砂粒/還元焰/黄 灰	外面には平行叩き痕、内面には同心円状アテ具痕が残る。外面に降灰が厚く付着。		
第563図 -	33	須恵器 甕	胴部小片				細砂粒/還元焰/灰	外面は平行叩き後間隔をあけてカキ目が巡る。内面は同心円状アテ具痕がかすかに残る。		
第563図 PL447	34	石製品 白玉	完形	長 幅	0.7 0.6	厚 重	0.4 0.25	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央にわずかな張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第563図 PL447	35	石製品 白玉	完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.4 0.21	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央にわずかな張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				長幅	厚	高			
第563図 PL.447	36	礫石器 敲石	完形	12.5 6.3	6.5 747.9		粗粒輝石安山岩	棒状の円礫を利用する。下端部に磨面が認められ側面部との境界に稜が形成される。下端部には敲打痕も散在する。	
第563図 PL.447	37	礫石器 磨石	完形	12.1 6.8	3.4 440.6		粗粒輝石安山岩	扁平な円礫を利用する。表裏面のほぼ全面に磨面が認められる。ほぼ全面にわたり黒変しており受熱等の可能性がある。	
第563図 PL.447	38	礫石器 磨石	完形	20.4 7.3	4.9 1059.9		粗粒輝石安山岩	棒状の円礫を利用する。表面のほぼ全面に磨面が認められる。	
第563図 PL.447	39	礫 棒状礫	完形	13.8 5.1	4.3 488.4		変質安山岩	棒状の垂角礫。赤色物質の付着は認められない。表裏面と両側面のほぼ全面にわたり磨面が認められる。	

2号祭祀

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口	口	脚			
第566図 -	1	土師器 杯(A)	口縁部～底部片	13.1			細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に放射状ヘラ磨き。	AIV
第566図 -	2	土師器 杯(A)	口縁部～体部片	13.8			細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は横ナデ、体部はヘラ削り。内面は体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	AIV
第566図 -	3	土師器 杯(C)	口縁部～体部片	13.8 12.6			細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)は手持ちヘラ削り。口唇端部は丸みをもつ作り。	CII
第566図 -	4	土師器 高杯	脚部裾部小片	14.4			細砂粒/良好/明赤 褐	外面は斜放射状ヘラ磨き。内面はヘラナデ。	
第566図 -	5	土師器 高杯	脚部片				細砂粒/良好/にぶ い赤褐	外面はナデ、内面はヘラナデ。	
第566図 -	6	土師器 埴	口縁部1/2	10.0			細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、頸部付近はヘラナデ。	
第566図 PL.447	7	土師器 埴	底部～胴部2/3	6.1 14.4			細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	外面は器面が荒れており整形不鮮明。内面は頸部下にナデ。	
第566図 PL.447	8	土師器 小型甕	3/4	10.8 12.8	底高 3.6 14.1		細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部と底部はヘラナデ。内面は底部から胴部がヘラナデであるが詳細不鮮明。	AI①
第566図 PL.447	9	土師器 小型甕	2/3	13.0 14.0	底高 5.0 14.2		細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部上位と中位はヘラナデ、下位と底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	AI①
第566図 PL.447	10	土師器 小型甕	口縁部～胴部上 半の一部欠損	9.7 14.2	底高 5.0 14.1		細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい赤褐	口縁部は横ナデ、胴部上位はヘラナデ、中位から下位はヘラ削り、底部もヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	AI①
第566図 PL.447	11	土師器 甕	胴部～底部1/3 欠損	17.7 21.4	底高 7.1 24.1		細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ、胴部から底部派ヘラ磨き、胴部上半は器面磨滅のため単位不明。内面は底部から胴部がヘラナデ。	A②
第567図 PL.448	12	土師器 壺	口縁部一部欠損	17.6 26.6	底高 6.2 31.7		細砂粒/良好/浅黄	口縁部は横ナデ、胴部と底部はヘラ削り、胴部上位・中位はナデ消されている。内面は底部から胴部はヘラナデ。	内面胴部中位に付着物。
第566図 PL.447	13	須恵器 杯蓋	1/4	14.0 13.8			細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/黄灰	ロクロ整形、回転右回りか。天井部は中ほどまで回転ヘラ削り。	
第566図 -	14	須恵器 甕	口縁部小片				細砂粒/還元焰/黄 灰	断面三角形の凸帯が2段巡る。	
第566図 -	15	須恵器 杯蓋	天井部小片				細砂粒/還元焰/黄 灰	ロクロ整形、外面の整形不鮮明。	
第567図 PL.448	16	須恵器 甕	胴部片				細砂粒/還元焰/黄 灰	外面は平行叩き後間隔をあけたヘラナデ、内面には同心円状アテ具痕が残る。外面は降灰が付着。	
第567図 PL.448	17	石製品 白玉	4/5	0.5 (0.4)	厚 0.3 0.09		蛇紋岩	緑黒色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。側面には斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第567図 PL.448	18	礫 粒状礫	完形	2.0 1.4	厚 0.9 3.3		赤碧玉	暗赤褐色。極円礫。全体的に光沢がある。	

1号平地建物

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口	口	高			
第573図 PL.448	1	土師器 杯(A)	2/3	13.9			細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部はヘラ削り。内面は恥部に斜放射状ヘラ磨き。	AIII③
第573図 -	2	土師器 杯(A)	口縁部～体部片	13.8			細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上位と中位がナデ、下位から底部はヘラ削り。内面体部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	AII
第573図 PL.448	3	土師器 杯(A)	3/4	15.8 6.3	高		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上位がナデ、中位から底部はヘラ削り。内面は器面磨滅のため整形不鮮明。	AII①b
第573図 PL.448	4	土師器 杯(B)	3/4	11.9 12.4	高	5.4	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部はヘラ削り。内面は体部から口縁部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	BI③b
第573図 PL.448	5	土師器 杯(B)	3/4	11.8 12.6	高	5.7	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は上半が横ナデ、下半がナデ、体部から底部はヘラ削り。内面は体部から口縁部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	BI③b
第573図 -	6	土師器 杯(B)	1/3	10.8 12.1			細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部はヘラ削り。内面は体部から口縁部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	BII③
第573図 PL.448	7	土師器 杯(C)	3/4	11.8 10.6	高	5.3	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。口唇端部は平坦面をつくる。	CII③a
第573図 PL.448	8	土師器 杯(C)	一部欠損	11.8 11.0	高	5.2	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。口唇端部は窪みをもつ平坦面をつくる。	CII③a
第573図 PL.448	9	土師器 甕	底部周辺の大部 分を欠損	24.7 8.5	高	26.3	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄	内外面に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面はヘラナデ。	B
第573図 -	10	土師器 小型甕	底部～胴部下 半	6.4			細砂粒/良好/にぶ い橙	底部はヘラ削り、胴部はヘラ削り後ヘラ磨きか、器面磨滅のため不鮮明。内面はヘラナデ。	
第573図 PL.449	11	土師器 甕	胴部片				細砂粒/良好/にぶ い黄橙	外面はヘラ磨き、内面はヘラナデ後一部にヘラ磨き。	
第573図 PL.449	12	須恵器 杯蓋	3/4	12.0 11.8	高	5.0	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。稜に1条の凹線が巡る。天井部中ほどまでは回転ヘラ削り。	
第573図 PL.449	13	須恵器 杯身	2/3	11.8 14.0	高	4.8	細砂粒/還元焰/明 オリーブ灰	ロクロ整形、回転右回りか。底部から体部下半は回転ヘラ削り。	

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第573図 PL.449	14	須恵器 高杯	脚部～杯身底部片	脚	11.0		細砂粒/還元焰/灰白	杯身部と脚部は接合、脚部に透かしが3カ所。ロクロ整形、回転方向不明。杯身底部は回転ヘラ削り。	

2号平地建物

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考									
第575図 PL.449	1	土師器 杯(A)	完形	口高	13.2 5.2		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部はヘラ削り。内面の整形は付着物のため不明。	AIV③b内面にベンガラ充填。									
第575図 PL.449	2	土師器 杯(B)	一部欠損	口最	10.8 12.0	高 5.8	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	BII③a									
第575図 PL.449	3	土師器 高杯	脚部	脚	11.4		細砂粒/良好/橙	杯身部と脚部へ接合。杯身部との接合部はヘラナデ、その他は内外面磨滅のため整形不明。										
第575図 PL.449	4	石製品 白玉	完形	長幅	0.7 0.7	厚重 0.3 0.25	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり表面にはわずかに擦痕が認められる。側面は中央にわずかな張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。										
第575図 PL.449	5	石製品 白玉	完形	長幅	0.7 0.7	厚重 0.4 0.26	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約3mm。										
挿図 PL.No.	No.	法量																
第575図 PL.449	6	曲刃鎌	14.2	3.1	0.25	1.3												刃先がやや上方にあがった後、先端が屈曲する。刃が少し中央部で研ぎべりしている。曲柄に木質の付着はない。

3号平地建物

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第577図 -	1	土師器 碗	口縁部	口	18.8		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はヘラ削り。内面は体部がヘラナデ。	
第577図 -	2	須恵器 杯蓋	口縁部片	口	13.2		細砂粒/還元焰/暗灰	ロクロ整形、回転方向不明。内面の口唇端部に凹線が巡る。	
第577図 -	3	須恵器 杯蓋	口縁部微細片				細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転方向不明。内面の口唇端部に凹線が巡る。	
第577図 -	4	須恵器 高杯か	口縁部片	口	11.8		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形。体部中位に断面三角形の2条の凸帯が巡る。凸帯下に波状文が巡る。	
第577図 -	5	須恵器 高杯	脚部片	脚	10.8		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形。脚部に3カ所の透孔。端部に凸帯が巡る。	
第577図 -	6	須恵器 高杯	杯身体部片				細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転方向不明。体部中位に2段の段が巡り、その下方に波状文が施されている。	
第577図 -	7	須恵器 甕	口縁部片				細砂粒/還元焰/暗灰	ロクロ整形、回転方向不明。口縁部中位に凹線と断面三角形の凸帯が巡り、その下方に波状文が施されている。	
第577図 -	8	須恵器 不明	微細片				細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形か。	

4号平地建物

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第579図 PL.449	1	土師器 杯(A)	1/4	口	13.8		細砂粒/良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部と底部はヘラ削り。内面は口縁部横ナデ、体部から底部はヘラナデ。	A I
第579図 -	2	土師器 杯(A)	口縁部～体部片	口	13.8		細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部はヘラ削り。内面体部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	A II
第579図 -	3	土師器 杯	口縁部～底部片	口	17.0		細砂粒/良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上位と中位がナデ、下位から底部はヘラ削り。内面体部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	A II
第579図 -	4	土師器 甕	口縁部片	口	19.8		細砂粒/良好/にぶい黄橙	口縁部はハケ目(1cmあたり8本)、頸部は横ナデ。内面は口縁部から頸部に横ナデ。	
第579図 -	5	土師器 甕	底部～胴部下位片	底	6.4		細砂粒/良好/明赤褐	胴部と底部はヘラ削り。内面はヘラナデ。	

10号焼土

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第581図 -	1	土師器 杯(A)	口縁部片	口	14.0		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はナデ。内面は体部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	AIV
第581図 PL.449	2	土師器 小型甕	口縁部～胴部上位片	口胴	11.8 11.0		細砂粒/良好/黄橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラナデか。内面は胴部がヘラナデ。	
第581図 -	3	土師器 甕	口縁部～胴部上位片	口	18.6		細砂粒/良好/明黄褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はナデ。内面は口縁部下位から胴部がヘラナデ。	
第581図 -	4	須恵器 高杯	脚部片	脚	9.8		細砂粒/良好/灰	ロクロ整形。脚部に3カ所の透孔。端部に凸帯が巡る。	

37号集石

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第582図 PL.450	1	土師器 甕	2/3	口胴	18.4 25.5	底高 6.6 33.8	細砂粒/良好/浅黄	口縁部横ナデ、胴部は上位と中位は器面磨滅のため不明、下位はヘラ磨きが残る、底部はヘラ削り。内面は口縁部下位にヘラ磨き、胴部・底部はヘラナデ。	D②
第582図 PL.450	2	土師器 壺	3/4	口胴	18.5 26.8	底高 7.2 33.7	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、胴部は上位と中位がナデ、下位はヘラ削りが残る、底部もヘラ削り。内面胴部はヘラナデ、上半は器面磨滅のため単位不明。	C

7号平地建物

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口	高	厚			
第588図 PL.450	1	土師器 杯(A)	口縁部～体部片	口	13.0		細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部はヘラナデ。内面は体部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	AIV内面は黒色処理。
第588図 -	2	土師器 杯(A)	口縁部～体部片	口	14.6		細砂粒/良好/浅黄橙	口縁部は横ナデ、体部は上位から中位がナデ、下位がヘラ削り。内面は体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	AIV
第588図 -	3	土師器 杯(D)	口縁部～体部片	口	16.0		細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部は横ナデ、体部はヘラ削り。	DIII
第588図 PL.450	4	土師器 杯(B)	3/4	口 最	10.6 11.8	高 5.8	細砂粒/良好/橙	口縁部から体部上位は横ナデ、中位はナデ、下位から底部はヘラ削り。内面は体部から口縁部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	BII③a
第588図 PL.450	5	土師器 杯(B)	1/3	口 最	10.2 11.3		細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。内面は体部中位から口縁部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	BII
第588図 PL.450	6	土師器 杯(B)	1/3	口 最	10.8 12.0	高 5.8	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部上半はナデ、下半から底部はヘラ削り、器面磨滅のため単位不明。内面は底部から体部下半に放射状ヘラ磨き。	BIII③a
第588図 -	7	土師器 杯(B)	口縁部～体部片	口 最	11.1 12.0		細砂粒/良好/橙	口縁部から体部上半は横ナデ、下半から底部はヘラ削り。内面は体部から口縁部に斜放射状ヘラ磨き。	BI
第589図 -	8	土師器 杯(C)	口縁部～体部片	口 稜	10.0 9.0		細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)は手持ちヘラ削り。口唇端部は丸みをもつつくり。	CII
第589図 PL.450	9	土師器 甕	底部片	底 孔	5.0 2.0		細砂粒/良好/にぶい赤褐	底部はヘラ削り、体部もヘラ削りか、器面磨滅のため不鮮明。内面はヘラナデ。	
第589図 -	10	土師器 壺	底部～胴部下位片	底	6.9		細砂粒/良好/にぶい橙	胴部・底部ともヘラナデ、内面も同様。	
第589図 -	11	土師器 小型甕	口縁部～胴部上位小片	口	12.4		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、胴部はヘラナデか、内面は胴部がヘラナデ。	
第589図 PL.450	12	土師器 甕	口縁部～胴部中位片	口 胴	12.0 15.5		細砂粒/良好/橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ磨き。内面はヘラナデ。	
第589図 PL.450	13	土師器 小型甕	頸部～胴部片	頸 胴	13.7 17.2		細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	頸部は横ナデ、胴部はヘラナデ、器面磨滅のため単位不鮮明。内面は胴部がヘラナデ。	
第589図 -	14	土師器 甕	口縁部下半～頸部小片				細砂粒/良好/にぶい黄橙	口縁部は横ナデ。内面は口縁部が横ナデ、胴部はヘラナデ。	
第589図 PL.450	15	須恵器 甕	口縁部～胴部上位片	口	16.8		細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰	口縁部と胴部は接合。口縁部はロクロ整形。口縁部は2条の断面三角形の凸帯によって区画、中位と下位の区画に波状文が巡る。	
第589図 PL.450	16	石製品 白玉	完形	長 幅	0.6 0.6	厚重 0.3 0.20	滑石	灰白色。表面は平坦でなく凹凸が認められる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央にわずかな張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第589図 PL.450	17	石製品 砥石	完形	長 幅	6.5 3.4	厚重 2.3 65.1	砥沢石	砥面は4面認められる。正面と裏面は下方に向かいやや研ぎ減りする。右側面は研ぎ減りによりやや内湾する。孔径約4mm。	

5号祭祀遺構

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口	高	厚			
第591図 PL.451	1	土師器 杯(A)	3/4	口 高	13.0 5.3		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部はヘラ削り。内面は体部に斜放射状ヘラ磨き。	AIII③b
第591図 PL.451	2	土師器 杯(A)	一部欠損	口 高	13.4 5.9		細砂粒/良好/にぶい赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上位がナデ、中位から底部はヘラ削り。内面は底部・体部とも器面磨滅のため整形不明。	AIII③b
第591図 PL.451	3	土師器 杯(A)	2/3	口	13.4		細砂粒/良好/にぶい黄橙	口縁部は横ナデ、体部から底部はヘラ削り。	AII
第591図 PL.451	4	土師器 杯(A)	4/5	口 高	14.8 7.5		細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部上半は横ナデ、下半はナデ、体部から底部はヘラ削り。内面は底部から体部がヘラナデ、器面磨滅のため単位不明。	AII②a
第591図 PL.451	5	土師器 杯(B)	2/3	口 最	12.0 13.0	高 4.8	細砂粒/良好/	口縁部は横ナデ、体部上半はナデ下半から底部はヘラ削り。内面は体部から口縁部に斜放射状磨き。	BIII②c
第591図 PL.451	6	土師器 杯(B)	4/5	口 最	12.2 13.3	高 5.3	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部はヘラ削り。内面は体部から口縁部に斜放射状ヘラ磨き。	BIII②b
第591図 PL.451	7	土師器 杯(B)	5/6	口 最	11.6 12.7	高 5.4	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	BI③b
第591図 PL.451	8	土師器 杯(B)	3/4	口 最	12.1 12.5	高 6.2	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。内面は体部から胴部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	BI②a
第591図 PL.451	9	土師器 杯(B)	3/4	口 最	12.4 13.3	高 5.9	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部はヘラ削り。内面は体部から口縁部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	BII②b
第591図 PL.451	10	土師器 杯(B)	口縁部1/4欠損	口 最	13.5 14.3	高 5.7	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部はヘラ削り。内面は体部から口縁部に斜放射状ヘラ磨き。	BII①b
第591図 PL.451	11	土師器 杯(B)	口縁部1/4欠損	口 最	13.3 14.2	高 6.3	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部はヘラ削り。内面は体部上半から口縁部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	BII①b
第591図 -	12	土師器 杯(C)	口縁部～底部片	口 稜	12.5 11.3		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。口唇端部は平坦面をつくる。	CII
第592図 PL.451	13	土師器 埴	3/4	口 頸	7.2 5.6	胴高 14.2 13.9	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部と胴部上位はヘラ磨き、頸部は横ナデ、底部から胴部中位はヘラ削り。内面は口縁部がヘラ磨き、胴部はヘラナデか。	I
第592図 PL.451	14	土師器 壺	ほぼ完形	口 胴	15.4 23.8	底高 7.8 28.6	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部上半はハケ目(1cmあたり3～4本)、下半と底部はヘラ削り。内面は口縁部下半がハケ目、底部から胴部はヘラナデ。	D
第592図 PL.452	15	土師器 壺	一部欠損	口 胴	20.2 31.9	底高 8.7 33.3	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい橙	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り、器面磨滅のため不鮮明、底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	A②

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				底	口	口			
第592図 -	16	土師器 小型壺	底部～胴部下 半片	底	4.7		細砂粒/良好/にぶ い黄橙	底部はヘラ削り、胴部はヘラ磨き、器面磨滅のため単位不 明。内面は底部から胴部がヘラナデ。	
第592図 -	17	土師器 甕	口縁部～胴部上 位片	口	19.8		細砂粒/良好/浅黄 橙	内面胴部に輪積み痕が残る。口縁部はヘラナデ、胴部はハ ケ目(1cmあたり本6～8)が残る。内面は口縁部が横ナデ、 胴部はヘラナデ。	
第593図 PL.451	18	石製品 勾玉	完形	長 幅	2.1 1.4	厚 重	0.7 2.5	蛇紋岩	緑黒色。全体的に丁寧に研磨整形されている。孔径約 3mm。
第593図 PL.451	19	石製品 石製模造品 (勾玉形)	完形	長 幅	2.8 1.7	厚 重	0.7 4.7	滑石	灰白色。孔径約1.5mm。裏面では孔の周辺部が同心円状に 窪んでいる。
第593図 PL.451	20	石製品 石製模造品 (勾玉形)	完形	長 幅	2.8 1.8	厚 重	0.6 5.1	滑石	濃灰色。表面は横方向の擦痕が、裏面は斜め方向の擦痕が 主体的である。孔径約2mm。
第593図 PL.451	21	石製品 石製模造品 (有孔円板)	完形	長 幅	2.7 3.0	厚 重	0.4 4.0	緑色片岩	暗緑灰色。表面は縦方向の擦痕が目立つ。孔径約2mm。
第593図 PL.451	22	石製品 石製模造品 (剣形)	4/5	長 幅	(6.1) 2.7	厚 重	0.4 11.0	緑色片岩	灰オリーブ色。表裏面ともに斜め方向の擦痕が主体的であ る。孔径約2mm。
第593図 PL.452	23	石製品 石製模造品 (剣形)	2/3	長 幅	(3.2) (1.3)	厚 重	0.4 2.8	滑石	灰白色。表面は多方向の擦痕が認められ、裏面は横方向の 擦痕が主体的である。上部の孔径約1.5mm。
第593図 PL.452	24	石製品 石製模造品 (剣形)	完形	長 幅	3.8 1.6	厚 重	0.4 3.1	滑石	灰白色。上下部の孔径約1.5mm。上下部の孔はともに表面 側で孔の周辺が窪んでおり、裏面からの穿孔によって表面 側に孔が通る際に生じた痕跡と考えられる。
第593図 PL.452	25	石製品 石製模造品 (剣形)	完形	長 幅	3.4 1.5	厚 重	0.4 2.9	滑石	灰白色。表裏面ともに多方向の擦痕が認められる。上下部 の孔径約1.5mm。
第593図 PL.452	26	石製品 白玉	完形	長 幅	0.5 0.5	厚 重	0.4 0.13	滑石	灰白色。表裏面は平坦でなく凹凸が認められる。側面は斜 め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第593図 PL.452	27	石製品 白玉	完形	長 幅	0.5 0.5	厚 重	0.4 0.12	滑石	灰色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面 は明瞭な張りがあり横方向の擦痕が認められる。孔径約 2mm。
第593図 PL.452	28	石製品 白玉	完形	長 幅	0.4 0.5	厚 重	0.3 0.06	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。 側面は斜め方向の擦痕が認められる。孔の内面には階段状 のステップが認められ裏面側の孔径がわずかに小さい。孔 径約2mm。
第593図 PL.452	29	石製品 白玉	完形	長 幅	0.5 0.5	厚 重	0.4 0.11	蛇紋岩	暗緑灰色。表裏面はほぼ平坦であり表面にはわずかに擦痕 が認められる。側面は中央にわずかな張りがあり横方向の 擦痕が認められる。孔径約2mm。
第593図 PL.452	30	石製品 白玉	完形	長 幅	0.5 0.5	厚 重	0.4 0.12	滑石	灰色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。裏面 は平坦でなく凹凸が認められる。側面は中央にわずかな張 りがあり縦方向と横方向の擦痕が混在する。孔径約2mm。
第593図 PL.452	31	石製品 白玉	完形	長 幅	0.5 0.5	厚 重	0.4 0.15	滑石	灰色。表面は平坦でなく凹凸が認められる。裏面はほぼ平 坦であるが擦痕は認められない。側面は中央にわずかな張 りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第593図 PL.452	32	石製品 白玉	完形	長 幅	0.5 0.5	厚 重	0.3 0.10	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認めらる。 裏面は平坦でなく凹凸が認められる。側面は横方向の擦痕 が認められる。孔径約2mm。
第593図 PL.452	33	石製品 白玉	完形	長 幅	0.5 0.5	厚 重	0.4 0.13	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。 側面は斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第593図 PL.452	34	石製品 白玉	完形	長 幅	0.5 0.5	厚 重	0.3 0.09	滑石	灰白色。表面は平坦でなく凹凸が認められる。裏面はほぼ 平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央にわずかな 張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第593図 PL.452	35	石製品 白玉	完形	長 幅	0.6 0.5	厚 重	0.4 0.12	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。裏 面は平坦でなく凹凸が認められる。側面は中央にわずかな 張りがあり横方向の擦痕が認められる。孔の内面は階段状 のステップが認められ表面側の孔径はわずかに小さい。孔 径約2mm。
第593図 PL.452	36	石製品 白玉	完形	長 幅	0.5 0.5	厚 重	0.5 0.16	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認めらる。 裏面は平坦でなく凹凸が認められる。側面は中央にわずかな 張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第593図 PL.452	37	石製品 白玉	完形	長 幅	0.4 0.4	厚 重	0.3 0.37	滑石	暗オリーブ灰色。側面は中央に明瞭な張りがあり稜を形成 し斜め方向の擦痕が認められる。孔径約3mm。
第593図 PL.452	38	石製品 白玉	完形	長 幅	0.5 0.5	厚 重	0.4 0.14	蛇紋岩	緑黒色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。裏 面は平坦でなく凹凸が認められる。側面は中央にわずかな 張りがあり横方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第593図 PL.452	39	石製品 白玉	完形	長 幅	0.5 0.5	厚 重	0.3 0.12	蛇紋岩	暗オリーブ灰色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認 めらる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。側面は中央 に明瞭な張りがあり横方向の擦痕が認められる。孔径約 2mm。
第593図 PL.452	40	石製品 白玉	完形	長 幅	0.5 0.5	厚 重	0.3 0.13	滑石	灰白色。表面は平坦でなく凹凸が認められる。裏面はほぼ 平坦であるが擦痕は認められない。側面は横方向の擦痕が認 められる。孔径約2mm。
第593図 PL.452	41	石製品 白玉	ほぼ完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.3 0.13	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり表面には擦痕がわずかに 認めらる。側面は横方向の擦痕が認められる。孔径約 2mm。
第593図 PL.452	42	石製品 白玉	完形	長 幅	0.5 0.5	厚 重	0.3 0.11	滑石	灰色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。裏面 は平坦でなく凹凸が認められる。側面は中央にわずかな張 りがある。孔径約2mm。
第593図 PL.452	43	石製品 白玉	完形	長 幅	0.5 0.5	厚 重	0.3 0.07	蛇紋岩	緑黒色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。 側面は横方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。
第593図 PL.452	44	石製品 白玉	完形	長 幅	0.5 0.5	厚 重	0.3 0.09	滑石	灰色。表裏面は平坦でなく凹凸が認められる。側面は縦方 向の擦痕が認められる。孔径約2mm。

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				長幅	厚	重			
第593図 PL.452	45	石製品 白玉	完形	0.6 0.6	0.4 0.20	滑石	灰色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央にわずかな張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。		
第593図 PL.452	46	石製品 白玉	完形	0.5 0.5	0.2 0.06	滑石	灰白色。表裏面は平坦でなく凹凸が認められる。側面は斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。		
第593図 PL.452	47	石製品 白玉	完形	0.5 0.5	0.4 0.13	滑石	オリーブ灰色。表裏面は平坦でなく凹凸が認められる。側面は横方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。		
第593図 PL.452	48	石製品 白玉	完形	0.6 0.6	0.3 0.15	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。側面は横方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。		
第593図 PL.452	49	石製品 白玉	完形	0.6 0.6	0.3 0.12	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔径約2mm。		
第593図 PL.452	50	石製品 白玉	完形	0.5 0.5	0.2 0.05	滑石	暗オリーブ灰色。表面は平坦でなく凹凸が認められる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。孔径約2mm。		
第593図 PL.452	51	石製品 白玉	完形	0.5 0.5	0.4 0.14	滑石	緑黒色。表面は平坦でなく凹凸が認められる。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りがあり稜を形成し斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。		
第593図 PL.452	52	石製品 白玉	完形	0.5 0.5	0.3 0.17	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。側面は中央にわずかな張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。		
第593図 PL.452	53	石製品 白玉	完形	0.5 0.5	0.4 0.13	蛇紋岩	緑黒色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。側面は中央に明瞭な張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。		
第593図 PL.452	54	石製品 白玉	完形	0.5 0.5	0.4 0.12	蛇紋岩	緑黒色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央にわずかな張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。		
第593図 PL.452	55	石製品 白玉	完形	0.5 0.5	0.4 0.14	滑石	オリーブ灰色。表裏面は平坦でなく凹凸が認められる。側面は中央に明瞭な張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。		
第593図 PL.452	56	石製品 白玉	完形	0.5 0.5	0.3 0.06	滑石	灰色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。側面は斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。		
第593図 PL.452	57	石製品 白玉	完形	0.5 0.5	0.3 0.06	滑石	暗オリーブ灰色。表裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔径約2mm。		
第593図 PL.452	58	石製品 白玉	完形	0.5 0.5	0.3 0.11	滑石	灰色。表面は平坦でなく凹凸が認められる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。		
第593図 PL.452	59	石製品 白玉	完形	0.5 0.5	0.3 0.09	滑石	暗緑灰色。表面はほぼ平坦であり擦痕が認められる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。側面は中央に明瞭な張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。		
第593図 PL.452	60	石製品 白玉	完形	0.5 0.5	0.3 0.09	滑石	灰白色。表裏面は平坦でなく凹凸が認められる。側面は横方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。		
第593図 PL.452	61	石製品 白玉	完形	0.5 0.5	0.3 0.10	滑石	暗オリーブ灰色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。側面は中央にわずかな張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。		
第593図 PL.452	62	石製品 白玉	完形	0.6 0.6	0.4 0.20	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央にわずかな張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。		
第593図 PL.452	63	石製品 白玉	完形	0.5 0.5	0.3 0.07	滑石	灰白色。表裏面は平坦でなく凹凸が認められる。側面は斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。		
第593図 PL.452	64	石製品 白玉	完形	0.5 0.5	0.4 0.16	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。		
第593図 PL.452	65	石製品 白玉	完形	0.6 0.5	0.4 0.17	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり表面には擦痕がわずかに認められる。側面は中央にわずかな張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。		
第593図 PL.452	66	石製品 白玉	完形	0.5 0.5	0.2 0.07	蛇紋岩	緑黒色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。孔径約2mm。		
第593図 PL.452	67	石製品 白玉	完形	0.6 0.6	0.4 0.22	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央にわずかな張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。		
第593図 PL.452	68	石製品 白玉	完形	0.6 0.6	0.3 0.13	滑石	灰白色。表裏面は平坦でなく凹凸が認められる。側面は斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。		
第593図 PL.452	69	石製品 白玉	4/5	0.5 0.5	0.3 0.12	滑石	灰白色。表面は平坦でなく凹凸が認められる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央にわずかな張りがある。孔径約2mm。		
第593図 PL.452	70	石製品 白玉	完形	0.5 0.5	0.2 0.07	滑石	暗オリーブ灰色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔径約2mm。		
第593図 PL.452	71	石製品 白玉	完形	0.6 0.6	0.3 0.18	滑石	灰白色。表面は平坦でなく凹凸が認められる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央にわずかな張りがあり横方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。		
第593図 PL.452	72	石製品 白玉	ほぼ完形	0.5 0.5	0.4 0.11	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔径約2mm。		
第593図 PL.452	73	石製品 白玉	4/5	0.5 0.5	0.3 0.09	滑石	灰色。表面は一部剥落が認められる。裏面は平坦であるが擦痕は認められない。孔径約2mm。		
第593図 PL.452	74	石製品 白玉	完形	0.5 0.5	0.4 0.14	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は斜め方向の擦痕がわずかに認められる。孔径約2mm。		
第593図 PL.452	75	石製品 白玉	完形	0.5 0.5	0.3 0.10	滑石	灰色。表裏面は平坦でなく凹凸が認められる。側面は中央にわずかな張りがある。孔径約2mm。		
第593図 PL.452	76	石製品 白玉	完形	0.5 0.5	0.4 0.14	滑石	オリーブ灰色。表裏面は平坦でなく凹凸が認められる。側面は中央にわずかな張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。		

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考							
				長幅	厚	重										
第593図 PL.452	77	石製品 白玉	完形	0.5 0.5	0.3 0.12	滑石	灰色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。孔径約2mm。									
第593図 PL.452	78	石製品 白玉	完形	0.5 0.5	0.3 0.09	滑石	灰色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央にわずかな張りがある。孔径約2mm。									
第593図 PL.452	79	石製品 白玉	完形	0.5 0.5	0.3 0.15	滑石	緑黒色。表裏面は平坦であり表面に擦痕が認められる。側面は中央にわずかな張りがあり横方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。									
第593図 PL.452	80	石製品 白玉	完形	0.6 0.6	0.3 0.15	滑石	灰白色。表裏面は平坦でなく凹凸が認められる。孔径約2mm。									
第593図 PL.452	81	石製品 白玉	完形	0.5 0.5	0.4 0.13	滑石	灰色。表裏面は平坦でなく凹凸が認められる。側面は斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。									
第593図 PL.452	82	石製品 白玉	完形	0.5 0.5	0.3 0.15	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央にわずかな張りがある。孔径約2mm。									
第593図 PL.452	83	石製品 白玉	完形	0.6 0.6	0.4 0.21	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央にわずかな張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。									
第593図 PL.452	84	石製品 白玉	完形	0.5 0.5	0.4 0.12	滑石	灰色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。側面は中央にわずかな張りがあり斜め方向の擦痕がわずかに認められる。孔径約2mm。									
第593図 PL.452	85	石製品 白玉	完形	0.6 0.6	0.4 0.16	滑石	暗オリーブ灰色。表裏面は平坦であり表面に擦痕が認められる。側面は中央にわずかな張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。									
第593図 PL.452	86	石製品 白玉	完形	0.5 0.5	0.3 0.09	蛇紋岩	緑黒色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央にわずかな張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。									
第593図 PL.452	87	石製品 白玉	完形	0.6 0.5	0.4 0.17	蛇紋岩	緑黒色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央にわずかな張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。									
第593図 PL.452	88	石製品 白玉	完形	0.5 0.4	0.4 0.10	蛇紋岩	緑黒色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央にわずかな張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。									
第593図 PL.452	89	石製品 白玉	完形	0.5 0.5	0.3 0.08	蛇紋岩	緑黒色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。側面は中央にわずかな張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。									
第593図 PL.452	90	石製品 白玉	完形	0.5 0.5	0.5 0.19	蛇紋岩	暗オリーブ灰色。表面は平坦でありわずかに擦痕が認められる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。側面は中央に明瞭な張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。									
第593図 PL.452	91	石製品 白玉	完形	0.5 0.5	0.3 0.10	蛇紋岩	緑黒色。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央にわずかな張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。									
第593図 PL.452	92	石製品 白玉	完形	0.5 0.5	0.3 0.10	蛇紋岩	緑黒色。表面は平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。側面は中央にわずかな張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。									
第593図 PL.452	93	石製品 白玉	完形	0.5 0.5	0.2 0.07	蛇紋岩	緑黒色。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。側面は斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。									
第593図 PL.452	94	石製品 白玉	完形	0.5 0.5	0.3 0.10	蛇紋岩	暗オリーブ灰色。表面は平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央にわずかな張りがあり横方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。									
挿図 PL.No.	No.	細別器種	法量													
			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	
第593図 PL.452	95	刀子	8.2+	4.4+	4.2	1.7	0.4	3.8	1.2	0.4						頸部が8.5cmほどの長頸鎌で、X線で片刃と確認できるが、逆刺は確認できず、推定。茎に木質付着無し。
第593図 PL.452	96	長頸腸挟片 刃鎌	12.2+	(2.2)	(0.6)	0.2	-	(8.7)	0.4	0.3	0.7	0.4	1.7+	0.4	0.25	茎がやや下がり気味の両開の刀子。木質等の遺存痕跡はない。刃先のワレは新しい。

4号祭祀遺構

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
				口	高	重				
第594図 PL.452	1	土師器 杯(A)	口縁部~体部小片	口	12.0		細砂粒/良好/灰黄	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半がヘラ削り。	AIV	
第594図 PL.452	2	土師器 杯(A)	1/4	口	12.8		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上位がナデ、中位から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	AII	
第594図 PL.452	3	土師器 杯(C)	1/3	口 縁	12.0 11.5		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。口唇端部は平坦面をつくる。	CII	
第594図 -	4	土師器 杯(C)	口縁部~体部片	口 縁	12.4 16.4		細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)は手持ちヘラ削り。口唇端部は平坦面をつくる。	CII	
第594図 PL.452	5	土師器 杯(C)	1/4	口 縁	12.9 14.0	高	6.0	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。口唇端部は平坦面をつくる。	CI②a
第594図 PL.452	6	土師器 杯(C)	1/3	口 縁	14.0 13.8	高	5.6	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。口唇端部は平坦面をつくる。	CI①a
第594図 -	7	土師器 杯(C)	口縁部~体部片	口 縁	14.0 16.4		細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)は手持ちヘラ削り。口唇端部は平坦面をつくる。	CI	
第594図 -	8	土師器 杯(C)	口縁部~体部片	口 縁	15.6 16.4		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)は手持ちヘラ削り。口唇端部は平坦面をつくる。	CII	
第594図 -	9	土師器 杯(C)	口縁部~体部片	口 縁	15.8 15.4		細砂粒/良好/にぶい褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。口唇端部は平坦面をつくる。	CI	
第594図 -	10	土師器 杯(C)	1/3	口 縁	15.9 16.2	高	6.6	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。口唇端部は平坦面をつくる。	CI①a

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口	最				
第594図 -	11	土師器 杯(C)	1/5	口	16.0 15.0		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 口唇端部は平坦面をつくる。	C II
第594図 PL.452	12	土師器 高杯	脚部	脚	9.2		細砂粒/良好/橙	杯身部と脚部は接合。杯身部底部から脚部は横ナデ。内面は杯身部体部がヘラ磨きか、脚部はヘラナデ、裾部は横ナデ。	
第594図 -	13	土師器 碗	口縁部～体部小片	口	12.8		細砂粒/良好/灰黄褐	口縁部は横ナデ、頸部は横方向、体部は縦方向のヘラ磨き。 内面は、体部が横方向のヘラ磨き。	

32号集石

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口	最	高			
第597図 PL.453	1	土師器 高杯	1/2	口	15.7 10.3	高 9.5	細砂粒・粗砂粒・ 石英/良好/にぶい 橙	須恵器技法模倣。ロクロ整形、回転右回りか。杯身部底部は回転ヘラ削り、脚部上半は回転ヘラナデ。内面は杯身部下半が手持ちヘラナデ。	I
第597図 PL.453	2	石製品 白玉	完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重 0.2 0.24	滑石	灰白色。表裏面は平坦であり表面には擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第597図 PL.453	3	石製品 白玉	完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重 0.3 0.22	滑石	灰色。表裏面は平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央にわずかな張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第597図 PL.453	4	石製品 白玉	完形	長 幅	0.6 0.7	厚 重 0.4 0.24	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり表面には擦痕がわずかに認められる。側面は中央にわずかな張りがあり横方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第597図 PL.453	5	石製品 白玉	完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重 0.4 0.28	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり表面にはわずかに擦痕が認められる。側面は中央にわずかな張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第597図 PL.453	6	石製品 白玉	完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重 0.4 0.30	滑石	灰色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央にわずかな張りがあり横方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第597図 PL.453	7	石製品 白玉	完形	長 幅	0.7 0.6	厚 重 0.4 0.23	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり表面にはわずかに擦痕が認められる。側面は中央にわずかな張りがあり横方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第597図 PL.453	8	石製品 白玉	完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重 0.3 0.19	滑石	灰色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央にわずかな張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第597図 PL.453	9	石製品 白玉	完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重 0.5 0.35	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり表面にはわずかに擦痕が認められる。側面は中央にわずかな張りがあり横方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第597図 PL.453	10	石製品 白玉	完形	長 幅	0.7 0.6	厚 重 0.3 0.26	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり表面には擦痕がわずかに認められる。側面は中央にわずかな張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	

4面遺構外

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口	最	高			
第599図 -	1	土師器 杯(B)	口縁部～体部片	口	12.3 12.3		細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部はヘラ削り。内面は体部から口縁部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	B I
第599図 PL.453	2	土師器 杯(A)	3/4	口	13.3 4.9		細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き、器面磨滅のため単位不鮮明。	A II ③c
第599図 -	3	土師器 杯(A)	1/4	口	14.6		細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部はヘラナデ。内面は体部に斜放射状ヘラ磨きか、器面磨滅のため不鮮明。	A IV
第599図 PL.453	4	土師器 杯(C)	1/3	口	13.0 13.1		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。口唇端部は丸みをもつくり。	C III
第599図 -	5	土師器 杯(A)	口縁部～体部小片	口	14.0		細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい赤褐	口縁部は横ナデ、体部はヘラ削り。	A II
第599図 -	6	土師器 杯(A)	口縁部～体部片	口	13.6		細砂粒/良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部はヘラナデ、単位不鮮明。内面は体部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	A II
第599図 -	7	土師器 杯(A)	口縁部～体部片	口	14.0		細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい赤褐	口縁部は横ナデ、体部はヘラ削り。内面は体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	A II
第599図 -	8	土師器 杯(B)	口縁部片	口	11.6 12.2		細砂粒/良好/にぶい赤褐	口縁部は横ナデ、体部はヘラ削り。内面は体部から口縁部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	B I
第599図 -	9	土師器 杯(B)	口縁部～体部片	口	12.0 13.0		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はヘラ削り、器面磨滅のため不鮮明。内面は体部から口縁部に斜放射状ヘラ磨きか、器面が荒れており不鮮明。	B II
第599図 -	10	土師器 杯(D)	口縁部～体部片	口	12.8 13.3		細砂粒/良好/黒褐	口縁部は横ナデ、体部はヘラ磨き。内面は体部に大きく左傾する斜放射状ヘラ磨き。	B I 内外面黒色処理。
第599図 -	11	土師器 杯(D)	口縁部片	口	13.0		細砂粒/良好/にぶい赤褐	口縁部は横ナデ、体部はヘラ削りか。	D II
第599図 PL.453	12	土師器 杯(D)	3/4	口	12.6 13.4	高 6.8	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	D IV
第599図 PL.453	13	土師器 杯(C)	ほぼ完形	口	12.0 11.4	高 5.6	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。口唇端部は平坦面をつくる。	C I ②a
第599図 PL.453	14	土師器 杯(C)	1/3	口	12.9 11.7	高 5.5	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。口唇端部は平坦面をつくる。	C II ②a
第599図 -	15	土師器 杯(C)	口縁部小片	口	11.0 10.0		細砂粒/良好/にぶい赤褐	口縁部は内外面とも横ナデ。口唇端部は丸みをもつくり。	C II
第599図 -	16	土師器 杯(C)	口縁部1/4	口	11.9 11.5		細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。口唇端部は平坦面をつくる。	C II
第599図 -	17	土師器 杯(C)	1/4	口	13.0 12.8		細砂粒/良好/にぶい赤褐	口唇部は内傾し、1条の凹線が巡る。口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。口唇端部は丸みをもつくり。	C I

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
第599図	18	土師器 碗	頸部～胴部片	頸	12.4			細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位と中位がヘラ磨き、 単位不明、下位はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ。	
第599図	19	土師器 壺	口縁部下半～胴 部上位片	頸	11.0			細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい橙	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り後一部にヘラ磨き。内面 はヘラナデ。	
第600図	20	土師器 壺	底部～胴部下位 片	底	7.0			細砂粒/良好/にぶ い橙	底部と胴部はヘラ削り、器面磨滅のため単位不明。内面は ヘラナデ。	
第600図	21	土師器 壺	底部～胴部下位 片	底	6.0			細砂粒/良好/にぶ い橙	底部と胴部はヘラ削り。内面はヘラナデ。	
第600図	22	土師器 壺	底部					細砂粒/良好/にぶ い黄橙	外面は不定方向のハケ目(1cmあたり6～7本)、内面はヘラ ナデ。	
第600図 PL.453	23	土師器 小型甕	1/4	口 胴	12.2 14.1	底 高	4.0 14.3	細砂粒/良好/橙	外面口縁部に輪積み痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、 胴部と底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	A I ①
第600図 PL.453	24	土師器 甕	口縁部～胴部上 半片	口 頸	17.9 15.0	胴	24.2	細砂粒/良好/浅黄 橙	口縁部は横ナデ、胴部は内外綿とも器面磨滅のため整形不 鮮明。	
第600図	25	土師器 甕	口縁部～胴部上 位片	口	13.6			細砂粒/良好/にぶ い橙	内外面の胴部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、胴部は ナデ。内面は胴部がヘラナデ。	
第600図 PL.454	26	土師器 甕	口縁部～胴部片	口 胴	18.9 25.6			細砂粒/良好/浅黄 橙	口縁部は横ナデ、胴部はヘラナデか、器面磨滅のため単位 不明。内面は胴部がヘラナデ。	
第600図 PL.454	27	土師器 甕	底部～胴部下位 片	底	7.0			細砂粒/良好/浅黄 橙	底部はヘラ削りか、器面磨滅のため単位不明。底部周囲は ヘラ削り、胴部はナデか、器面磨滅のため不鮮明。内面は ヘラナデ。	
第600図	28	土師器 甕	口縁部片	口	19.0			細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ。	
第600図	29	土師器 甕	口縁部小片	口	18.0			細砂粒/良好/浅黄	口縁部は内外面とも横ナデ。	
第601図	30	土師器 甕	頸部～胴部上半 片	頸 胴	17.5 20.0			細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	胴部はヘラ削り、大部分は器面磨滅のため単位不明。内面 はヘラナデ。	
第601図	31	土師器 甕	底部～胴部	胴 底	20.7 5.7			細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	底部と胴部はヘラ削り。内面はヘラナデ。	
第601図	32	土師器 甕	底部～胴部下位 片	底	5.4			細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい橙	底部、胴部ともヘラ削りか、器面磨滅のため単位不明。内 面はヘラ磨き、底部は器面磨滅のため単位不明。	
第601図	33	土師器 甕	底部～胴部下位	底	7.0			細砂粒/良好/灰黄 褐	底部はヘラ削り、胴部はヘラナデ。内面はヘラナデ。	
第601図	34	土師器 甕	頸部～胴部上位 片					細砂粒/良好/にぶ い褐	頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第601図 PL.453	35	須恵器 高杯	杯身部口縁部～ 体部片	口 稜	11.0 10.3			細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転方向不明。	内面は酸化焰 焼成の状態。
第601図	36	須恵器 杯蓋	天井部片					細砂粒/還元焰/黄 灰	ロクロ整形。天井部は回転ヘラ削り。	
第601図	37	須恵器 杯身	底部小片					細砂粒/還元焰/褐 灰	ロクロ整形、底部は回転ヘラ削り。	
第601図 PL.453	38	須恵器 杯身	底部小片か					細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰	ロクロ整形、回転方向不明。底部は回転ヘラ削り。内面に 降灰が付着。	
第601図 PL.453	39	須恵器 廳	胴部片	胴	11.3			細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形。胴部は中位に凹線による区画、区画内を刺突 文が巡る。内面の胴部上位は頸部に向けて絞り込みによる ナデがみられる。	
第601図 PL.453	40	須恵器 甕	口縁部片	口	16.0			細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形。	
第601図 PL.453	41	須恵器 甕	胴部片					細砂粒/還元焰/灰	外面は平行叩き痕が残るが、内面はアテ具痕がナデ消され ている。	
第601図 PL.453	42	須恵器 甕	胴部片					細砂粒/還元焰/黄 灰	外面は平行叩き痕が残るが、内面のアテ具痕はナデ消され ている。	
第601図	43	須恵器 甕	胴部片					細砂粒/還元焰/灰	外面は平行叩き痕が残るが、内面はアテ具痕がかすかに残 るだけである。	
第601図	44	須恵器 甕	胴部片					細砂粒/還元焰/灰	外面は平行叩き痕が残るが、内面はアテ具痕がナデ消され ている。外面に降灰が付着。	
第601図 PL.453	45	石製品 管玉	完形	長 幅	1.7 0.6	厚 重	0.6 1.38	蛇紋岩	暗緑色。全体的によく研磨整形されている。肉眼で孔は一 直線ではなく、中央付近が狭くなっているのが観察できる。 両面穿孔の可能性ある。上下面ともに孔径約3mm。	
第601図 PL.453	46	石製品 石製模造品 (有孔方板)	ほぼ完形	長 幅	4.8 3.1	厚 重	0.7 16.8	滑石	灰白色。表裏面ともに斜め方向の擦痕が目立つ。孔径約 2mm。	
第601図 PL.453	47	石製品 白玉	完形	長 幅	0.8 0.8	厚 重	0.4 0.35	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。 側面は中央にわずかな張りがある。孔径約2mm。	
第602図	48	土師器 杯(B)	口縁部～体部片	口 最	10.8 11.9			細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部から体部は横方向のヘラ磨き、一部器面磨滅のため 単位不明。内面は左傾の斜放射状ヘラ磨き。	B I
第602図 PL.454	49	土師器 杯(B)	完形	口 最	11.6 12.4	高	5.7	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上位がナデ、中位から底部は手持 ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に右傾の斜放射状ヘラ 磨き。	B II ③b
第602図 PL.454	50	土師器 甕	底部～体部下位	底 孔	4.0 2.5			細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	胴部はハケ目(1cmあたり7～8本)、底部はヘラ削り。内面 はヘラナデ。	A
第602図	51	土師器 甕	底部	底	18.4			細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	底部・胴部ともヘラ磨き。内面底部はナデ。	

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第602図 PL.454	52	須恵器 高杯	口縁部小片				細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形。	
第602図 PL.454	53	須恵器 提瓶	胴部片				細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか、内面に輪積み痕が残る。環状の把手が貼付、胴部は外面に平行叩き痕が残る。	
第602図 PL.454	54	須恵器 甕	胴部片				細砂粒/還元焰/灰	外面は平行叩き痕が、内面はアテ具痕がかすかに残る。	
第602図 PL.454	55	石製品 白玉	完形	長幅 0.6 0.6	厚 0.2 0.14		滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面には斜め方向の擦痕がわずかに認められる。孔径約2mm。	
第602図 -	56	土師器 杯(A)	口縁部片	口 12.0			細砂粒/良好/にぶい黄橙	外面は燻か。口縁部は横ナデ。	
第602図 -	57	須恵器 杯蓋	口縁部～天井部 片	口稜 12.0 12.0			細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形。天井部の整形は降灰付着により不鮮明。	
第602図 -	58	須恵器 高杯	杯身部片	口 12.8			細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形。体部は手持ちへら削り。	
第602図 -	59	須恵器 高杯	脚部	脚 10.0			細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形。脚部に透孔が3カ所。	
第602図 -	60	須恵器 高杯	脚部片	脚 13.0			細砂粒/還元焰/褐 灰	ロクロ整形。脚部には透孔が設けられている。	
第602図 -	61	須恵器 甕	胴部下位片	胴 12.8			細砂粒/還元焰/褐 灰	ロクロ整形。胴部中に2条の凸帯が巡り、その下位に刺突文がみられる。	
第602図 -	62	須恵器 甕	底部				細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか。底部は手持ちへら削り。	
第602図 PL.454	63	石製品 勾玉	完形	長幅 2.4 1.3	厚 0.6 2.0		蛇紋岩	オリブ黒色。全体的に丁寧に研磨整形されており光沢がある。表面の孔はヒョウタン形であり、二つの孔が連結している可能性がある。裏面の孔径約2mm。	
第602図 PL.454	64	石製品 白玉	完形	長幅 0.4 0.4	厚 0.3 0.07		滑石	暗オリブ灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央にわずかな張りがあり擦痕は認められない。孔径約1mm。	
第603図 -	65	須恵器 杯蓋	天井部小片				細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか。天井部は回転へら削り。	
第603図 PL.454	66	須恵器 杯蓋	天井部小片				細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形。天井部は回転へら削り。	
第603図 -	67	須恵器 高杯	口縁部片				細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転方向不明。口縁部中に凹線が巡る。	
第603図 -	68	須恵器 高杯	口縁部片				細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転方向不明。口縁部中に凹線が巡る。	
第603図 -	69	須恵器 高杯	杯身体部片				細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転方向不明。体部中に2段の段が巡る。	
第603図 -	70	須恵器 高杯	脚部片				細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。方形の透孔が3カ所設けられている。	
第603図 PL.454	71	須恵器 高杯	脚部中位片				細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形。透孔が3カ所設けられている。	
第603図 PL.454	72	須恵器 甕	口縁部下半片				細砂粒/還元焰/灰 黒	ロクロ整形。口縁部は中程に断面三角形の凸帯と凹線がめぐり、その下位に波状文が施されている。	
第603図 PL.454	73	須恵器 甕か	体部下半～底部 片				細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形。底部は回転へら削り、胴部は2条の凹線による区画、その下位に雑な波状文。	
第603図 -	74	須恵器 甕か	胴部微細片				細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転方向不明。残存部上位に波状文が施されている。	
第603図 -	75	須恵器 壺	口縁部小片				細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転方向不明。口縁部に断面三角形の凸帯が巡る。	
第603図 -	76	須恵器 甕	胴部片				細砂粒/還元焰/灰	外面は平行叩き痕が残る、残存片に2条の凹線が巡る。内面は同心円状アテ具痕がかすかに残る。	
第603図 PL.454	77	石製品 石製模造品 (勾玉形)	完形	長幅 3.1 2.0	厚 0.6 6.0		滑石	灰白色。表裏面ともに斜め方向の擦痕が主体的である。表面の孔の周辺部はわずかに窪んでいる。表面からの穿孔の際に裏面側が破砕した可能性がある。孔径約2mm。	
第603図 PL.454	78	石製品 石製模造品 (剣形)	ほぼ完形	長幅 4.2 2.6	厚 0.5 7.6		滑石	灰色。表裏面ともに縦方向の擦痕が主体的である。上下部の孔径約1.5mm。	
第603図 PL.454	79	石製品 石製模造品 (剣形)	4/5	長幅 2.8 1.2	厚 0.4 2.3		蛇紋岩	暗オリブ灰色。表裏面ともに横方向の擦痕が主体的である。上下の孔径約2mm。	
第603図 PL.454	80	石製品 石製模造品 (剣形)	ほぼ完形	長幅 (3.5) (1.7)	厚 0.5 4.5		滑石	暗緑灰色。表裏面ともに斜め方向の擦痕が主体的である。上下も孔はいずれも表面側でヒョウタン形を呈しており、二つの孔が連結している可能性がある。裏面の上下の孔径約2mm。	
第603図 PL.454	81	石製品 石製模造品 (剣形)	1/2	長幅 (2.9) 2.4	厚 0.5 5.6		滑石	灰色。表裏面ともに斜め方向の擦痕が主体的である。上下の孔はいずれも裏面側でその周辺部がわずかに窪んでいる。表面からの穿孔の際に裏面側が破砕した可能性がある。上下の孔径約2mm。	
第603図 PL.454	82	石製品 石製模造品 (剣形)	1/2	長幅 (2.9) (1.5)	厚 (0.5) 2.5		蛇紋岩	暗青灰色。表裏面ともに縦方向の擦痕が主体的である。	
第603図 PL.454	83	石製品 石製模造品 (不明)	不明	長幅 (2.5) (1.4)	厚 (0.4) 1.4		滑石	緑黒色。孔の痕跡は2個認められるが、その内部はいずれも横方向の細かい線条痕が顕著に認められる。	
第603図 PL.454	84	石製品 白玉	完形	長幅 0.5 0.5	厚 0.4 0.18		滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第603図 PL.454	85	石製品 白玉	完形	長幅 0.7 0.7	厚 0.5 0.31		滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦でありともにわずかに擦痕が認められる。側面は中央にわずかな張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				長幅	厚	重量			
第603図 PL.454	86	石製品 白玉	ほぼ完形	0.7 0.7	0.5 0.35		滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央にわずかな張りがあり斜め方向の擦痕がわずかに認められる。孔径約3mm。	
第603図 PL.454	87	石製品 白玉	完形	0.7 0.7	0.5 0.40		滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面には斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第603図 PL.454	88	石製品 白玉	完形	0.7 0.7	0.5 0.35		滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり表面には擦痕が認められる。側面には斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第603図 PL.454	89	石製品 白玉	完形	0.5 0.5	0.4 0.33		蛇紋岩	暗オリーブ灰色。表面はほぼ平坦であり擦痕が認められる。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。側面は中央に明瞭な張りがあり横方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第603図 PL.454	90	土師器 杯(C)	1/2	11.7 11.0	高 4.6		細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちへら削り。口唇端部は平坦面をつくる。	C II ③a

3-2面剣菱形赤葉・大甕

挿図 PL.No.	No.	細別器種	質量													成形・整形の特徴	備考		
			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬				
第613図 PL.455	1	剣菱形赤葉	20.8	(2.2)	3.8	(0.9)	1.2	5.4	9.3	13.2	(10.7)	0.2	0.1						

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口高	口径	胴径			
第614図 PL.456	2	須恵器 甕	胴部片				細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰	外面は平行叩き痕が残るが、内面はアテ具痕をナデ消している。	

38号溝

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口高	口径	胴径			
第614図 PL.456	1	須恵器 甕	胴部片				細砂粒/酸化焰/黄褐	外面には平行叩き痕に間隔をあげたナデ、内面には同心円状アテ痕が残る。	

3面遺構外

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口高	口径	胴径			
第755図 PL.455	1	土師器 杯(A)	1/3	14.4 5.0			細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	A II ②c
第755図 PL.455	2	土師器 甕	口縁部片	口 20.0			細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は内外面とも横ナデ。	
第755図 PL.455	3	土師器 甕	口縁部～胴部下 位片	口 16.2 14.4	胴 20.4		細砂粒/良好/浅黄 橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はへら削り。内面は胴部がへらナデ。	D
第756図 -	4	土師器 甕	口縁部～胴部上 位片				細砂粒/良好/にぶ い黄橙	外面は口縁部から頸部が横ナデ、胴部はへら削り。内面は胴部がへらナデ。	
第756図 PL.455	5	須恵器 甕	胴部片				細砂粒/還元焰/灰	外面は平行叩き痕が残るが、内面はアテ具痕がナデ消されている。	
第756図 -	6	須恵器 甕	胴部微細片				細砂粒/還元焰/黄 灰	外面は叩き痕が残る。	
第756図 -	7	土師器 杯(A)	口縁部～体部片	口 14.9			細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部はへら削り。器面磨滅のため単位不明。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	A II
第756図 -	8	土師器 杯(C)	口縁部～体部片				細砂粒/良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)は手持ちへら削り。	
第756図 -	9	須恵器 甕	胴部微細片				細砂粒/還元焰/褐 灰	外面は平行叩き痕が残るが、内面のアテ具痕はナデ消されている。	
第756図 PL.456	10	石製品 勾玉	完形	長幅 3.0 1.8	厚 1.0 8.0		翡翠	淡緑色。全体的によく研磨整形されている。孔は表面から裏面にむかい細くしており片面穿孔と考えられる。表面の孔径約3mm、裏面の孔径約2mm。	
第756図 PL.456	11	石製品 砥石	完形	長幅 9.5 4.2	厚 1.1 64.5		ホルンフェルス	砥面は正面、裏面の2面認められる。孔径約4mm。	
第756図 -	12	須恵器 高杯	杯部口縁部～体 部片	口 13.8			細砂粒/還元焰/灰 黄	ロクロ整形。体部は手持ちへら削り。口縁部下に1条の凹線が巡る。	
第756図 PL.456	13	石製品 管玉	完形	長幅 2.6 0.9	厚 0.8 3.2		蛇紋岩	暗オリーブ灰色。全面研磨整形するが光沢が乏しい。肉眼で孔は一直線ではなく、中央付近が狭くなっているのが観察できる。両面穿孔の可能性ある。上面の孔径約6mm、下面の孔径約5mm。	
第756図 -	14	須恵器 甕	胴部小片				細砂粒/還元焰/灰	外面は平行叩き痕が残る、内面は同心円状アテ具痕が残る。	
第757図 -	15	須恵器 甕	胴部片				細砂粒/還元焰/灰	外面は平行叩き痕、内面は同心円状アテ具痕が残る。	
第757図 PL.456	16	土師器 杯(A)	完形	口高 14.0 5.5			細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部がへら削り。内面は体部に左傾の斜放射状へら磨き。	A I ②b
第757図 -	17	土師器 高杯	杯身部1/3片	口 16.8 13.3			細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、底部(稜下)はへら削り。内面口唇部にごく細い凹線が巡る。	

2面遺構面

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口高	口径	胴径			
第780図 -	1	土師器 杯(A)	1/6	16.4 7.7			細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちへら削り。内面は底部から体部がへらナデ。	A II ①a
第780図 -	2	土師器 杯(A)	口縁部～体部片	口 13.6			細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上位・中位がナデ、下位から底部はへら削り。内面は体部に右傾の斜放射状へら磨き。	A II
第780図 -	3	土師器 杯(A)	口縁部下～底 部片				細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部上位はナデ、中位・下位から底部はへら削り。内面は体部に右傾の斜放射状へら磨き。	

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
				口最	高	口稜				
第780図	4	土師器 杯(B)	1/5	口最 13.0	高 4.6	口稜 13.3	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	BI①c	
第780図	5	土師器 杯(C)	1/3	口最 14.2	高 5.1	口稜 13.5	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。口唇端部は内傾する平坦面をつくる。	CII①a	
第780図 PL.457	6	土師器 杯(C)	2/3	口最 12.0	高 5.6	口稜 12.1	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。口唇端部は内傾する平坦面をつくる。	CI③a	
第780図	7	土師器 杯(C)	口縁部～体部小片	口最 12.0		口稜 10.6	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部(稜下)は手持ちヘラ削り。口唇端部は丸みをもつくり。	CII	
第780図	8	土師器 高杯	脚部片				細砂粒/良好/明赤褐	脚部は縦方向に放射状のヘラ磨き、内面はヘラナデ。		
第780図 PL.457	9	土師器 碗	底部片				細砂粒/良好/橙	内面は黒色処理。外面はハケ目後ヘラ磨き。内面はヘラ磨き。	外面に格子目状の線刻。	
第780図	10	土師器 片口杯	1/5				細砂粒/良好/赤褐	内外面ともヘラ磨き、内面は器面磨滅のためやや不鮮明。		
第780図	11	土師器 罎	胴部他一部欠損	口頸 10.2	胴高 17.5	口頸 8.2	16.6	細砂粒/良好/橙	口縁部と胴部上半は放射状ヘラ磨きか、器面磨滅のため単位不鮮明、胴部下半から底部はヘラ削り。内面は口縁部が放射状ヘラ磨き、底部から胴部はヘラナデ。	
第780図	12	土師器 甕	口縁部～胴部上位片	口 18.6				細砂粒/良好/にぶい黄橙	口縁部は横ナデ、胴部から頸部にはヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ。	
第780図 PL.457	13	土師器 甕	口縁部～胴部上位片	口 17.8				細砂粒/良好/にぶい橙	内面頸部に輪積み痕が残る。口縁部は内外面ともハケ目(1cmあたり6～7本)、胴部は内外面ともヘラナデ。	
第780図	14	須恵器 甕	胴部小片					細砂粒/良好/灰褐	外面は平行叩き痕?が残る。内面はヘラナデ。	
第781図 PL.457	15	須恵器 杯蓋	天井部～口縁部片	稜 11.3				細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転方向不明。天井部は中程まで回転ヘラ削り。天井部中程に降灰が付着。	
第781図 PL.457	16	須恵器 杯蓋	口縁部片	口 14.6				細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形。口縁部端部は丸みをもつ。外面に降灰が付着。	
第781図 PL.457	17	須恵器 杯身	口縁部～体部片	稜 13.2				細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転方向不明。	
第781図 PL.457	18	須恵器 杯身	体部小片	稜 13.4				細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転方向不明。体部下位は回転ヘラ削り。	
第781図 PL.457	19	須恵器 杯身	蓋受け～底部片	蓋受 13.6				細砂粒・粗砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形。底部は回転ヘラ削り。	
第781図 PL.457	20	須恵器 高杯	杯部	口稜 15.8		口稜 13.8		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか。稜下に凹線が巡り、体部に波状文が巡る。	
第781図	21	須恵器 高杯	杯身底部片					細砂粒/還元焰/黄灰	ロクロ整形。底部はヘラ削り。	
第781図 PL.457	22	須恵器 高杯	杯身底部体部小片					細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転方向不明。体部に波状文が巡る。	
第781図 PL.457	23	須恵器 高杯	脚部1/3	脚 8.0				細砂粒/還元焰/黄灰	ロクロ整形、回転右回りか。脚部に3カ所の透孔。	
第781図 PL.457	24	須恵器 甕	口縁部片	口 8.8				細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形。口縁部は段を有し、段下に断面三角形の凸帯が巡る。上下2段の波状文が施されているが、上位は降灰付着のため不鮮明。	
第781図 PL.457	25	須恵器 甕	胴部小片					細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形。凹線による区画内に刺突文が巡る。	
第781図 PL.457	26	須恵器 甕	胴部中位小片					細砂粒/還元焰/暗灰	ロクロ整形、回転方向不明。胴部中位に円形の穿孔あり。凹線による区画内に刺突文が巡る。	
第781図 PL.457	27	須恵器 小型壺	口縁部片	口 9.8				細砂粒・粗砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形。口縁部は凹線によって区画、区画内に刻み目が巡る。	
第781図 PL.457	28	須恵器 甕	口縁部片	口 17.0				細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形。口縁部に波状文が巡る。	
第781図	29	須恵器 甕	頸部片					細砂粒/還元焰/灰	頸部はナデ、胴部は平行叩き痕が残る。内面胴部には同心円状アテ具痕が残る。	
第781図	30	須恵器 甕	胴部小片					細砂粒/還元焰/灰白	外面は平行叩き後間隔をあけたナデ。内面は破片上位に同心円状アテ具痕が残るが、その下位はヘラナデ。	
第781図	31	須恵器 甕	胴部小片					細砂粒/還元焰/灰	外面は平行叩き痕が残るが、部分的にナデ消されている。内面は同心円状アテ具痕がかすかに残る。	
第781図	32	須恵器 甕	胴部片					細砂粒/酸化焰/黄褐	外面には平行叩き痕に間隔をあけたナデ、内面には同心円状アテ具痕が残る。	
第781図	33	須恵器 甕	胴部片					細砂粒/還元焰/灰	外面は平行叩き痕が残る。内面はヘラナデ。外面に降灰が付着。	
第781図 PL.457	34	須恵器 甕	胴部小片					細砂粒/還元焰/灰白	外面は平行叩き痕が残る。内面は同心円状アテ具痕がかすかに残る。	
第781図 PL.457	35	須恵器 甕	胴部小片					細砂粒/還元焰/灰白	外面は平行叩き痕が残る。内面はアテ具痕がナデ消されている。	
第781図	36	須恵器 甕	胴部片					細砂粒/還元焰/灰	外面には叩き痕、内面にはアテ具痕が残るが、降灰付着により詳細不明。	
第781図	37	須恵器 甕	胴部片					細砂粒/還元焰/灰	外面には平行叩き痕、内面には同心円状アテ具痕が残る。	
第781図	38	須恵器 甕	胴部小片					細砂粒/還元焰/灰	内外面ともナデか。	
第781図 PL.457	39	須恵器 甕	胴部小片					細砂粒/還元焰/灰白	外面は平行叩き痕が残る。内面は同心円状アテ具痕がかすかに残る。	
第781図	40	須恵器 甕	口縁部下半小片					細砂粒・粗砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転方向不明。残存部上位に凹線が巡る。	

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第781図 -	41	須恵器 不明	微細片				細砂粒/還元焰/灰	整形不鮮明。	
第782図 PL.457	42	石製品 勾玉	30溝 1/2	長幅 (2.1) (1.0)	厚重 (0.7) 1.9		滑石	灰白色。全体的に丁寧に研磨整形されており光沢がある。	
第782図 PL.457	43	石製品 管玉	完形	長幅 2.5 0.8	厚重 0.8 2.54		珪質頁岩	暗緑色。全体的によく研磨整形されている。孔は上面から下面にむかい細くなっており片面穿孔と考えられる。上面の孔径約2mm、下面の孔径約0.5mm。	
第782図 PL.457	44	石製品 管玉	30溝 不明	長幅 (1.1) (0.9)	厚重 (0.4) 0.41		葉ろう石	管玉破片。灰オリーブ色。孔の内部には縦方向の細かい線条痕が集中する。	
第782図 PL.457	45	石製品 石製模造品 (半円形)	完形	長幅 3.1 2.2	厚重 0.5 5.1		滑石	灰白色。表面には二つの作出面が認められる。下方の作出面はほぼ平坦であるが、上方の面はやや内湾する。孔径約1.5mm。	
第782図 PL.457	46	土師器 杯(A)	口縁部～体部片	口 12.8			細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部はヘラ削り。内面は体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	A I
第782図 -	47	土師器 杯(C)	口縁部片	口 13.0 11.7			細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部はヘラ削り。口唇端部は平坦面をつくる。	C II
第782図 -	48	土師器 杯(C)	口縁部～体部片	口 11.8 12.0			細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。口唇端部は平坦面をつくる。	C I
第782図 -	49	土師器 杯(A)	口縁部～体部片	口 12.0			細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部はヘラ削り。内面は体部にヘラ磨きが見られるが、器面磨滅のため単位不明。	A II
第782図 PL.457	50	土師器 壺	胴部片				細砂粒/良好/灰黄	外面はヘラ磨き、内面はヘラナデ。	
第782図 PL.457	51	土師器 壺	口縁部片	口 25.4 18.0			細砂粒/良好/明赤褐	頸部にて口縁部と胴部を接合。口縁部中位に段を有す。口縁部は横ナデ、内面頸部はヘラナデ。	
第782図 PL.457	52	須恵器 椀	口縁部～体部片	口 6.9 7.7			細砂粒/還元焰/黄灰	ロクロ整形。体部上位に刺突文が巡る。	
第782図 -	53	須恵器 高杯	口縁部小片				細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形。	
第782図 -	54	須恵器 壺	胴部小片				細砂粒/還元焰/黄灰	ロクロ整形。	
第782図 PL.457	55	石製品 白玉	完形	長幅 0.7 0.7	厚重 0.4 0.22		滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央にわずかな張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。裏面の孔の周辺はわずかに窪んでいる。孔径約2mm。	
第782図 PL.457	56	石製品 白玉	完形	長幅 0.7 0.7	厚重 0.4 0.29		滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央にわずかな張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第782図 PL.457	57	石製品 白玉	完形	長幅 0.7 0.7	厚重 0.4 0.27		滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり表面にはわずかに擦痕が認められる。側面は中央にわずかな張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第782図 PL.457	58	石製品 白玉	完形	長幅 0.7 0.7	厚重 0.4 0.22		滑石	灰色。表裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第782図 -	59	土師器 杯(A)	口縁部片	口 13.8			細砂粒/良好/にぶい赤褐	口縁部は横ナデ、内面は体部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第782図 PL.457	60	土師器 高杯	脚部1/3	脚 9.8			細砂粒/良好/橙	杯身底部のホゾ状差し込みで脚部と接合。接合部付近はヘラナデ、脚部は横ナデ。内面脚部はヘラナデ。	
第782図 -	61	土師器 高杯	裾部片	脚 10.8			細砂粒/良好/橙	裾部は内外面とも横ナデ。	
第782図 PL.457	62	須恵器 高杯	局部下位小片	脚 12.0			細砂粒/還元焰/黄灰	ロクロ整形、回転方向不明。透孔が設けられている。	
第782図 PL.457	63	須恵器 壺	胴部上位小片				細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形か。外面はカキ目が施されている。	
第782図 PL.457	64	須恵器 甕	胴部小片				細砂粒/還元焰/灰	外面は平行叩き痕が残る、残存破片内に凹線が2条巡る。内面は同心円状アテ具痕が残る。	
第782図 PL.457	65	石製品 白玉	完形	長幅 0.8 0.7	厚重 0.3 0.19		葉ろう石	明緑灰色。全体的に丁寧に研磨整形されている。表面にはわずかに擦痕が認められる。孔径約3mm。	
第783図 PL.457	66	土師器 杯(A)	1/3	口 14.0			細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上位がナデ、中位から下位・底部はヘラ削り。内面は体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	A I
第783図 -	67	土師器 杯(D)	口縁部～体部片	口 13.8 14.6			細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部はヘラ削り。内面は体部がヘラナデ。	D I
第783図 -	68	土師器 杯(A)	口縁部～体部片	口 13.8			細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部は横ナデ、体部はヘラナデ。内面は体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	A I
第783図 -	69	土師器 杯(A)	口縁部～体部上位小片	口 13.8			細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はナデ。内面は体部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	A II
第783図 -	70	土師器 杯(A)	口縁部～体部片	口 12.8			細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ後左傾の斜放射状ヘラ磨き、体部はヘラナデ。内面は体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	A I
第783図 -	71	土師器 杯(A)	口縁部～体部上位小片	口 11.0			細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部は横ナデ、体部はナデ。内面は体部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	A III
第783図 -	72	土師器 高杯	杯身底部口縁部～ 底部片	口 14.8			細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部に不規則なヘラ磨き、器面磨滅のため不鮮明。内面は体部に左傾の斜放射状ヘラ磨き。	
第783図 PL.457	73	須恵器 杯	口縁部～体部小片	口 12.0			細砂粒/良好/黄灰	口縁部は横ナデ、体部はナデ。	
第783図 -	74	土師器 高杯	脚部裾部片	脚 10.6			細砂粒/良好/橙	脚部裾部は放射状ヘラ磨き。内面はヘラナデ。	
第783図 -	75	土師器 高杯	脚部上半				細砂粒/良好/にぶい赤褐	杯身底部の突起状の差し込みにて脚部と接合。脚部外面はヘラ削り後ナデ、内面はヘラナデ。	

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
				口	高	厚				
第783図 -	76	土師器 椀	口縁部～体部下 位小片	口	18.0		細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ、体部はヘラナデ。内面はヘラナデ。		
第783図 PL.458	77	土師器 壺	口縁部～胴部下 位	口 頸	17.0 14.0	胴	28.0	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ、胴部は上半がヘラナデ、下半はヘラ磨き。内面は胴部がヘラナデ。	B
第783図 -	78	土師器 小型甕	口縁部～頸部片	口	13.5			細砂粒/良好/にぶ い黄橙	外面口縁部はハケ目後横ナデ、頸部にハケ目が残る。内面は口縁部が横ナデ、胴部はヘラナデ。	
第783図 -	79	土師器 甕	底部～胴部下位 片	底	12.2			細砂粒/良好/橙	底部と胴部はヘラ削りか、器面磨滅のため単位不明。内面は底部がヘラナデ、胴部はハケ目(1cmあたり6～7本)	
第783図 -	80	土師器 甕	口縁部小片					細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は内外面とも横ナデ。	
第783図 PL.457	81	手捏ね土器 椀形	ほぼ完形	口 底	3.9 2.9	高	4.9	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	内外面ともナデ。	
第783図 -	82	須恵器 壺	口縁部小片					細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形。口唇部下に凸帯が巡る。	
第783図 -	83	須恵器 高杯	脚部片	脚	10.9			細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形。端部の上位に小凸帯と凹線が巡る。	
第783図 -	84	須恵器 甕	胴部片					細砂粒/還元焰/灰 褐	外面はヘラナデか。内面は器面剥落のため不明。	
第783図 PL.457	85	須恵器 不明	胴部片					細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形か。	
第783図 PL.457	86	石製品 管玉	完形	長 幅	2.0 0.6	厚 重	0.5 0.90	蛇紋岩	オリブ黒色。全体的に丁寧に研磨整形されている。肉眼で孔は一直線ではなく、中央付近が狭くなっているのが観察できる。両面穿孔の可能性はある。下面は孔の周囲が同心円状に浅い皿状に窪んでいる。上下面ともに孔径約3mm。	
第783図 PL.457	87	石製品 白玉	完形	長 幅	0.6 0.7	厚 重	0.4 0.20	滑石	灰白色。表裏面は平坦でなく凹凸が認められる。側面は中央にわずかに張りがある。孔径約2mm。	
第783図 PL.457	88	石製品 白玉	完形	長 幅	0.6 0.6	厚 重	0.3 0.18	蛇紋岩	暗オリブ灰色。表裏面はほぼ平坦であり表面には擦痕が認められる。側面は中央にわずかな張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第783図 PL.457	89	石製品 白玉	完形	長 幅	0.5 0.5	厚 重	0.2 0.03	滑石	暗オリブ灰色。表裏面はほぼ平坦であり表面には擦痕がわずかに認められる。孔径約2mm。	
第783図 PL.457	90	石製品 白玉	ほぼ完形	長 幅	0.5 0.5	厚 重	0.2 0.07	葉ろう石	明緑灰色。表裏面は平坦であり表面にはわずかに擦痕が認められる。側面は中央にわずかな張りがあり、よく研磨されており光沢がある。孔径約2mm。	
第783図 -	91	土師器 杯(D)	1/5	口	13.0			細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。内面は体部に右傾の斜放射状ヘラ磨き。	D

1号盛土状遺構

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
				口	高	厚				
第427図 PL.455	1	土師器 杯(C)	4/5	口 稜	12.6 12.5	高 *	5.9 *	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。口唇端部は平坦面をつくる。	
第427図 PL.455	2	土師器 小型甕	口縁部-胴部下 位1/4片	口 頸	13.0 12.0	胴 *	13.8 *	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り、上半は器面磨滅のため単位不明。内面は胴部がヘラナデ。	
第427図 PL.455	3	石製品 砥石	不明	長 幅	(15.4) (10.4)	厚 重	(7.2) 1621.3	粗粒輝石安山岩	表面は全体的に非常に滑らかであり中央付近がわずかに窪んだ形状である。表面には細かな線状痕もわずかに認められ砥面と想定される。裏面は平坦であるが滑らかでない。砥面として利用された可能性もあるが主要な砥面とは考えられない。	
第427図 PL.455	4	石製品 白玉	完形	長 幅	0.8 0.7	厚 重	0.5 0.30	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり表面にはわずかに擦痕が認められる。側面は中央にわずかな張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第427図 PL.455	5	石製品 白玉	完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.4 0.23	滑石	灰白色。表面は平坦でなく凹凸が認められる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面は中央にわずかな張りがあり斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第427図 PL.455	6	石製品 白玉	完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.3 0.28	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり表面には擦痕がわずかに認められる。側面には斜め方向の擦痕がわずかに認められる。孔径約2mm。	
第427図 PL.455	7	石製品 白玉	完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.3 0.21	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり表面には擦痕がわずかに認められる。側面には横方向の擦痕がわずかに認められる。孔径約2mm。	
第427図 PL.455	8	石製品 白玉	完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.4 0.22	滑石	灰白色。表裏面はほぼ平坦であり表面にはわずかに擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第427図 PL.455	9	石製品 白玉	完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.3 0.13	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。裏面は平坦でなく凹凸が認められる。側面には斜め方向の擦痕がわずかに認められる。孔径約2mm。	
第427図 PL.455	10	石製品 白玉	完形	長 幅	0.7 0.7	厚 重	0.4 0.31	滑石	灰色。表面は平坦でなく凹凸が認められる。裏面はほぼ平坦であるが擦痕は認められない。側面に横方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第427図 PL.455	11	礫 粒状礫	完形	長 幅	0.9 0.8	厚 重	0.4 0.4	流紋岩	灰色。円礫。全体的に光沢がある。	
第427図 PL.455	12	礫 粒状礫	完形	長 幅	1.0 0.7	厚 重	0.4 0.4	流紋岩	灰色。極円礫。全体的に光沢がある。	
第427図 PL.455	13	礫 粒状礫	完形	長 幅	1.1 1.2	厚 重	0.5 0.9	珪質変質岩	明褐色。極円礫。全体的に光沢がある。	
第427図 PL.455	14	礫 粒状礫	完形	長 幅	1.6 1.4	厚 重	0.7 2.3	珪質変質岩	暗赤褐色。円礫。全体的に光沢がある。	

PL.	No	出土位置	長	幅	厚	重	石材	備考
433	9361	P-502-4 S-14	(0.6)	(0.4)	0.4	0.14	滑石	
433	9362	P-502-5 S-1	(0.6)	(0.2)	0.3	0.06	滑石	
433	9363	P-502-5 S-2	(0.6)	(0.2)	0.3	0.06	滑石	
433	9364	P-506 S-3	(0.7)	(0.4)	0.2	0.09	滑石	4と接合
433	9365	P-510 S-76	(0.6)	(0.3)	0.2	0.06	滑石	
433	9366	P-511 S-64	0.6	0.6	0.2	0.09	滑石	不定形
433	9367	P-511 S-94	(0.4)	(0.2)	0.1	0.01	滑石	
433	9368	P-532-6 S-7①	(0.6)	(0.3)	(0.2)	0.07	滑石	
433	9369	P-532-6 S-7②	(0.6)	(0.3)	(0.1)	0.05	滑石	6,8と接合
433	9370	P-532-6 S-13	(0.6)	(0.3)	(0.3)	0.14	滑石	
433	9371	P-538 S-8	(0.5)	(0.4)	0.1	0.04	滑石	
433	9372	P-543-3 S-7	0.6	0.6	0.3	0.20	滑石	
433	9373	P-554-2 S-5	-	-	-	0.07	滑石	
433	9374	I-7 S-38	(0.5)	(0.3)	(0.2)	0.04	滑石	
433	9375	J-6 S-6	(0.5)	(0.3)	0.1	0.02	滑石	
433	9376	J-8 S-174	(0.6)	(0.2)	0.1	0.03	滑石	
433	9377	J-9 S-34	(0.7)	(0.4)	0.2	0.10	滑石	
433	9378	K-5 S-15	(0.5)	(0.3)	0.3	0.06	滑石	
433	9379	坏集中部S-110	(0.6)	(0.3)	0.1	0.02	滑石	
433	9380	中央部 S-91	(0.5)	(0.2)	0.3	0.05	滑石	
433	9381	中央部 S-170	(0.5)	(0.3)	0.1	0.01	滑石	
433	9382	北西部 S-64	(0.6)	(0.3)	0.2	0.06	滑石	

No	出土位置	長	幅	厚	重	胎土
58	G-1	0.6	0.5	0.3	0.1	頁岩
59	F-6	0.5	0.5	0.2	0.1	頁岩
60	F-1	1.3	1.0	0.4	0.6	細粒輝石安山岩
61	E-4	2.7	1.2	0.5	2.1	細粒輝石安山岩
62	中央部	0.9	0.8	0.5	0.5	細粒輝石安山岩
63	中央部	2.5	2.0	1.2	7.7	細粒輝石安山岩
64	中央部	1.0	0.7	0.4	0.4	砂岩
65	T-11	1.3	1.0	0.7	1.3	砂岩
66	D-6	1.2	0.7	0.6	0.7	砂岩
67	G-3	1.0	0.8	0.4	0.5	砂岩
68	G-3	0.7	0.4	0.3	0.1	砂岩
69	G-3	1.1	0.5	0.3	0.2	砂岩
70	I-3	0.9	0.9	0.3	0.4	砂岩
71	G-3	0.8	0.6	0.4	0.2	砂岩
72	南東部	1.0	0.9	0.4	0.5	砂岩
73	-	1.3	0.7	0.6	0.5	砂岩
74	F-3	1.3	0.8	0.3	0.4	砂岩
75	F-5	1.0	0.6	0.3	0.3	砂岩
76	H-1	1.1	0.9	0.6	0.8	砂岩
77	F-3	1.1	0.7	0.5	0.5	砂岩
78	I-5	0.5	0.3	0.2	0.1	砂岩
79	-	1.5	0.7	0.6	0.8	砂岩
80	-	2.3	1.2	0.8	2.9	砂岩
81	-	0.6	0.5	0.2	0.1	砂岩
82	F-3	1.3	1.0	0.7	1.3	砂岩
83	G-2	0.9	0.5	0.4	0.2	砂岩
84	南東部	2.0	0.9	0.6	1.4	砂岩
85	南東部	0.4	0.3	0.2	0.04	砂岩
86	南東部	0.5	0.4	0.3	0.1	砂岩
87	H-2	0.7	0.4	0.2	0.1	砂岩
88	H-2	1.2	0.7	0.4	0.4	砂岩
89	G-3	0.6	0.4	0.4	0.1	砂岩
90	H-2	0.7	0.4	0.3	0.1	砂岩
91	D-3	0.6	(0.4)	0.3	0.1	砂岩
92	G-2	0.6	0.5	0.3	0.2	砂岩
93	G-2	0.9	0.4	0.2	0.1	砂岩
94	D-3	0.9	0.5	0.4	0.3	砂岩
95	H-2	0.9	0.6	0.5	0.3	砂岩
96	H-0	1.0	1.0	0.6	0.7	砂岩
97	G-2	0.6	0.4	0.2	0.1	砂岩
98	H-2	1.0	0.6	0.4	0.3	砂岩
99	F-3	0.7	0.6	0.3	0.1	砂岩
100	中央部	1.2	0.7	0.3	0.3	砂岩
101	中央部	1.0	0.4	0.3	0.2	砂岩
102	I-0	1.1	0.5	0.4	0.4	砂岩
103	G-3	0.7	0.5	0.4	0.2	砂岩
104	D-3	1.3	0.9	0.3	0.7	砂岩
105	I-3	1.7	1.2	0.6	1.6	砂岩
106	G-4	1.3	1.0	0.4	0.8	砂岩
107	-	0.6	0.4	0.3	0.1	砂岩
108	-	0.7	0.5	0.4	0.2	砂質頁岩
109	H-3	1.3	1.0	0.7	1.0	砂質頁岩
110	I-0	0.6	0.5	0.3	0.1	砂質頁岩
111	中央部	0.6	0.4	0.3	0.1	砂質頁岩
112	I-0	1.2	0.6	0.2	0.3	砂質頁岩
113	I-1	1.1	0.7	0.6	0.6	石英
114	F-4	1.5	1.3	0.8	2.7	石英
115	E-3	0.6	0.5	0.4	0.2	石英
116	E-3	1.0	0.6	0.4	0.3	石英
117	E-3	0.8	0.8	0.8	0.7	石英
118	H-3	1.0	0.4	0.4	0.4	粗粒輝石安山岩
119	中央部	0.5	0.3	0.2	0.02	粗粒輝石安山岩
120	中央部	0.8	(0.5)	0.3	0.2	粗粒輝石安山岩
121	中央部	1.4	1.0	0.5	0.7	粗粒輝石安山岩
122	中央部	0.9	0.5	0.3	0.2	チャート
123	F-2	1.0	0.7	0.5	0.5	チャート
124	F-2	0.7	0.5	0.4	0.1	チャート
125	F-2	0.8	0.5	0.4	0.1	チャート
126	D-5	1.3	1.1	0.6	1.2	チャート
127	中央部	0.9	0.6	0.5	0.3	チャート
128	中央部	0.4	0.3	0.2	0.1	チャート
129	中央部	0.7	0.5	0.4	0.2	チャート
130	I-2	1.0	0.8	0.4	0.4	チャート
131	中央部	0.7	0.3	0.3	0.1	チャート
132	G-3	0.7	0.6	0.4	0.1	チャート
133	G-3	0.8	0.5	0.3	0.4	チャート
134	H-3	1.5	1.0	0.6	1.2	チャート
135	J-0	1.7	0.9	0.4	1.1	チャート
136	南東部	0.3	0.3	0.2	0.04	チャート
137	I-0	0.7	0.5	0.3	0.1	チャート
138	H-4	0.4	0.4	0.2	0.03	チャート

第21表 3号祭祀遺構・1号盛土遺構粒状礫(写真真)計測表

No	出土位置	長	幅	厚	重	胎土
1	中央部	0.9	0.6	0.4	0.2	凝灰岩
2	中央部	0.4	0.4	0.3	0.03	凝灰岩
3	H-2	0.9	0.5	0.2	0.1	凝灰岩
4	I-1	0.8	0.5	0.5	0.3	凝灰岩?
5	I-0	0.7	0.5	0.3	0.1	凝灰岩?
6	D-1	1.0	0.6	0.3	0.2	凝灰質砂岩
7	-	0.9	0.5	0.3	0.2	凝灰質砂岩
8	I-1	0.6	0.4	0.2	0.1	凝灰質砂岩
9	I-1	0.6	0.4	0.3	0.1	凝灰質砂岩
10	G-2	0.4	0.4	0.3	0.1	凝灰質砂岩
11	G-2	0.8	0.5	0.3	0.2	輝緑岩
12	G-5	0.8	0.4	0.2	0.1	珪質頁岩
13	-	0.9	0.8	0.6	0.6	珪質頁岩
14	E-3	2.4	1.5	0.5	2.6	珪質頁岩
15	E-3	1.3	0.8	0.4	0.6	珪質頁岩
16	中央部	0.9	0.6	0.5	0.3	珪質頁岩
17	中央部	0.6	0.3	0.3	0.1	珪質頁岩
18	中央部	0.8	0.6	0.2	0.2	珪質頁岩
19	G-3	1.7	1.0	0.3	0.8	珪質頁岩
20	H-0	1.4	0.7	0.5	0.6	珪質頁岩
21	中央部	0.6	0.5	0.4	0.2	珪質頁岩
22	I-9	1.0	0.8	0.5	0.6	珪質頁岩
23	G-1	0.5	0.4	0.3	0.1	珪質頁岩
24	J-1	0.9	0.5	0.2	0.1	珪質頁岩
25	H-4	1.3	1.0	0.7	1.3	珪質頁岩
26	南東部	1.0	0.7	0.6	0.6	珪質頁岩
27	-	0.7	0.3	0.2	0.1	珪質頁岩
28	F-5	1.0	0.7	0.6	0.4	珪質頁岩
29	F-3	0.5	0.4	0.3	0.1	珪質頁岩
30	F-3	0.7	0.5	0.3	0.2	珪質頁岩
31	D-3	0.6	0.5	0.2	0.1	珪質頁岩
32	D-3	0.7	0.5	0.3	0.2	珪質頁岩
33	H-3	0.9	0.5	0.3	0.3	珪質頁岩
34	I-1	0.8	0.6	0.4	0.2	珪質頁岩
35	-	1.0	0.8	0.4	0.4	珪質頁岩
36	-	0.8	0.6	0.2	0.2	珪質頁岩
37	-	0.9	0.6	0.4	0.3	珪質頁岩
38	-	0.5	0.3	0.2	0.1	珪質頁岩
39	H-2	0.6	0.4	0.3	0.1	珪質頁岩
40	H-2	0.5	0.5	0.3	0.1	珪質頁岩
41	H-2	1.0	0.6	0.5	0.3	珪質頁岩
42	F-3	0.6	0.5	0.1	0.1	珪質頁岩
43	G-3	1.0	0.6	0.4	0.3	珪質頁岩
44	H-1	0.9	0.6	0.2	0.2	珪質頁岩
45	中央部	0.5	0.4	0.2	0.1	珪質頁岩
46	中央部	0.6	0.4	0.3	0.1	珪質頁岩
47	J-1	0.8	0.5	0.4	0.2	珪質頁岩
48	-	1.2	1.1	0.6	1.1	珪質頁岩
49	-	0.6	0.5	0.3	0.1	珪質変質岩
50	-	0.7	0.5	0.4	0.1	珪質変質岩
51	H-2	1.4	1.0	0.3	0.6	頁岩
52	G-8	0.5	0.3	0.2	0.03	頁岩
53	H-2	0.5	0.4	0.2	0.1	頁岩
54	G-3	0.6	0.5	0.2	0.1	頁岩
55	H-0	0.6	0.4	0.2	0.1	頁岩
56	I-0	0.7	0.4	0.2	0.1	頁岩
57	G-1	0.4	0.4	0.1	0.03	頁岩

No	出土位置	長	幅	厚	重	胎土
139	I-5	1.2	1.0	0.7	0.8	チャート
140	南東部	0.7	0.5	0.4	0.2	チャート
141	南東部	1.1	0.9	0.5	0.5	チャート
142	-	0.7	0.6	0.5	0.3	チャート
143	F-3	0.9	0.4	0.2	0.1	チャート
144	F-3	0.9	0.6	0.4	0.3	チャート
145	F-3	0.7	0.5	0.2	0.1	チャート
146	D-3	1.3	0.9	0.7	1.0	チャート
147	I-5	2.3	1.0	0.8	2.6	チャート
148	I-1	1.0	0.9	0.4	0.4	チャート
149	-	0.5	0.4	0.3	0.1	チャート
150	-	0.5	0.3	0.3	0.1	チャート
151	F-3	1.1	0.8	0.6	0.8	チャート
152	H-3	0.4	0.3	0.3	0.1	チャート
153	I-1	1.2	1.0	0.5	1.0	チャート
154	H-2	0.6	0.5	0.3	0.2	チャート
155	G-3	0.6	0.4	0.4	0.1	チャート
156	G-3	2.0	1.2	0.6	2.0	チャート
157	南東部	0.8	0.7	0.5	0.4	チャート
158	H-2	0.6	0.5	0.3	0.1	チャート
159	G-3	0.5	0.4	0.3	0.1	チャート
160	G-3	1.6	1.0	0.7	1.5	チャート
161	J-7	1.1	0.9	0.5	0.7	チャート
162	J-6	0.5	0.5	0.3	0.1	チャート
163	J-8	0.7	0.4	0.3	0.1	チャート
164	D-3	0.6	0.5	0.3	0.1	チャート
165	H-2	1.2	0.6	0.4	0.4	チャート
166	H-2	0.7	0.5	0.3	0.2	チャート
167	H-2	1.0	0.8	0.5	0.5	チャート
168	D-3	0.5	0.4	0.3	0.1	チャート
169	D-1	0.9	0.7	0.5	0.4	チャート
170	H-3	0.8	0.6	0.4	0.2	チャート
171	F-3	0.5	0.5	0.3	0.1	チャート
172	F-3	1.2	1.0	0.7	1.1	チャート
173	F-3	0.8	0.7	0.3	0.2	チャート
174	F-3	0.7	0.5	0.3	0.1	チャート
175	K-2	0.7	0.5	0.3	0.1	チャート
176	中央部	0.5	0.3	0.2	0.04	チャート
177	H-0	1.2	1.0	0.5	0.9	チャート
178	D-1	0.8	0.4	0.3	0.2	チャート
179	中央部	1.5	1.1	1.0	2.2	チャート
180	H-0	0.4	0.3	0.2	0.1	チャート
181	D-1	0.8	0.3	0.2	0.1	チャート
182	G-3	0.6	0.5	0.3	0.2	チャート
183	I-3	0.8	0.6	0.4	0.3	チャート?
184	南東部	0.9	0.8	0.2	0.2	デイサイト
185	F-3	0.6	0.5	0.2	0.1	デイサイト凝灰岩
186	G-3	1.2	0.8	0.4	0.3	デイサイト凝灰岩
187	D-1	0.3	0.3	0.1	0.01	デイサイト凝灰岩
188	L-5	0.7	0.6	0.4	0.2	不明
189	G-2	0.6	0.5	0.2	0.1	不明
190	H-2	0.7	0.5	0.2	0.1	不明
191	I-3	1.2	1.0	0.7	0.7	不明
192	中央部	1.0	0.7	0.5	0.2	不明
193	I-3	0.9	0.7	0.5	0.3	不明
194	G-2	0.5	0.5	0.2	0.1	不明
195	F-2	0.5	0.3	0.2	0.1	不明
196	G-3	0.9	0.6	0.5	0.3	不明
197	I-1	0.6	0.4	0.2	0.1	不明
198	G-4	0.8	0.6	0.1	0.1	不明
199	E-1	0.7	0.3	0.2	0.1	不明
200	-	0.6	0.4	0.2	0.1	不明
201	D-3	0.7	0.5	0.3	0.2	不明
202	E-1	0.5	0.4	0.3	0.1	不明
203	E-3	1.3	1.0	1.1	2.1	不明
204	G-3	0.6	0.5	0.4	0.2	変輝緑岩
205	D-1	1.8	1.1	(0.9)	2.0	変輝緑岩
206	E-3	0.6	0.5	0.4	0.2	変玄武岩
207	F-2	1.2	0.4	0.3	0.2	変質安山岩
208	D-1	1.3	0.9	0.5	0.8	変質安山岩
209	D-6	2.0	1.4	0.6	1.9	変質安山岩
210	中央部	0.8	0.5	0.4	0.2	変質安山岩
211	中央部	1.1	0.8	0.4	0.5	変質安山岩
212	H-0	1.2	1.0	0.4	0.4	変質安山岩
213	J-1	0.4	0.4	0.3	0.1	変質安山岩
214	D-3	1.4	0.9	0.7	1.4	変質安山岩
215	-	1.1	1.1	0.3	0.5	変はんれい岩
216	I-1	1.1	0.4	0.2	0.2	ホルンフェルス
217	南東部	1.8	0.9	0.3	0.7	ホルンフェルス
218	I-1	1.8	1.2	0.8	2.6	ホルンフェルス
219	G-3	1.7	0.8	0.3	0.8	ホルンフェルス

No	出土位置	長	幅	厚	重	胎土
220	J-1	0.8	0.6	0.5	0.3	溶結凝灰岩
221	K-0	1.7	1.4	0.7	2.2	溶結凝灰岩
222	G-2	1.5	1.2	0.5	1.2	溶結凝灰岩
223	F-4	1.5	1.0	0.8	1.5	溶結凝灰岩
224	I-5	1.1	0.9	0.6	0.9	溶結凝灰岩
225	-	0.6	0.5	0.3	0.1	溶結凝灰岩
226	-	1.3	1.1	0.5	0.8	溶結凝灰岩
227	G-3	1.5	1.2	0.5	1.4	溶結凝灰岩
228	D-1	0.8	0.6	0.3	0.2	溶結凝灰岩
229	D-1	0.7	0.5	0.3	0.1	溶結凝灰岩
230	I-0	0.9	0.4	0.3	0.2	溶結凝灰岩
231	H-0	0.5	0.3	0.3	0.1	溶結凝灰岩
232	H-3	0.6	0.3	0.2	0.1	溶結凝灰岩
233	*	0.4	0.3	0.2	0.04	溶結凝灰岩
234	*	1.0	0.5	(0.3)	0.2	溶結凝灰岩
235	*	2.1	1.3	0.9	3.4	溶結凝灰岩
236	*	1.0	0.8	0.2	0.3	溶結凝灰岩
237	*	1.4	0.9	1.2	1.2	溶結凝灰岩
238	*	1.1	0.8	0.5	0.6	流紋岩
239	*	1.1	0.5	0.2	0.2	流紋岩
240	*	0.3	0.3	0.2	0.02	流紋岩
241	*	0.7	0.5	0.3	0.2	流紋岩
242	*	0.5	0.5	0.2	0.1	流紋岩
243	*	0.7	0.5	0.4	0.1	流紋岩
244	*	0.7	0.4	0.4	0.2	流紋岩
245	*	0.8	0.6	0.2	0.2	流紋岩
246	*	1.0	1.0	0.4	0.4	流紋岩凝灰岩
247	*	1.5	0.9	0.5	0.6	流紋岩凝灰岩
248	*	2.0	1.0	0.3	1.0	流紋岩凝灰岩

第22表 3号祭祀遺構鉄器付着石製模造品・白玉(写真のみ)計測表

No	種類	法量				備考
		長	幅	厚	重	
152	石製品 石製模造品 (剣形)	3.7	2.3	0.5		
159	石製品 石製模造品 (半円形)	2.5	1.5	0.3		
160	石製品 石製模造品 (半円形)	2.5	1.5	0.3		
No	種類	法量				備考
		長	幅	厚	重	
9383	白玉	0.6	0.6	0.4		
9384	白玉	0.6	0.6	0.3	0.33	
9385	白玉	0.6	0.6	0.5		
9386	白玉	0.6	0.6	0.4		
9387	白玉	0.6	0.6	0.2		
9388	白玉	0.6	0.6	0.3		
9389	白玉	0.6	0.6	0.4		
9390	白玉	0.6	0.6	0.3		
9391	白玉	0.6	0.6	0.3		
9392	白玉	0.5	0.5	0.5		
9393	白玉	0.6	0.6	0.4		
9394	白玉	0.7	0.7	0.3		
9395	白玉	0.6	0.6	0.3	0.3	
9396	白玉	0.6	0.6	0.3	0.33	
9397	白玉	0.6	0.6	0.5	0.38	
9398	白玉	0.6	0.6	0.4	0.3	
9399	白玉	0.6	0.6	0.5	0.33	
9400	白玉	0.6	0.6	0.4	0.32	
9401	白玉	0.6	0.6	0.3		写真無
9402	白玉	0.6	0.6	0.3		写真無
9403	白玉	0.6	0.6	0.3		写真無

公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書 第652集

金井東裏遺跡《古墳時代編》 観察表編

(国)353号金井バイパス(上信自動車道)道路改築事業
(国道・連携)に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

平成31(2019)年3月8日 印刷

平成31(2019)年3月15日 発行

編集・発行／公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

〒377-8555 群馬県渋川市北橘町下箱田784番地2

電話(0279)52-2511(代表)

ホームページアドレス <http://www.gunmaibun.org/>

印刷／朝日印刷工業株式会社
